

令和6年度
教育環境第 1 号

揖西東小学校屋外プール改築工事

建 築		ブール		構 造		電 気 設 備		機 械 設 備		既 設 解 体 (参 考 図)	
図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称
A-00	表紙	P-01	ブール仕様書	S-01	構造特記仕様書	E-01	電気設備特記仕様書	M-01	機械設備特記仕様書	K-01	解体特記仕様書
A-01	図面リスト	P-02	ブール全体平面図	S-02	鉄筋コンクリート壁式構造配筋標準図	E-02	全体配置図	M-02	換気機器、衛生器具一覧表	K-02	外壁塗材除去試験施工要領図(参考)
A-02	特記仕様書1	P-03	ブール断面詳細図-1	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図1	E-03	分電盤結線図	M-03	配置図	K-03	外壁塗材除去施工手順(参考)
A-03	特記仕様書2	P-04	ブール断面詳細図-2	S-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図2	E-04	電灯設備 平面図	M-04	ブール平面図	K-04	解体建物 ブール付属棟
A-04	建築工事特記仕様書1	P-05	ブール部品詳細図-1	S-05	ボーリング調査位置図、柱状図	E-05	コンセント 動力設備 平面図	M-05	付属棟平面詳細図	K-05	解体建物 動物小屋・ゴミ庫
A-05	建築工事特記仕様書2	P-06	ブール部品詳細図-2	S-06	地盤改良特記仕様書(参考図)	E-06	呼出設備 平面図	M-06	ろ過器廻り配管詳細図(参考)	K-06	解体建物 プロパン庫
A-06	建築工事特記仕様書3	P-07	ブール底板割付図・オーバーフロー溝補強配置図	S-07	ダイヤレンNS標準仕様書(参考図)	E-07	構内交換設備 ビット平面図	M-07	撤去・平面図	K-07	解体建物 農具倉庫
A-07	建築工事特記仕様書4	P-08	ブール基礎伏図	S-08	地盤改良伏図	E-08	情報表示設備 1階校舎平面図			K-08	解体建物 便所付属CB扉
A-08	建築工事特記仕様書5	P-09	ブール基礎詳細図	S-09	基礎伏図	E-09	構内配電、構内通信線路図			K-09	解体建物 ブール撤去平面図
A-09	建築工事特記仕様書6	P-10	ブール塗装図	S-10	1階土間、壁伏図	E-10	電灯 コンセント設備 撤去図			K-10	解体詳細図
A-10	建築工事特記仕様書7	P-11	ブール塗装詳細図	S-11	屋根伏図	E-11	情報表示設備 1階校舎 撤去図			K-11	外構撤去配置図・撤去リスト
A-11	建築工事特記仕様書8			S-12	軸組図1	E-12	構内配電 動力設備 撤去図			K-12	外構移設詳細図
A-12	建築工事特記仕様書9			S-13	軸組図2					K-13	外構撤去詳細図
A-13	工事区分表			S-14	軸組図3						
A-14	現況全体配置図			S-15	軸組図4						
A-15	計画全体配置図			S-16	断面リスト1						
A-16	仮設計平面図			S-17	断面リスト2						
A-17	求積図・面積表(敷地・ブール)			S-18	壁平面配筋詳細図・B通り配筋詳細図						
A-18	仕上表			S-19	スリーブ図1						
A-19	ビット平面図			S-20	スリーブ図2						
A-20	配置図兼平面図										
A-21	屋根伏図・天井伏図										
A-22	立面図										
A-23	断面図										
A-24	断面詳細図1										
A-25	断面詳細図2										
A-26	平面詳細図										
A-27	展開図1										
A-28	展開図2										
A-29	建具位置図・建具表										
A-30	部分詳細図1										
A-31	部分詳細図2										
A-32	外構新設配置図・新設リスト										
A-33	外構新設詳細図										
A-34	倉庫改修図										
A-35	プロパン庫新設図										
A-36	下屋詳細図										
A-37	フェンス・門扉詳細図										
A-38	日除け詳細図										

特記仕様書

工事番号	教育環境第	1	号	工事名	揖西東小学校屋外プール改築工事		
工事場所	たつの市	揖西	町	清水新	地内		
建築物概要	構造規模	鉄筋コンクリート	造	地上	1階	建	
	建築面積	155.25	m ²	延床面積	119.50	m ²	

第1章 総則

第1条 適用範囲

請負者は、設計図書及びたつの市契約規則のほか、この特記仕様書及び共通仕様書により入念に施工しなければならない。
共通仕様書(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 木造建築工事標準仕様書・公共建築工事標準仕様書)

第2条 設計図書と現地の整合確認

本工事の施工に先立ち、請負者は設計図書と現地との整合性を確認しなければならない。
特に地下埋設物については、事前調査及び協議を十分に行うこと。
なお、埋設物を破損した場合は、請負者の責において現状に復すること。

第3条 指示事項への対応

工事に関して、工事中並びに工事完了後において指示がある場合は、速やかに調整し、従うこと。

第2章 施設管理者との調整

第4条 工程等調整会議

本工事契約後、直ちに本工事監督員並びに施設管理者と工程及び現場調整のため、調整会議を行う。
その後、施工計画(仮設計図を含む)、実施工程表を作成し監督員の承諾を得ること。
工事中の調整会議については、監督員の指示により実施する。

第3章 施工条件

第5条 排出ガス対策型建設機械

本工事において建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、「建設技術評価制度」又は「民間開発建設技術の審査証明事業」により評価された「排出ガス浄化装置」を装着した建設機械を使用することで同等とみなす。
ただし、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。
上記において、「これにより難い場合」とは、請負者の都合で調達できない場合を含むものとする。
なお、使用する建設機械が排出ガス対策型建設機械であることの確認できる写真を撮影し、完成書類として提出すること。

第6条 汚濁水への対応

本工事に起因して汚濁水が流出する恐れがある場合は、請負者の責において着手前に地元自治会及び水利管理者、漁業協同組合等を調整を図ること。

第4章 土工事

第7条 建設発生土及び特定建設資材廃棄物

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化の実施について適正な措置を講ずることとする。

工事の種類	規模の基準
建築物の解体 床面積の合計	80㎡以上
建築物の新築・増築 床面積の合計	500㎡以上
建築物の修繕・模様替え (リフォーム等) 請負金額	1億円以上

建設発生土及び特定建設資材廃棄物は、建設副産物処理業者にて処理することとし、投棄料を計上している。
請負者は、再生資源利用促進計画書を作成し監督員の承諾を得た後、責任もって適正に処理を行うものとする。
処理完了後、建設発生土については処理業者が検収した伝票を、特定建設資材廃棄物については産業廃棄物管理票を監督員に提出すること。
発生量については、設計数量を検収伝票数量が上回る場合は設計数量とし、下回る場合は検収伝票とする。
なお、建設発生土を請負者が建設副産物処理業者以外で直接処分した場合は投棄料算出数量から除外する。

第8条 建設廃棄物

建設廃棄物は、産業廃棄物処分業の許可を受けた者にて処理すること。
請負者は、建設廃棄物処理委託契約書を作成し監督員の承諾を得た後、責任もって適正に処分するものとする。
処理完了後、処理業者が検収した産業廃棄物管理票を監督員に提出すること。

第5章 施工物

第9条 工法検討

工法及び現場における変更等については書面で相互確認を行うものとする。

第10条 取合部の施工

請負者は、軽微な取り合わせ等、現場納めについては図示されていないものであっても施工するものとする。

第6章 安全管理及び安全訓練等

第11条 共通仕様書の遵守

請負者は、工事の安全対策を実施し、責任を持って工事の施工管理を図らなければならない。

第12条 安全・訓練等の実施

本工事の施工に際し、現場に則した安全・訓練等について工事着手後、原則として作業員全員の参加により、下記の項目から実施内容を選択し、安全・訓練等を実施するものとする。

- 1 工事内容の周知徹底
- 2 工事安全に関する法令等の周知徹底
- 3 本工事における災害対策訓練
- 4 本工事現場で予想される事故対策
- 4 その他、安全・訓練として必要な事項

第13条 安全・訓練等に関する施工計画の作成

施工に先立ち作成する施工計画書に、本工事の内容に応じた安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出するものとする。

第14条 保安施設等の位置

工事用資材、土砂、重機等を敷地に仮置きする場合には、表示板、標識、保安施設(バリケード、赤色灯等)を設置し、事故防止に努めること。

第15条 第三者への対応

工事施工に伴い、第三者に損害を与えた場合は、請負者の責において円満に解決し、賠償に要する費用は、請負者の負担とする。

第16条 交通安全

工事施工に伴い、一般交通に支障を及ぼさないよう、監督員と協議の上、必要に応じて交通誘導員を配置し、事故防止に努めること。

第17条 交通誘導員の資格等

交通誘導員を配置する場合は、原則として交通誘導警備検定合格者(1級または2級)を配置すること。
ただし、交通誘導警備検定合格者を配置できない場合は、交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員を配置すること。

資格	資格要件
1・2級交通誘導警備検定合格者	公安委員会が学科及び実技試験を行って、交通誘導警備に関して専門的な知識及び技能を有すると認めた者
交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員	・警備業法における警備員市道教育責任者資格者証の交付を受けている者。 ・警備業法における指定講習を修了した者。 ・警備業法施行規則における基本教育及び業務別教育(警備業法第2条第1項第3号の警備業務)を既に受けている者で、交通誘導に関する警備業務に従事した期間(実務経験)が1年以上である者。

請負者は、交通誘導員として交通誘導警備検定合格者を配置した場合、交通誘導警備検定合格証(写し)を監督員に提出するものとする。
請負者は、交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員を配置した場合、交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有すると確認できる次の資料の何れかを監督員に提出するものとする。

・警備員指導教育責任者証(写し)
・指定講習修了証明書(写し)
・警備業法施行規則 第38条第2項に定める基本教育、及び同条第2項、第3項に定める業務別教育(警備業法第2条第1項第3号の警備業務)を受講したことを証明する警備員名簿及び教育実施状況等の写し、及び交通誘導に関する警備業務に従事した期間(実務経験)が1年以上であることを証明する書類。

第7章 提出書類

第18条 提出書類

現場代理人は、監督員と協議の上、別紙提出書類一覧に記す書類及びその他指示する資料を提出すること。

第19条 協議録の提出

協議録を作成し、施工中に監督員より提示を求められた場合には、速やかに提出できるよう整備しておくこと。

第20条 工事成果品の提出

工事が完了すれば直ちに現場代理人は、工事完成届兼引渡書、工事写真、品質管理書類、その他監督員の指示する資料を提出すること。

第21条 工事写真

工事写真は、工事写真帳(A4版)と原本を工事完成時に各1部提出すること。
原本はネガ(APSの場合はカートリッジフィルム)または電子媒体とすること。
なお、電子媒体の形式規格については、CD-ROM、MO(230Mb以下)を原則とし、提出時における有効画素数を80万画素以上とすること。
ただし、これ以外の場合は監督員の承諾を得るものとする。
電子媒体による写真については、必要な文字、数値等の内容の判読ができる機能、精度を確保できる撮影機材を用いるものとする。
(有効画素数80万画素以上、プリンターはフルカラー300dpi以上、インク・用紙等は通常の使用条件のもとで3年間程度顕著な劣化が生じないものとする。)
特に重要な工事写真はキングサイズとし、その他、工事中の写真はサービスサイズとする。
なお、完成写真は着工前と対比できる様撮影すること。
工事着手前及び安全管理(標識、表示板、バリケード等)の写真を必ず提出すること。
写真は黒板・スタッフ・ポール等をあて工種、測点ごとに明確に撮影し、判り易く整理して提出すること。
塗装工事の中塗り及び上塗りは、監督員の指示により各層の色を変え、施工状況の確認ができるよう撮影すること。
品質管理及び出来型管理写真撮影時には、現場代理人または主任技術者の検認状況を監督員が確認できるように撮影すること。

第22条 騒音・振動を伴う建設作業について

請負者は、著しく騒音・振動を発生させるものについて、特定建設作業として、作業の実施に係る事前の届け出と規制基準の遵守を義務付けられているので、速やかに届けるとともに、その写しを施工計画書に添付し提出すること。

第23条 マニフェストシステムについて

この工事で排出される建設廃棄物を現場外に搬出して処理(再資源化施設、積み替え保管場所経由で最終処分)する場合、産業廃棄物管理票(マニフェスト票)を使用すること。
なお、産業廃棄物管理票は請負者の責において3年間保存し、工事完成書類(工事途中で提出を求めることもある。)としてA票及びE票の写しを提出すること。ただし、E票については、提出が工事完成後となる場合は、D票を提出すること。

第24条 コリンズの作成

請負者は、受注時または変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(コリンズ)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「工事実績データ」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録しなければならない。

また、(財)日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際は、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。

第25条 シックハウス対策について

工事使用材料については、原則としてF☆☆☆☆製品とし、該当する製品がない場合はF☆☆☆製品を使用すること。
なお、規格確認のため、監督員と協議の上、材料写真又は品質証明書等を提出すること。

第26条 中間検査等について

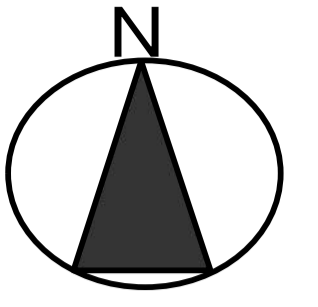
隠蔽部及び高所等については、監督員と協議の上、必要に応じて市検査員の中間検査等を受けること。
なお、検査時点での実施工程表及び記録写真等を監督員の指示により作成すること。

令和6年度		縮尺	図面番号
工事名	揖西東小学校屋外プール改築工事		A-02
図名	特記仕様書1	--	

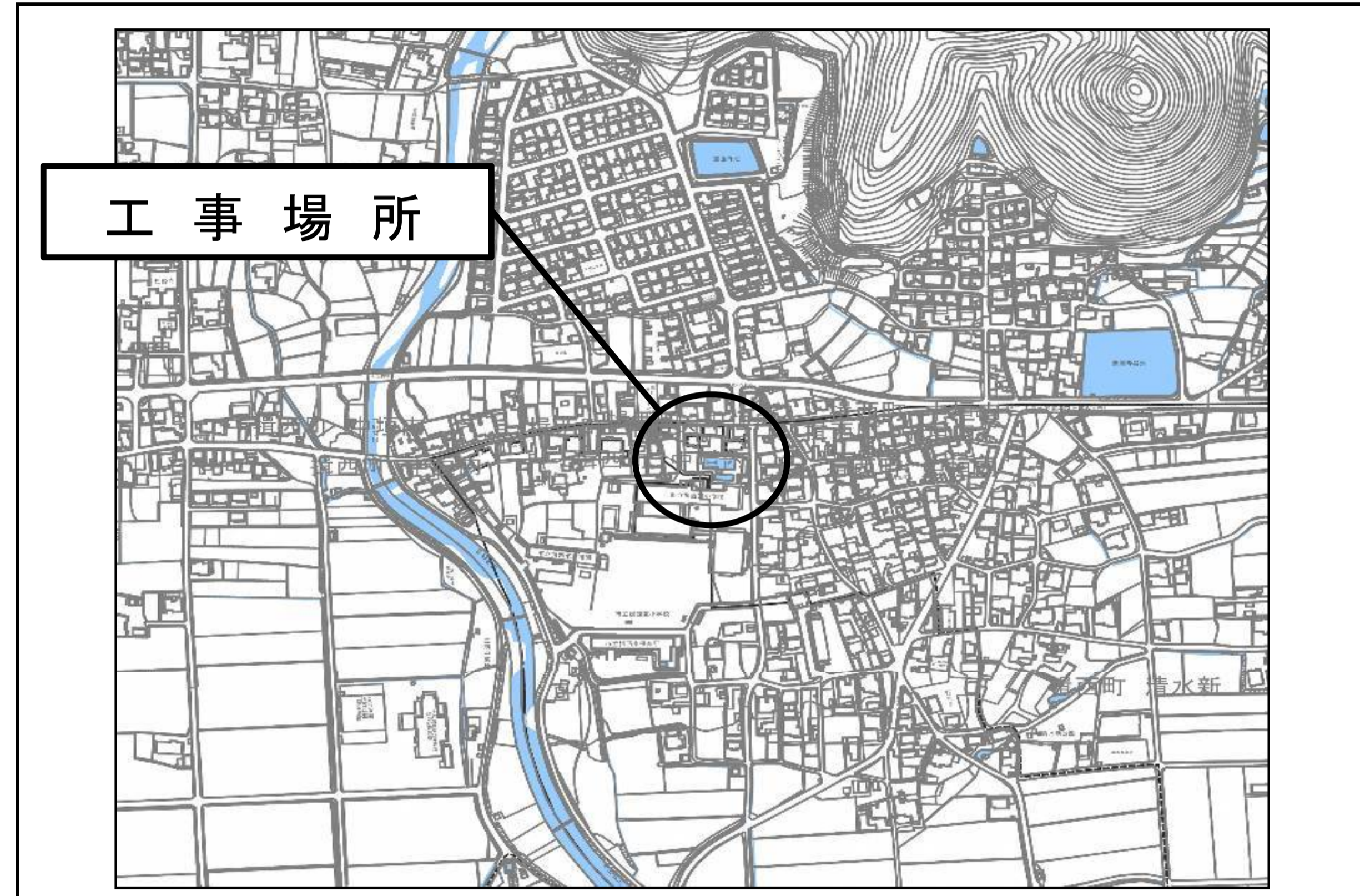
提出図書一覧表

時期	番号	提出書類名	部数	様式	提出期限等	摘要
着手前	1	工事着手届	1	様式4	着手後速やかに	
	2	工程表（バーチャート式）	1	様式5	契約後5日以内	
	3	現場代理人及び主任技術者届	1	様式6	契約後5日以内	
	4	主任技術者経歴書	1	様式7	契約後5日以内	資格証の写しを添付
	5	工事カルテ受領書(写)（当初）	1		契約後10日以内	請負額500万円以上 [登録前に担当者確認必要]
	6	再生資源利用計画書・促進計画書	1	有		運搬・処分共に 委託契約書(写)・許可証(写)を添付
	7	中間前金払と部分払との選択に係る届出書	1	様式22-2	契約締結時	中間前金払、又は、部分払対象工事のみ
	8	誓約書(市契約における適正な労働条件の確保に関する要綱関連)	1	様式8-2・3	契約締結時	契約締結時(下請契約用は下請契約締結時)
施工当初	9	協力業者一覧表	1		当初・変更時	工種・会社名・住所・電話・担当者 記入
	10	施工体制台帳(写)・施工体系図	1		下請契約後	下請負契約が130万円超の場合は契約書徴取
	11	施工計画書（当初）	2 返却	様式9	速やかに	各種官庁届出書・許可証(写)、請負者建設業許可証 添付
	12	実施工程表（ネットワーク式 ※注1）	2 返却		10に添付	工種構成比率、工程曲線(予定0⇒100%)
	13	仮設・安全計画図	2 返却		10に添付	保安施設・仮設建物・交通誘導員・車両進入経路等を記入
施工中	14	安全・訓練等計画書	2 返却		10に添付	内容・実施時期・記録様式等
	15	工種別施工要領書	2 返却		各工種施工前	小規模工事等は10に各工種について記載すれば省略可 作業主任者等資格証、使用重機能力・点検書(低騒音等)
	16	工種別検査・立会計画書	2 返却		13に添付	実施項目・実施時期・検査記録様式等
	17	工事材料承諾願	2 返却	有		仕様、性能、JIS番号、標準使用量等を証する資料 添付
	18	施工図面承諾願	2 返却	有		
変更時	19	休日作業届	1	様式29	作業日前日まで	
	20	月間工程表	1			11に実施曲線(赤色)、進捗率(予定・実施) を記載
	21	施工計画書（変更）	2 返却		契約後速やかに	表紙及び変更箇所のみ
中間検査時	22	実施工程表（変更）	1		21に添付	変更契約日時点での実施曲線・進捗率を記入
	23	工事カルテ受領書(写)（変更）	1		契約後10日以内	請負額500万円以上
前払金申請時	24	工事写真	1		時期等は要協議	着手から中間検査時までの工程写真等(抜粋)
	25	実施工程表	1			実施曲線・進捗率を記入
	26	公共工事前払金申請書	1	様式22-1	請求しようとするとき	支払希望月の前月15日までに担当課に請求する旨を事前に申し出ること
中間前払金申請時	27	請求書	1	任意		
	28	履行保証証書	1			契約課へ提出
	29	中間前払金認定請求書	1	様式22-3	認定を希望するとき	
部分払金請求時	30	工事履行報告書	1	様式22-4	認定を請求書と同時に提出	
	31	中間前払金交付申請書	1	様式22-5	請求しようとするとき	支払希望月の前月15日までに担当課に請求する旨を事前に申し出ること
完了時	32	工事請負代金(部分払)申請書	1	様式24		
	33	出来高報告書	1			内訳書、図面(完成部を示す)、実施工程表(実施曲線・率)
	34	工事写真	1			出来高を示す写真(内部・外部共)
	35	請求書	1	任意		
	36	工事完成届兼引渡書	1	様式26		
適宜	37	工事写真(データ共)	1			着手前と完了の見開対比、施工順・工種毎に整理、黒板撮影 写真説明コメント・計測寸法等を記入 各工種インデックスで整理 材料受入(仕様表示)・使用後(空缶等)撮影(使用数量確認) 安全対策・誘導員、各種表示板、使用重機、現場代理人撮影
	38	伝票(写)・ミルシート等	1			使用材料(コンクリート・砕石・鉄筋・鉄骨・土等)、交通誘導員
	39	出荷証明書	1			使用材料等
	40	使用材料等数量集計書・比較書	1			設計数量と使用数量の比較 (塗料・注入剤等)
	41	再生資源利用実施書・促進実施書	1			
	42	産業廃棄物管理票(写)	1		42に添付	A・E票
	43	産業廃棄物管理状況総括表	1		42に添付	集計書 (t換算する場合は根拠式も記入)
	44	工事旬報	1	様式31		半月毎作成 ※交通誘導員は人数を記入
	45	品質管理書類 (※注2)	1			各種試験結果表・保証書等 ※現場代理人印 必要
	46	出来高管理図書	1			集計書・成果図等 (舗装・外構等)
	47	社内検査報告書	1			※請負会社部長級以上が検査実施 確認印 必要
	48	手直等是正記録書	1			手直実施日・確認印 必要
	49	工事カルテ受領書(写)（竣工）	1		検査後10日以内	請負額500万円以上
	50	請求書	1	任意		
	51	完成機器図(電気・機械)	1			
52	竣工図	1			原図、2つ折製本(文字入)、CADデータ	
53	竣工写真	1				
54	保守指導書・機器取扱説明書	1			使用材料・品番・業者・連絡先・維持保全上の注意点等	
55	各官庁届出書・検査済証	1			上下水・電気・消防・建築・環境・労基関係	
56	協議録・定例会議録	1		速やかに		

注1) 新築工事又は請負1,000万円以上については、原則ネットワーク式とすること。ただし、監督員が認める場合はバーチャート式とする。
注2) 監督員と協議の上、必要書類を提出すること。



たつの市 揖西 町 清水新 地内



付近見取図

備考	

令和6年度		縮尺	図面番号
工事名	揖西東小学校屋外プール改築工事		A-03
図名	特記仕様書2	--	

揖西東小学校屋外プール改築 工事設計図

特記仕様書

I 工事概要

Table with 2 columns: Item, Details. Includes 1. 工事場所 (たつの市 揖西町 清水新 地内), 2. 敷地面積 (17,843.20㎡), 3. 工事種目 (1) プール・付属棟新築工事, (2) プール・付属棟撤去工事, (3) 外構移設・新設工事, (4) 外構撤去工事, (5) 既設建物改修・移設・撤去工事.

4. 工事範囲

- ※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち の全てを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち の工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

Table with 2 columns: 工事種目, 工事範囲. Lists items like 2 仮設工事, 3 土工, 4 地業工事, 5 鉄筋工事, 6 コンクリート工事, 7 鉄骨工事, 8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事, 9 防水工事, 10 石工事, 11 タイル工事, 12 木工, 13 屋根及びとい工事, 14 金属工事, 15 左官工事, 16 建具工事, 17 カーテンウォール工事, 18 塗装工事, 19 内装工事, 20 ユニット及びその他の工事, 21 排水工事, 22 舗装工事, 23 植栽及び屋上緑化工事.

II 建築工事仕様

- 1. 標準仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下「標準仕様書」という。）による。
2. 特記仕様書の表記
(1) 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。
(3) 特記事項に記載の（ . . . ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章 項目 特記事項

Main specification table with 2 columns: 項目, 特記事項. Includes sections like ① 一般共通事項, 2 工事実績情報システム (CORINS) への登録, ③ 法令等の適用区分, ④ 工事の記録等, ⑤ 電気保安技術者, ⑥ 施工条件, ⑦ 発生材の処理等, ⑧ 材料の品質等.

④ 技能士

Table with 3 columns: 適用工事種類, 職種, 技能検定の作業の種別. Lists various construction tasks like 仮設工事, 鉄筋工事, コンクリート工事, 防水工事, etc.

④

地業工事 ※構造図参照

Table with 2 columns: 1 試験及び報告書, 2 既製コンクリート杭. Includes details on testing and precast concrete piles.

Table with 2 columns: 種類, 性能及び曲げ強度区分(種別), 寸法, 継手の箇所数等. Includes a table for pile types and their properties.

④ 地盤工事 ※構造図参照	3 鋼杭地業	杭の種類 (材料) 、寸法、継手等 (4.2.2) (4.4.3) (4.4.5)	5 砂利地業	材料 ・再生クラッシュラン ・切込砂利 ・切込砕石 (4.6.2)	7 機械式継手	適用箇所 ・図示による	5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4)
	試験杭 上杭 中杭 下杭	種類 杭径 (mm) 厚さ (mm) 杭長 (mm) 継手数 セット数 長期設計支持力 (kN/本) 備考	6 砂地業	材料 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砂砂 (4.6.2)	適用箇所 ・図示による	打継ぎの位置 梁及びスラブ ・スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による 柱及び壁 ・スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による	
	本杭 上杭 中杭 下杭		7 捨コンクリート地業	捨コンクリートの厚さ ・図示による (4.6.4)	機械式継手の種類 ・図示による	目地の寸法 (ひび割れ誘発目地を含む) ※標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ・図示による	
			8 床下防湿層	材料 ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 (4.6.2)	鉄筋相互のあき ・評定等の内容による ・図示による	ひび割れ誘発目地の位置、形状 ・図示による	
			1 鉄筋	鉄筋の種類 (5.2.1)	施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 (全ての圧接部) 試験項目、試験方法 ・図示による ・超音波測定試験 試験対象 ・図示による	6 コンクリートの仕上がり	
			2 溶接金網	鉄線の形状等 (5.2.2)	不合格となった継手部への措置 ・図示による	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5) (表6.2.4)	
			3 鉄筋の継手及び定着	鉄筋の継手の方法等 (5.3.4)	適用箇所 ・図示による	種類 適用箇所 ・A種 ・B種 ・C種	
			4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)	4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5)	平成12年建設省告示第1463号に適合する性能 ・A級	コンクリートの仕上げの平坦さ (6.2.5) (表6.2.5)	
			5 各部配筋	5 各部配筋 (5.3.7)	適用箇所 ・図示による	種類 適用箇所 ・a種 ・b種 ・c種	
			6 ガス圧接完了後の試験	6 ガス圧接完了後の試験 (5.4.10) (5.4.11)	平成12年建設省告示第1463号に適合する性能 ・A級	7 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.1)	
4 場所打ちコンクリート地業	コンクリート杭地業	工法 ・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法 ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管の種類 SKK400 SKK490 ・底底杭工法 (4.5.1) (4.5.4~4.5.6)	2 鉄筋の継手及び定着	8 溶接継手	8 型枠 (6.8.2)		
		寸法等 (4.2.2) (4.5.4)	4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)	適用箇所 ・図示による	打増し範囲 ・図示による		
		試験杭 本杭	4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5)	施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 (全ての圧接部) 試験項目、試験方法 ・図示による ・超音波測定試験 試験対象 ・図示による	せき板の材料 ・標準仕様書 6.8.2(1)(7)、(1)による ・合板 (厚さ ※12mm)		
			4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5)	不合格となった場合の措置 ・図示による	・断熱材を兼用した型枠 使用箇所 ・図示による		
			4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5)	1 コンクリートの類別等 (6.2.1) (表6.2.1)	・MOR工法用シート 適用箇所 ・図示による		
			4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5)	・普通コンクリート (6.2.1~6.2.4) (表6.2.2)	スリーブの材種・規格等 ・図示による		
			4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5)	設計基準強度 (N/mm ²) スラップ (cm) 適用箇所 ・24 ※15又は18 基礎、基礎梁、土間スラブ ・24 ※18 柱、梁、スラブ、壁 ・ ・	9 軽量コンクリート (6.10.1) (表6.10.1)		
			4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5)	・軽量コンクリート (特記事項は、「9. 軽量コンクリート」に示す) (6.2.1) (6.2.10)	適用箇所 ・図示による		
			4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5)	・建築基準法第37 条第二号の規定に基づき認定を受けたコンクリート 適用箇所 () (6.2.1)	種類 ・1種 ・2種 気乾単位容積重量 () t/m ³ スラップ ※21cm		
			4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5)	構造体強度補正值 ※標準仕様書表6.3.2による (6.3.2)	10 寒中コンクリート (6.11.1)		
			4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5)	種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て) ・高炉セメントB種 適用箇所 () ・フライアッシュセメントB種 適用箇所 () ・普通エコセメント 適用箇所 ()	適用期間 ・図示による 構造体強度補正值(S) ・標準仕様書6.11.2(3)(7)による ・積算温度を基に定める () (6.11.2)		
			4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5)	・再生骨材Hを使用する 適用箇所 () (6.3.1) ・湿潤養生の期間 () 日以上 (6.7.2) ・型枠の最小貯留期間 () (6.8.4)	構造体強度補正值(S) ※6N/mm ² (6.12.2)		
			4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5)	3 骨材 フェロニッケルスラグ骨材、銅スラグ細骨材及び電気炉酸化スラグ骨材 使用する 適用箇所 () (6.3.1)	11 暑中コンクリート (6.12.2)		
			4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5)	アルカリシリカ反応性による区分 ※A B (6.3.1)	構造体強度補正值(S) ※標準仕様書 表6.13.11による (6.13.1)		
			4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5)	4 混和材料 ・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書 6.3.1(4) (a)による (6.3.1)	12 マスコンクリート (6.13.1)		
			4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5)	・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書 6.3.1(4) (b)による (6.3.1)	セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中厚熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント		
			4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5)	標準仕様書6.3.2(4)(f)の①~③以外の混和材料 ・混和剤 () ・混和材 () (6.3.2)	混和剤の種類 ・標準仕様書6.13.2(2)(7)による ・使用する 適用箇所 () 混和剤の種類 ・標準仕様書6.13.2(2)(4)による スラップ ※15cm 構造体強度補正值 (s) ※標準仕様書 表6.13.11による (6.13.2)		

<p>⑥ コンクリート工事(続き)</p> <p>※構造図参照</p>	13 無筋コンクリート	<p>コンクリートの種類</p> <p>※普通コンクリート</p> <p>設計基準強度 ※18(N/mm²)</p> <p>スラブ ※15cm又は18cm</p> <p>適用箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準仕様書 6.14.1(4)による 図示による <p>標準仕様書 表6.2.1以外のコンクリートを用いる場合</p>	6.14.1	7 鉄骨工事	<p>1 鉄骨製作工場</p> <p>鉄骨製作工場の加工能力</p> <ul style="list-style-type: none"> 国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 ()グレード以上 監督職員の承諾する工場 <p>7.1.3</p> <p>2 施工管理技術者</p> <p>※適用する</p> <p>7.1.3 (7.1.4)</p> <p>3 鋼材</p> <p>材質等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所(主要な部分)</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>JIS規格による</td> </tr> </tbody> </table> <p>形状及び寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>7.2.1</p> <p>板厚方向に引張力を受ける鋼材の試験</p> <ul style="list-style-type: none"> 行う(適用箇所:) 行わない <p>7.2.10</p> <p>4 高力ボルト</p> <p>高力ボルトの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> トルシア形高力ボルト JIS形高力ボルト 溶融亜鉛めっき高力ボルト 建築基準法に基づき認定を受けた高力ボルト <p>7.2.2</p> <p>ボルトの寸法</p> <p>ねじの呼び</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>7.2.2</p> <p>ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>7.3.2</p> <p>摩擦面の性能及び処理</p> <ul style="list-style-type: none"> すべり試験 試験の方法等 図示による <p>7.4.2</p> <p>溶融亜鉛めっき面の摩擦面の処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準仕様書7.12.5(1)(7)、(4)による <p>7.12.5</p> <p>JIS 形高力ボルトの締付け(本締め)</p> <p>ナット回転法の場合で、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>7.4.7</p> <p>5 普通ボルト</p> <p>ボルト及びナットの材料</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準仕様書 表7.2.3による <p>7.2.3</p> <p>ボルトの形状及び寸法</p> <p>ねじの呼び</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>7.2.3</p> <p>ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>7.3.2</p> <p>母屋又は鋼線の取付けに使用するボルトの孔径</p> <p>※ねじの呼び径+1.0mm</p> <p>7.3.8</p> <p>6 アンカーボルト</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> 構造用アンカーボルト ABR400 ABR490 建方用アンカーボルト SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 標準仕様書表7.2.3による <p>7.2.4</p> <p>ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>7.3.2</p> <p>7 溶接材料</p> <p>溶接材料</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準仕様書 7.2.5(1)(2)による 図示による <p>7.2.5</p> <p>8 ターンバックル</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト 建築用ターンバックル鋼 ※割替式 ねじの呼び等 図示による <p>7.2.6</p> <p>9 床構造用デッキプレート</p> <p>材質、形状及び寸法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> <th>材質・形状・寸法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デッキプレート単独の構造</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構造</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>7.2.7</p> <p>鉄骨部材への溶接方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>7.7.8</p>	種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規格			JIS規格による			JIS規格による			JIS規格による			JIS規格による			JIS規格による			JIS規格による	種類	適用箇所	材質・形状・寸法	備考	デッキプレート単独の構造				デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構造								10 スタッド	種類等	呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所	・16			・19			・22			節	全て			検査水準	※第6水準			種類	材料・工法	耐火性能(時間)	適用箇所(部位・部分)	耐火材吹付け	乾式吹付けロックウール				半乾式吹付けロックウール				湿式ロックウール											耐火板張り	繊維混入けい酸カルシウム板							耐火材巻付け	高断熱ロックウール							ラス張り				モルタル塗り				耐火塗料				8 コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事	1 補強コンクリートブロック造	断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	呼び寸法(mm)		化粧の有無	適用箇所	備考	長さ	高さ	※空潤ブロック(16)				・無・有							・無・有			断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	呼び寸法(mm)		化粧の有無	適用箇所	備考	長さ	高さ	※空潤ブロック(16)	・120			・無・有	※表7.3.1			・150			・無・有			パネルの区分							用途	形状	表面加工	単位荷重(N/m ²)	厚さ(mm)	幅及び長さ(mm)	耐火性能(時間)	・外壁用	・一般	・平		・100		・有(1)		・コーナー	・意匠				・A種・B種	・間仕切壁用	・一般	・平		・100		・有(1)		・コーナー	・意匠				・無	・屋根版用	—	—		・100		・有(0.5)							・F種	・床版用	—	—		・100		・有()							・無	パネルの種類	形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法の種類	備考	・外壁	・F(フラットパネル)	・50	・60		・A種	・パネル	・D(デザインパネル)	・50	・60	600	・B種		・T(タイルベースパネル)					・間仕切壁	・F(フラットパネル)	・50	・60		・B種	・パネル	・D(デザインパネル)	・50	・60	600	・C種		・T(タイルベースパネル)	60				令和6年度	縮尺	A-06
	種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規格																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			JIS規格による																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			JIS規格による																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			JIS規格による																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			JIS規格による																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			JIS規格による																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			JIS規格による																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	種類	適用箇所	材質・形状・寸法	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	デッキプレート単独の構造																																																																																																																																																																																																																																																																																						
デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構造																																																																																																																																																																																																																																																																																							
呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・16																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・19																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・22																																																																																																																																																																																																																																																																																							
節	全て																																																																																																																																																																																																																																																																																						
検査水準	※第6水準																																																																																																																																																																																																																																																																																						
種類	材料・工法	耐火性能(時間)	適用箇所(部位・部分)																																																																																																																																																																																																																																																																																				
耐火材吹付け	乾式吹付けロックウール																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	半乾式吹付けロックウール																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	湿式ロックウール																																																																																																																																																																																																																																																																																						
耐火板張り	繊維混入けい酸カルシウム板																																																																																																																																																																																																																																																																																						
耐火材巻付け	高断熱ロックウール																																																																																																																																																																																																																																																																																						
ラス張り																																																																																																																																																																																																																																																																																							
モルタル塗り																																																																																																																																																																																																																																																																																							
耐火塗料																																																																																																																																																																																																																																																																																							
断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	呼び寸法(mm)		化粧の有無	適用箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		長さ	高さ																																																																																																																																																																																																																																																																																				
※空潤ブロック(16)				・無・有																																																																																																																																																																																																																																																																																			
				・無・有																																																																																																																																																																																																																																																																																			
断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	呼び寸法(mm)		化粧の有無	適用箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		長さ	高さ																																																																																																																																																																																																																																																																																				
※空潤ブロック(16)	・120			・無・有	※表7.3.1																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・150			・無・有																																																																																																																																																																																																																																																																																			
パネルの区分																																																																																																																																																																																																																																																																																							
用途	形状	表面加工	単位荷重(N/m ²)	厚さ(mm)	幅及び長さ(mm)	耐火性能(時間)																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・外壁用	・一般	・平		・100		・有(1)																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・コーナー	・意匠				・A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・間仕切壁用	・一般	・平		・100		・有(1)																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・コーナー	・意匠				・無																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・屋根版用	—	—		・100		・有(0.5)																																																																																																																																																																																																																																																																																	
						・F種																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・床版用	—	—		・100		・有()																																																																																																																																																																																																																																																																																	
						・無																																																																																																																																																																																																																																																																																	
パネルの種類	形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法の種類	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・外壁	・F(フラットパネル)	・50	・60		・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・パネル	・D(デザインパネル)	・50	・60	600	・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・T(タイルベースパネル)																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・間仕切壁	・F(フラットパネル)	・50	・60		・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・パネル	・D(デザインパネル)	・50	・60	600	・C種																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・T(タイルベースパネル)	60																																																																																																																																																																																																																																																																																					
名称工事名	携西東小学校屋外プール改築工事		意匠																																																																																																																																																																																																																																																																																				
図名	建築工事特記仕様書3																																																																																																																																																																																																																																																																																						

⑨ 防水工事	1 アスファルト防水 (9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3～表9.2.6)	<p>屋根保護防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>絶縁用シート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A-1</td> <td></td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4">※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットヤーンクロス70g/㎡程度</td> </tr> <tr> <td>・A-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AI-1</td> <td></td> <td rowspan="6">(厚さ) mm</td> <td rowspan="6">※フラットヤーンクロス 70g/㎡程度</td> </tr> <tr> <td>・AI-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AI-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BI-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BI-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2) ※標準仕様書 表9.2.3及び表9.2.4による 用途による区分 材料構成による区分 ・R種 ・N種 厚さ mm以上</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2) ※標準仕様書 表9.2.5及び表9.2.6による 用途による区分 材料構成による区分 ・R種 ・N種 厚さ mm以上</p> <p>押え金物の材質及び形状寸法 (9.2.2) ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度</p> <p>立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置 (表9.2.4)(9.2.6) 適用する ・適用しない</p> <p>屋根露出防水 防水層の種類 (9.2.2)(9.2.3)(表9.2.7)(表9.2.8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・D-1</td> <td></td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4">※製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>・D-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D-4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・DI-1</td> <td></td> <td rowspan="2">(厚さ) 25mm</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・DI-2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2) ※標準仕様書 表9.2.8による 用途による区分 材料構成による区分 ・R種 ・N種 厚さ mm以上</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2) ※標準仕様書 表9.2.7及び表9.2.8による 用途による区分 材料構成による区分 ・R種 ・N種 厚さ mm以上</p> <p>押え金物の材質及び形状寸法 (9.2.2) ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度</p> <p>絶縁工法及び断熱絶縁工法の脱気装置の種類及び設置数量 (9.2.3) 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 個</p> <p>屋内防水 (9.2.2)(9.2.3)(表9.2.9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・E-1</td> <td></td> <td>・E-2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>保護層 ・設ける (※図示) ・設けない</p> <p>E-1の工程3を行う場合の部位 (表9.2.9) ※貯水槽、浴槽等の常時水に接する部位</p> <p>施工 (9.2.4)</p> <p>防水層の下地のモルタル塗り (9.2.4) 適用する (施工範囲 - 図示) 適用しない</p> <p>防水層の下地、立上りコンクリート打放し仕上げ (9.2.4) ※標準仕様書 表6.2.4の8種</p> <p>絶縁断熱工法のルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 (9.2.4) 図示による</p> <p>保護層等の施工 (9.2.5)</p> <p>平場の保護コンクリートの厚さ (9.2.5) こて仕上げ ※水下 80mm以上 床タイル張り ※水下 60mm以上</p> <p>立上り部の保護工法 (9.2.5)</p> <p>乾式保護材 (9.2.2) 乾式保護材の材料 ・コンクリート押え ・モルタル押え (屋内等) ・れんが押え (図示) れんがの材料 ・JIS R 1250 (普通れんが及び化粧れんが)</p> <p>屋上排水溝の設置 (9.2.5) 図示による</p>	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	・A-1			※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットヤーンクロス70g/㎡程度	・A-2		・A-3		・B-1		・B-2				・AI-1		(厚さ) mm	※フラットヤーンクロス 70g/㎡程度	・AI-2		・AI-3		・BI-1		・BI-2				種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		種類	使用量	・D-1				※製造所の仕様による	・D-2		・D-3		・D-4		・DI-1		(厚さ) 25mm			・DI-2		種別	施工箇所	種別	施工箇所	・E-1		・E-2		<p>② 改質アスファルトシート防水</p> <p>防水層の種類 (9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1)(表9.3.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th rowspan="2">防湿層</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・AS-T1</td> <td></td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4">◎遮熱仕様</td> <td rowspan="4">※製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>・AS-T2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-T3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-T4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎AS-J1</td> <td>屋根</td> <td rowspan="2">(種類)</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・AS1-T1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS1-J1</td> <td></td> <td>(厚さ) mm</td> <td>・設ける ・設けない</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9.3.2) ※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9.3.2) ※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9.3.2) ※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による</p> <p>押え金物の材質及び形状寸法 (9.3.2) ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度</p> <p>屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 (9.3.3) 種類 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 個</p>	種別	施工箇所	断熱材	防湿層	仕上塗料		種類	使用量	・AS-T1				◎遮熱仕様	※製造所の仕様による	・AS-T2		・AS-T3		・AS-T4		◎AS-J1	屋根	(種類)				・AS1-T1		・AS1-J1		(厚さ) mm	・設ける ・設けない			<p>5 ケイ酸系塗布膜防水 (9.6.4) 防水層の下地 (壁及び天井) ※コンクリート打放し仕上げ (標準仕様書 表6.2.4のB種)</p> <p>下地処理 (9.6.4) コンクリートの打継面等の処理 ※標準仕様書9.6.4(2)(7)による 標準仕様書9.6.4(2)(4)及び(7)以外の下地処理 ・図示による</p> <p>材料 (9.7.2) 種類及び施工箇所 ※下表以外は、標準仕様書 表9.7.1による ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類 (記号)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>シーリング材の目地寸法 (9.7.3) ※標準仕様書9.7.3(1)による</p> <p>接着性試験 (9.7.5) ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験</p>	施工箇所	シーリング材の種類 (記号)									<p>目地 一般目地 目地幅 (mm) ※6以上 シーリング材 ・適用する ・適用しない (10.4.3)</p> <p>伸縮調整目地 位置 ※6mm程度ごと ・図示による シーリング材の目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 ・図示による</p> <p>5 外壁乾式工法 (10.2.2) 外壁乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等 ※標準仕様書 表10.2.4による 方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式 ・図示による</p> <p>アンカーの材質及び寸法 (10.2.2) 材質：※ステンレス (SUS304) 製 寸法： あと施工アンカーの種類、材質及び寸法 種類： 材質： 寸法： 上記以外の金物の材質、形状及び寸法 ・図示による</p> <p>石材の厚さ (mm) (10.5.2) だば用の穴の位置 ※標準仕様書10.5.2(2)(7)による ・図示による 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・図示による</p> <p>目地 目地幅 (mm) ※8以上 (10.5.3) シーリング材 ・適用する (※標準仕様書9.7による ・図示) ・適用しない</p> <p>6 床及び階段の石張り (10.6.2)(10.6.3) 石材の厚さ (mm) 床 ()、階段 () (10.6.2)(10.6.3) 床石張り 浸透性吸水防止剤 ・適用する ・適用しない 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 階段張り 石裏面処理 ・適用する ・適用しない (10.6.3) 目地 一般目地 目地幅 (mm) (10.6.2)(10.6.3) シーリング材 ・適用する ・適用しない 伸縮調整目地 位置 ※床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6m程度ごと及び他部材との取り合い部 ・図示による シーリング材の目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 ・図示による</p> <p>7 笠木、甲板等の石張り (10.7.2)(10.2.2) 取付け工法 ・湿式工法 ・乾式工法 湿式工法の取付け金物 ・標準仕様書10.2.2(1)による ・図示による 乾式工法の取付け金物 ・標準仕様書10.2.2(2)による ・図示による 方式・スライド方式 ・ロッキング方式 特殊部位用金物 ・標準仕様書10.2.2(3)による ・図示による ファスナー アンカーの材質及び寸法 (10.2.2) 湿式工法の材質：※ステンレス (SUS304) 製 寸法： 乾式工法の材質：※SS400 寸法： あと施工アンカーの種類、材質及び寸法 種類： 材質： 寸法： 上記以外の金物の材質、形状及び寸法 ・図示による</p> <p>石材の厚さ (mm) (10.7.2) 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 乾式工法の場合の取付け代 ※標準仕様書10.5.3(2)による</p> <p>目地の補強用モルタル ・適用する ・適用しない (10.7.2)</p> <p>湿式工法の場合 (10.3.3) 一般目地 目地幅 (mm) ※6以上 シーリング材 ・適用する ・適用しない</p> <p>伸縮調整目地 位置 ※標準仕様書 表11.1.1による ・図示による シーリング材の目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 ・図示による</p> <p>乾式工法の場合 (10.5.3) 目地幅 (mm) ※8以上 シーリング材 ・適用する (※標準仕様書9.7による ・図示) ・適用しない</p> <p>8 開て板 (10.7.3) 石材の厚さ (mm) ※40</p>																	
		種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート																																																																																																																														
・A-1			※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットヤーンクロス70g/㎡程度																																																																																																																																
・A-2																																																																																																																																			
・A-3																																																																																																																																			
・B-1																																																																																																																																			
・B-2																																																																																																																																			
・AI-1		(厚さ) mm	※フラットヤーンクロス 70g/㎡程度																																																																																																																																
・AI-2																																																																																																																																			
・AI-3																																																																																																																																			
・BI-1																																																																																																																																			
・BI-2																																																																																																																																			
種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料																																																																																																																																
			種類	使用量																																																																																																																															
・D-1				※製造所の仕様による																																																																																																																															
・D-2																																																																																																																																			
・D-3																																																																																																																																			
・D-4																																																																																																																																			
・DI-1		(厚さ) 25mm																																																																																																																																	
・DI-2																																																																																																																																			
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																																																																																																
・E-1		・E-2																																																																																																																																	
種別	施工箇所	断熱材	防湿層	仕上塗料																																																																																																																															
				種類	使用量																																																																																																																														
・AS-T1				◎遮熱仕様	※製造所の仕様による																																																																																																																														
・AS-T2																																																																																																																																			
・AS-T3																																																																																																																																			
・AS-T4																																																																																																																																			
◎AS-J1	屋根	(種類)																																																																																																																																	
・AS1-T1																																																																																																																																			
・AS1-J1		(厚さ) mm	・設ける ・設けない																																																																																																																																
施工箇所	シーリング材の種類 (記号)																																																																																																																																		
<p>10 石工事</p> <p>1 施工 (10.1.3) 石材の削付け ・図示による</p> <p>2 石材等 (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>岩石の種類</th> <th>形状及び寸法</th> <th>表面仕上げの種類</th> <th>バフ仕上げの有無</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>テラゾブロック (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ(mm)</th> <th>形状による区分</th> <th>仕上げ面による区分</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面仕上げの種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・平もの ・役もの</td> <td>・片面 ・両面</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>テラゾタイル</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ(mm)</th> <th>寸法による区分(mm)</th> <th>表面仕上げの種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・300/300 ・400/400</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>取り付用モルタル、既設合の目地用モルタル、浸透性吸水防止剤、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する充填材料 ※専門工事業者の指定する製品 (10.2.3)</p> <p>3 外壁湿式工法 (10.2.2) 受金物 材質 ※ステンレス (SUS304) 製 形状及び寸法 ※ L-75×75×6 (mm) (・長さ=100mm ・長さ=150mm)</p> <p>アンカーの材質及び寸法 (10.2.2) 材質：※SS400 寸法： あと施工アンカーの種類、材質及び寸法 種類： 材質： 寸法： 上記以外の金物の材質、形状及び寸法 ・図示による</p> <p>ドレンパイプの材質 (10.2.3) ・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ</p> <p>石材の厚さ (mm) (10.3.2) 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない</p> <p>下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 (10.3.3) ・流し筋工法 ・あと施工アンカー工法</p> <p>目地 一般目地 目地幅 (mm) ※6以上 (10.3.3) シーリング材 ・適用する ・適用しない</p> <p>伸縮調整目地 位置 ※標準仕様書 表11.1.1による ・図示による シーリング材の目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 ・図示による</p> <p>4 内壁空積工法 (10.2.2) 受金物 材質 ※ステンレス (SUS304) 製 形状及び寸法 ※ L-75×75×6 (mm) (・長さ=100mm ・長さ=150mm)</p> <p>アンカーの材質及び寸法 (10.2.2) 材質：※SS400 寸法： あと施工アンカーの種類、材質及び寸法 種類： 材質： 寸法： 上記以外の金物の材質、形状及び寸法 ・図示による</p> <p>石材の厚さ (mm) (10.4.2) 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない</p> <p>下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 (10.4.3) ・あと施工アンカー工法</p>	施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法	表面仕上げの種類	バフ仕上げの有無	備考													施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法(mm)	表面仕上げの種類	備考		※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面				施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分(mm)	表面仕上げの種類	備考		※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300/300 ・400/400			<p>3 合成高分子系ルーフィングシート防水</p> <p>防水層の種類 (9.4.2~9.4.4)(表9.4.1~表9.4.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">可塑剤移行防止シートの材質</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th rowspan="2">歩行の仕様</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・S-F1</td> <td></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">※非歩行用 ・軽歩行用</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">※製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>・S-F2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S-M1</td> <td></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">※製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>・S-M2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SI-F1</td> <td></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">(種類) (厚さ) mm</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">※製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>・SI-F2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SI-M1</td> <td></td> <td rowspan="2">※発泡ポリエチレンシート</td> <td rowspan="2">(種類) (厚さ) mm</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">※製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>・SI-M2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>屋内防水層の種類 (9.4.2~9.4.4)(表9.4.1~表9.4.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">保護層</th> <th rowspan="2">立上り部の保護モルタル塗り厚さ</th> </tr> <tr> <th>平場のモルタル塗り 塗厚 (mm)</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・S-C1</td> <td></td> <td></td> <td>・床塗り ・下地モルタル塗り</td> <td>※7mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>ルーフィングシートの種類及び厚さ (9.4.2) ※標準仕様書表9.4.1から表9.4.3による</p> <p>固定金具の材質及び形状 (9.4.2) 材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ (mm) ※0.4以上</p> <p>接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 (9.4.3) 種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 個</p> <p>断熱工法 (SI-M1、SI-M2の場合)の防湿用フィルム (表9.4.2) ・設置する ・設置しない</p> <p>接着工法の場合のP Cコンクリート部材防水下地の目地処理 (9.4.4) 行う (図示) ・行わない</p> <p>P Cコンクリート下地の入隅部の増張り (9.4.4) シーリング材 ・適用する ・適用しない</p> <p>機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け (9.4.4) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・図示による</p> <p>防水層の種類 (9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">保護層</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・X-1</td> <td></td> <td></td> <td>※製造所の仕様による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・X-2</td> <td></td> <td></td> <td>※製造所の仕様による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・Y-1</td> <td>・地下外壁防水</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・Y-2</td> <td>・屋内防水</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ウレタンゴム系塗膜防水 X-1 (絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量 (9.5.3) 種類 ※主材料の製造所の仕様 設置数量 ※主材料の製造所の仕様 個</p>	種別	施工箇所	可塑剤移行防止シートの材質	断熱材	歩行の仕様	仕上塗料		種類	使用量	・S-F1				※非歩行用 ・軽歩行用		※製造所の仕様による	・S-F2		・S-M1						※製造所の仕様による	・S-M2		・SI-F1			(種類) (厚さ) mm			※製造所の仕様による	・SI-F2		・SI-M1		※発泡ポリエチレンシート	(種類) (厚さ) mm			※製造所の仕様による	・SI-M2		種別	施工箇所	保護層		立上り部の保護モルタル塗り厚さ	平場のモルタル塗り 塗厚 (mm)	工法	・S-C1			・床塗り ・下地モルタル塗り	※7mm以下	種別	施工箇所	仕上塗料		保護層	種類	使用量	・X-1			※製造所の仕様による		・X-2			※製造所の仕様による		・Y-1	・地下外壁防水				・Y-2	・屋内防水			
施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法	表面仕上げの種類	バフ仕上げの有無	備考																																																																																																																														
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法(mm)	表面仕上げの種類	備考																																																																																																																												
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面																																																																																																																															
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分(mm)	表面仕上げの種類	備考																																																																																																																														
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300/300 ・400/400																																																																																																																																
種別	施工箇所	可塑剤移行防止シートの材質	断熱材	歩行の仕様	仕上塗料																																																																																																																														
					種類	使用量																																																																																																																													
・S-F1				※非歩行用 ・軽歩行用		※製造所の仕様による																																																																																																																													
・S-F2																																																																																																																																			
・S-M1						※製造所の仕様による																																																																																																																													
・S-M2																																																																																																																																			
・SI-F1			(種類) (厚さ) mm			※製造所の仕様による																																																																																																																													
・SI-F2																																																																																																																																			
・SI-M1		※発泡ポリエチレンシート	(種類) (厚さ) mm			※製造所の仕様による																																																																																																																													
・SI-M2																																																																																																																																			
種別	施工箇所	保護層		立上り部の保護モルタル塗り厚さ																																																																																																																															
		平場のモルタル塗り 塗厚 (mm)	工法																																																																																																																																
・S-C1			・床塗り ・下地モルタル塗り	※7mm以下																																																																																																																															
種別	施工箇所	仕上塗料		保護層																																																																																																																															
		種類	使用量																																																																																																																																
・X-1			※製造所の仕様による																																																																																																																																
・X-2			※製造所の仕様による																																																																																																																																
・Y-1	・地下外壁防水																																																																																																																																		
・Y-2	・屋内防水																																																																																																																																		

11 タイル工事	1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地	位置 ※標準仕様書 表11.1.1による ・図示による	(11.1.3)
	2 見本焼、試験施工	見本焼き ・ 行う ・ 行わない 試験張り ・ 行う ・ 行わない	(11.1.4)
	3 セメントモルタルによるタイル張り	タイルの形状、寸法等	(11.2.2) (11.2.3) (11.2.6)
	4 有機系接着剤によるタイル張り	タイルの形状、寸法等	(11.3.2) (11.3.4) (11.3.7)

12 木工工事	1 施工一般	ホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書12.1(7)のいずれかによる	(12.2.1)
	2 製材	・「製材の日本農林規格」による下地用製材 ・「製材の日本農林規格」による造作用製材 ・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 ・「製材の日本農林規格」以外の製材 ・「集材材の日本農林規格」による造作用集材材	(12.2.1) (表12.2.1) (表12.2.1) (表12.2.1) (表12.2.1) (表12.2.1) (表12.2.1) (表12.2.1) (表12.2.1)
	3 造作用集材材	・「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材 ・「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 ・「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 ・「集材材の日本農林規格」による造作用集材材	(12.2.1) (12.2.1) (12.2.1) (12.2.1)
	4 有機系接着剤によるタイル張り	タイルの形状、寸法等	(11.3.2) (11.3.4) (11.3.7)

4 造作用単板積層材	・「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材	(12.2.1)
	・「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集材材	(12.2.1)
	・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材	(12.2.1) (12.3.1)
	・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材	(12.2.1) (12.3.2)

6 接合具等	造作材の化粧面の釘打ち ・適用する(※隠し釘打ち) ・適用しない 諸金物の形状、寸法及び材質 ※標準仕様書12.2(2)(7)による 接着剤(木れんが用接着を含む)のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	(12.2.2) (表12.2.3~表12.2.5) (12.2.2) (12.2.3)
	7 防蟻・防蟻処理	・薬剤による防蟻・防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位: ・工場における薬剤の加圧注入処理による防蟻・防蟻処理 適用部位: ・薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理 適用部位: ・合板等の加圧注入処理等による防蟻・防蟻処理 適用部位: ・薬剤の接着剤への混入による防蟻・防蟻処理 適用部位: ・合板等の加圧注入処理等による防蟻・防蟻処理 適用部位:
	8 間仕切軸組に用いる木材	※(製材を用いる場合) 杉又は松
	9 床組に用いる木材	※(製材を用いる場合) 杉又は松

13 屋根及び びと工事	1 長尺金属板葺	材料 ・アスファルトルーフィング940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 ・一般タイプ ・複層基材タイプ ・粘着層付タイプ	(13.2.2) (13.2.3) (表13.2.1)
	2 折板葺	材料 ・鋼板製 ・鋼板製 ・鋼板製	(13.3.2) (表13.2.1)
	3 粘土瓦葺	材料 ・鋼管製 ・鋼管製 ・鋼管製	(13.4.2)
	4 とい	材料 ・鋼管製 ・鋼管製 ・鋼管製	(13.5.2) (表13.5.1)

⑭ 金属工事	1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1)(表14.2.1)	表面処理 種別 施工箇所(成型板、空木、建具以外) 色合い等 ・AB-1種 ・AB-2種 ・AC-1種 ・AC-2種 ・BA-1種 ・BA-2種 ・BB-1種 ・BB-2種 ・BC-1種 ・BC-2種 ・C種 ・常温乾燥機形の塗装の場合() 陽極酸化皮膜の着色方法 (14.2.1) ※二次電解着色 ・ 三次電解着色	⑮ 左官工事	1 ラス系下地 (15.2.4)	下地の種類 (15.2.4) ・通気工法(・二層下地 ・単層下地) ・直張り工法(・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地) ・図示による(外張断熱工法で断熱材の外側に野縁を施工する形式の通気工法を行う場合) 材料 (15.2.4) ラス材及び補強用平ラス 材料記号(※K) () 種類及び単位面積当たりの質量 ・二層下地通気構法 ・波形ラス(W700) ・こぶラス(K800) ・力骨付きラス(BP700) ・単層下地通気構法 ・リプラスC(RC800)にターボン紙などの裏打ち材と一体化したラス ラスシートの山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分 ※LS4(耐力壁の場合) ・ ステープルの形状及び寸法 リプラス ※L925TS以上(リプラスC(RC800)の場合) ・ 波形ラス ※L1019JS以上(波形ラス(W700)の場合) ・	・厚付け仕上塗材 (表15.6.1)(その2)	⑯ 建具工事	1 防火戸 (16.1.3)	※建具表による ・ ・防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸について、連動させる装置等 ・建具表による ・
	2 鉄鋼の垂鉛めっき (14.2.2)(表14.2.2)	鉄鋼の垂鉛めっき (14.2.2)(表14.2.2) 表面処理方法 種別 施工箇所(手すり、タラップ以外) 溶融垂鉛めっき 電気垂鉛めっき		2 セッコウボード、その他のボード下地 (15.2.4)	二層下地通気構法 換気口部の措置 ※講ずる ・ 直張り工法(ラスシートモルタル下地の場合) 建築基準法に基づく耐力壁として使用する場合のラスシートの施工 ・図示による ・	・外装厚塗材C ・外装厚塗材E		⑯ 建具工事	2 見本の製作等 (16.1.4)
⑬ 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2)(表14.4.1)	野縁等の種類 (14.4.2)(表14.4.1) 屋外 ※25型 ・19型 屋内 ※19型 ・25型 ・屋外の場合の形式及び寸法 野縁受、つりボルト、インサートの間隔及び周辺部端からの距離 ・図示による ・ 野縁の間隔 ・図示による ・ 工法 ・つりボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ・図示による ・ ・天井のふところ高3.0mを超える場合 補強方法 ・図示による ・ ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所、補強方法 ・図示による ・ ・屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 補強箇所、補強方法 ・図示による ・	3 こまい下地 (15.2.6)	建築基準法に基づく耐力壁の指定 ・なし ・あり	・内装厚塗材C ・内装厚塗材E	⑯ 建具工事	3 防犯建物部品 (16.1.6)	・適用する(適用箇所 ・建具表による) ・ ・適用しない		
⑭ 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)	スタッド、ランナーの種類 (14.5.3) ※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示による スタッドの高さが5.0mを超える場合 ・図示による ・ 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 (14.5.4) ※標準仕様書表14.5.4(5)による ・図示による	4 木ずり下地 (15.2.7)	材料 木ずり用小幅板の材種 ※杉(心去り材) ・	・内装厚塗材L ・内装厚塗材G		4 アルミニウム製建具 (16.2.2)	性能値等(建具符号、枠の見込み寸法は建具表による) (16.2.2) 耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・建具表による ・図示による 外部に面する建具の種類 ※標準仕様書表16.2.1、表16.2.2による ◎A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・ ・防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級(・) ・断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級(・) 表面処理 (16.2.4) 外部に面する建具 (表14.2.1) 種別 ・BB-1種 ◎BB-2種 着色 ◎標準色 ・特注色 (表14.2.1) 屋内の建具 種別 ・BB-1種 ・BB-2種 着色 ・標準色 ・特注色 ステンレス鋼板の種類 (16.2.3)(16.6.3) ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・ ステンレス製くつづりの仕上げ (16.2.4)(16.6.4) ※H L ・ 結露水の処理方法 ・図示による ・ (16.2.4) 水切り板、せん板 ◎図示による ・ (16.2.5) 木下地の内付け建具 ・適用する(建具の製造所の仕様) ・適用しない (16.2.5)		
5 金属成形板張り (14.6.2)	種別 ・図示による ・ 表面処理 ・図示による ・	⑯ モルタル塗り (15.3.2)	モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料 (15.3.2) 既製目地材 ・設ける 施工箇所() 形状(・図示 ・) (15.3.2) 床の目地 (15.3.5) ・設ける 目地割 ※2㎡程度(最大目地間隔3m程度) ・ 種類 ※押し目地 ・ ◎設けない 外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ・行う ◎行わない	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ◎外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S ・内装薄塗材C ・内装薄塗材L ・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E ・内装薄塗材W	⑯ 建具工事	5 鋼製建具 (16.3.2)	性能値等(建具符号、枠の見込み寸法は建具表による) (16.3.2) 耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・建具表による ・ 外部に面する建具の種類 ※標準仕様書表16.3.1、表16.3.2による ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・ ・防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 ・T-1種 ・T-2種 ・断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 ※外部に面する建具は標準仕様書表16.3.3による(等級 ・) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ・ ガラス ※複層ガラス ・ (16.3.3) ステンレス製くつづりの仕上げ (16.3.4)(16.4.4) ※H L ・ 表面色 ・標準色 ・特注色 (16.3.4) 水切り板、せん板 ・図示による ・ (16.3.5)(16.2.5) 木下地の内付け建具 ・適用する(建具の製造所の仕様) ・適用しない (16.3.5)(16.2.5)		
⑮ アルミニウム製空木 (14.7.2)(表14.7.1)	部材の種類 (14.7.2)(表14.7.1) 種類 ・250形 ・300形 ・350形 ◎275形 表面処理 種別(B) 種 (14.7.2)(表14.2.1) 色合い等 ◎標準色 () ・特注色 () 空木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・図示による ・	9 こまい壁塗り (15.11.2)	材料 (15.6.2) ◎薄付け仕上塗材 (表15.6.1)(その1) 呼び名 仕上げの形状 工法 吸放湿性 防火材料 ・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ◎外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S ・内装薄塗材C ・内装薄塗材L ・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E ・内装薄塗材W	・複層仕上塗材 (表15.6.1)(その3) ・軽量骨材仕上塗材 (表15.6.1)(その2) 複合仕上げ塗材の上塗材 (15.6.2)(表15.6.2) 樹脂 ◎アクリル系 ・シリカ系 ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系 ・ふっ素系 外観 ◎つやあり ・つやなし ・メタリック 溶媒 ・溶剤系 ・弱溶剤系 ◎水系 7 マスチック塗材塗り (15.7.2)(表15.7.1) 種別 ・A種 ・B種 8 しっくい塗り (15.10.1) 下地の種類() (15.10.1) ・標準仕様書表15.10.1による場合以外の下地への適用 () 材料 (15.10.2) ・標準仕様書表15.10.2(1)(ア) ・(イ)による色しっくい ・適用する ・適用しない 調合及び塗厚 (15.10.3)(表15.10.1~表15.10.4) 既調合しっくい ※標準仕様書表15.10.3(1)による ・ 現場調合しっくい ※標準仕様書表15.10.3(2)による ・ 既調合しっくいの上塗り仕上げ工法 (15.10.4)(表15.10.5) ・なで切り仕上げ ・パターン仕上げ 9 こまい壁塗り (15.11.2) 材料 (15.11.2) 土壁用のりの種類 ※つまた ・ふのり ・ぎんなんそう ・粉末海藻 砂壁用のりの種類 ※ふのり ・つまた ・こんやくのり ・にかわ ・合成高分子系混和剤 色土の種類 ・土物仕上げ() ・大津仕上げ() 色砂の種類 ・天然砂と岩石の砕砂 ・人工的に着色・製造したもの 調合 下塗りの調合 ※標準仕様書表15.11.2による ・ (15.11.3) 塗厚 ※標準仕様書表15.11.8による ・ (15.11.4) ・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合 ・図示による ・ 工程 こまい壁 ※A種 ・B種 (15.11.5)(表15.11.9) 土物仕上げの工法 (15.11.7) ・土物仕上げ工法 ・水ごね土物1工法 ・水ごね土物2工法 ・のりさし土物工法 ・のりごね土物工法 ・砂壁仕上げ工法 ・切返し仕上げ工法 大津仕上げの工法 (15.11.8) ・普通大津仕上げ工法 ・大津みがき工法 ちりじゃくり ・図示による ・ (15.11.7)(15.11.8) 10 ロックウール吹付け (15.12.2)	⑯ 建具工事	6 樹脂製建具 (16.3.2)	性能値等(建具符号、枠の見込み寸法は建具表による) (16.3.2) 耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・建具表による ・ 外部に面する建具の種類 ※標準仕様書表16.3.1、表16.3.2による ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・ ・防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 ・T-1種 ・T-2種 ・断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 ※外部に面する建具は標準仕様書表16.3.3による(等級 ・) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ・ ガラス ※複層ガラス ・ (16.3.3) ステンレス製くつづりの仕上げ (16.3.4)(16.4.4) ※H L ・ 表面色 ・標準色 ・特注色 (16.3.4) 水切り板、せん板 ・図示による ・ (16.3.5)(16.2.5) 木下地の内付け建具 ・適用する(建具の製造所の仕様) ・適用しない (16.3.5)(16.2.5)		

Table with 17 rows and multiple columns. Columns include item number, name, and detailed specifications. Items include: 17 間知石及びコンクリート間知ブロック積み積み, 18 ブラインドボックス及びカーテンボックス, 19 天井点検口, 20 床点検口, 21 耐震スリット, 22 止水板, 23 エキスパンションジョイント金物, 24 くつふきマット, 25 流し台ユニット, 26 旗竿, 27 旗竿受金物, 28 車止め支柱, 29 フェンス, 30 鋼製書架及び物品棚.

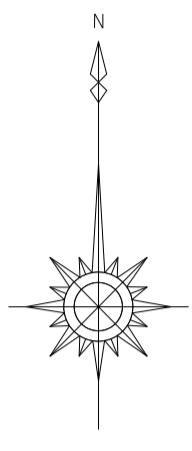
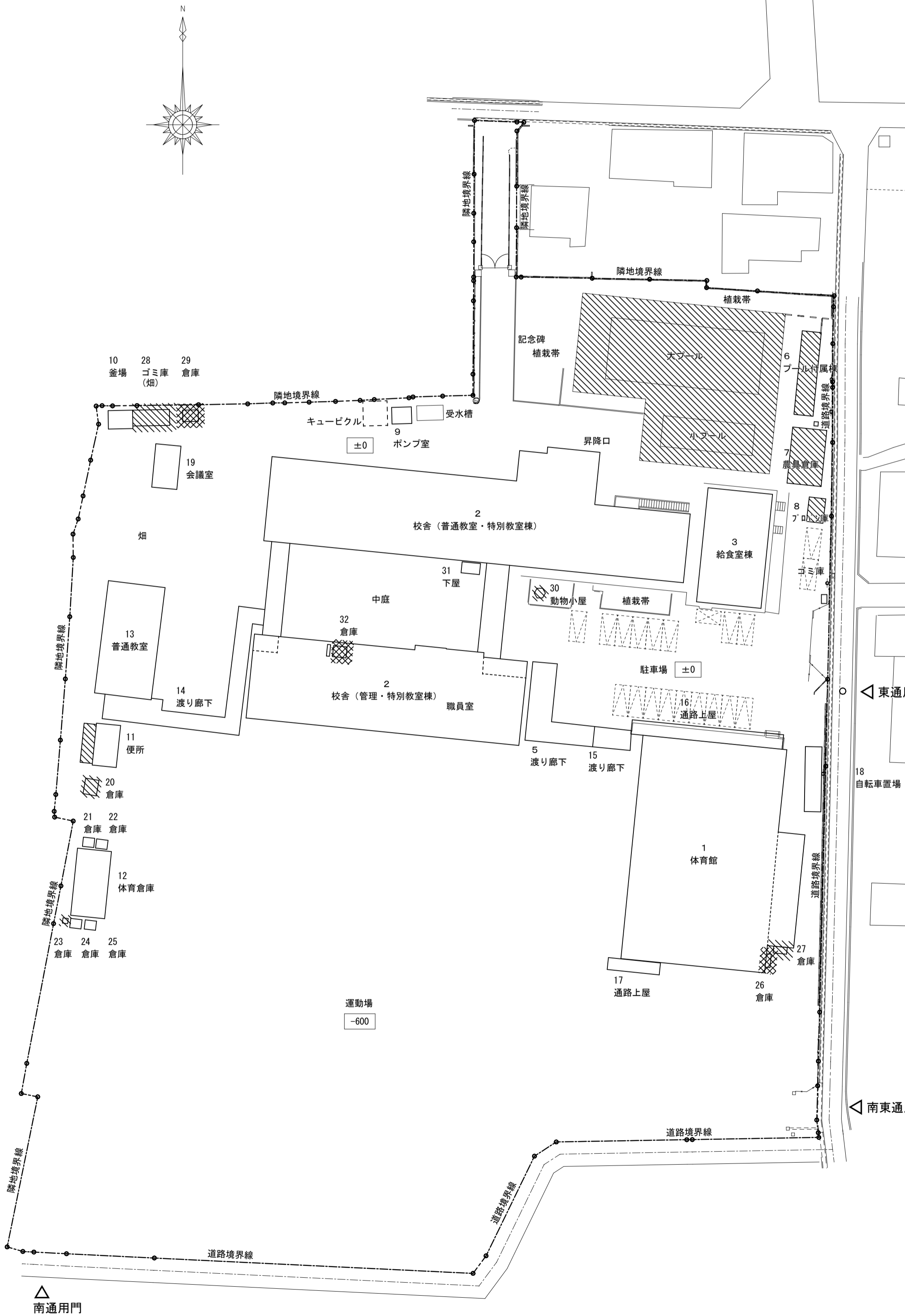
Table with 10 rows and multiple columns. Columns include item number, name, and detailed specifications. Items include: 31 屋内掲示板, 32 洗面カウンター, 33 防煙垂れ壁, 34 収納家具, 35 屋外掲示板, 36 敷地境界石, 21 排水工事, 2 鉄製ふた, 3 グレーチング, 4 街きよ、緑石、側溝.

Table with 10 rows and multiple columns. Columns include item number, name, and detailed specifications. Items include: 1 路床, 2 路盤, 3 アスファルト舗装, 4 コンクリート舗装, 5 カラー舗装, 6 透水性アスファルト舗装, 7 ブロック系舗装.

Table with 10 rows and multiple columns. Columns include item number, name, and detailed specifications. Items include: 8 砂利敷き, 23 植栽及び屋上緑化工事, 3 植込み用土, 4 土壌改良材, 5 樹木, 6 支柱, 7 幹巻き用材料, 8 芝, 24 その他の材料.

凡例	
	解体建物・工作物を示す
	移設建物を示す
	敷地出入口

解：解体建物を示す
移：移設建物を示す



現況全体配置図
A1 : S=1/500 A3 : S=1/1000

棟番号	棟名	構造	階数	建築面積	容積対象面積	床面積					対象建物	12条5項にて整理する建物	検査済番号	備考
						1階	2階	3階	PH階	合計				
1	体育館	RC造	地上2階	982.92 m ²	961.00 m ²	873.00 m ²	88.00 m ²			961.00 m ²			平成19年12月6日 第完HK07-10070号	
2	校舎	RC造	地上3階	1,766.20 m ²	3,455.50 m ²	1,368.35 m ²	1,460.16 m ²	595.41 m ²	31.58 m ²	3,455.50 m ²			昭和61年3月6日 第110号	
3	給食堂	RC造	地上1階	216.16 m ²	180.00 m ²	180.00 m ²				180.00 m ²			昭和61年3月6日 第110号	
4	渡り廊下	S造	地上1階	7.245 m ²									昭和61年3月6日 第110号	
5	渡り廊下	S造	地上1階	47.50 m ²									昭和61年3月6日 第110号	
6	プール付風庫	CB造	地上1階	39.707 m ²	39.707 m ²	39.707 m ²				39.707 m ²	解		-	
7	農具倉庫	木造	地上1階	48.60 m ²	48.60 m ²	48.60 m ²				48.60 m ²	解		昭和56年3月25日 第5号	
8	プロパン庫	CB造	地上1階	9.817 m ²	9.817 m ²	9.817 m ²				9.817 m ²	解		昭和61年3月6日 第110号	
9	ポンプ庫	CB造	地上1階	7.777 m ²	7.777 m ²	7.777 m ²				7.777 m ²			昭和61年3月6日 第110号	
10	釜場	S造	地上1階	8.75 m ²	8.75 m ²	8.75 m ²				8.75 m ²			昭和61年3月6日 第110号	
11	便所	CB造	地上1階	25.795 m ²	25.795 m ²	25.795 m ²				25.795 m ²	解	○	なし	
12	体育倉庫	木造	地上1階	61.380 m ²	61.380 m ²	61.380 m ²				61.380 m ²		○	なし	
13	普通教室	S造	地上1階	168.525 m ²	167.673 m ²	167.673 m ²				167.673 m ²			平成19年3月20日 第H18西播建-000168号	
14	渡り廊下	S造	地上1階	102.827 m ²									平成19年12月6日 第H16西播建-000169号	
15	渡り廊下	S造	地上1階	17.00 m ²									平成19年12月6日 第完HK07-10070号	
16	通路上屋	S造	地上1階	23.60 m ²									平成19年12月6日 第完HK07-10070号	
17	通路上屋	S造	地上1階	6.578 m ²									平成19年12月6日 第完HK07-10070号	
18	自転車置場	S造	地上1階	13.895 m ²	13.895 m ²	13.895 m ²				13.895 m ²			平成19年12月6日 第完HK07-10070号	
19	会議室	木造	地上1階	26.515 m ²	26.515 m ²	26.515 m ²				26.515 m ²	解		平成19年12月12日 第完HK07-11759号	
20	倉庫	S造	地上1階	5.500 m ²	5.500 m ²	5.500 m ²				5.500 m ²	解		なし	
21	倉庫	S造	地上1階	2.775 m ²	2.775 m ²	2.775 m ²				2.775 m ²		○	なし	
22	倉庫	S造	地上1階	2.775 m ²	2.775 m ²	2.775 m ²				2.775 m ²		○	なし	
23	倉庫	S造	地上1階	0.723 m ²	0.723 m ²	0.723 m ²				0.723 m ²	解		なし	
24	倉庫	S造	地上1階	2.775 m ²	2.775 m ²	2.775 m ²				2.775 m ²		○	なし	
25	倉庫	S造	地上1階	2.775 m ²	2.775 m ²	2.775 m ²				2.775 m ²		○	なし	
26	倉庫	S造	地上1階	1.760 m ²	1.760 m ²	1.760 m ²				1.760 m ²	移	○	なし	敷地内(北西部)へ移設
27	倉庫	S造	地上1階	2.420 m ²	2.420 m ²	2.420 m ²				2.420 m ²	解		なし	
28	ゴミ庫(畑)	S造	地上1階	5.200 m ²	5.200 m ²	5.200 m ²				5.200 m ²	解		なし	
29	倉庫	S造	地上1階	4.718 m ²	4.718 m ²	4.718 m ²				4.718 m ²	移	○	なし	敷地内(北西部)へ移設
30	動物小屋	S造	地上1階	2.100 m ²	2.100 m ²	2.100 m ²				2.100 m ²	解		なし	
31	下屋	S造	地上1階	5.310 m ²								○	なし	
32	倉庫	S造	地上1階	3.960 m ²	3.960 m ²	3.960 m ²				3.960 m ²	移	○	なし	敷地内(西部)へ移設

既設総面積	
既存建物建築面積合計	3,636.58 m ²
既存建物床面積合計	5,056.89 m ²
解体建物床面積合計	127.07 m ²

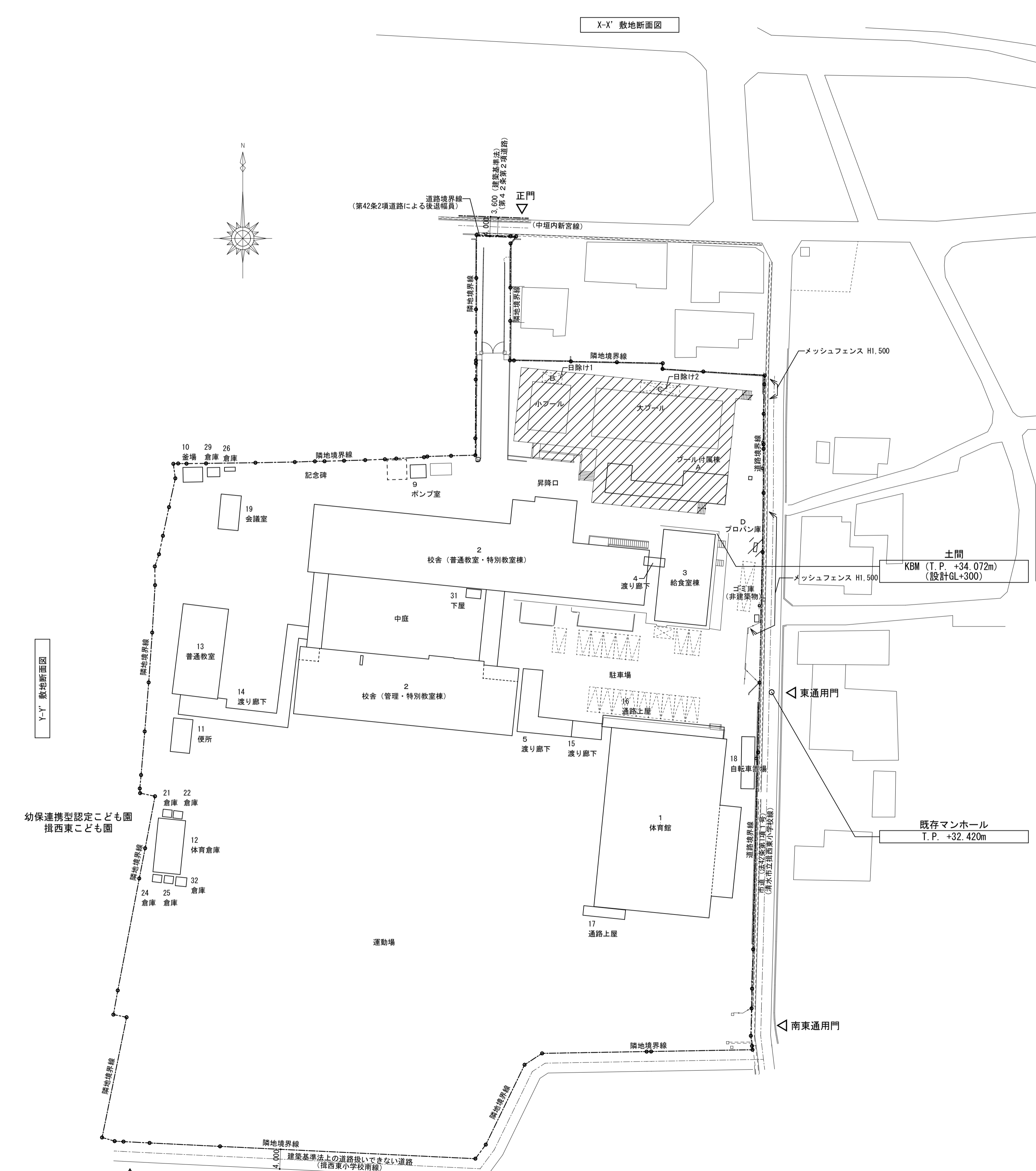
移設・撤去整理後合計	
建築面積合計	3,509.51 m ²
建物床面積合計	4,929.82 m ²

令和6年度		縮尺	A-14
名称工事名	播西東小学校屋外プール改築工事		意匠
図名	現況全体配置図	1/500	

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする

凡例	
	計画建物を示す
	敷地出入口

※敷地周囲との高低差はなし。
※接道長さ：281.410 m



棟番号	棟名	構造	階数	建築面積	容積対象面積	床面積				備考	
						1階	2階	3階	PH階		合計
A	プール付属棟	RC造	地上1階	155.250 m ²	119.503 m ²	119.503 m ²				119.503 m ²	
B	日除け1	7R合金造	地上1階	0 m ²	8.00 m ²	8.00 m ²				8.00 m ²	
C	日除け2	7R合金造	地上1階	0 m ²	16.00 m ²	16.00 m ²				16.00 m ²	
D	プロバン庫	7R合金造	地上1階	0 m ²	1.17 m ²	1.17 m ²				1.17 m ²	

建築面積	168.420 m ²
床面積	144.673 m ²

棟番号	棟名	構造	階数	建築面積	容積対象面積	床面積				備考	
						1階	2階	3階	PH階		合計
1	体育館	RC造	地上2階	982.92 m ²	961.00 m ²	873.00 m ²	88.00 m ²			961.00 m ²	検査済証番号：平成19年12月6日第昭K07-10070号
2	校舎	RC造	地上3階	1,766.20 m ²	3,455.50 m ²	1,368.35 m ²	1,460.16 m ²	595.41 m ²	31.58 m ²	3,455.50 m ²	検査済証番号：昭和61年3月6日第110号
3	給食室	RC造	地上1階	216.16 m ²	180.00 m ²	180.00 m ²				180.00 m ²	検査済証番号：昭和61年3月6日第110号
4	渡り廊下	S造	地上1階	7.245 m ²							検査済証番号：昭和61年3月6日第110号
5	渡り廊下	S造	地上1階	47.50 m ²							検査済証番号：昭和61年3月6日第110号
9	ポンプ庫	CB造	地上1階	7.777 m ²	7.777 m ²	7.777 m ²				7.777 m ²	検査済証番号：昭和61年3月6日第110号
10	釜場	S造	地上1階	8.75 m ²	8.75 m ²	8.75 m ²				8.75 m ²	検査済証番号：昭和61年3月6日第110号
11	便所	CB造	地上1階	25.795 m ²	25.795 m ²	25.795 m ²				25.795 m ²	12築5項報告
12	体育倉庫	木造	地上1階	61.380 m ²	61.380 m ²	61.380 m ²				61.380 m ²	12築5項報告
13	普通教室	S造	地上1階	168.525 m ²	167.673 m ²	167.673 m ²				167.673 m ²	検査済証番号：平成19年3月20日第H18西播建-000168号
14	渡り廊下	S造	地上1階	102.827 m ²							検査済証番号：平成19年3月20日第H18西播建-000168号
15	渡り廊下	S造	地上1階	17.00 m ²							検査済証番号：平成19年12月6日第昭K07-10070号
16	通路上屋	S造	地上1階	23.60 m ²							検査済証番号：平成19年12月6日第昭K07-10070号
17	通路上屋	S造	地上1階	6.578 m ²							検査済証番号：平成19年12月6日第昭K07-10070号
18	自転車置場	S造	地上1階	13.895 m ²	13.895 m ²	13.895 m ²				13.895 m ²	検査済証番号：平成19年12月6日第昭K07-10070号
19	会議室	木造	地上1階	26.515 m ²	26.515 m ²	26.515 m ²				26.515 m ²	検査済証番号：平成19年12月12日第完HK07-11759号
21	倉庫	S造	地上1階	2.775 m ²	2.775 m ²	2.775 m ²				2.775 m ²	基礎新設 12築5項報告
22	倉庫	S造	地上1階	2.775 m ²	2.775 m ²	2.775 m ²				2.775 m ²	基礎新設 12築5項報告
24	倉庫	S造	地上1階	2.775 m ²	2.775 m ²	2.775 m ²				2.775 m ²	基礎新設 12築5項報告
25	倉庫	S造	地上1階	2.775 m ²	2.775 m ²	2.775 m ²				2.775 m ²	基礎新設 12築5項報告
26	倉庫	S造	地上1階	1.760 m ²	1.760 m ²	1.760 m ²				1.760 m ²	基礎新設 12築5項報告
29	倉庫	S造	地上1階	4.718 m ²	4.718 m ²	4.718 m ²				4.718 m ²	基礎新設 12築5項報告
31	下屋	S造	地上1階	5.310 m ²							12築5項報告
32	倉庫	S造	地上1階	3.960 m ²	3.960 m ²	3.960 m ²				3.960 m ²	基礎新設 12築5項報告

建築面積	3,509.51 m ²
床面積	4,929.82 m ²

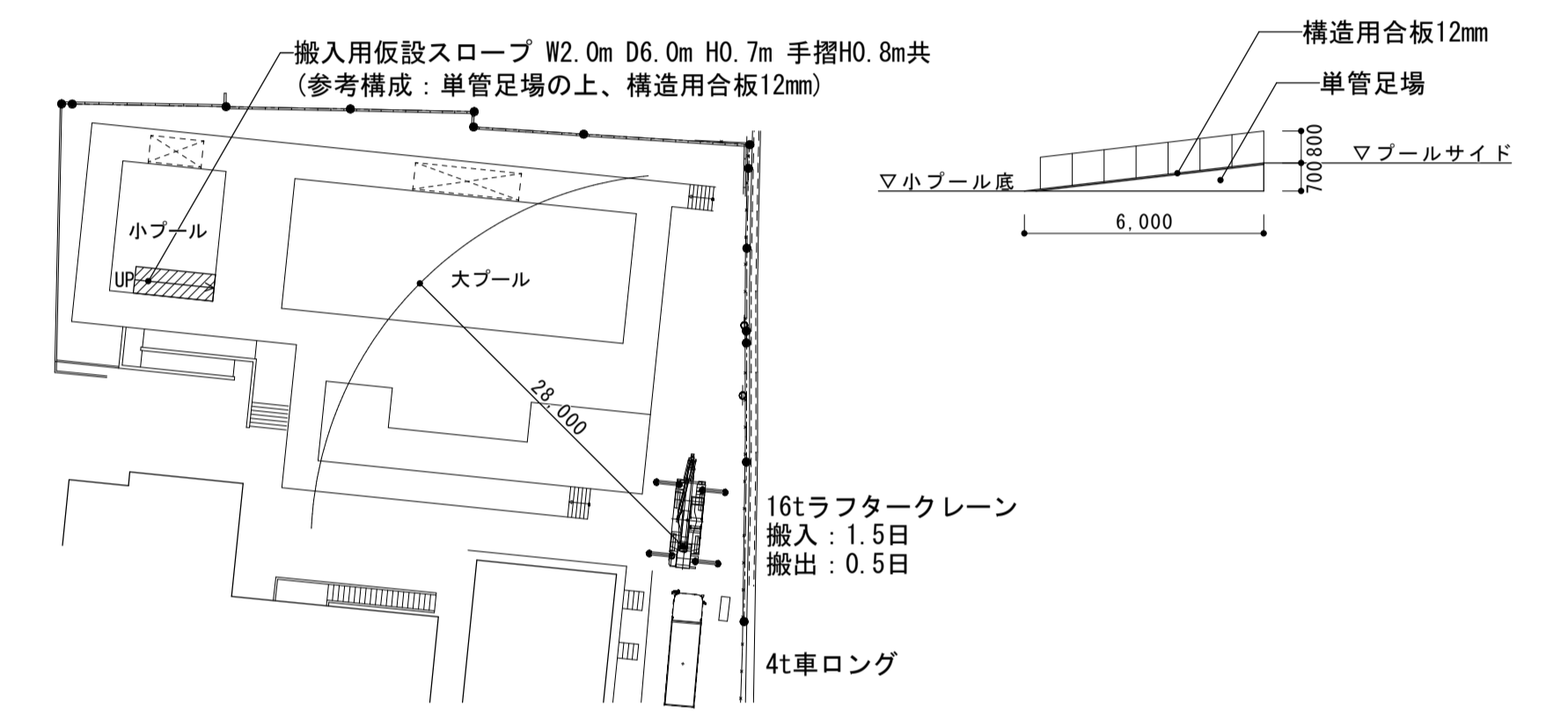
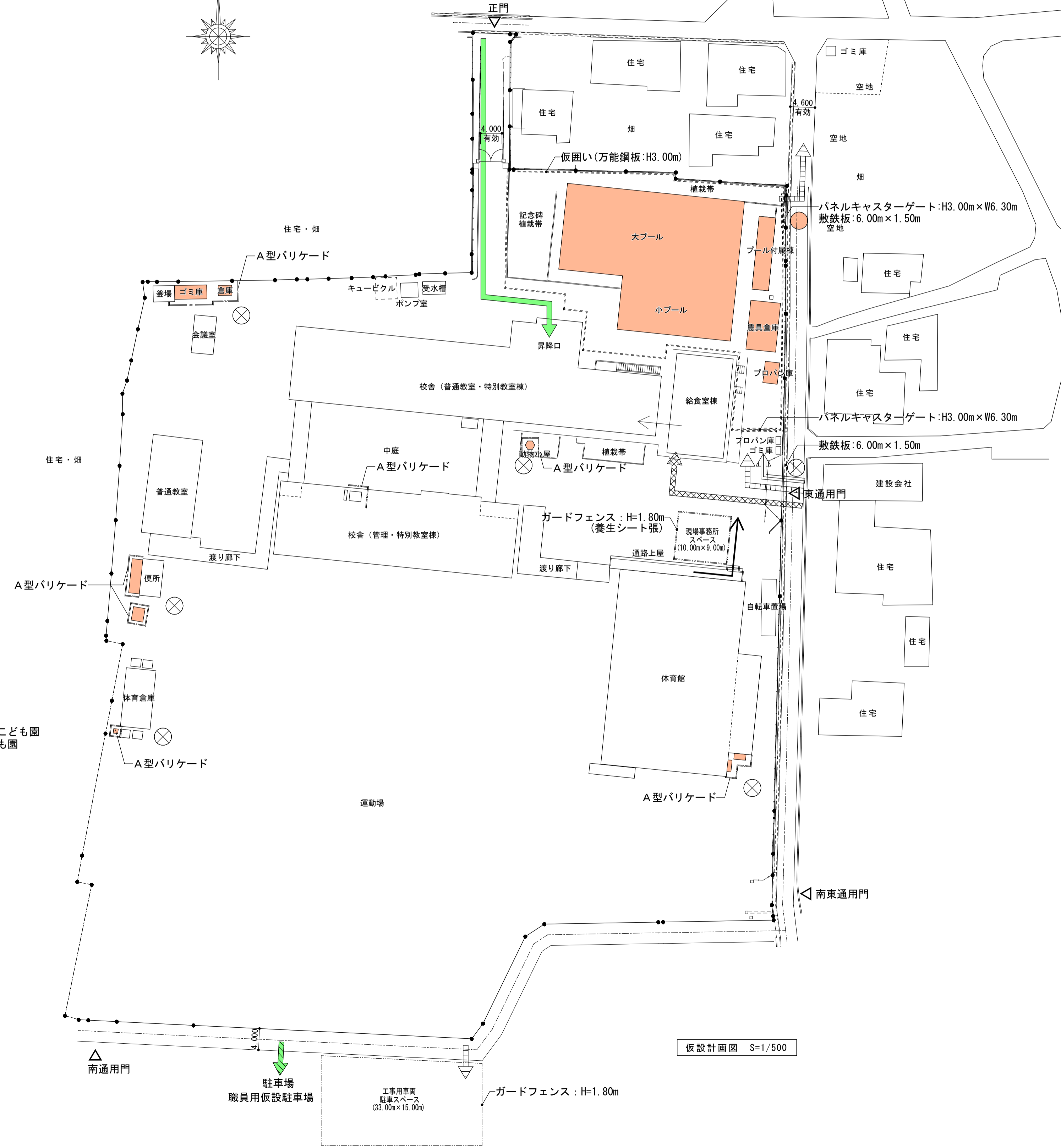
建築面積	3,677.930 m ²
床面積	5,074.493 m ²

計画全体配置図
A1：S=1/500 A3：S=1/1000

令和6年度	縮尺	A-15
名称工事名	撰西東小学校屋外プール改築工事	意匠
図名	計画全体配置図	1/500

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする

凡例	
-----	仮囲い(万能鋼板:H3.00m)
-----	ガードフェンス:H=1.80m
---	A型バリケード
→	学校関係者動線(登下校)
→	学校関係者動線(職員車)
→	給食車両動線
→	ゴミ収集車両動線
→	工事関係者動線
→	敷地内の給食搬入動線
→	敷地内のゴミ捨て動線
○	常設ガードマン
⊗	スポットガードマン



- 注記**
- ※本図記載の仮設計画は参考とし、事前に詳細な調査・検討を十分に行い安全な施工計画とする事。
 - ※工事用車両駐車スペースは監督員及び学校との協議による。
 - ※必要に応じて出入口前に鉄板を敷いて養生をする事。
 - ※工事完了後、周囲・道路部分の清掃を含む現況復旧を行う事。
 - ※工事完了後、周囲・樹木・会所前の清掃を行う事。
 - ※道路占有や道路使用が必要な場合は、道路管理者に必要な書類を提出し許可を得て作業を行う事。
 - ※プール工事期間中(プール槽組立期間の約3週間)、発電機(燃料含む)を準備すること
 - ※プール工事期間中(終盤)、真空検査・浸透探傷試験を行うこと

参考工事工程	ステップ1			ステップ2						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7 1月	R7 2月	R7 3月
工事開始: 令和6年7月	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半
工事終了: 令和7年3月										
準備	→									
解体		→								
増築			→							
検査・手直し										→
学校行事	※運動会5月末		夏休み		※プール6月中旬~7月中旬		冬休み			

幼保連携型認定こども園
掘西東こども園

仮設計画図 S=1/500

令和6年度	縮尺	A-16
名称工事名	掘西東小学校屋外プール改築工事	意匠
図名	仮設計画図	1/500

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする

敷地面積求積図 S=1/500

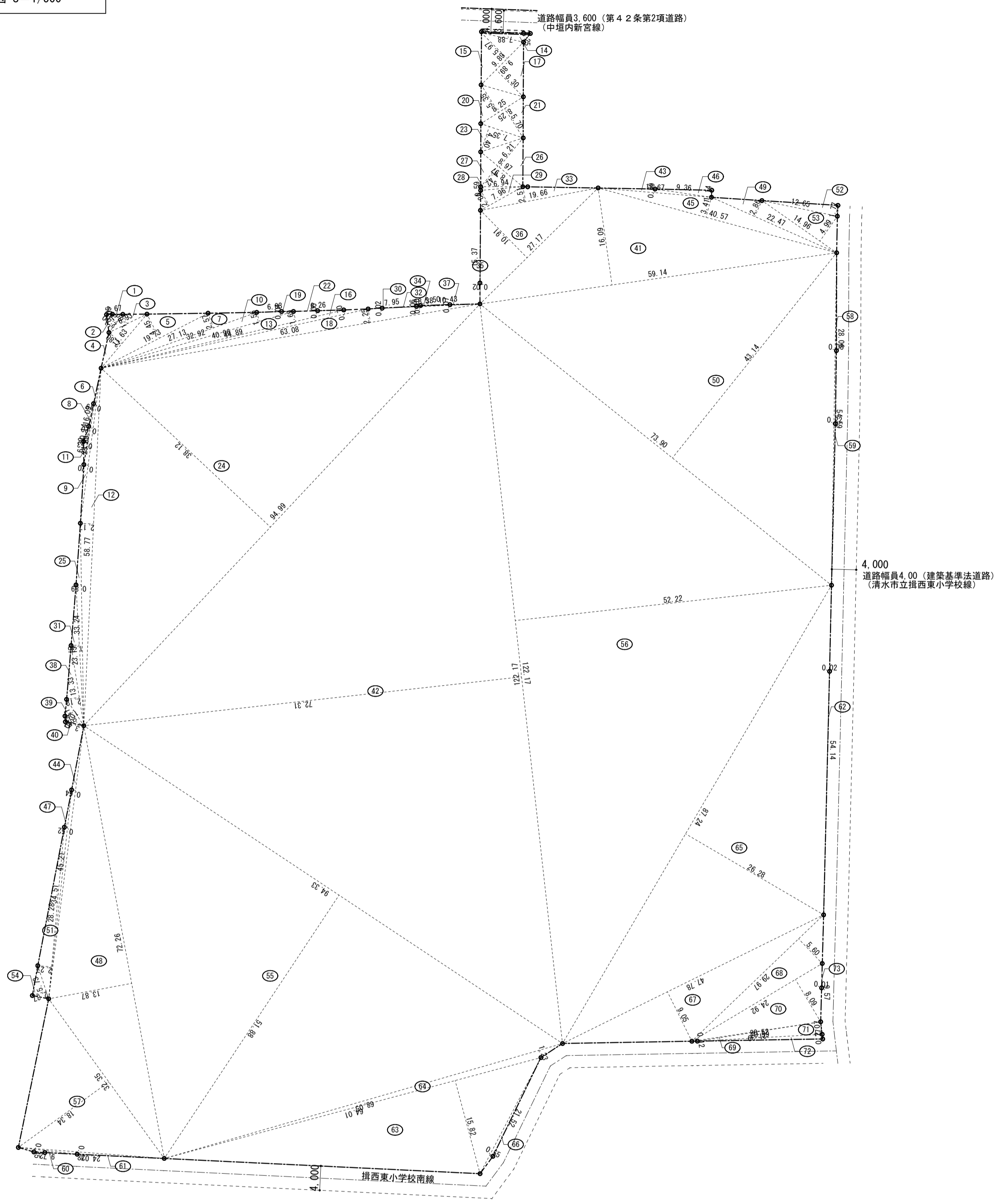


Table with 5 columns of data for sections 1-60, including base width, height, multiple area, and total area.

Summary table for site area with total area of 17,843.20 m².

プール付属棟室面積求積図 S=1/100

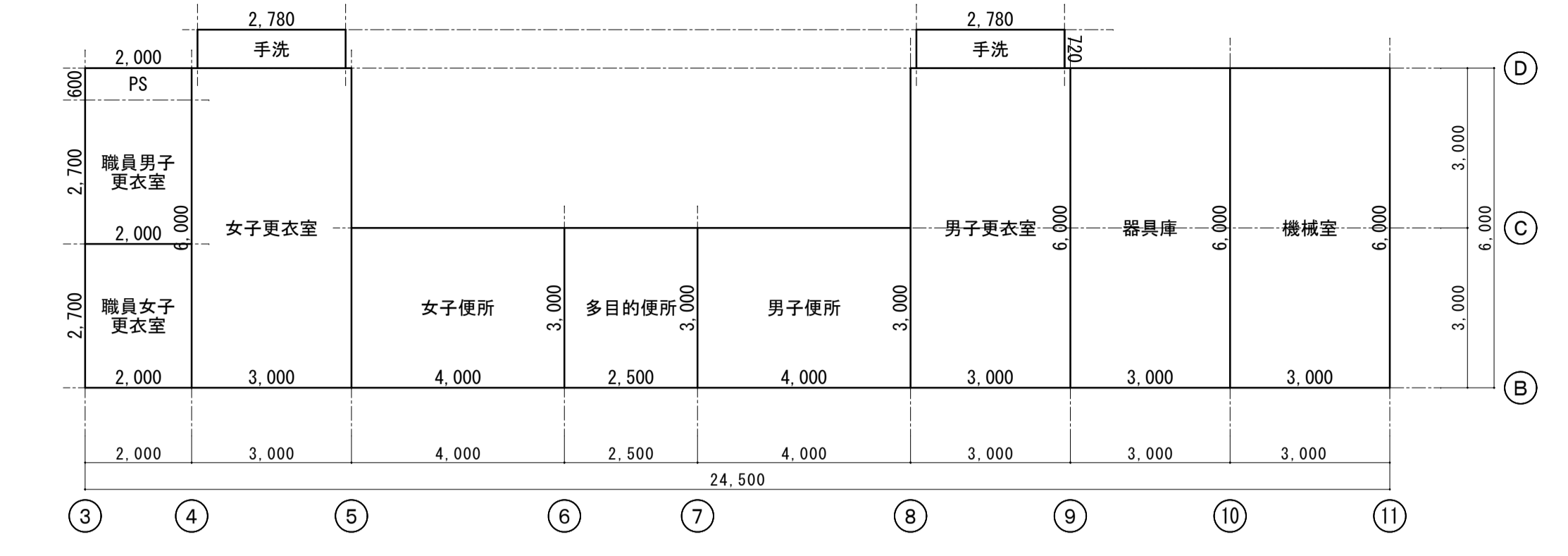


Table listing room names (e.g., 職員男子更衣室), calculation formulas, and areas.

プール付属棟建築面積求積図 S=1/100

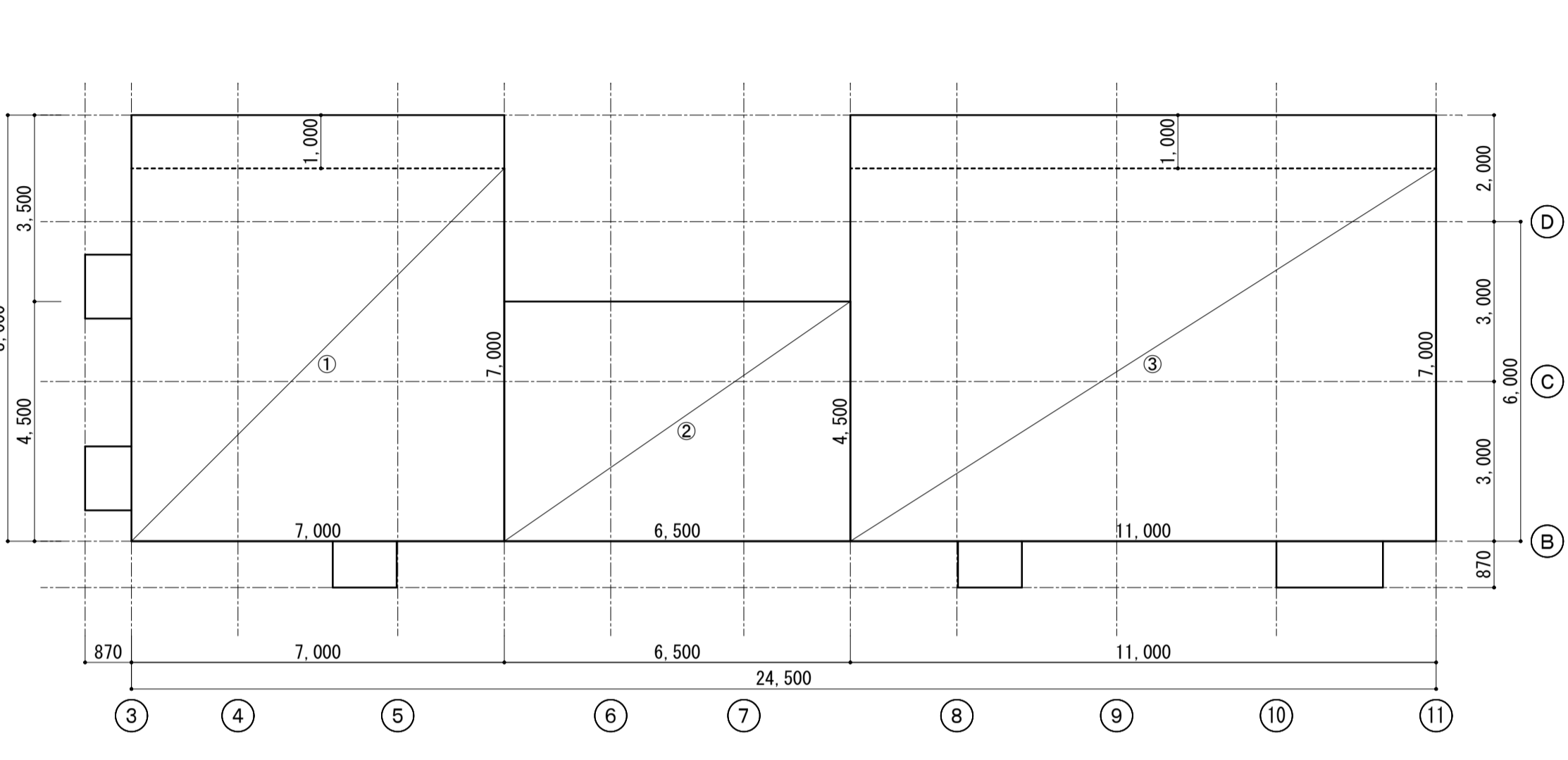
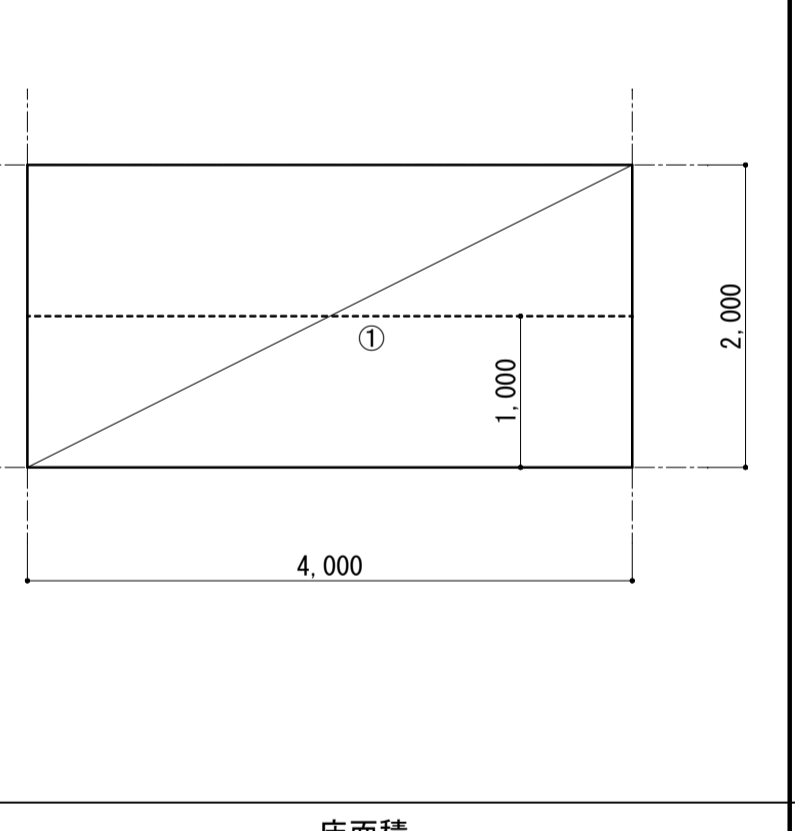


Table listing building area calculations for sections 1-3, totaling 155.250 m².

日除け1求積図 S=1/50



日除け2求積図 S=1/50

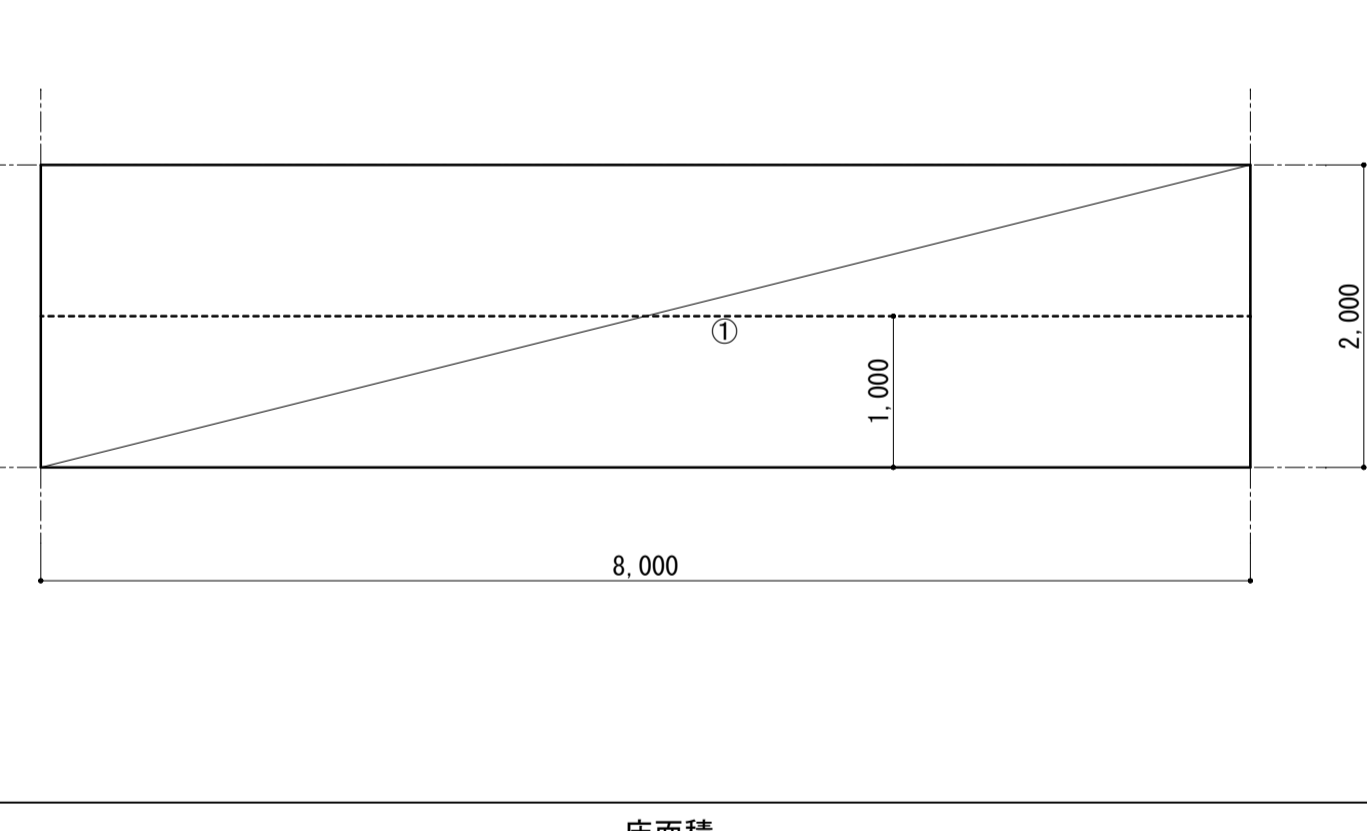


Table summarizing area calculations for sunshades 1 and 2, including bed area and building area.

プロパン庫求積図 S=1/50

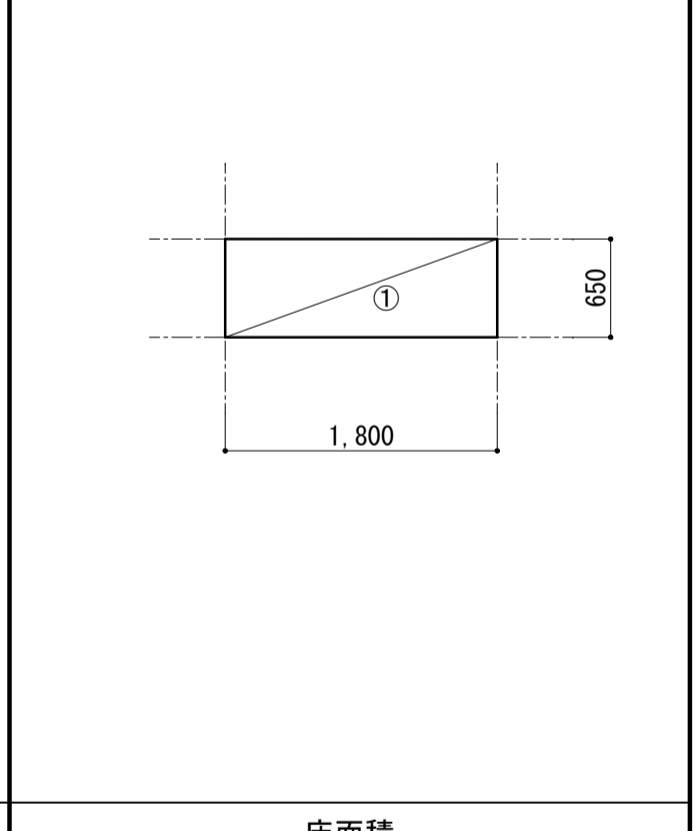


Table summarizing propane tank area calculation with formula 0.65 x 1,800 = 1.17 m².

Summary table for building area and bed area, including totals for building area (168.420) and bed area (144.673).

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする

■ 外部仕上表

付属棟		プール		プールのサイド		アプローチ		その他	
部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上
屋根	コンクリート打下地 改質アスファルトシート防水(常温粘着(A-S-J1)工法)	大プール	SUS製:無塗装 25.00m×9.00m(4コース)	床	プールのサイド用防滑ビニル床シート t2.9(遮熱仕様)	床	プールのサイド用防滑ビニル床シート t2.9(遮熱仕様)		
屋根(立上り)	コンクリート打下地 改質アスファルトシート防水(常温粘着(A-S-J1)工法)		H900~H1100		下地:コンクリートコテ押エ		下地:コンクリートコテ押エ		
パラベットの端	アルミ製笠木 W275								
外壁	コンクリート打放し補修の上 複層塗材E吹付	小プール	SUS製:無塗装 7.00m×9.00m	腰壁	コンクリート打放しの上 複層塗材E吹付(凸部処理)	スロープ・主階段	スロープ床:プールのサイド用防滑ビニル床シート t2.9(遮熱仕様) 主階段 踏面:階段用防滑性床材(遮熱仕様) スロープ床 下地:コンクリートコテ押エ 主階段 踏面 下地:モルタルコテ押エ		
腰壁	コンクリート打放し補修の上 複層塗材E吹付(凸部処理)		H650~H700	メッシュフェンス	スチール既製品 H1500		手摺:SUS製作品 手摺:34.0φ・支柱:34.0φ @1000(H/L) H800(2段)		
軒天	コンクリート打放し補修の上 外装薄塗材E吹付			目隠シフェンス	アルミ既製品 H1500(プールのサイド:北面・東面・西面)		視覚障害者用点字ブロック:誘導ブロック 300×300×30 ※踏面端部とその周囲の部分との明度差等により、 段差を容易に識別出来る様にする事。 ※側面立上りについて、50mm以上の立上りを設ける事。		
巾木(腰壁)	コンクリート打放し補修の上 複層塗材E吹付(凸部処理)			日除け	アルミ既製品 D2000×W8000・4000×H2300				
軒樋	アルミ製 角樋 前高120			排水溝	樹脂製グレーチング蓋:W200(ノンスリップ細目)	階段	踏面:階段用防滑性床材(遮熱仕様)		
壁樋	アルミ製 100 [□] (バンドレスタイプ)				SUS製受枠・内部:防水モルタル塗 排水目皿75φ(機械設備工事)φ6000内		下地:モルタルコテ押エ 賦込:エポキシ樹脂系+アクリルウレタン樹脂系塗料		
付庇	アルミ既製品 D750(薄型)			シャワー場	樹脂製グレーチング蓋:600×600(ノンスリップ細目) SUS製受枠		下地:モルタルコテ押エ 手摺:SUS製作品 手摺:34.0φ・支柱:34.0φ @1000(H/L) H800 ※踏面端部とその周囲の部分との明度差等により、 段差を容易に識別出来る様にする事。 ※側面立上りについて、50mm以上の立上りを設ける事。		

■ 内部仕上表

階数	室名	床		巾木		壁		天井		廻縁	天井高	室名札	備考
		下地	仕上	仕上	H	下地	仕上	下地	仕上				
1	女子更衣室	M	プールのサイド用防滑性ビニル床シート貼 t2.9	コンクリート打放し補修 NAD	300	-	コンクリート打放し補修 NAD	LGS	ケイカル板目透し貼 t6.0 NAD	塩ビ	2440	○ 2ヶ所	木製ロッカー・下足入
	男子更衣室	M	プールのサイド用防滑性ビニル床シート貼 t2.9	コンクリート打放し補修 NAD	300	-	コンクリート打放し補修 NAD	LGS	ケイカル板目透し貼 t6.0 NAD	塩ビ	2440	○ 2ヶ所	木製ロッカー・下足入
	職員女子更衣室	M	プールのサイド用防滑性ビニル床シート貼 t2.9	コンクリート打放し補修 NAD	300	-	コンクリート打放し補修 NAD	LGS	ケイカル板目透し貼 t6.0 NAD	塩ビ	2440	○	スチールロッカー
	職員男子更衣室	M	プールのサイド用防滑性ビニル床シート貼 t2.9	コンクリート打放し補修 NAD	300	-	コンクリート打放し補修 NAD	LGS	ケイカル板目透し貼 t6.0 NAD	塩ビ	2440	○	スチールロッカー
	女子便所	M	便所用防滑性ビニル床シート貼 t2.5	床シート立上げ (端部:アルミ見切)	300	-	コンクリート打放し補修 NAD ライニング腰:LGS下地耐水ボード t12.5+メラミン化粧板 t6	LGS	ケイカル板目透し貼 t6.0 NAD	塩ビ	2440	○	トイレブース・面台・床下点検口 補助手摺
	男子便所	M	便所用防滑性ビニル床シート貼 t2.5	床シート立上げ (端部:アルミ見切)	300	-	コンクリート打放し補修 NAD ライニング腰:LGS下地耐水ボード t12.5+メラミン化粧板 t6	LGS	ケイカル板目透し貼 t6.0 NAD	塩ビ	2440	○	トイレブース・面台・床下点検口 補助手摺
	多目的便所	M	便所用防滑性ビニル床シート貼 t2.5	床シート立上げ (端部:アルミ見切)	300	-	コンクリート打放し補修 NAD ライニング腰:LGS下地耐水ボード t12.5+メラミン化粧板 t6	LGS	ケイカル板目透し貼 t6.0 NAD	塩ビ	2440	○	面台 補助手摺
	器具庫	M	プールのサイド用防滑性ビニル床シート貼 t2.9	コンクリート打放し補修 NAD	-	-	コンクリート打放し補修 NAD	-	木毛セメント板打込 t25	-	直天	○	木製棚
	機械室	C	金コテ押エ	コンクリート打放し補修	-	-	コンクリート打放し補修	-	木毛セメント板打込 t25	-	直天	○ 2ヶ所	設備基礎

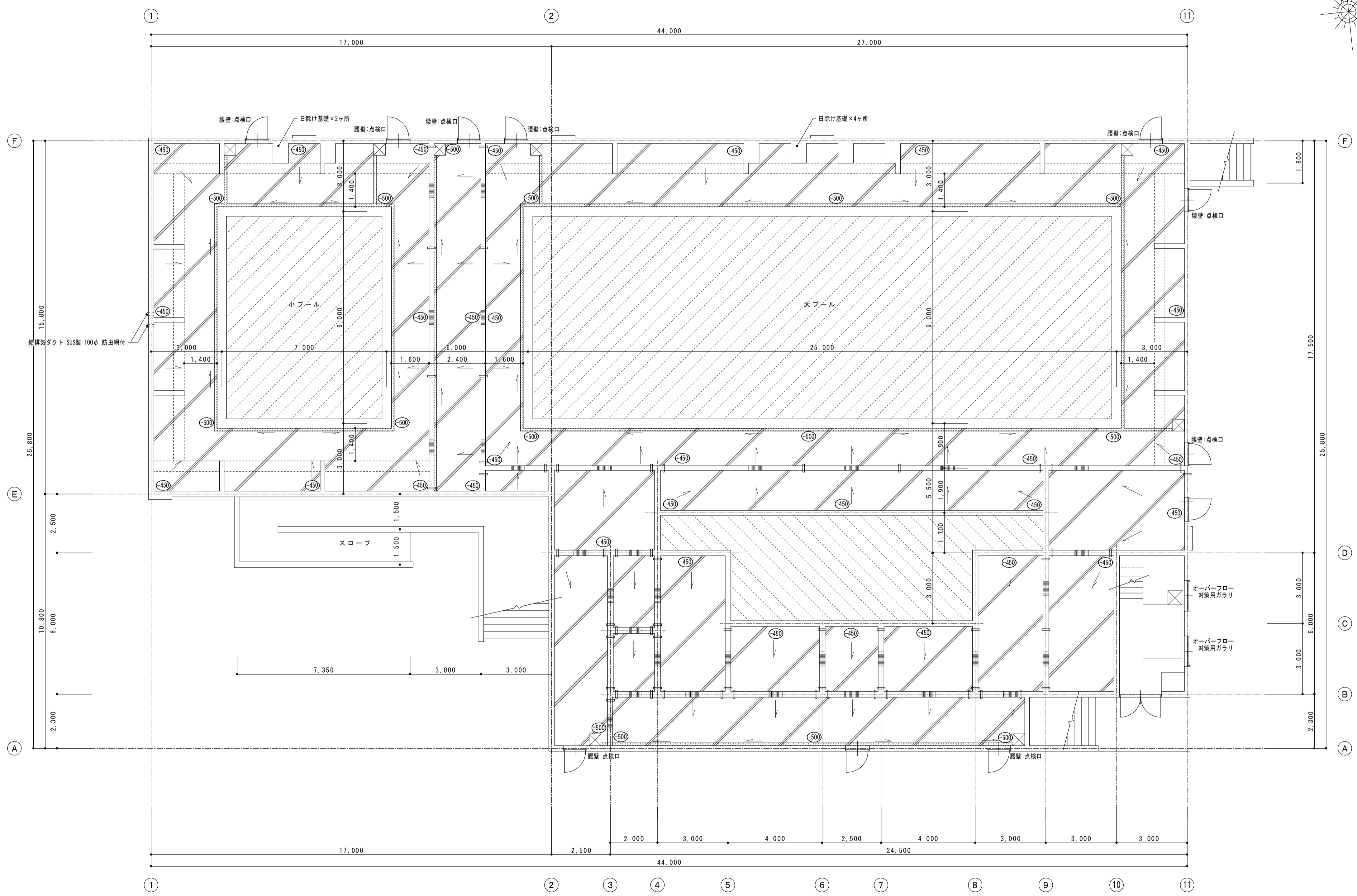
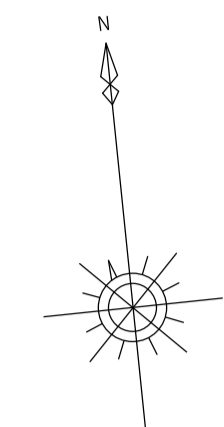
【注記】

塗装略号	下地・仕上略号	その他
EP : 合成樹脂エマルジョンペイント	C : コンクリート	・棚、ロッカー下架台:コンクリート増打の上、モルタル金コテ押エ。
EP-G : つや有合成樹脂エマルジョンペイント	CB : コンクリートブロック	・スチールロッカー:既製品 W900×H1800×D500。
DP : 耐水性塗料	LGS : 軽鋼鉄骨	・補助手摺:A-12 建築工事特記仕様書9.24 その他の材料参照。
UC : ウレタン樹脂ウニス	W : 木	
CL : クリアラッカー	M : モルタル(特記なき限り t30)	
NAD : アクリル樹脂系非水分形塗料	B : ボード	
OS : オイルステイン	SUS : ステンレス	
WP : 木材保護塗料		

令和6年度	縮尺	A-18 意匠
名称工事名	撰西東小学校屋外プール改築工事	
図名	仕上表	

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする

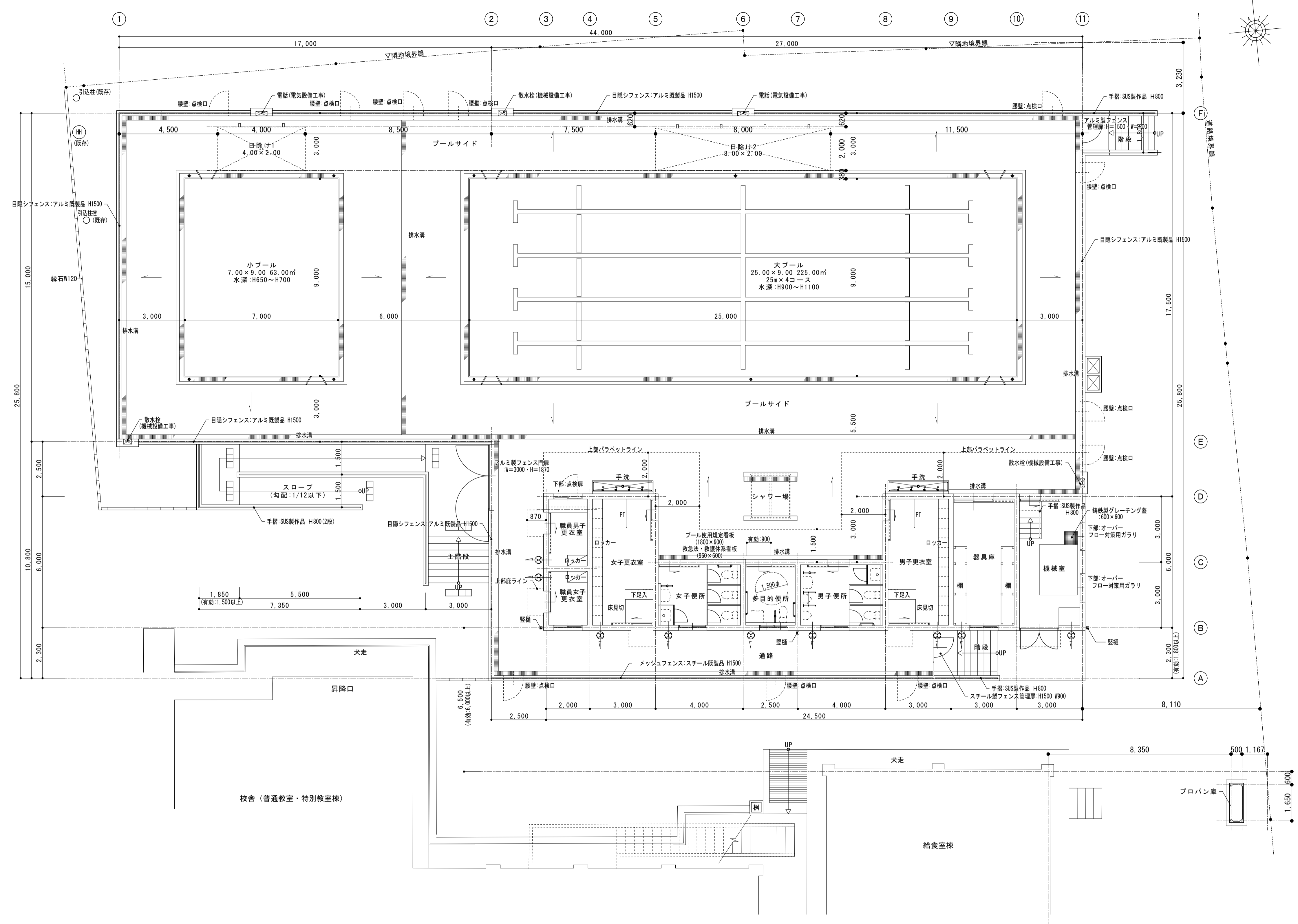
凡例	
	プール本体下、単粒粒径7号転圧範囲を示す。
	土間コンクリート下、盛土範囲を示す。
	ピット範囲を示す。
	窪場：500×500×H300を示す。
	排水溝を示す。
	人通り：600φを示す。
	上部小梁を示す。
	通気管：VP50φを示す。
	排水管：VP100φ/2を示す。
	床排水勾配を示す。
	設計GLからの高さを示す。



令和6年度	縮尺	A-19
名称工事名 掘西東小学校屋外プール改築工事		意匠
図名 ピット平面図	1/100	

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする

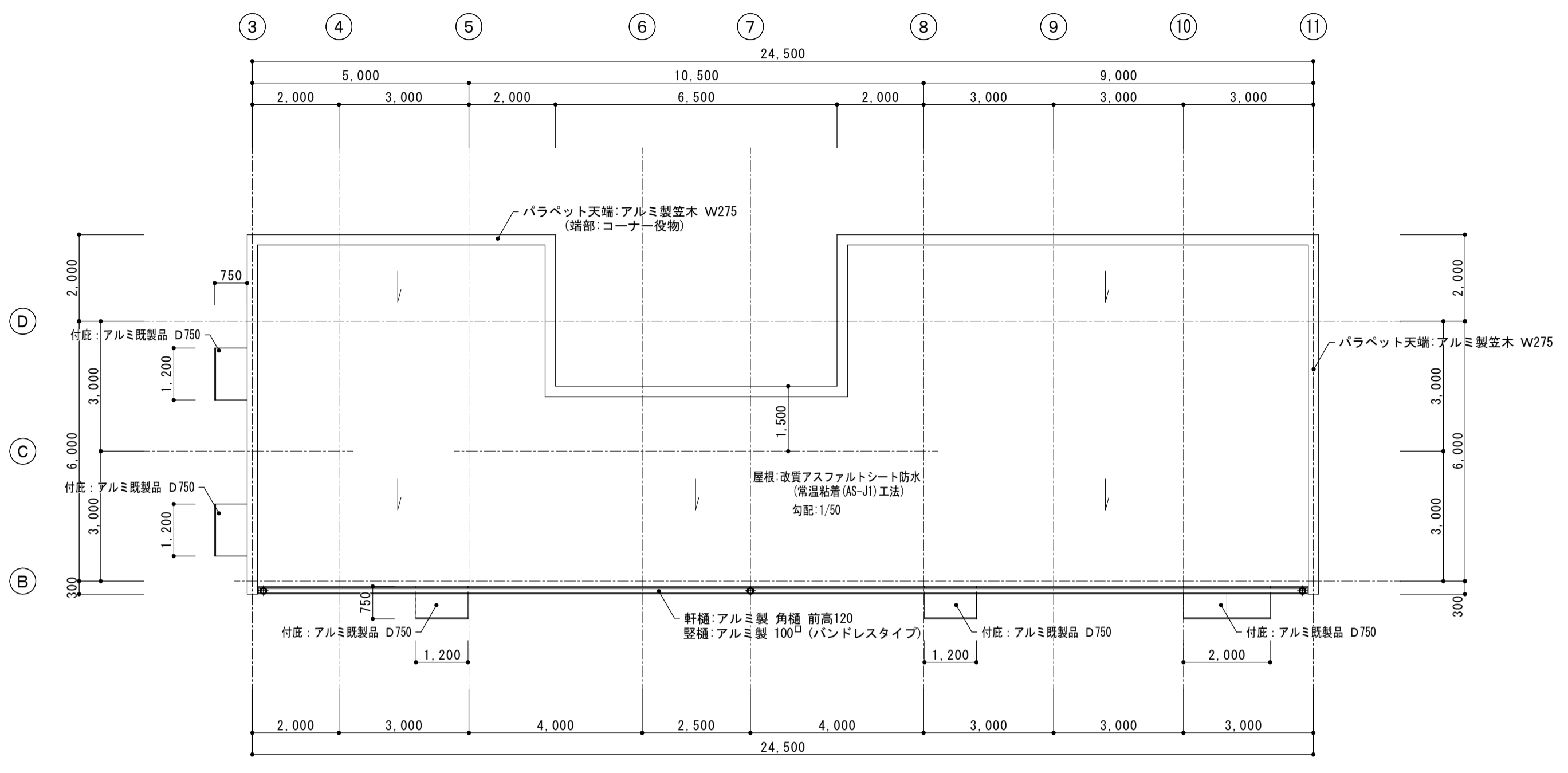
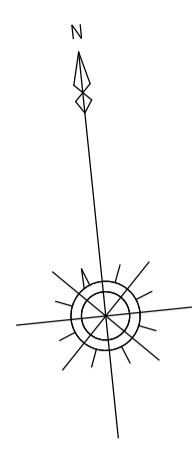
凡例	
	排水溝(プールサイド)：R200・樹脂製グレーチング差
	床排水勾配を示す。
	換気扇：250φを示す。(機械設備工事)



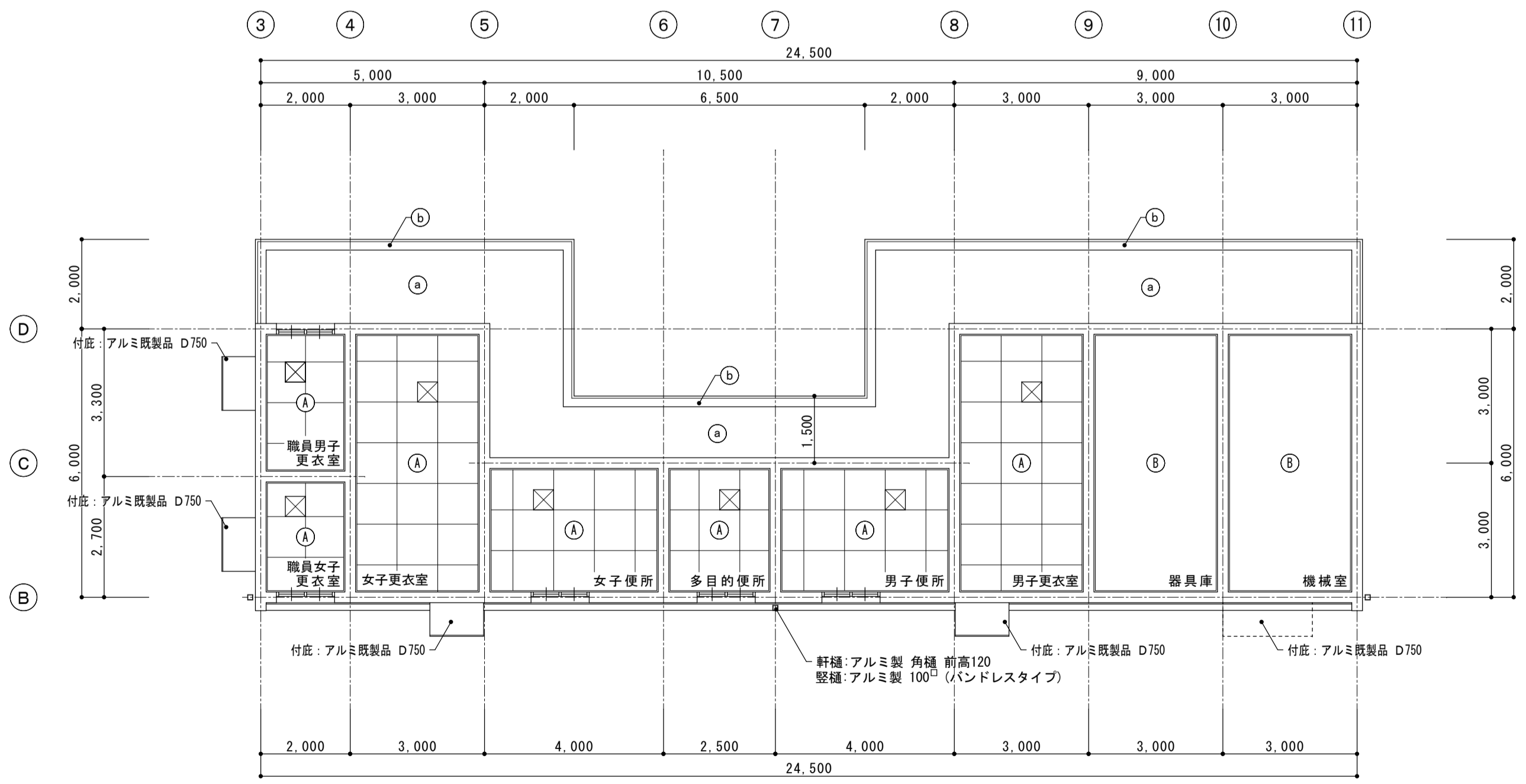
配置図・平面図 S=1/100

令和6年度	縮尺	A-20
名称工事名	堀西東小学校屋外プール改築工事	意匠
図名	配置図兼平面図	1/100

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする



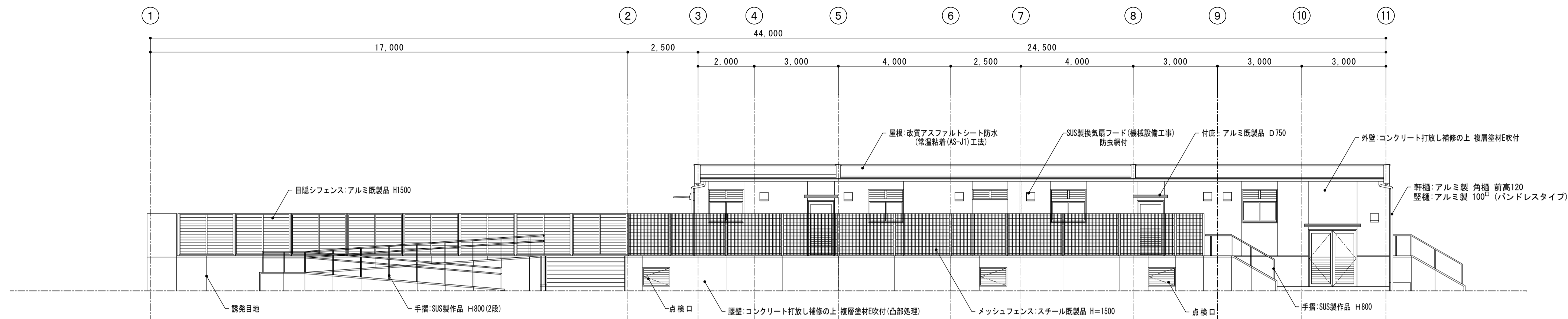
屋根伏図 S=1/100



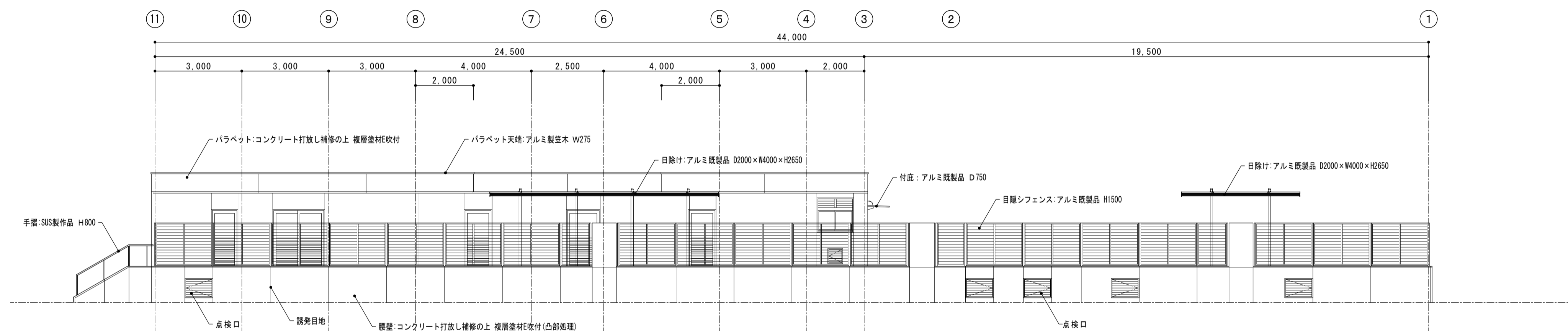
天井伏図 S=1/100

天井仕上リスト		
記号	仕上	週縁
Ⓐ	LGS下地 ケイカル板目透し貼 t.6.0 NAD	塩ビ
Ⓑ	木毛セメント板打込 t.25	—
Ⓐ	コンクリート打放し補修の上 外装薄塗材E吹付	—
Ⓑ	コンクリート打放し補修の上 撥水剤(アクリルシリコン系)塗	—
☒	天井点検口: アルミ製・450×450×7ヶ所	

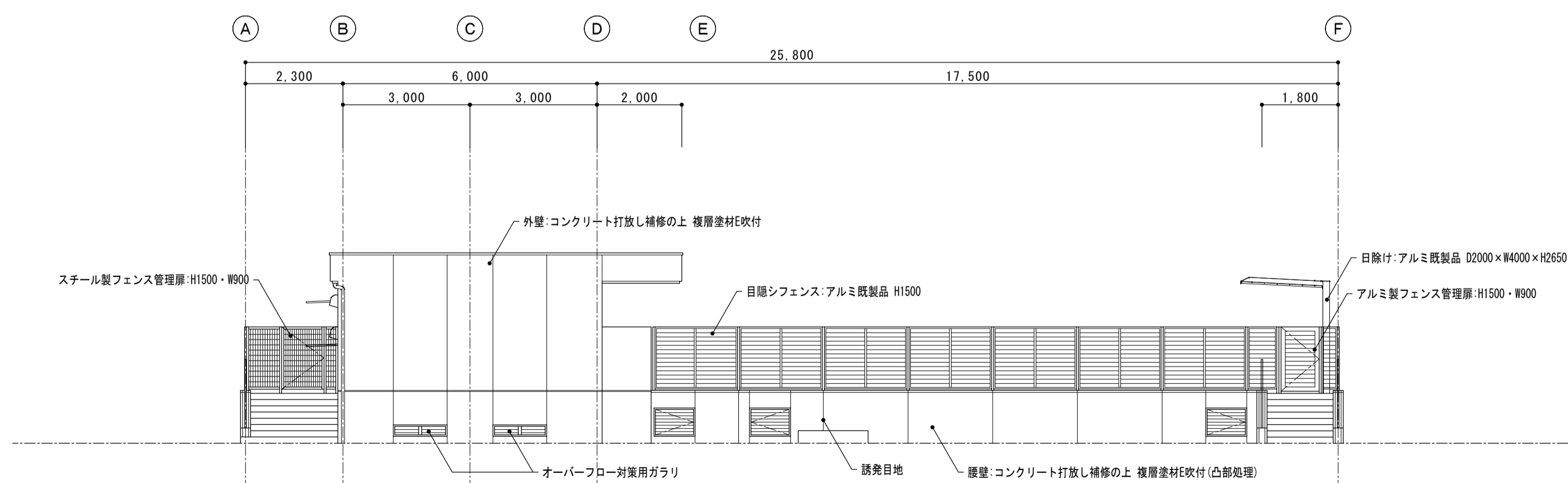
※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする



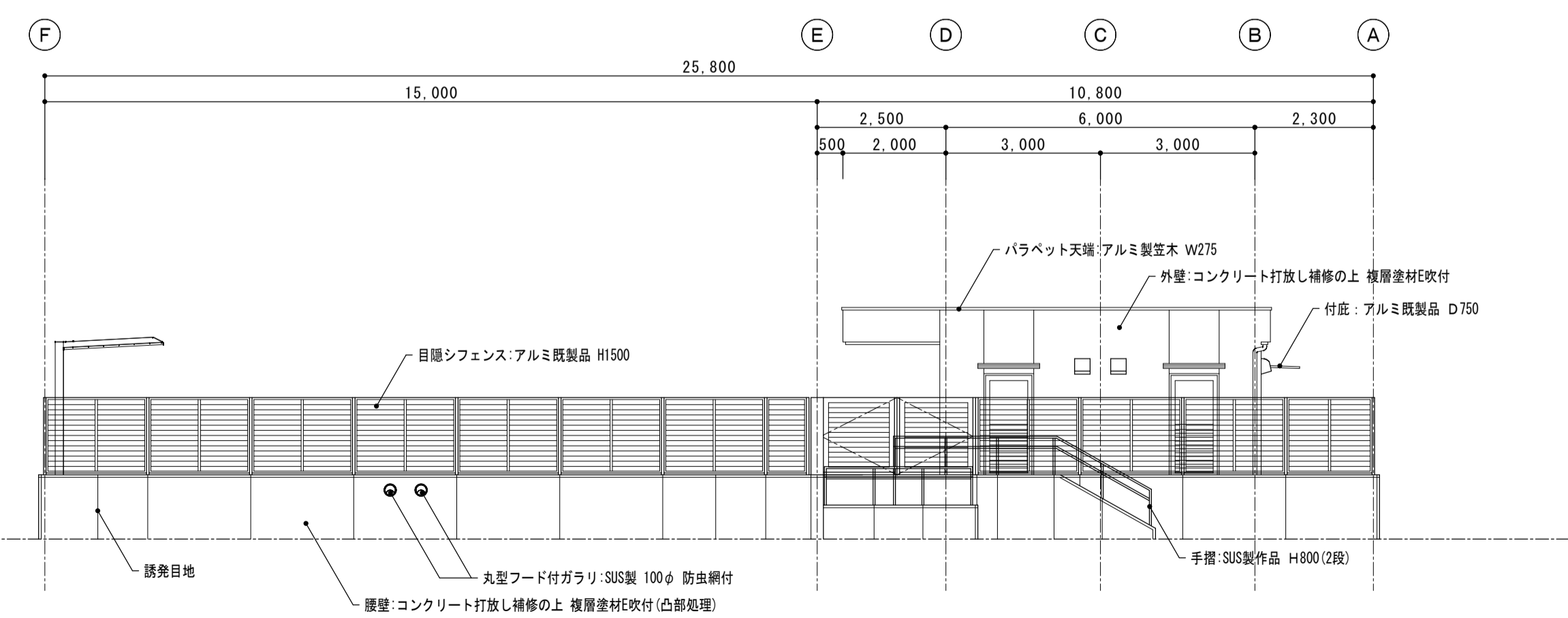
南立面図 S=1/100



北立面図 S=1/100



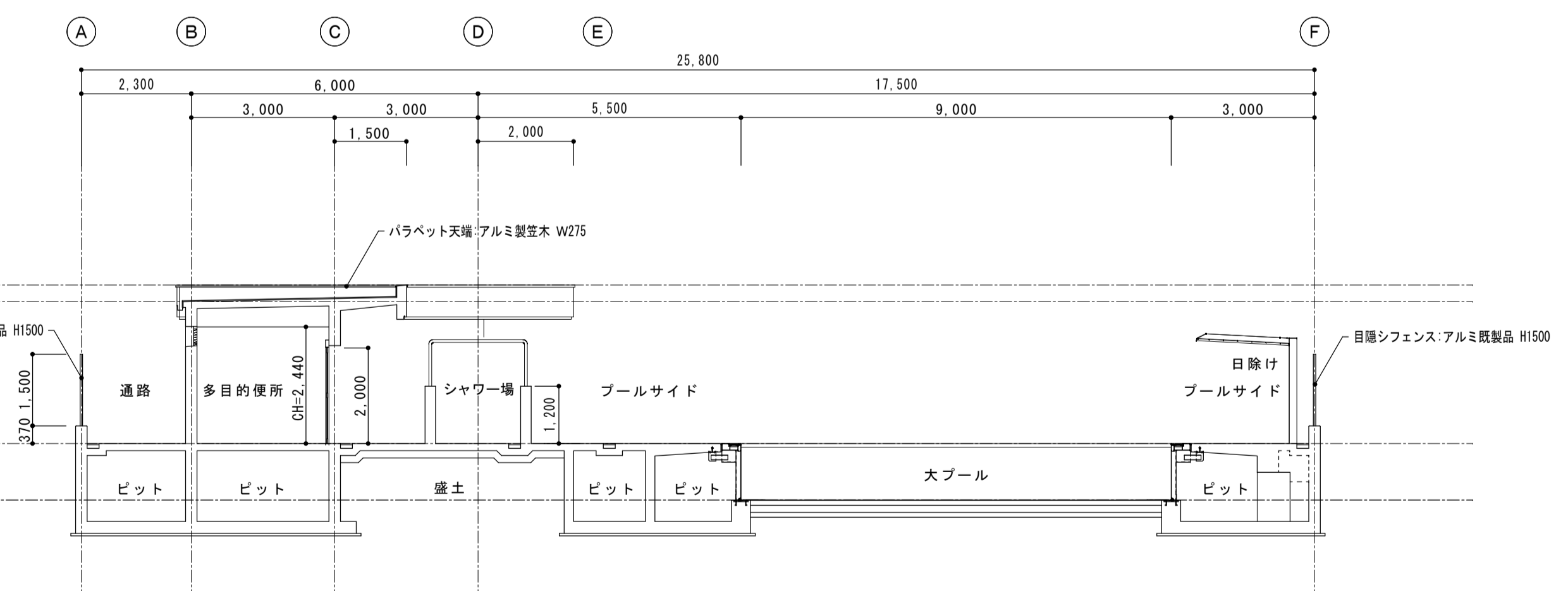
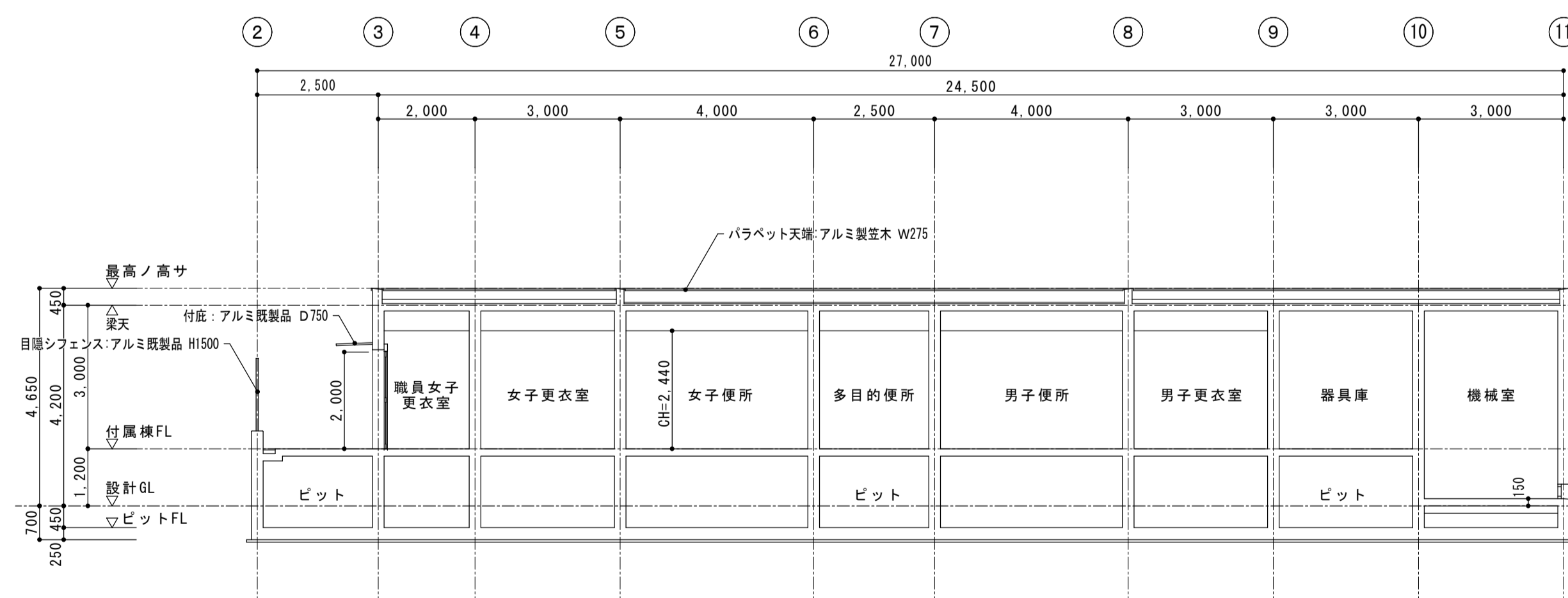
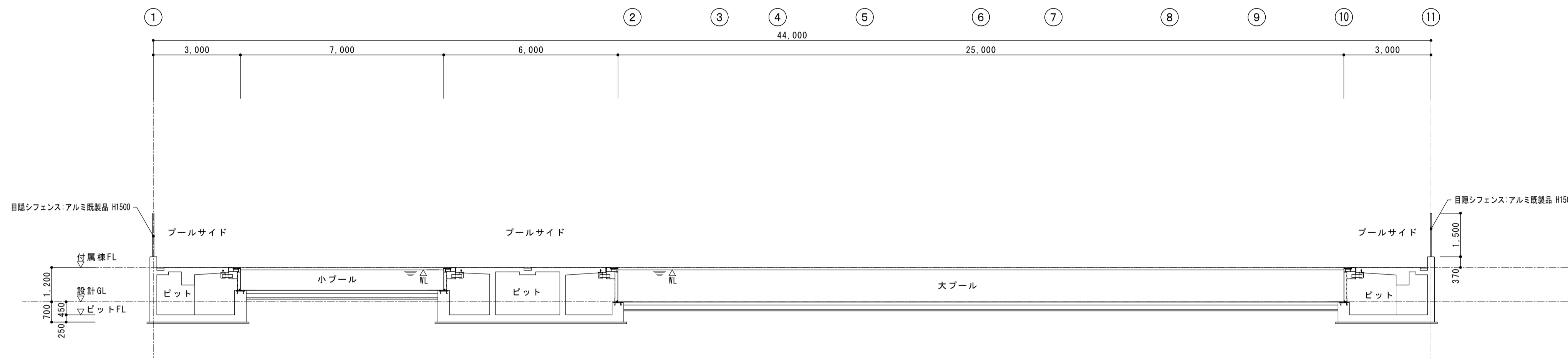
東立面図 S=1/100



西立面図 S=1/100

令和6年度	縮尺	A-22 意匠
名称工事名 掘西東小学校屋外プール改築工事	1/100	
図名 立面図		

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする



断面図 S=1/100

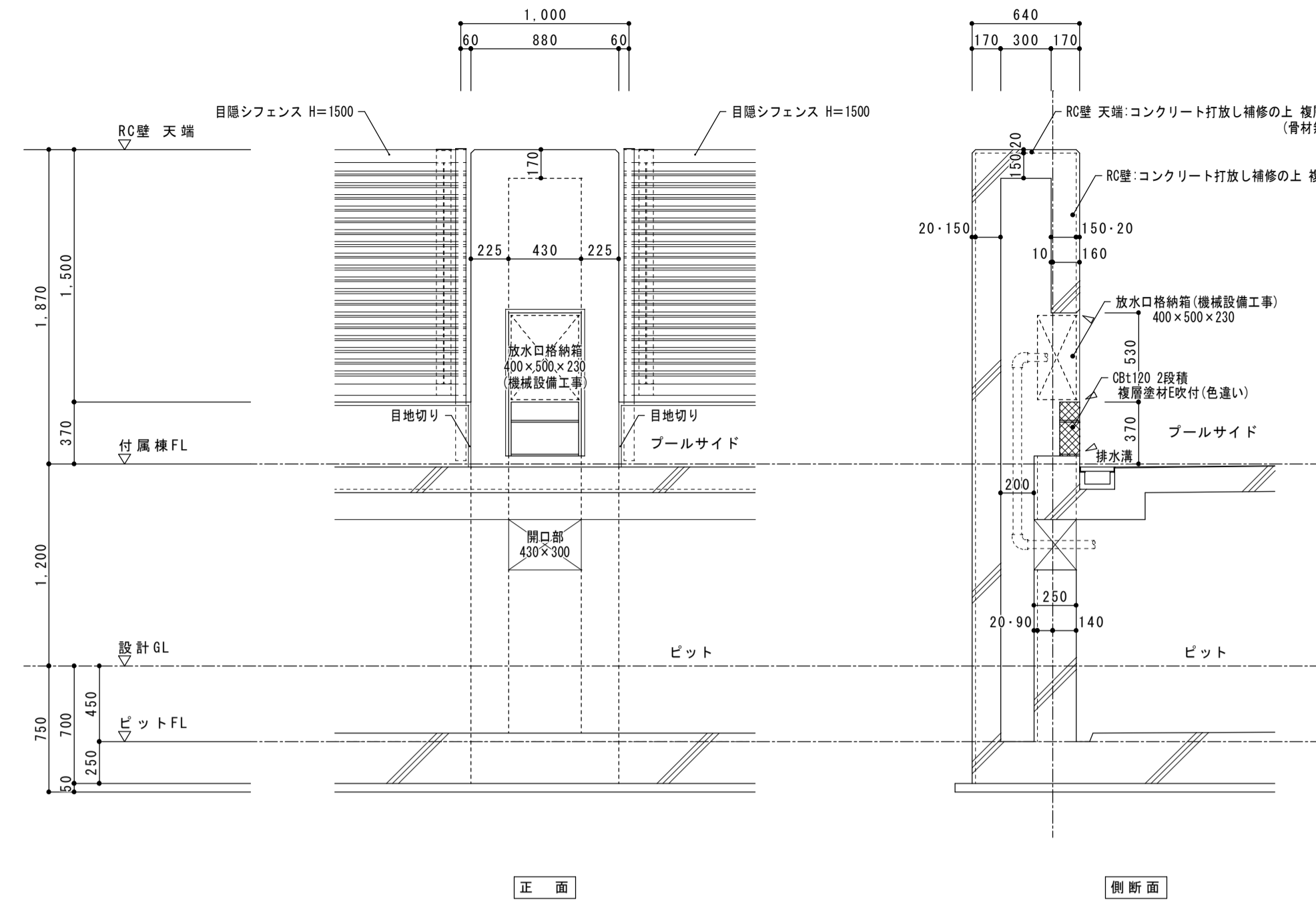
基礎：柱状改良

令和6年度	縮尺	A-23 意匠
名称工事名 掘西東小学校屋外プール改築工事		
図名 断面図	1/100	

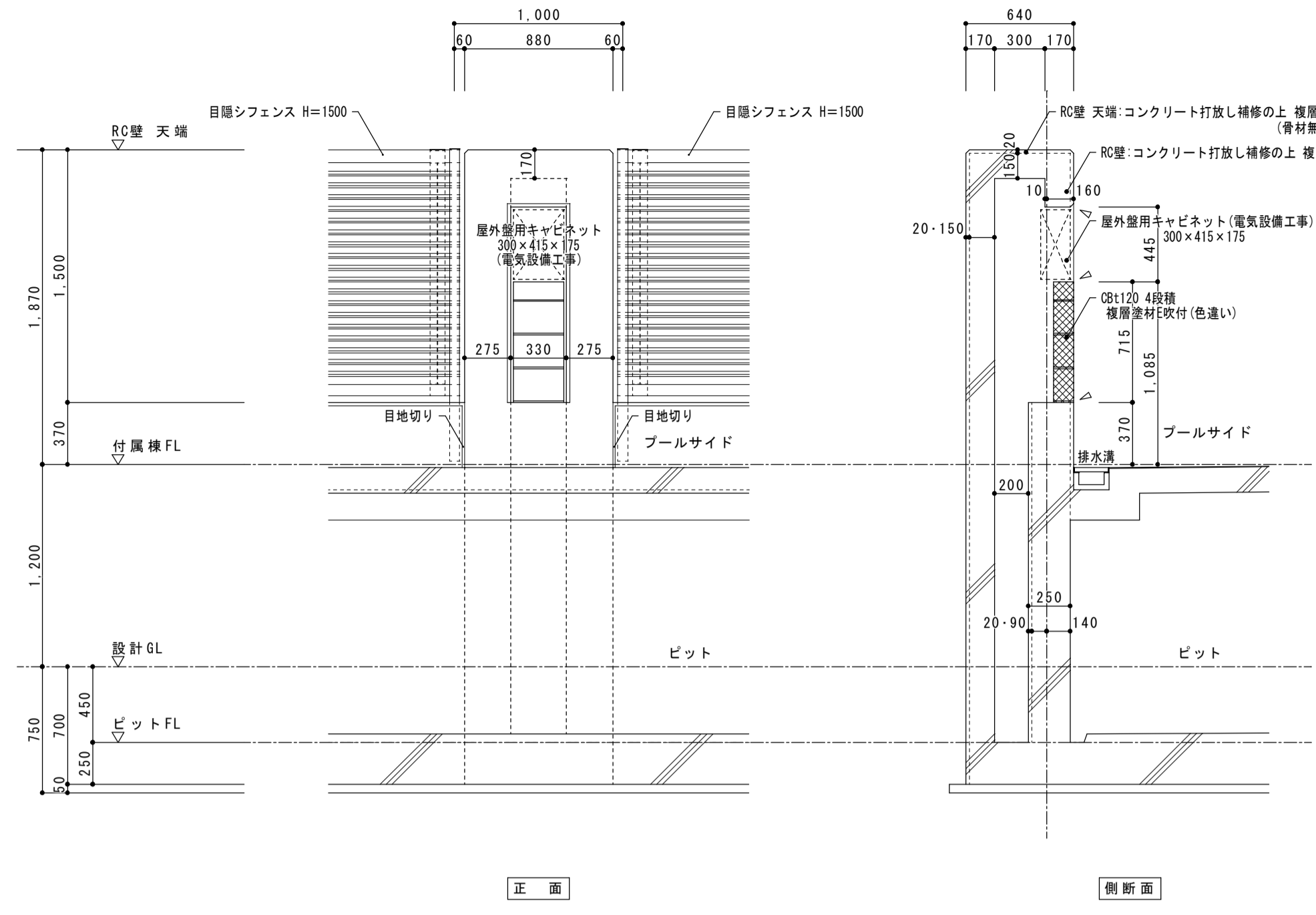
※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする

凡例

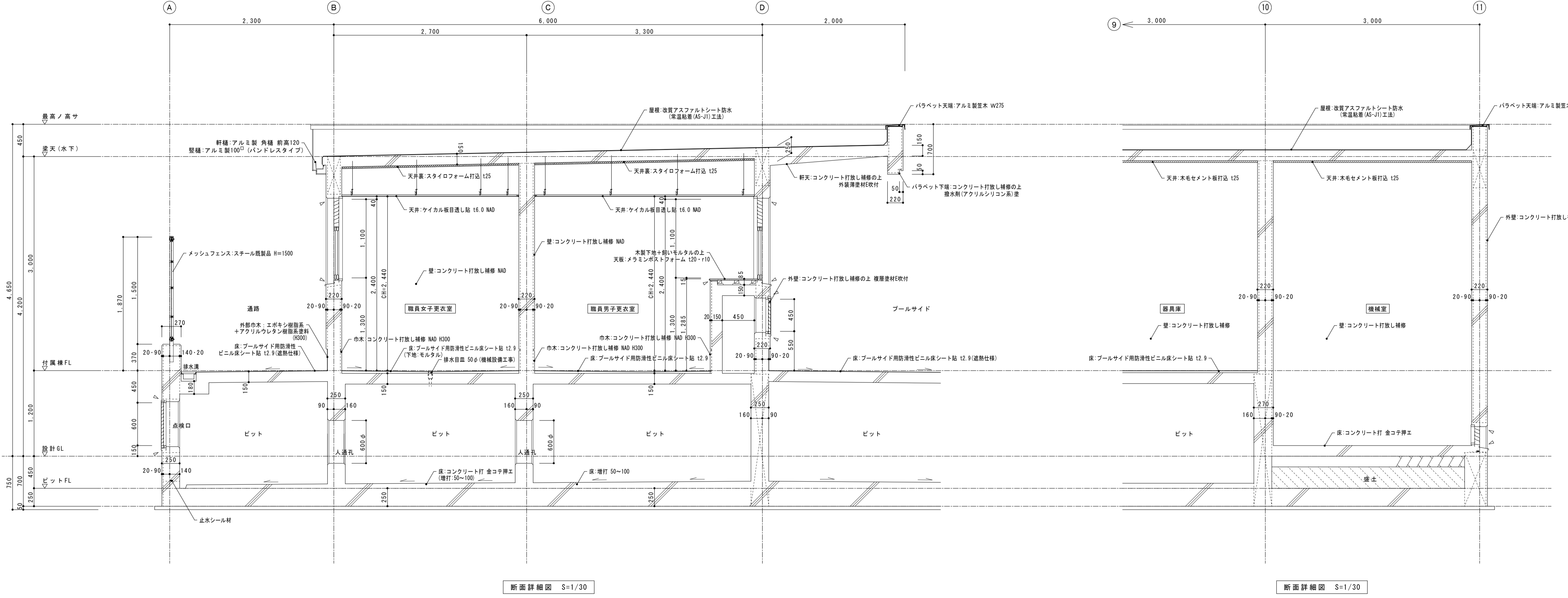
床排水勾配を示す。



排水栓
RC壁詳細図 S=1/30



外線電話機
RC壁詳細図 S=1/30



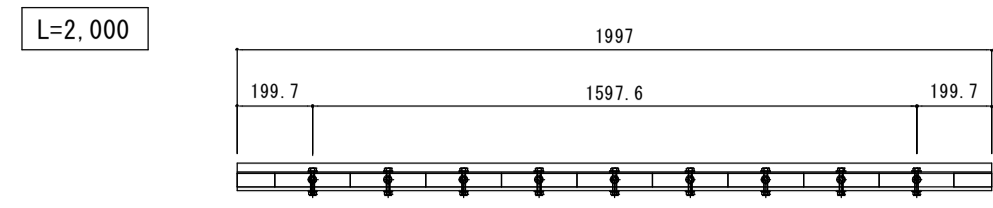
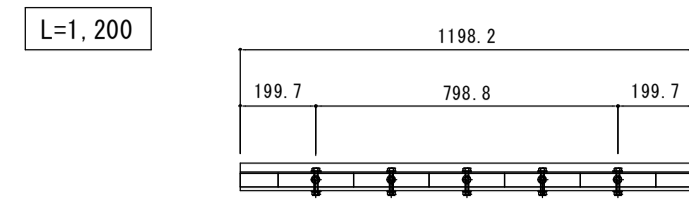
断面詳細図 S=1/30

断面詳細図 S=1/30

令和 6 年 度	縮尺	A-24 / 意匠
名称工事名	撰西東小学校屋外プール改築工事	
図 名	断面詳細図1	1/30

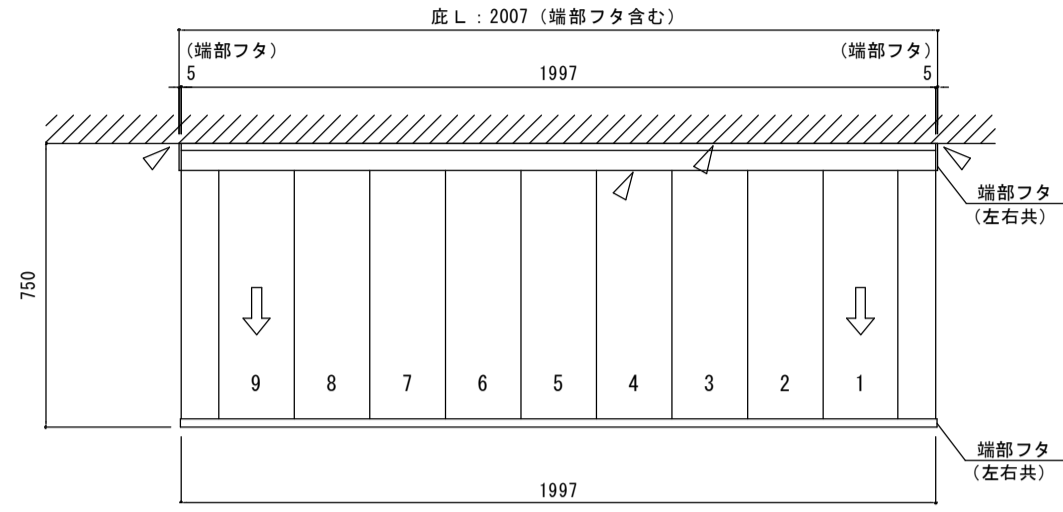
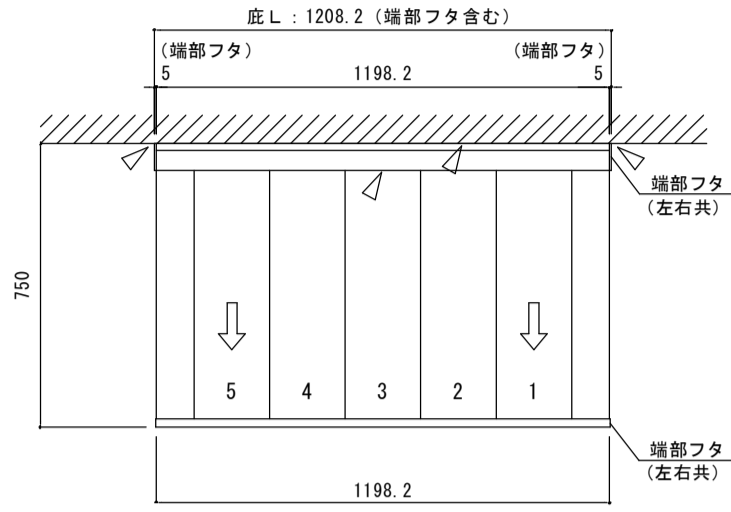
※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする

凡例	
	床排水勾配を示す。



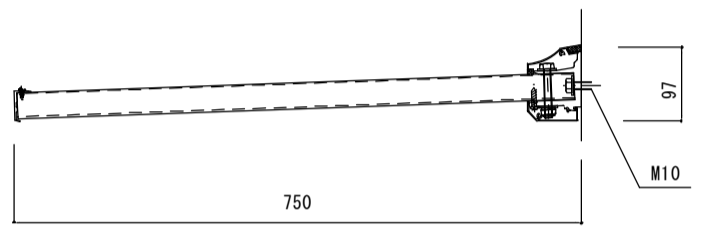
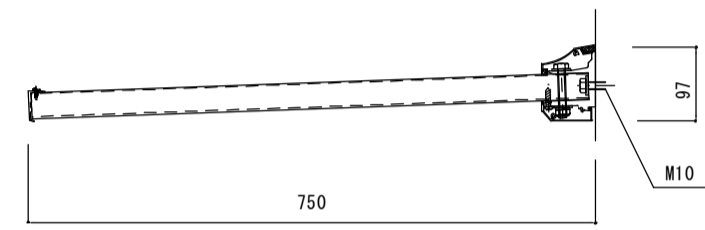
吊元正面図 S=1/20

吊元正面図 S=1/20



平面図 S=1/20

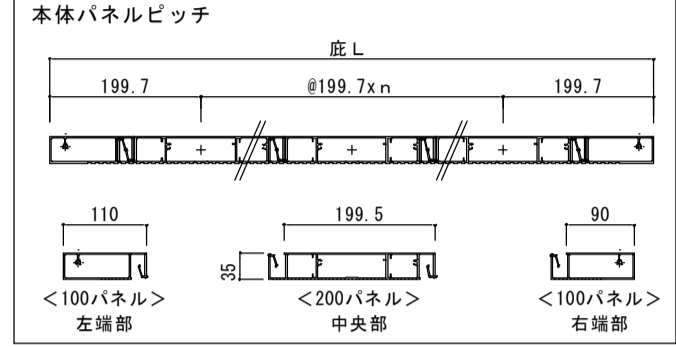
平面図 S=1/20



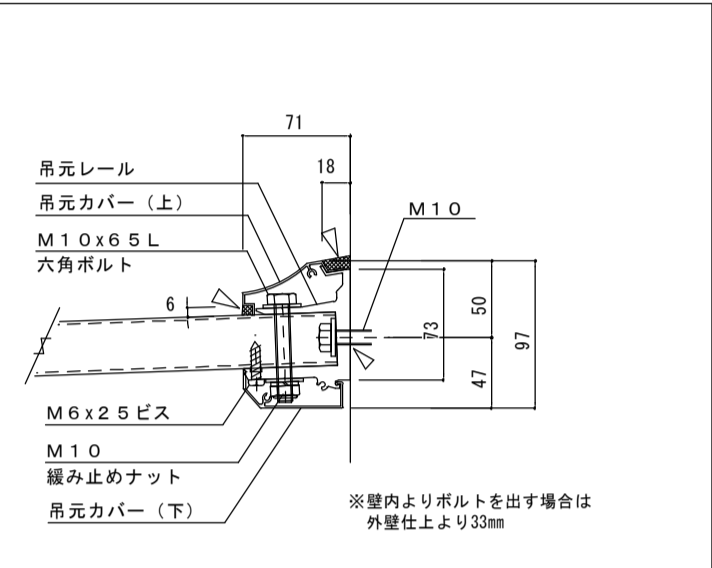
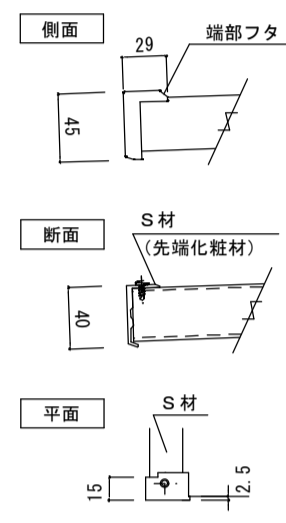
断面図 S=1/10

断面図 S=1/10

●取付に関する注意事項●
 ・仕上材及び躯体の強度は、取付前に確認する事。
 ・ボルト・ナットが緩む恐れがある場合は、緩まないよう緩み止め対策を行う事。

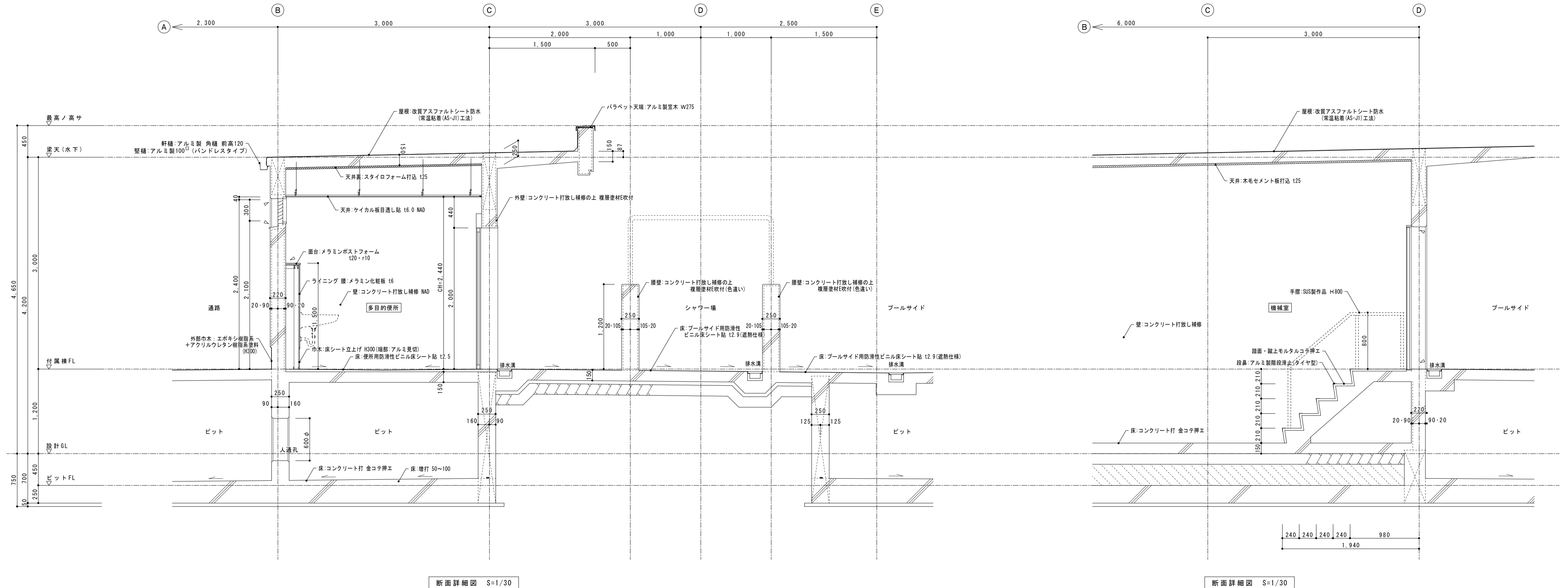


●先硬化化粧材



付底:アルミ既製品 L1200×D750
 付底:アルミ既製品 L2000×D750

図示

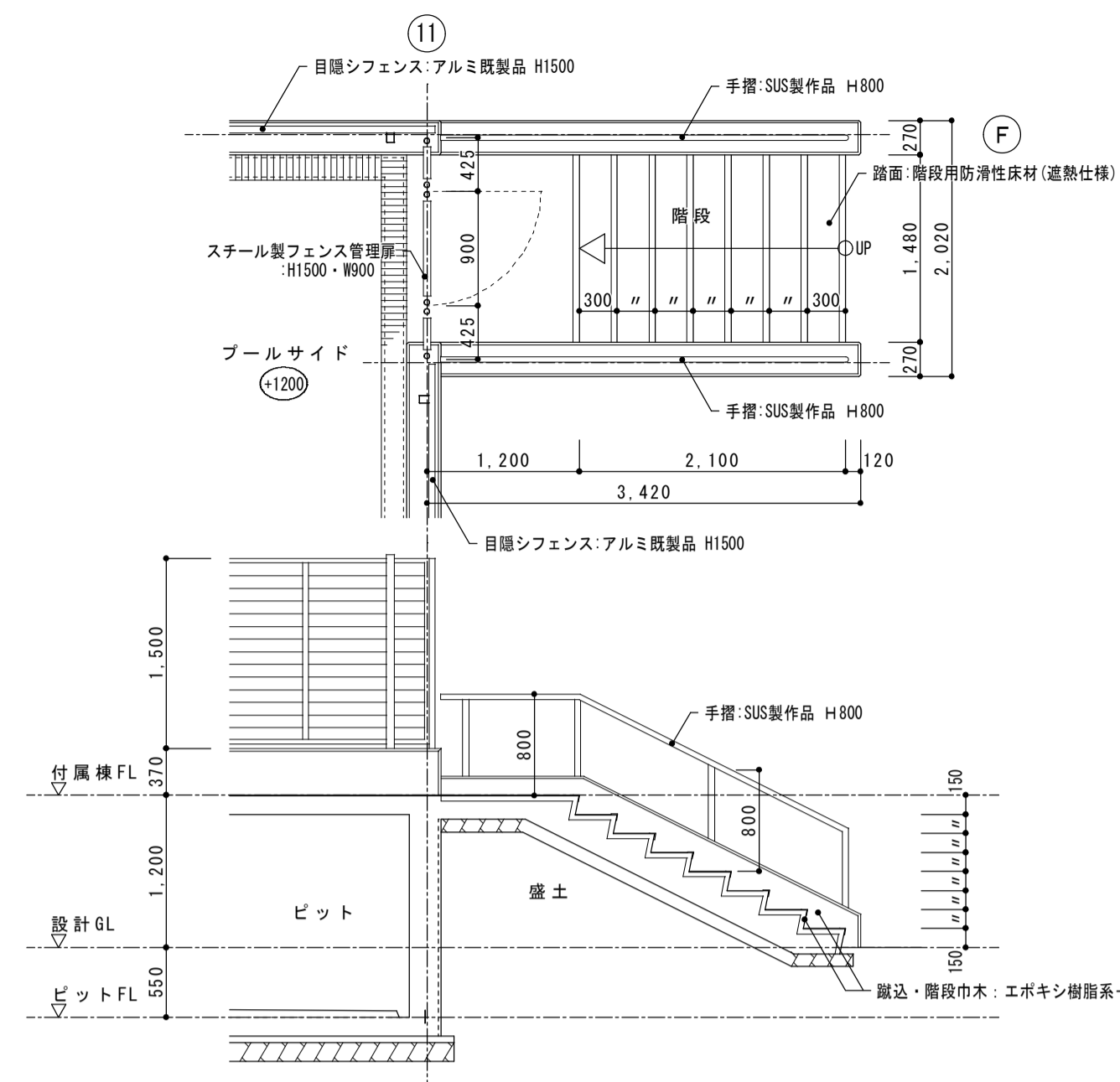
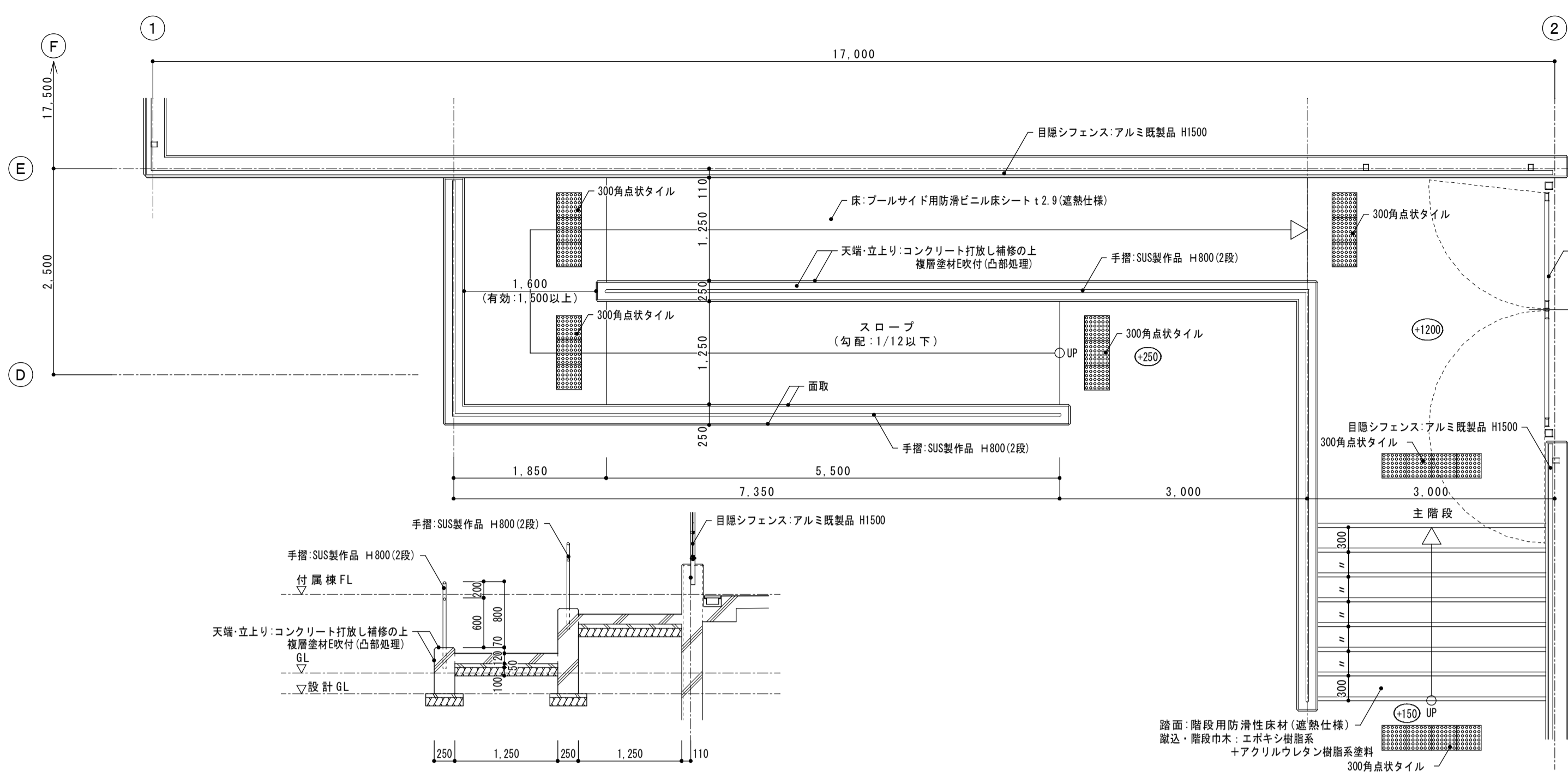


断面詳細図 S=1/30

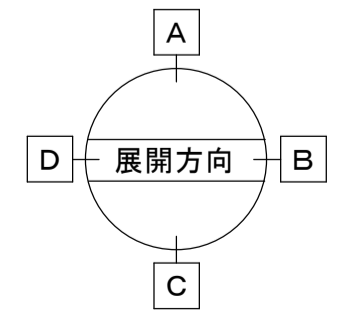
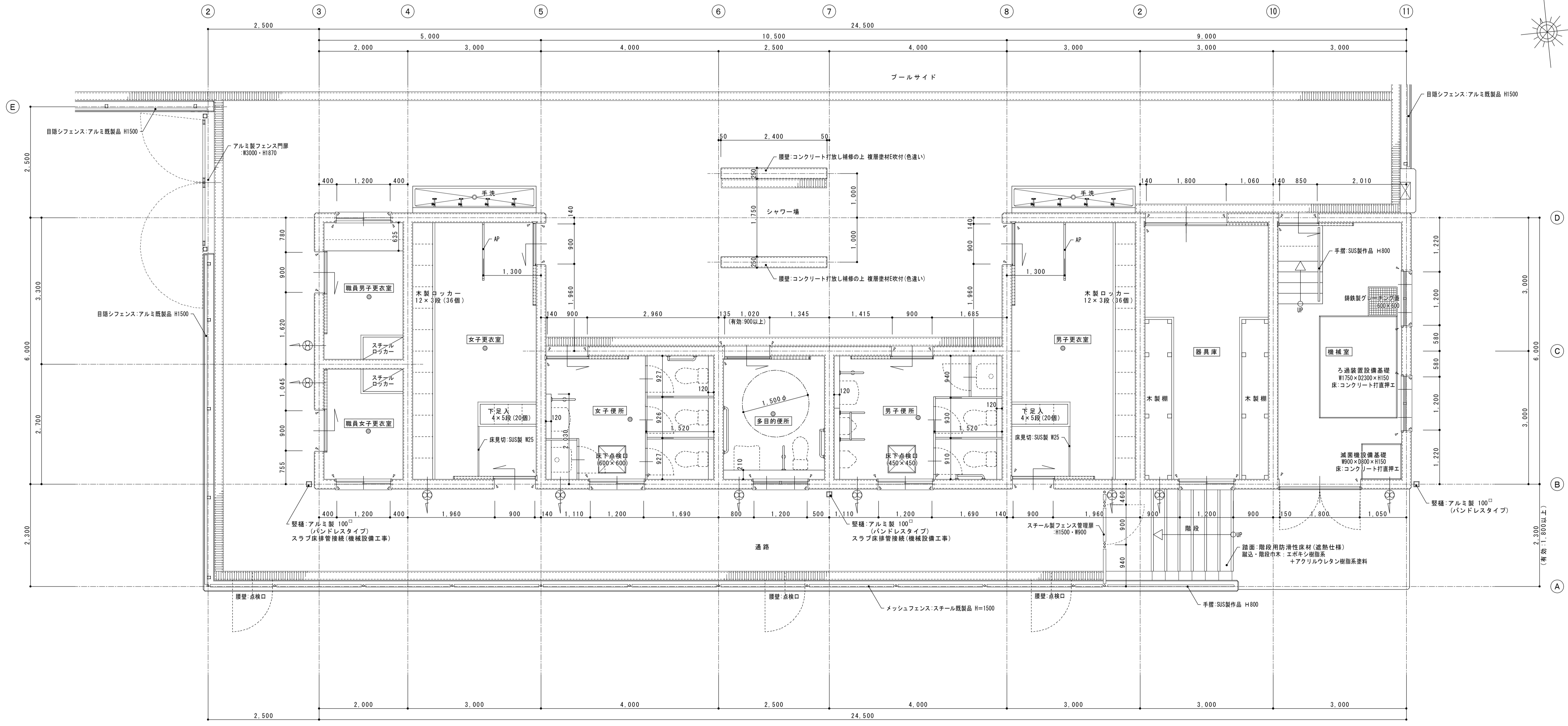
断面詳細図 S=1/30

令和 6 年 度	縮尺	A-25
名称工事名	撰西東小学校屋外プール改築工事	意匠
図 名	断面詳細図2	図示

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする



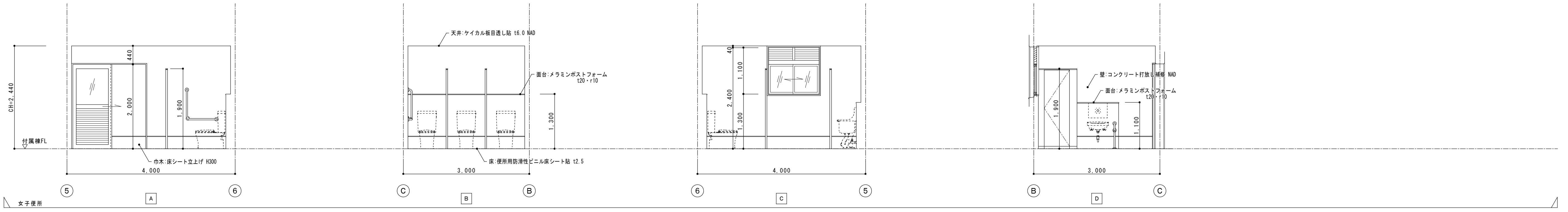
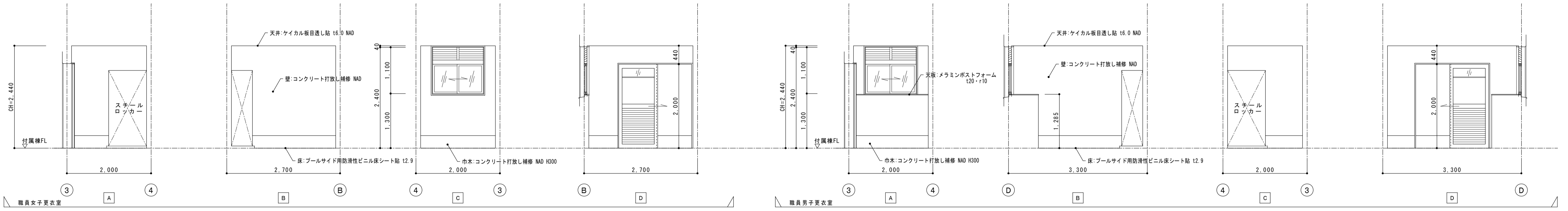
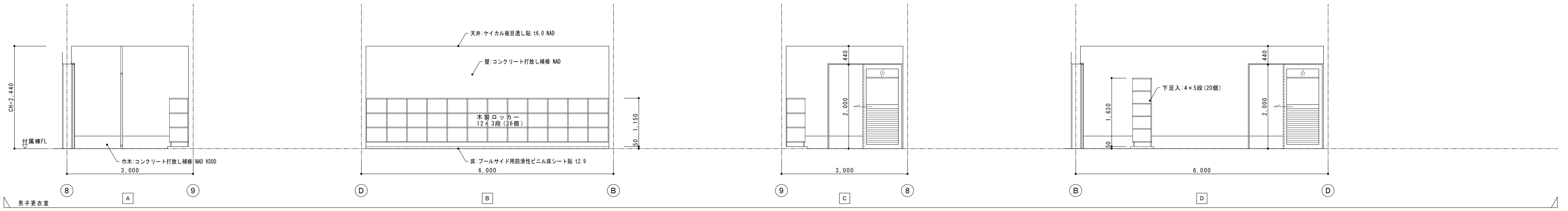
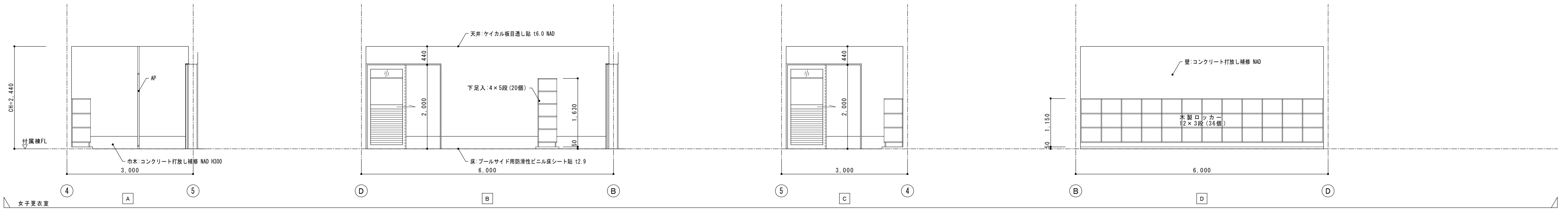
凡例	
	排水溝(プールサイド)φ200・樹脂製グレーチング蓋を示す。
	床排水勾配を示す。
	換気孔:250φを示す(機械設備工事)。
	排水目:50φを示す(機械設備工事)。
	設計GLからの高さを示す。

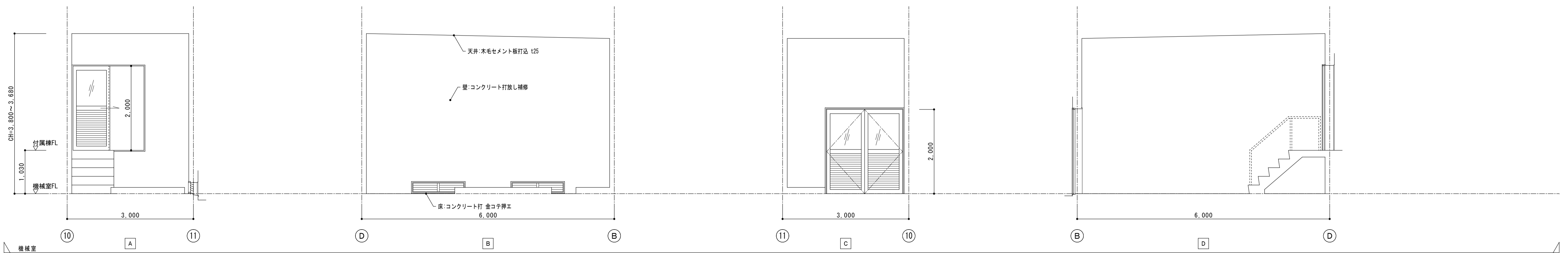
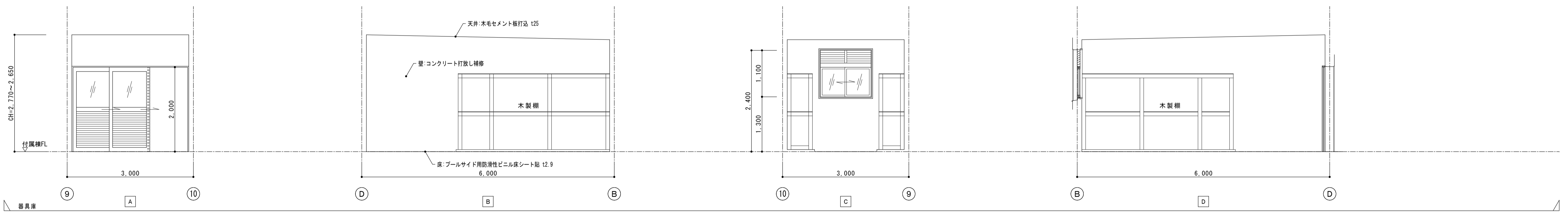
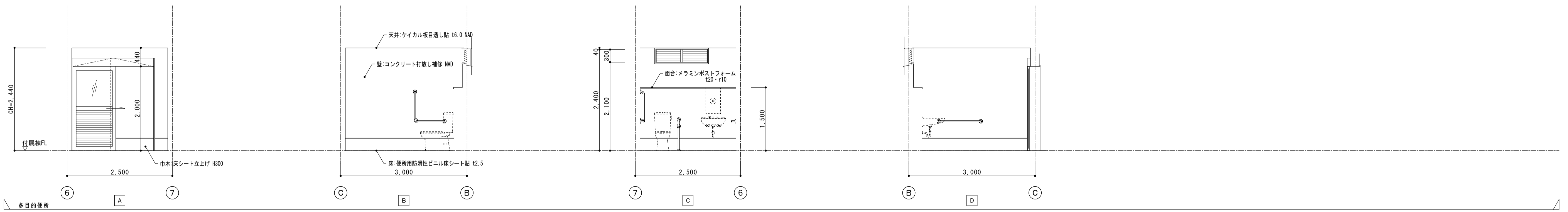
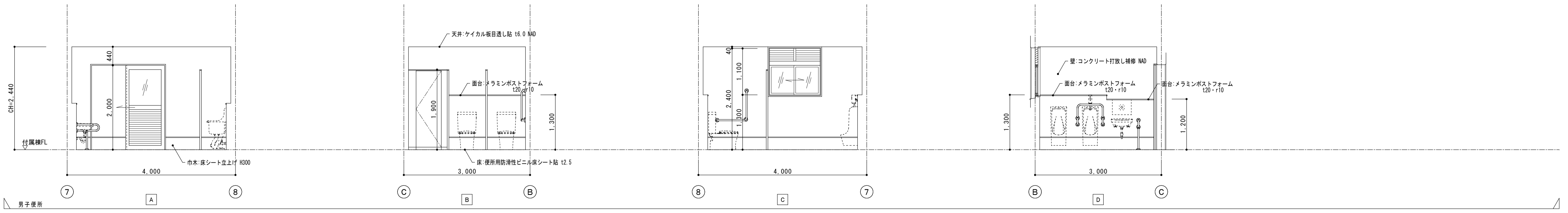


平面詳細図 S=1/50

令和6年度		縮尺	A-26
名称工事名	摂西東小学校屋外プール改築工事		意匠
図名	平面詳細図	1/50	

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする

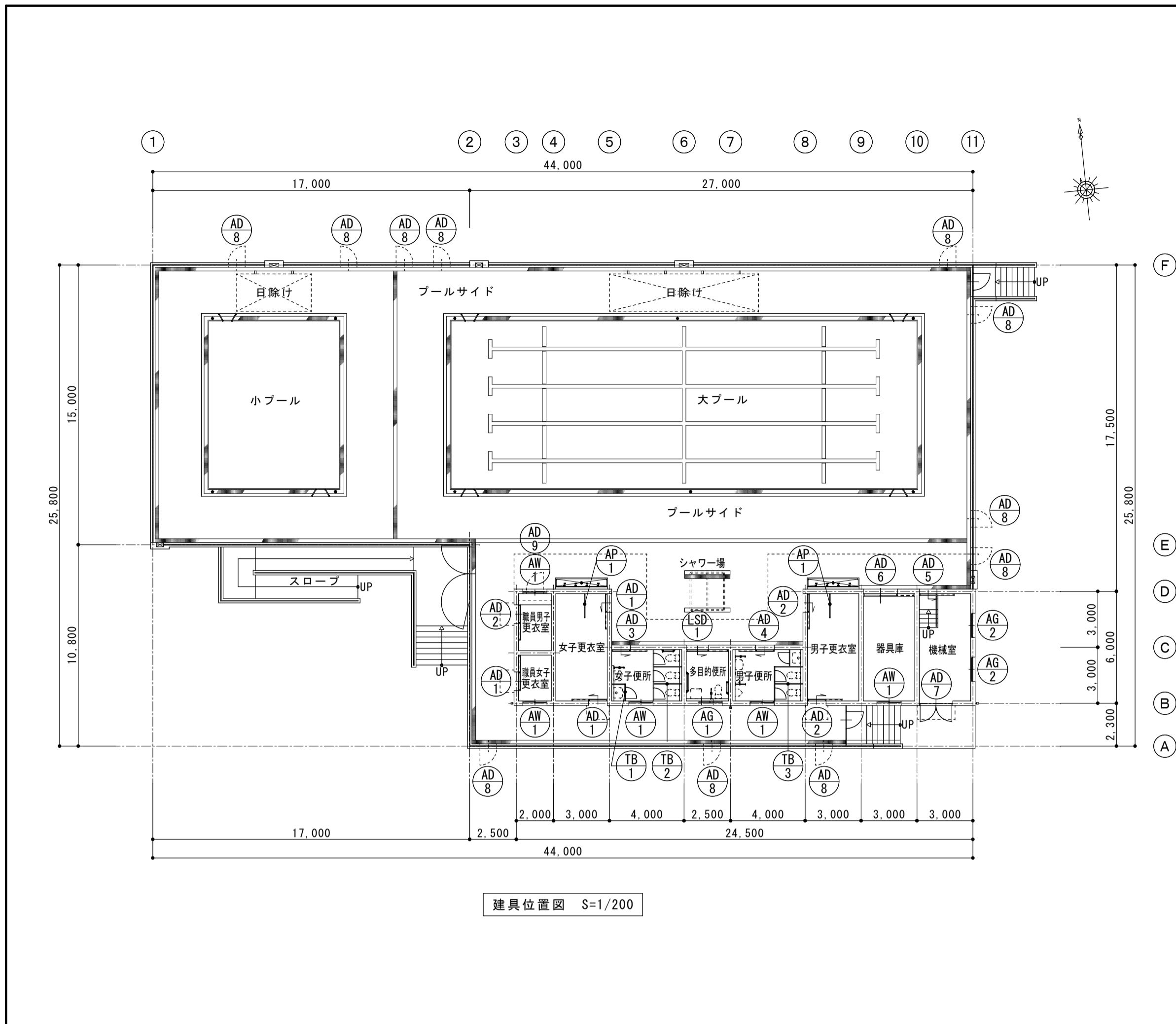




展開図 S=1/50

令和6年度	縮尺	A-28 意匠
名称工事名 掘西東小学校屋外プール改築工事		
図名 展開図2	1/50	

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする

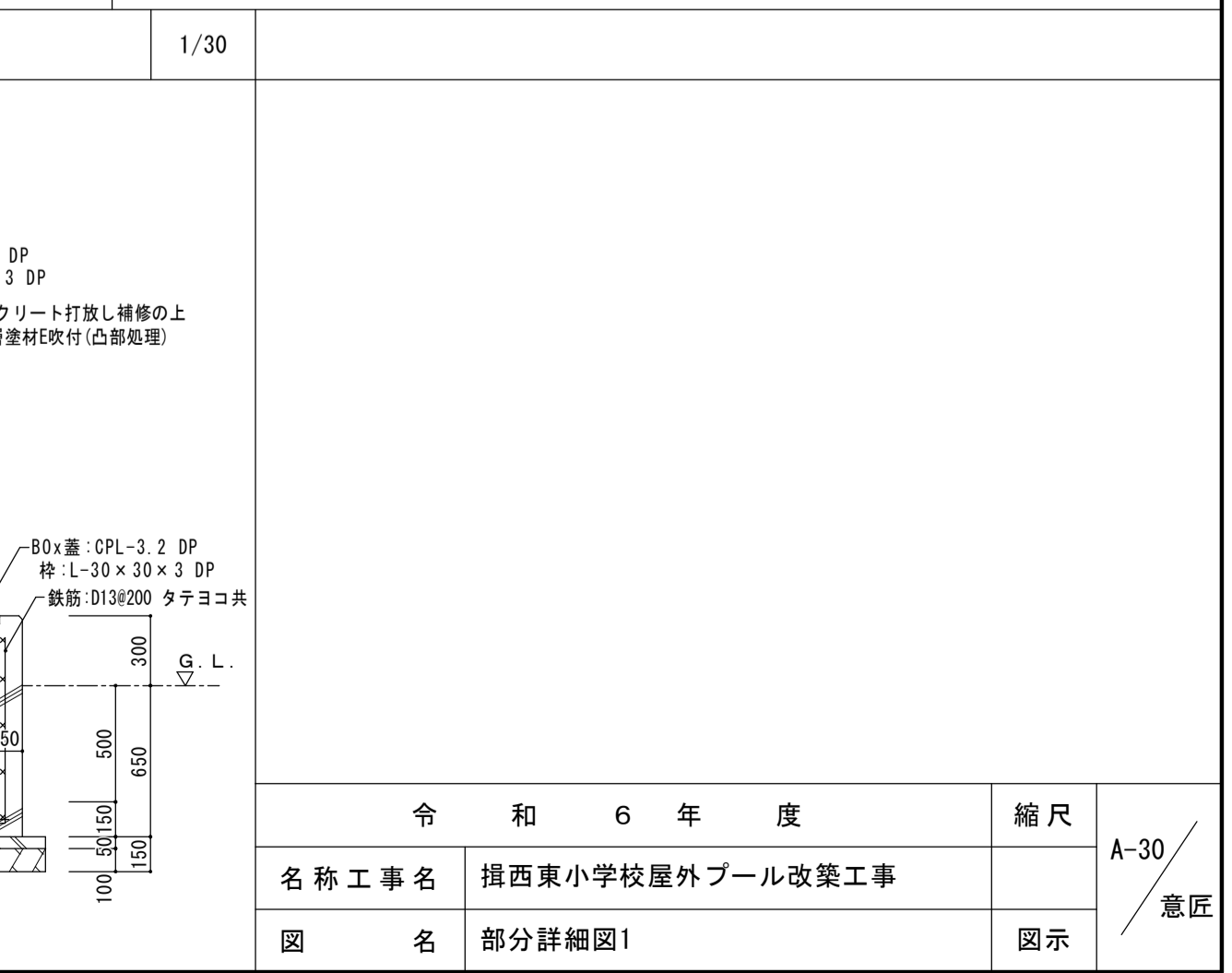
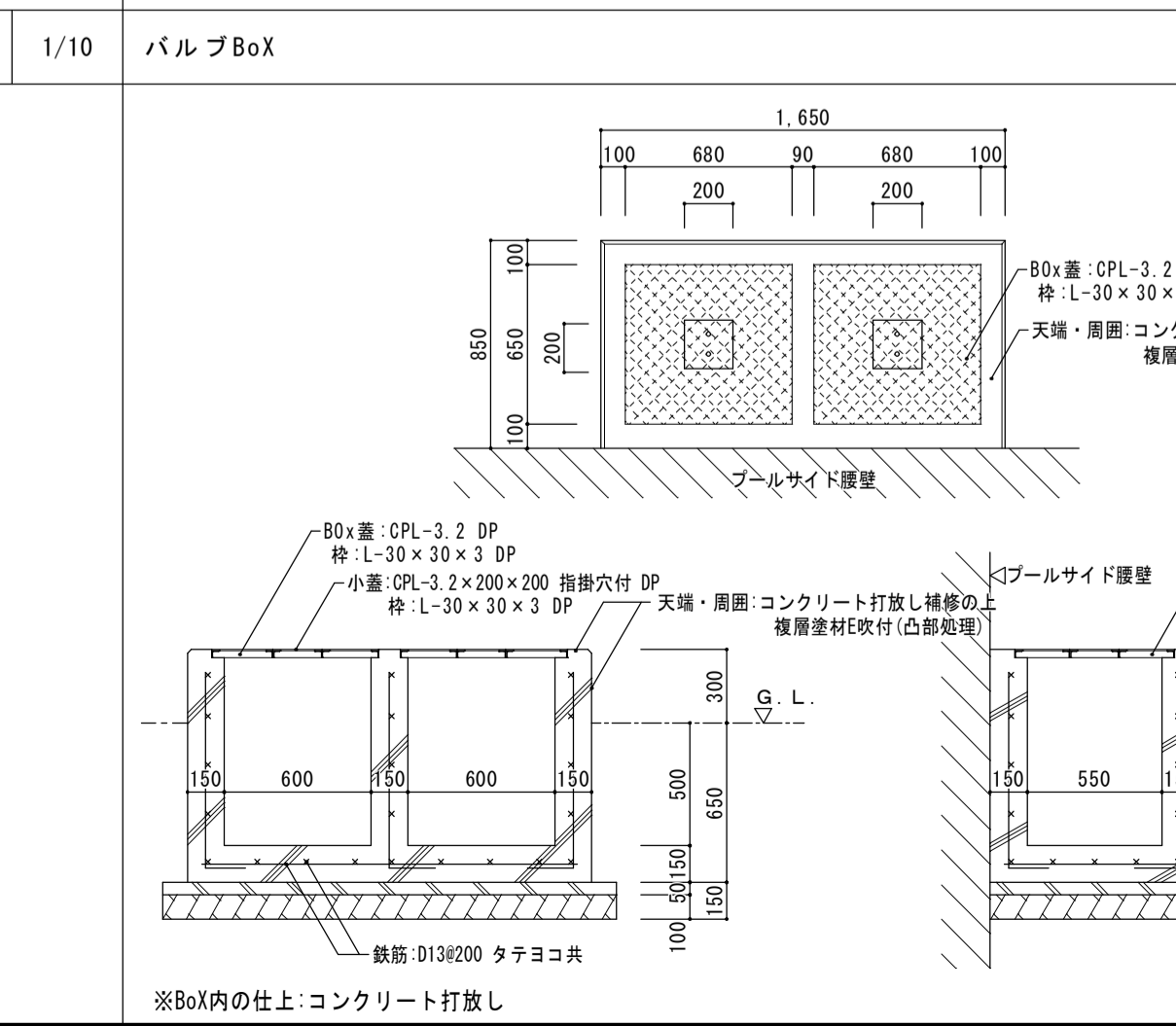
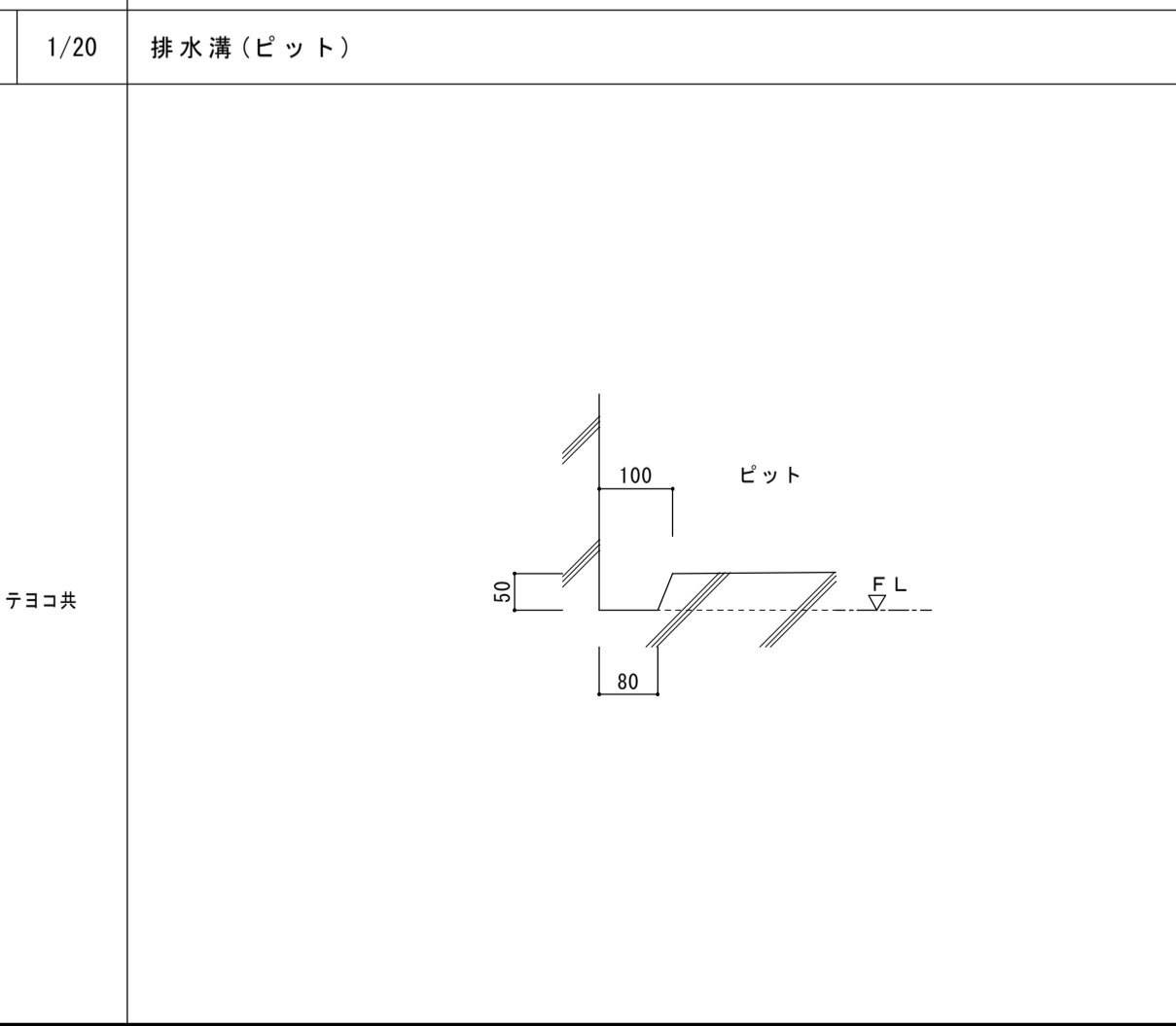
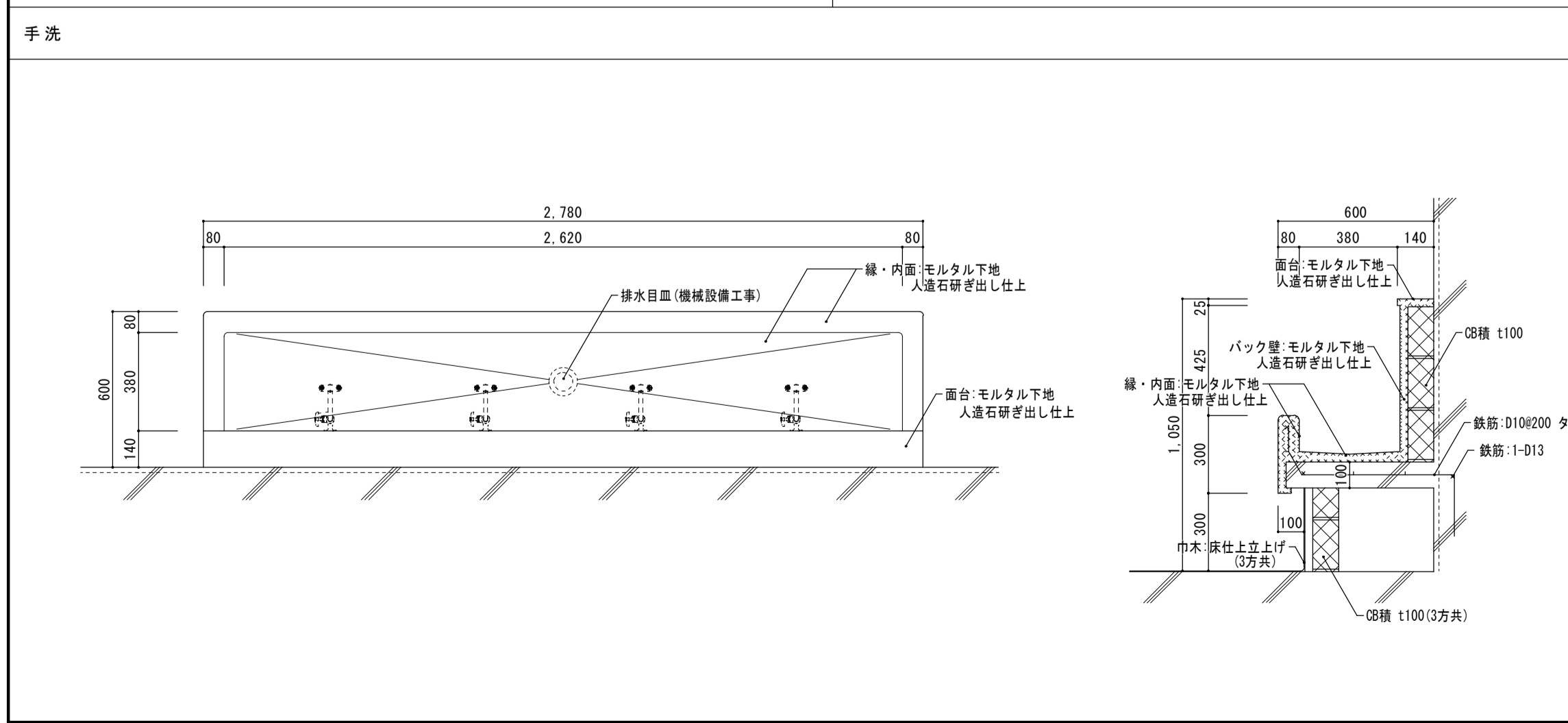
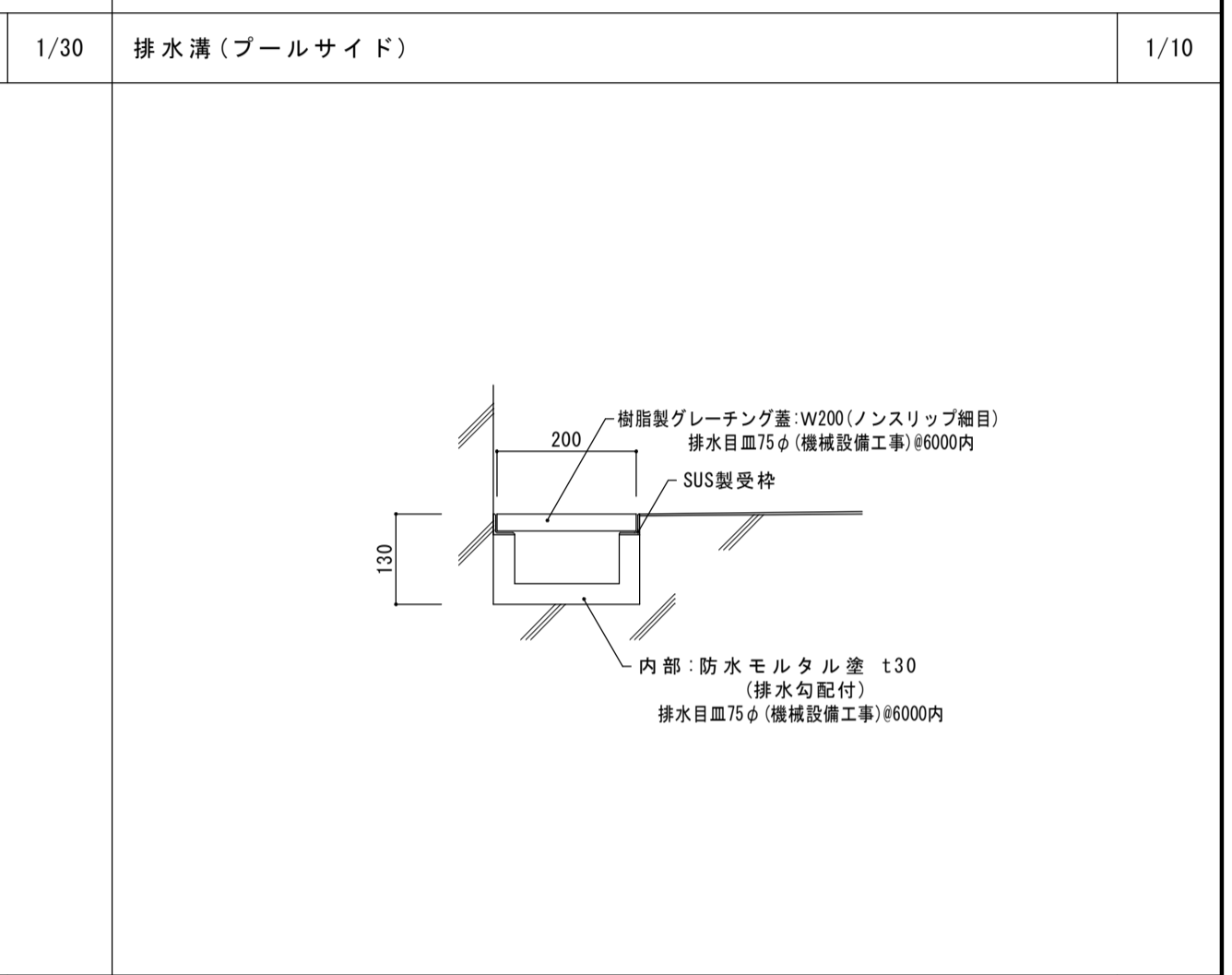
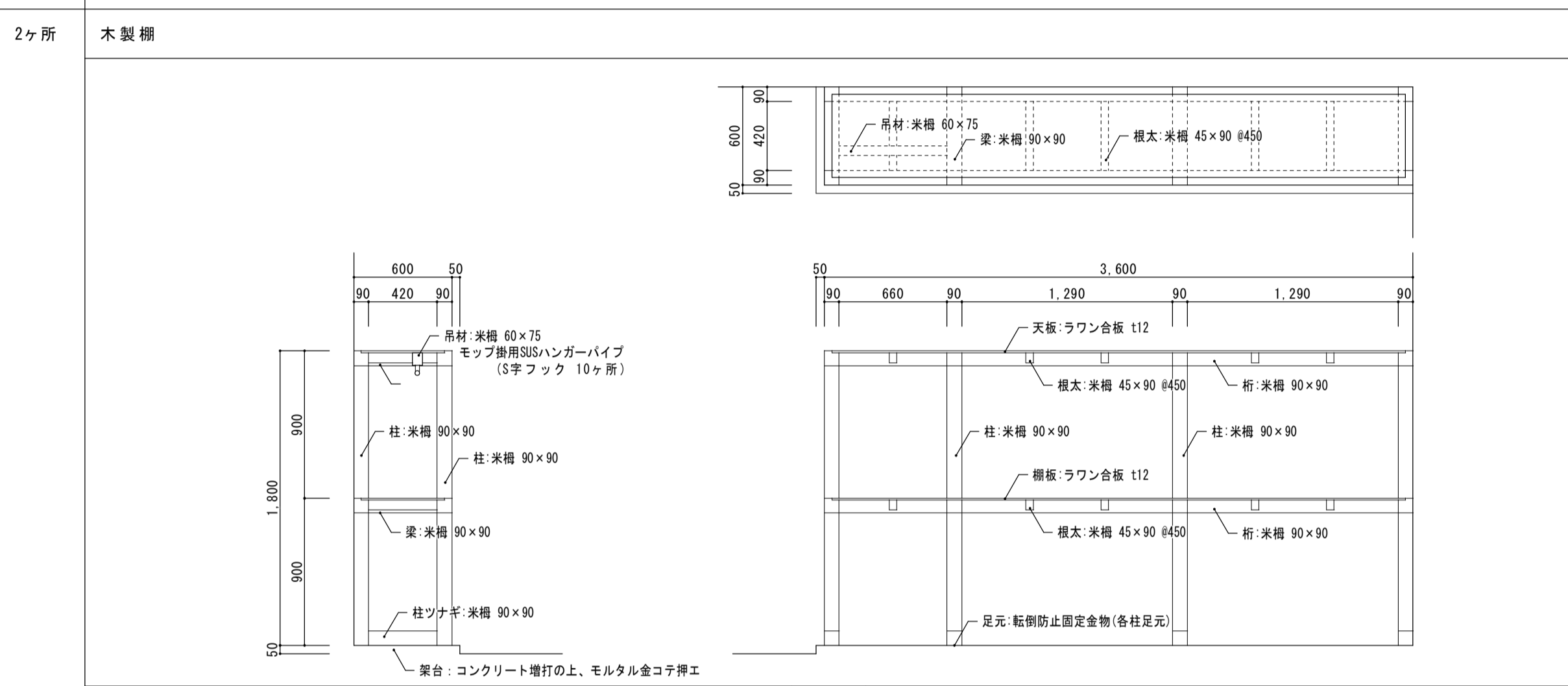
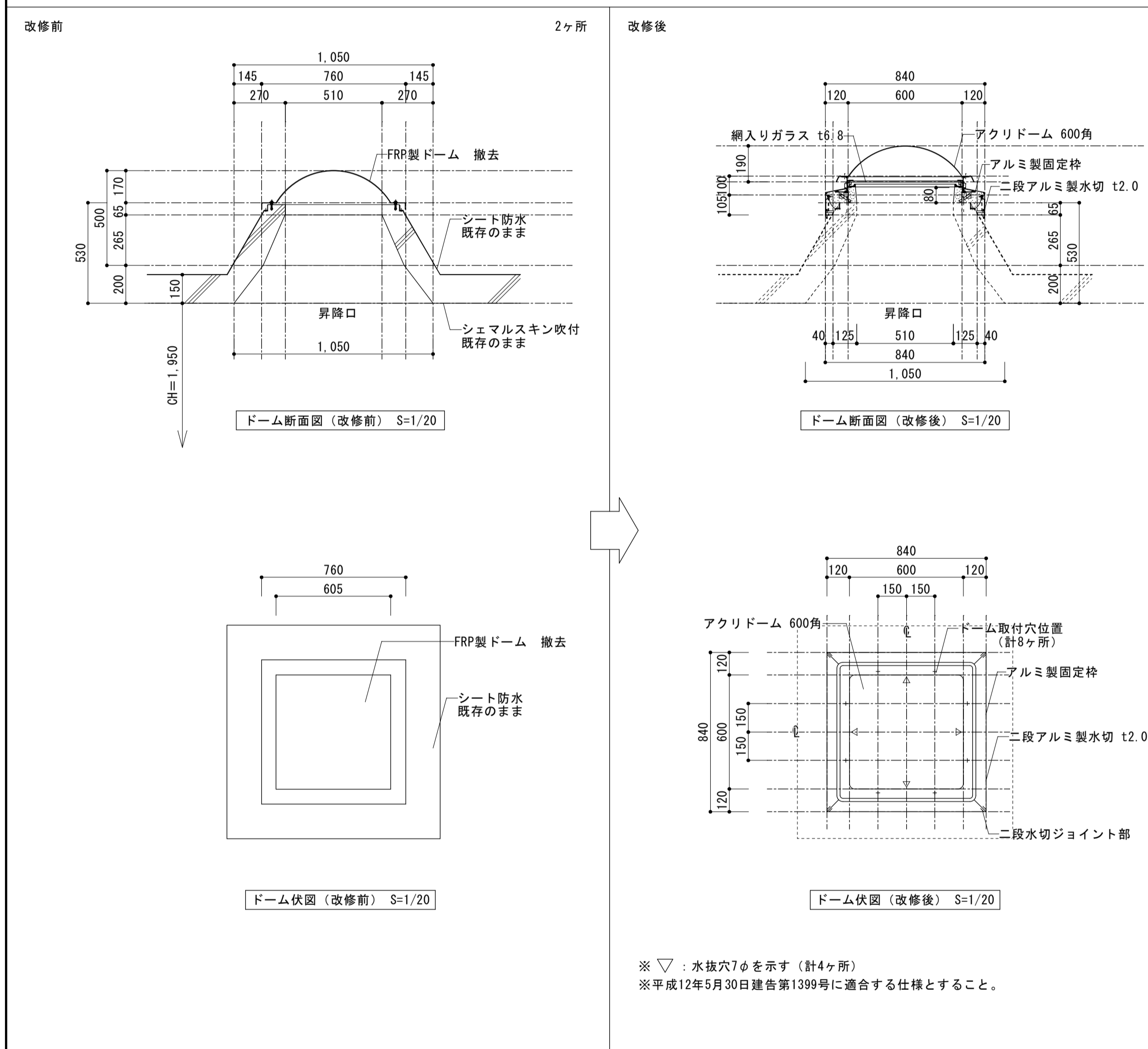
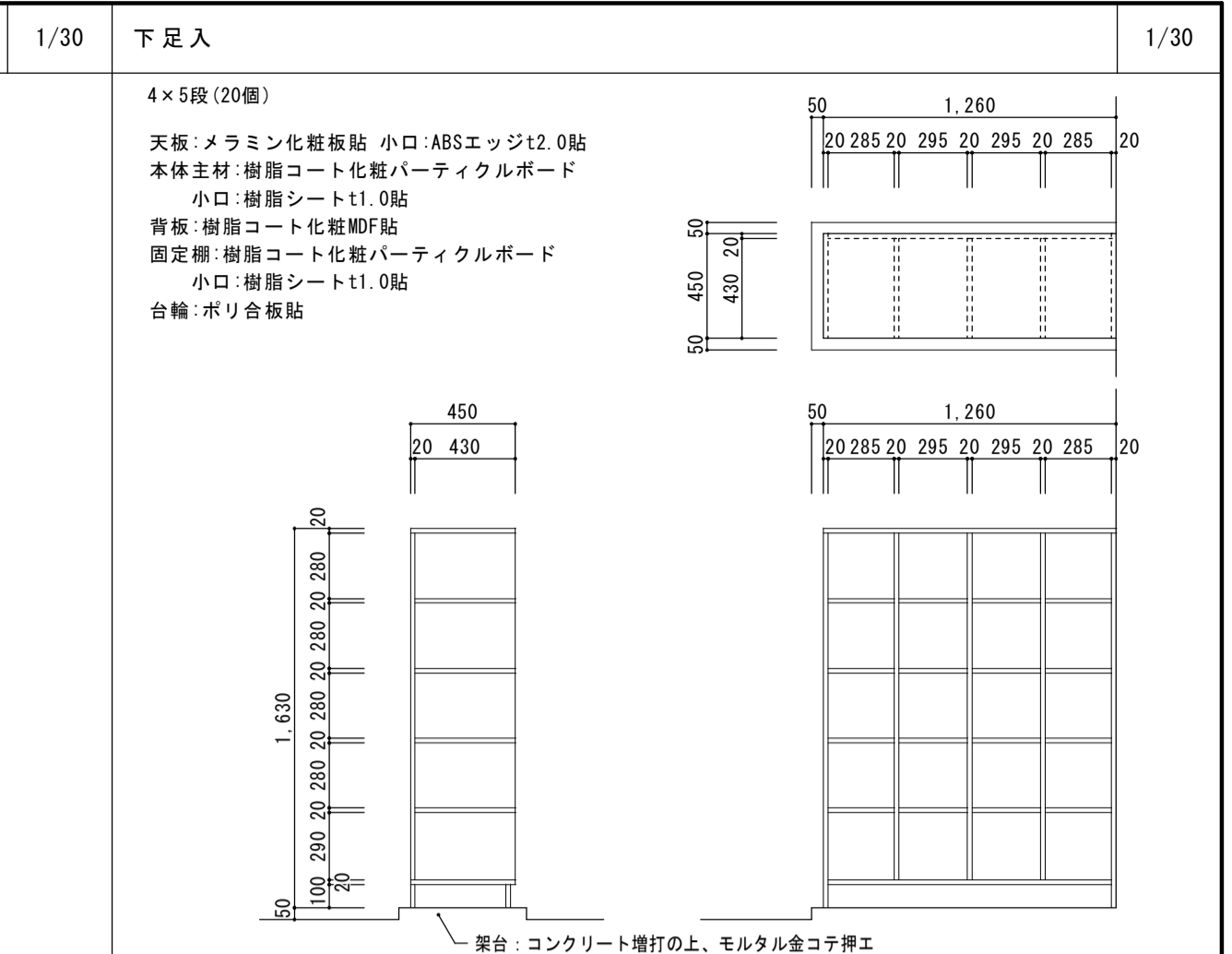
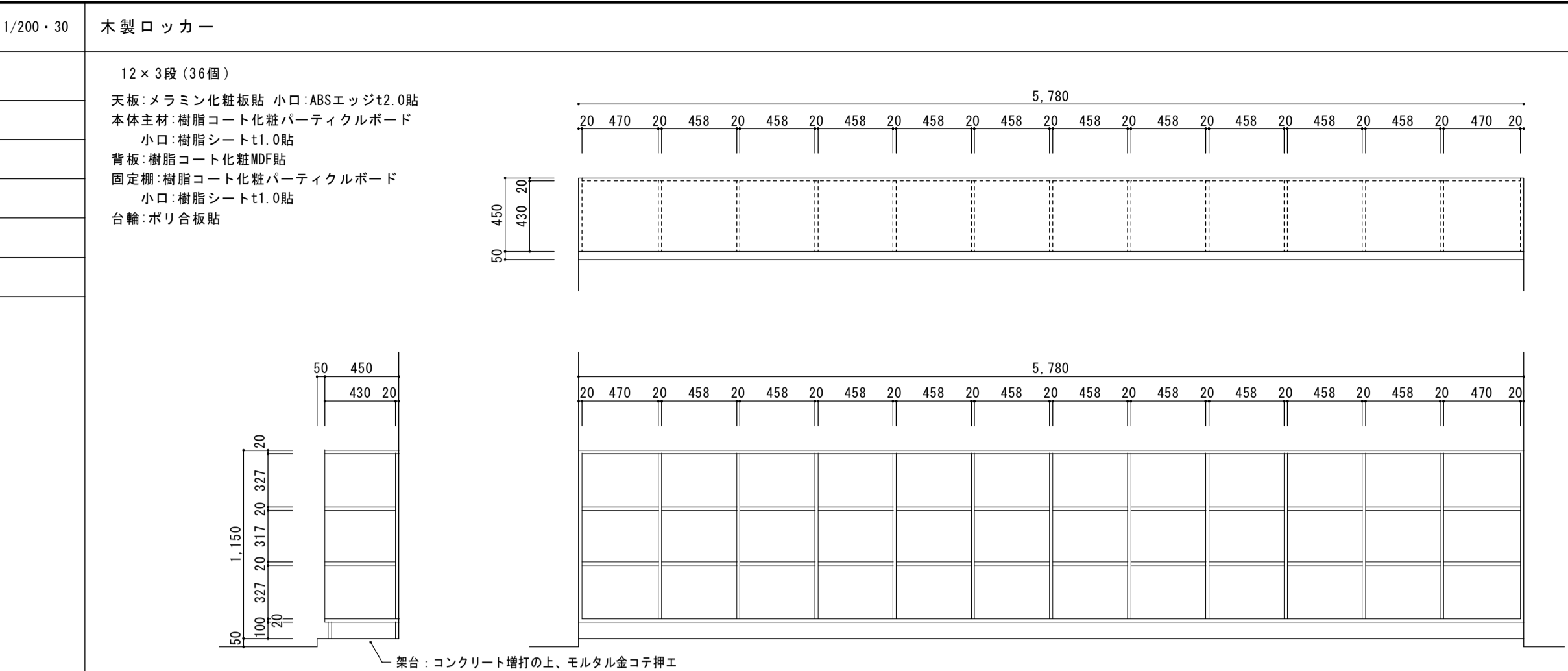
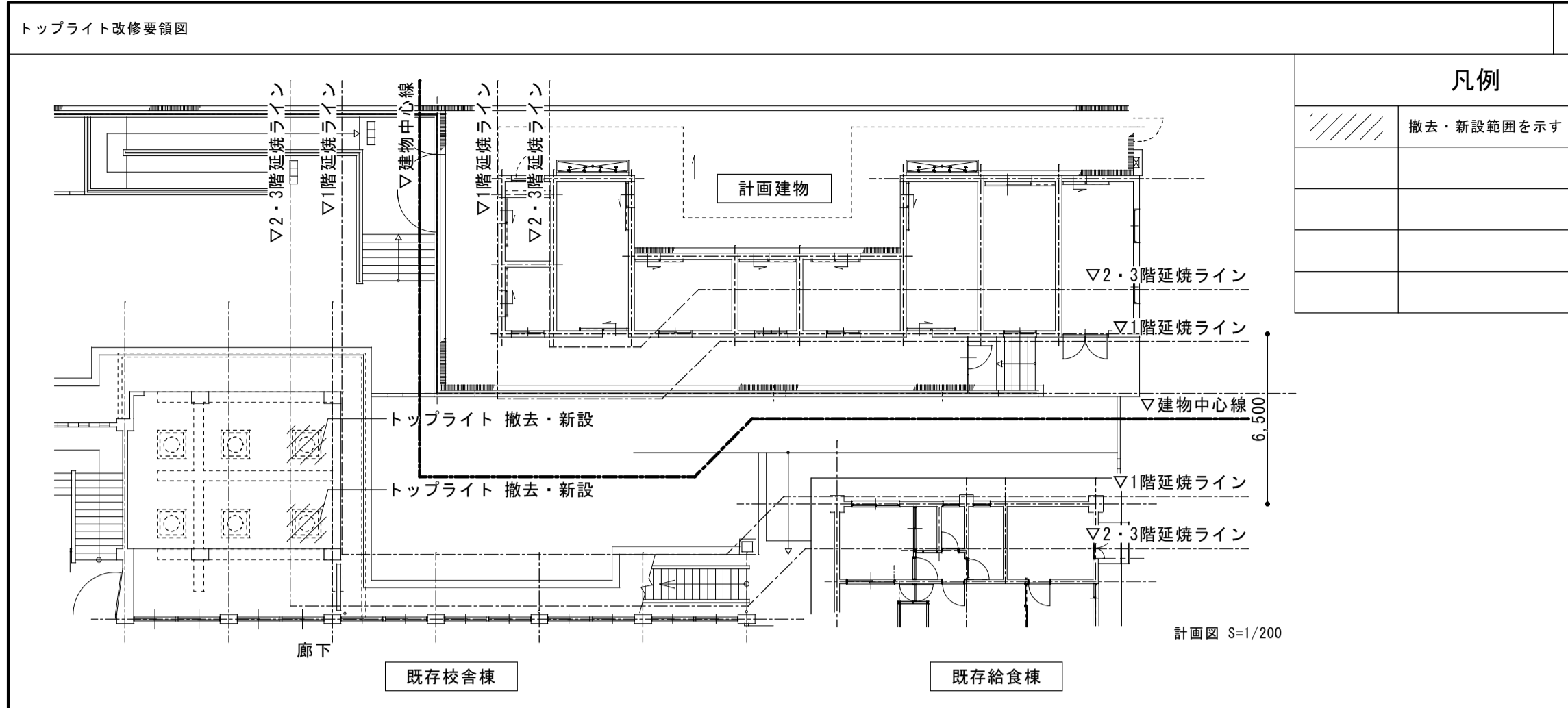


符号・場所・数量	AD 1 女子更衣室・職員女子更衣室 3	AD 2 男子更衣室・職員男子更衣室 3	AD 3 女子便所 1	AD 4 男子便所 1
形状・寸法				
型式	片引戸	片引戸	片引戸	片引戸
見込	70	70	70	70
仕上	カラー	カラー	カラー	カラー
資	-	-	-	-
摺	線入型板 t6.8	線入型板 t6.8	線入型板 t6.8	線入型板 t6.8
硝子	引棒・戸車・シリンドー錠錠 (内部サムターン付)・戸当り・指詰防止枠	引棒・戸車・シリンドー錠錠 (内部サムターン付)・戸当り・指詰防止枠	引棒・戸車・シリンドー錠錠 (内部サムターン付)・戸当り・指詰防止枠	引棒・戸車・シリンドー錠錠 (内部サムターン付)・戸当り・指詰防止枠
金物	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式
備考				
符号・場所・数量	AD 5 機械室 1	AD 6 器具庫 1	AD 7 機械室 1	AD 8 プールサイド腰壁 11
形状・寸法				
型式	片引戸	2枚片引戸	両開戸	片開戸 (点検用)
見込	70	70	70	70
仕上	カラー	カラー	カラー	カラー
資	-	-	-	-
摺	線入型板 t6.8	線入型板 t6.8	線入型板 t6.8	-
硝子	引棒・戸車・シリンドー錠錠 (内部サムターン付)・戸当り・指詰防止枠	引棒・戸車・シリンドー錠錠 (内部サムターン付)・戸当り・指詰防止枠	レバーハンドル・SUS丁番・シリンドー錠 (内部サムターン付)・フランス落シ	SUS丁番・シリンドー錠
金物	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式・ドアクローザ・アルミ製額縁	標準金物一式
備考				

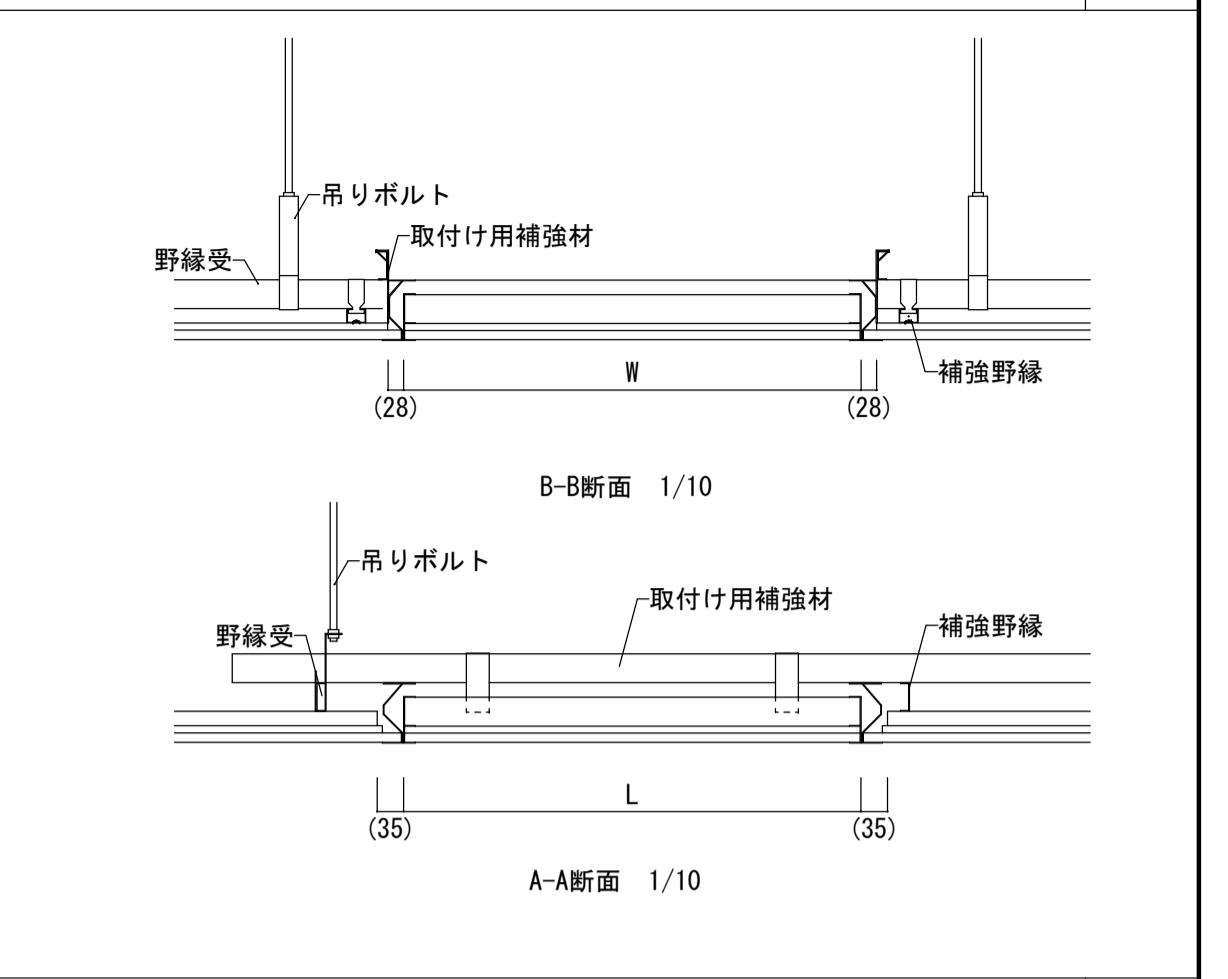
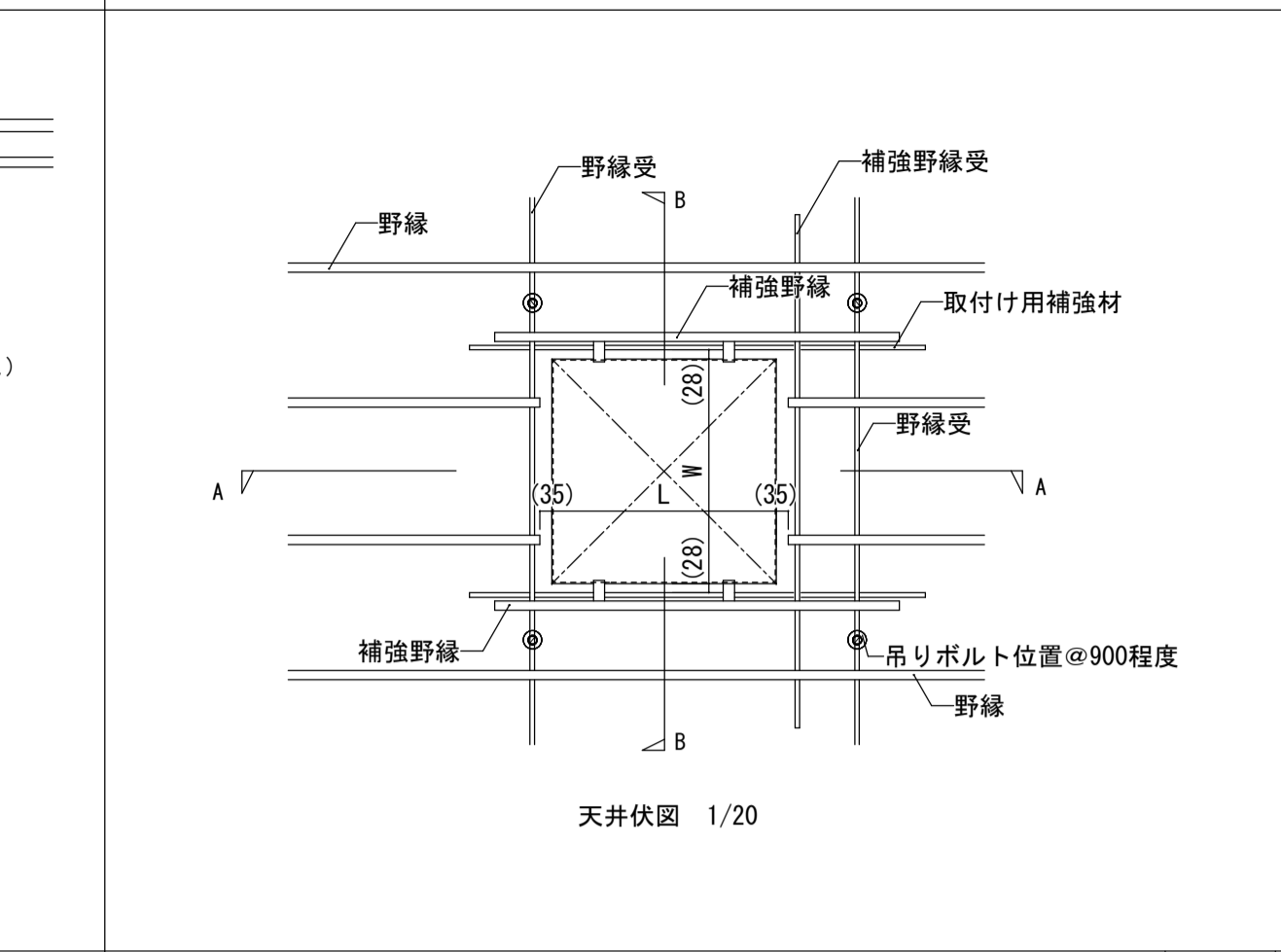
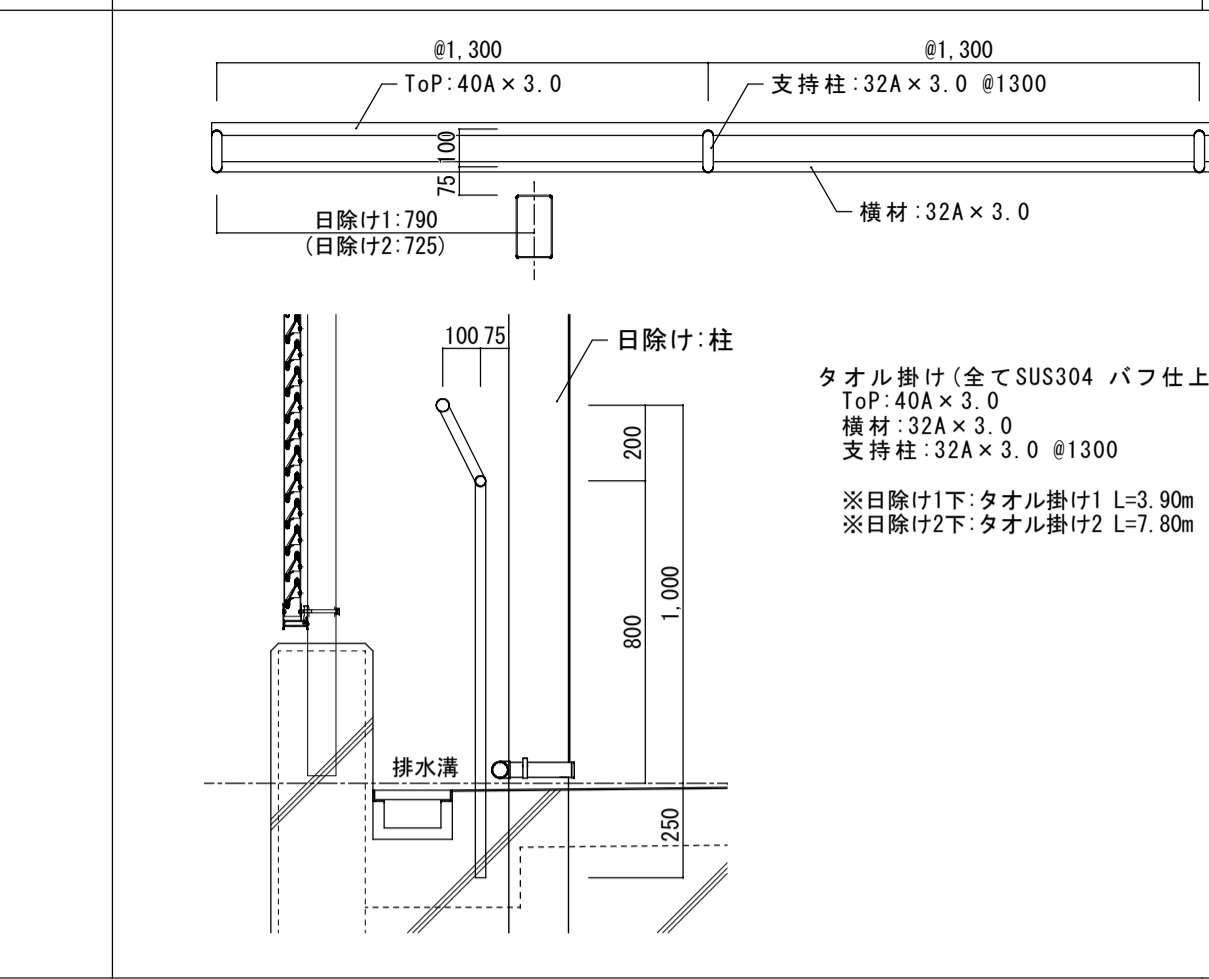
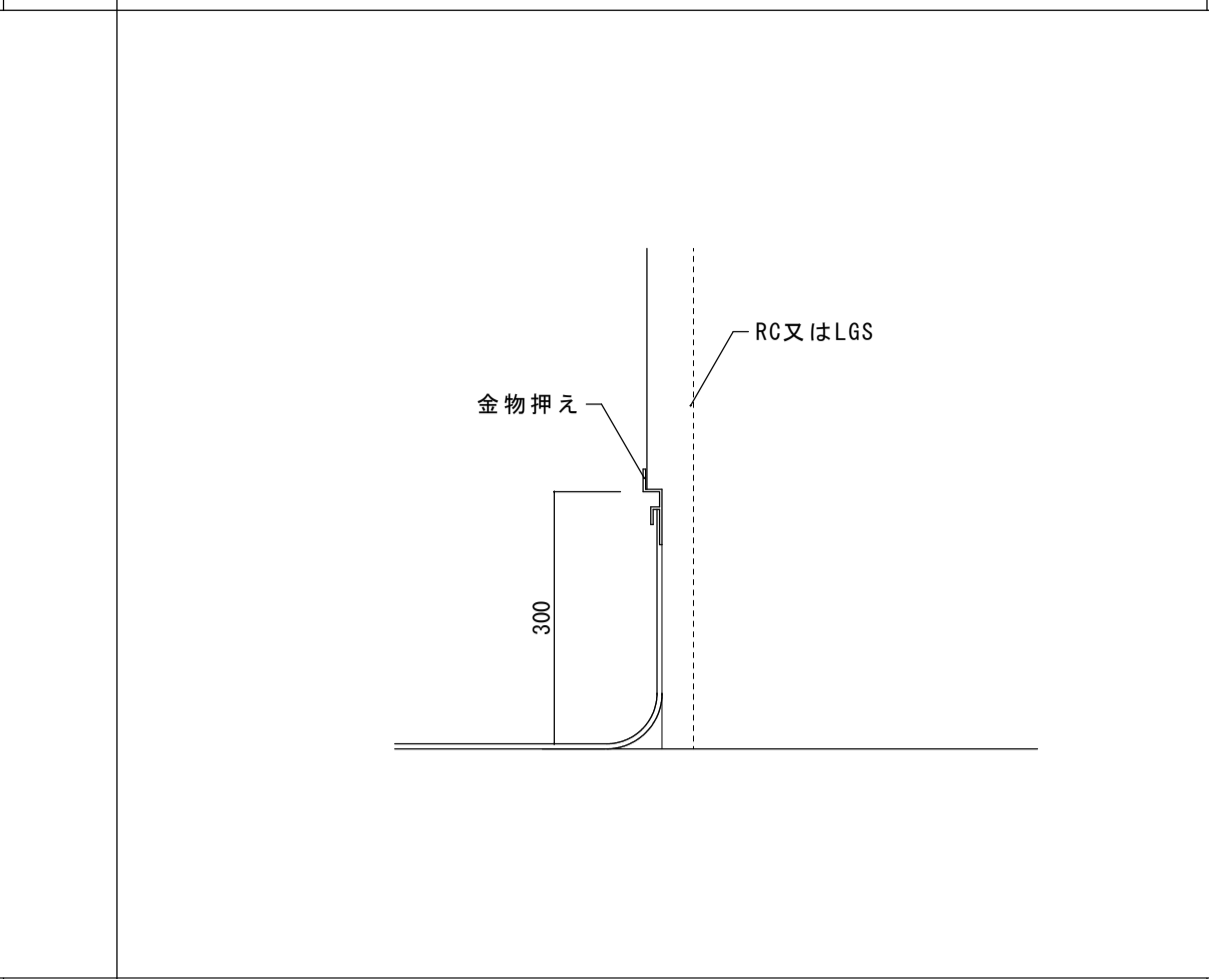
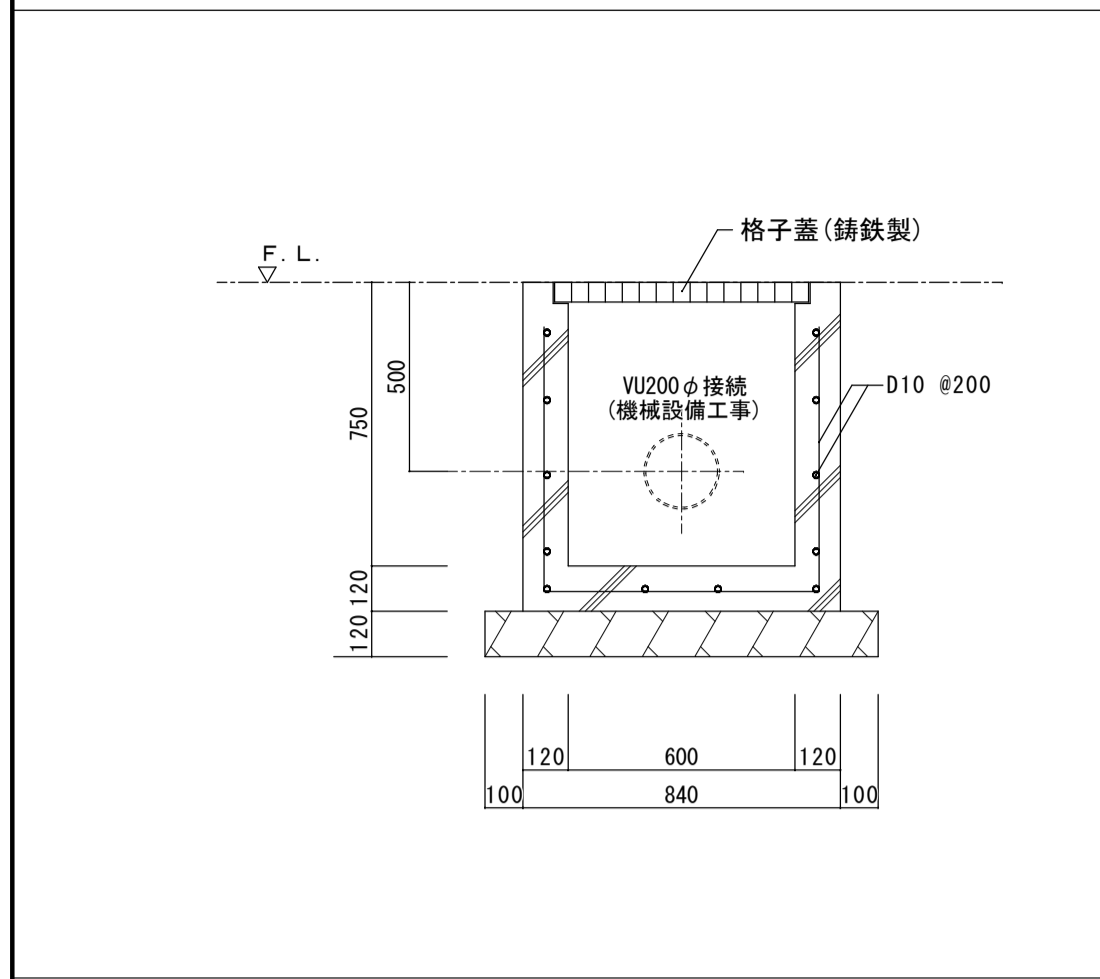
符号・場所・数量	AD 9 プールサイド腰壁 (職員男子更衣室) 1	AW 1 女子便所・男子便所・器具庫 職員男子更衣室・職員女子更衣室 5	AG 1 多目的便所 1	AG 2 機械室 2	AP 1 女子更衣室・男子更衣室 2	LSD 1 多目的便所 1
形状・寸法						
型式	両開戸 (点検用)	ガラリ付引違窓	ガラリ窓	ガラリ窓 (オーバーフロー対策用)	衝立パーティション	片引戸 (自動閉鎖式)
見込	70	70	70	70	40	145
仕上	カラー	カラー	カラー	カラー	メラミン化粧合板	標準色 (焼付塗装)
資	-	-	-	-	-	-
摺	-	線入型板 t6.8	-	-	-	線入型板 t6.8
硝子	SUS丁番・シリンドー錠	クレセント・水切	水切	アンクルピース・水切	-	引棒・シリンドー錠錠表示付 (内部サムターン付)
金物	標準金物一式	標準金物一式・アルミ製額縁・SUS可動網戸	標準金物一式・アルミ製額縁	標準金物一式・アルミ製額縁	標準金物一式	ハンガードア標準金物一式・3方枠
備考						

符号・場所・数量	TR 1 女子便所 1	TR 2 女子便所 1	TR 3 男子便所 1
形状・寸法			
型式	トイレブース	トイレブース	トイレブース
見込	40	40	40
仕上	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板
資	-	-	-
摺	-	-	-
硝子	-	-	-
金物	SUS製笠木・SUS製サポート	表示錠・SUS製笠木・SUS製サポート・非常時外開	表示錠 (SK部除く)・SUS製笠木・SUS製サポート・非常時外開 (SK部除く)
備考	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする



ろ過機排水槽	1/20 巾木:床シート立上げ	- タオル掛け	1/20 天井開口部下地補強(天井点検口)	1/10-20
--------	-----------------	---------	-----------------------	---------



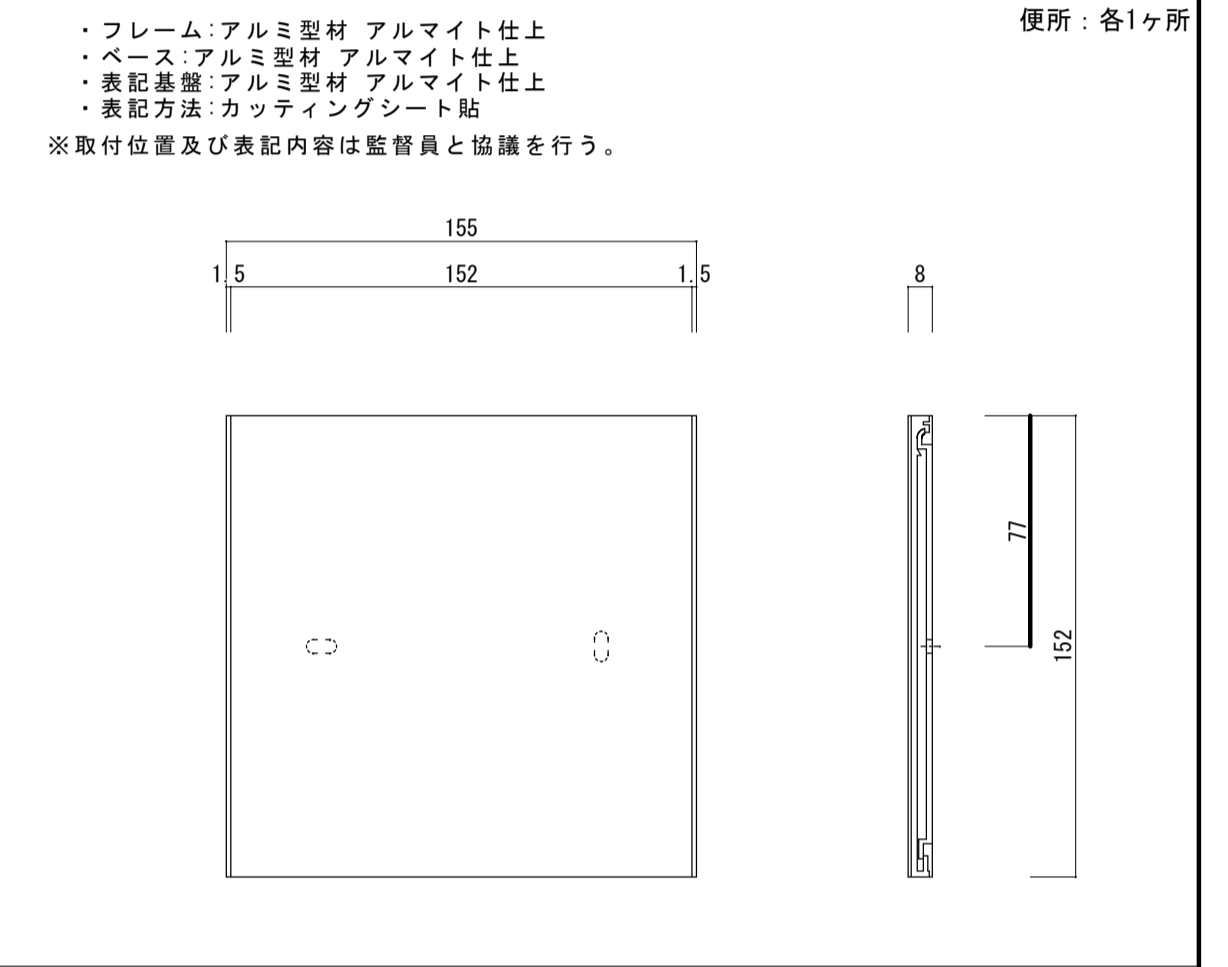
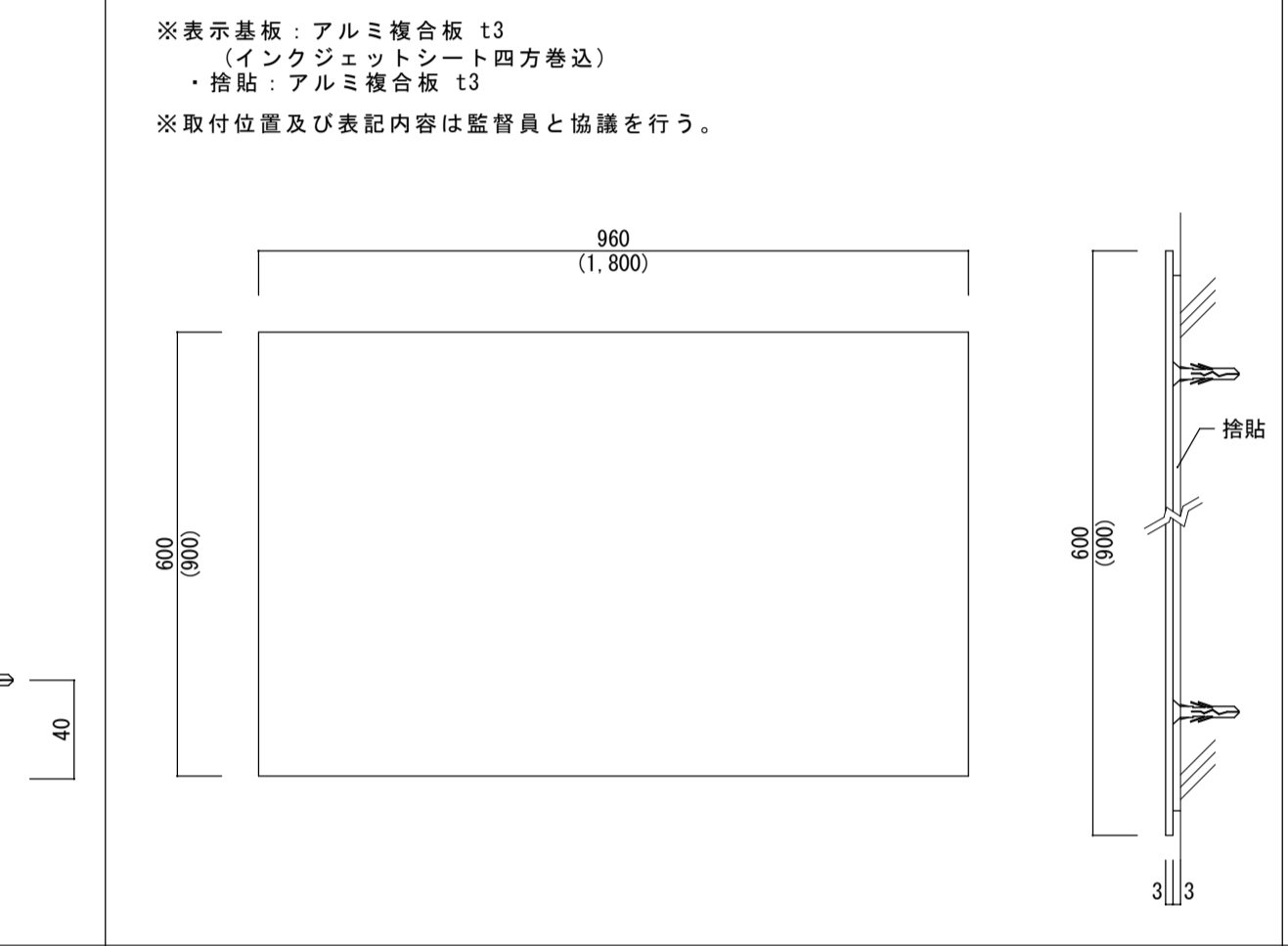
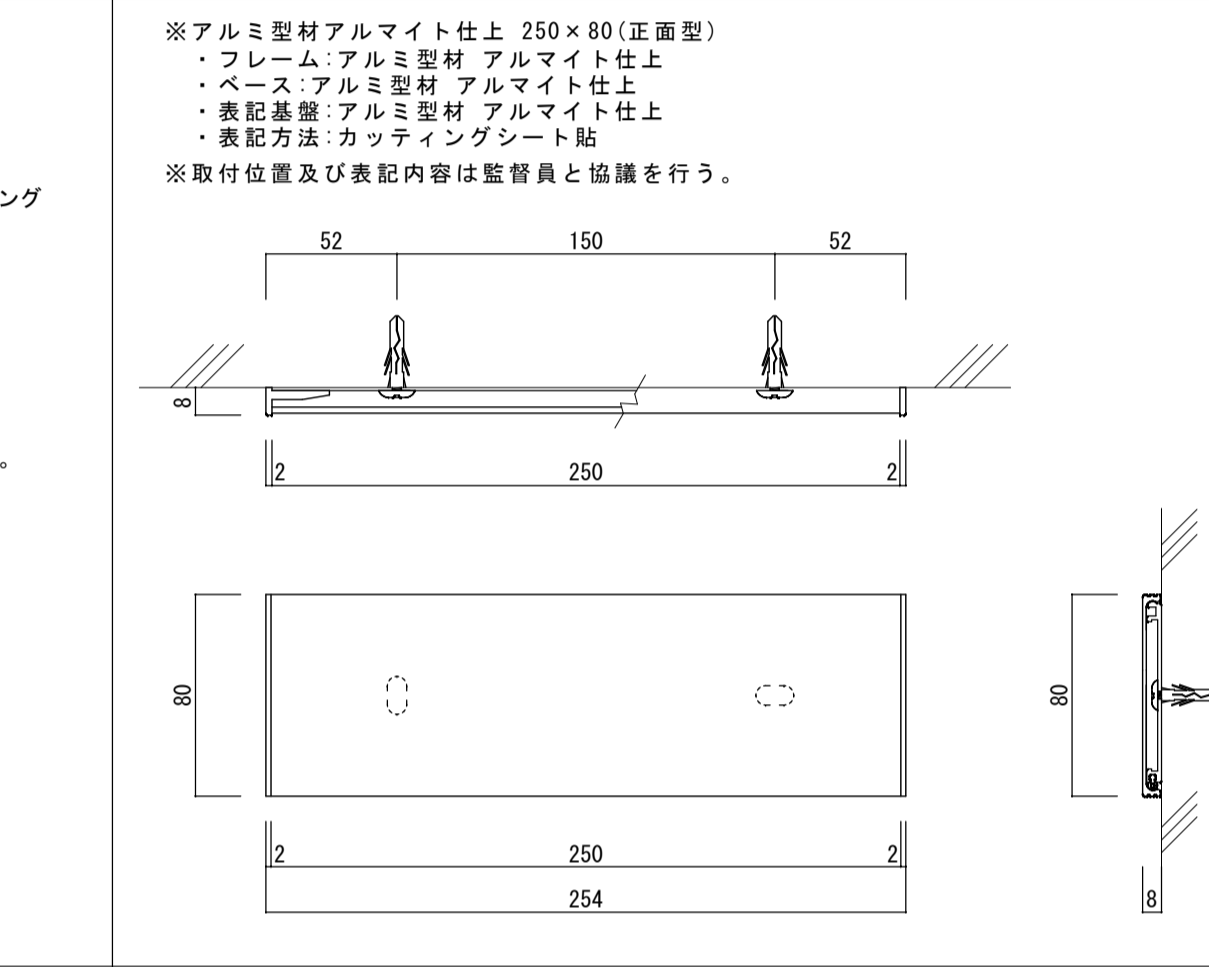
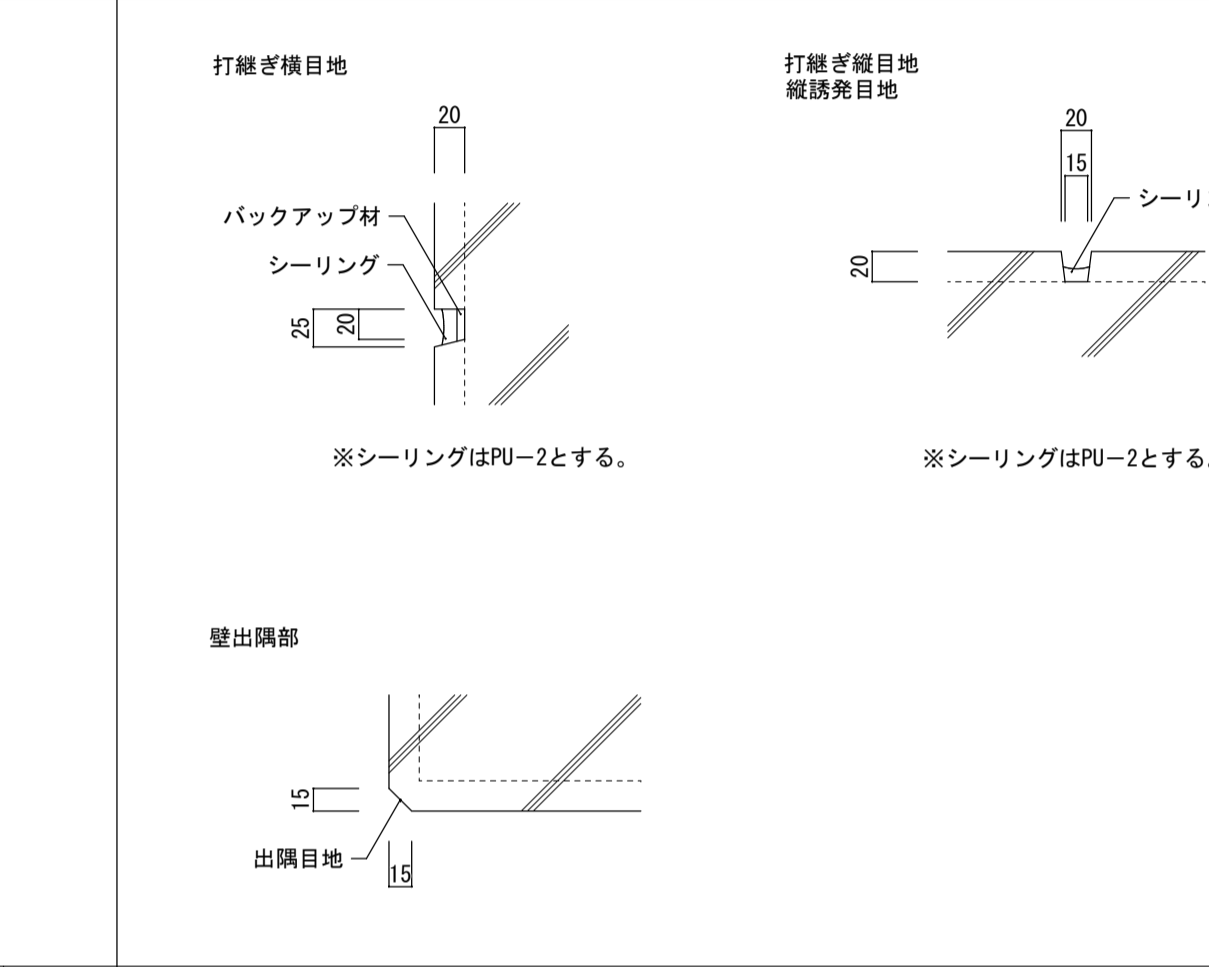
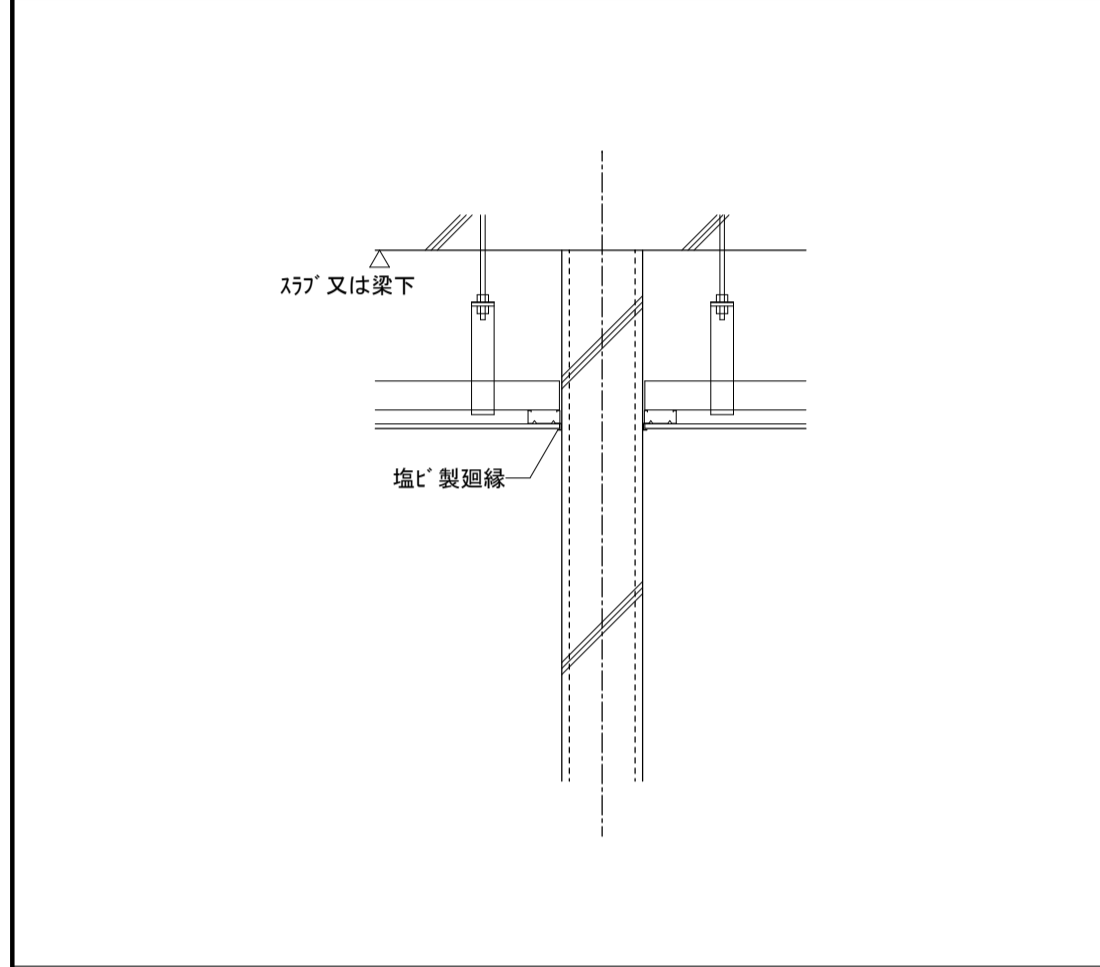
天井 廻縁

目地

室名札 (250 x 80)

プール使用規定看板 (1800 x 900)
救急法・救護体系看板 (960 x 600)

平面ピクトサイン 便所: 各1ヶ所



天井 廻縁

目地

室名札 (250 x 80)

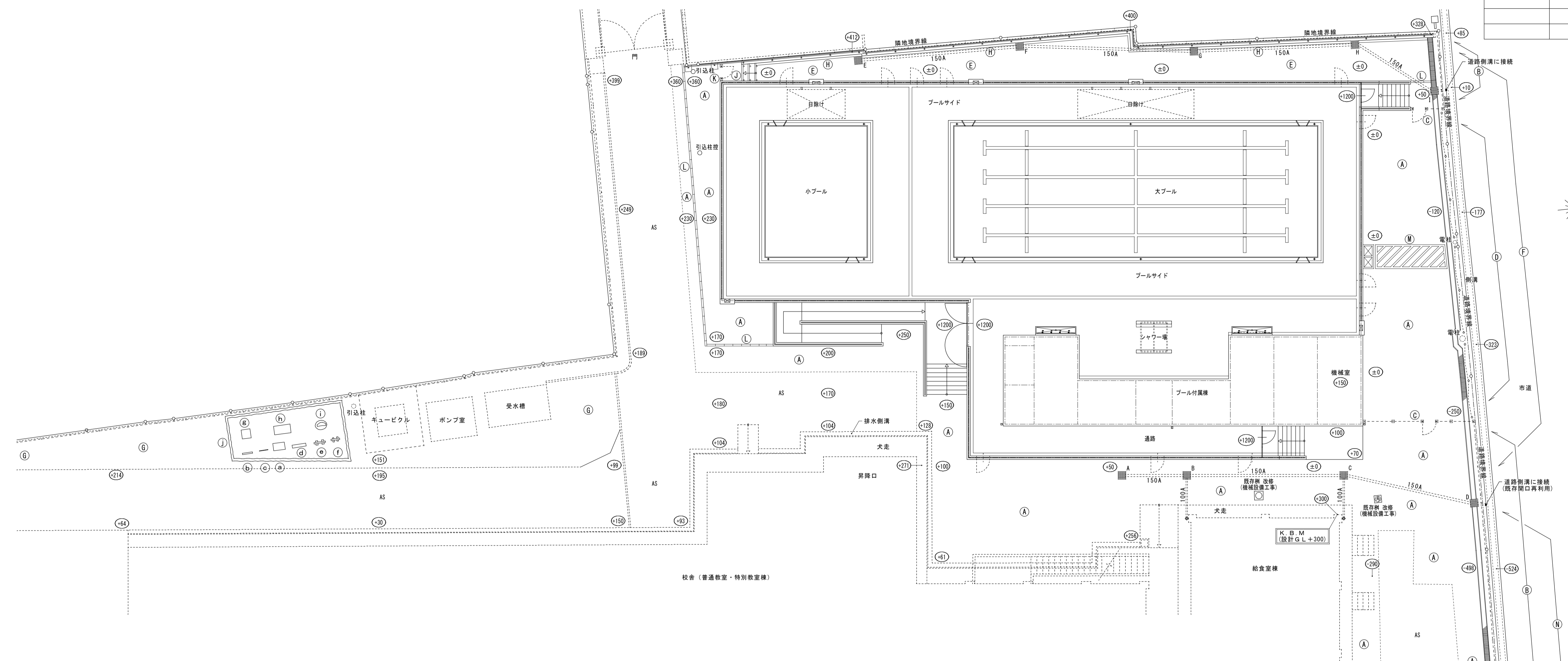
プール使用規定看板 (1800 x 900)
救急法・救護体系看板 (960 x 600)

平面ピクトサイン 便所: 各1ヶ所

令和6年度	縮尺	A-31 意匠
名称工事名 掘西東小学校屋外プール改築工事		
図名 部分詳細図2	図示	

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする

凡例	
(300)	設計6Lからの高さを示す。



外構新設配置図 S=1/150

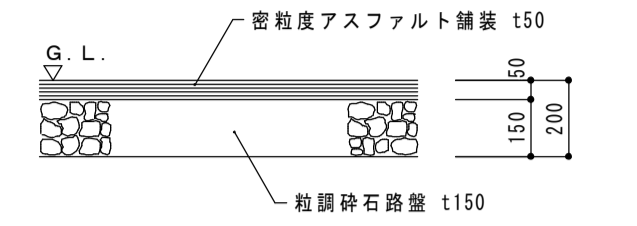
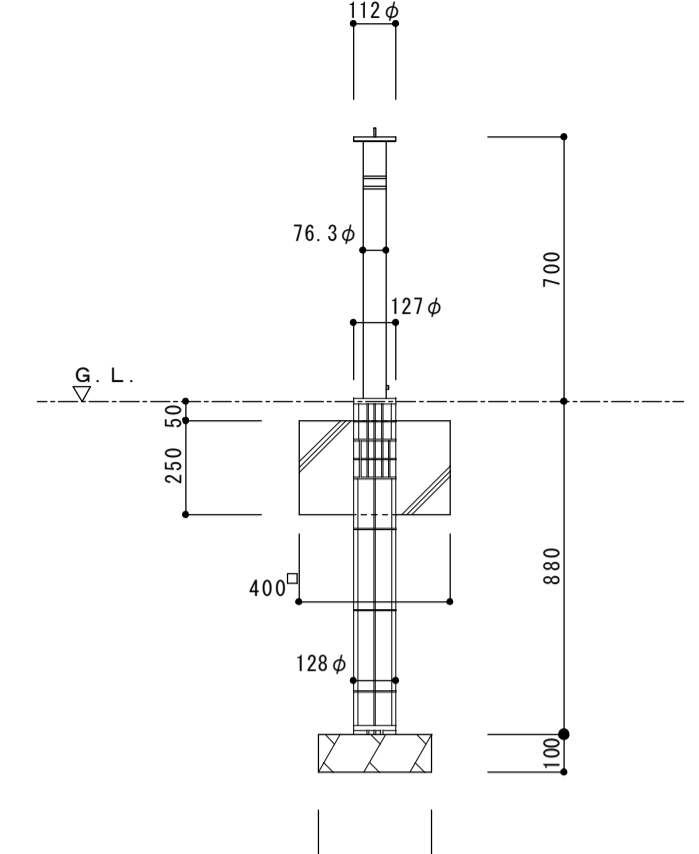
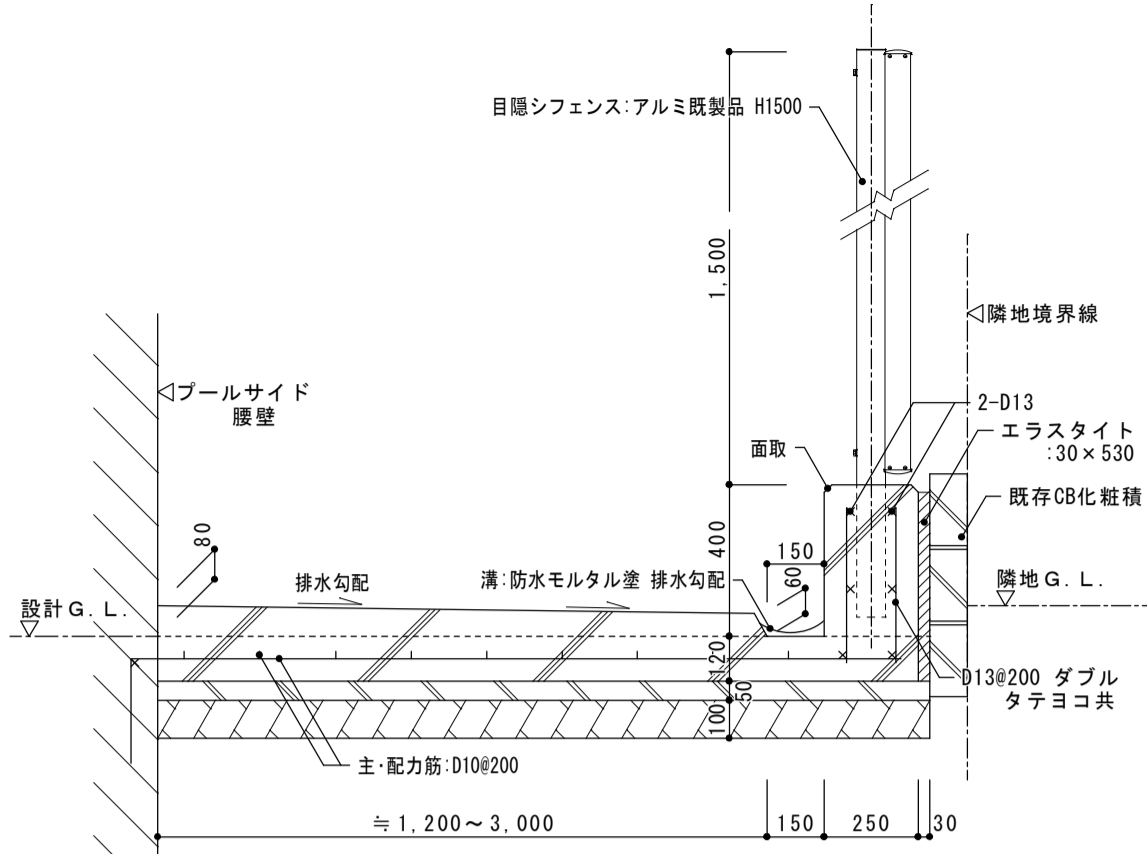
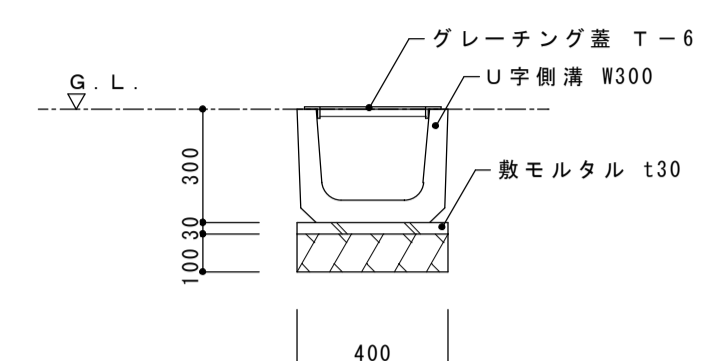
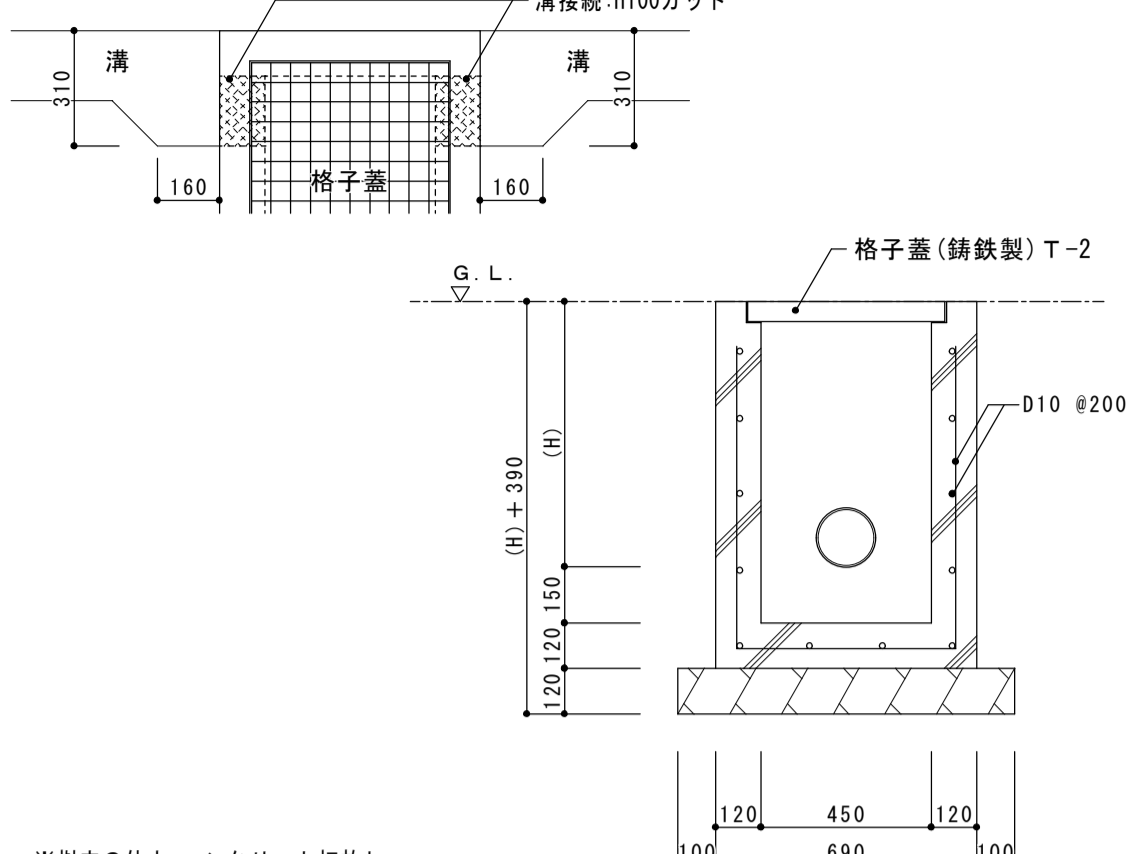
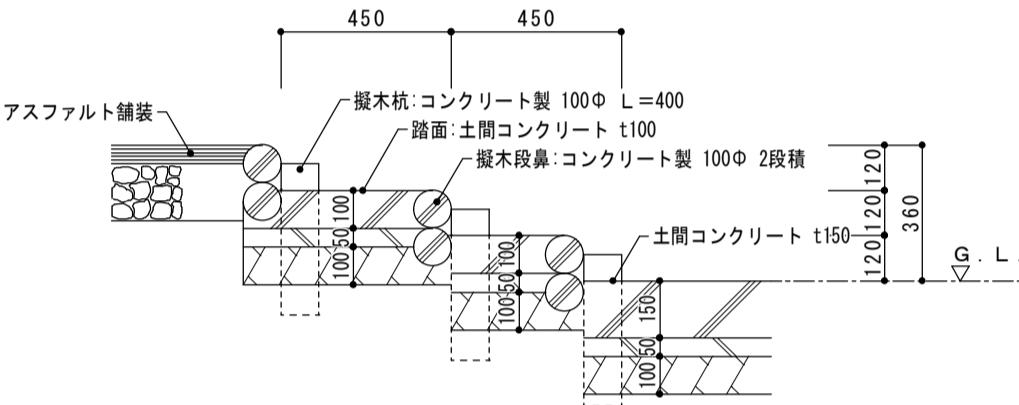
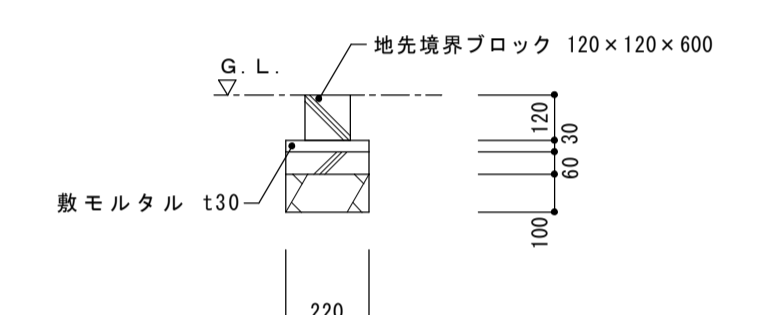
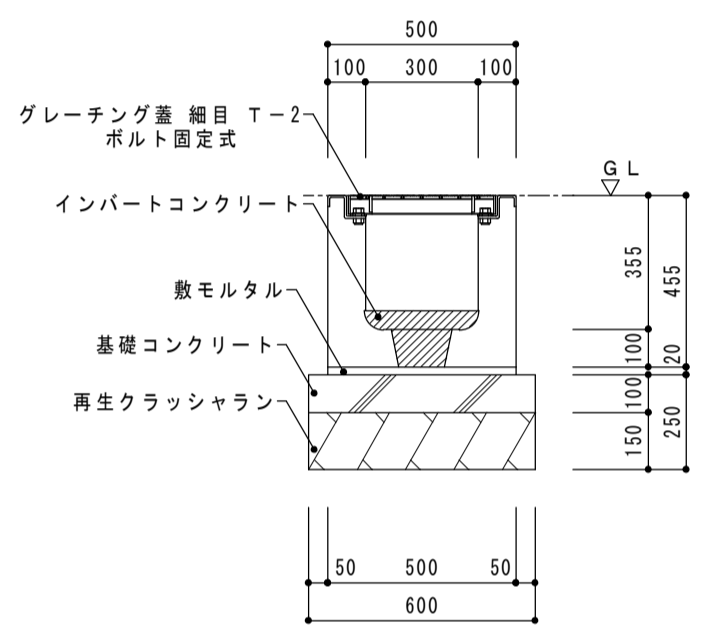
外構新設リスト		
A	アスファルト舗装	再生密粒度アスファルト 仕上厚150 粒調整石路盤t150 排水勾配付 (詳細図参照)
B	メッシュフェンス	スチール製 H1500・基礎共 (詳細図参照)
C	メッシュフェンス+門扉	スチール製 H1500・片開戸:W900×H1500・基礎共 (詳細図参照)
D	車止め	SUS製 76.3φ H700×10ヶ所 埋込式 チェーン・南京錠付 (詳細図参照)
E	土間コンクリート打+土留	(詳細図参照)
F	U字側溝	角フリュームM300 2,000×300×300・グレーチング蓋共 排水勾配付 (詳細図参照)
G	真砂土整地	購入土 場内数均しの上整地 H100
H	目隠シフェンス	アルミ製 H1500 (詳細図参照)
I	雨水樹・雨水管	雨水樹:450口・雨水管:100A・150A (詳細図参照)
J	掘木階段	掘木:コンクリート製 100φ×3段 (詳細図参照)
K	門扉	片開戸:スチール製 W900×H1500・基礎共 (詳細図参照)
L	縁石	地先境界ブロック 120×120×600 (詳細図参照)
M	ゼブラゾーン	ライン引:水系トラフィックペイント 白 W150
N	側溝	自由勾配側溝(既製品) W=300×H=300 グレーチング蓋共 排水勾配付 (詳細図参照)

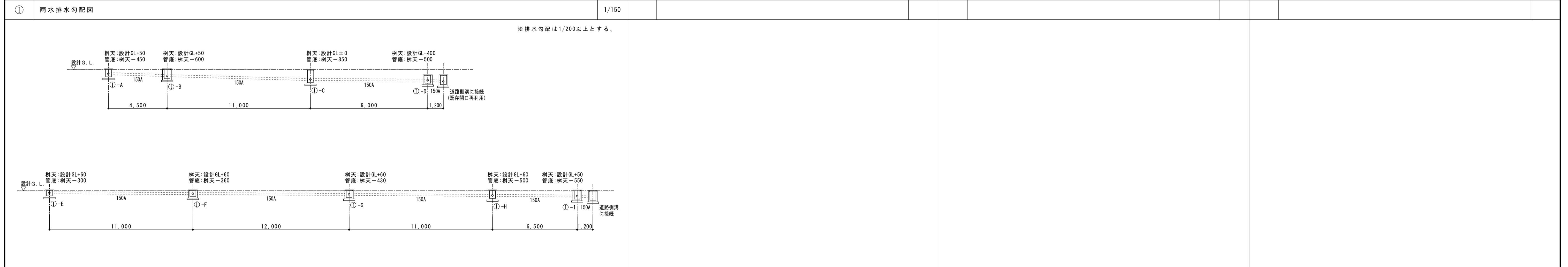
外構移設リスト		
a	石碑	「郷土河川模型」 W500×H800×D300・石台:W800×L500×H100
b	石板	「大成」 W700×H420×D90
c	石板	「誠実」 W600×H300×D20
d	石板	「心」 W950×H650×D200
e	石板	「真」 W800×H550×D100・石台:W150×L300×H150×2
f	石板	「和」 W600×H450×D100・石台:W100×L300×H150×2
g	記念像	「なかよしの像」 石積:W1600×H500×D1400・石台:W800×H300×D500・石像:W400×H900×D400
h	記念像	「和」 石積:W1500×H400×D1400・台:W1140×H1570×D600・像:W950×H1000×D400
i	石碑	「結ぶ友垣」 石積:W1900×H340×D1900・台:W800×H200×D600・石碑:W650×H900×D700
j	石積	記念碑周囲:W8000×H200×D30000 内側床:コンクリート直挿工

① 雨水樹							
番号	樹名称	樹寸法	樹形状	樹蓋	管底寸法	区間距離	備考
A	雨水樹	450口	ため樹	格子蓋	-450	4.50	
B	"	"	"	"	-600	11.00	既存雨水管接続
C	"	"	"	"	-850	9.00	既存雨水管接続
D	"	"	"	"	-500	-	道路側溝に接続(既存開口再利用)
E	"	"	"	"	-300	11.00	
F	"	"	"	"	-360	12.00	
G	"	"	"	"	-430	11.00	
H	"	"	"	"	-500	6.50	
I	"	"	"	"	-550	-	道路側溝に接続
J	"	"	"	"	-300	-	

令和6年度	縮尺	A-32
名称工事名	摂西東小学校屋外プール改築工事	意匠
図名	外構新設配置図・新設リスト	1/150

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする

<p>④ アスファルト舗装 1/20</p> 	<p>⑤ 車止め 1/20</p> 	<p>⑥ 土間コンクリート打+土留 1/20</p> 	<p>⑦ U字側溝 1/20</p> 	<p>⑧ 雨水樹・排水管 1/20</p>  <p>※樹内の仕上:コンクリート打放し</p>
<p>⑨ 暖木階段 1/20</p> 	<p>⑩ 縁石 1/20</p> 	<p>⑪ 自由勾配側溝 1/20</p> 		



			1/30
令和6年度	縮尺	A-33 意匠	
名称工事名	撰西東小学校屋外プール改築工事		
図名	外構新設詳細図		

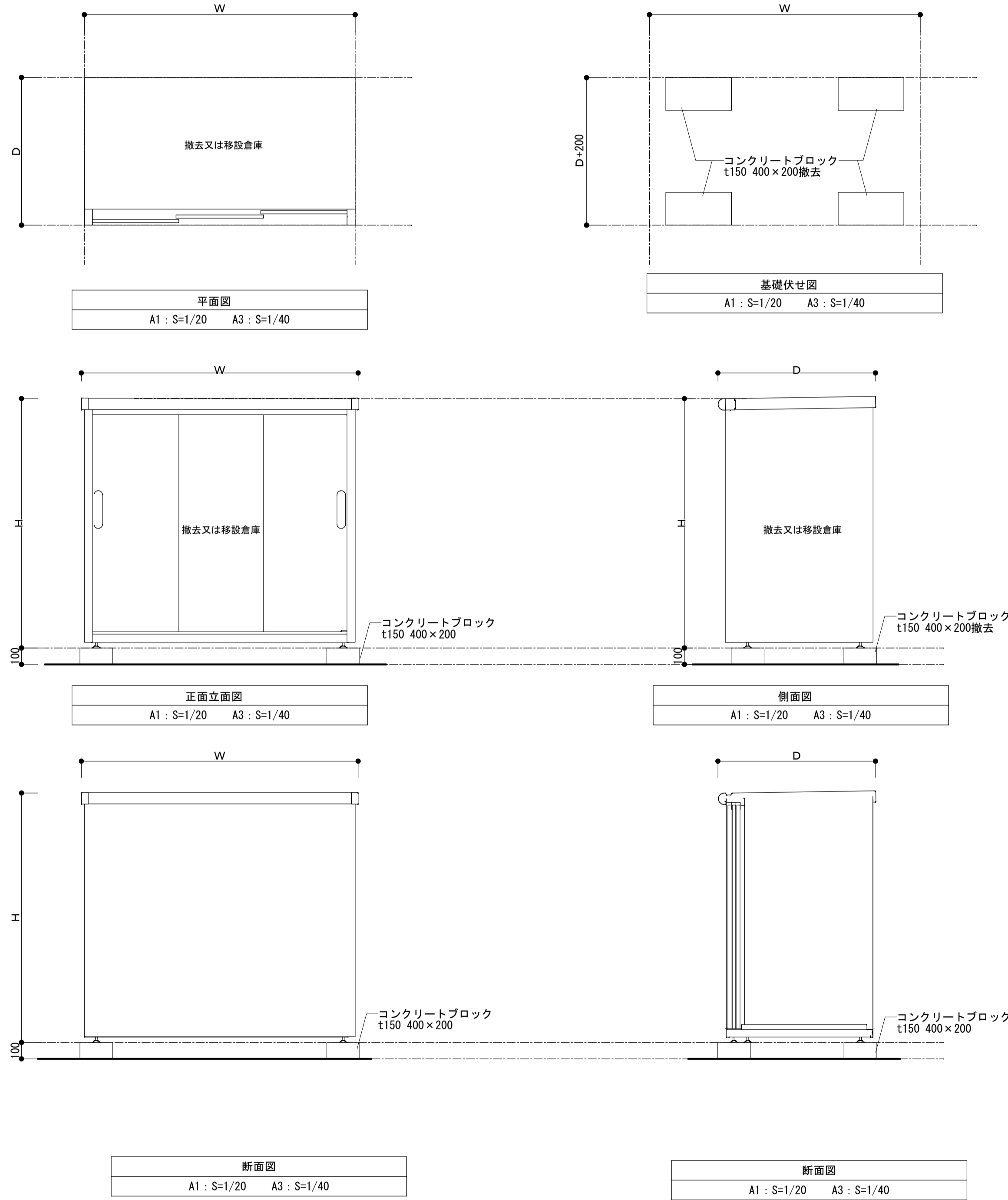
※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする

改修前

棟番号	棟名	W	D	H	面積 (㎡)	重量 (kg)	是正方法	備考
20	倉庫 (龍野市防災備蓄倉庫)	2,500	2,200	2,100	5,500	335.0	撤	撤去
21	倉庫 (揖西東スポーツクラブ21)	1,850	1,500	2,100	2,775	215.0	移	現況位置にて基礎新設
22	倉庫	1,850	1,500	2,100	2,775	215.0	移	現況位置にて基礎新設
23	倉庫	850	850	2,100	0.723	65.0	撤	撤去
24	倉庫 (揖西東スポーツクラブ21)	1,850	1,500	2,100	2,775	215.0	移	現況位置にて基礎新設
25	倉庫 (揖西東スポーツクラブ21)	1,850	1,500	2,200	2,775	215.0	移	現況位置にて基礎新設
26	倉庫 (揖西東スポーツクラブ21)	2,200	800	2,200	1,760	175.5	移	敷地内 (北西部) へ移設
27	倉庫 (龍野市防災備蓄倉庫)	2,200	1,100	2,200	2,420	220.0	撤	撤去
29	倉庫	2,550	1,850	2,000	4,718	305.0	移	敷地内 (北西部) へ移設
32	倉庫	2,200	1,800	2,000	3,960	270.0	移	敷地内 (西部) へ移設

凡例
 (撤) : 倉庫、コンクリートブロック基礎撤去を示す
 (移) : コンクリートブロック基礎撤去を示す

※材質についてはガルバリウム鋼板とする。

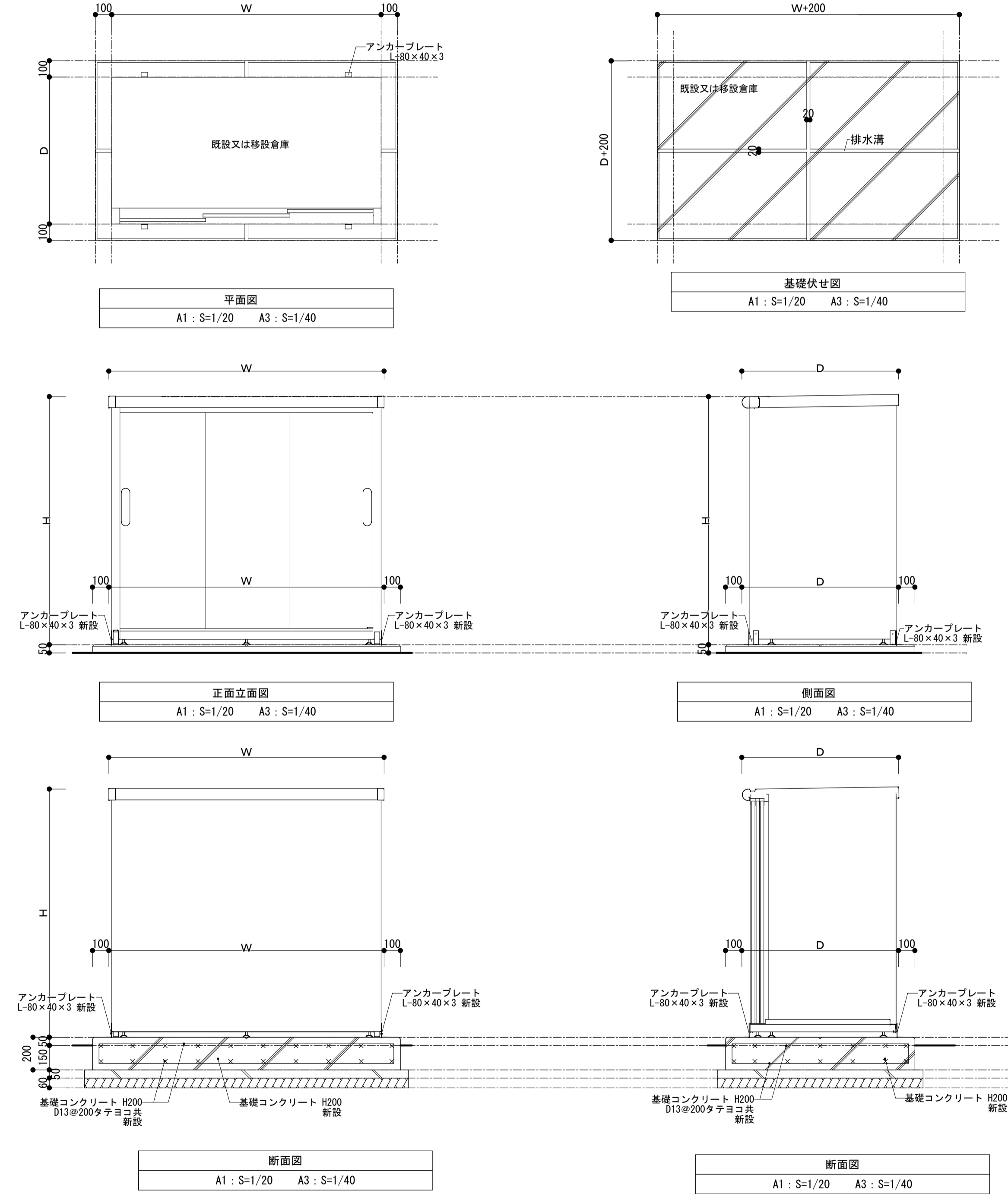


改修後

棟番号	棟名	W	D	H	面積 (㎡)	重量 (kg)	基礎符号
21	倉庫 (揖西東スポーツクラブ21)	1,850	1,500	2,100	2,775	215.0	B
22	倉庫	1,850	1,500	2,100	2,775	215.0	B
24	倉庫 (揖西東スポーツクラブ21)	1,850	1,500	2,100	2,775	215.0	B
25	倉庫 (揖西東スポーツクラブ21)	1,850	1,500	2,200	2,775	215.0	B
26	倉庫 (揖西東スポーツクラブ21)	2,200	800	2,200	1,760	175.5	B
29	倉庫	2,550	1,850	2,000	4,718	305.0	B
32	倉庫	2,200	1,800	2,000	3,960	270.0	B

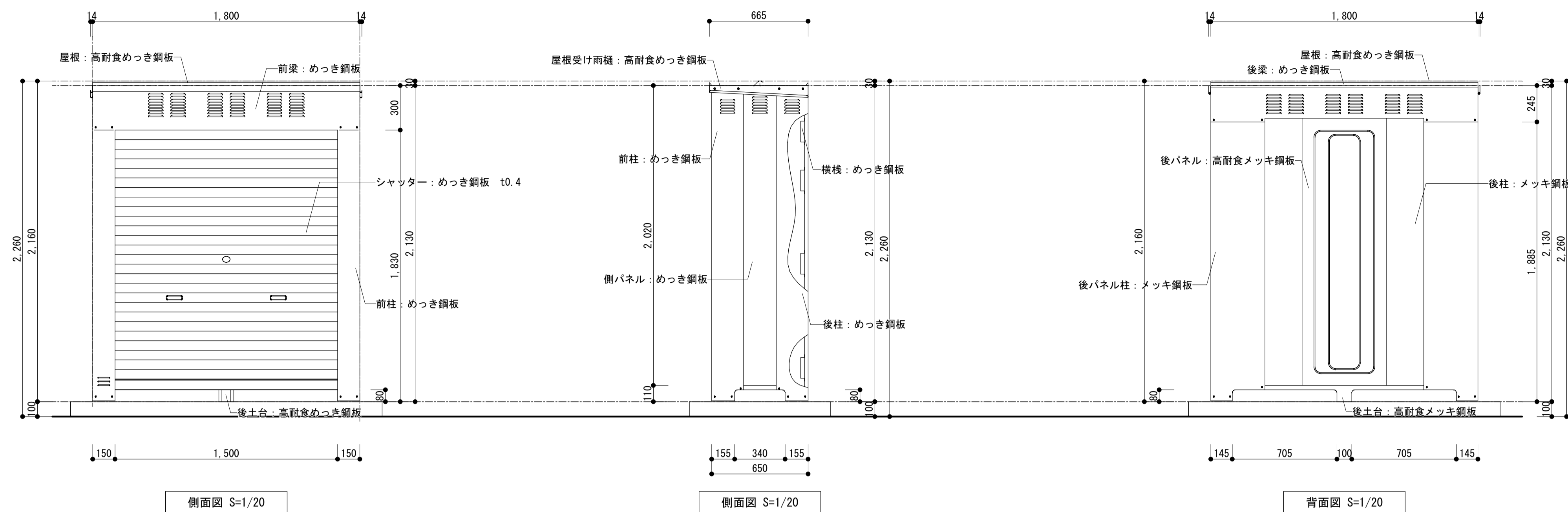
適用基礎凡例
 建設省告示第1347号第1
 一項 イ A
 一項 ロ B
 二項 C
 三項 D
 四項 E

材料特記	
鉄筋	D-13 SD-295
コンクリート	スランプ: 18
	Fc: 21



令和6年度		縮尺	A-34 意匠
名称工事名	揖西東小学校屋外プール改築工事		
図名	倉庫改修図	1/20	

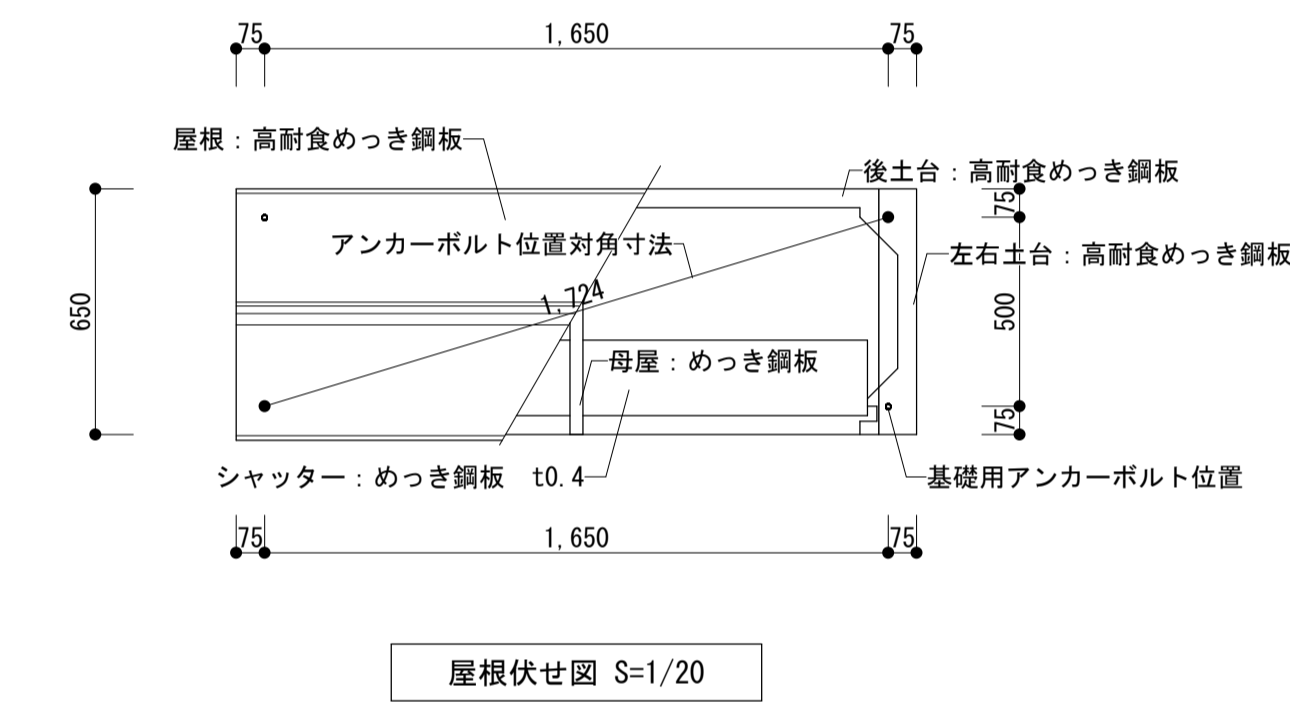
※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする



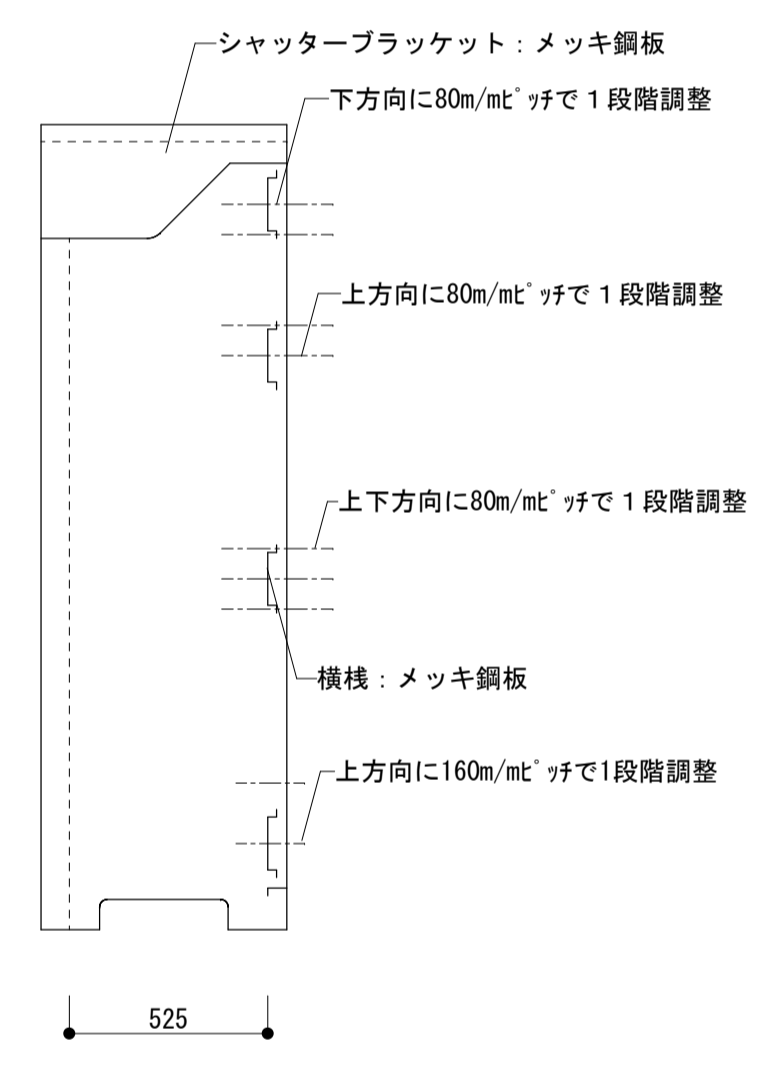
側面図 S=1/20

側面図 S=1/20

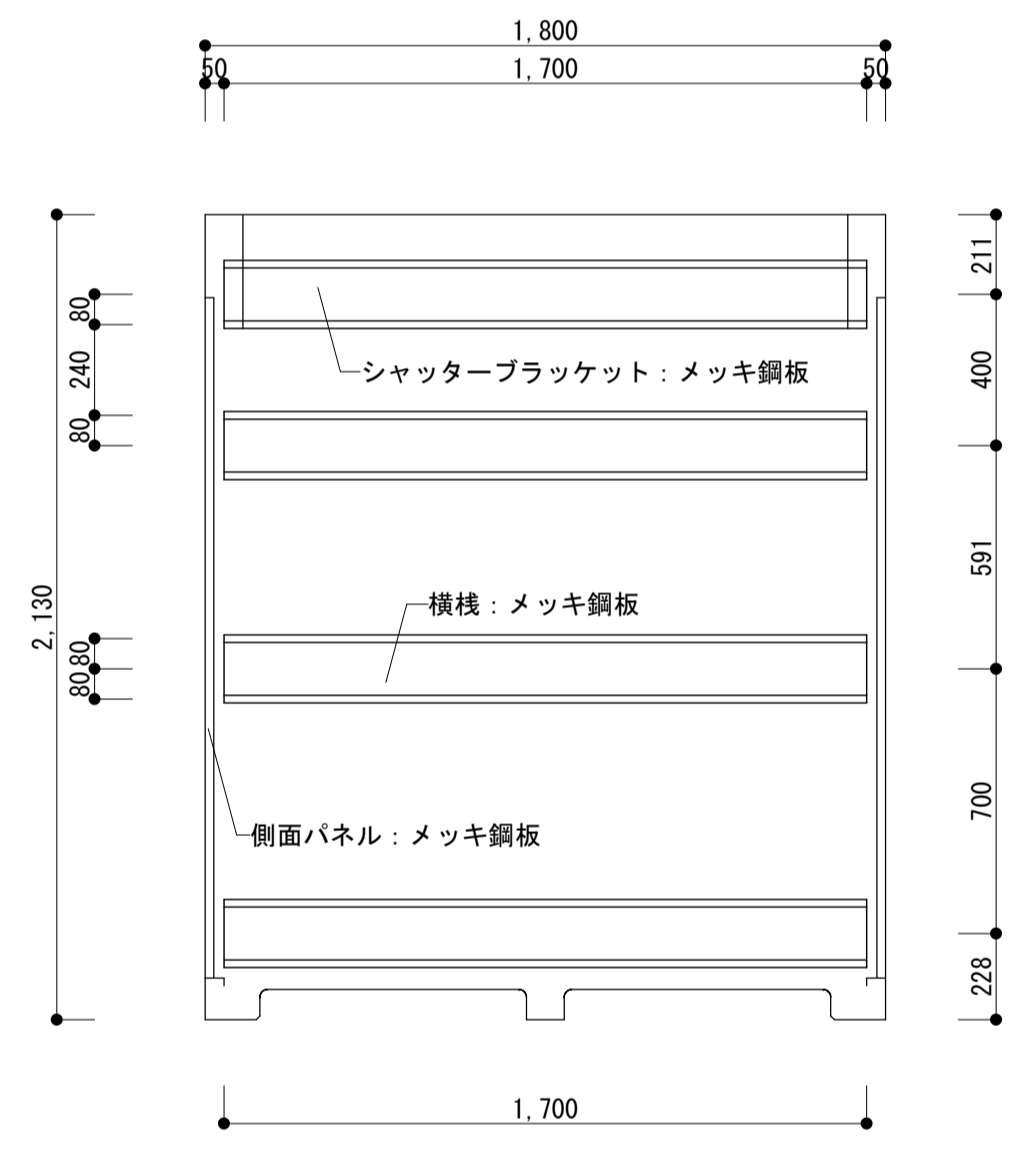
背面図 S=1/20



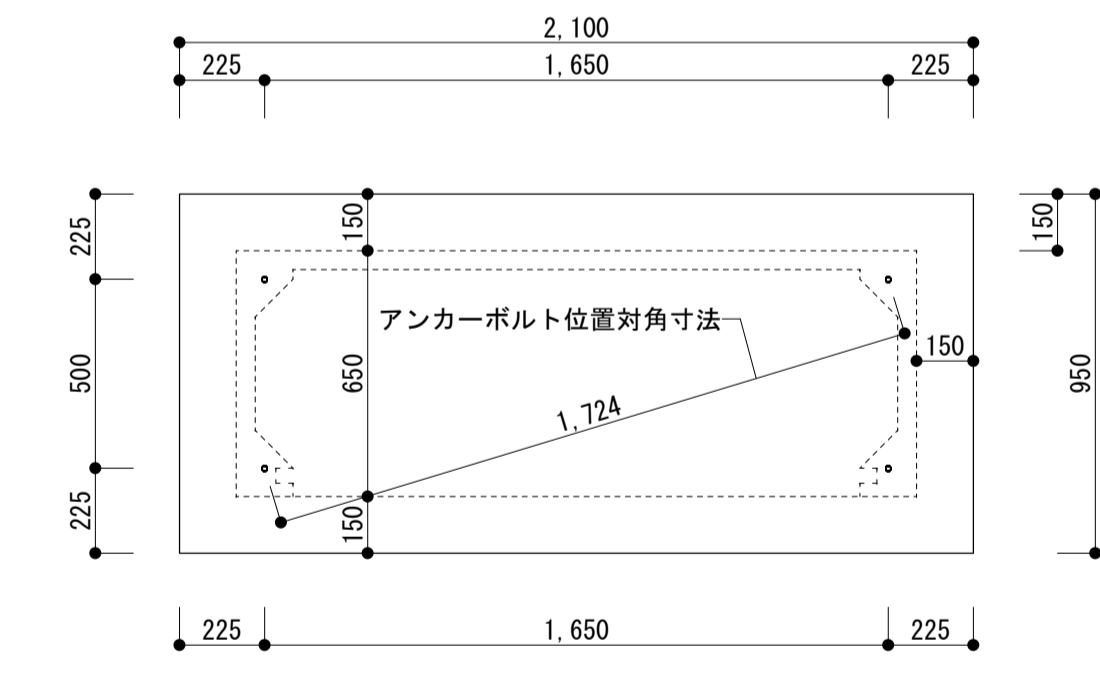
屋根伏せ図 S=1/20



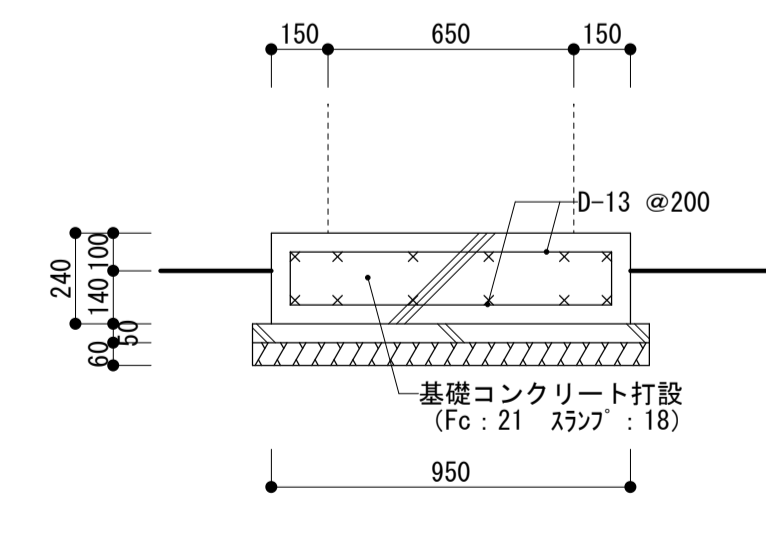
側面パネル内面図 S=1/20



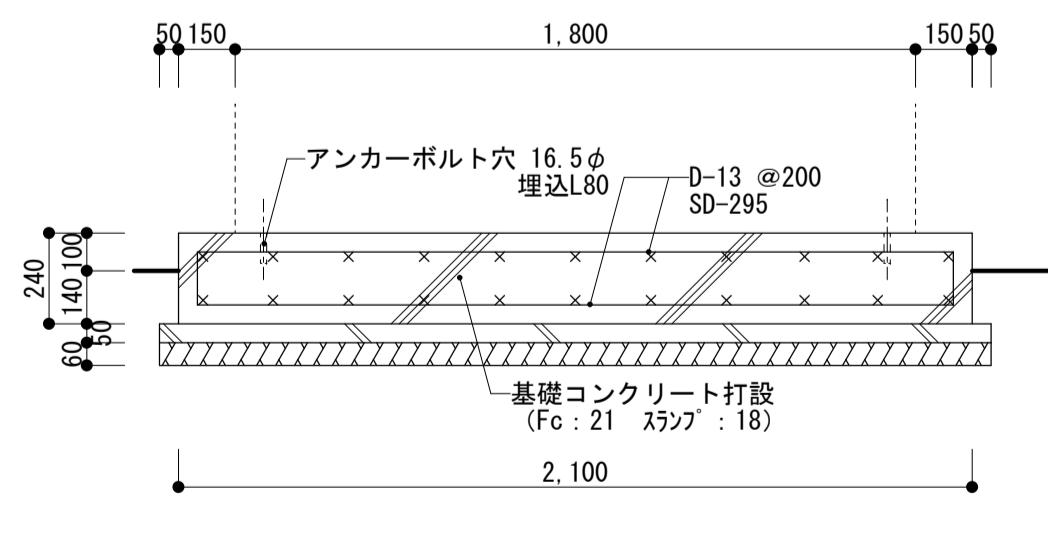
背面パネル内面図 S=1/20



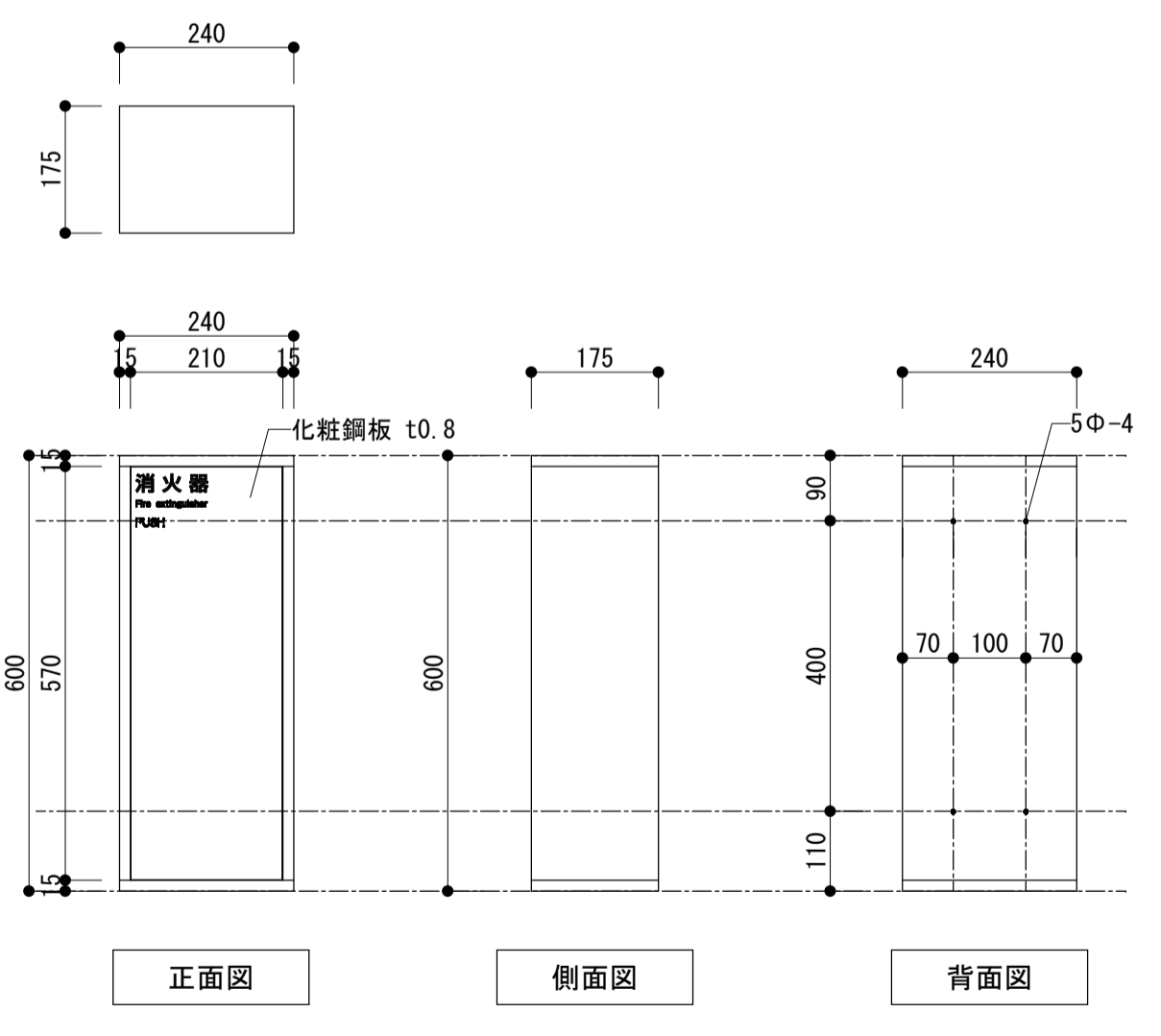
基礎伏せ図 S=1/20



コンクリート基礎詳細図 S=1/20



コンクリート基礎詳細図 S=1/20

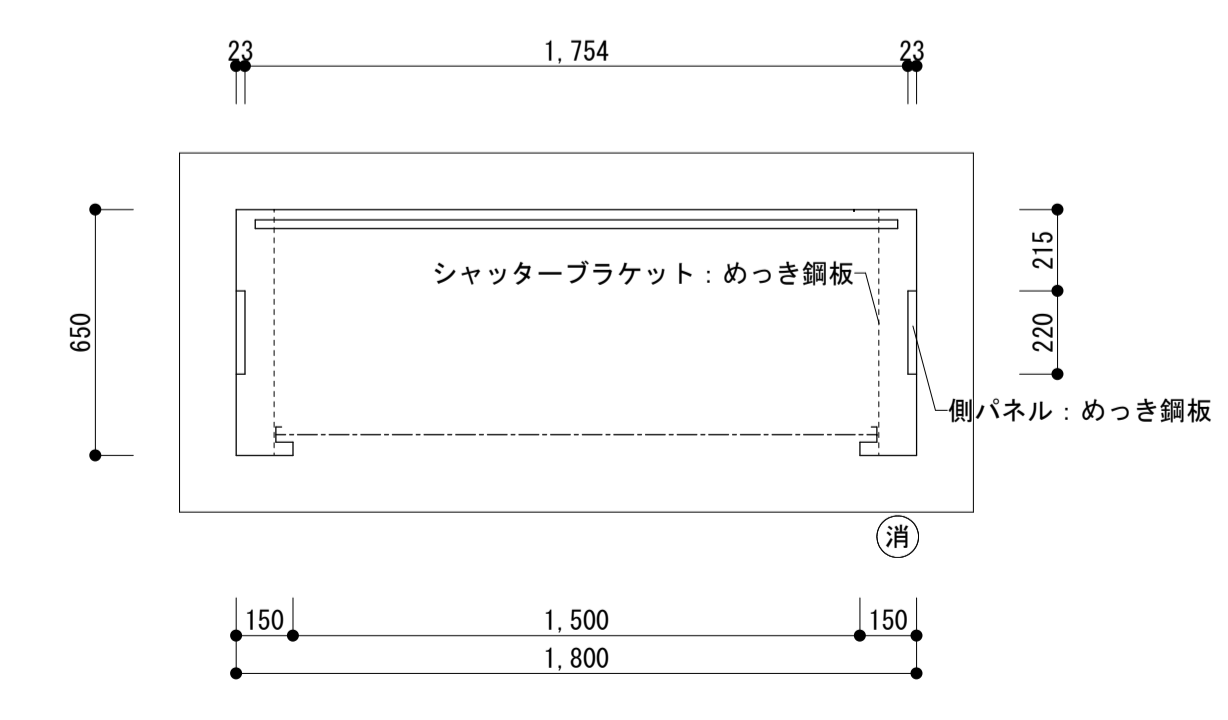


正面図

側面図

背面図

消火器BOX詳細図 S=1/10



平面図 S=1/20

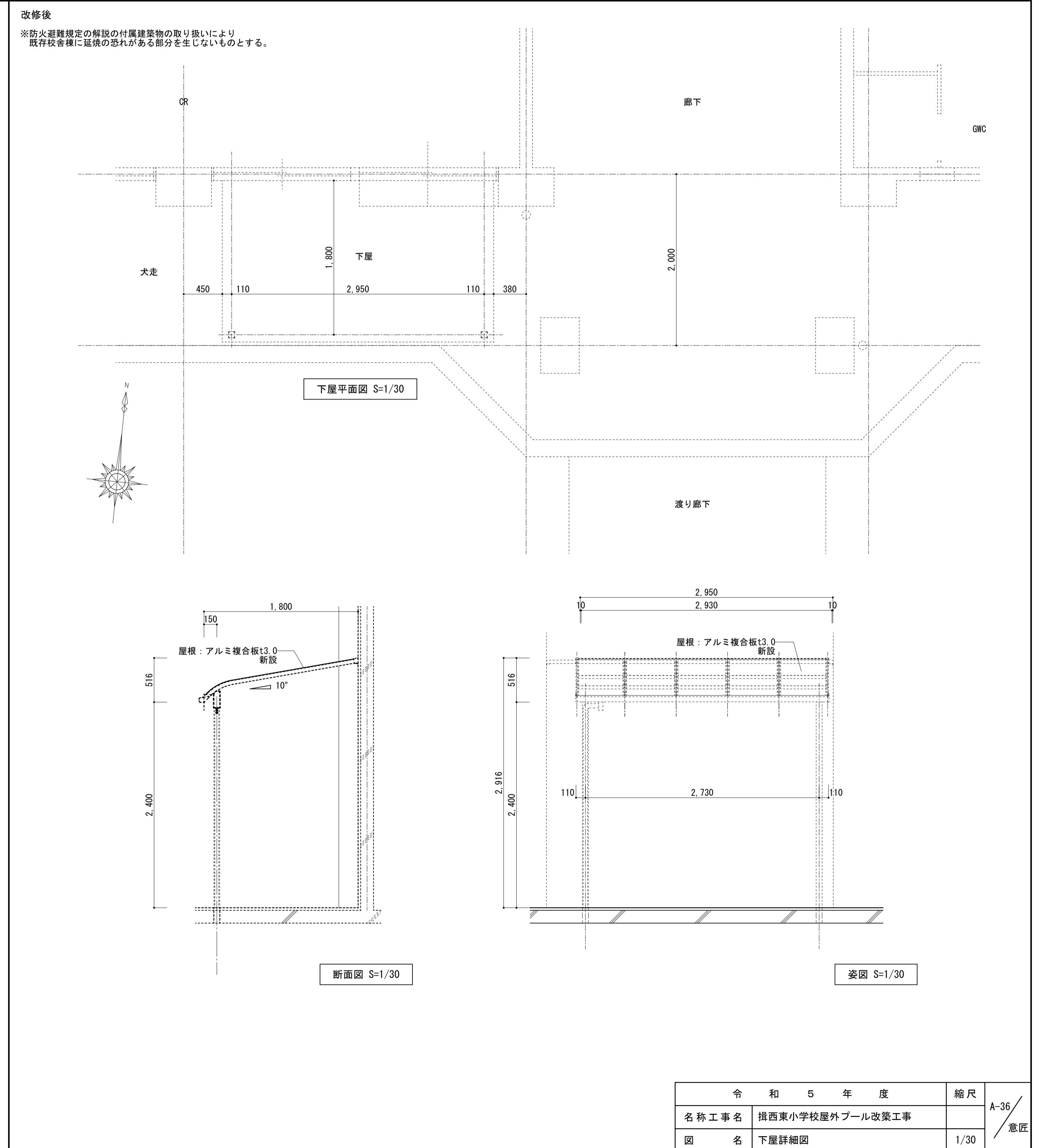
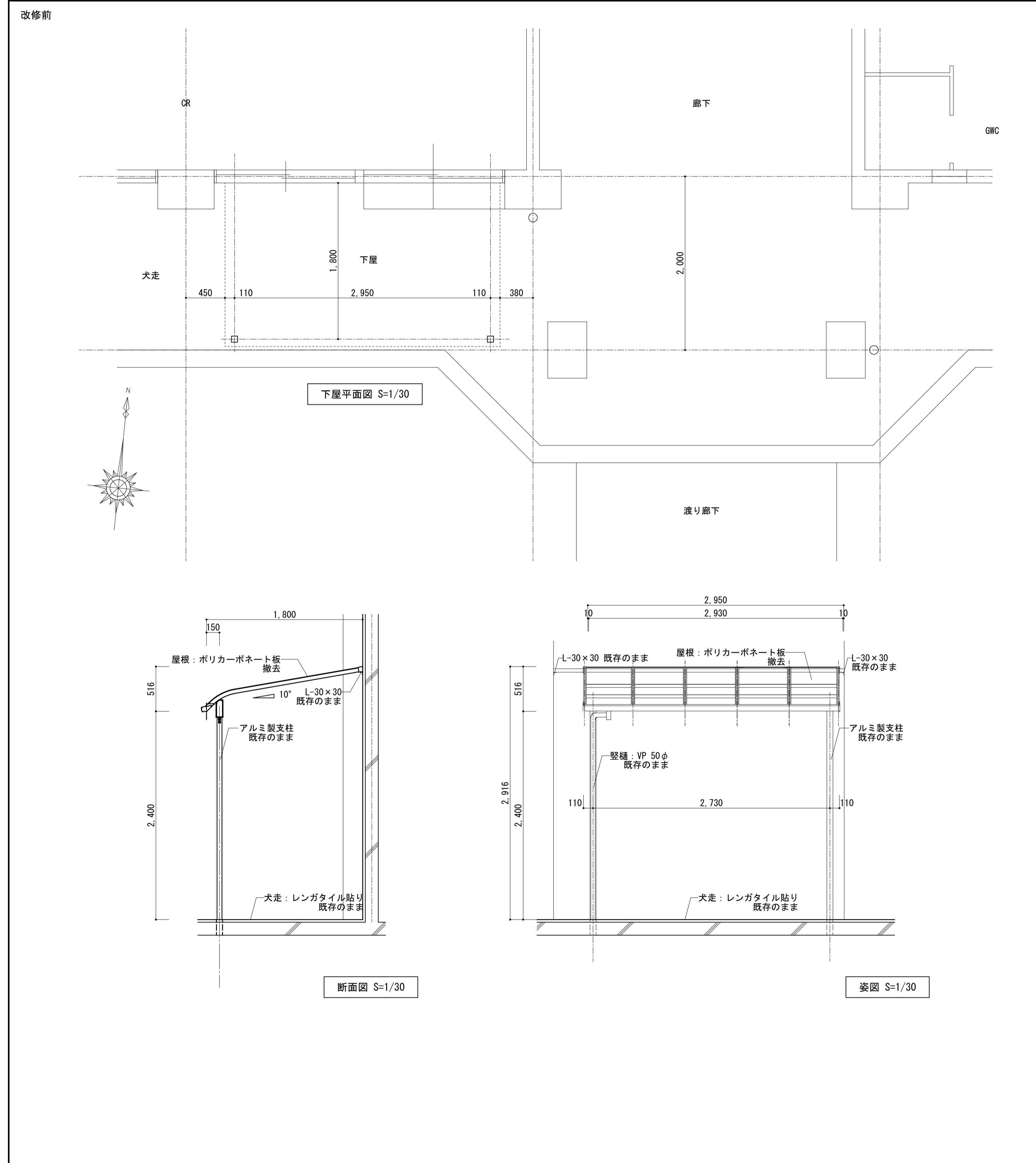
消: 消火器 (20型) を示す。

令和6年度	縮尺	A-35 意匠
名称工事名 掘西東小学校屋外プール改築工事		
図名 プロボン庫新設図	1/10	

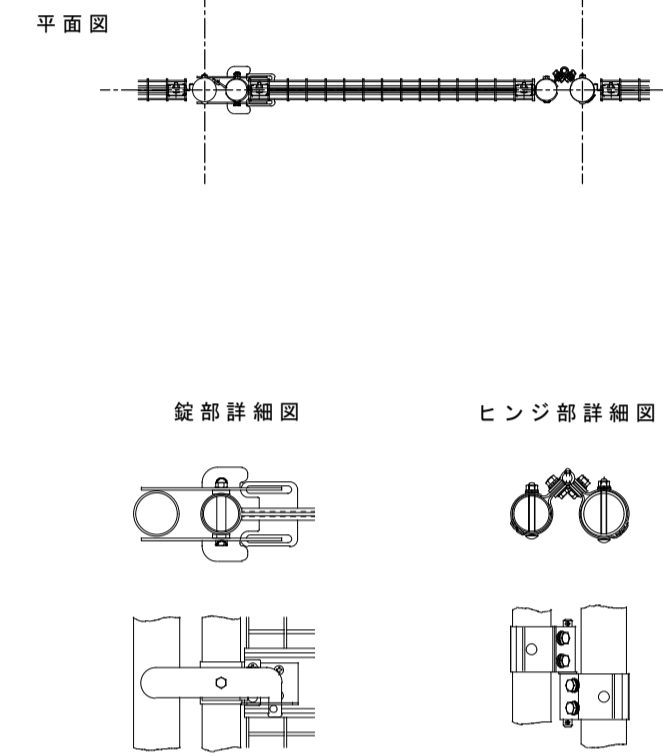
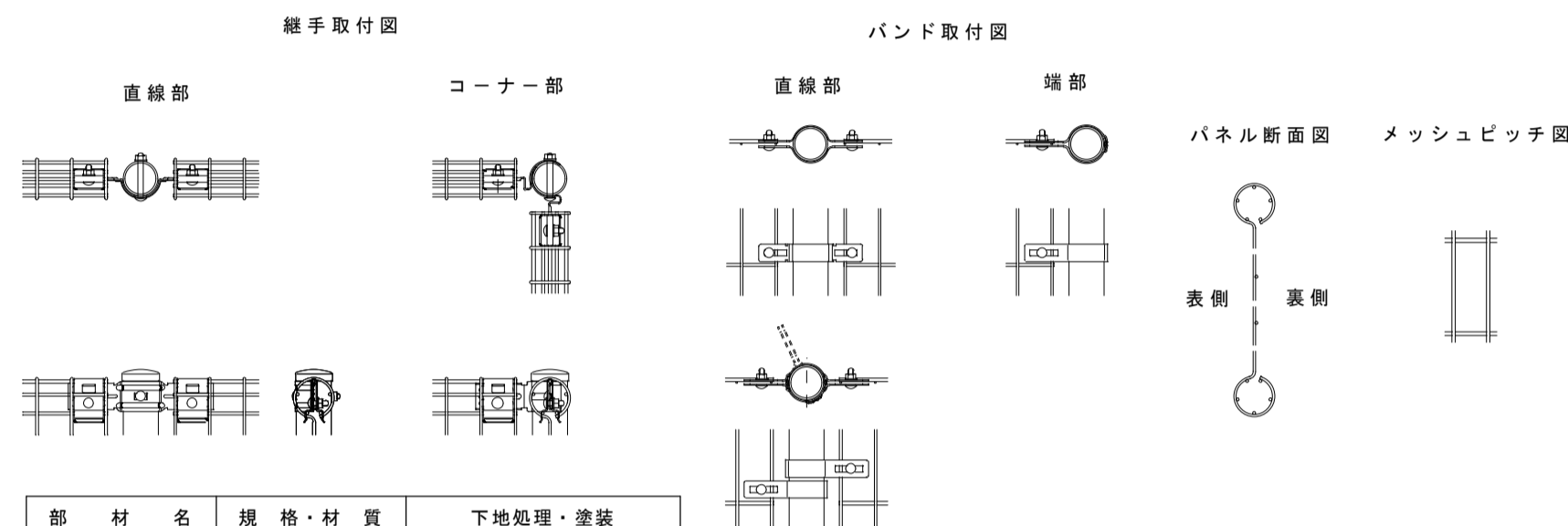
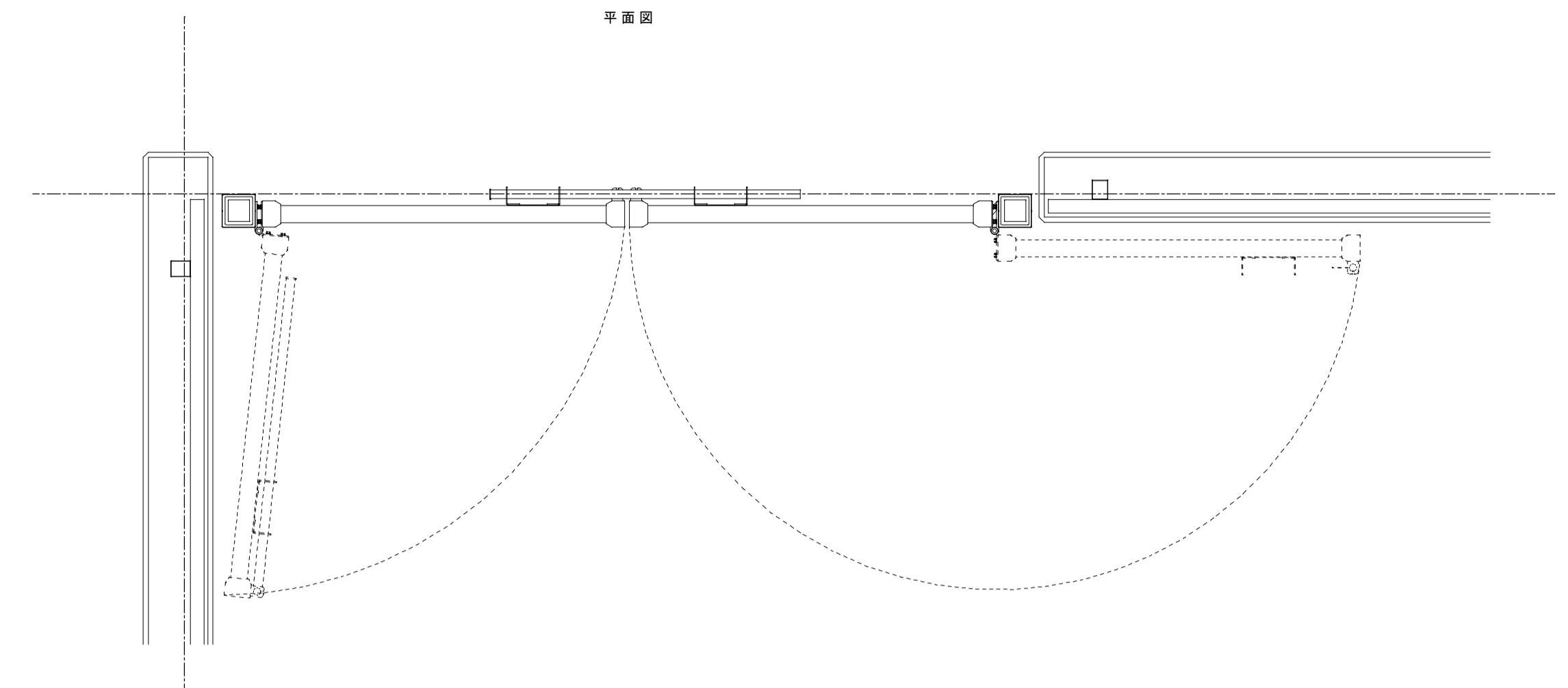
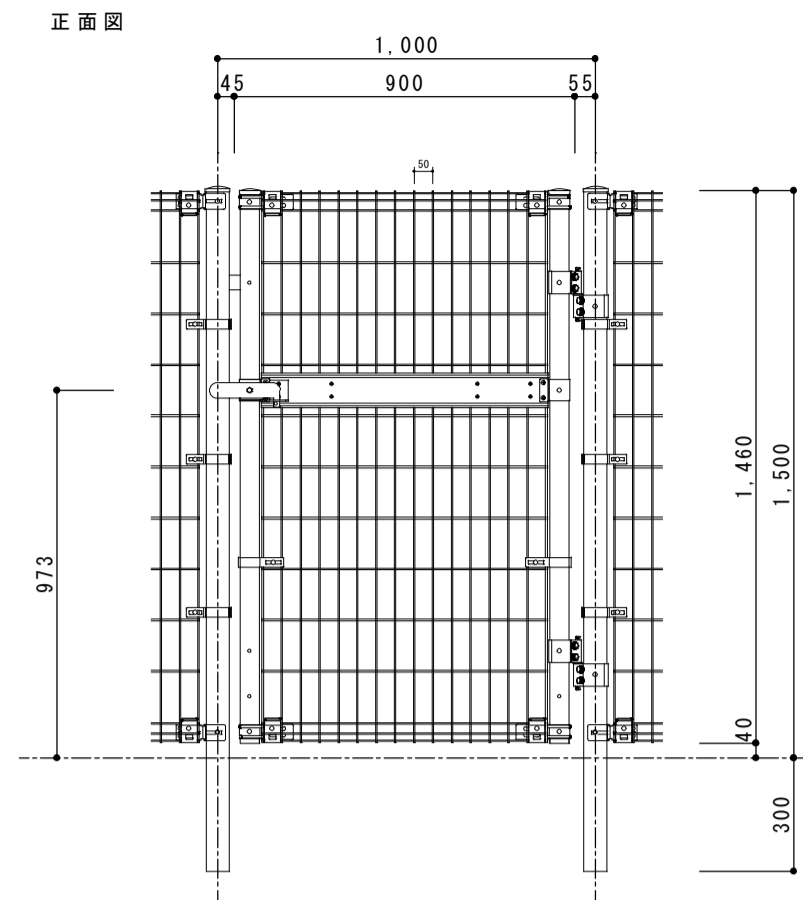
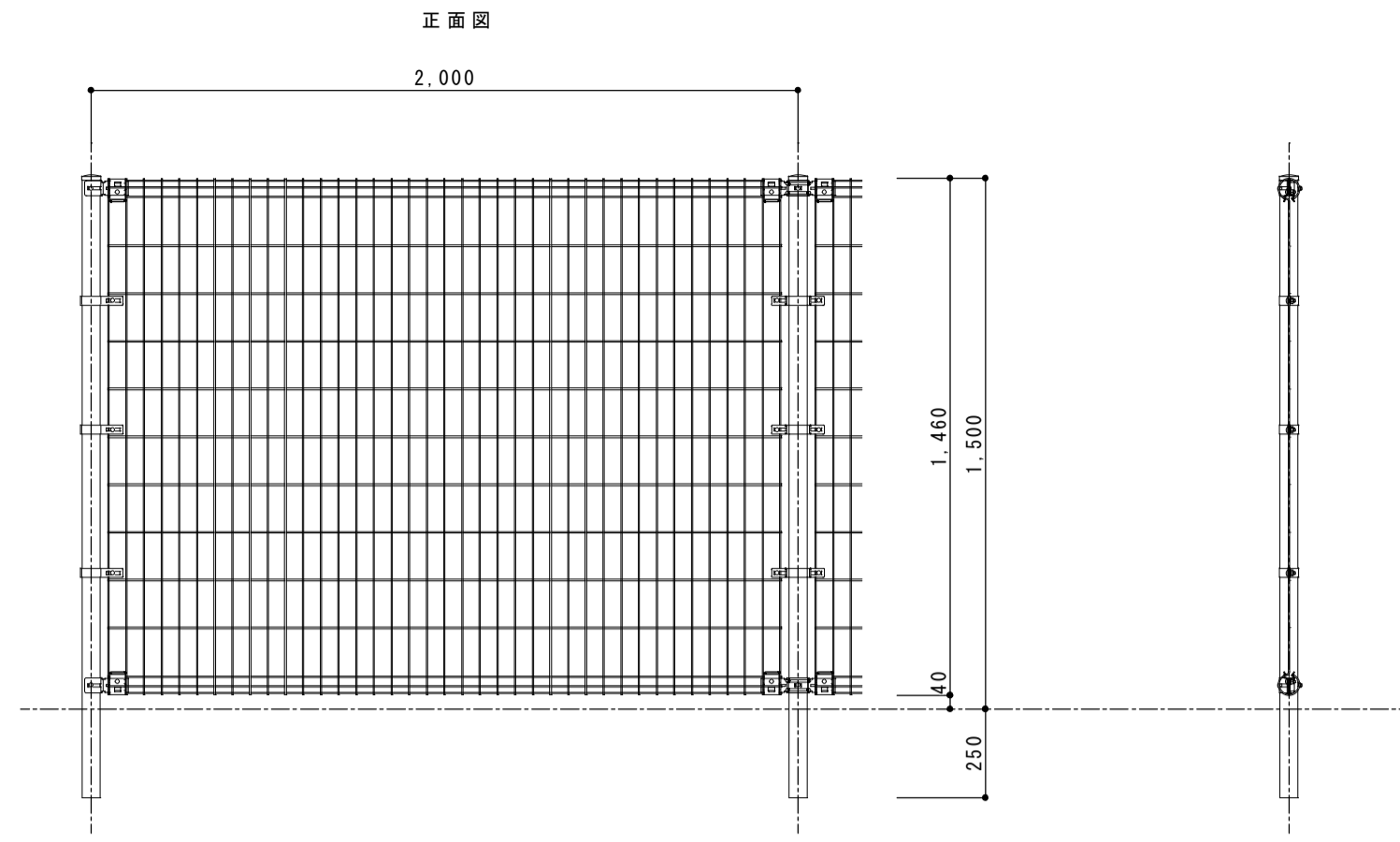
※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする

構造概要					
地業	基礎	軸組	屋根	建具	備考
-	-	アルミ合金造 既存のまま	ポリカーボネート 撤去	-	-
外部仕上表					
床	根廻	外壁	軒裏	屋根	壁樋
レンガタイル貼り 既存のまま	-	-	-	ポリカーボネート 撤去	-
内部仕上表					
室名	床	巾木	壁	天井	

構造概要					
地業	基礎	軸組	屋根	建具	備考
-	-	-	アルミ複合板t3.0	-	-
外部仕上表					
床	根廻	外壁	軒裏	屋根	壁樋
-	-	-	-	アルミ複合板t3.0	-
内部仕上表					
室名	床	巾木	壁	天井	

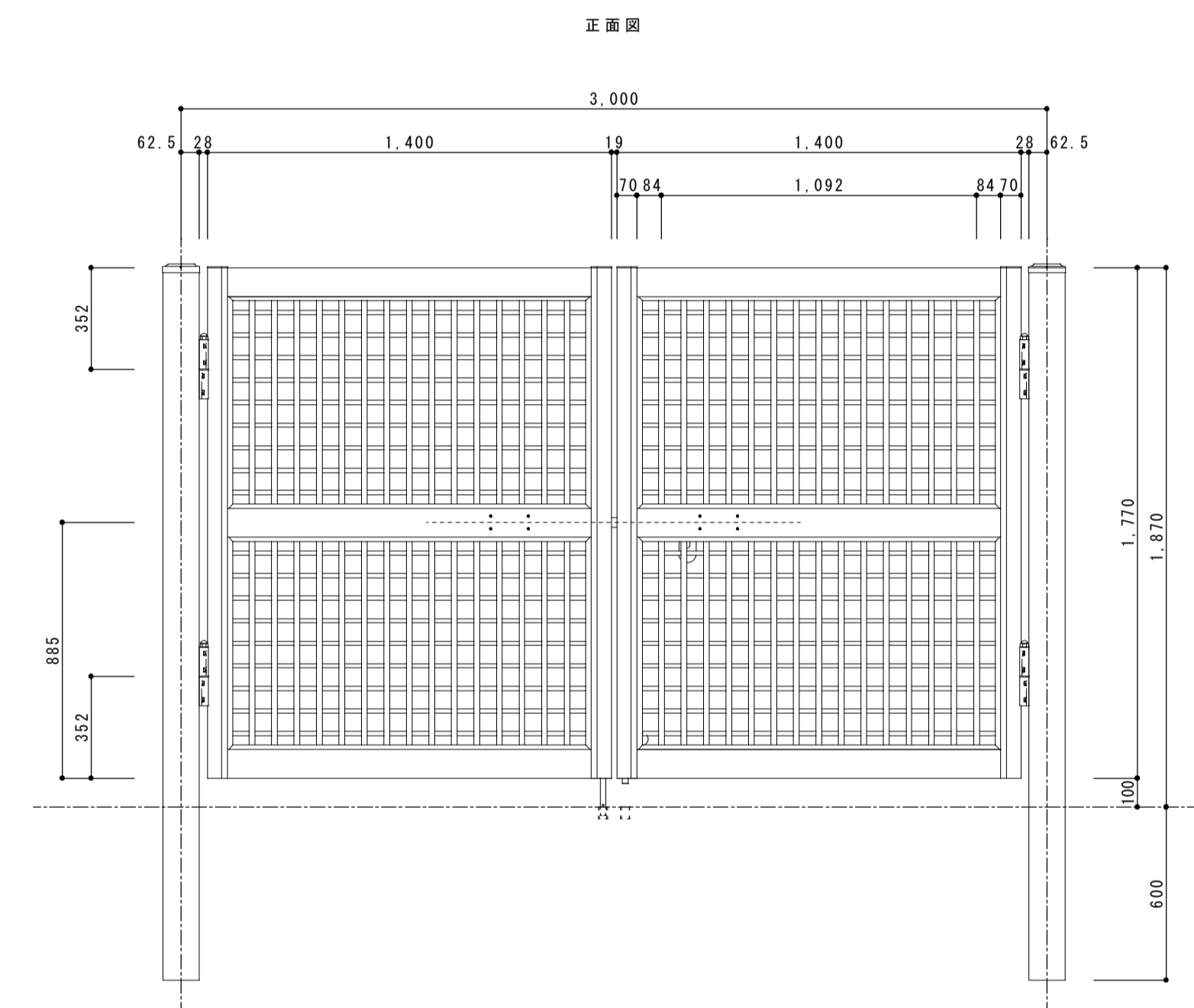
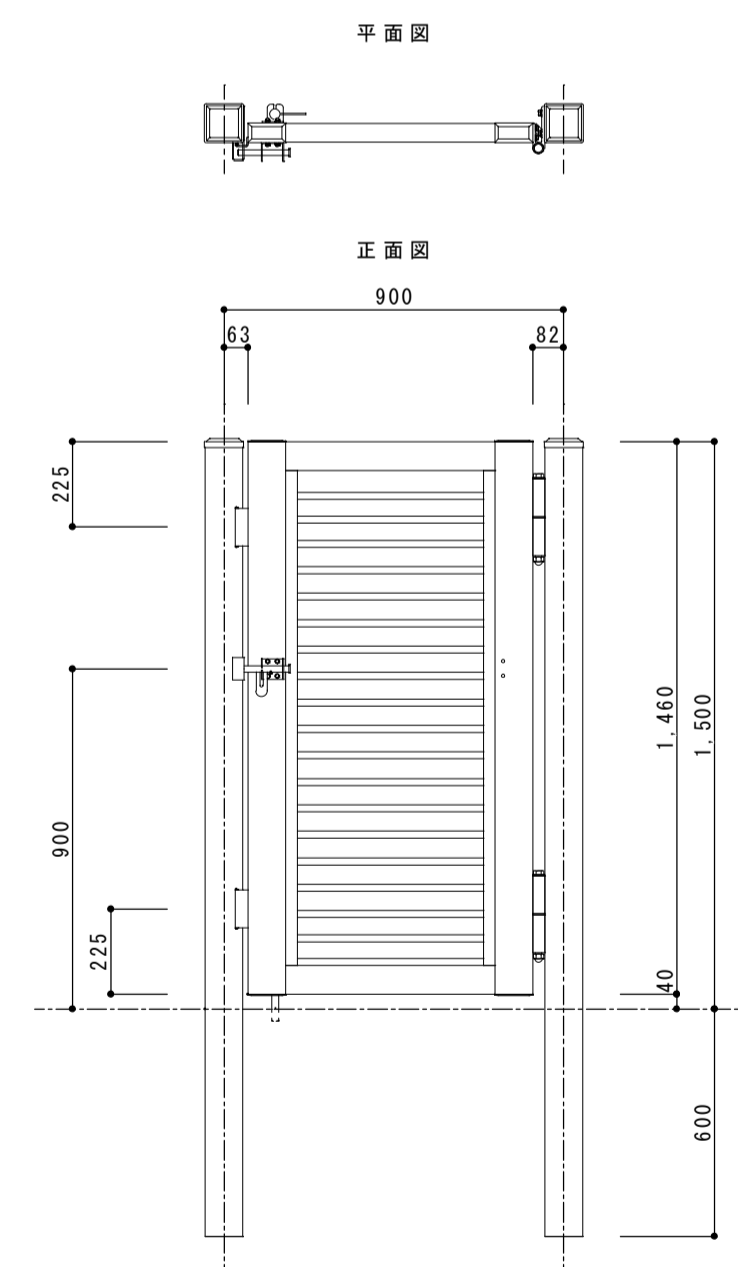
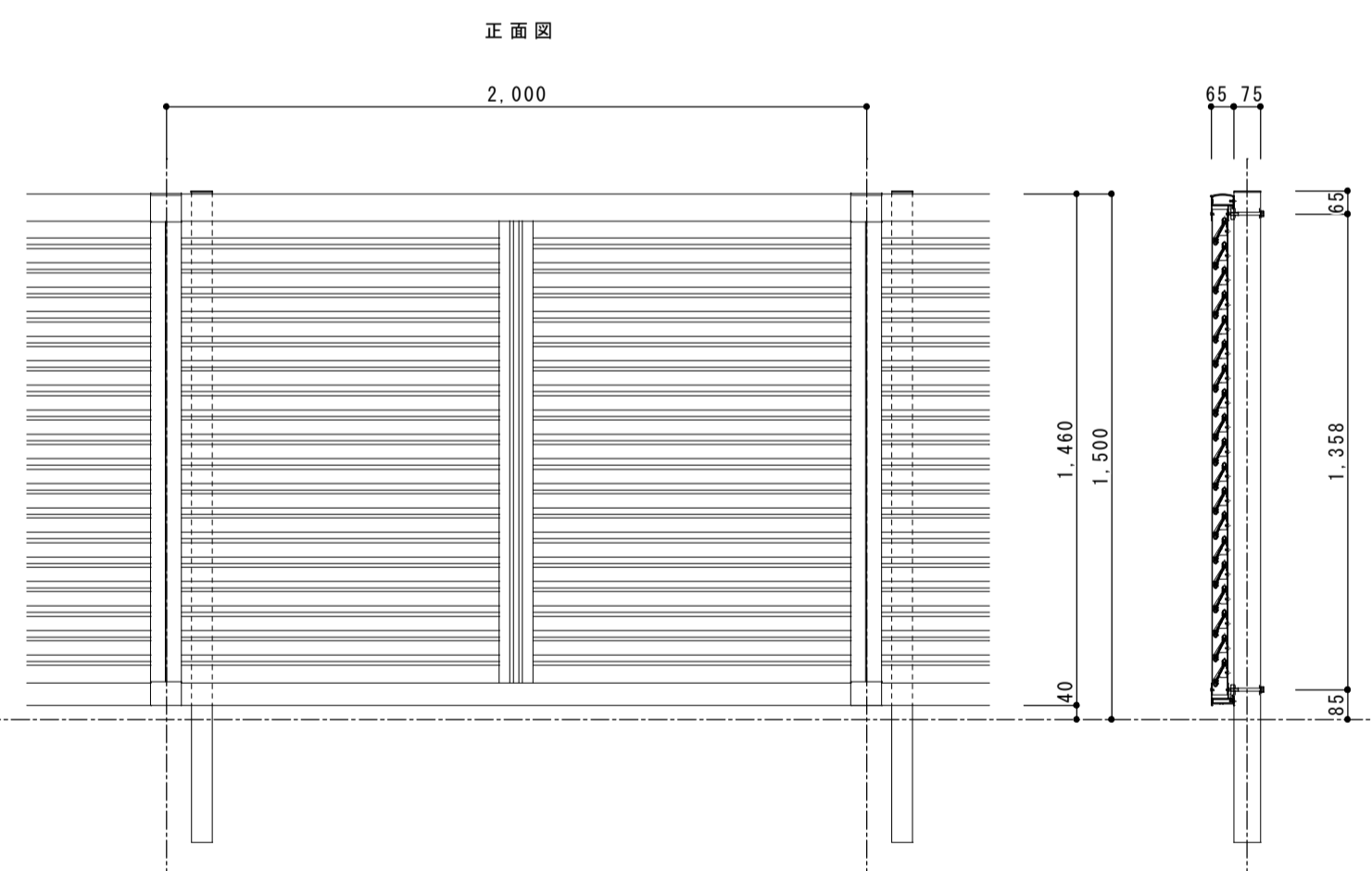


令和5年度	縮尺	A-36 意匠
名称工事名 掘西東小学校屋外プール改築工事		
図名 下屋詳細図	1/30	

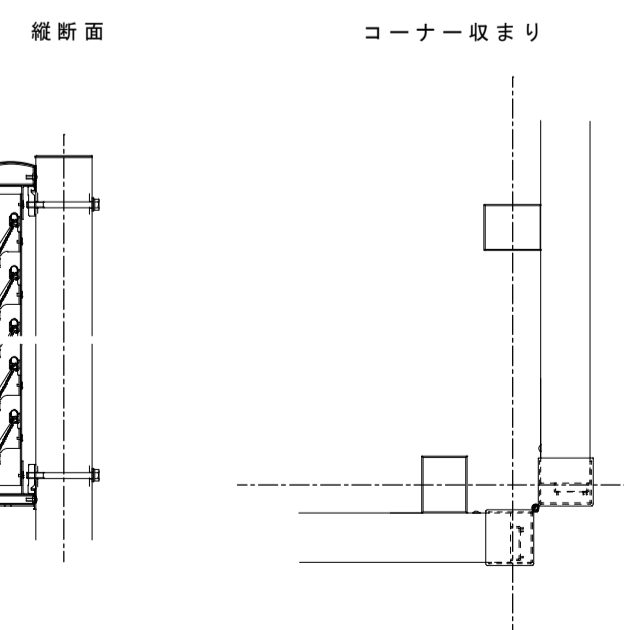


部 材 名	規 格・材 質	下地処理・塗装
支 柱	JIS G3444 STK400	溶融亜鉛メッキ + ポリエステル粉末塗装
フェンス本体	JIS G3547 SWMGH-3	溶融亜鉛メッキ + ポリエステル粉末塗装
ストレート継手	JIS G3302 SGHC	溶融亜鉛メッキ + ポリエステル粉末塗装
継手固定金具	JIS G3302 SGHC	溶融亜鉛メッキ + ポリエステル粉末塗装
コーナー継手	JIS G3302 SGHC	溶融亜鉛メッキ + ポリエステル粉末塗装
中間バンド	JIS G3302 SGHC	溶融亜鉛メッキ + ポリエステル粉末塗装
端部バンド	JIS G3302 SGHC	溶融亜鉛メッキ + ポリエステル粉末塗装
角根ボルト	JIS B1171	溶融亜鉛メッキ

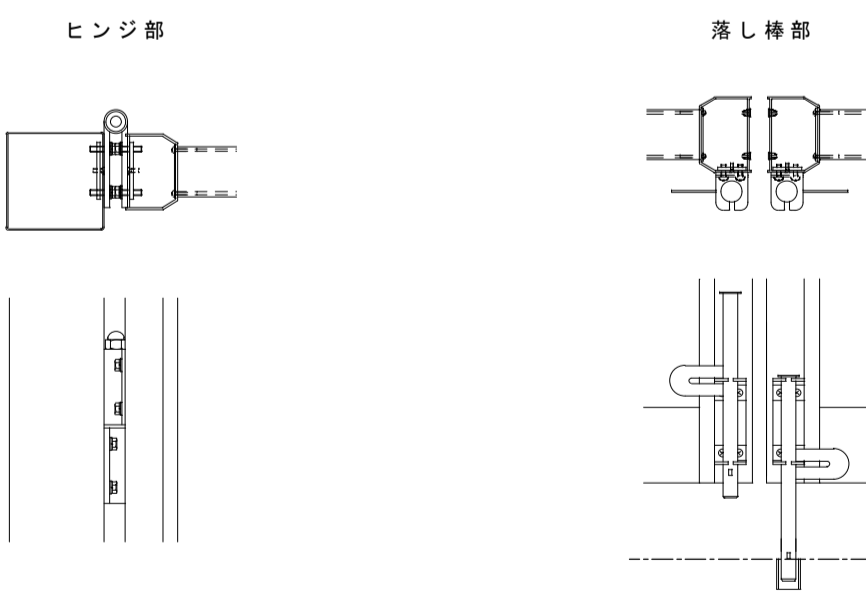
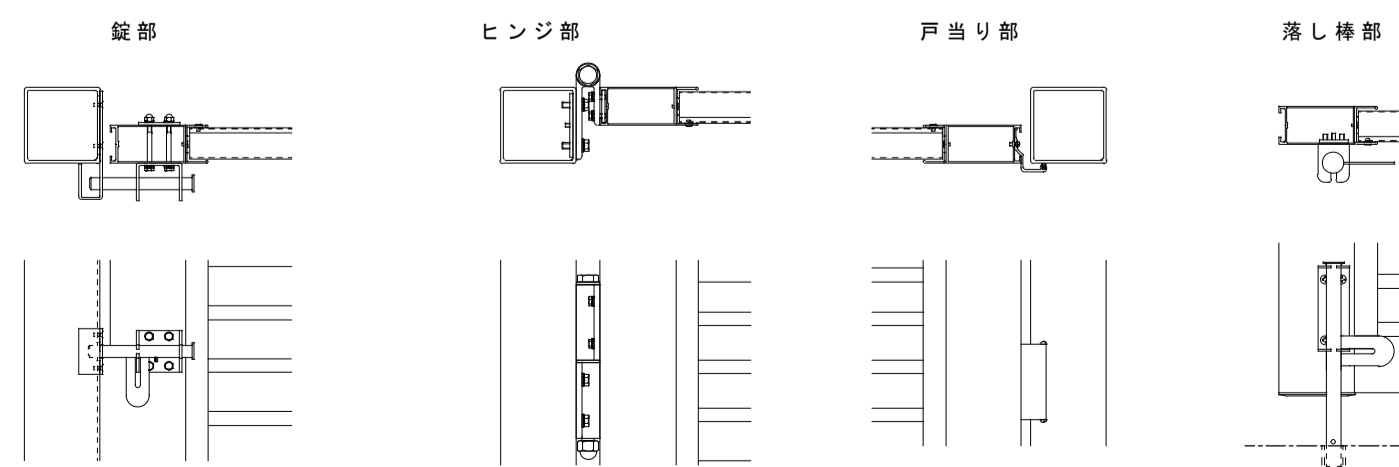
部 材 名	材 質・規 格	下地処理・塗装
門 柱	JIS G3444 STK400	溶融亜鉛メッキ + ポリエステル粉末塗装
縦 枠	JIS G3444 STK400	溶融亜鉛メッキ + ポリエステル粉末塗装
メッシュパネル	JIS G3547 SWMGH-3	溶融亜鉛メッキ + ポリエステル粉末塗装
錠パネル	JIS G3302 SGHC	溶融亜鉛メッキ + ポリエステル粉末塗装
錠 取 手	SUS304	
取手受けA, B	SUS304	
取 手 軸	SUS304 φ12	
ヒンジ/持送り	JIS G3302 SGHC	溶融亜鉛メッキ + ポリエステル粉末塗装
ヒンジシャフト	SUS304 φ12	
ボ ル ト	JIS B1171/1180	溶融亜鉛メッキ
ネ ジ	JIS B1111	



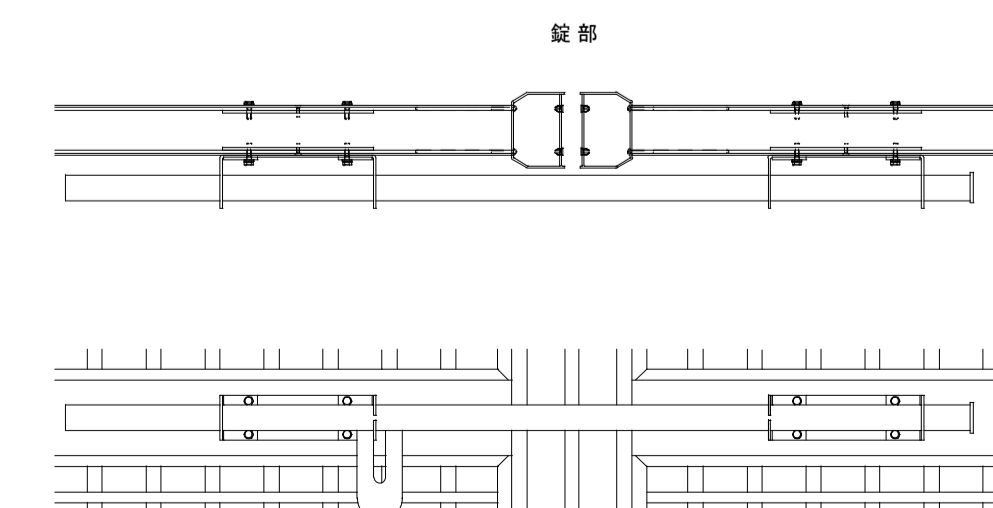
名 称	規 格・材 質
支 柱	JIS H4100 A6061S-T6相当
上 枠	JIS H 4100 A6063S-T5
下 枠	
縦 枠	
中 枠 (右)	
中 枠 (左)	
ブレード押え	
スリーブ (上)	
スリーブ (下)	
エンドカバー	
コーナーカバーA	
コーナーカバーB	
鋼線フック	JIS K 6876 ASA
ブレード	
上連結キャップ	
下連結キャップ	JIS H 5202 AC3A
支柱キャップ	
端部カバーキャップ	



部 材 名	材 質・規 格	
縦 枠	JIS H 4100 A6063S-T5	
上下横		
縦 枠		
ブレード枠		
ブレード		
柱		
ボルト類		JIS B 1180
ネジ類		JIS B 1111/1122
錠部		
ヒンジ部		
戸当り部		
落とし棒部		

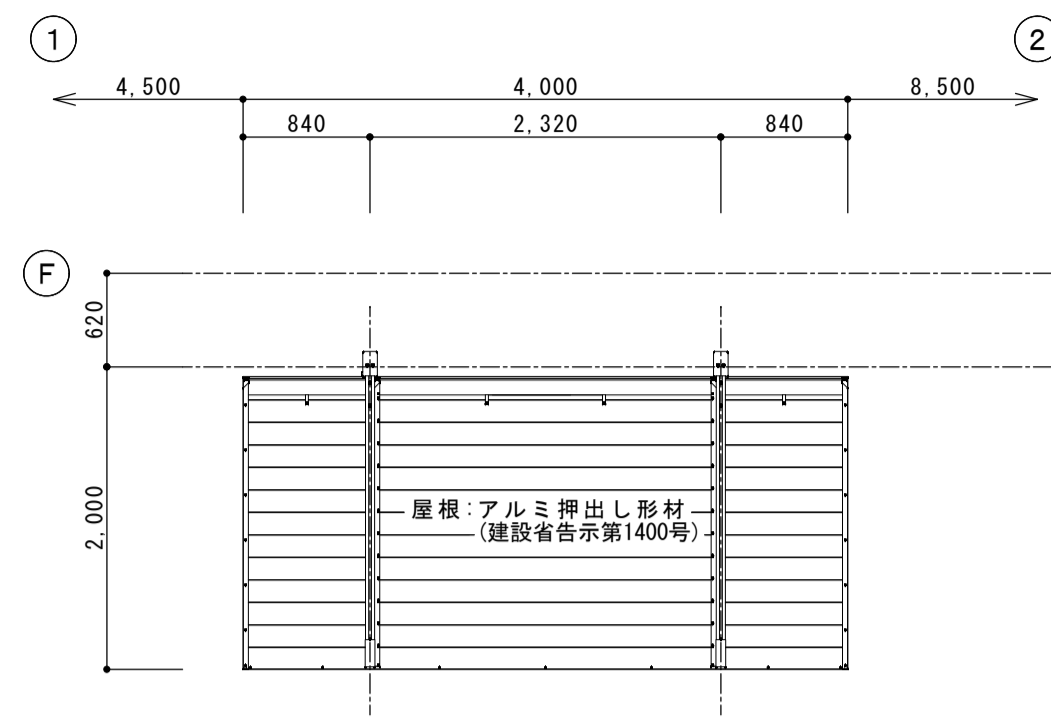


部 材 名	材 質・規 格	
戸当り框	JIS H 4100 A6063S-T5	
吊元框		
上下横		
中横		
枠材		
格子		
柱		スチール
ボルト類		JIS B 1180
ネジ類		JIS B 1111/1122

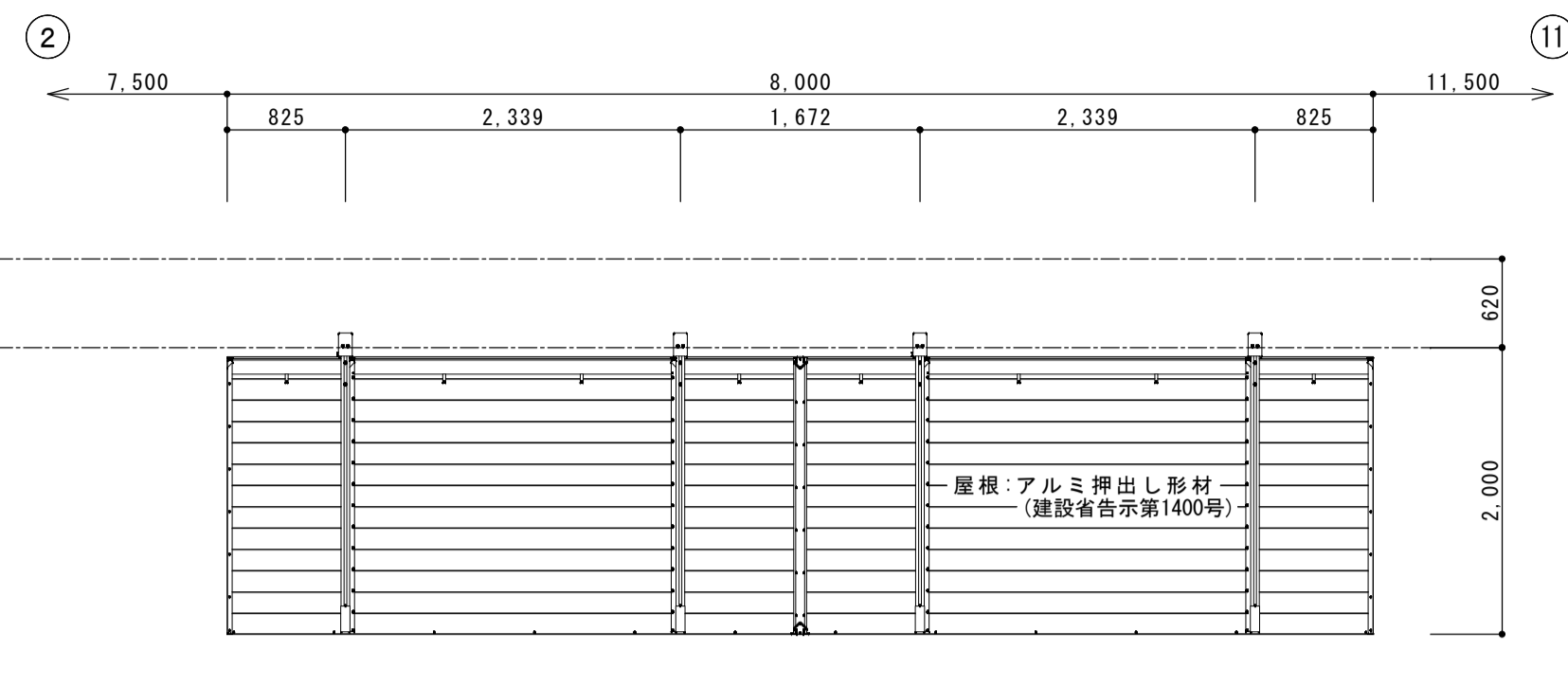


令 和 6 年 度	縮 尺	A-37
名 称 工 事 名	撰西東小学校屋外プール改築工事	意 匠
図 名	フェンス・門扉詳細図	

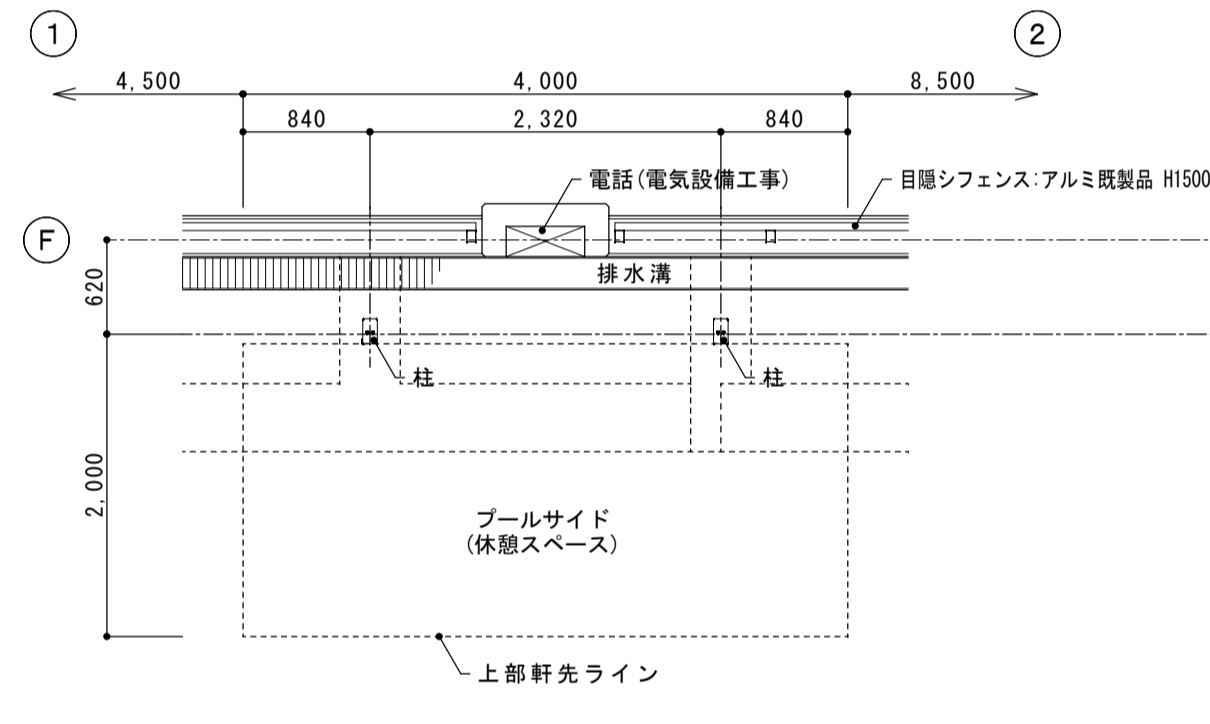
※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする



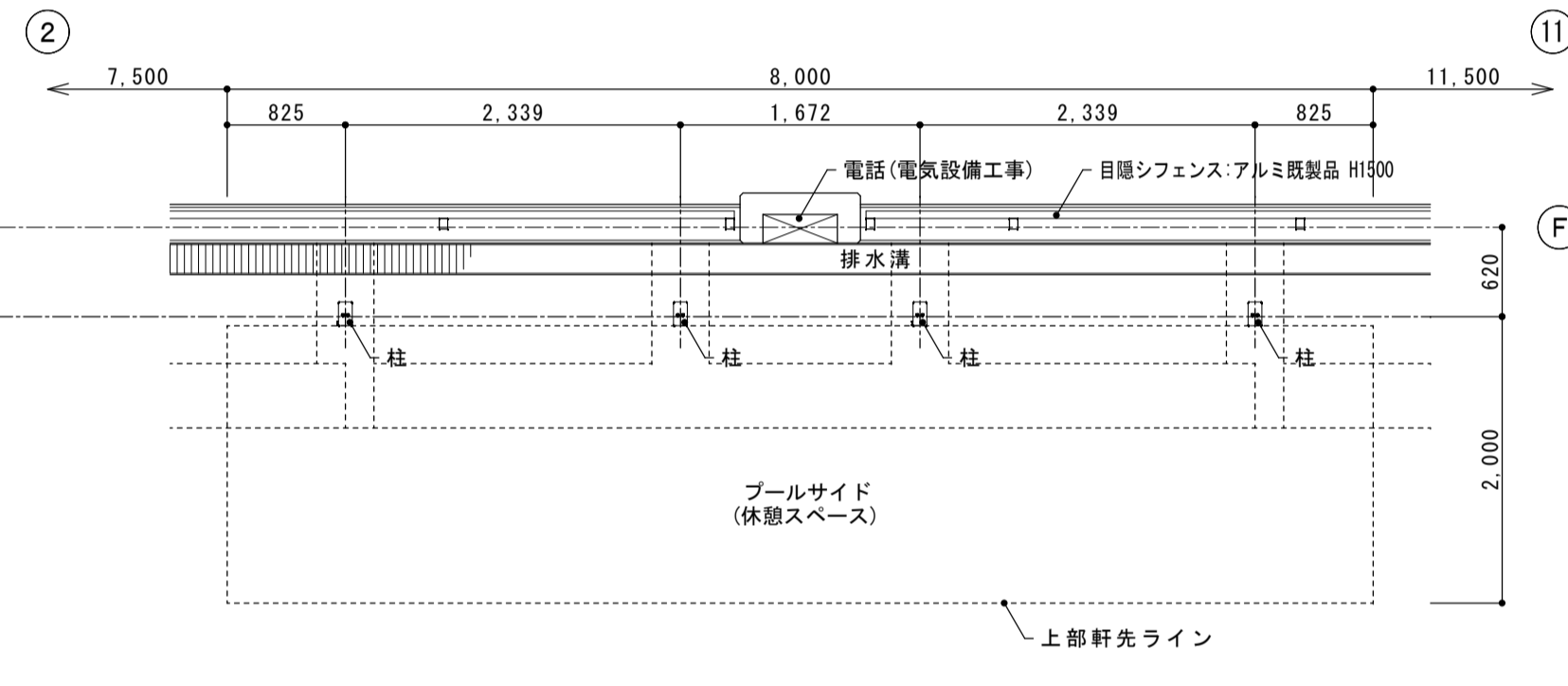
日除け1
屋根伏図 S=1/50



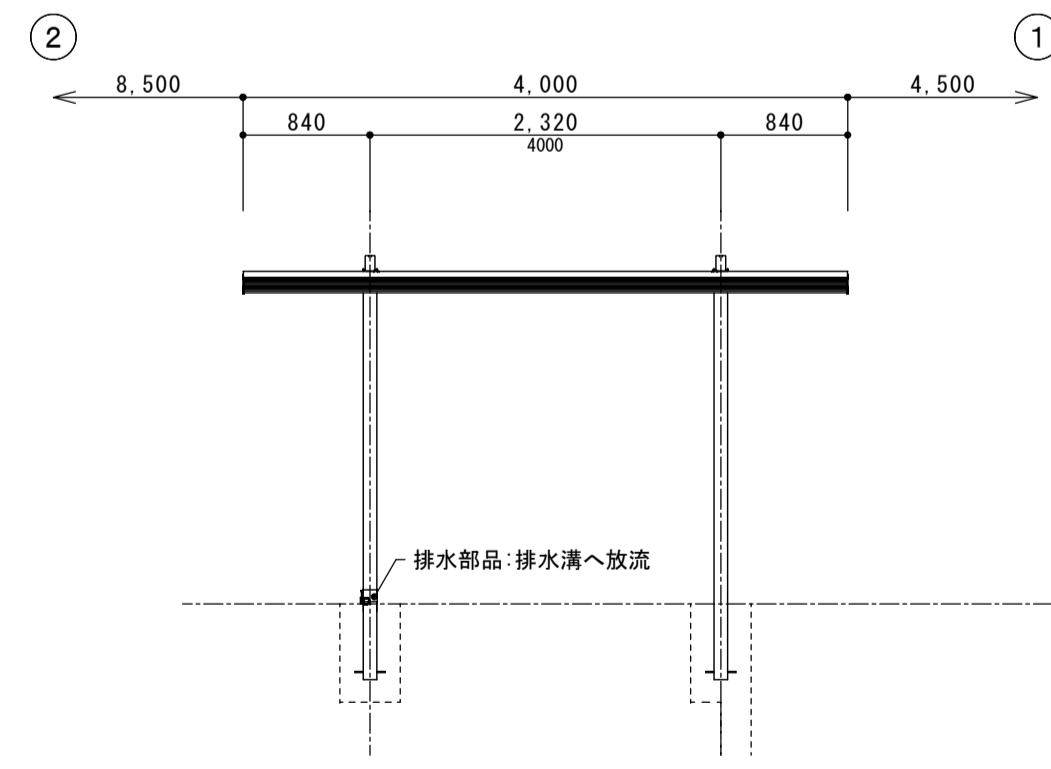
日除け2
屋根伏図 S=1/50



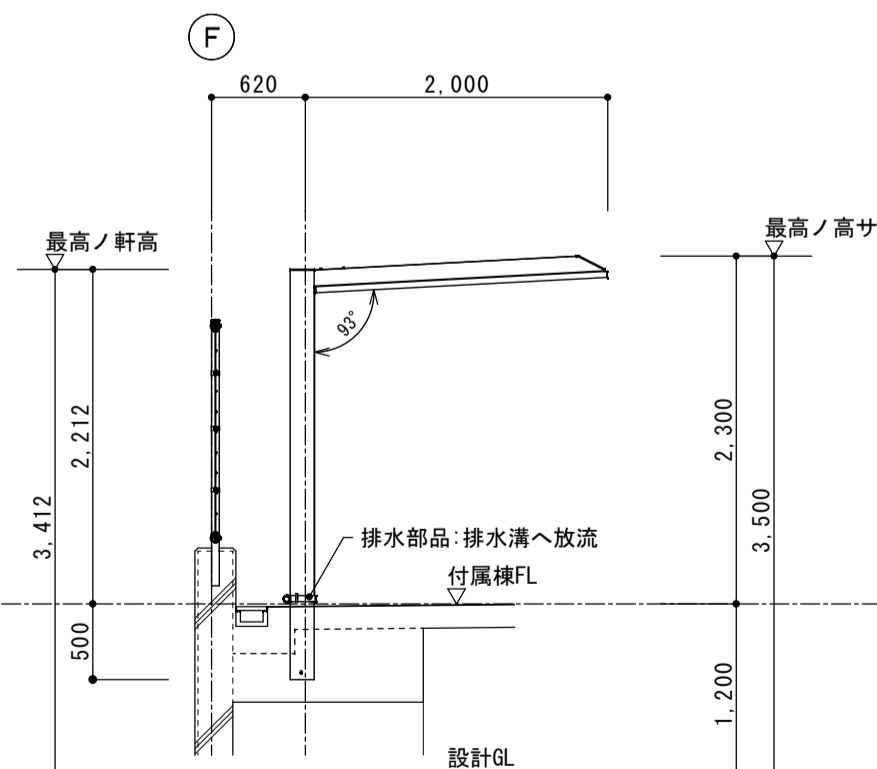
日除け1
平面図 S=1/50



日除け2
平面図 S=1/50

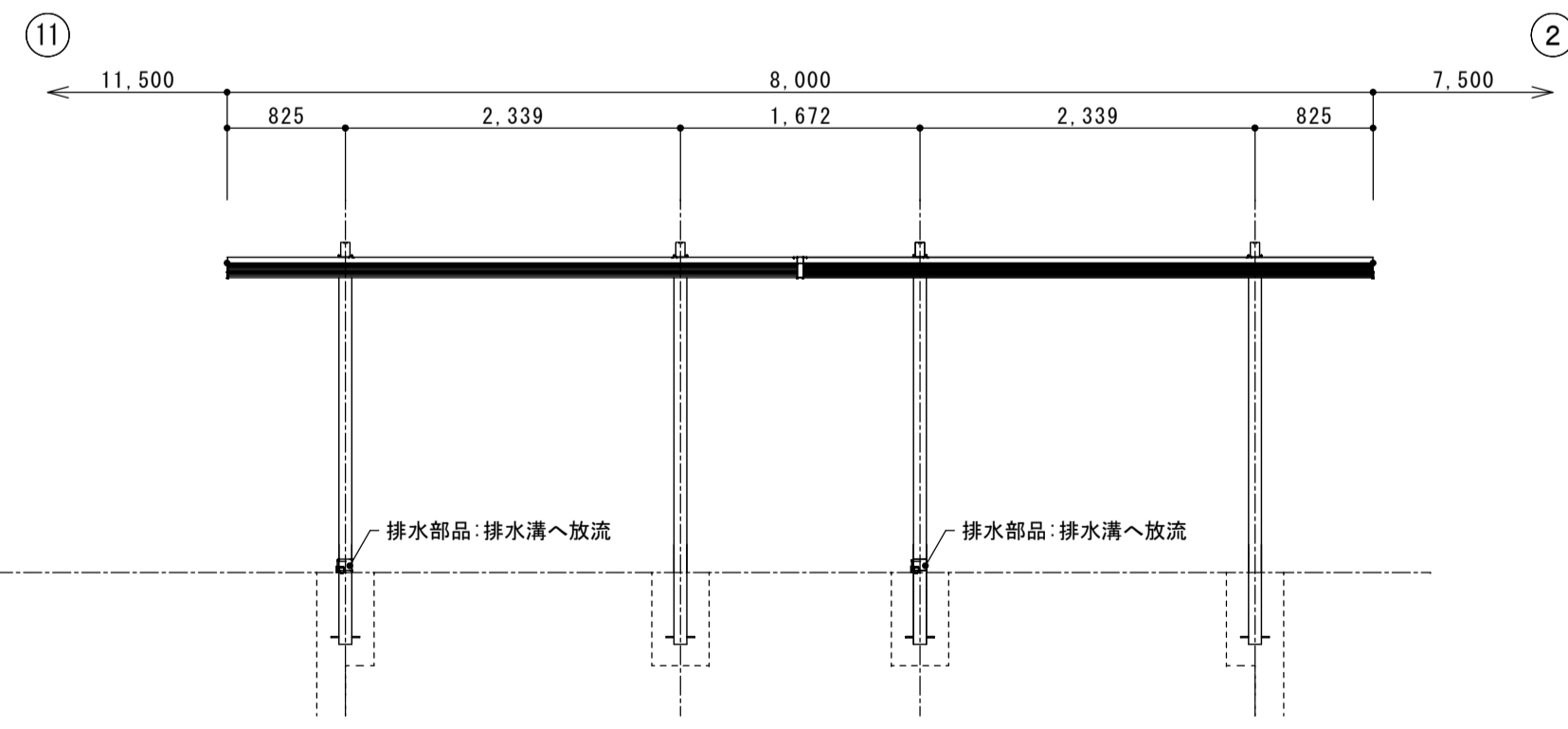


日除け1
北立面図 S=1/50

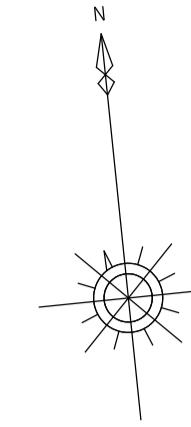


日除け1・2共通
断面図 S=1/50

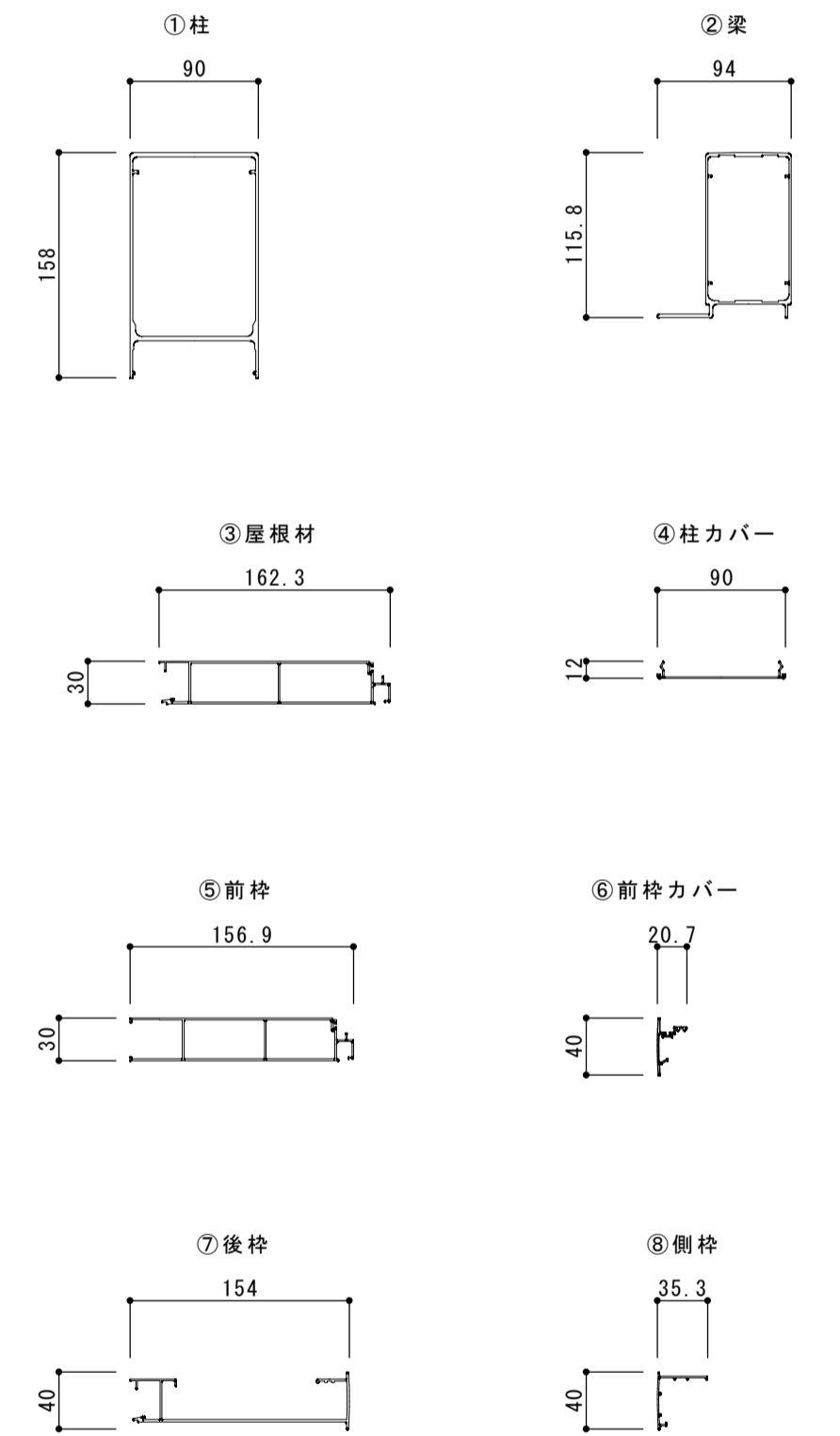
西立面図 S=1/50



日除け2
北立面図 S=1/50



部材リスト	
部材名	規格・材質
①柱	JIS H 4100 A601SS-T5 (アルミ押し出し形材)
②梁	JIS H 4100 A601SS-T5 (アルミ押し出し形材)
③屋根材	JIS H 4100 A6063SS-T5 (アルミ押し出し形材)
④柱カバー	JIS H 4100 A6063SS-T5 (アルミ押し出し形材)
⑤前枠	JIS H 4100 A6063SS-T5 (アルミ押し出し形材)
⑥前枠カバー	JIS H 4100 A6063SS-T5 (アルミ押し出し形材)
⑦後枠	JIS H 4100 A6063SS-T5 (アルミ押し出し形材)
⑧側枠	JIS H 4100 A6063SS-T5 (アルミ押し出し形材)
⑨前枠コーナーキャップL	ASA (樹脂)
⑩前枠コーナーキャップR	ASA (樹脂)
⑪後枠コーナーキャップL	ASA (樹脂)
⑫後枠コーナーキャップR	ASA (樹脂)
⑬梁キャップ	ASA (樹脂)
⑭排水部品A	SUS430
⑮排水部品B	SUS430
⑯柱キャップ	SUS430
⑰後枠固定金具	SS400
⑱アンカー棒	SS400
ボルト類	JIS B 1187/1174
ネジ類	JIS B 1111/1124



部材断面詳細図 S=1/5

	面積表	
	日除け1	日除け2
建築面積	4.00㎡	8.00㎡
1階床面積	8.00㎡	16.00㎡
延床面積	8.00㎡	16.00㎡

令和6年度		縮尺	A-38 意匠
名称工事名	掘西東小学校屋外プール改築工事		
図名	日除け詳細図	1/5・50	

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする

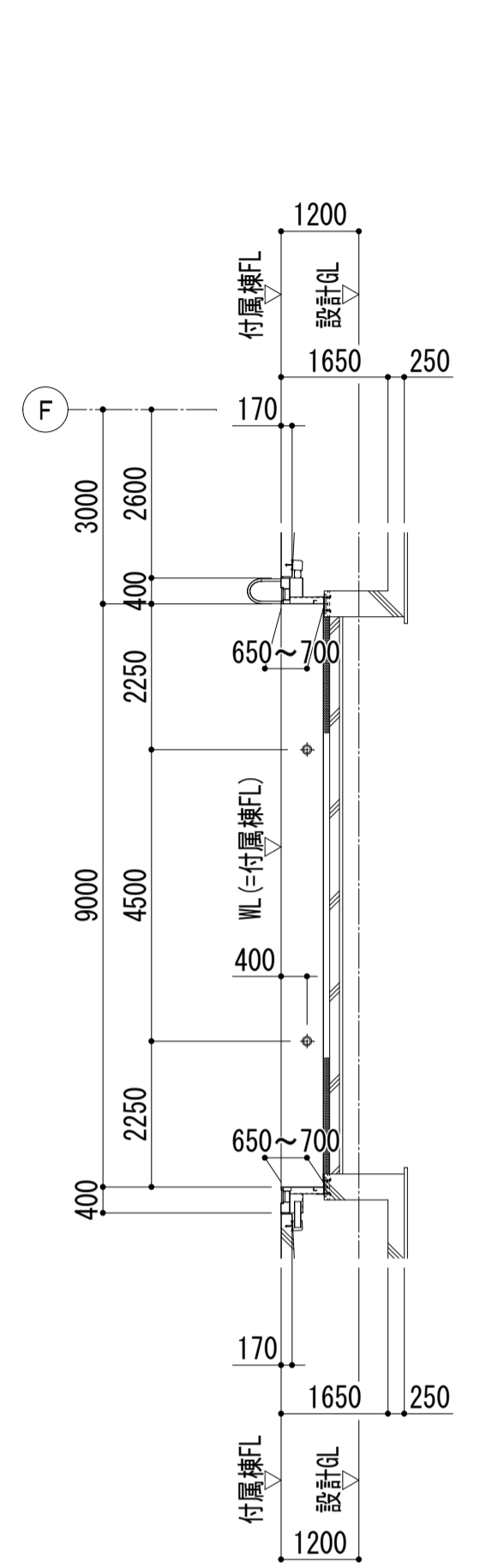
大プール本体工事仕様書			
構造	ステンレススティール製全溶接構造 循環ダクト仕様 無塗装仕上 (一部アクリルウレタン塗装仕上)		
	プールサイズ	25.00M × 9.00M	コース幅: 2.00M × 4コース
	プール水深	0.90M ~ 1.10M ~ 0.90M	
材料	側板	t2.5mm	SUS304 ステンレススチール製
	底板	t1.5mm	SUS304 ステンレススチール製
	オーバーフロー側溝	t2.0mm	SUS304 ステンレススチール製
	補強材	t2.0mm・t2.5mm・t3.0mm・t4.0mm	SUS304 ステンレススチール製
	アンカープレート	t2.0mm	SUS304 ステンレススチール製
附属部品	源水給水ノズルボックス	1ヶ所	SUS304 ステンレススチール製
	ろ過吸込兼排水ピット	1ヶ所	SUS304 ステンレススチール製
	入水梯子(手摺: #400)	4ヶ所	SUS304 ステンレススチール製
	コースロープフック	10ヶ所	SUS304 ステンレススチール製
	樹脂製グレーチング (H=25, W=200)	1式	樹脂製
配管部品	源水給水ノズル	50A × 1ヶ所	JIS 10K 片フランジ付
	吐出ノズル (菊型目皿調整式)	50A × 8ヶ所	—
	オーバーフローノズル	80A × 6ヶ所	ソケット付(平行ネジ)
	ろ過吸込兼排水接続管	125A × 1ヶ所	JIS 10K 片フランジ付
	循環ろ過給水接続管	100A × 2ヶ所	JIS 10K 片フランジ付
	連通管	100A × 1ヶ所	JIS 10K 片フランジ付
塗装仕様	プール表面塗装部	プール天端・ライン・その他	
		素地調整・脱脂	清掃、脱脂、ケレン処理
		下塗り	エポキシプライマー
		防錆塗装	鋼板用プライマー(底板塗装範囲 溶接部のみ)
		中塗り	エポキシ樹脂塗料
		上塗り 1回目	アクリルウレタン樹脂塗料 指定色
		ノンスリップ処理	珪砂6号、FB材
		上塗り 2回目	アクリルウレタン樹脂塗料 指定色
		各種ライン	アクリルウレタン樹脂塗料 指定色
		各種標示	アクリルウレタン樹脂塗料 指定色
塗装色	プール表面塗装部	防錆塗装	変性エポキシ樹脂系塗料(溶接部のみ)
	白	※N-95	プール天端、源水給水ノズルボックス、入水梯子ステップ内踏面
	濃紺	※75-20L	コースNo標示: 手書き、オーバーフロー内アングルL-30全面
	赤	※05-40V	5Mライン、センターライン、クロスライン
			※発行年度記号は最新版を使用すること
	黒文字	ビニールフィルム	水深標示
赤文字	ビニールフィルム	吸込口標示	
マーキング	コースライン、センターライン、5Mライン、クロスライン、吸込口標示(1ヶ所)、水深標示(6ヶ所)		
	コースNo 標示(8ヶ所)		
	ノンスリップ 塗装(珪砂6号) 源水給水ノズルボックス天端、入水梯子ステップ内踏面		
寸法許容差	長さ	-0 ~ +20mm	
	幅	-0 ~ +20mm	
	水深	水深1m以上±1%以内、水深1m未満±1.5%以内(10mm以内)	
水平許容差	オーバーフロー天端高さ計測の最高、最低の差15mm以内。		

小プール本体工事仕様書			
構造	ステンレススティール製全溶接構造 循環ダクト仕様 無塗装仕上 (一部アクリルウレタン塗装仕上)		
	プールサイズ	7.00M × 9.00M	
	プール水深	0.65M ~ 0.70M	
材料	側板	t2.5mm	SUS304 ステンレススチール製
	底板	t1.5mm	SUS304 ステンレススチール製
	オーバーフロー側溝	t2.0mm	SUS304 ステンレススチール製
	補強材	t2.0mm・t2.5mm・t3.0mm・t4.0mm	SUS304 ステンレススチール製
	アンカープレート	t2.0mm	SUS304 ステンレススチール製
附属部品	源水給水ノズルボックス	1ヶ所	SUS304 ステンレススチール製
	ろ過吸込兼排水ピット	1ヶ所	SUS304 ステンレススチール製
	入水梯子(手摺: #400)	2ヶ所	SUS304 ステンレススチール製
	樹脂製グレーチング (H=25, W=200)	1式	樹脂製
配管部品	源水給水ノズル	50A × 1ヶ所	JIS 10K 片フランジ付
	吐出ノズル (菊型目皿調整式)	50A × 4ヶ所	—
	オーバーフローノズル	80A × 4ヶ所	ソケット付(平行ネジ)
	ろ過吸込兼排水接続管	100A × 1ヶ所	JIS 10K 片フランジ付
	循環ろ過給水接続管	80A × 1ヶ所	JIS 10K 片フランジ付
	連通管	100A × 1ヶ所	JIS 10K 片フランジ付
塗装仕様	プール表面塗装部	プール天端・その他	
		素地調整・脱脂	清掃、脱脂、ケレン処理
		下塗り	エポキシプライマー
		防錆塗装	鋼板用プライマー(底板塗装範囲 溶接部のみ)
		中塗り	エポキシ樹脂塗料
		上塗り 1回目	アクリルウレタン樹脂塗料 指定色
		ノンスリップ処理	珪砂6号、FB材
		上塗り 2回目	アクリルウレタン樹脂塗料 指定色
		各種標示	アクリルウレタン樹脂塗料 指定色
塗装色	プール表面塗装部	防錆塗装	変性エポキシ樹脂系塗料(溶接部のみ)
	白	※N-95	プール天端、源水給水ノズルボックス、入水梯子ステップ内踏面
			オーバーフロー内アングルL-30全面
			※発行年度記号は最新版を使用すること
	黒文字	ビニールフィルム	水深標示
	赤文字	ビニールフィルム	吸込口標示
マーキング	吸込口標示(1ヶ所)、水深標示(4ヶ所)		
	ノンスリップ 塗装(珪砂6号) 源水給水ノズルボックス天端、入水梯子ステップ内踏面		
寸法許容差	長さ	-0 ~ +20mm	
	幅	-0 ~ +20mm	
	水深	水深1m未満±1.5%以内(10mm以内)	
水平許容差	オーバーフロー天端高さ計測の最高、最低の差15mm以内。		

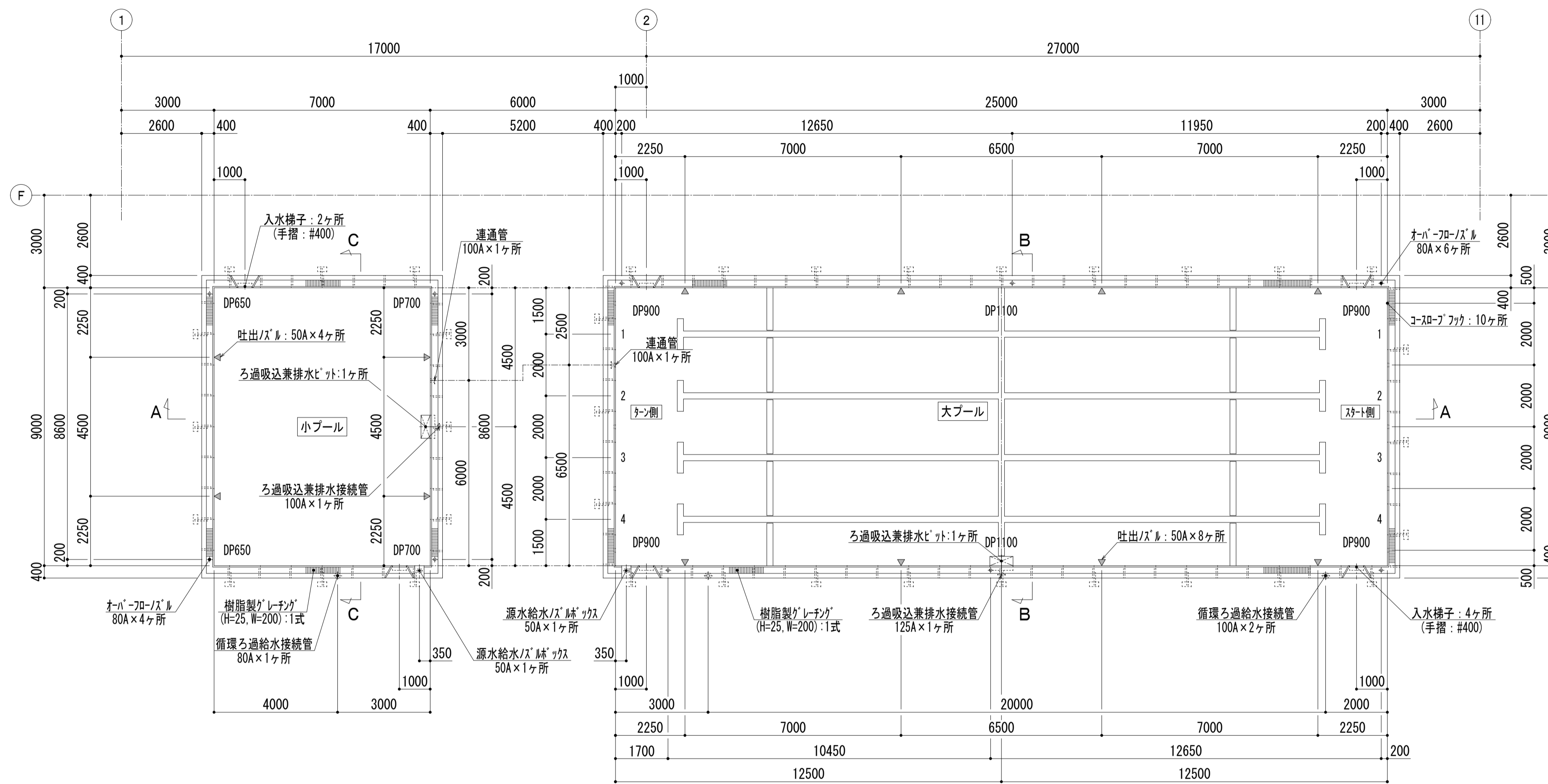
工事区分	建築工事	設備工事	プール本体工事
工用電源	○		200V 45KVA
荷揚用重機	○		底板 1ton履帯
プール基礎工事	○		基礎天端仕上精度は、±5mm以内である事 尚、基礎天端の高さ寸法は、施工精度を考慮して水深寸法より15mm下げた値とする
SUSアンカープレート埋設工事	○		支給
プール底板下の敷砂工事	○		敷砂は単粒度砕石7号(粒度範囲2.5~5mm/m)とし、振動ランマー等で十分締め固める事
プール底板下の敷砂管理	○	○	底板敷設前に設置面及び周辺部を入念に清掃し、鉄製品等の異種金属を除去する 型枠の釘は撤去する事
据付用基礎墨出し工事	○		通り墨・プール位置墨・レベル基本墨
SUS本体工事			○ 全溶接構造 手摺含む
プール塗装工事			○ 塗装仕上(アクリルウレタン樹脂塗装仕上)
シーリング工事	○		プールサイド取合部のシーリング(ポリサルファイドシーリング)
配管工事		○	各ノズルの相フランジ、継手、パッキン、ボルト、ナット(SUS)の取付及び以降配管工事
引渡し用満水	○		
注記	プール本体の製作・施工は「ISO-9001」取得メーカーとする。		

令和6年度	縮尺	P-01
名称工事名	播西東小学校屋外プール整備工事	プール
図名	プール仕様書	

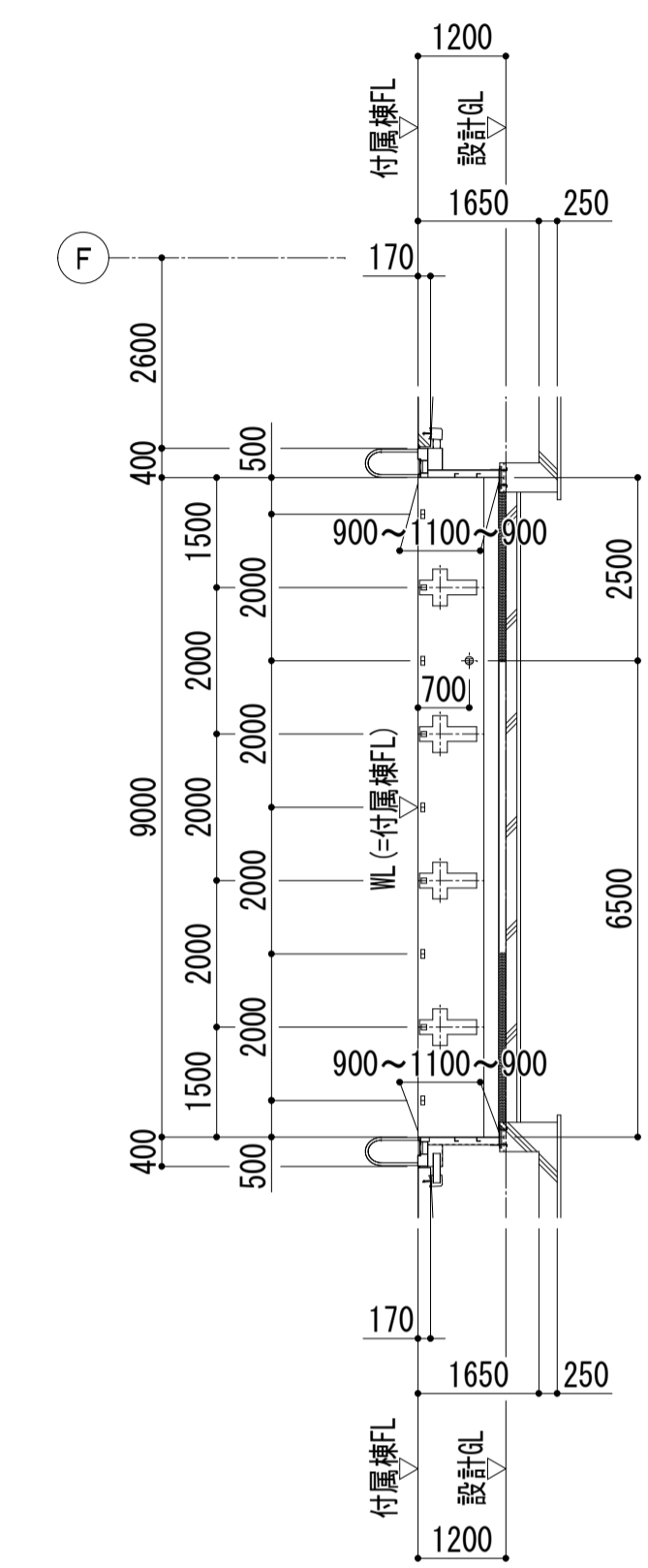
※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする



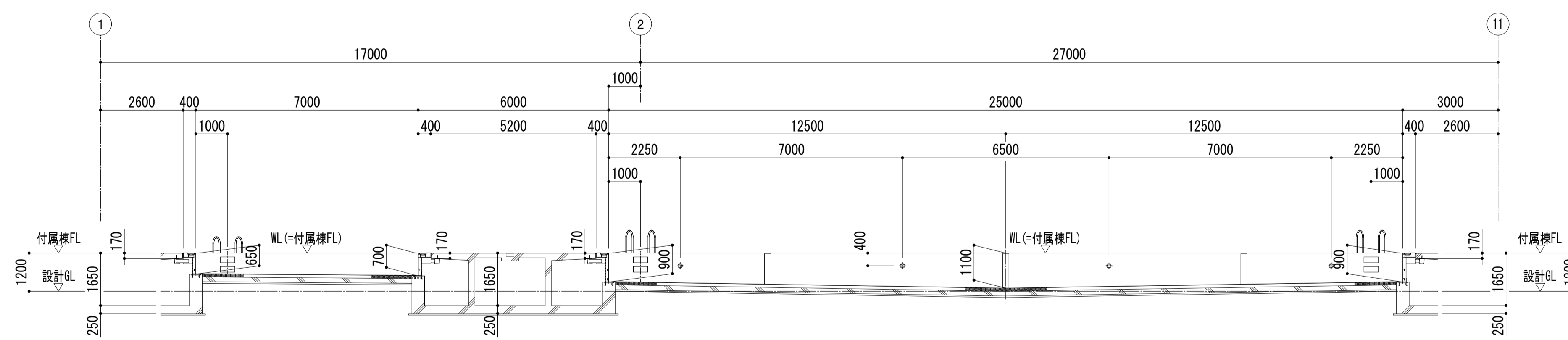
C-C 断面図 S=1:100



プール 全体平面図 S=1:100



B-B 断面図 S=1:100

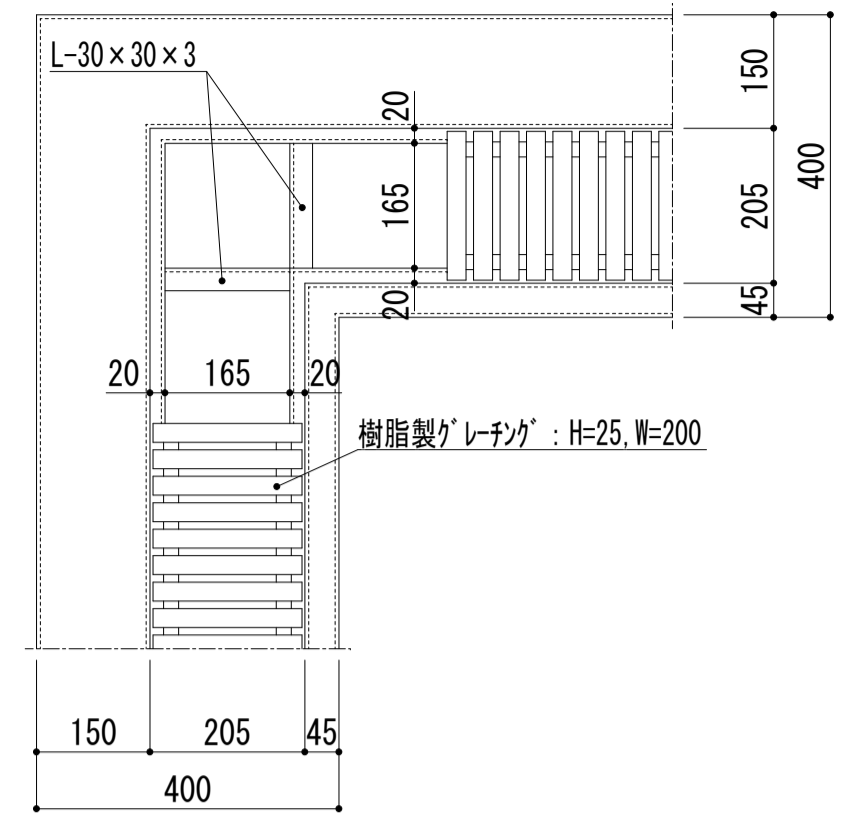


A-A 断面図 S=1:100

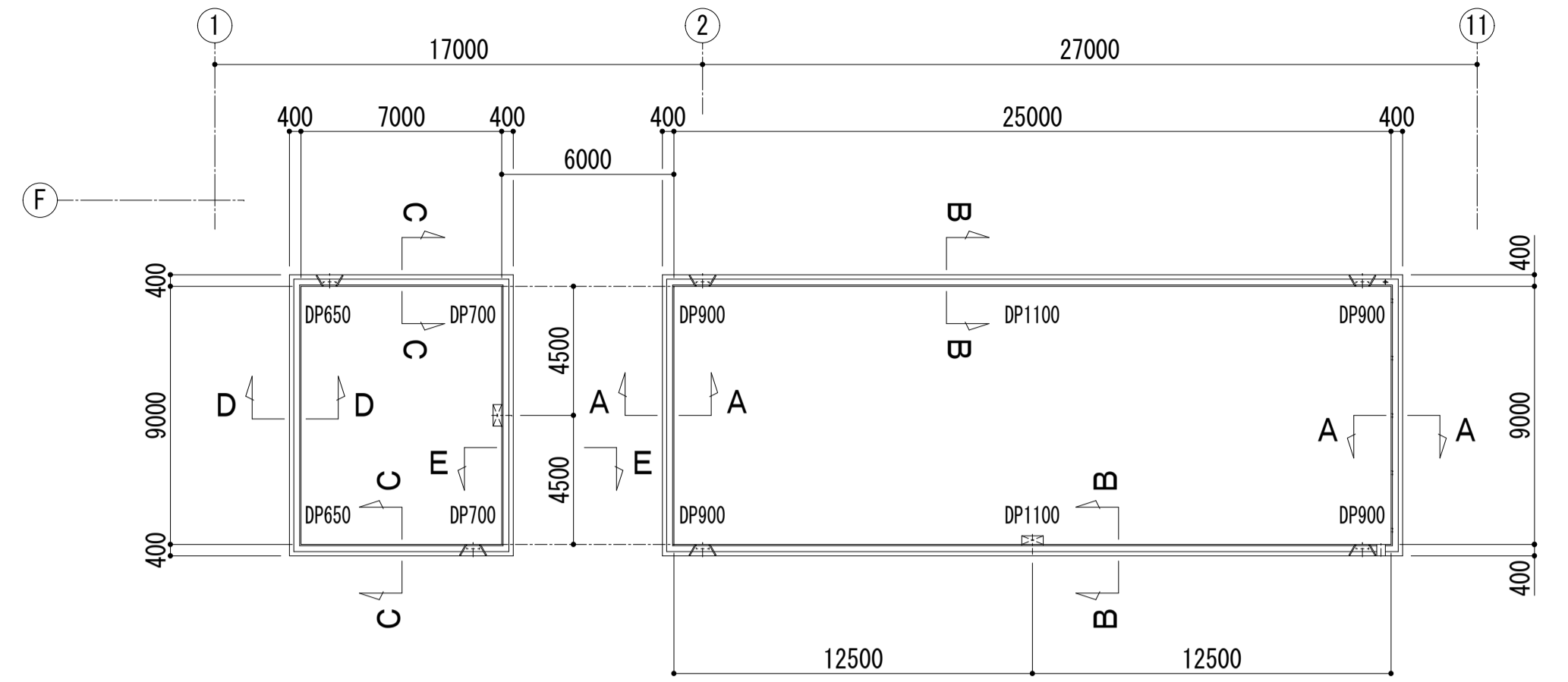
注記：特記なき材質は、すべてSUS304とする。
 注記：プール表面の角は面取り(R1以上)とする。
 注記：印は、シーリング材(建築工事)を示す。

令和6年度		縮尺	P-02 プール
名称工事名	播西東小学校屋外プール整備工事	1/100	
図名	プール全体平面図	1/200	

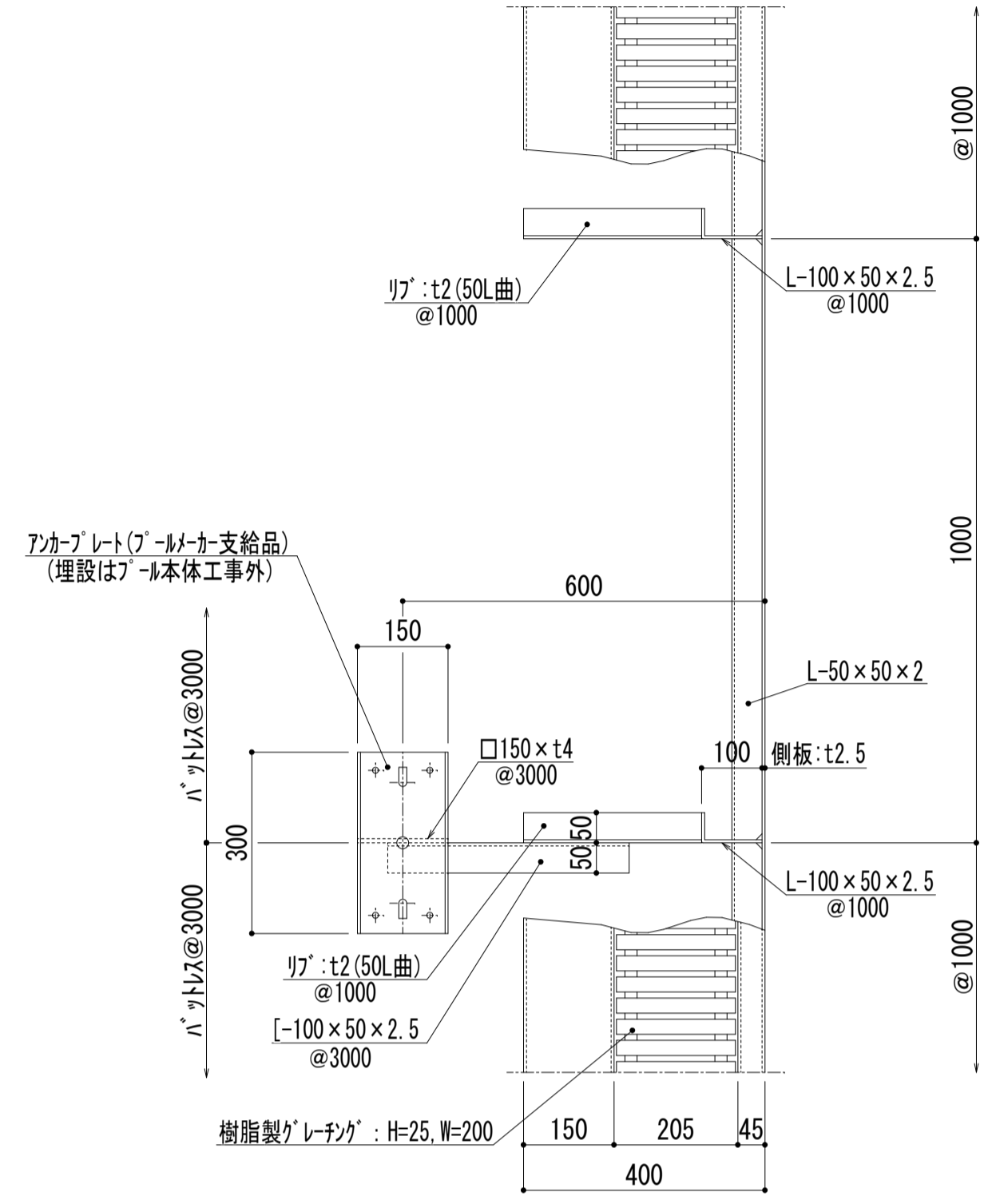
※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする



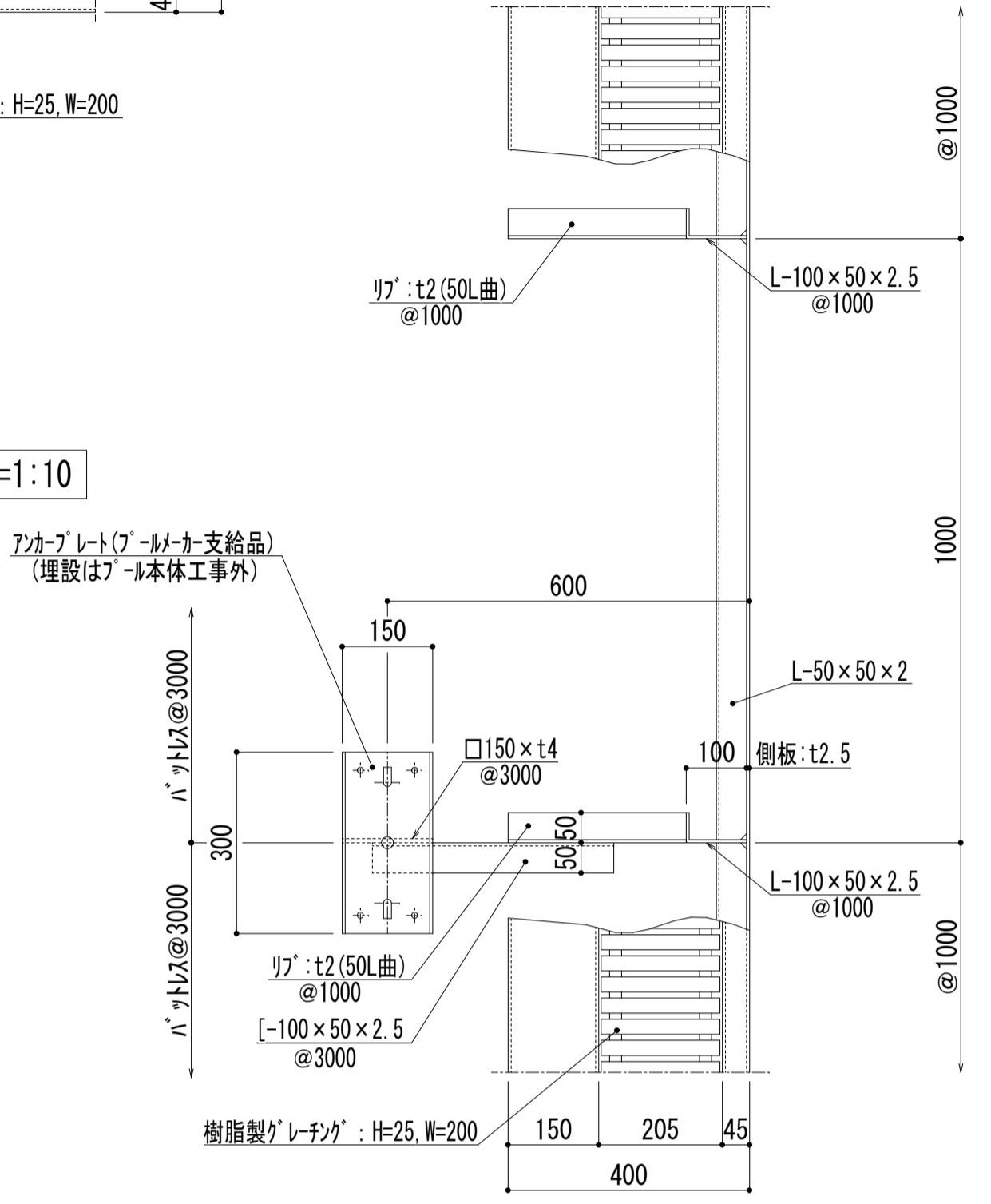
天端コーナー部詳細図 S=1:10



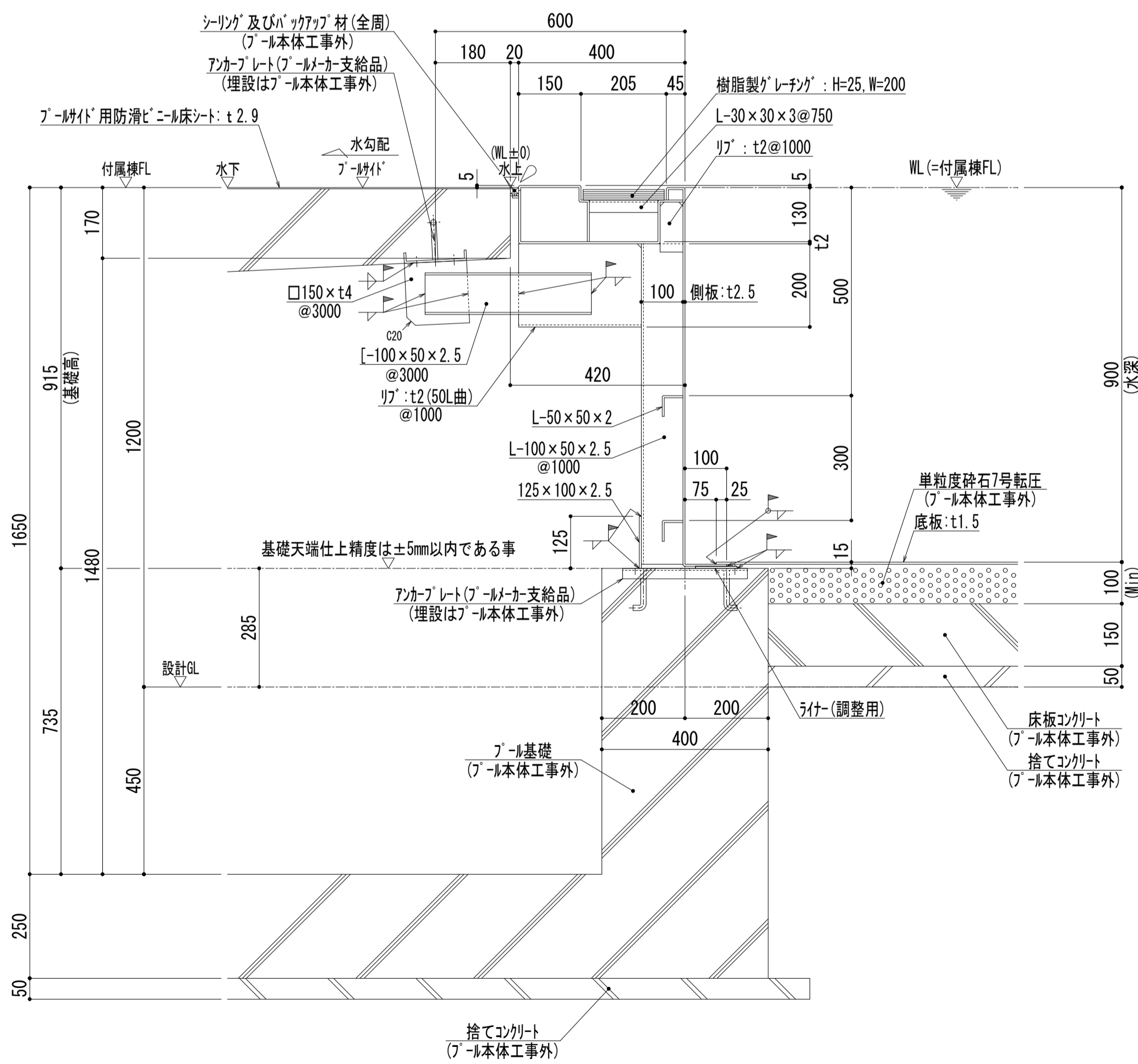
KEYPLAN S=1:200



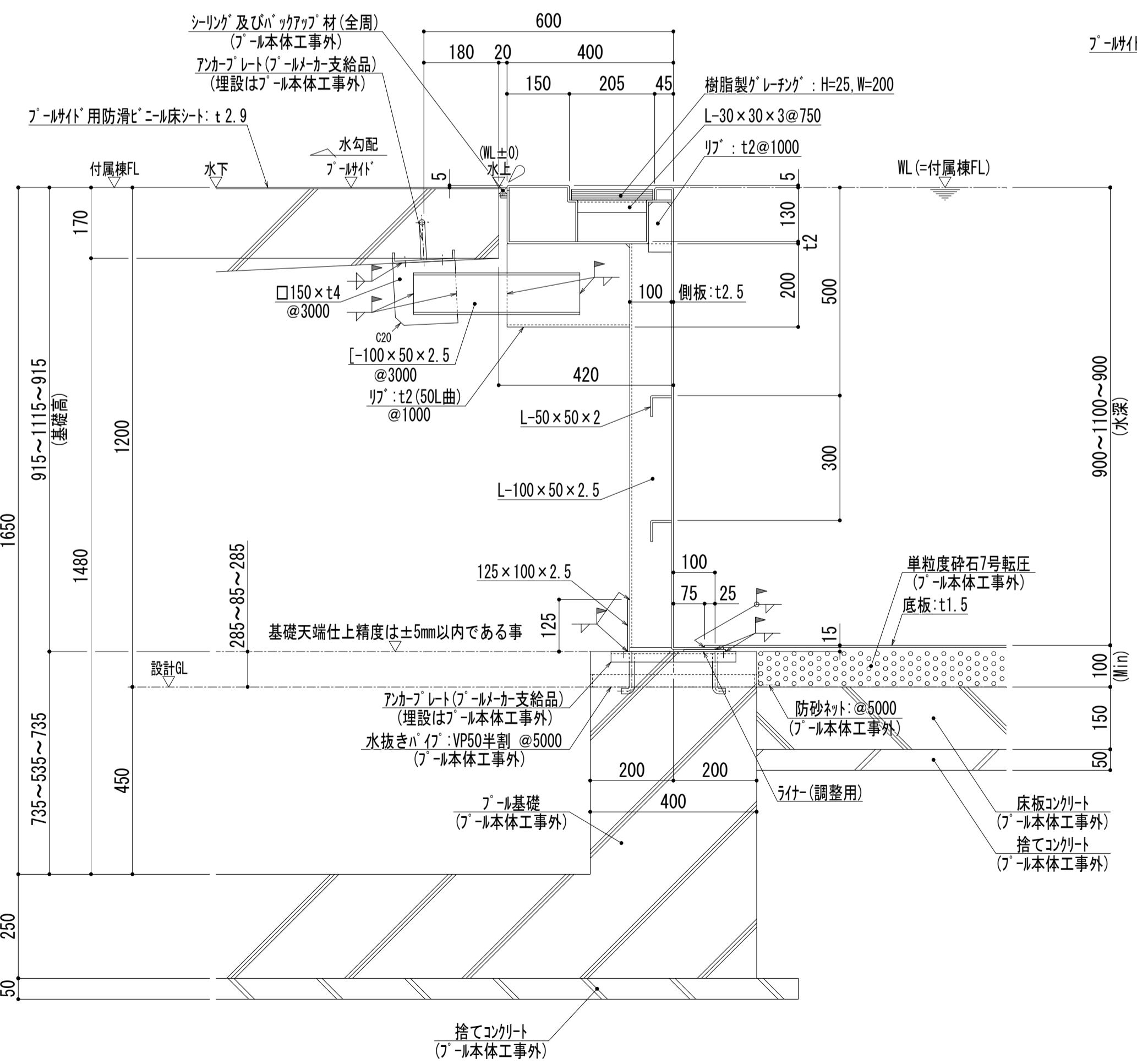
A-A 断面詳細図 S=1:10



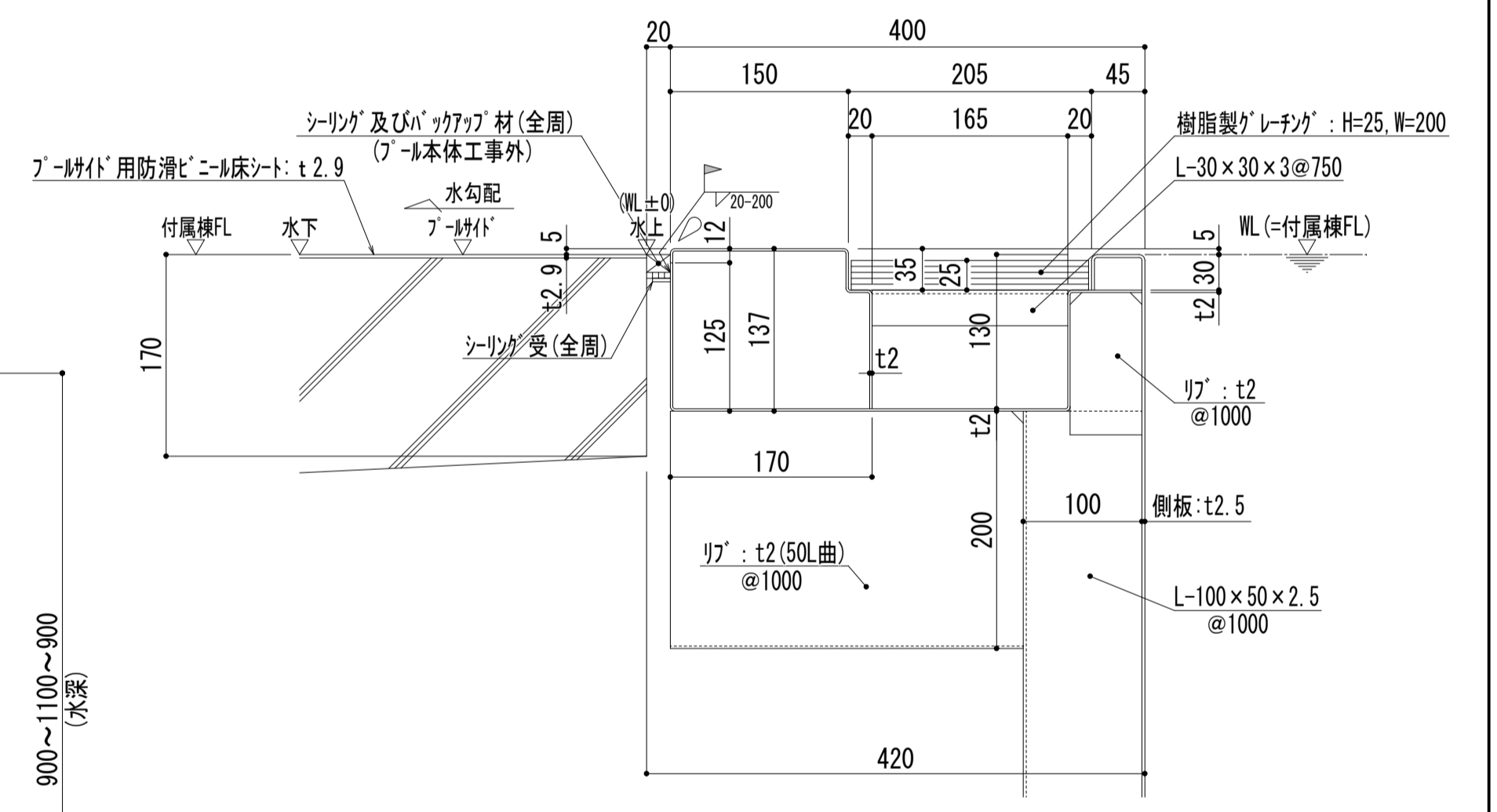
B-B 断面詳細図 S=1:10



A-A 断面詳細図 S=1:10



B-B 断面詳細図 S=1:10

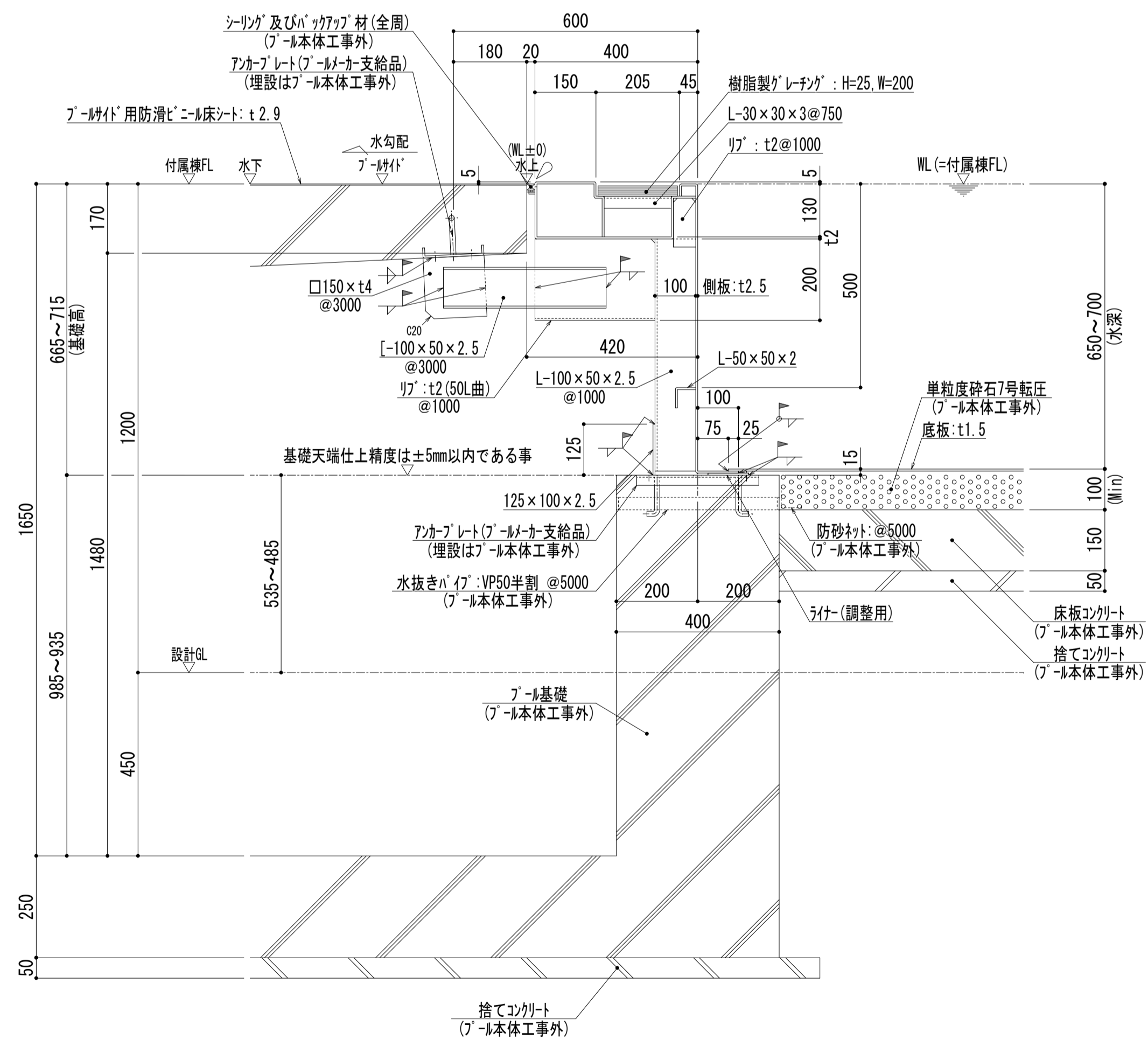
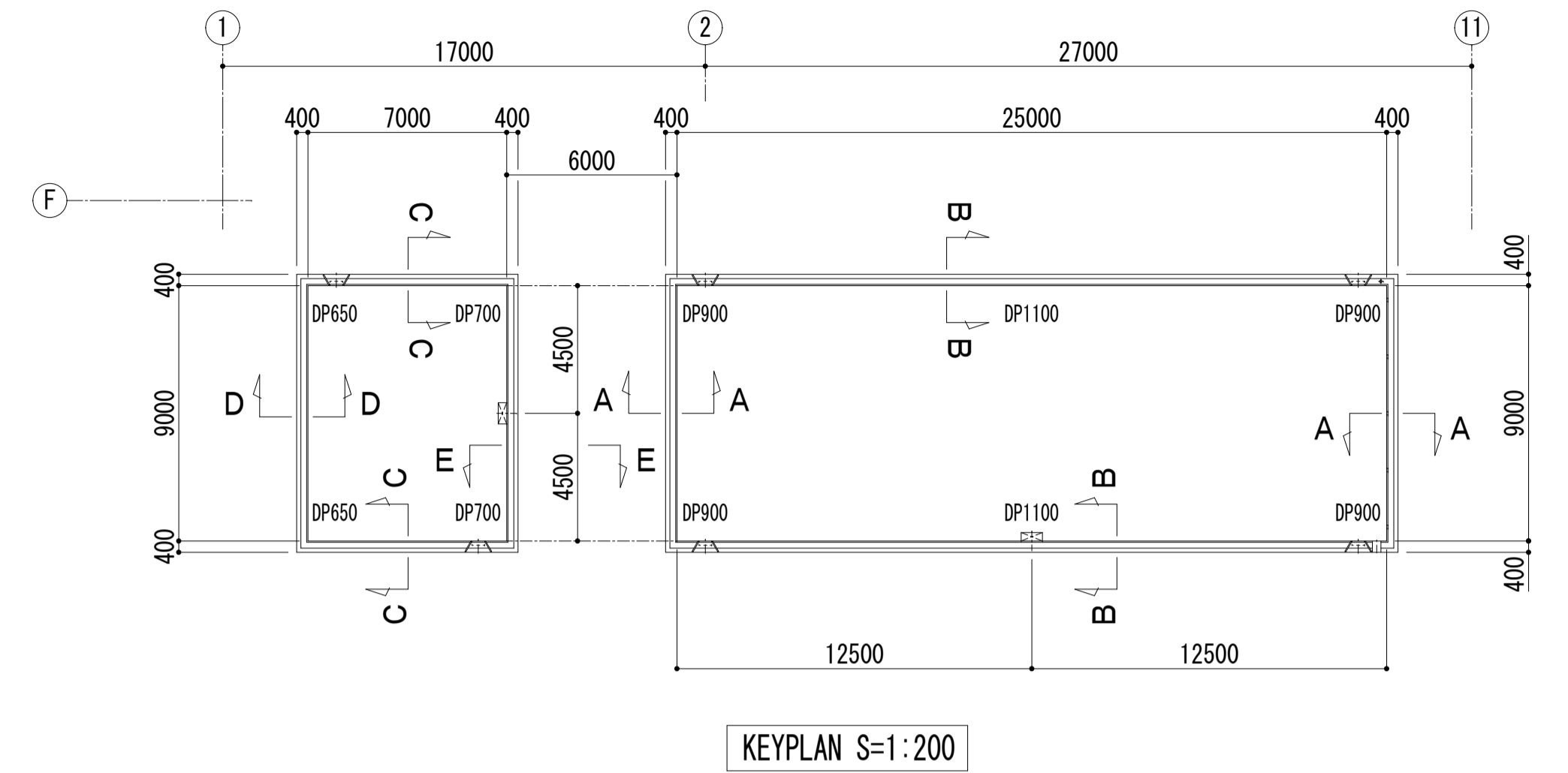
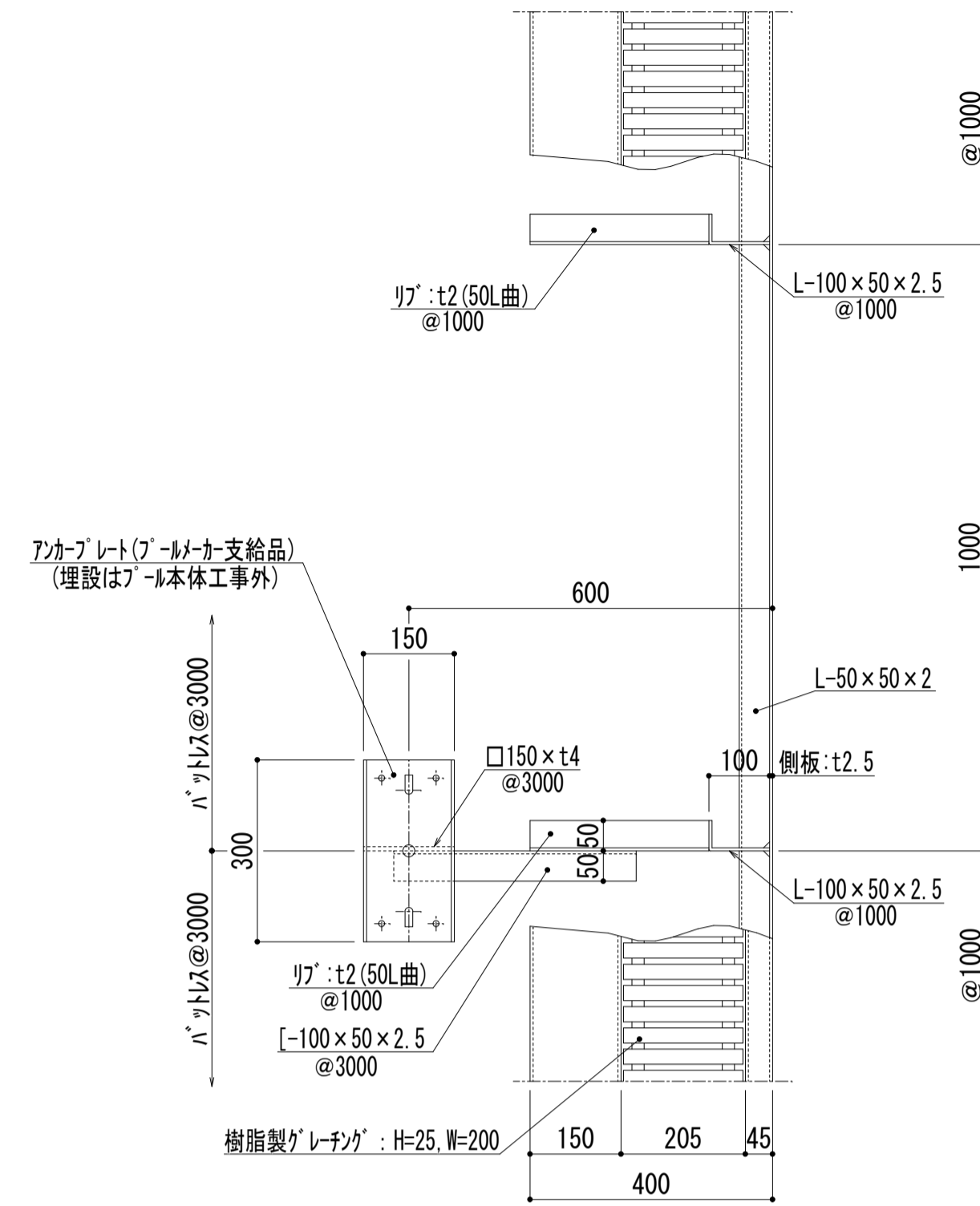
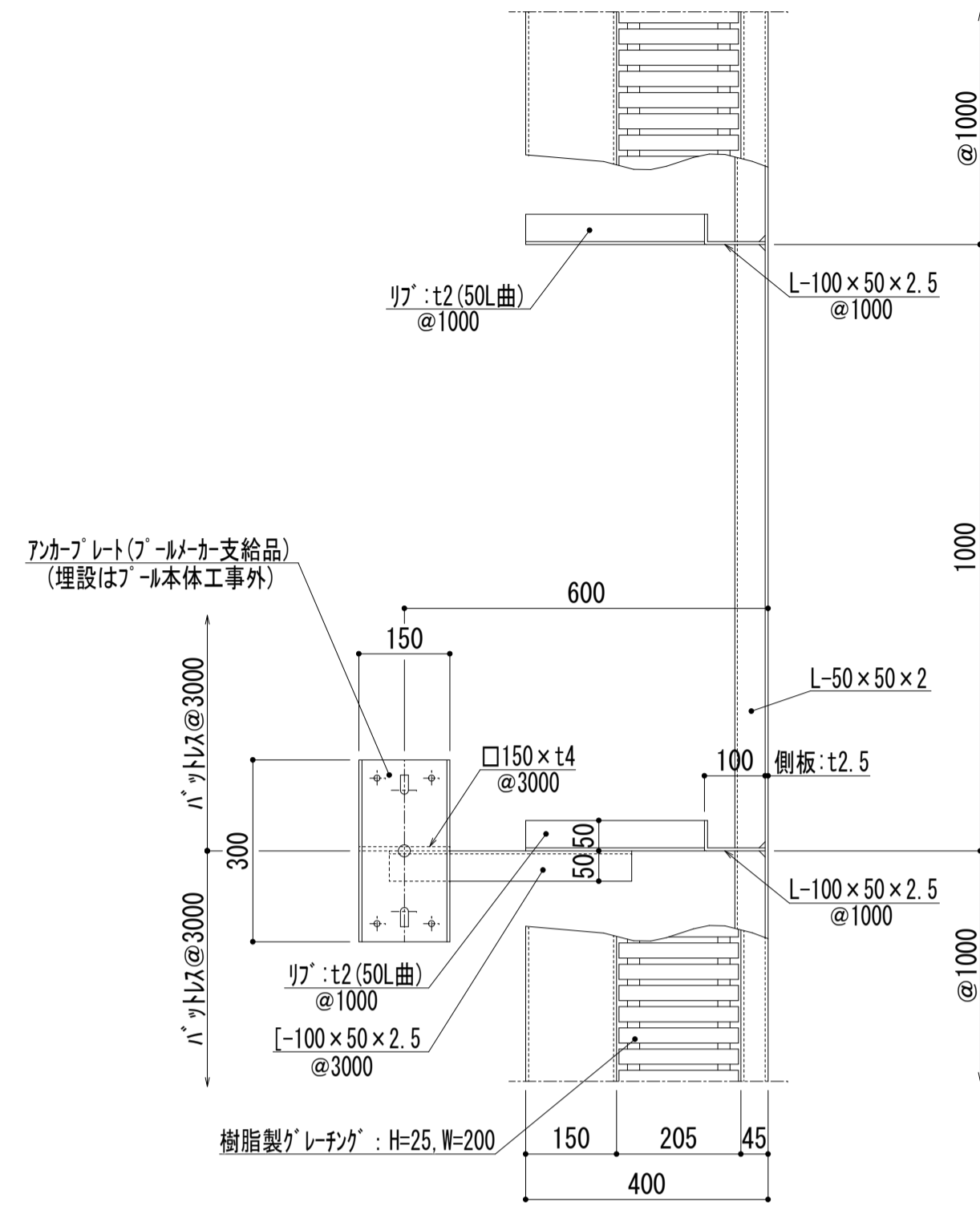


全断面共通図
オーバーフロー部詳細図 S=1:5

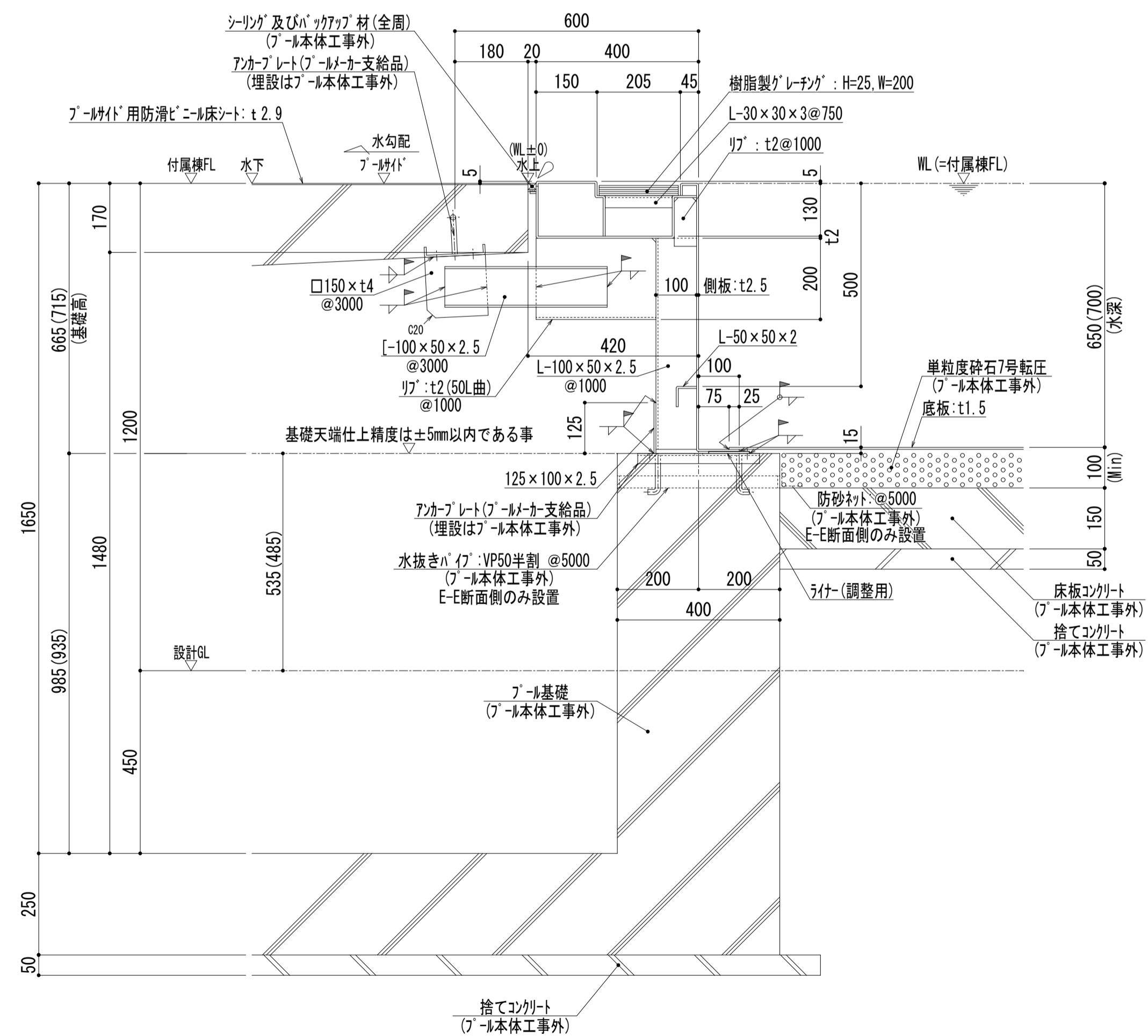
注記: 特記なき材質は、すべてSUS304とする。
注記: プール表面の角は面取り(R1以上)とする。
注記: 印は、シーリング材(建築工事)を示す。

令	和	6	年	度	縮尺
名	称	工	事	名	1/10
図	名	プ	ール	断	面
					1/20

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする



C-C 断面詳細図 S=1:10



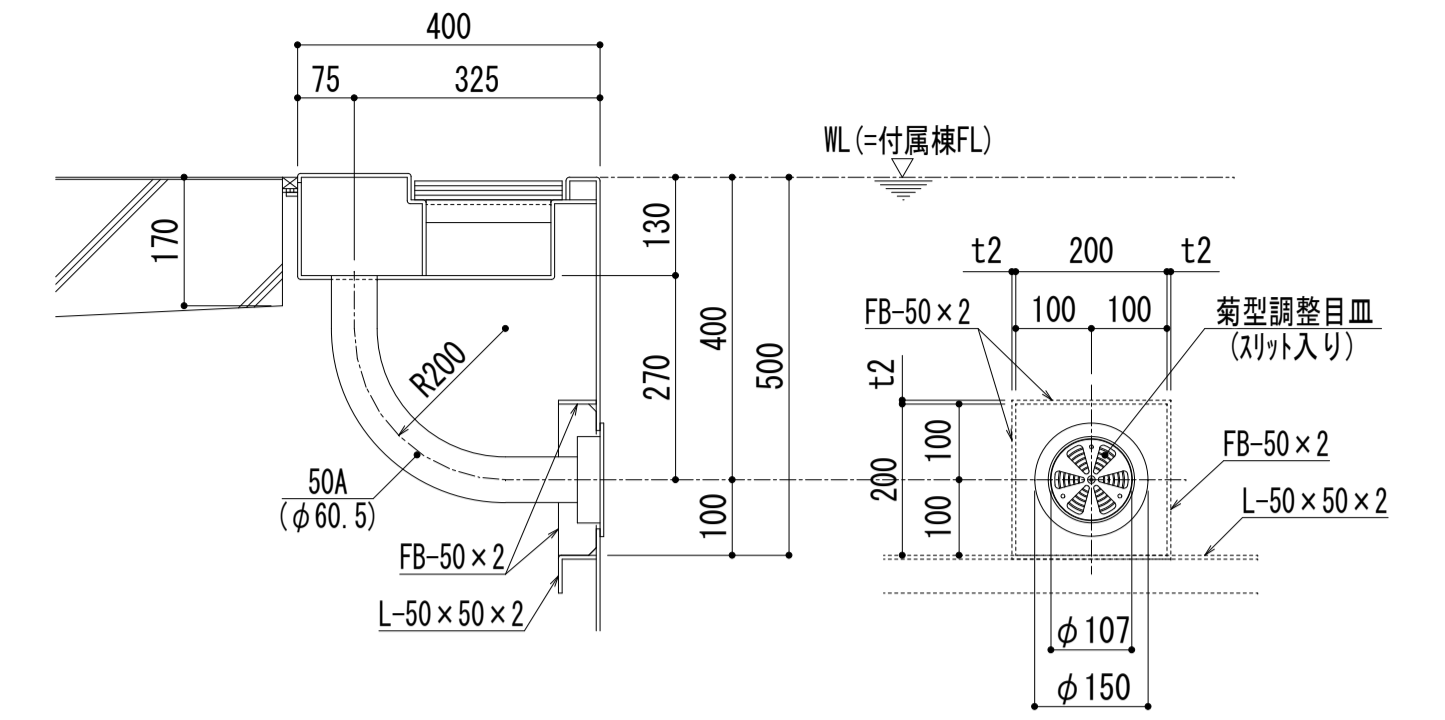
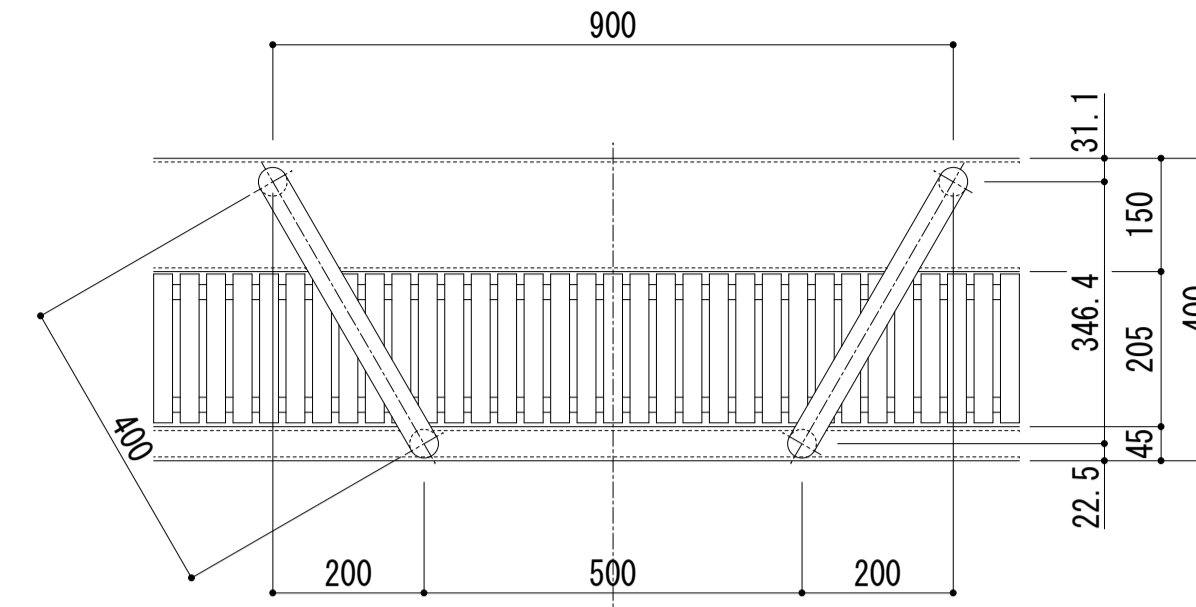
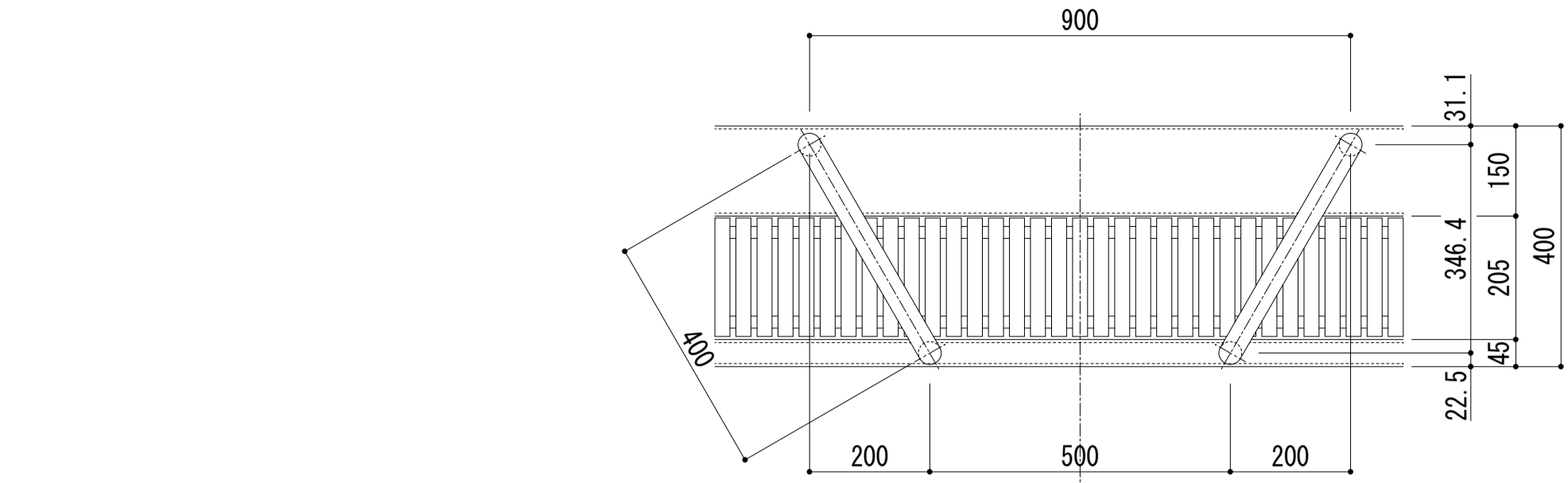
D-D 断面詳細図 S=1:10

() 寸法のもの
E-E 断面詳細図 S=1:10

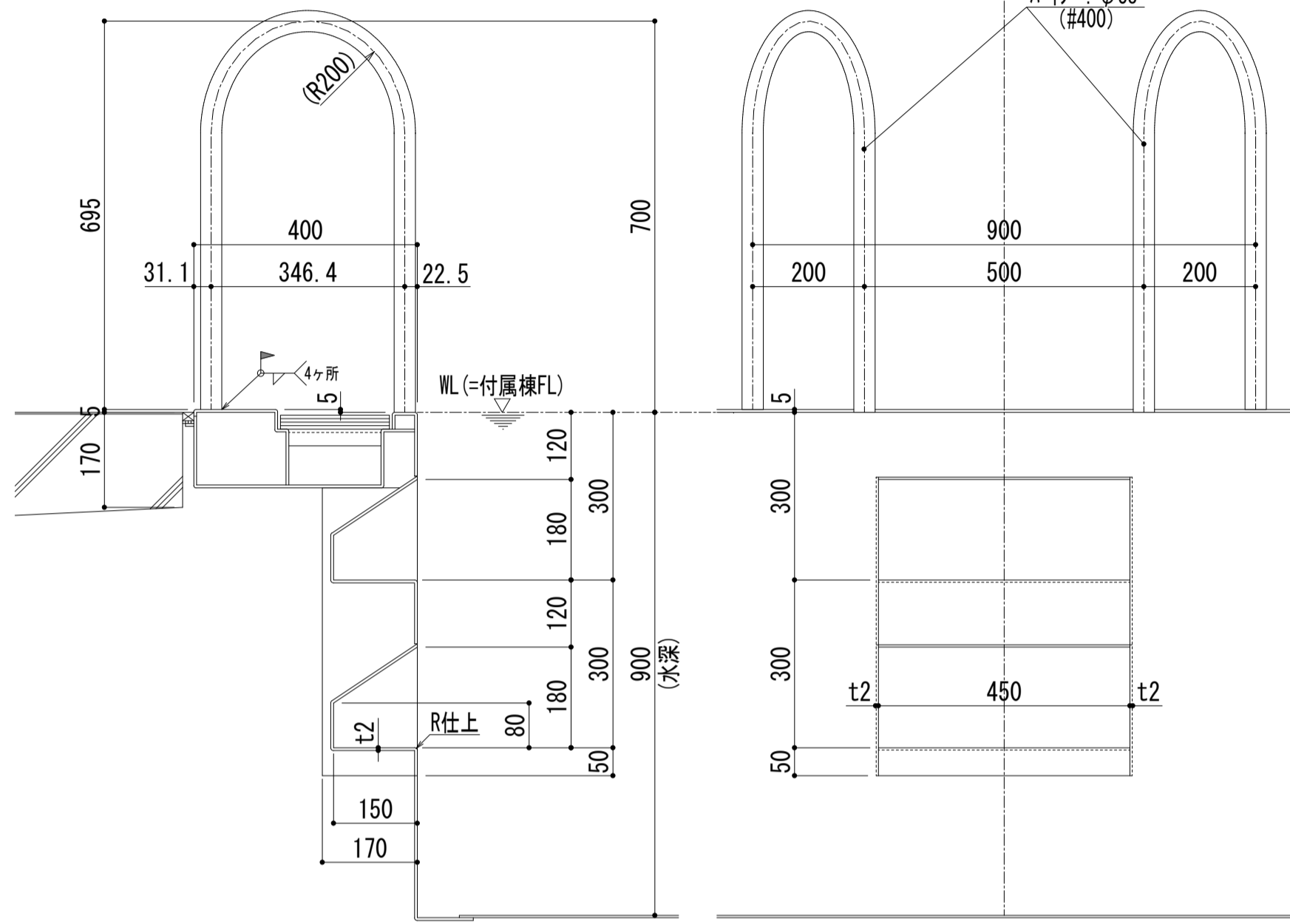
注記：特記なき材質は、すべてSUS304とする。
注記：プール表面の角は面取り(R1以上)とする。
注記：印は、シーリング材(建築工事)を示す。

令和6年度		縮尺	P-04 プール
名称	工事名	1/10	
図名	プール断面詳細図-2	1/20	

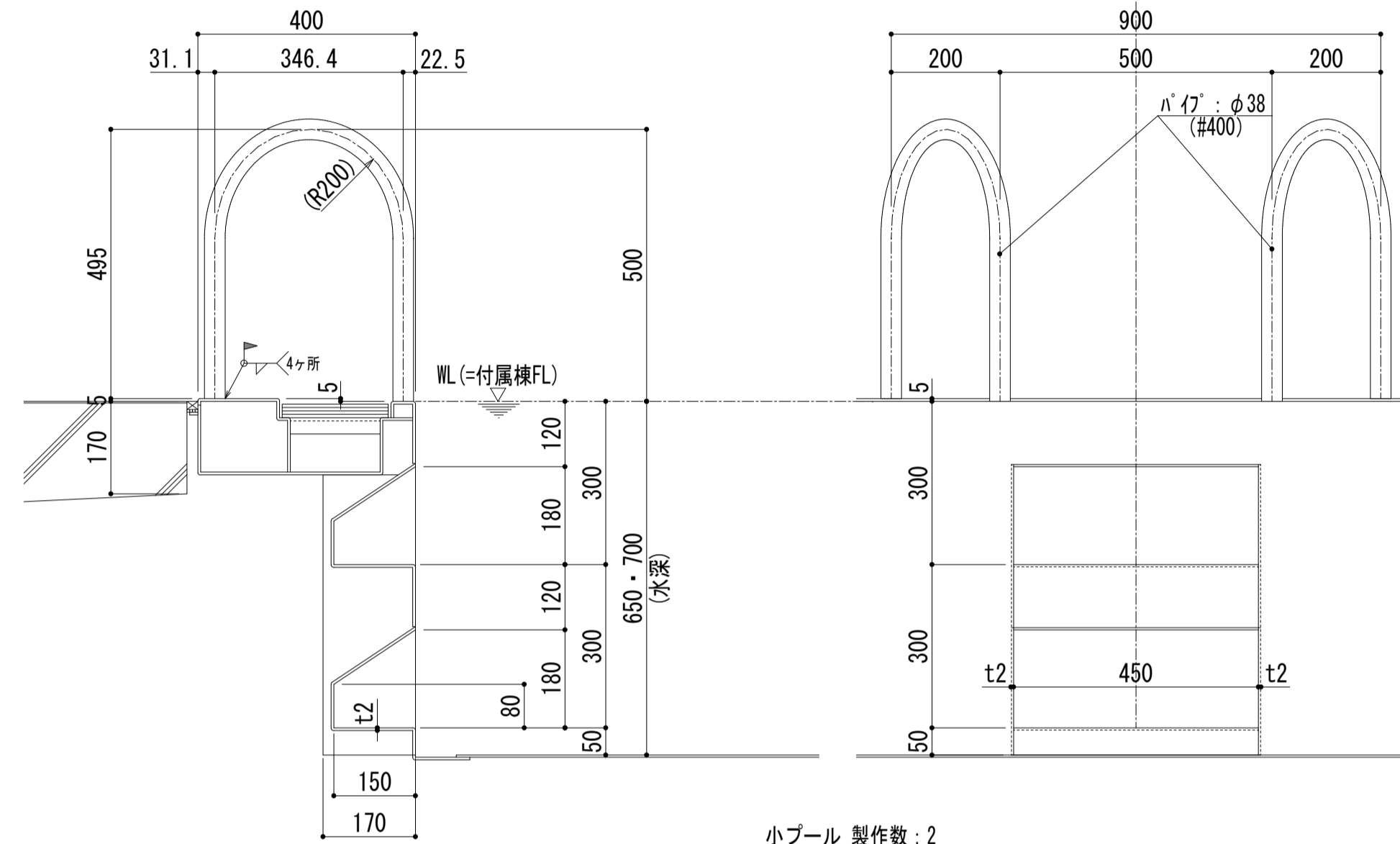
※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする



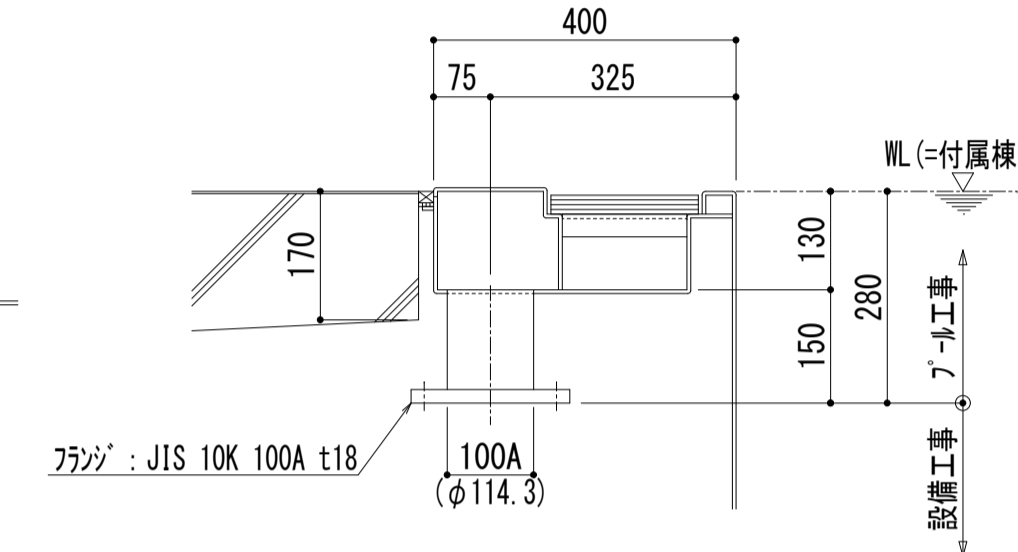
大プール 製作数: 8
小プール 製作数: 4
吐出ノズル詳細図 S=1:10



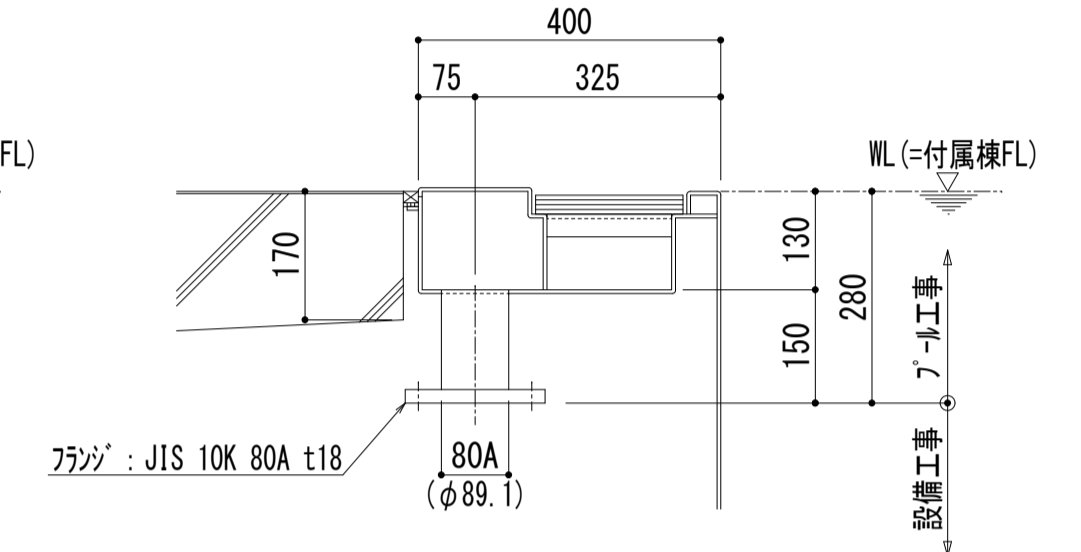
大プール 製作数: 4
入水梯子詳細図 S=1:10



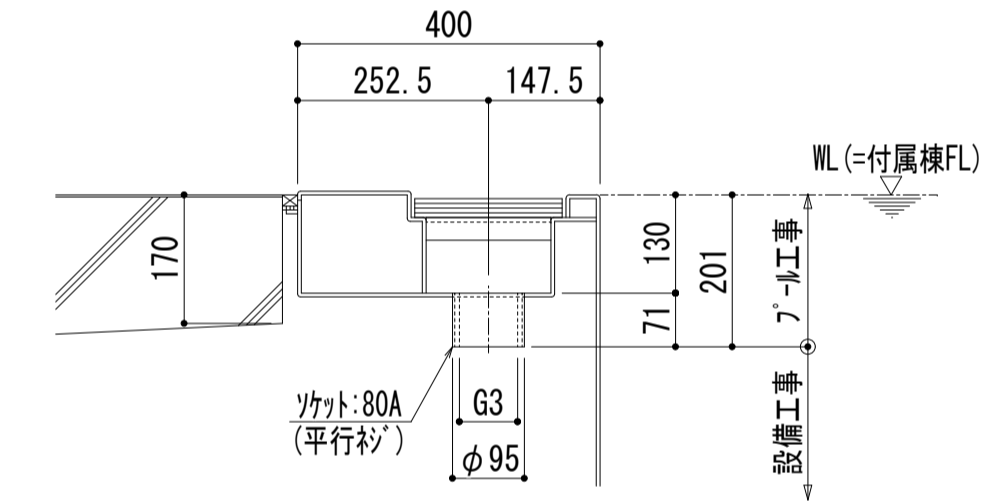
小プール 製作数: 2
入水梯子詳細図 S=1:10



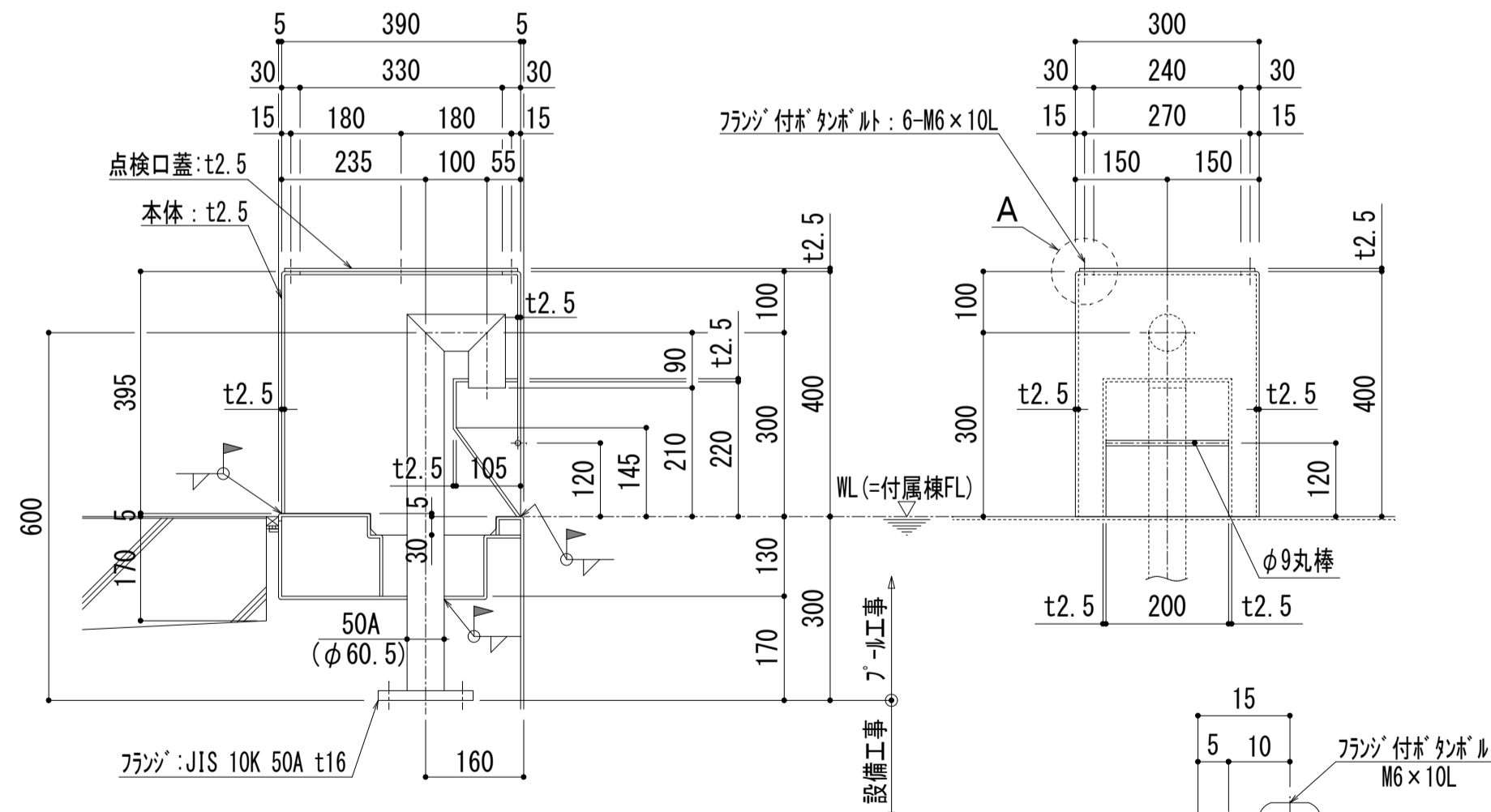
大プール 製作数: 2
循環ろ過給水接続詳細図 S=1:10



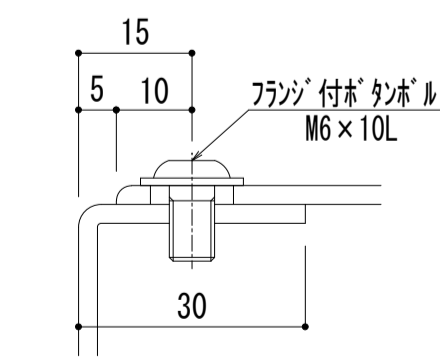
小プール 製作数: 1
循環ろ過給水接続詳細図 S=1:10



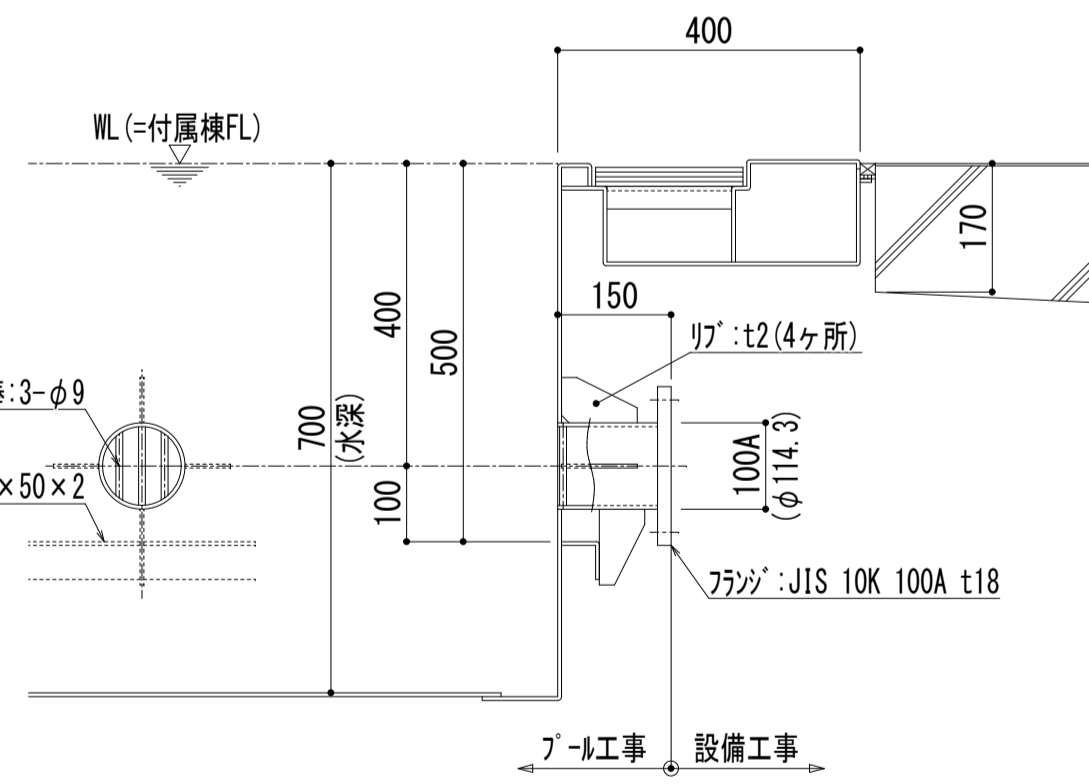
大プール 製作数: 6
小プール 製作数: 4
オーバーフローノズル詳細図 S=1:10



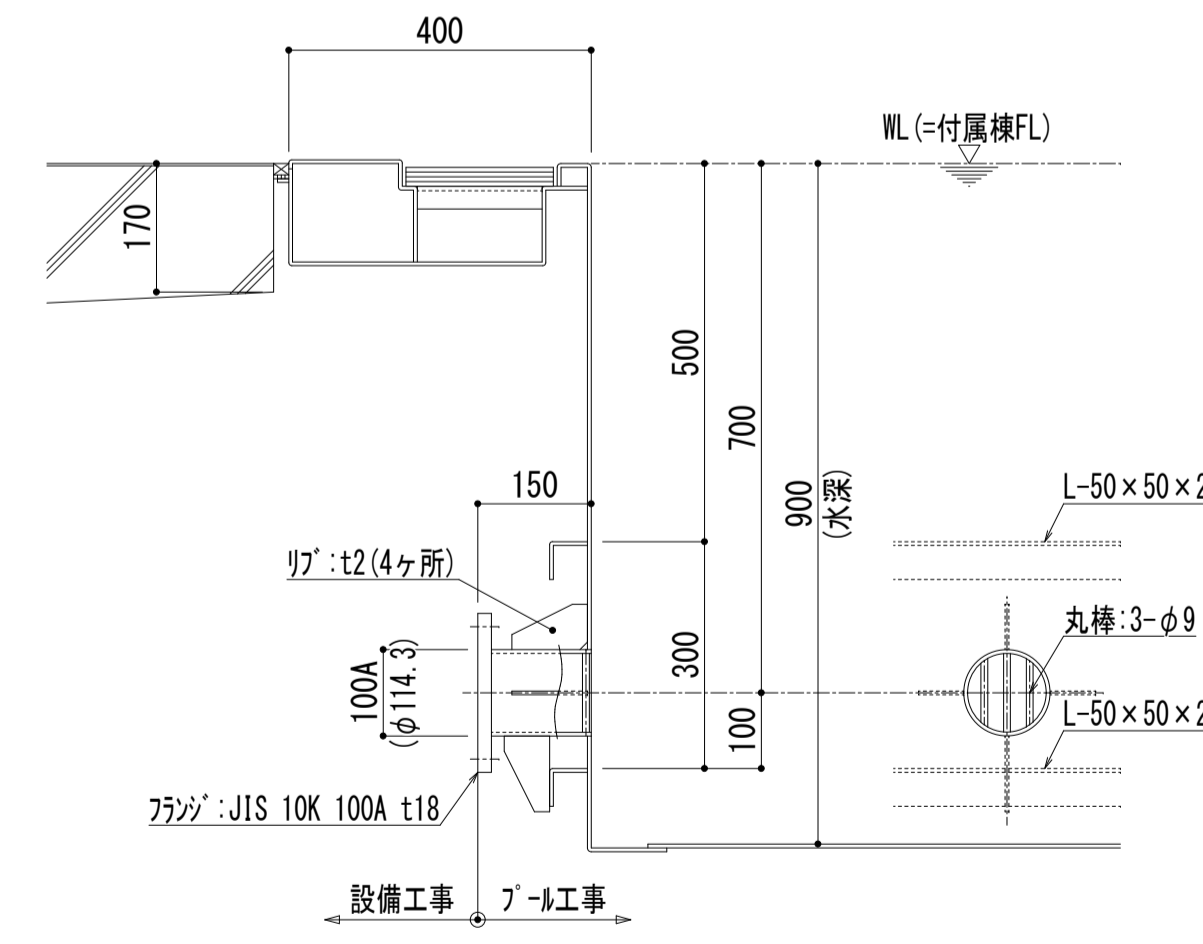
大プール 製作数: 1
小プール 製作数: 1
源水給水ノズルボックス詳細図 S=1:10



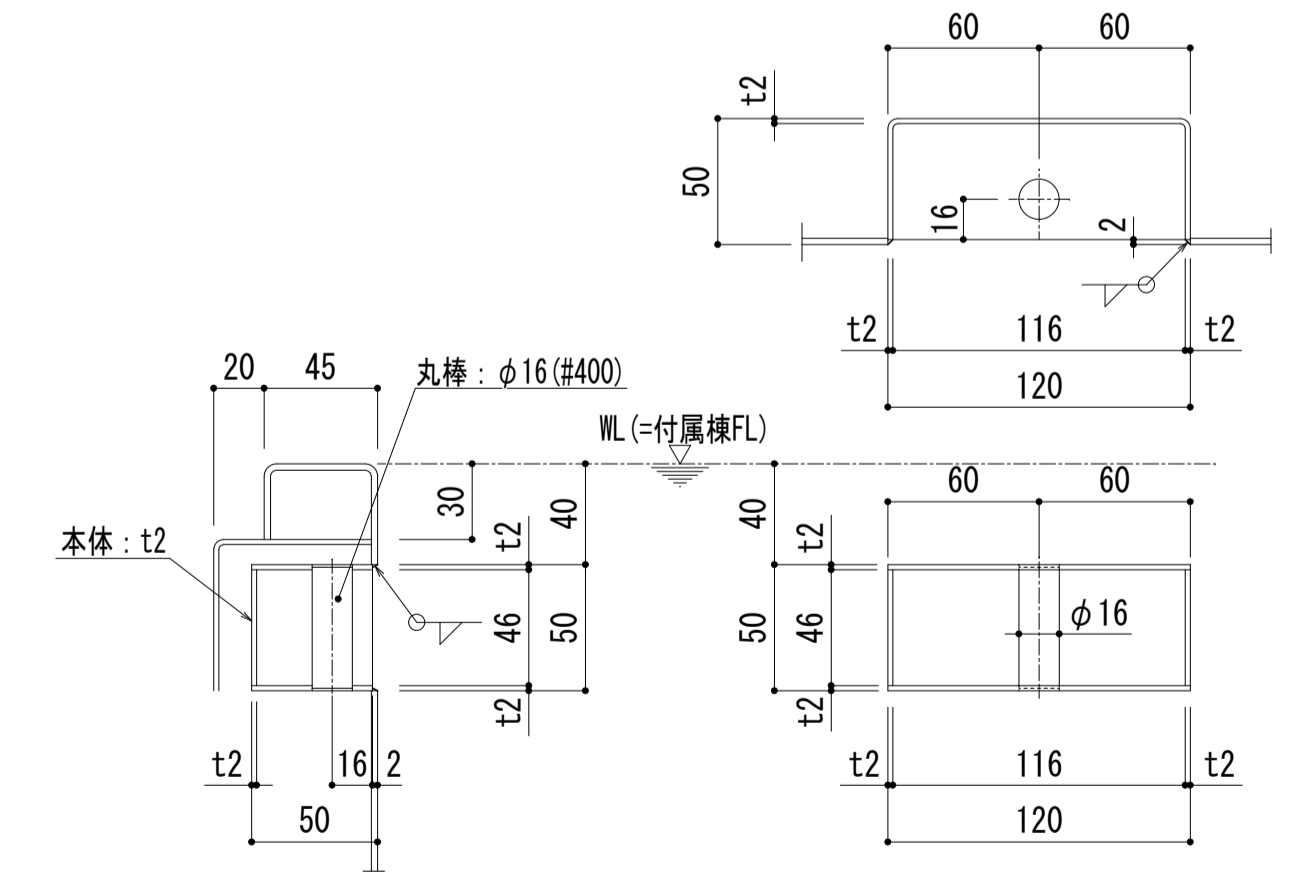
A部 詳細図 S=1:1



小プール 製作数: 1
連通管詳細図 S=1:10



大プール 製作数: 1
連通管詳細図 S=1:10

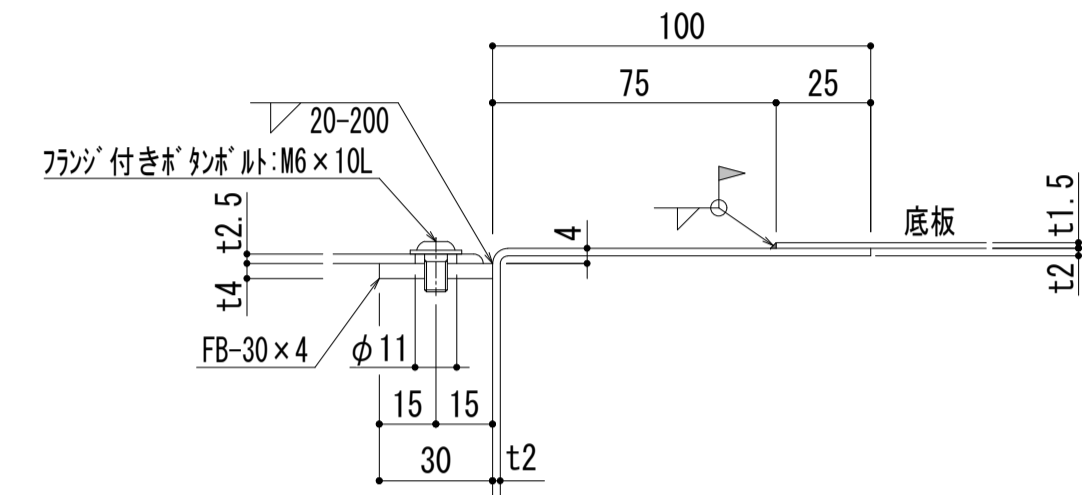


大プール 製作数: 10
コースロープフック詳細図 S=1:3

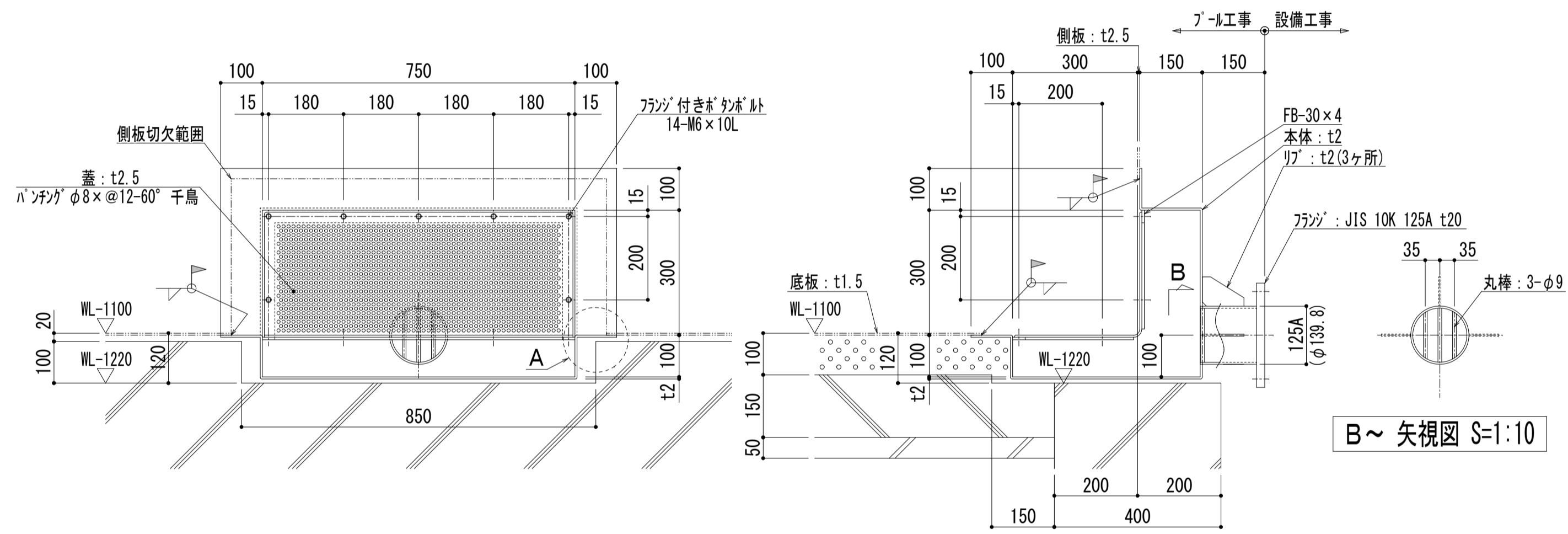
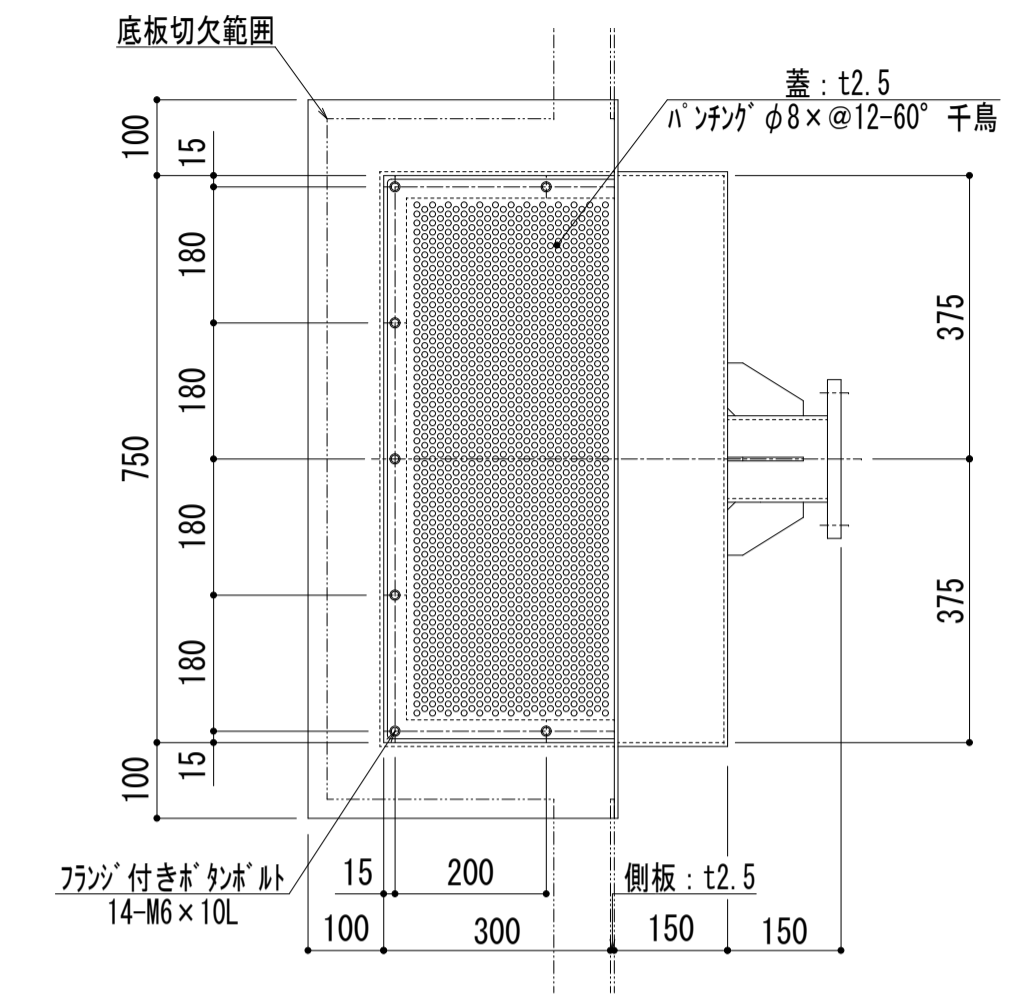
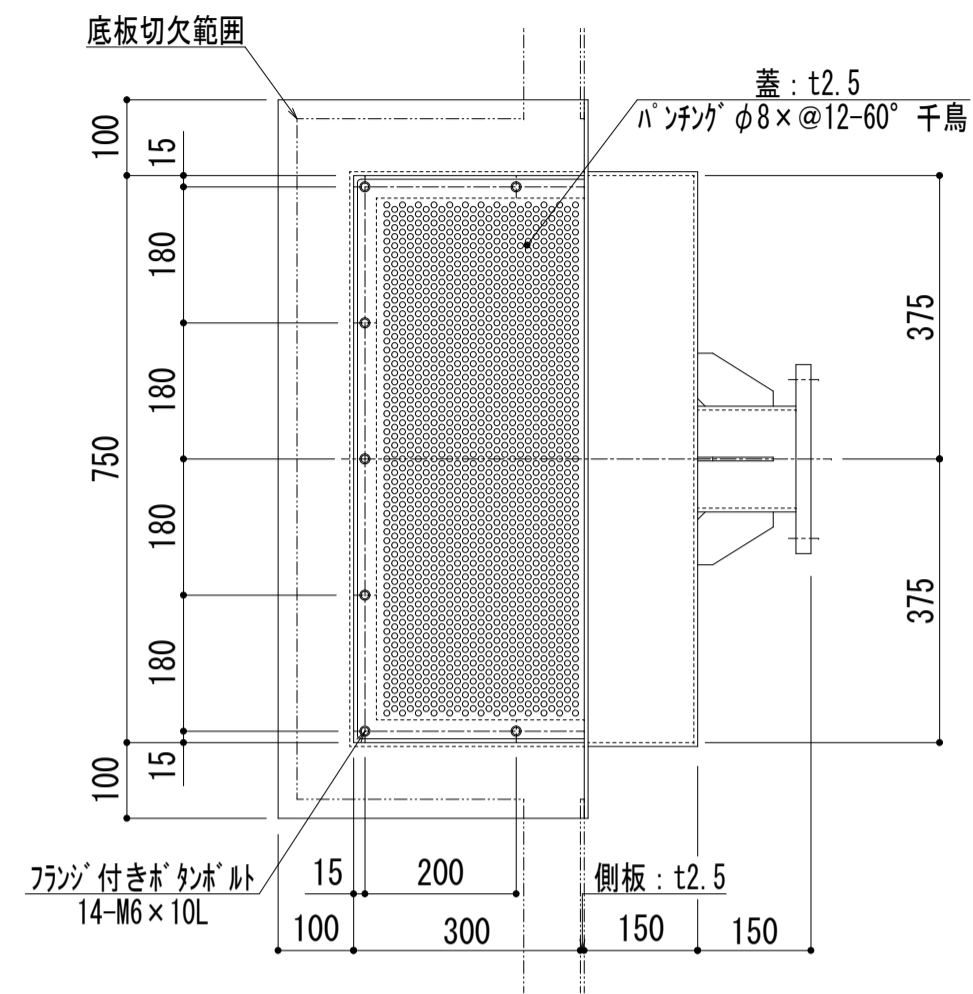
注記: 特記なき材質は、すべてSUS304とする。
注記: プール表面の角は面取り (R1以上) とする。
注記: P印は、シーリング材 (建築工事) を示す。

令和6年度	縮尺	
名称工事名	1/10	P-05
図名	1/20	プール

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする

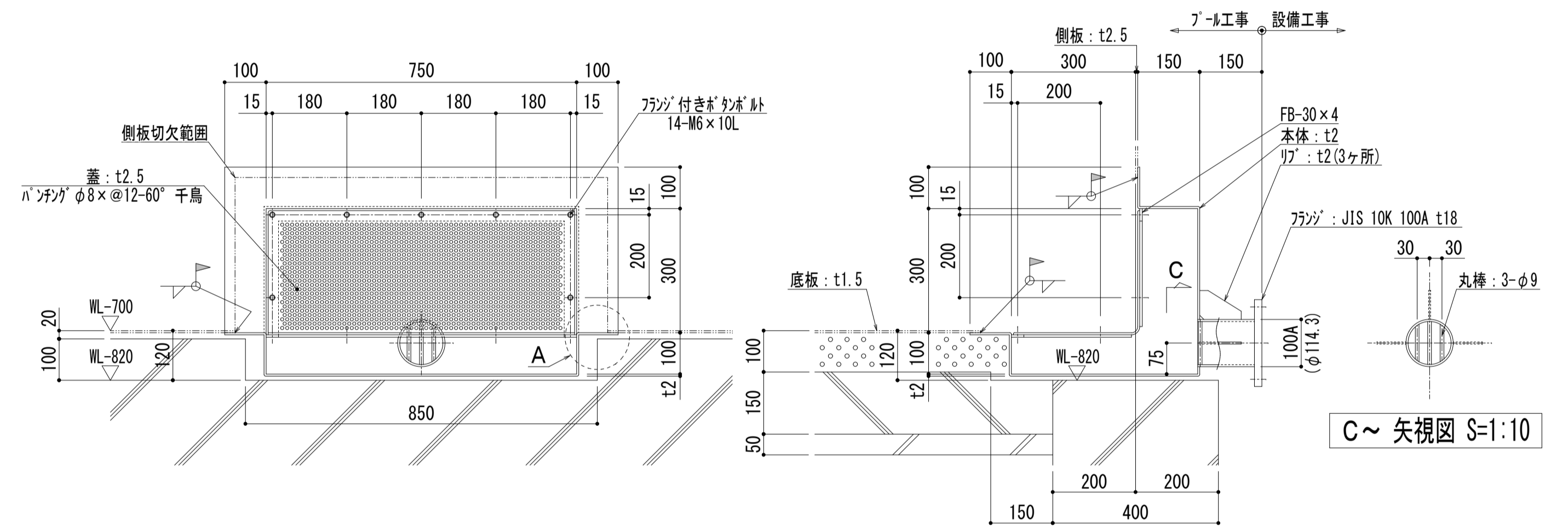


A部 詳細図 S=1:2



B~ 矢視図 S=1:10

大プール 製作数: 1
ろ過吸込兼排水ピット詳細図 S=1:10



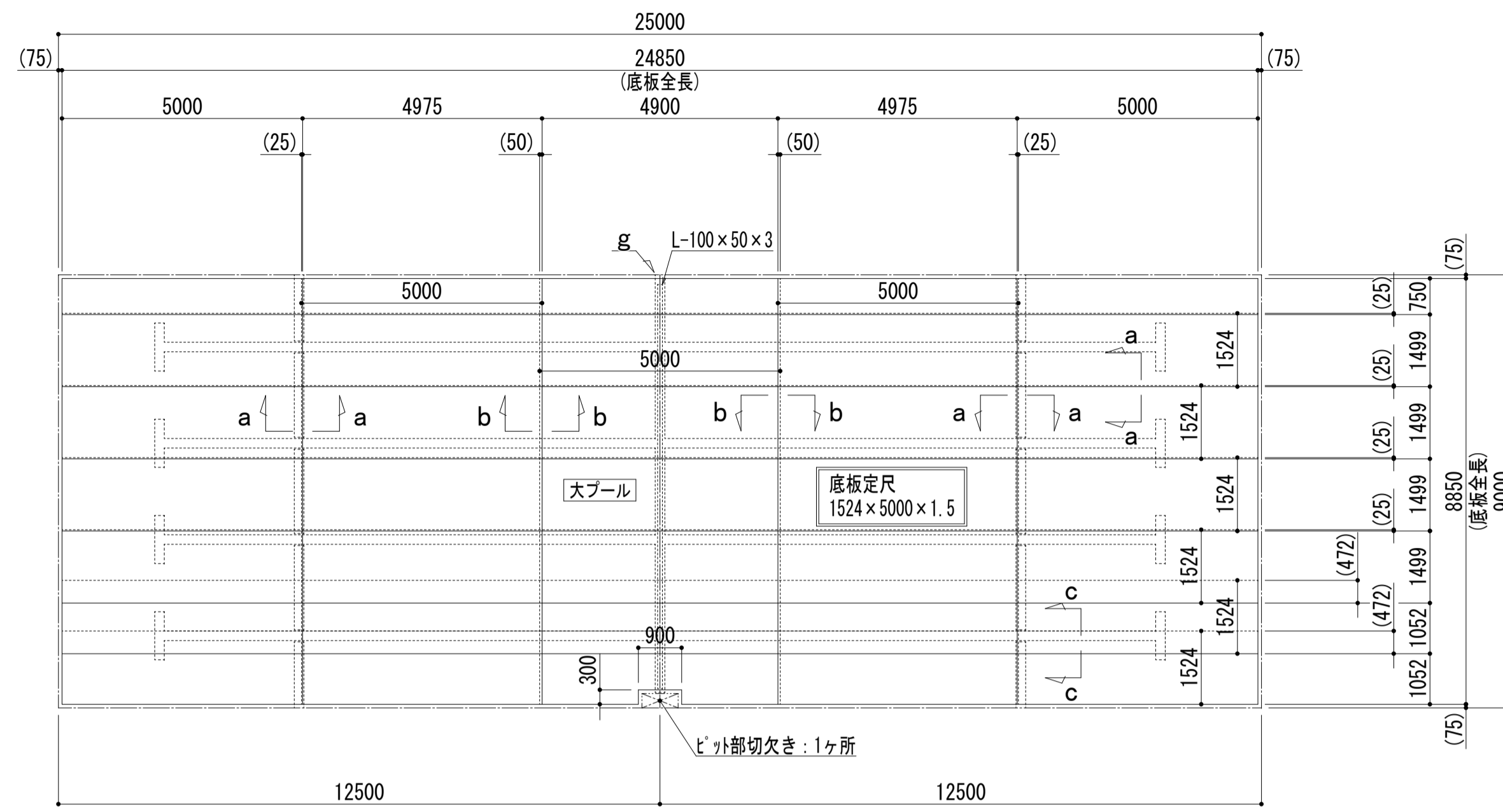
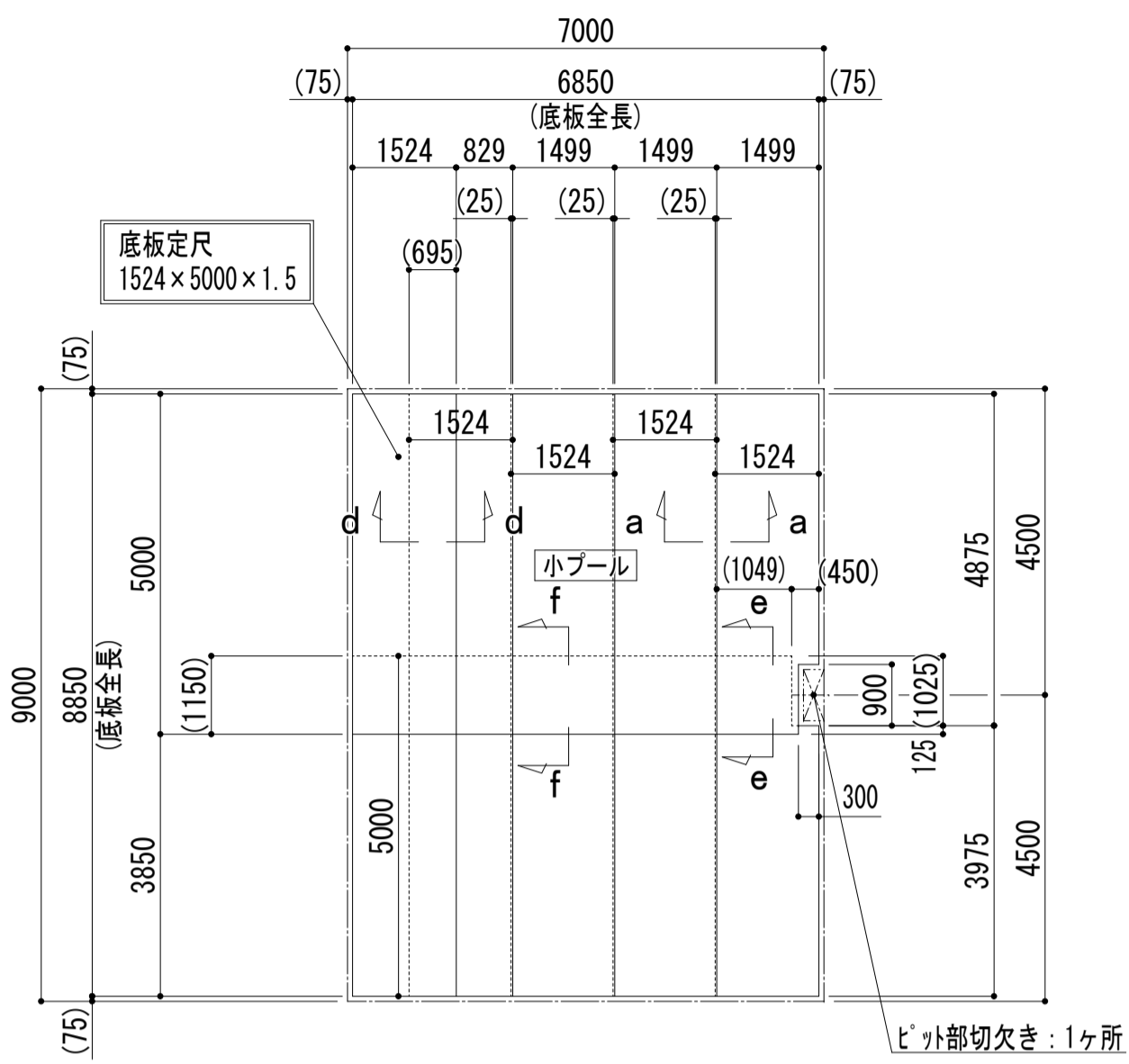
C~ 矢視図 S=1:10

小プール 製作数: 1
ろ過吸込兼排水ピット詳細図 S=1:10

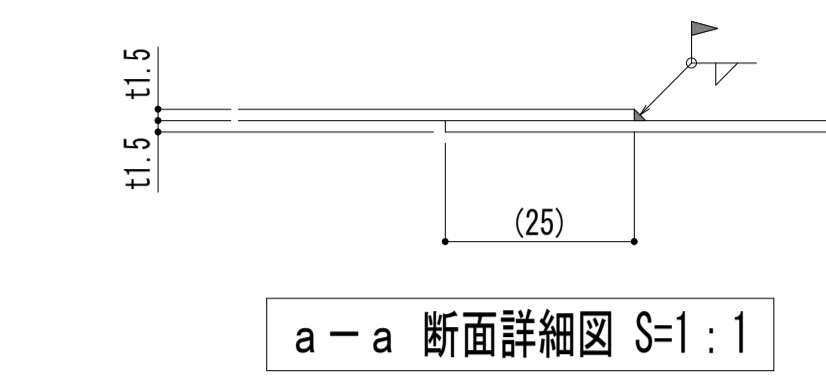
注記: 特記なき材質は、すべてSUS304とする。
注記: プール表面の角は面取り (R1以上)とする。
注記: 印は、シーリング材 (建築工事)を示す。

令和6年度		縮尺	P-06 プール
名称工事名	掘西東小学校屋外プール整備工事	1/10	
図名	プール部品詳細図-2	1/20	

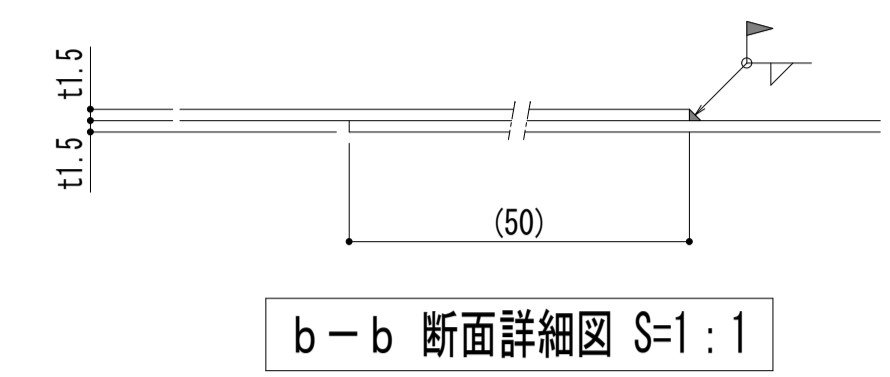
※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする



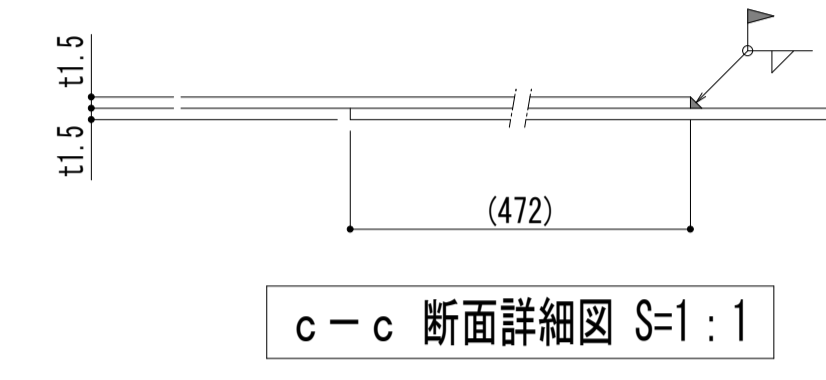
プール 底板割付図 S=1:100



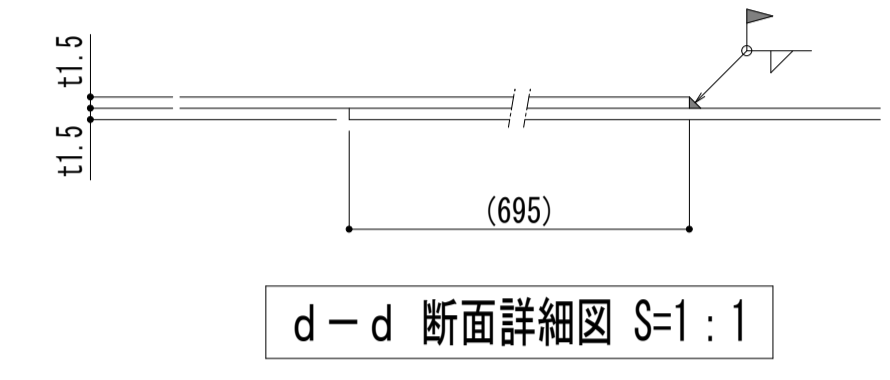
a-a 断面詳細図 S=1:1



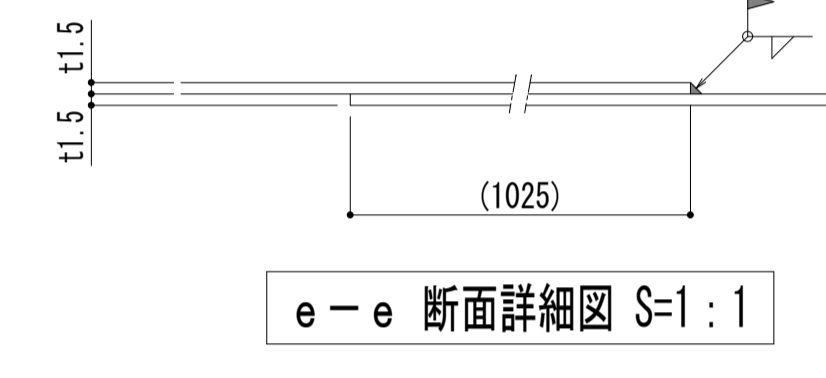
b-b 断面詳細図 S=1:1



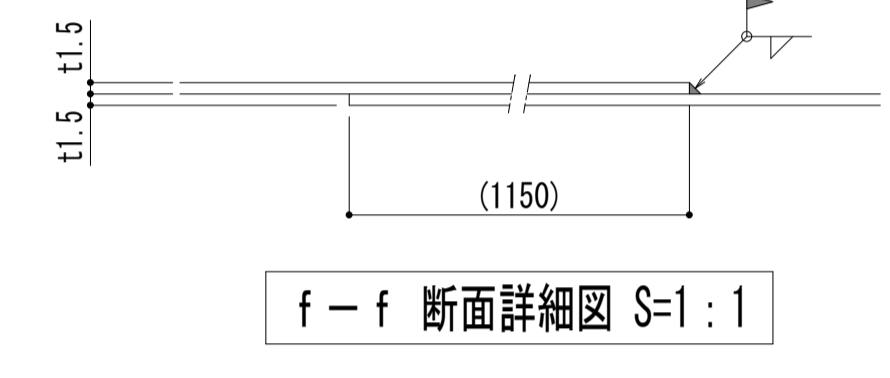
c-c 断面詳細図 S=1:1



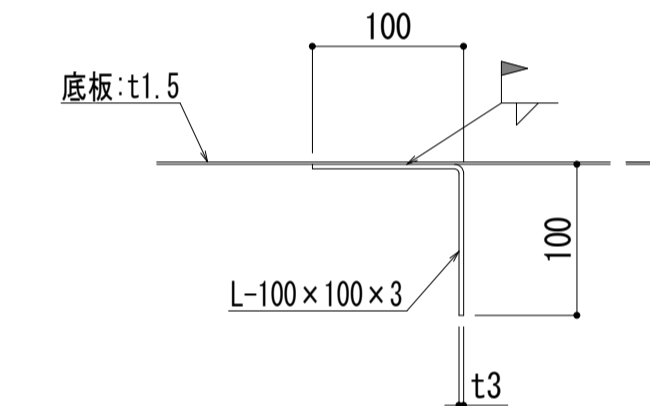
d-d 断面詳細図 S=1:1



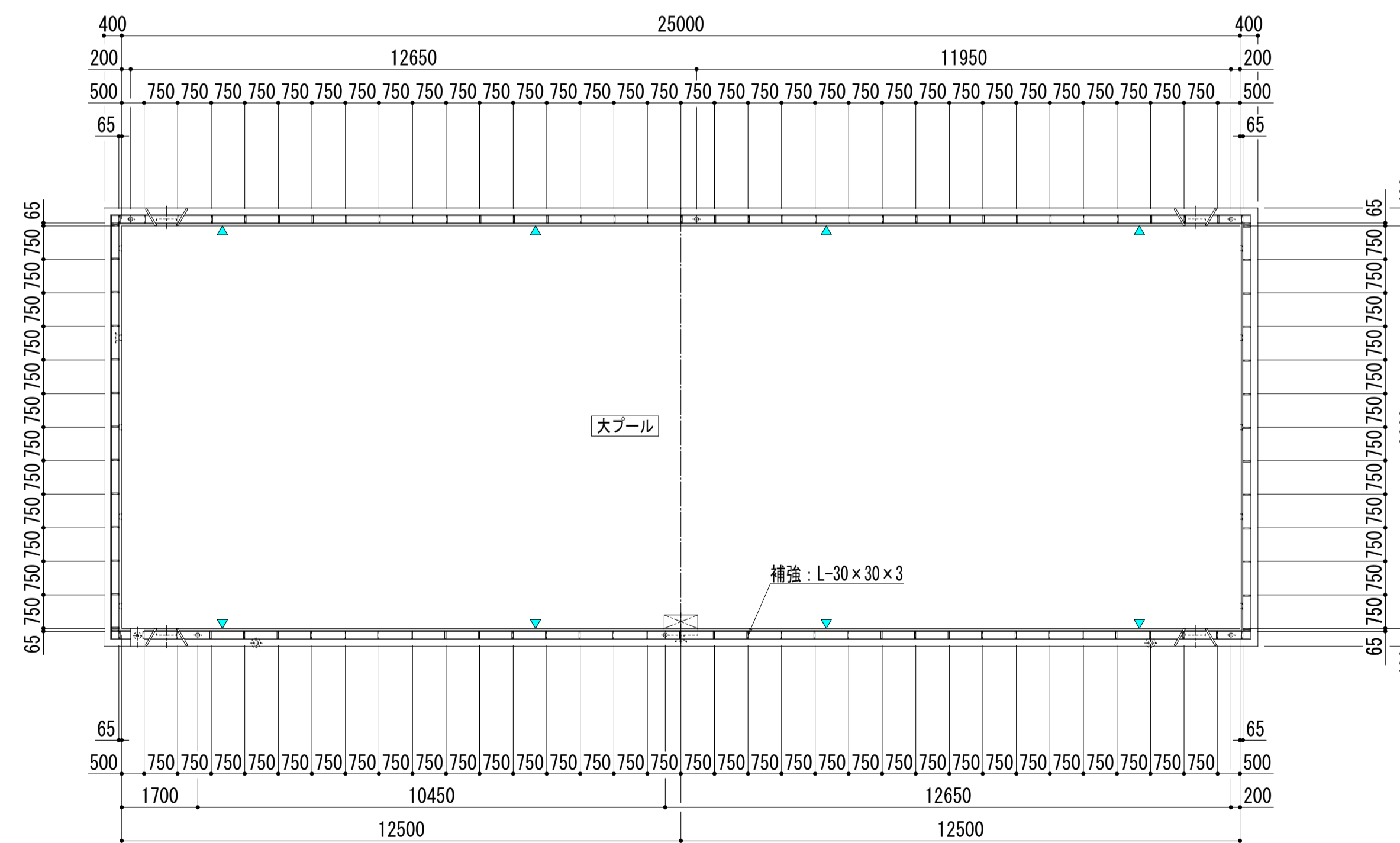
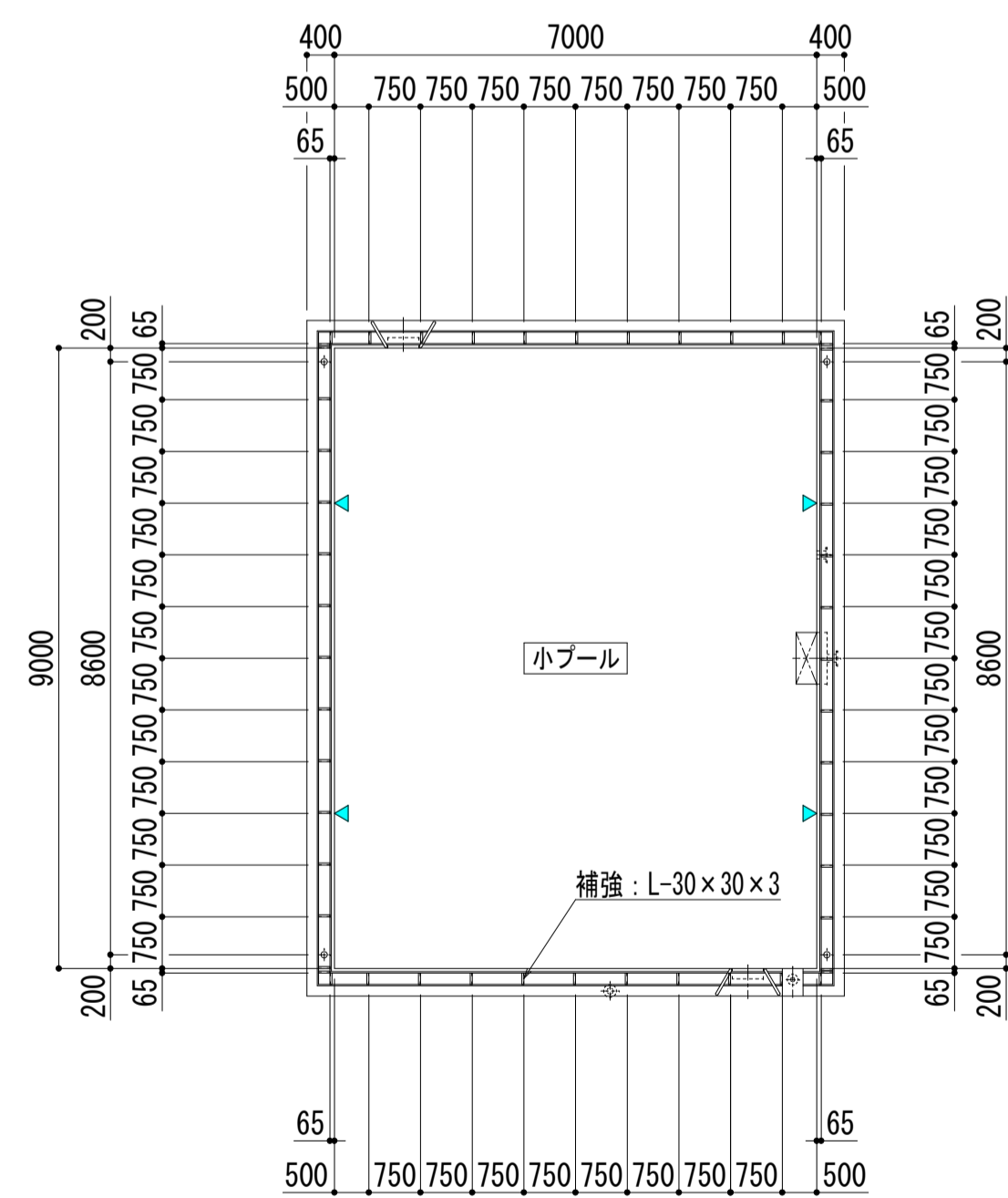
e-e 断面詳細図 S=1:1



f-f 断面詳細図 S=1:1



g 部補強詳細図 S=1:5

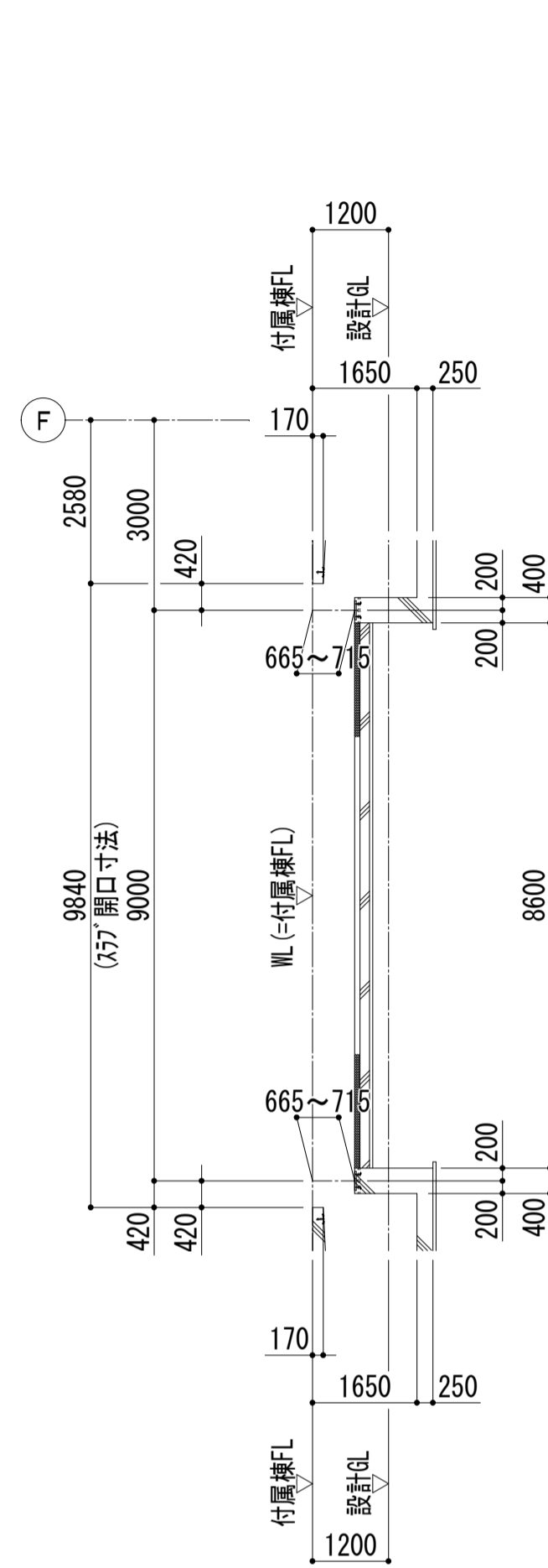


プール オーバーフロー溝補強配置図 S=1:100

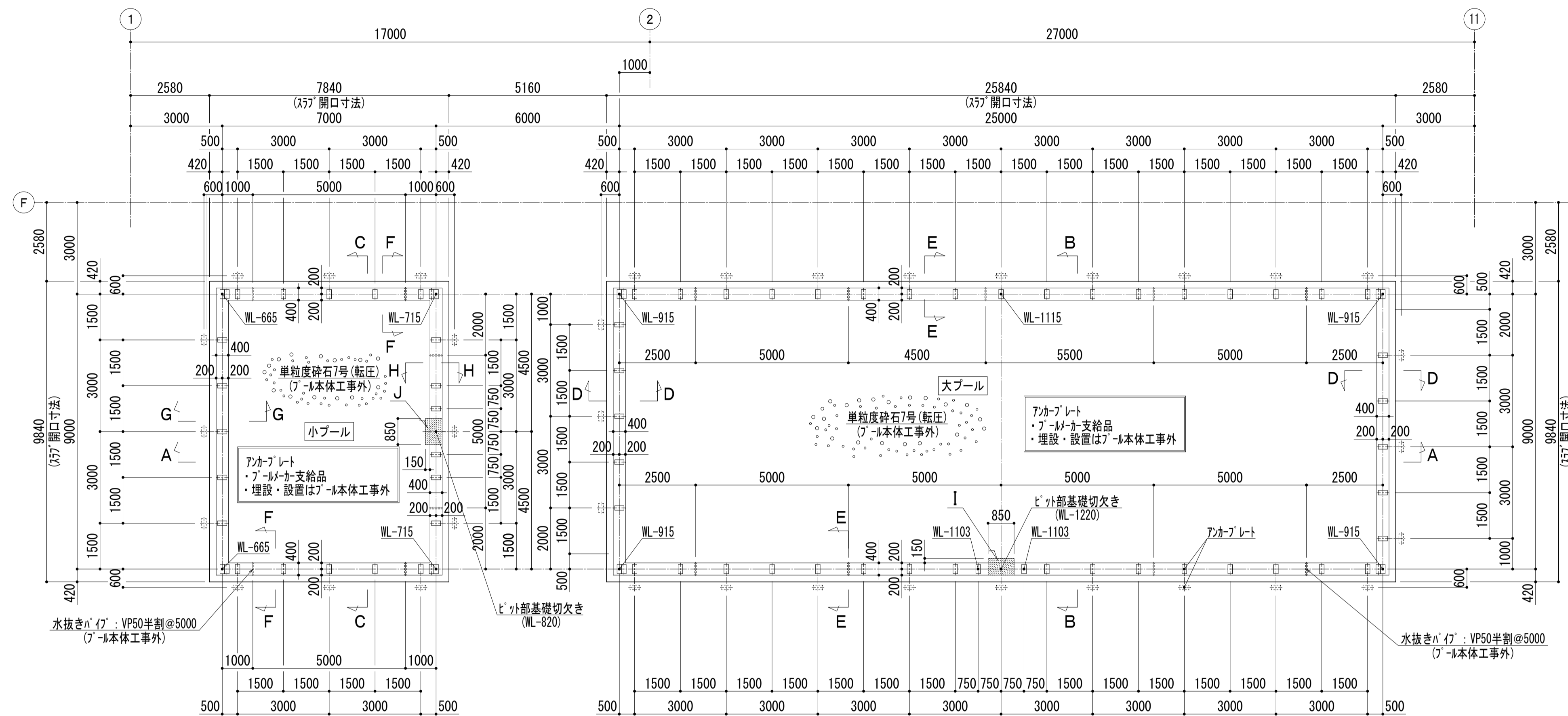
注記: 特記なき材質は、すべてSUS304とする。
注記: プール表面の角は面取り (R1以上)とする。
注記: 印は、シーリング材 (建築工事)を示す。

令和6年度			縮尺	P-07 プール
名称工事名	掘西東小学校屋外プール整備工事	1/100		
図名	プール底板割付図・オーバーフロー溝補強配置図	1/200		

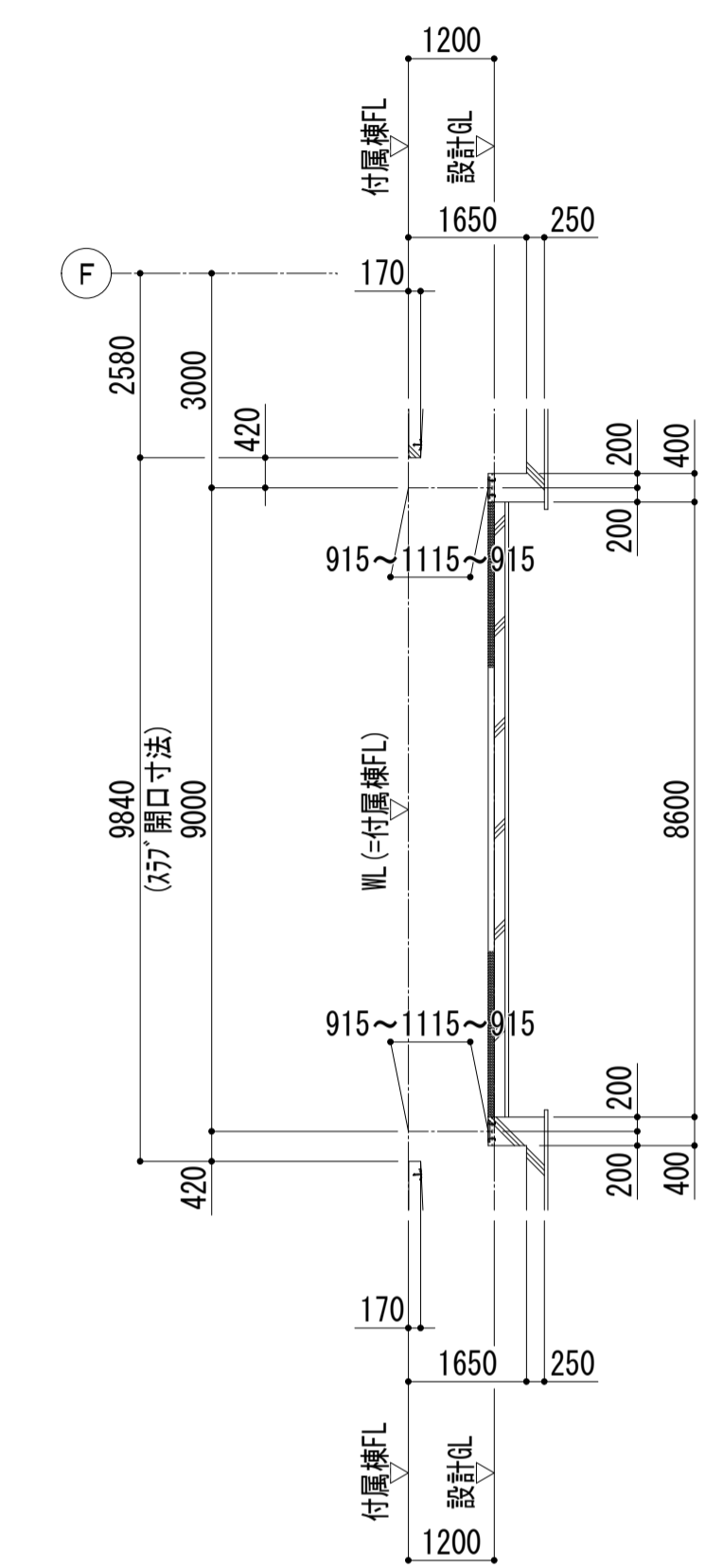
※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする



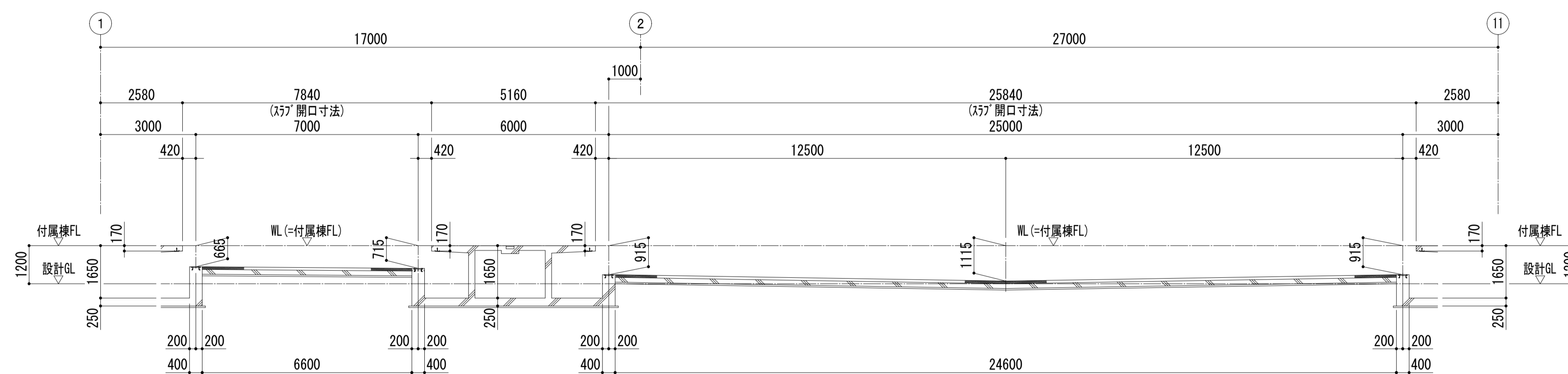
C-C 断面図 S=1:100



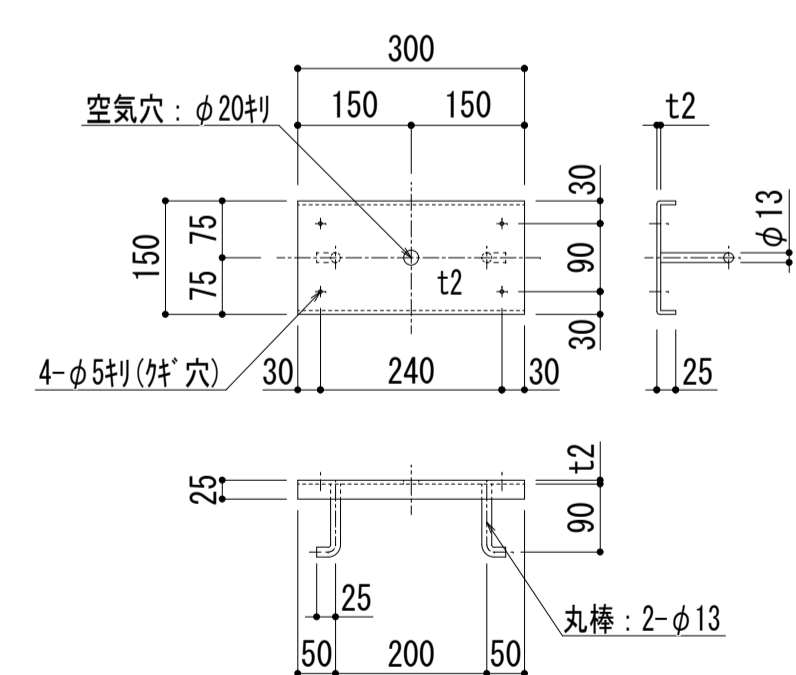
プール 基礎伏図 S=1:100



B-B 断面図 S=1:100



A-A 断面図 S=1:100

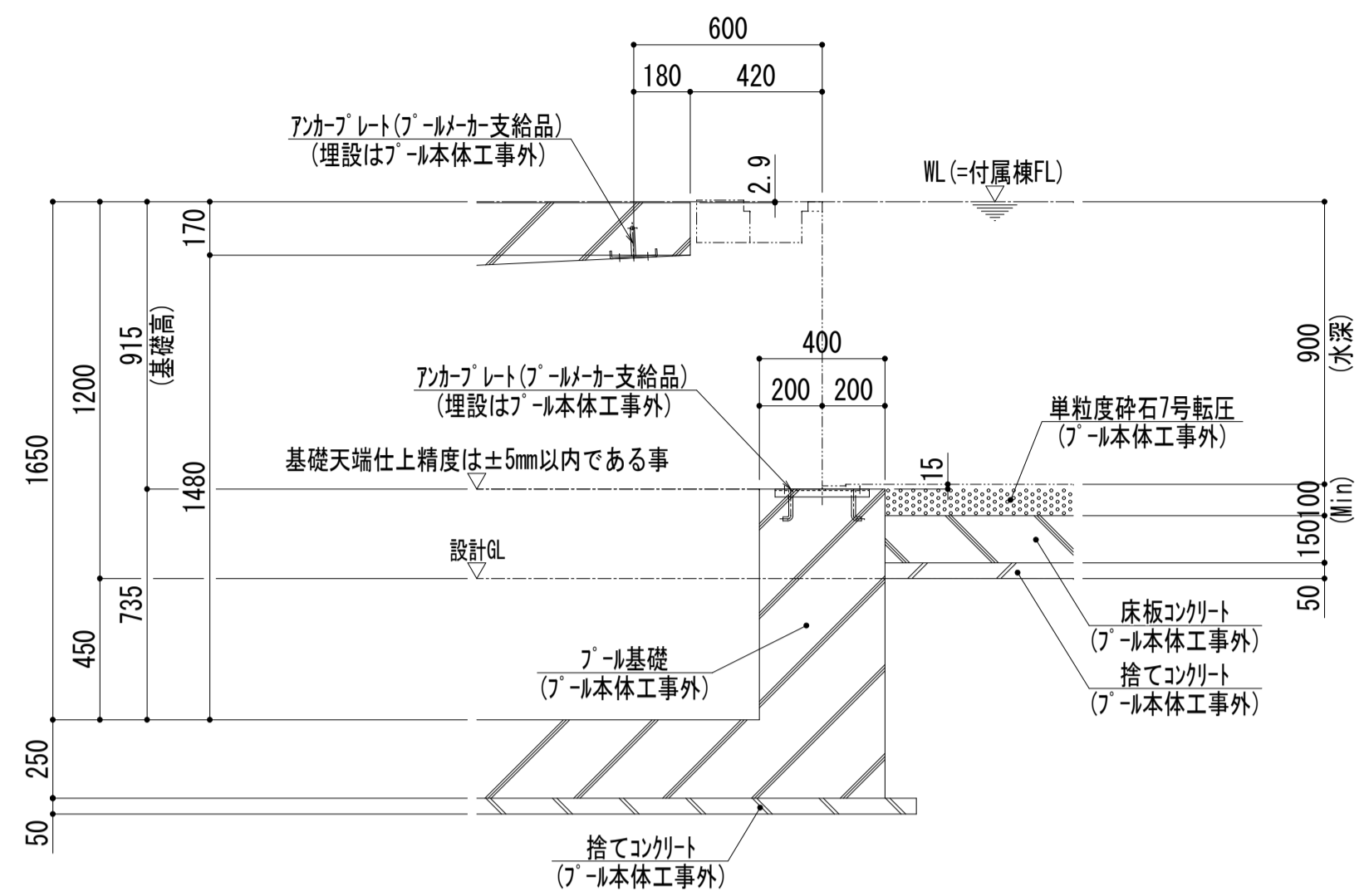


大プール 製作数: 77
小プール 製作数: 41
アンカープレート詳細図 S=1:10
※クギはSUS製を使用する事

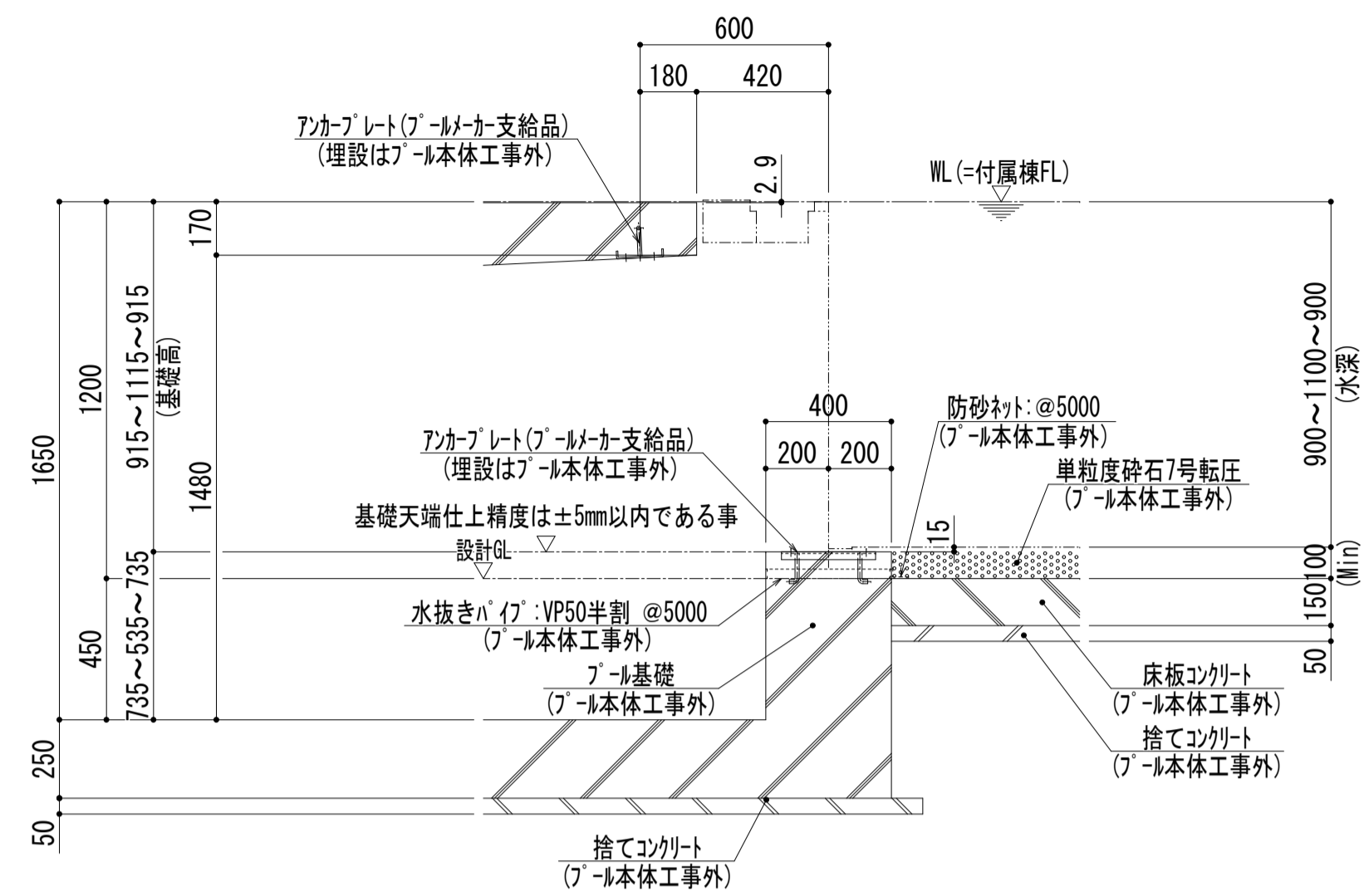
注記: 特記なき材質は、すべてSUS304とする。
注記: プール表面の角は面取り (R1以上) とする。
注記: 印は、シーリング材 (建築工事) を示す。

令和6年度		縮尺	P-08 プール
名称工事名	播西東小学校屋外プール整備工事	1/100	
図名	プール基礎伏図	1/200	

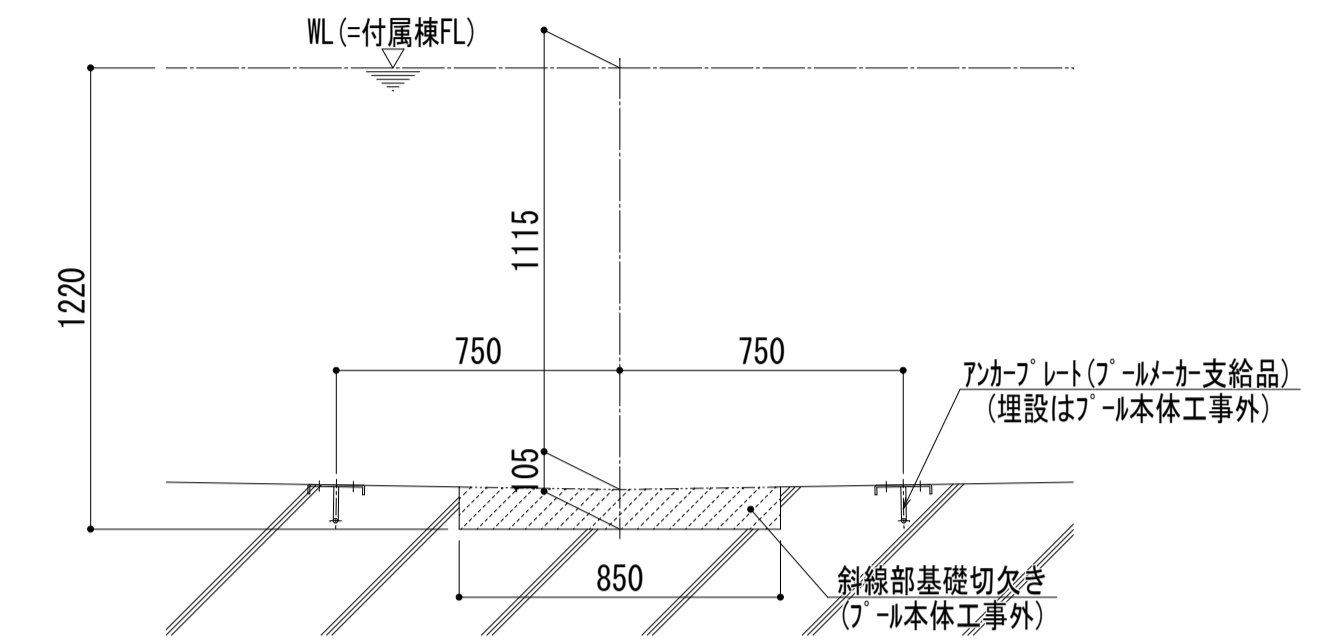
※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする



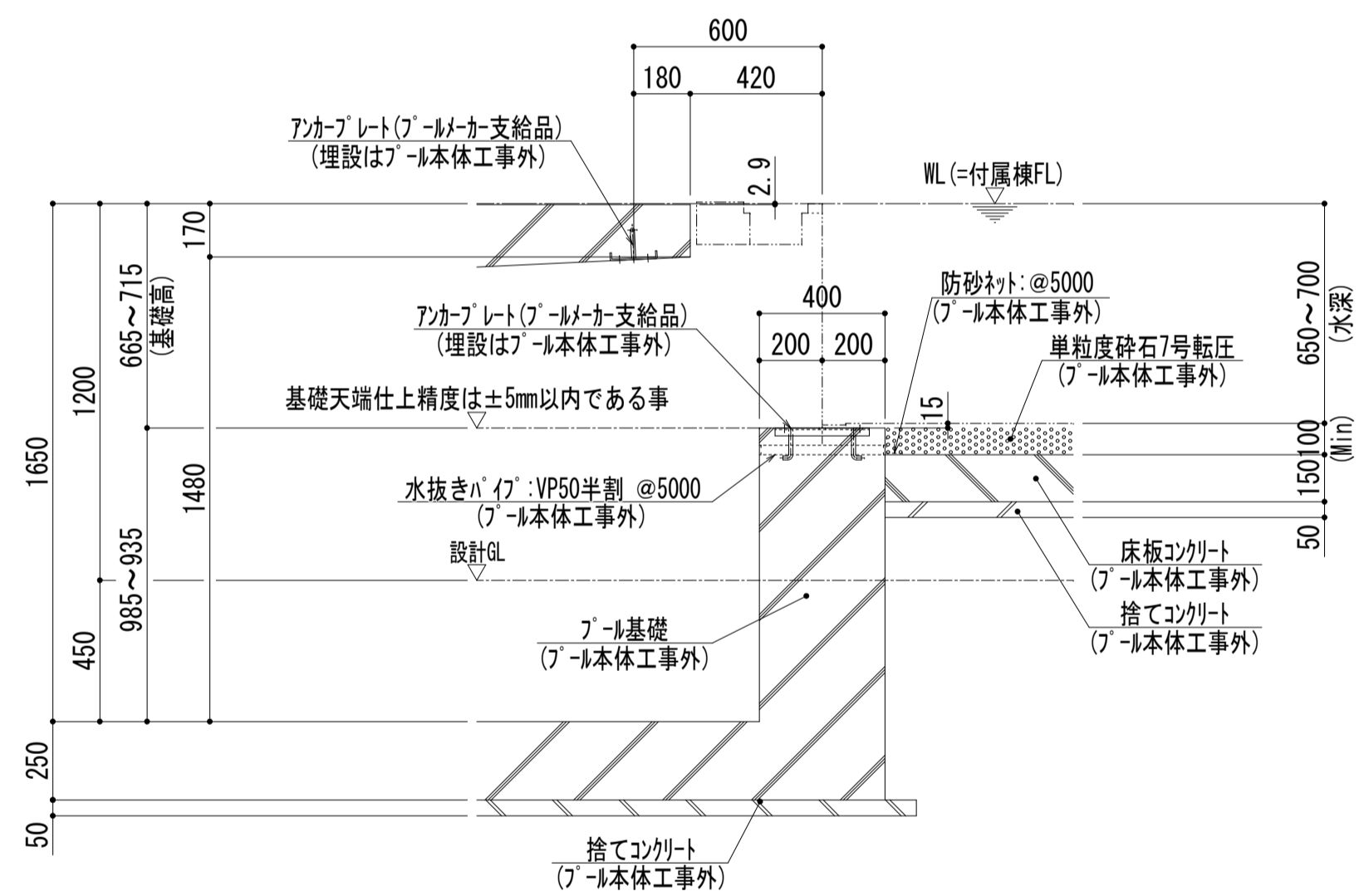
D-D 基礎断面詳細図 S=1:20



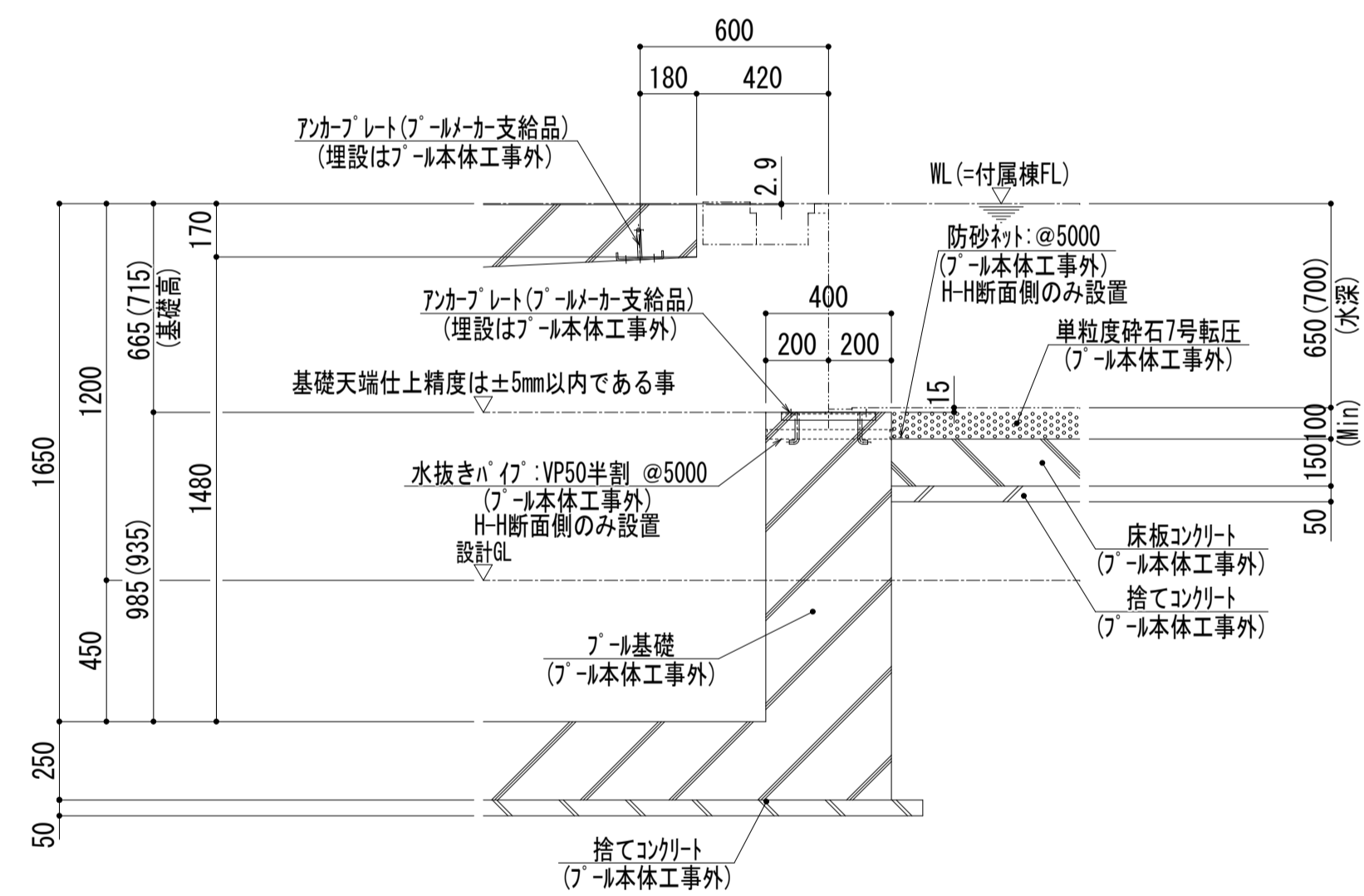
E-E 基礎断面詳細図 S=1:20



I部 基礎詳細図 S=1:20
(大プールろ過吸込兼排水ピット部)



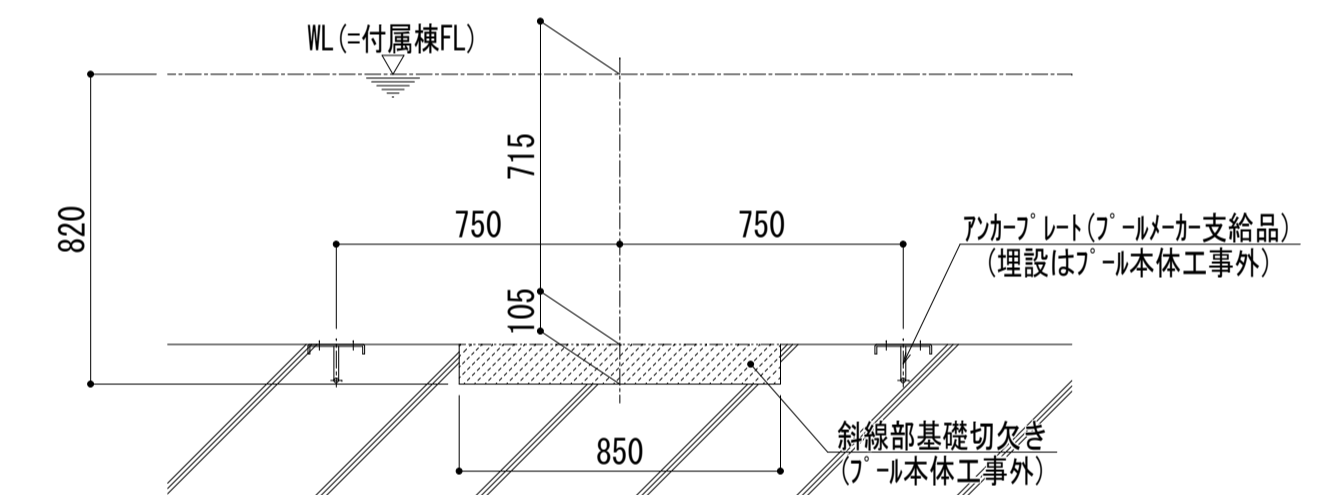
F-F 基礎断面詳細図 S=1:20



G-G 基礎断面詳細図 S=1:20

() 寸法のもの

H-H 基礎断面詳細図 S=1:20

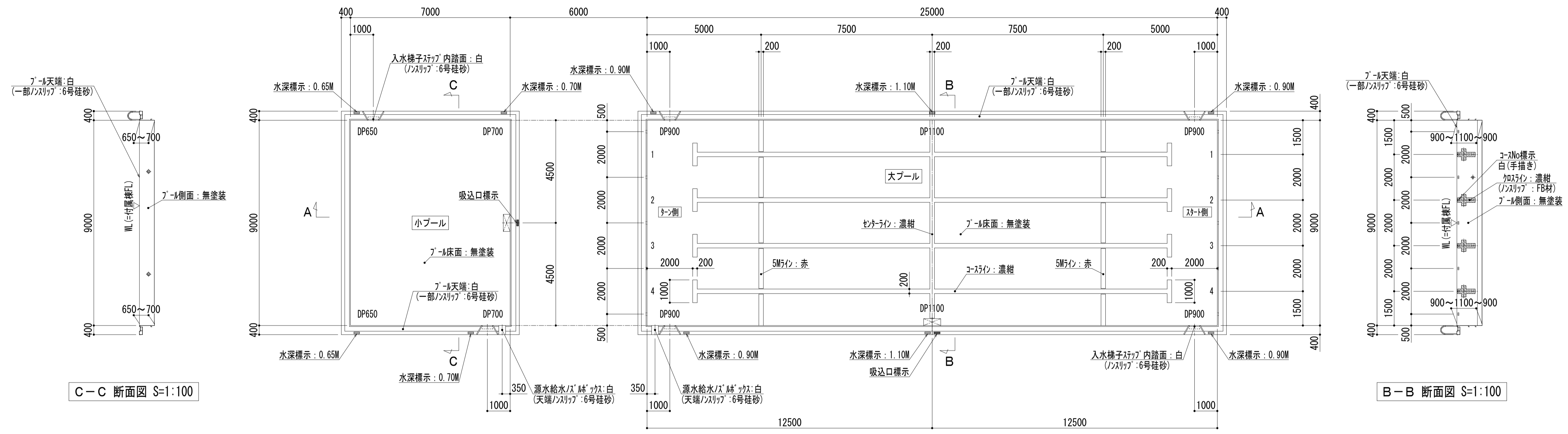


J部 基礎詳細図 S=1:20
(小プールろ過吸込兼排水ピット部)

注記: 特記なき材質は、すべてSUS304とする。
注記: プール表面の角は面取り (R1以上) とする。
注記: 印は、シーリング材 (建築工事) を示す。

令和6年度		縮尺	P-09 プール
名称工事名	播西東小学校屋外プール整備工事	1/20	
図名	プール基礎詳細図	1/40	

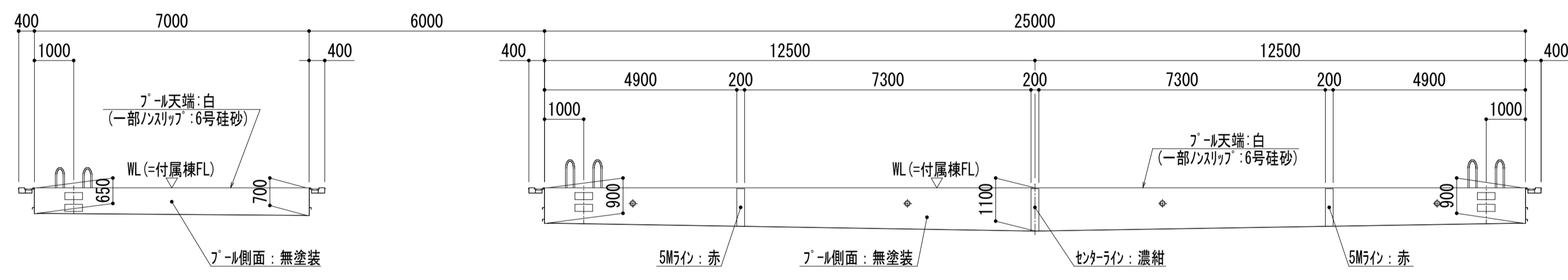
※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする



C-C 断面図 S=1:100

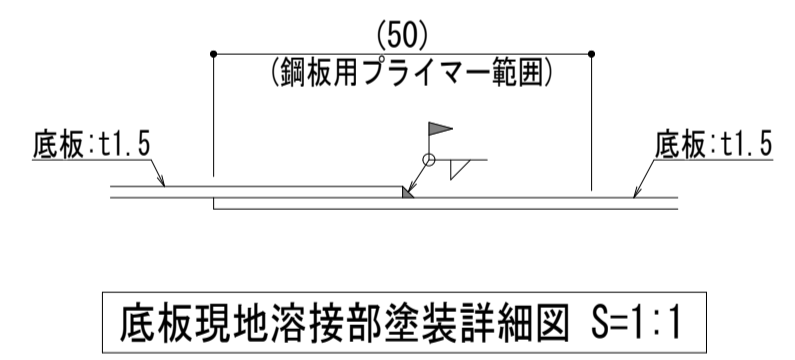
プール 塗装図 S=1:100

B-B 断面図 S=1:100

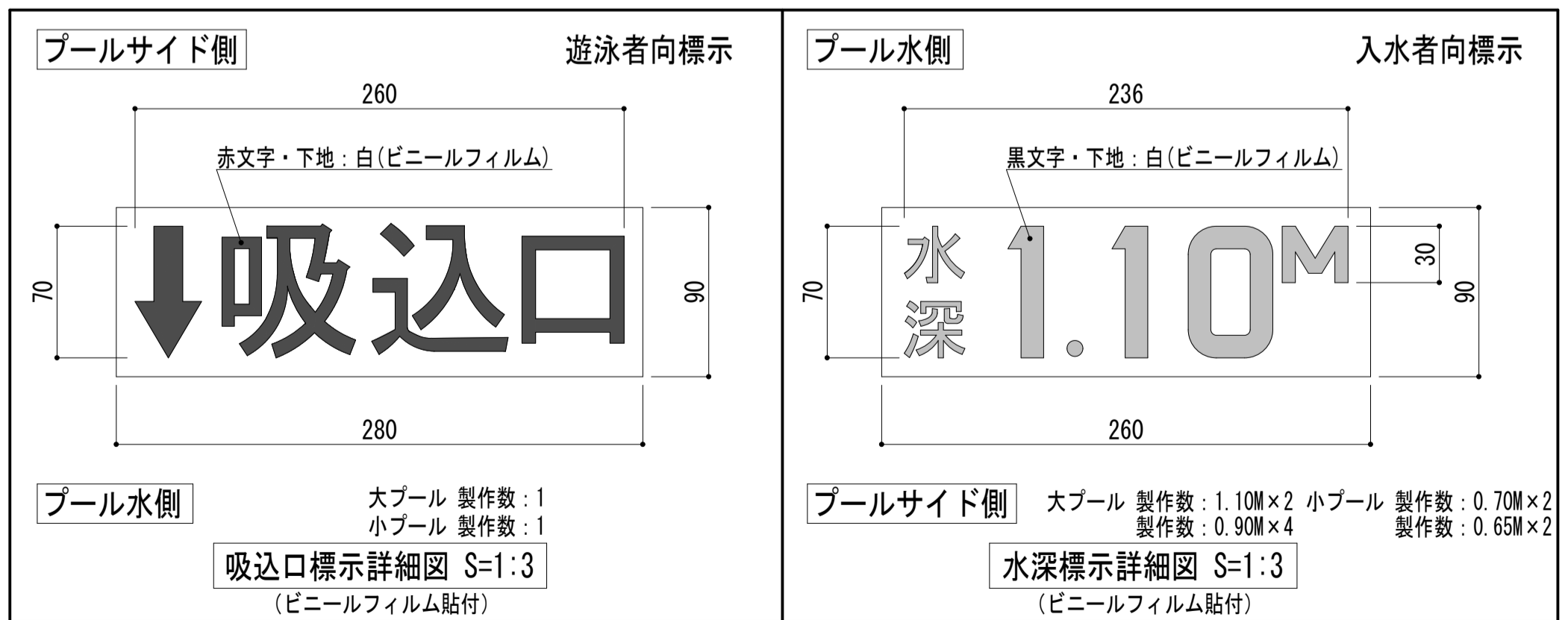


A-A 断面図 S=1:100

プール塗装工事特記仕様書			
塗装仕様	大プール		小プール
	プール表面塗装部	プール天端・ライン・その他	プール表面塗装部
	素地調整・脱脂	清掃、脱脂、ケレン処理	素地調整・脱脂
	下塗り	エポキシプライマー	下塗り
	防錆塗装	鋼板用プライマー(底板塗装範囲 溶接部のみ)	防錆塗装
	中塗り	エポキシ樹脂塗料	中塗り
	上塗り 1回目	アクリルウレタン樹脂塗料 指定色	上塗り 1回目
	ノンスリップ処理	珪砂6号、FB材	ノンスリップ処理
	上塗り 2回目	アクリルウレタン樹脂塗料 指定色	上塗り 2回目
	各種ライン	アクリルウレタン樹脂塗料 指定色	各種標示
	各種標示	アクリルウレタン樹脂塗料 指定色	
塗装色	白	※N-95	黒文字 ビニールフィルム
	濃紺	※75-20L	赤文字 ビニールフィルム
マーキング	コースライン、センターライン、5Mライン、クロスライン、吸込口標示(1ヶ所)、水深標示(6ヶ所)		吸込口標示(1ヶ所)、水深標示(4ヶ所)
	コースNo. 標示(8ヶ所)		
ノンスリップ 塗装(珪砂6号)	漏水給水ノズルボックス天端、入水梯子ステップ内踏面		漏水給水ノズルボックス天端、入水梯子ステップ内踏面
ノンスリップ 塗装(FB材)	クロスライン		

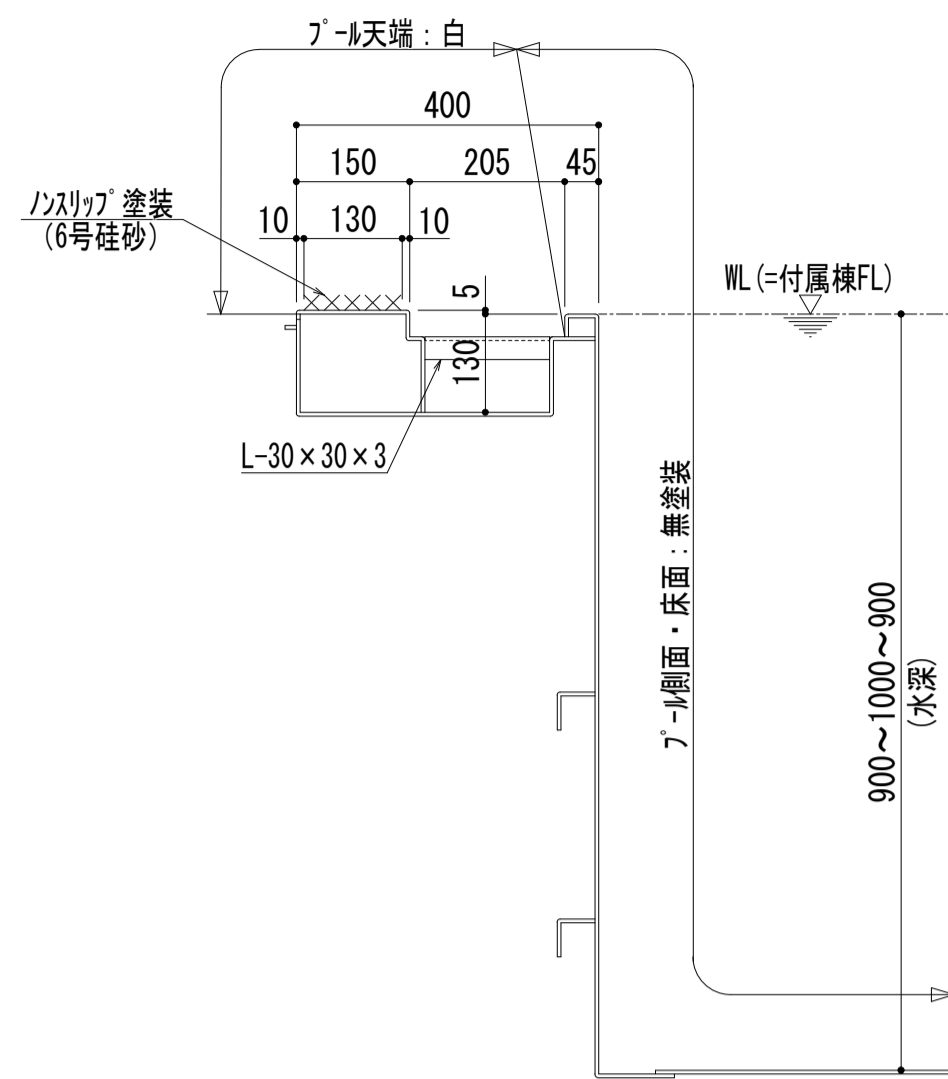


底板現地溶接部塗装詳細図 S=1:1

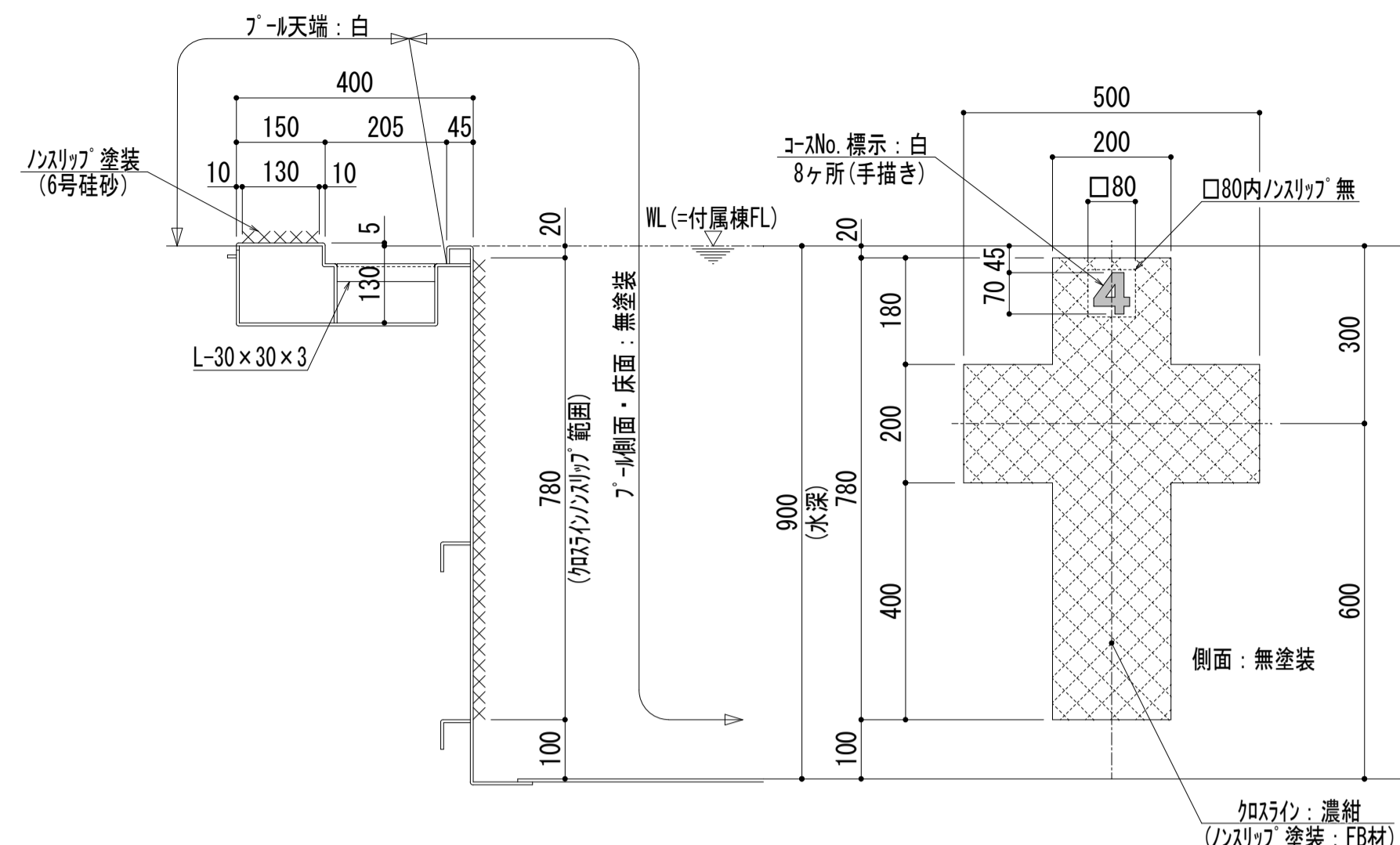


令和6年度		縮尺
名称工事名	播西東小学校屋外プール整備工事	1/100
図名	プール塗装図	1/200

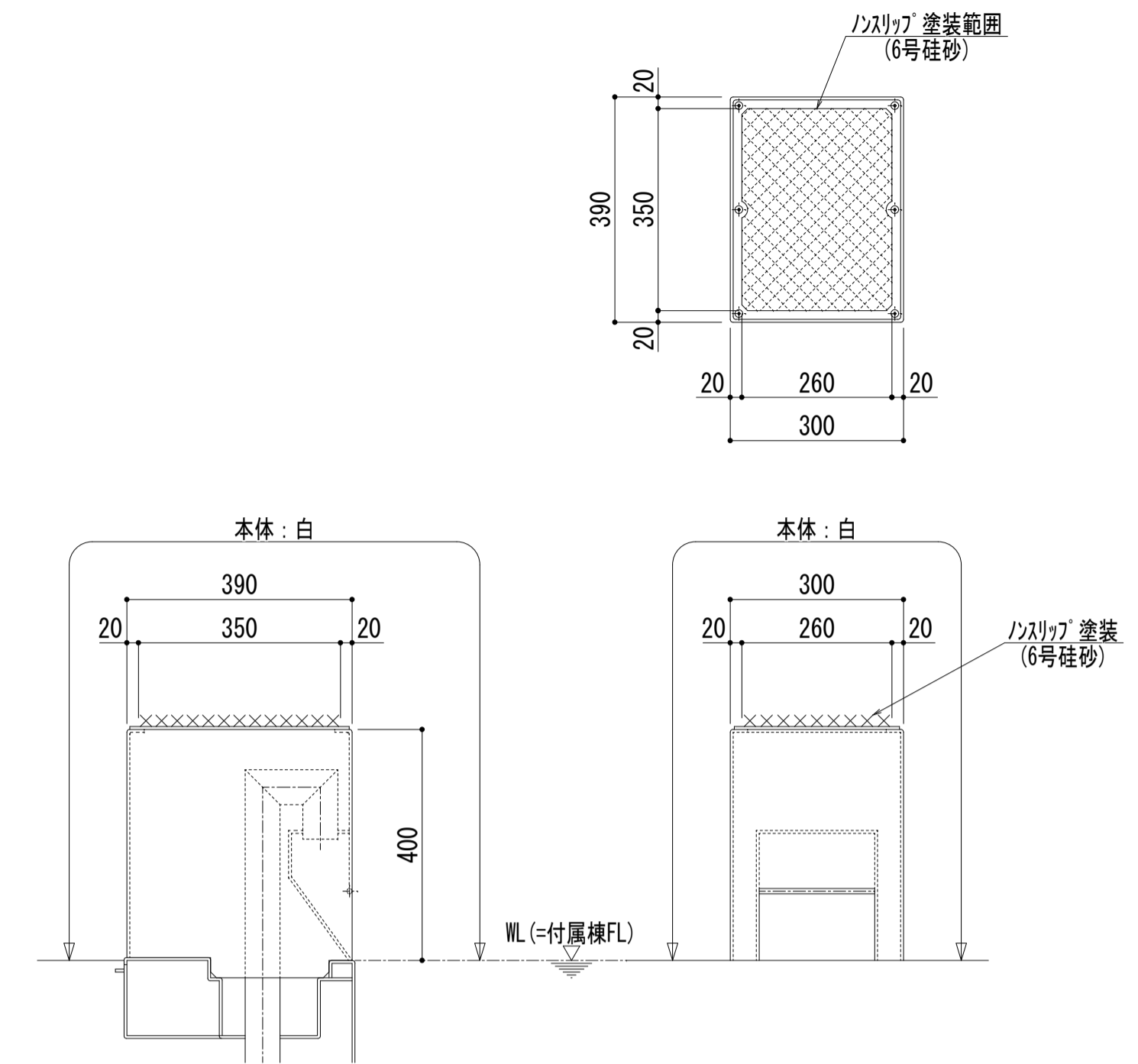
※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする



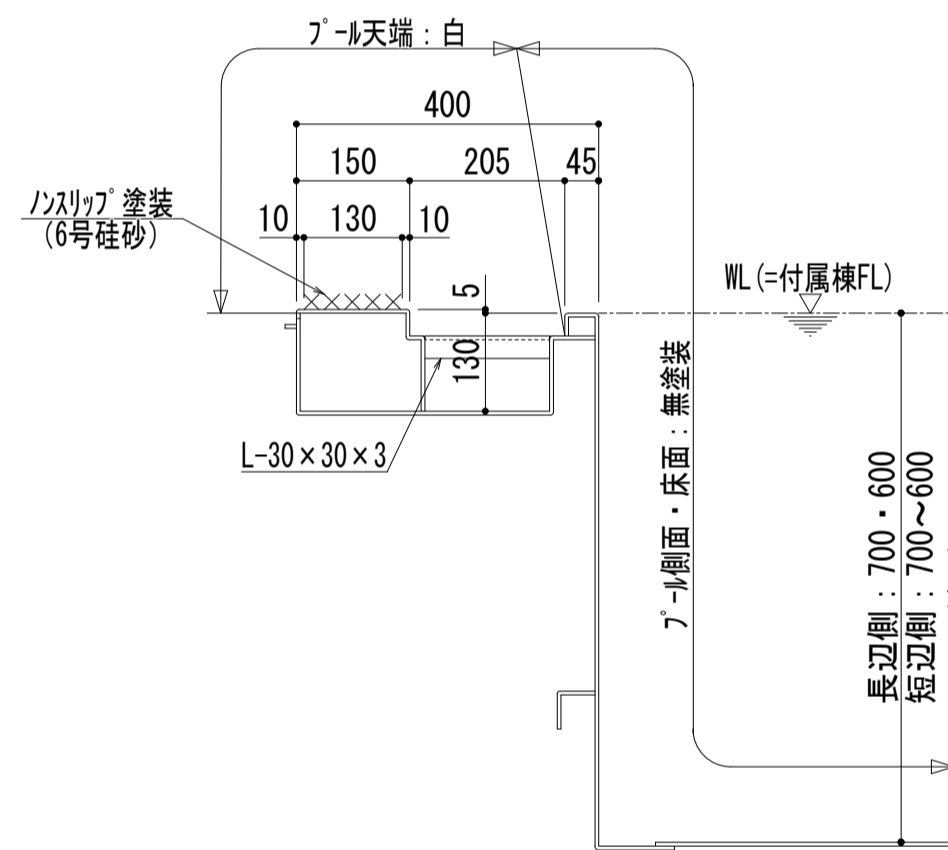
大プール
プール長辺側塗装詳細図 S=1:10



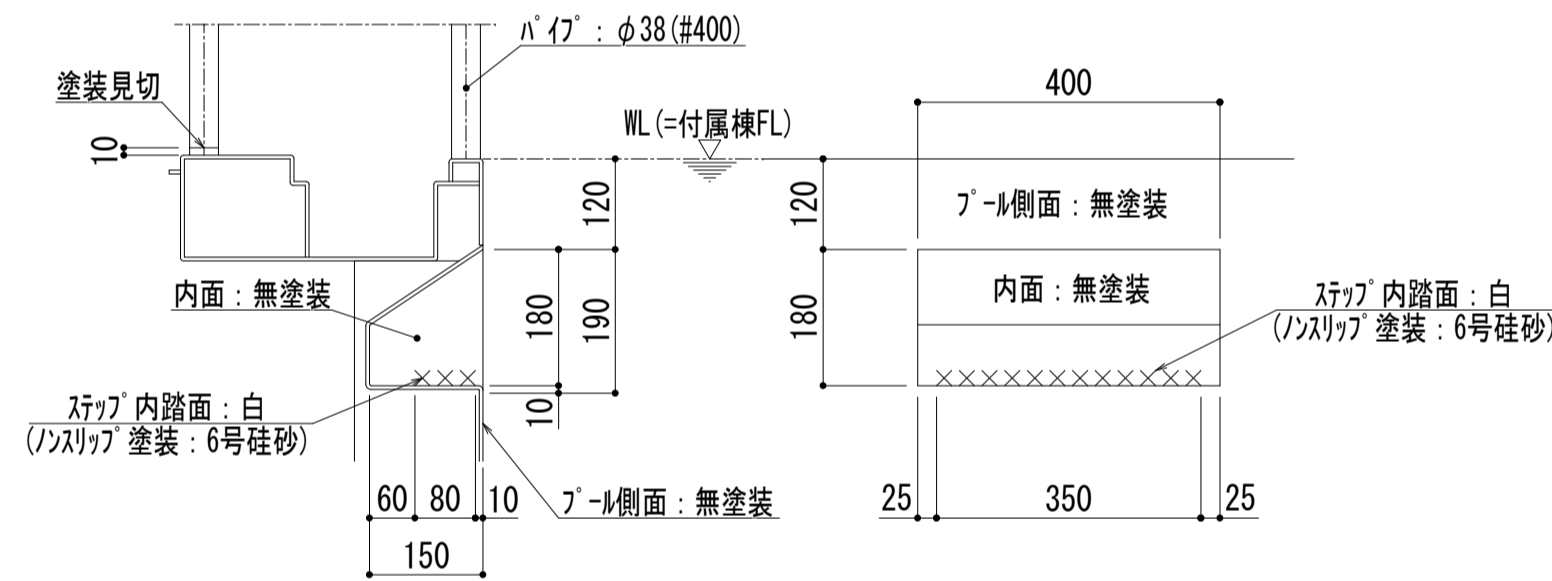
大プール
プール短辺側・クロスライン塗装詳細図 S=1:10



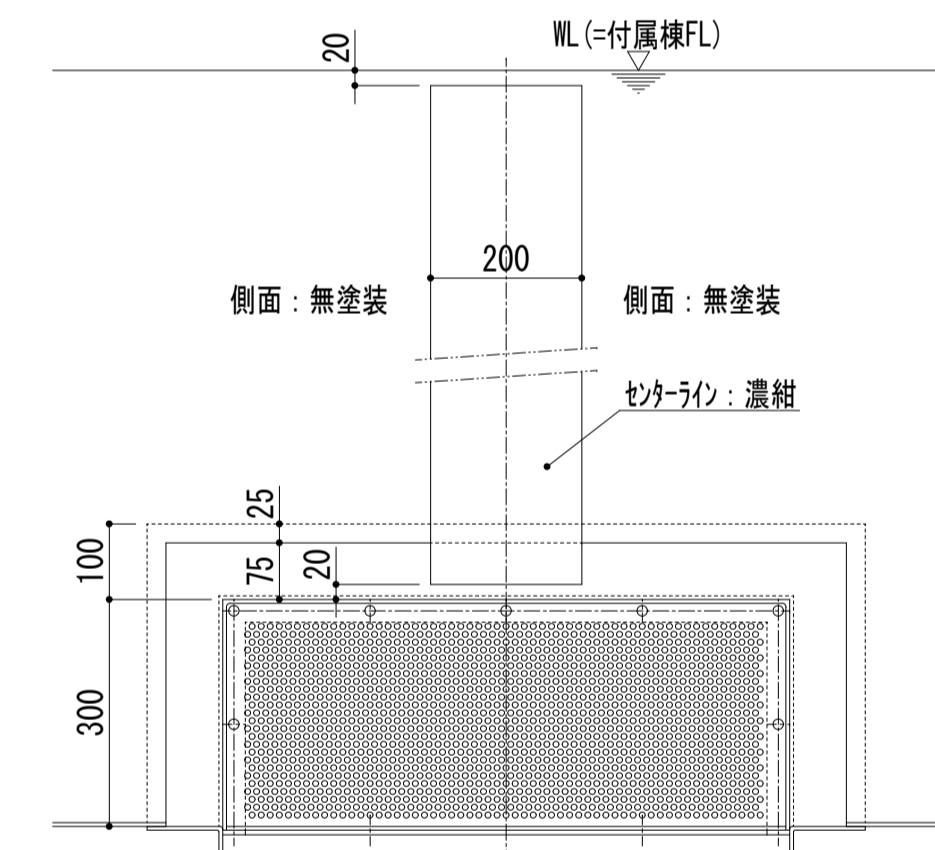
大プール・小プール
源水給水ノズルボックス塗装詳細図 S=1:10



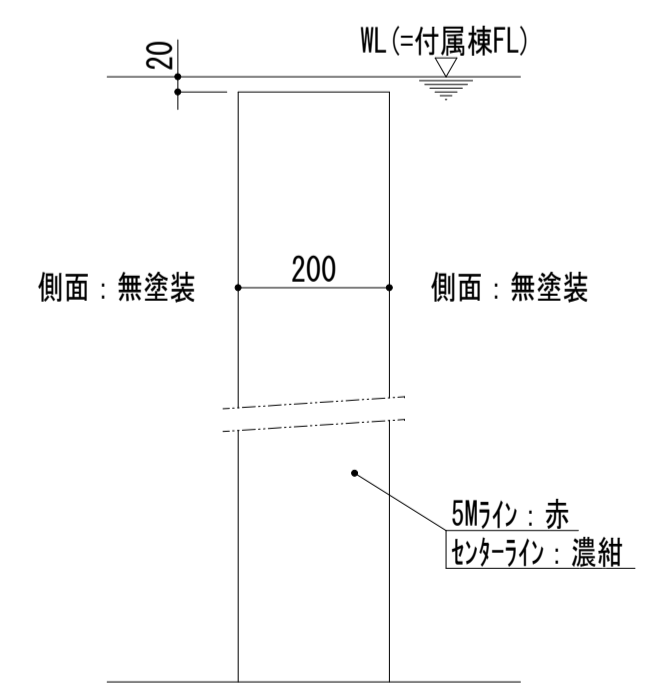
小プール
プール塗装詳細図 S=1:10



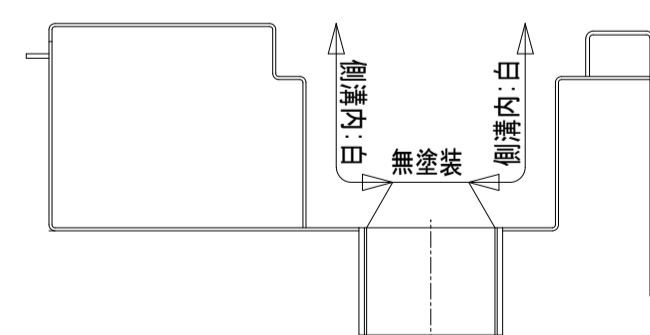
大プール・小プール
入水梯子ステップ内踏面塗装詳細図 S=1:10



大プール
センターライン塗装詳細図 S=1:10
(ろ過吸込兼排水ピット部)



大プール
5Mライン・センターライン詳細図 S=1:10



大プール・小プール
オーバーフローノズル部 塗装詳細図

令和6年度		縮尺	P-11
名称工事名	播西東小学校屋外プール整備工事	1/10	プール
図名	プール塗装詳細図	1/20	

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする

構造特記仕様書 2023年度版

§1 一般事項

- 1-1 使用材料は原則としてJIS規格品、JAS規格品、又は大臣認定品とする。
1-2 設計図書の優先順位は下記による。
1) 本特記仕様書
2) 設計図
3) 標準図
4) 仕様書
5) 日本建築学会標準仕様書、JASS5 2018年、JASS6 2018年
1-3 各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承認を得る。
1-4 構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。
1-5 設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承認を得る。
1-6 梁貫通位置、径、及び箇所数は()・意匠図・構造図()による。
1-7 その他

§2 構造計算ルート

- 2-1 方向 構造計算ルート
X ルート1 ルート2 ルート3
Y ルート1 ルート2 ルート3
2-2 鉄筋の継手(定着)については設計図若しくは標準図による
構造計算ルート別による主筋又は、耐力壁の鉄筋の重ね長さ
※ 建築基準法施行令第73条第2項による仕様規定
日本建築学会 JASS5(2018)、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説
日本建築学会 RC規程2018
XY両方向ループ3及び限界耐力計算の場合は、令第73条第2項の仕様規定によらずJASS5(2018)、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びRC規程2018とすることができる。

§3 仮設工事、土工

- 3-1 山留め、根切り
3-2 埋戻し土、盛土、残土処分
埋戻し土 ※ 根切り土の中の良土
盛土 ※ 根切り土の中の良土
残土処分 ※ 場内地均し

§4 地業工事

- 4-1 基礎及びスラブ地業 (単位mm)
場所 捨てコンクリート厚さ
基礎 独立、布ベタ
基礎梁
土間スラブ
土間コンクリート

- 4-2 設計地耐力
長期 140 kN/m^2 短期 280 kN/m^2 終局 kN/m^2
地耐力載荷試験
4-3 地盤改良(S-05による)
無筋コンクリート地業
セメント系固化工材掺拌
[載荷試験]
[六価クロム溶出試験]
4-4 既製コンクリート杭、鋼管杭、その他特殊杭
1) 杭種
2) 工法

Table with 6 columns: 杭径(杭底部)mm, 長期kN, 短期kN, 終局kN, 本数, 備考

- 4) 杭の構成は設計図による。
5) 杭頭補強
1) 工法
2) 杭径、設計耐力、本数表(杭底部は施工図を示す)

Table with 6 columns: 杭径(杭底部)mm, 管厚mm, 長期kN, 短期kN, 終局kN, 本数, 備考

- 3) 杭先端深さ
4) 孔壁測定
5) 使用材料
6) 鋼管(リブ付)
7) 杭打地業共通事項

§5 鉄筋工事

Table with 3 columns: 種類, 径, 継手

- 5-2 抜き取り検査
5-3 溶接、機械式継手の検査
5-4 梁貫通補強
5-5 その他

§6 コンクリート工事

- 6-1 レディーミクストコンクリート
1) セメント
2) 粗骨材
3) 設計基準強度

- 4) 土間コンクリート
5) 捨てコンクリート
6) 防水押さえコンクリート
7) かさ上げコンクリート

Table with 5 columns: 箇所, 基礎、基礎梁、一般, 備考

- 6-2 混和剤
6-3 試験(躯体コンクリートの28日圧縮試験は公的機関において行う)
6-4 骨材
6-5 計画供用期間の繰()は耐久設計基準強度Fd
6-6 せき板及び支柱の在置期間(普通ポルトランドセメントの場合)

Table with 4 columns: コンクリートの材齢による場合, 基礎、梁、柱、壁, スラブ下, 梁下

- 6-7 住宅性能表示
6-8 Fc36を超える場合は高強度コンクリートとし、仕様は別記特記仕様書(JASS5等)による

§7 鉄骨工事

Table with 10 columns: 規格名称, 鋼材名, 柱, 通し内, 大梁, プレス, 小梁他

Table with 2 columns: 高力ボルトの種類, 使用箇所

- 7-3 普通ボルト、アンカーボルト
7-4 頭付きスタッド

- 7-5 溶接材料
7-6 アーク溶接に使用する溶接棒、ワイヤ及びフラックスは母材の種類、寸法、及び溶接条件に相応したものを選定する。
7-7 ガスシールドアーク溶接に使用するシールドガスは溶接に相応したものとする。
7-8 スカラップ形状

Table with 3 columns: 継手, 柱, 梁

- 7-8 溶接手法及び管理
1) 使用する溶接ワイヤー、入熱量及びバス間温度等の仕様については鉄建協又は全構協の仕様で、専任の溶接施工管理技術者により管理を行うこと。
2) 完全溶け込み溶接はAW検定の有資格者が行うとする指定を
3) 本工事で代替タブを使用する場合は、代替タブ溶接技術者技量検定付加試験を

- 7-9 デッキプレート (単位 mm)
1) 床用
2) 合成スラブ用
3) 型枠用
4) 防錆処理

Table with 4 columns: 適用, 塗料, 種別, 標準膜厚

- 3) 溶融亜鉛メッキ
4) 常温亜鉛メッキ
5) 高耐食メッキ鋼板
7-11 溶接部の検査(受入検査)

- 7-12 鉄骨製作工場
国土交通省大臣認定(グレード)
S H M R J

§8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板・PCa板工事

- 8-1 コンクリートブロック
1) 種類
2) 厚さ mm
8-2 ALC パネル
1) 使用箇所
2) 厚さ mm
3) 外壁取り付け構法

Table with 4 columns: 方向, 構法, 使用箇所, 備考

- 8-3 押出成形セメント板
外壁取付構法及び厚さ mm
8-4 PCa板
1) 床及び屋根
2) 外壁 厚さ mm

鉄筋コンクリート壁式構造配筋標準図 2023年度版

1-1 基本事項

§1 一般事項

- 1) 本標準図に記載なき事項は、鉄筋コンクリート構造配筋標準図による。
- 2) 耐久性上有効な仕上げのない壁（屋内、屋外共に）及び土に接する壁は10以上増打ちする。
- 3) 特記なき限り粗骨材は最大径20mmとする。

1-2 その他

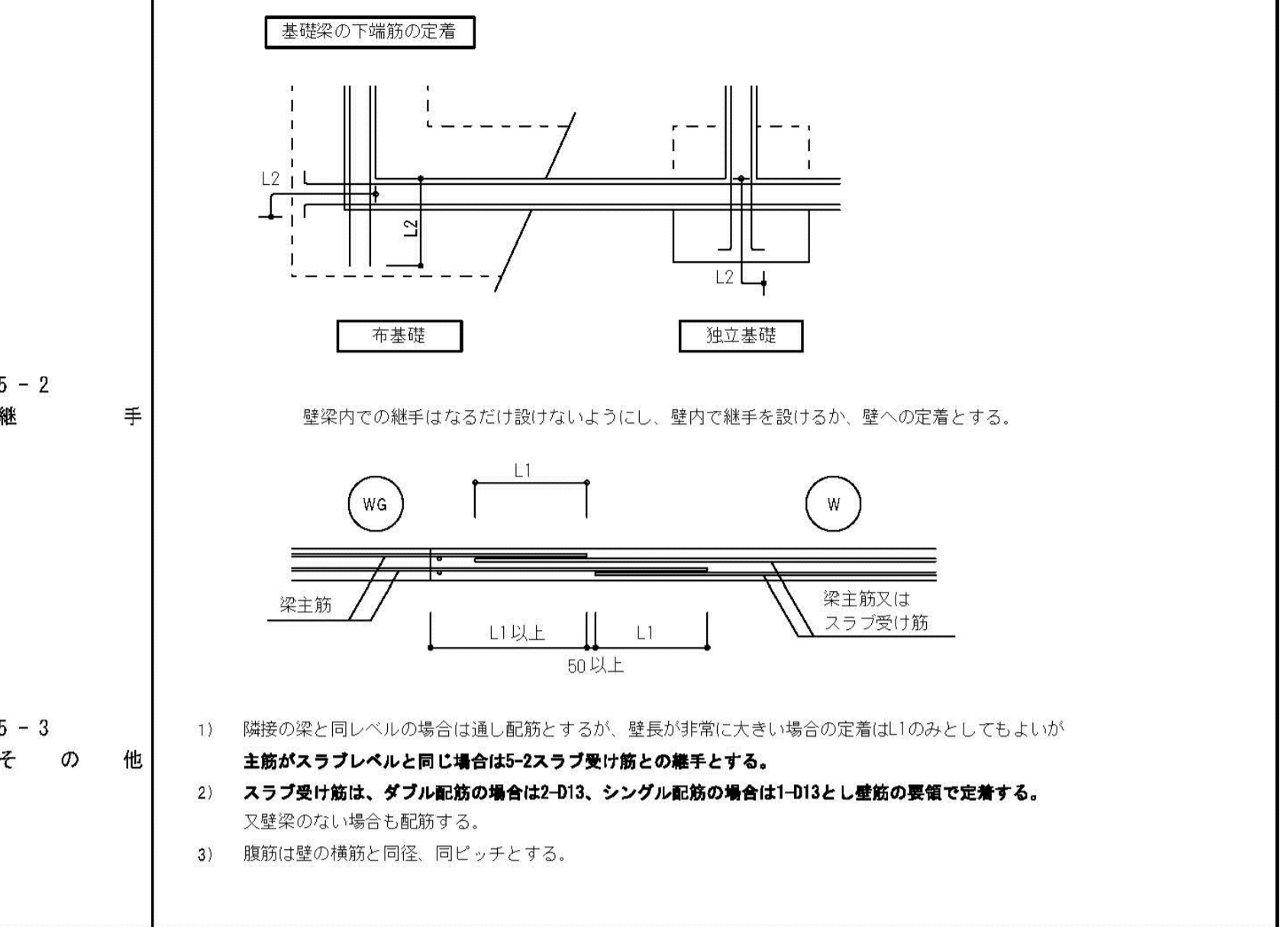
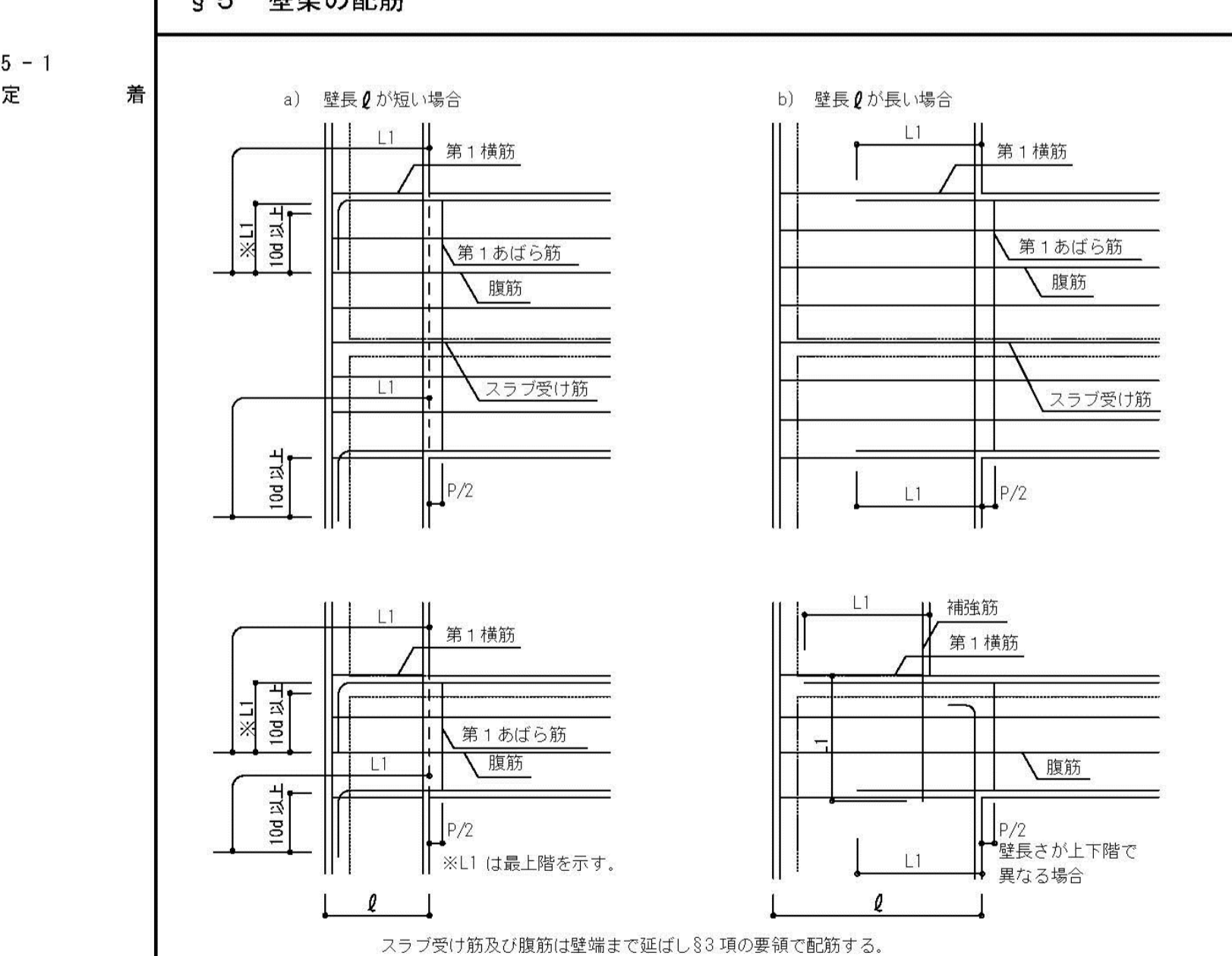
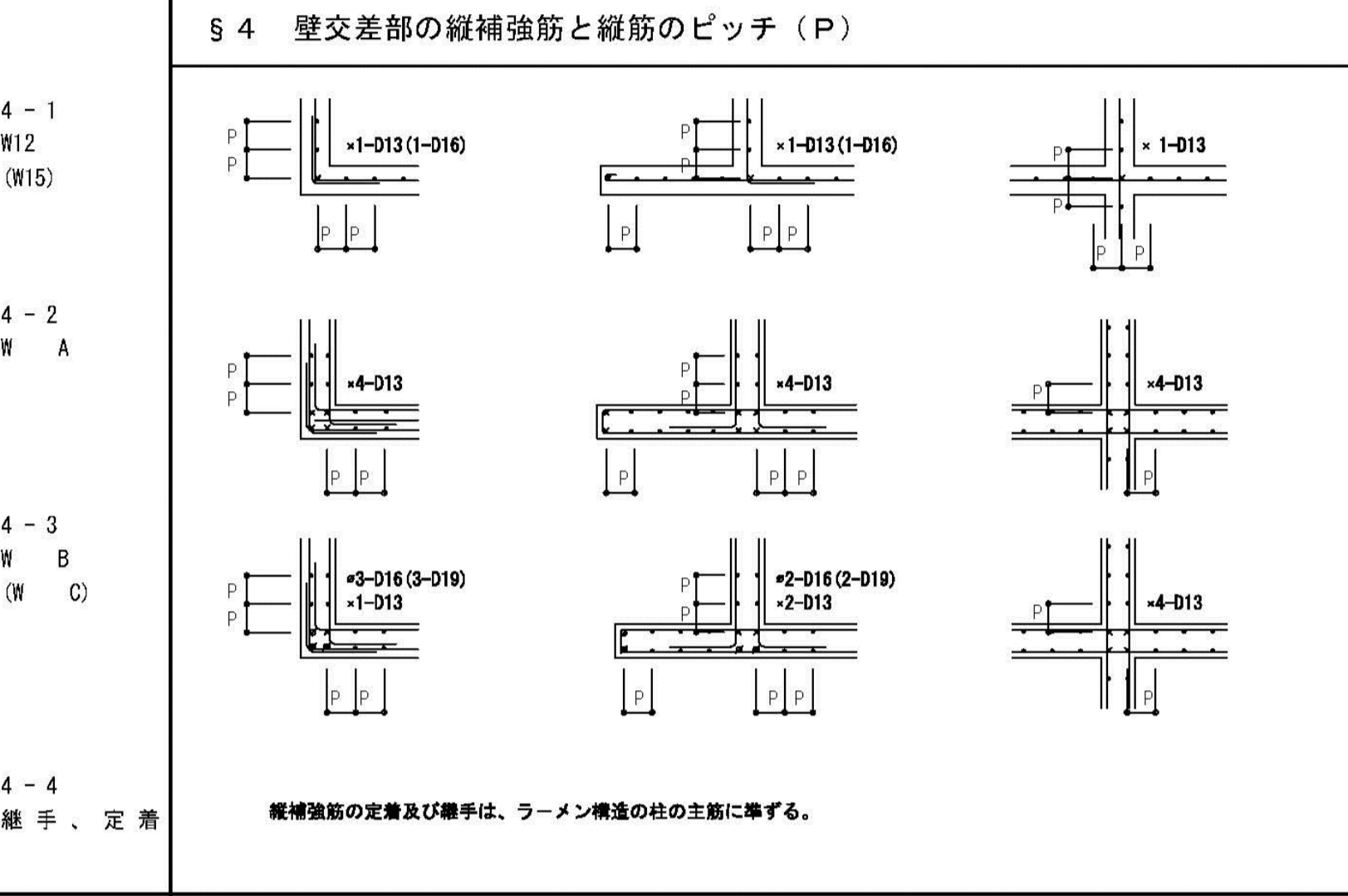
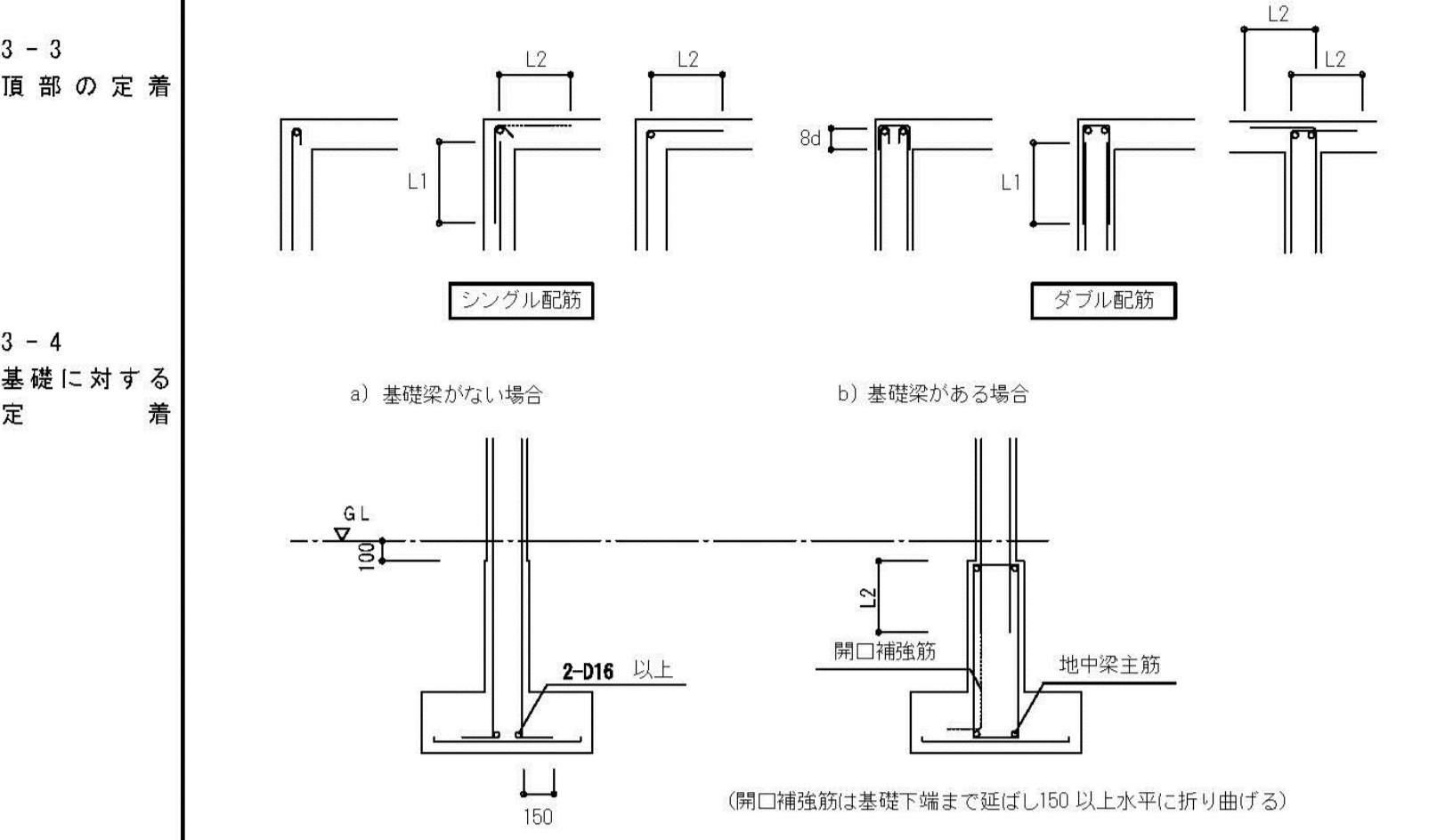
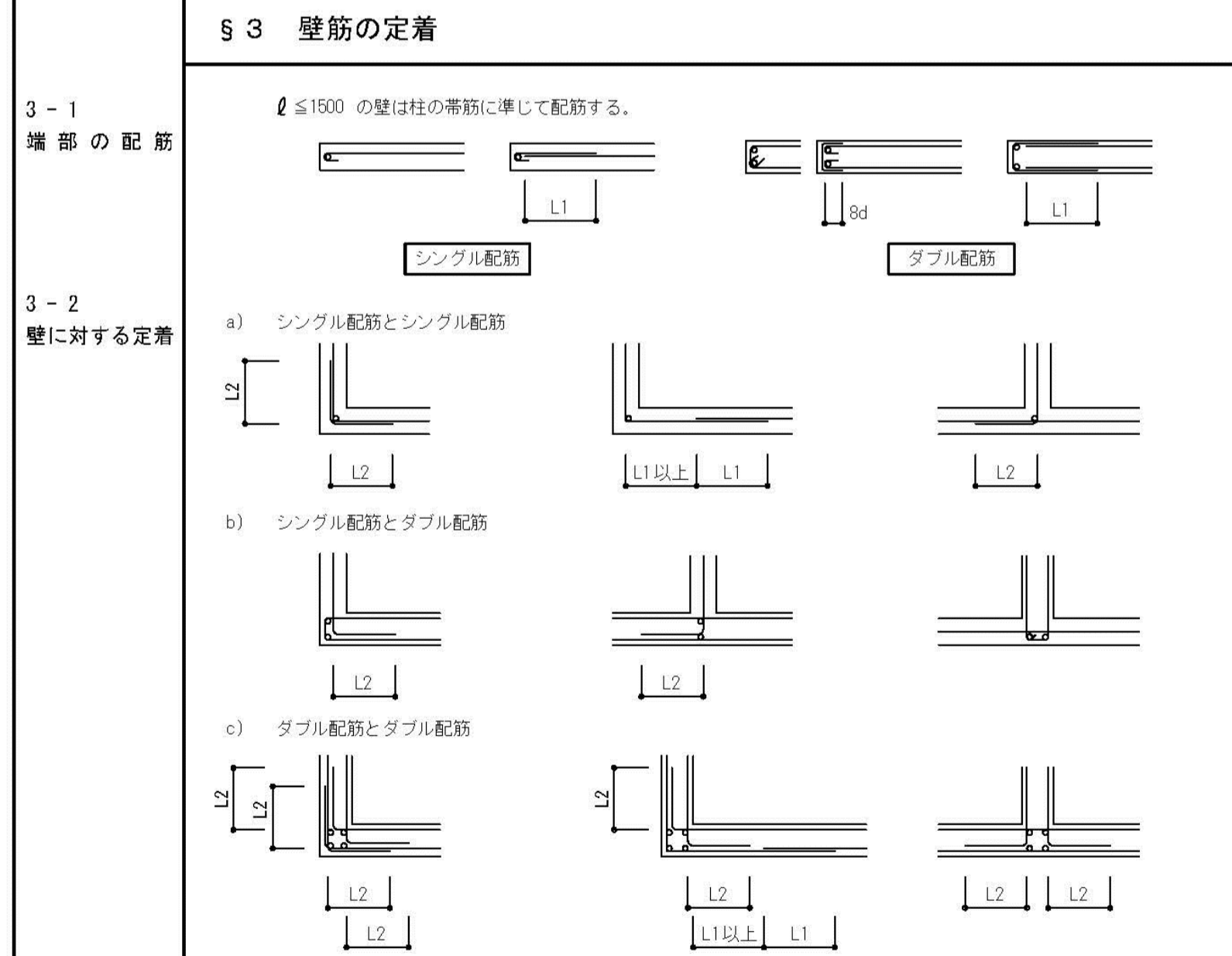
2-1 標準配筋リスト

§2 壁の標準配筋

符号	厚さ	縦筋、横筋	開口補強筋	
			縦筋	斜め筋
W18	180	D10-φ200 (D)	2-D16	2-D13 (2-D13)
W20	200	D13-φ200 (D)	2-D16	2-D13 (2-D13)
W25		D13-φ200 (D)	2-D16	2-D13 (2-D13)

- 2-2 標準壁配置
- 1) 特記なき配筋は上表によるが、壁の厚さは§6によるか、梁形を設ける事がましい。
 - 2) ()内は開口部の高さhがh₀≦1000の場合を示す。
 - 3) (S)はシングル配筋、(D)はダブル配筋を示す。
 - 4) **ダブル配筋の巾止筋は、D10-φ1000以内を標準とする。**
 - 5) 開口部補強の横筋（壁梁主筋）は設計図によるが、特記のない場合は縦筋に準じ、あばら筋は壁筋と同じとする。
 - 6) 壁符号は設計図に記載なき場合は下表による。
 - 7) 地下室のある場合は設計図による。
 - 8) ① 2-D13の代わりに1-D19とすることができる。
② 2-D19の代わりに2-D16+2-D13とすることができる。
 - 9) 斜め筋の配筋が困難な場合は、縦筋横筋に置き換えてもよい。

5階	W15 (W A)				
4階	W A	W15 (W A)			
3階	W B	W A	W15 (W A)		
2階	同上	W B	W A	W15 (W A)	
1階	W C	同上	W B	同上	W12 (W A)



§6 壁厚及び壁梁の配筋詳細

6-1 配筋タイプ

6-2 タイプ別壁厚表

壁曲げ補強筋	斜め筋	配筋タイプ別による壁厚表 (mm)					
		タイプA			タイプB		
		梁主筋	梁主筋	梁主筋	梁主筋	梁主筋	梁主筋
D13	D10	190	195	205	185	190	195
D16	D13	195	205	215	190	200	205
D19	D16	200	210	220	200	210	210

- 1) かぶり厚さを40mmとした場合をしめす
※ 最小かぶり厚さを30mmとした場合、壁厚は上表より-20mmとする。
- 2) 主筋のあきは1.5dかつ25mm以上とし、斜め筋が配筋できる寸法とする。
- 3) 主筋と帯筋及びあばら筋の寸法関係は下表による。

壁縦補強筋	壁梁主筋		壁横筋	壁梁主筋	
	D1	P1		D2	P2
D13	20		D13	26	
D16	22		D16	26	
D19	23		D19	26	

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1) 2023年度版

§ 1 一般事項

1-1 基本事項
 1. 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
 2. 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。
 また本標準図に明記なき場合は構造特記仕様書1-2-4に指定した共通仕様書及び日本建築学会「JASS5(2018)」及び「鉄筋コンクリート造配筋指針・解説(2021)」による。
 3. 本標準図は異形鉄筋を対象とし、dは呼び名に用いた数値とする。
 4. 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

1-2 その他

§ 2 共通事項

鉄筋の表示記号及び最外径は下表による。

記号	×	∅	●	○	◎	⊕	⊖	⊗	⊘	⊙
呼び径 d	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D41
最外径 D	11	14	18	22	26	29	33	37	40	43

○ フックのない場合
 ○ フックのある場合
 ○ 本款に差がある場合
 ○ 機械式継手表示
 ○ ガス圧接、溶接継手表示

2-2 鉄筋の折り曲げ

柱・梁・基礎の主筋、及び、その他の鉄筋の折曲げ形状・寸法

折曲げ角度	図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の折曲げ寸法
180°		柱・梁主筋 基礎主筋 帯筋	SD295 SD345	D16以下 D19~D41
135°		あばら筋 スパイラル筋 スラブ筋	SD300	D41以下 D25以下
90°		壁筋	SD480	D29~D41

(SD480は90°のみ)

2-3 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

「JASS5(2018)」に準拠

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (N/mm ²)	定着の長さ			
		一般	小梁・床スラブ	上端筋	下端筋
SD295 SD345 (○はSD345を示す)	18	45d(50d) 35d	40d 30d, 20d	15d (20d)	L _a =20d L _h =10d 床スラブの場合 L _a =10d かつ 150以上
	21	40d(45d) 30d	35d 25d, 15(20)d	15d	
	24~27	35d(40d) 25d(30d)	30d(35d) 20d(25d), 15(20)d	15d	
	30~36	35d 25d	30d 20d, 15d	15d	
	39~45	30d(35d) 20d(25d)	25d(30d) 15d(20d), 15d	15d	
	48~60	20d 20d	25d 15d, 15d	15d	
SD390 (SD490) (◎は適用外)	21	50d(-) 35d(-)	40d(-) 30d(-), 20d(-)	20d (-)	SD490は適用外
	24~27	45d(55d) 35d(45d)	40d(45d) 30d(35d), 20(25)d	20d	
	30~36	40d(50d) 30d(35d)	35d(40d) 25d(30d), 20(25)d	15d	
	39~45	40d(45d) 30d(35d)	35d(40d) 25d(30d), 15(20)d	15d	
48~60	35d(40d) 25d(30d)	30d(35d) 20d(25d), 15(20)d	15d		

一般定着の直線L_aまたはフック付きのL_h, L_a, L_bの図

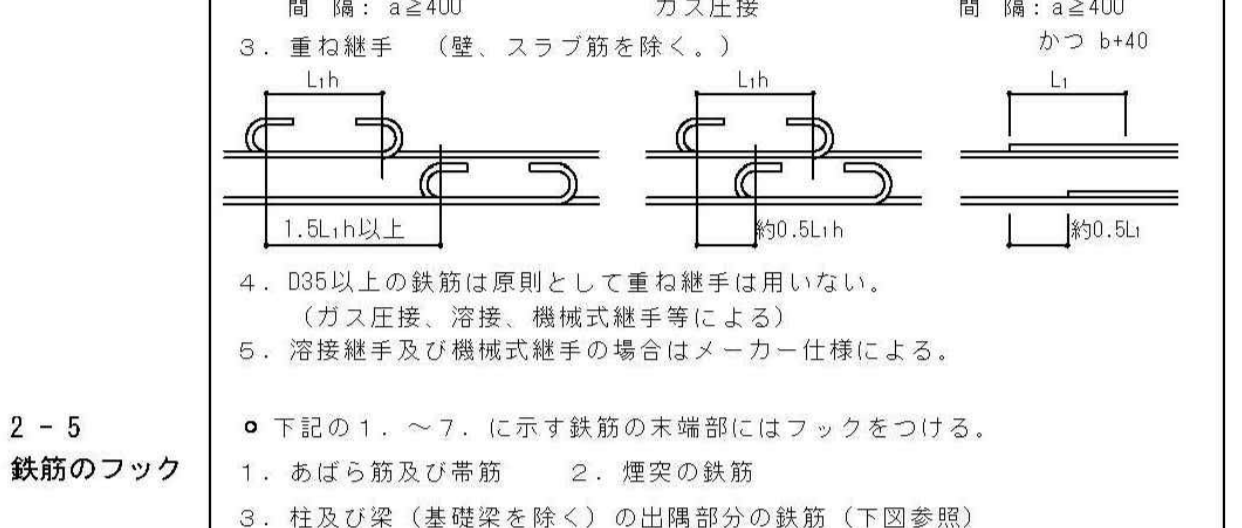
1. 重ね継手の長さは鉄筋の折曲げ起点間の距離、又、フック付きのL_hは仕口面から鉄筋の折曲げ起点までとし、末端のフックは定着長さに含まない。
 2. 軽量コンクリートを使用する場合は、2-3の数値に5dを加算する。

2-4 継手一般

3. 構造特記仕様書2-2で令第73条を選択した場合、主筋又は耐力壁の鉄筋の重ね継手長さは左下表1かつ40d(軽量コンクリートを使用する場合は50d)とする。

4. 構造特記仕様書2-2でJASS5(2018)、RC標準2018とした場合、主筋又は、耐力壁の鉄筋の重ね継手長さは設計図によるが、参考値として左下表JASS5(2018)にL_h, L_aを示す。

ガス圧接継手・溶接継手・機械式継手に関する事項は、標準仕様書および施工要領ならびに鉄筋継手工事特記仕様書(2019年版)共に公益社団法人日本鉄筋継手協会編に準拠。



2-5 鉄筋のフック

○ 下記の1.~7.に示す鉄筋の末端部にはフックをつける。

1. あばら筋及び帯筋 2. 煙突の鉄筋
 3. 柱及び梁 (基礎梁を除く) の出露部分の鉄筋 (下図参照)

4. 片持ちスラブの上端筋の先端
 5. 最上階及びこれに準ずる箇所の柱頭の四隅の鉄筋
 6. 杭基礎の基礎筋 (偏心基礎及び杭2本打以上の場合)
 7. 鉄骨柱の脚部の基礎柱、又は根巻コンクリートの四隅の鉄筋

○ 鉄筋のあきaは原則として下記による。
 呼び名の数値dの1.5倍以上 かつ 25以上 ※Dは最外径を示す

○ 鉄筋径が異なる場合は大きい方による。
 ○ 二段筋のあきは1.5dかつ粗骨材最大値の1.25倍以上とする。
 鉄筋に対するコンクリートの設計かぶり厚さと最小かぶり厚さ

2-7 かぶり厚さ

部位	かぶり厚さ	
	仕上げあり	仕上げなし
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	30(20) 30(20) 40(30)
	柱 耐力壁	40(30) 50(40)
	壁	50(40)
	柱・梁・床スラブ・壁 基礎梁の立上り	50(40)
土に接する部分	基礎・擁壁	70(60)

1. () 内の数値は最小かぶり厚さを示す。
 2. 仕上げありとは、鉄筋の耐久性上有効な仕上げのある場合とする。
 3. ※1 品質・施工法に応じ、工事監督者の承認で10減の値とすることができる。
 4. ※2 軽量コンクリートの場合は、これに10加算する。
 5. 柱・梁の主筋の最小かぶり厚さは、表の数値以上かつ主筋径の1.5倍以上とする。

§ 3 柱

3-1 主筋の継手

ガス圧接、溶接、機械式継手

重ね継手
 約0.5L_h
 ※D

○ 印内に継手中心部を設けることを原則とする。
 設計者判断により、認定を取得した工法ではa=0とできる。

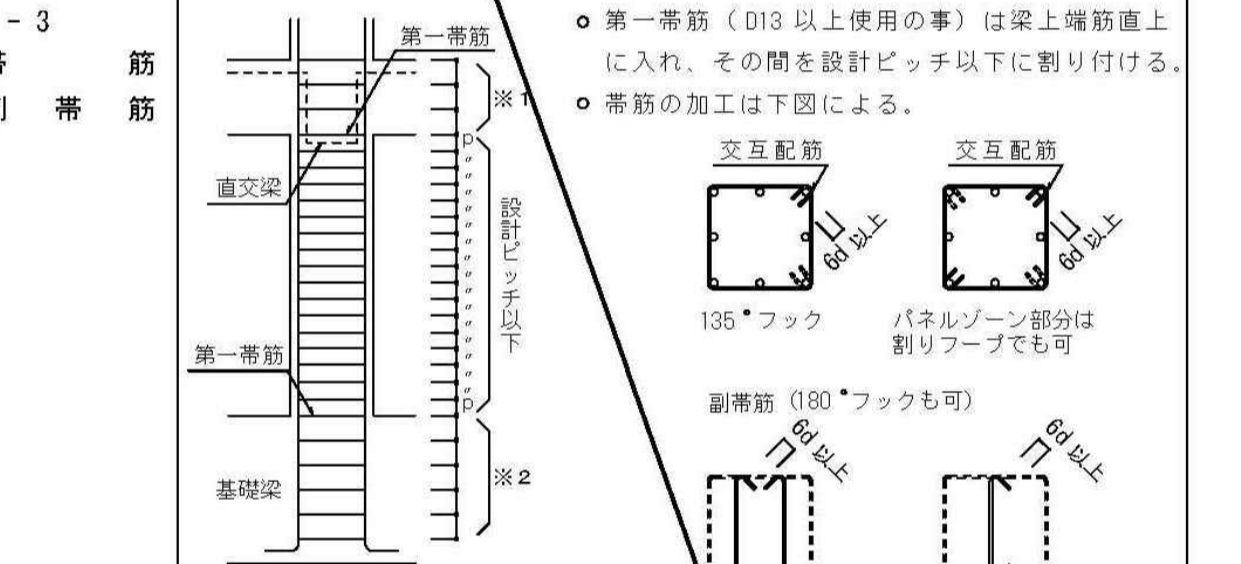
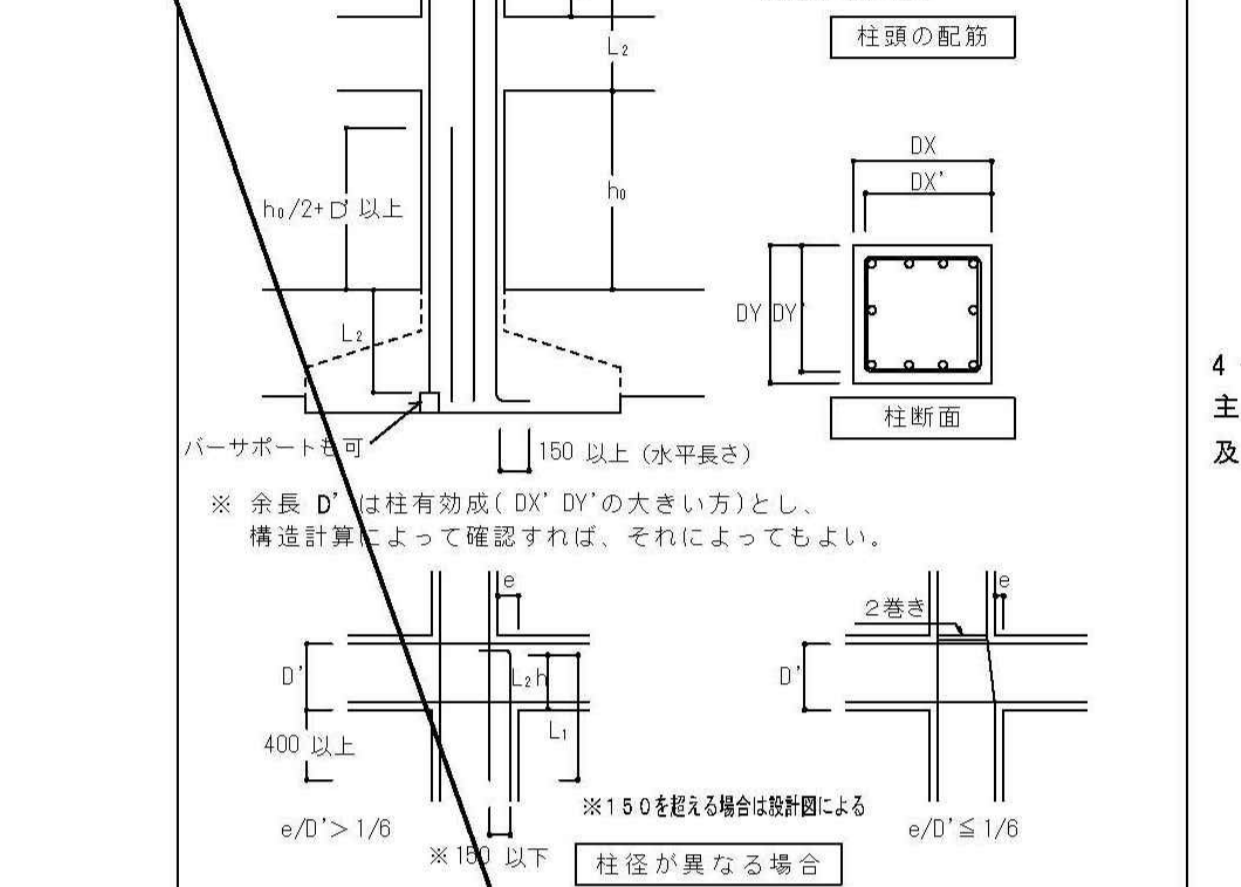
3-2 主筋の定着

包束帯筋 (L_h)はRC標準 2010 17条によってもよい、又は右図による。

柱頭に機械式定着を採用する場合
 技術評価で認められた条件を満足すること。

柱断面
 DX
 DY

※ 150以上 (水平長さ)
 ※ 余長 D' は柱有効成 (DX' DY' の大きい方) とし、構造計算によって確認すれば、それによってもよい。



3-5 柱のコムファインド補強

補強する柱は設計図による。(柱頭、柱脚柱成の範囲を補強する。)

a スパイラル帯筋 600~75 (有効間隔50程度)
 b 溶接閉鎖型帯筋 600~75 (有効間隔50程度)

4-1 主筋の継手

4-2 主筋の定着及び余長

外柱

中柱

4-3 あばら筋副あばら筋

○ 印内に継手中心部を設けることを原則とする。(告示平 12第1463号使用基準参照) 溶接継手の場合でも柱面より500以上はなすこと。
 ○ 定着形状を下記以外とする場合は設計図書による。

○ 余長L_aは構造特記仕様書5-5項によるが、設計図に記載があれば、設計図を優先する。

○ 梁主筋は原則として通し筋とするが、拘束筋をあばら筋と同径同ピッチで落とし込む。

○ 第一あばら筋は柱面に入れその間を設計ピッチ以下に割り付ける。
 ○ あばら筋の加工は下図(ア)又は(イ)による。
 (ア) (イ) (ウ) (エ) (オ) (カ) (キ) (ク) (ケ) (コ) は同時打込みのスラブ付の場合に限る。
 ○ (ア) (イ) は梁成の大きい場合。
 ○ (ウ) はピッチ2φで交互配置とする。
 ○ 135°フックは180°フックでも可とする。
 ○ 溶接継手は帯筋の項を参照のこと。

※ ねじれ応力を受ける腹筋は定着長さL_dとする。

※ 柱面より梁成の範囲は、180°フック又は135°フックが望ましい。

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2) 2023年度版

4-4 補助筋

縦筋	D < 600	不要
	600 ≤ D < 900	2-D10 (1段)
	900 ≤ D < 1200	4-D10 (2段)
	1200 ≤ D	D10 ③300 以内
巾止筋	D10 ①1000 以内で割り付ける。	
受筋	D10 ①1000 以内で割り付ける。	

4-5 小梁及び片持梁

a) 小梁継手

定着

b) 片持梁継手

4-6 基礎梁及び基礎小梁

a) 基礎梁の継手及び定着

b) 基礎小梁の継手及び定着

4-7 梁の貫通補強

1. 補強筋は原則として工場製品(認定品)を使用する。
2. 認定品を使用しない場合は下図によるが、補強筋は設計図による。

5-1 鉄筋の折り曲げ及び定着

5-2 継手

継手位置は原則として下表によるが、右図でもよい。()はℓ ₁ /ℓ ₂ ≥ 4の長辺方向	標準継手位置
上端筋	短辺方向 B D
長辺方向 A B	
下端筋	短辺・長辺方向 A (B) C D

5-3 片持ちスラブ

5-4 補強筋

5-5 スラブ

5-6 壁

6-1 定着及び継手

6-2 壁配筋

6-3 補強筋

7-1 独立基礎

7-2 杭基礎

7-3 べた基礎継手及び定着

7-4 基礎と基礎梁

8-1 階段

8-2 土間コンクリート

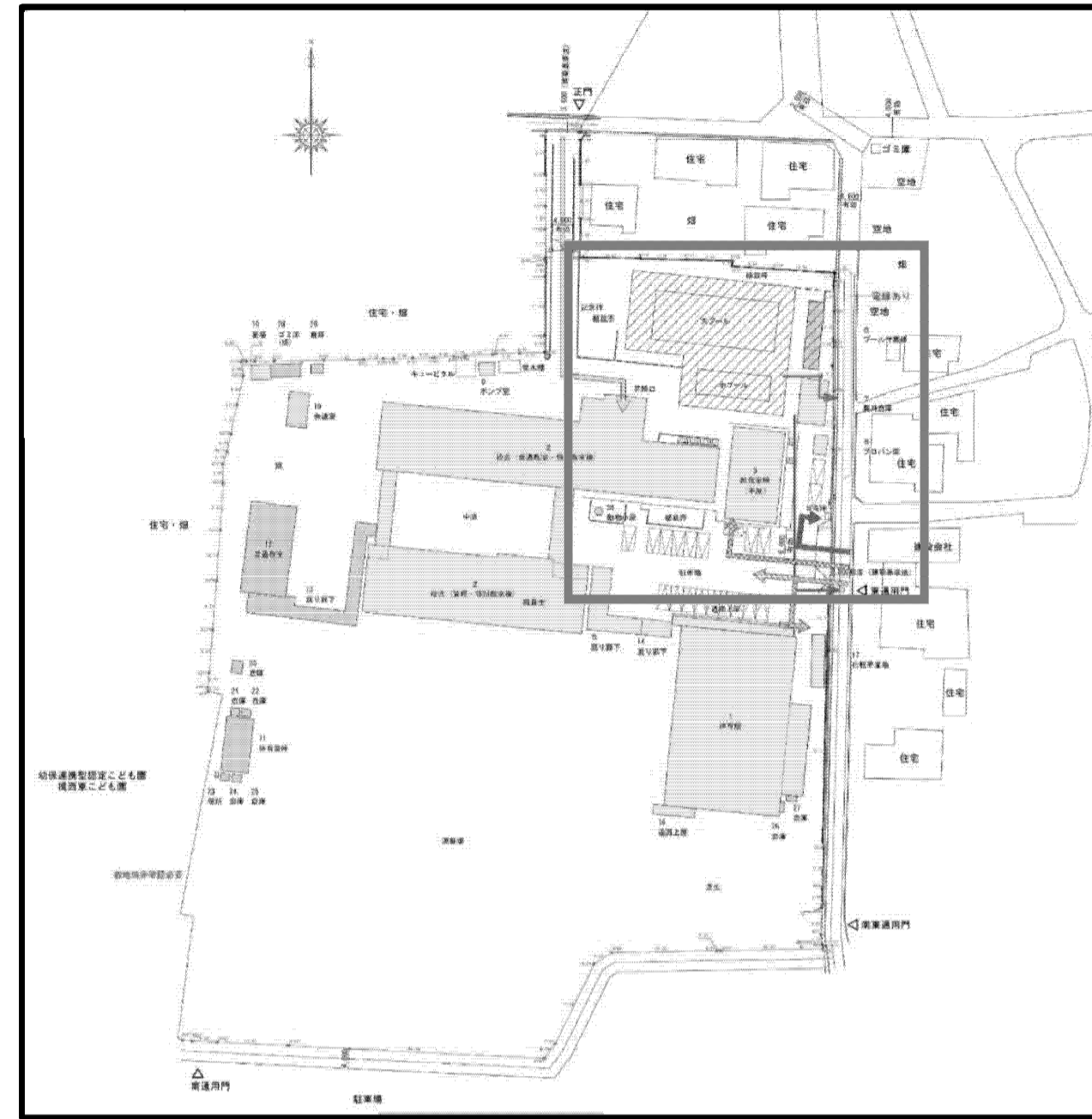
8-3 打増し補強

8-4 増築予定

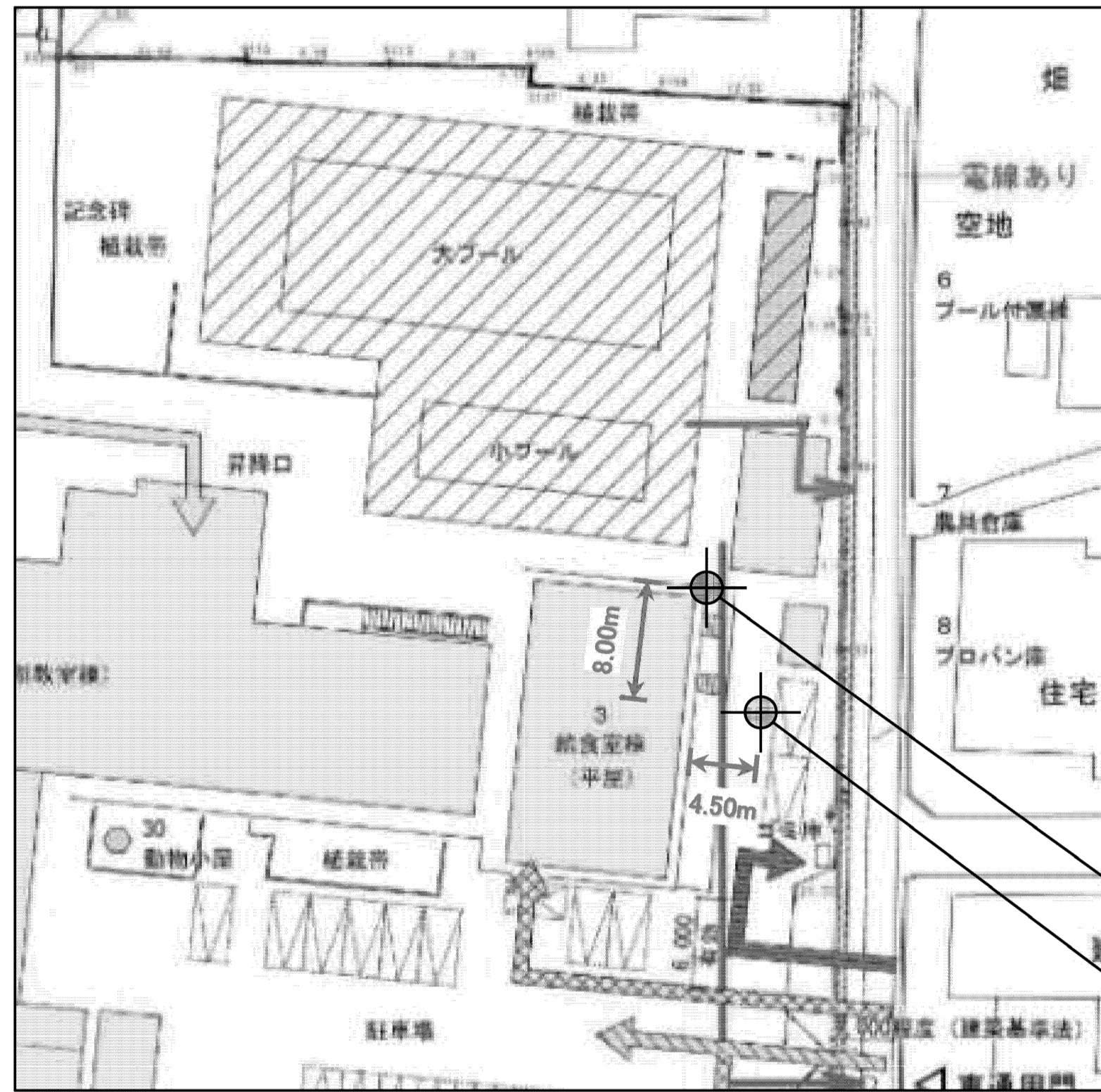
§8 その他

ボーリング柱状図

【全体図】



【調査位置拡大図】



KBM 既存建物基礎下天端
±0.00m

ボーリング No. 1
KBM-0.59m L=12.50m

調査位置平面図

調査名 揖西東小学校屋外プール整備工事 地質調査

ボーリングNo 3509029

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 1		調査位置	兵庫県たつの市揖西町清水新9		北緯	34° 51' 31.67"	
発注機関	三陸産業株式会社 電話(06-6447-0346)		調査期間	令和5年10月6日～5年10月7日		東経	134° 31' 16.01"	
調査業者名	尾崎 功一		現代理人	松下 彰		ボーリング責任者	向井 紀代蔵	
孔口標高	KBM -0.59m	角 上 180° 下 0°	方 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平	試験機	D o - D	
総掘進長	12.50m			使用機種	エンジン	ハンマー落下用具	自動落下装置	
					エンジン	ポンプ	KANO V6C	

設計GL
700
基礎下端
50
改良下端
設計GL-2,250
1,500

標尺	層高	厚	柱状	土質	色	相対	対密	記	標準貫入試験				原位置試験 深さ (m)	試験名 および結果	試料採取 深さ (m)	採取 番号	室内試験 方法	進 月 日	
									深さ (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	値							
0	0	0						GL-0.05mまでアスファルト GL-1.00mまで砂層 砂は細～中砂主体 歪角～歪円礫φ2～10mm程度全粒に 混入する 含水比小位	1.15	2	3	4	9						
1	-1.68	1.10	1.10	砂質シルト	暗褐色	硬い	細砂小位 細砂多量混入する	1.45											
2	-2.08	0.40	1.50	砂	暗褐色	硬い	歪角～歪円礫φ2～40mm程度主体 max φ60mm程度 砂は中～粗砂 含水比小位 GL-3.00m付近より含水比中位	2.15	12	13	14	39							
3				砂	暗褐色	硬い	歪角～歪円礫φ2～40mm程度主体 max φ60mm程度 砂は中～粗砂 含水比小位 GL-3.50mまで無水部	2.45											
4	-4.58	2.50	4.00	粘土質砂	暗褐色	中位	歪角～歪円礫φ2～35mm程度主体 砂は中～粗砂 粘土多量混入する 含水比中位	3.15	10	11	10	21							
	-5.08	0.50	4.50	シルト	暗褐色	中位	歪角～歪円礫φ2～40mm程度主体 max φ60mm程度 砂は中～粗砂 シルトの全粒に混入する 含水比中位	4.15	4	3	6	13							
5				シルト	暗褐色	中位	歪角～歪円礫φ2～40mm程度主体 max φ60mm程度 砂は中～粗砂 シルトの全粒に混入する 含水比中位	4.45											
6				シルト	暗褐色	中位	歪角～歪円礫φ2～40mm程度主体 max φ60mm程度 砂は中～粗砂 シルトの全粒に混入する 含水比中位	5.15	10	13	10	33							
7				シルト	暗褐色	中位	歪角～歪円礫φ2～40mm程度主体 max φ60mm程度 砂は中～粗砂 シルトの全粒に混入する 含水比中位	5.45											
8				シルト	暗褐色	中位	歪角～歪円礫φ2～40mm程度主体 max φ60mm程度 砂は中～粗砂 シルトの全粒に混入する 含水比中位	5.15	10	14	15	42							
9				シルト	暗褐色	中位	歪角～歪円礫φ2～40mm程度主体 max φ60mm程度 砂は中～粗砂 シルトの全粒に混入する 含水比中位	5.45											
10				シルト	暗褐色	中位	歪角～歪円礫φ2～40mm程度主体 max φ60mm程度 砂は中～粗砂 シルトの全粒に混入する 含水比中位	7.15	8	8	9	25							
11				シルト	暗褐色	中位	歪角～歪円礫φ2～40mm程度主体 max φ60mm程度 砂は中～粗砂 シルトの全粒に混入する 含水比中位	7.45											
12				シルト	暗褐色	中位	歪角～歪円礫φ2～40mm程度主体 max φ60mm程度 砂は中～粗砂 シルトの全粒に混入する 含水比中位	8.15	15	15	15	45							
				シルト	暗褐色	中位	歪角～歪円礫φ2～40mm程度主体 max φ60mm程度 砂は中～粗砂 シルトの全粒に混入する 含水比中位	8.45											
				シルト	暗褐色	中位	歪角～歪円礫φ2～40mm程度主体 max φ60mm程度 砂は中～粗砂 シルトの全粒に混入する 含水比中位	9.15	10	15	15	40							
				シルト	暗褐色	中位	歪角～歪円礫φ2～40mm程度主体 max φ60mm程度 砂は中～粗砂 シルトの全粒に混入する 含水比中位	9.45											
				シルト	暗褐色	中位	歪角～歪円礫φ2～40mm程度主体 max φ60mm程度 砂は中～粗砂 シルトの全粒に混入する 含水比中位	10.15	15	17	22	54							
				シルト	暗褐色	中位	歪角～歪円礫φ2～40mm程度主体 max φ60mm程度 砂は中～粗砂 シルトの全粒に混入する 含水比中位	10.45											
				シルト	暗褐色	中位	歪角～歪円礫φ2～40mm程度主体 max φ60mm程度 砂は中～粗砂 シルトの全粒に混入する 含水比中位	11.15	16	18	21	55							
				シルト	暗褐色	中位	歪角～歪円礫φ2～40mm程度主体 max φ60mm程度 砂は中～粗砂 シルトの全粒に混入する 含水比中位	11.45											
				シルト	暗褐色	中位	歪角～歪円礫φ2～40mm程度主体 max φ60mm程度 砂は中～粗砂 シルトの全粒に混入する 含水比中位	12.15	18	18	20	56							
				シルト	暗褐色	中位	歪角～歪円礫φ2～40mm程度主体 max φ60mm程度 砂は中～粗砂 シルトの全粒に混入する 含水比中位	12.45											

地盤改良 特記仕様書

§1 工法概要

本事業は、ウルトラコラム工法による、地盤改良地業であり、スラリー状のセメント系固化材を地中に注入しながら、ウルトラコラム専用共回り防止翼（十字型）を装置した攪拌装置を用いて、原地盤を機械的に混合攪拌し、固化材の科学反応により所要の強度を持つ改良体を築造する工法である。

§2 特記事項

本工法は、攪拌能力・攪拌径・品質(変動係数)に対して「建築技術性能認証委員会」にて証明された技術性能証明取得工法とする。
また、事前にその証明書を管理者に提出し認証を得ることとする。

§3 一般事項

・本事業は、本特記仕様書によるほか
「2018年版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」
(財団法人 日本建築センター、以下指針という)による

<1> 施工業者

本工事の施工業者は、地盤改良工法の施工技術及び計測装置の取り扱いに精通したもので、ウルトラコラム工法協会に所属する指定施工会社とする。

<2> 設計変更

コラム径、掘削深度(改良長+空堀長)、本数配置等は、設計図書による。
ただし、コラムの径・長さ・本数・位置及びセメントスラリーの配合等について土質や地盤状況により変更した方が適切と判断される場合は、監督員の承認の上変更することができる。

§4 コラム仕様

<1> 設計基準強度
コラムの設計基準強度は $F_c = 1400$ kN/m²とする。

<2> 固化材

固化材の配合は、原則として改良部分の検査対象土を採取し、3種類以上の添加量にて室内配合試験を行い試験結果と配合強度を基に添加量を決定する。

※使用する固化材は、六価クロム等の土壌環境基準に適合することを確認する。

<3> 配合強度

配合強度 X_f は、設計基準強度 F_c と変動係数・採取ヶ所数により割増係数 α_t を用いて、次式による。 $X_f = \alpha_t \times F_c$

割増係数 α_t は、合格率 80% とした下表による。

採取ヶ所数 N	1	2	3	4~6	7~8	9~	
変動係数 V_c	25%	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651	1.594
	30%	2.597	2.240	2.095	1.961	1.869	1.792
	35%	3.160	2.649	2.448	2.265	2.265	2.037

<4> 室内配合強度

室内配合強度 X_l は、配合強度 X_f を現場/室内強度比 α_{fl} で除して、次式による。

$$X_l = X_f / \alpha_{fl} \quad (\alpha_{fl} = 0.7)$$

<5> 固化材液の配合

固化材添加量	300 kg/m ³
水/固化材比	80 %

§5 施工監理

※施工手順に従って次の仕様で行う。

- ① 固化材スラリーの吐出量
 - ② ロッドの鉛直性
 - ③ オーガー回転数
 - ④ 掘削深度・速度及び引上げ深度・速度
 - ⑤ トルク値またはオーガー電流値
- ※コラムの芯ズレは100mm以内とする。

§6 品質管理

<1> 調査ヶ所(検査対象に対して)

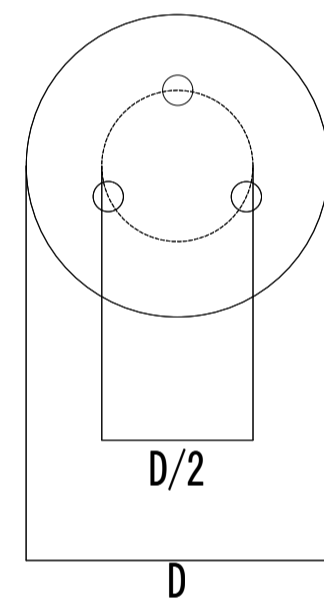
- ① 検査対象層群は概ねコラム100本を1単位とし、層厚50cm以上の土層毎に検査対象層を決める。
- ② 検査対象層は(砂質土シルト)であり設計対象層を(粘性土)とする。
- ③ 検査手法は強度のバラツキを想定する場合は検査手法Aによる。
- ④ 調査ヶ所数(検査対象群に対して)

検査手法A	頭部コア試験	4箇所
	全長コア試験	4箇所

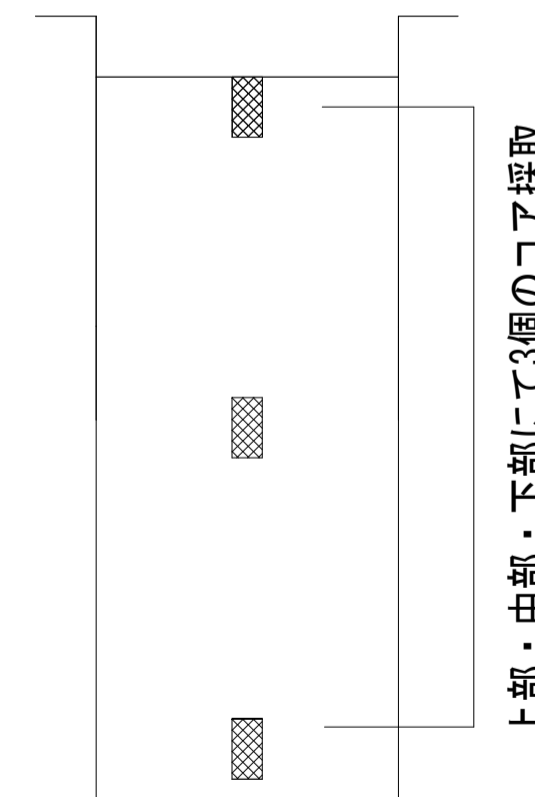
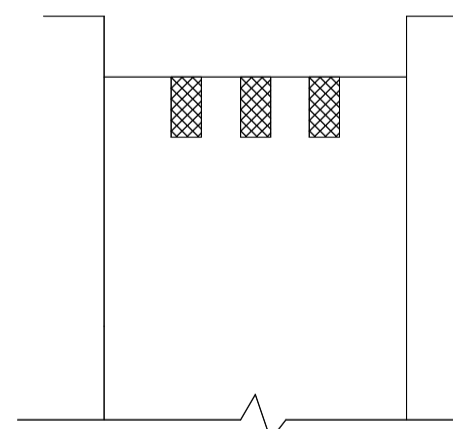
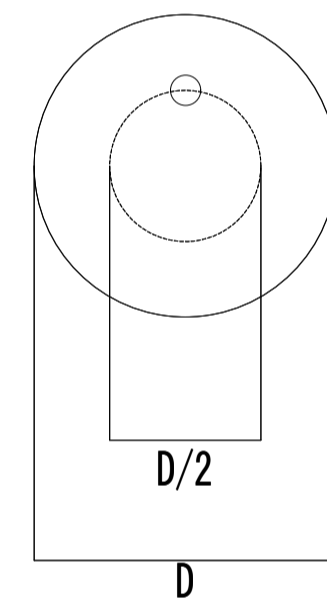
※頭部コアは、1箇所当り3個のコア採取を標準とする。
※全長コアは、上中下にて3個のコア採取を標準とする。

<2> 採取位置

頭部コア



全長コア



<3> ボーリングコア採取率(連続性の確認)
コア採取率は、全長に対して砂質土系の95%以上、粘性土系で90%以上とし、1m当りコア採取率は、砂質土系で、90%以上、粘性土系で85%以上とする。

<4> 合否の判定

- ① 設計対象層について採取ヶ所をNとする。1箇所あたり3個の供試体を採取し、強度をその箇所の強度とする。
- ② 一軸圧縮試験は第三者で行うものとする。
- ③ 検査手法Aによる品質検査
合否の判定は設計対象層におけるNヶ所(採取ヶ所数)の一軸圧縮試験結果が、下式を満足する場合を合格と判定する。

$$X_N \geq X_L = F_c + K_a \cdot \sigma_d = F_c + K_a \{ F_c \cdot V_d / (1 - 1.3V_d) \}$$

X_N : Nヶ所の一軸圧縮強度の平均値

X_L : 合格判定値

F_c : 設計基準強度

K_a : 合格判定係数

σ_d : 標準偏差

V_d : 変動係数、品質確認書より想定する。

(合格判定係数)

採取ヶ所数 N	1	2	3	4~6	7~8	9~
合格判定係数 k_a	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

ウルトラコラム工法 (GBRC性能証明 第08-06号 改)

令和6年度		縮尺	S-06 構造
名称工事名	播西東小学校屋外プール改築工事		
図名	地盤改良特記仕様書(参考図)	-	

梁貫通孔補強材 ダイヤレンNS設計・施工標準仕様書

(一財)日本建築センター BCJ 評定-RC0124-08

1. 一般事項

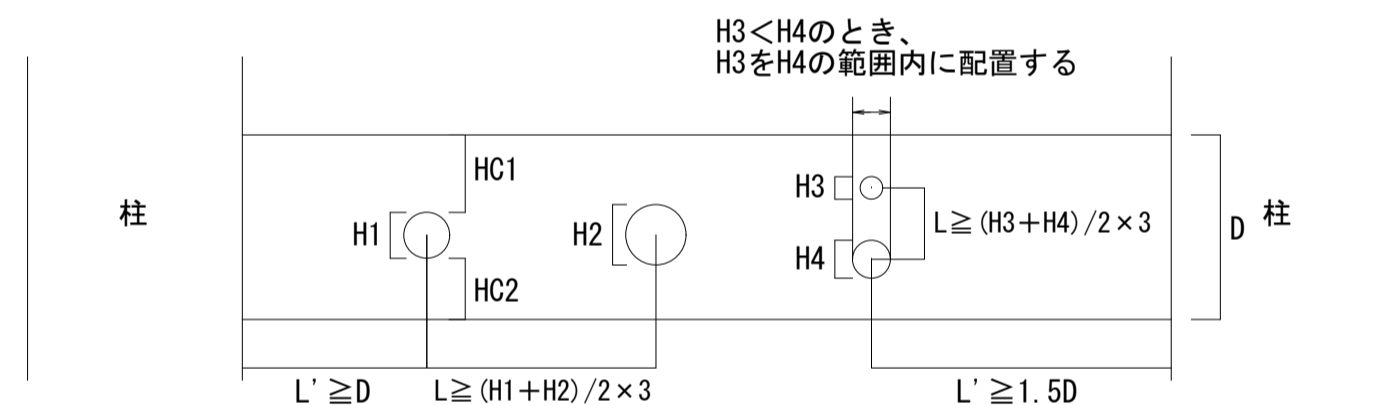
- (1) 本仕様書は、ダイヤレンNSの標準仕様を定めるものであり、各設計における特記仕様は、本仕様書に優先して適用する。
(2) 本設計仕様に記載のない事項については、建築基準法・同施行令、(一財)日本建築センター及び(一社)日本建築学会の関連する諸指針や諸標準、ダイヤレンNS技術マニュアルによる。

2. 使用材料の適用範囲

- (1) コンクリート
Fc=21~100N/mm^2
(2) 鉄筋
・主筋: 基準強度295~490N/mm^2のJIS鉄筋、490を超え685N/mm^2以下の大臣認定品
・あばら筋: 基準強度295~490N/mm^2のJIS鉄筋、490を超え1275N/mm^2以下の大臣認定品
・ダイヤレンNS: KSS785-K (MSRB-0004)、MK785 (MSRB-0067)

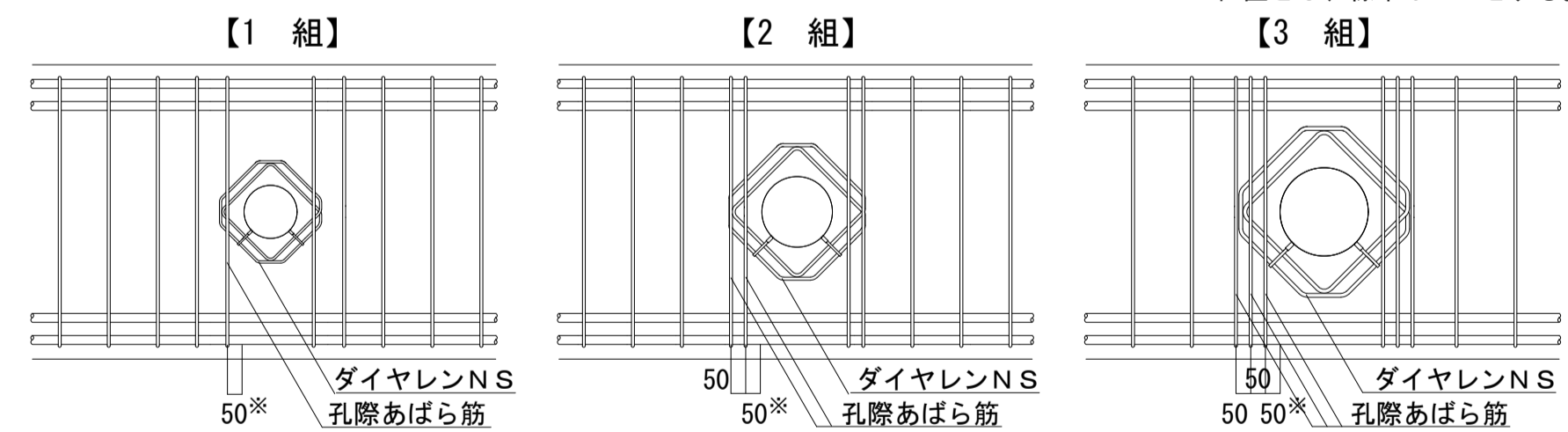
3. 貫通孔適用範囲

- (1) 開口の形状は円形または多角形とし、多角形の場合はその外接円を開口とみなす。
(2) 開口径 (H) は開口外径とし、750mm以下かつ梁せいの1/3以下とする。ただし、上下に複数の開口を設ける場合は、当該複数孔の開口径の合計は梁せいの1/3以下とする。
(3) 隣接する開口の水平及び鉛直方向中心間距離 (L) は開口径の3倍以上とし、隣接する開口の径が異なる場合は、両開口径の平均値の3倍以上とする。また、上下に複数の開口を設ける場合には、最大径の範囲内にその他の開口を配置することとする。
(4) ヘリあき (HC1, HC2) の最小寸法は下式による。
ヘリあき ≧ (ダイヤレンNSのE寸法-開口径H)/2+ダイヤレンNSの鉄筋径/2+あばら筋径+かぶり厚さ(40mm以上)
ただし、ダイヤレンNSをあばら筋の内側に施工することとする。
(5) 水平方向の開口位置は、柱際から開口中心までの距離 (L') を梁せいの1.5倍以上とする。
(6) 上下に複数の開口を設ける場合の水平方向の開口位置は、L' を梁せいの1.5倍以上とする。



H1, H2 ≦ 750mm かつ H1, H2 ≦ D/3
H3, H4 ≦ 750mm かつ Σ (H3, H4) ≦ D/3
HC1, HC2 ≧ (ダイヤレンNSのE寸法-H1)/2+ダイヤレンNSの鉄筋径/2+あばら筋径+かぶり厚さ(40mm以上)

4. 開口部あばら筋の配筋要領



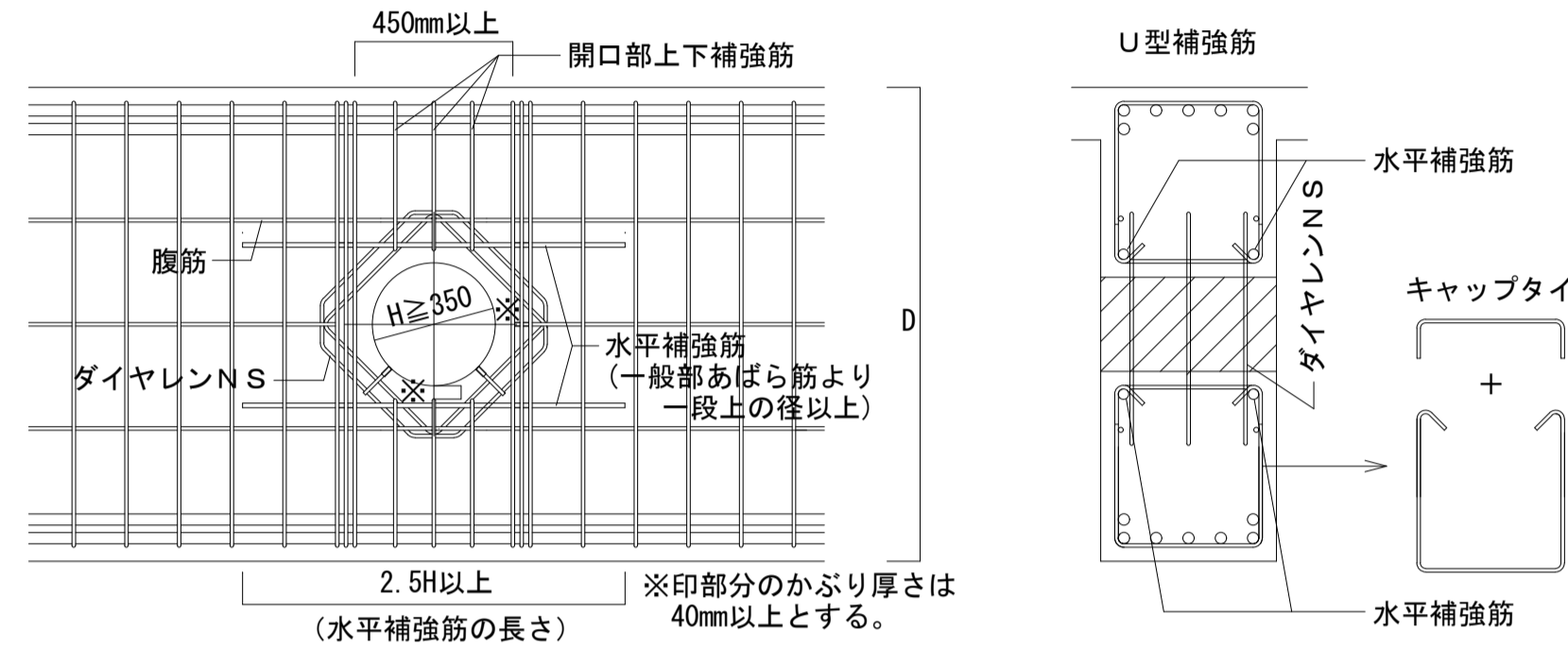
- (1) 開口部あばら筋の組数は、開口が無いとした場合に配置されるあばら筋組数以上とする。
(2) 孔際あばら筋の組数は、下表の標準組数以上とする。

【開口に対して片側に配置する孔際あばら筋の標準組数】

Table with 3 columns: 開口径, 一般部あばら筋比 (p%), 1%未満, 1%以上. Rows show hole diameters H < 150, 150 <= H < 300, 300 <= H.

5. 開口部上下補強要領 (350φ以上の場合)

- (1) 開口の左右に配筋する1組目の孔際あばら筋の間隔が梁せいの1/2以上または450mm以上 (開口径で350mm以上) になる場合は、開口部上下補強筋と水平補強筋により主筋を拘束するための補強を行う。
(2) 開口部上下補強筋は、一般部あばら筋と同径以上かつ同鋼種とし、一般部あばら筋のピッチ以下となるように配筋する。(丸鋼及びビュンメントは不可)
(3) 梁幅が400mm未満もしくはコ型補強筋の梁主筋側重ね長さが25d (dは鉄筋の呼び径) 以下の場合には、U型またはΠ型の形状で補強を行う。
(4) 水平補強筋は、一般部あばら筋より1段上の径以上とし (SD295A程度)、開口径の2.5倍以上の長さとする。



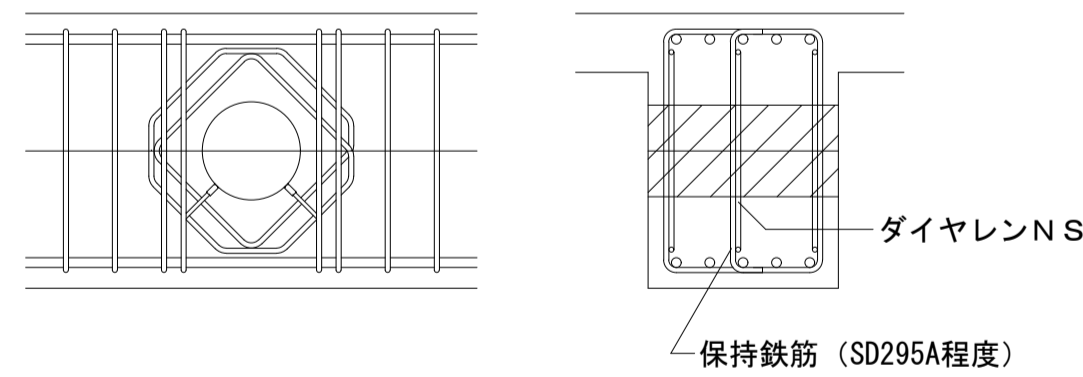
開口上下部分の補強要領 (U型補強筋で補強する場合の例)

6. 施工要領例

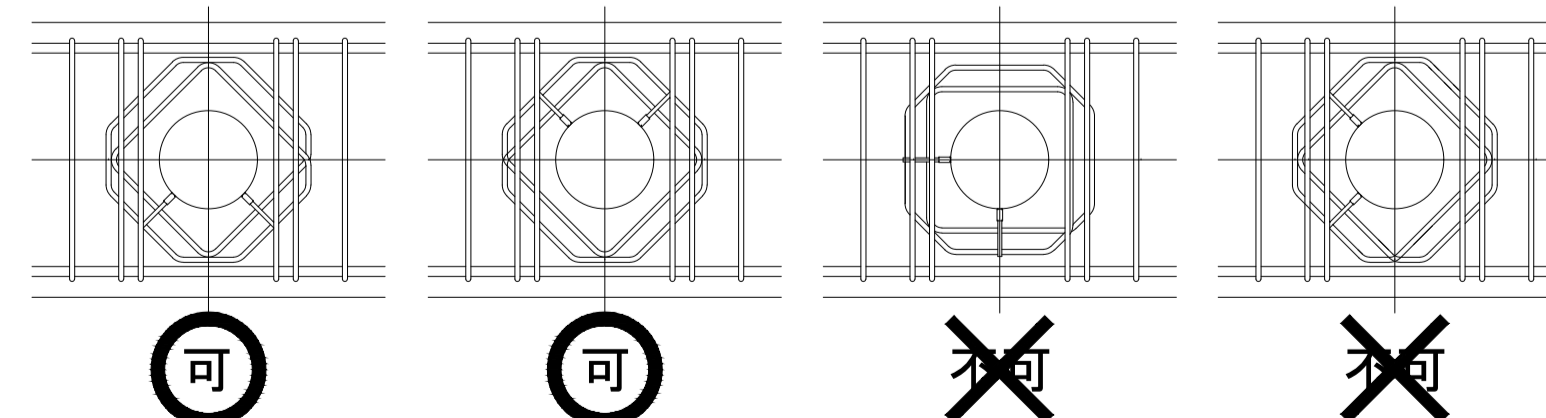
- (1) 型枠上に開口の位置と開口径等を墨出しする。
(2) 補強設計に必要な孔際あばら筋と一般部あばら筋を配筋する。孔際あばら筋は、1組目は必要なかぶり厚さを確保した所定の位置に配置し、2組目以降はそれぞれ50mmピッチで配筋する。孔際あばら筋と一般部あばら筋の間隔は、設計ピッチ以下とする。
(3) ダイヤレンNSを左右の孔際あばら筋の間から挿入し、孔際あばら筋等に4か所以上結束する。
(4) スリーブをダイヤレンNSのスリーブ受け筋にセットし、針金等で固定する。
(5) 孔際あばら筋を配筋するのが困難な場合は、束ね配筋にすることができる。(束ね配筋は、2組までは束ねることができるが、3組以上は束ねてはならない。)
(6) 開口部周囲のそれぞれの鉄筋のかぶり厚さが適正に確保されていることを確認する。

7. 施工における注意事項

- (1) 補強設計によってダイヤレンNSが3枚以上になった場合で中子筋が無い場合は下図のように保持鉄筋等に結束する。



- (2) ダイヤレンNSはあばら筋に対して斜め45度の傾きをもって必要な耐力が期待できるため、下図の「可」のように施工すること。

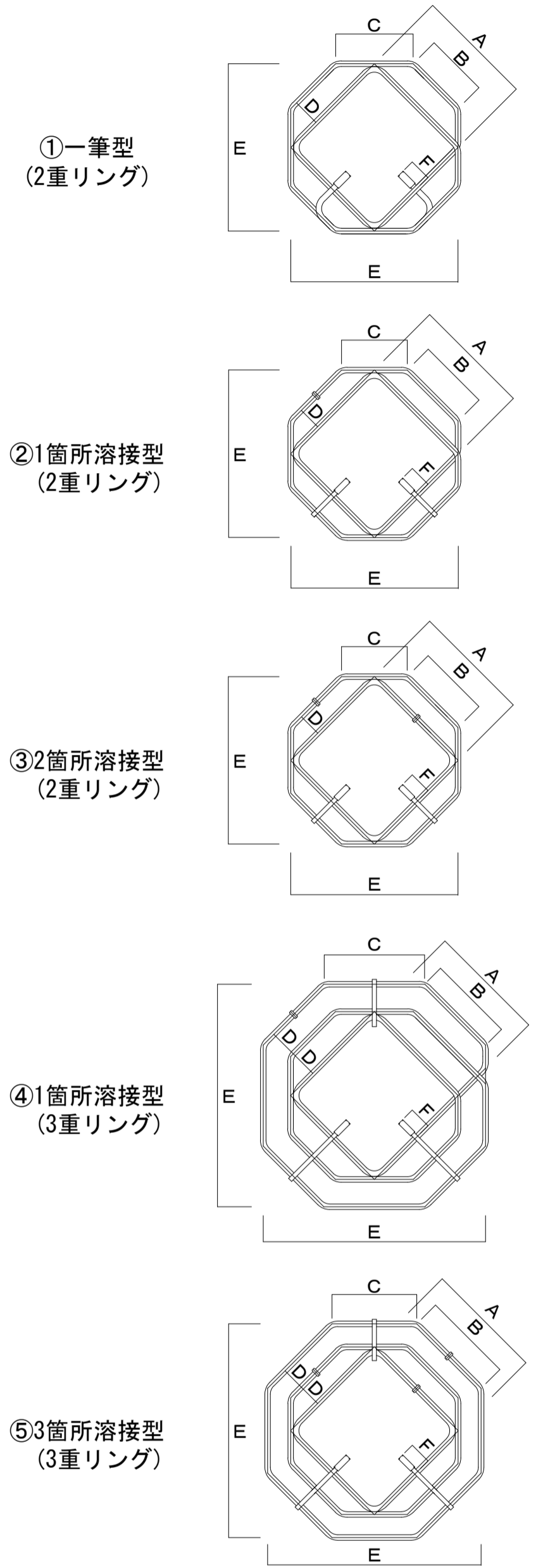


8. ダイヤレンNS標準製品寸法表

Table with columns: スリーブ径 (対径), 型, サイズ, 寸法 (A-F), 形状, 重量 (kgf/枚), Ho. It lists dimensions for various hole diameters (100φ to 750φ).

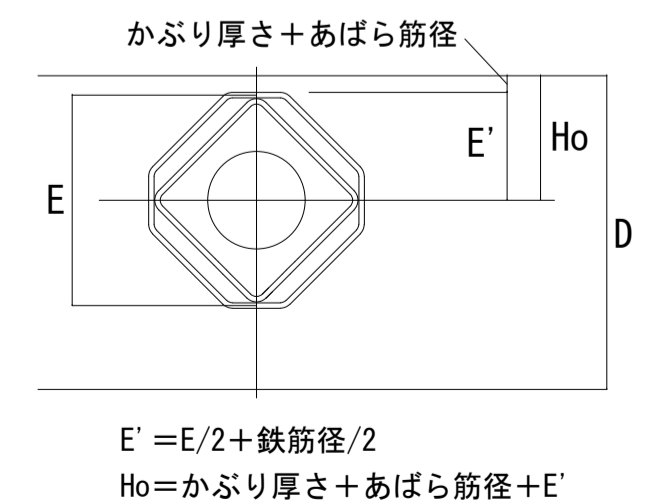
※対応径は、スリーブ面とダイヤレンNS内リング筋の内側面までのかぶり厚さを40mmとした場合の開口外径
※表中Hoは、かぶり厚さ40mm、あばら筋16mmとした場合のコンクリート面から開口中心までの距離
※寸法は、鉄筋の芯-芯間とする

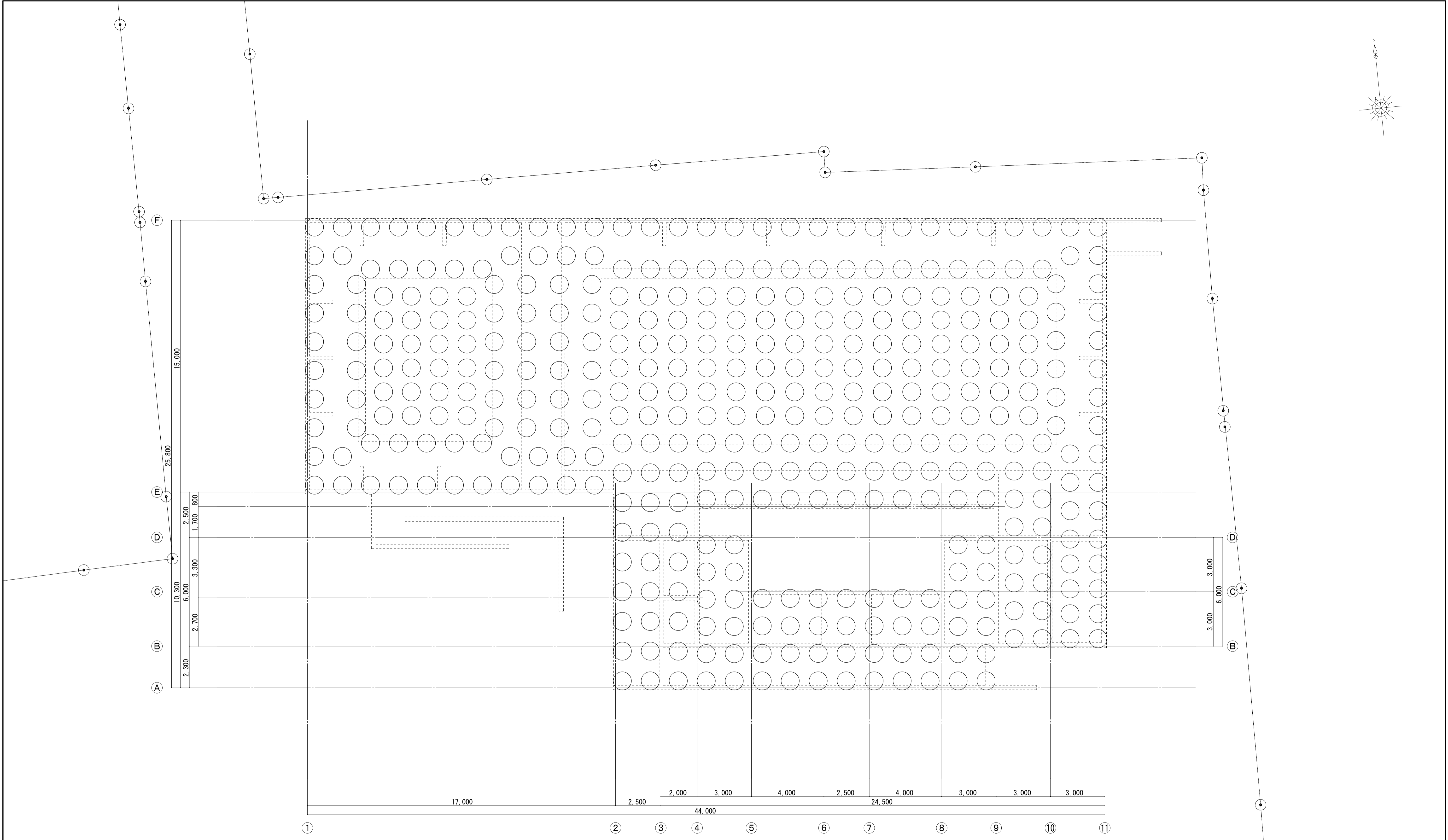
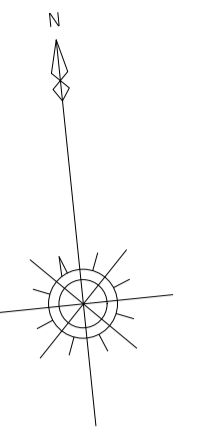
【ダイヤレンNS 標準形状】



※ヘリあきの最小寸法

ダイヤレンNSを使用した場合のコンクリート面から開口中心までの距離 (Ho) を左表に示す。(かぶり厚さ40mm、あばら筋径を16mmと仮定した数値)



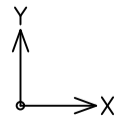


	大プール	小プール	その他
コラム径		φ 1000 mm	
掘削深度		SGL - 2.25 m	
改良天端	SGL - 0.20 m	SGL + 0.20 m	SGL - 0.75 m
改良長	L = 2.05 m	L = 2.45 m	L = 1.50 m
本数	90 本	24 本	250 本
長期地耐力	140 kN/m ²		
設計基準強度	F _c = 1400 kN/m ²		
想定添加量	300 kg/m ³		

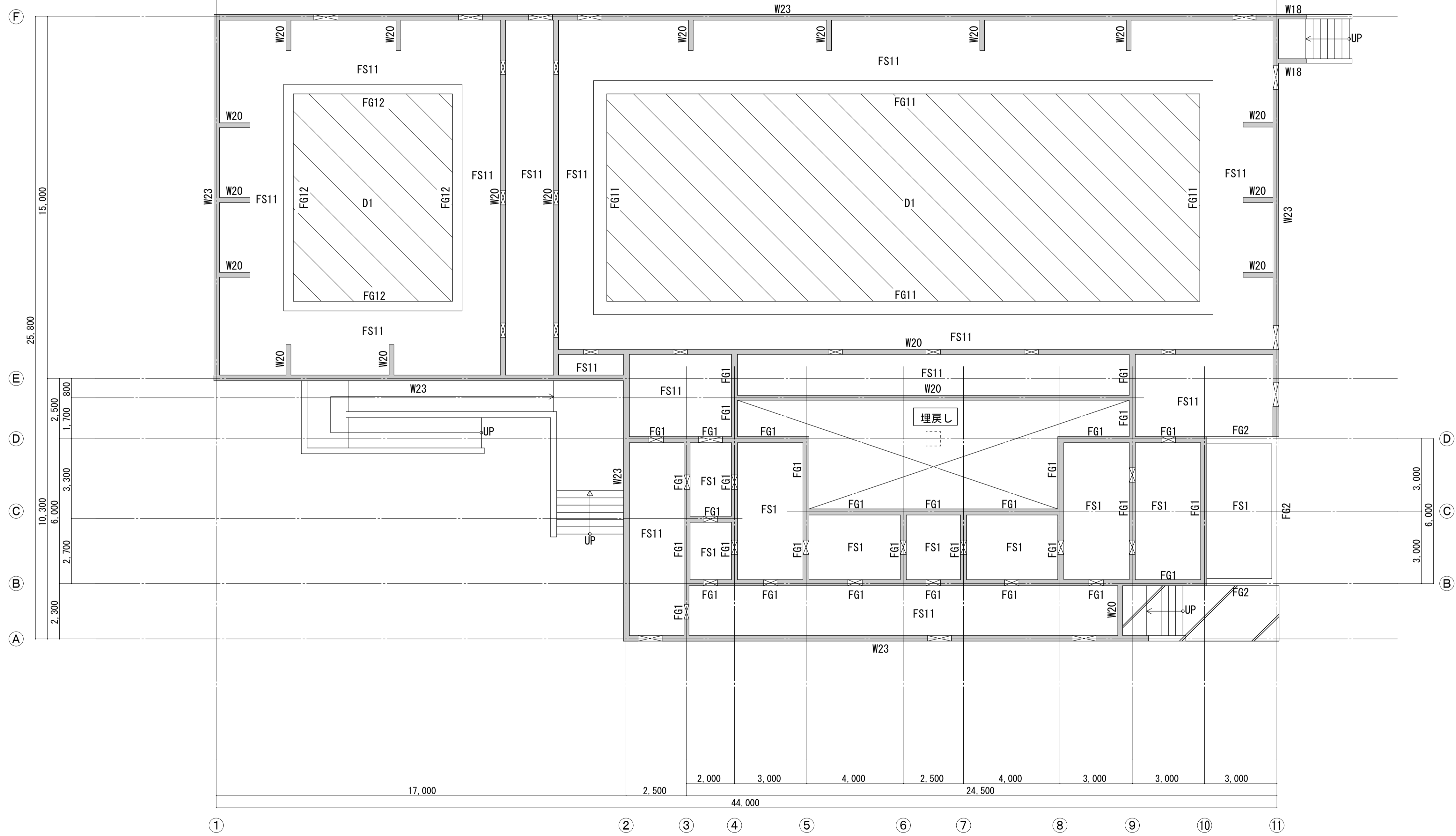
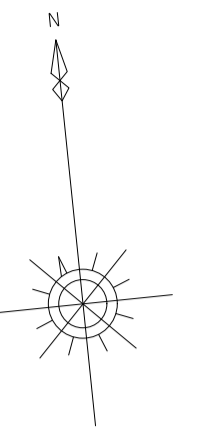
地盤改良伏図 S=1/100

特記なき限り
 ・B.No.1 はボーリング調査位置を示す。

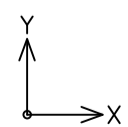
B.No.1



令和6年度		縮尺	S-08 構造
名称工事名	掘西東小学校屋外プール改築工事		
図名	地盤改良伏図	1/100	

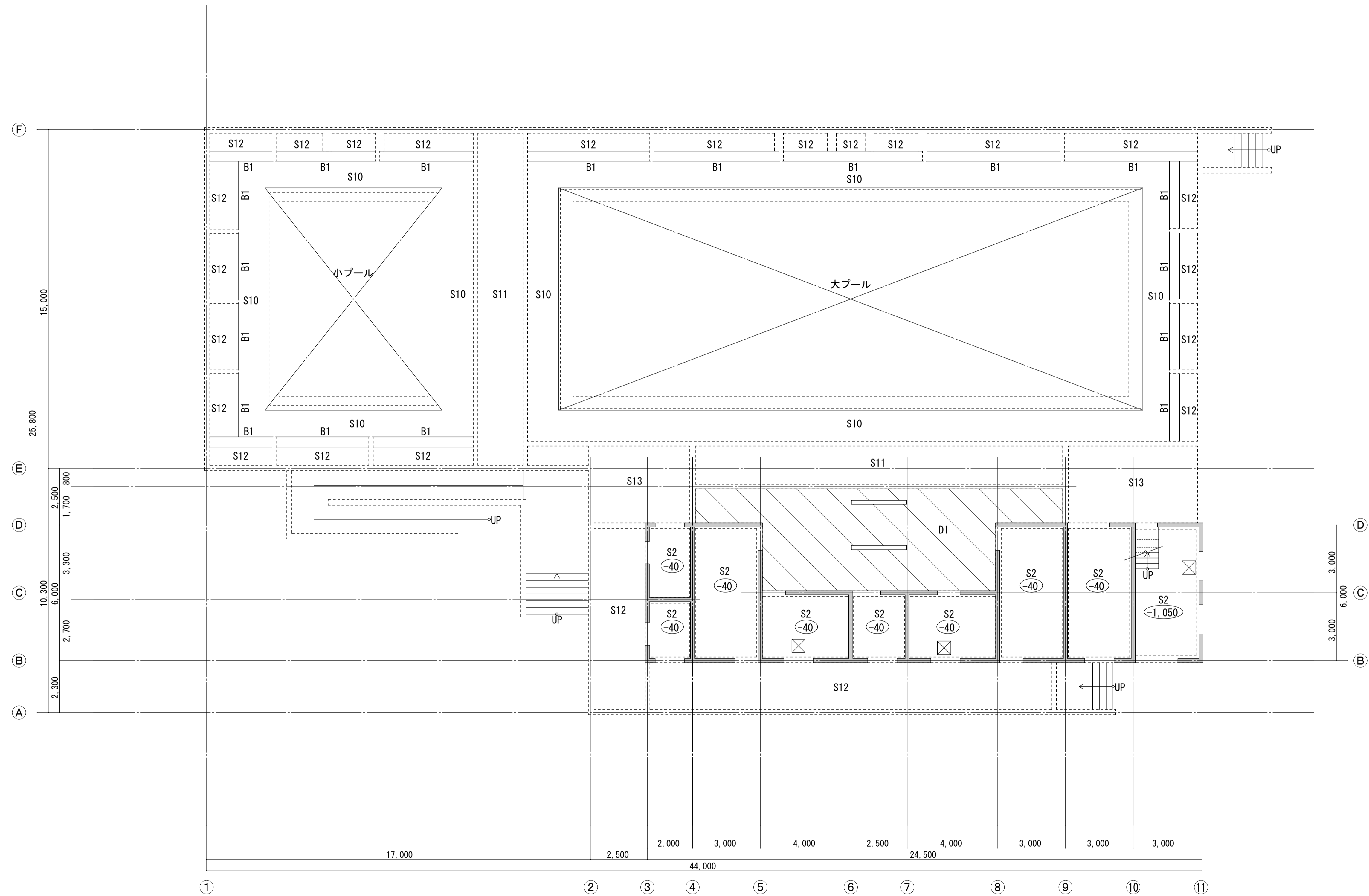
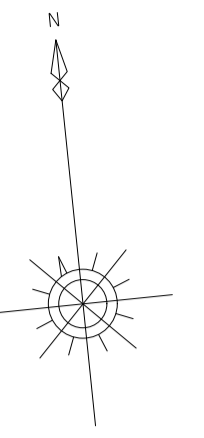


基礎伏図 S=1/100



使用材料
 ・コンクリート : Fc21
 ・鉄筋 : D10~D16 : SD295、D19~D25 : SD345

令和6年度		縮尺	S-09 構造
名称工事名	播西東小学校屋外プール改築工事		
図名	基礎伏図	1/100	

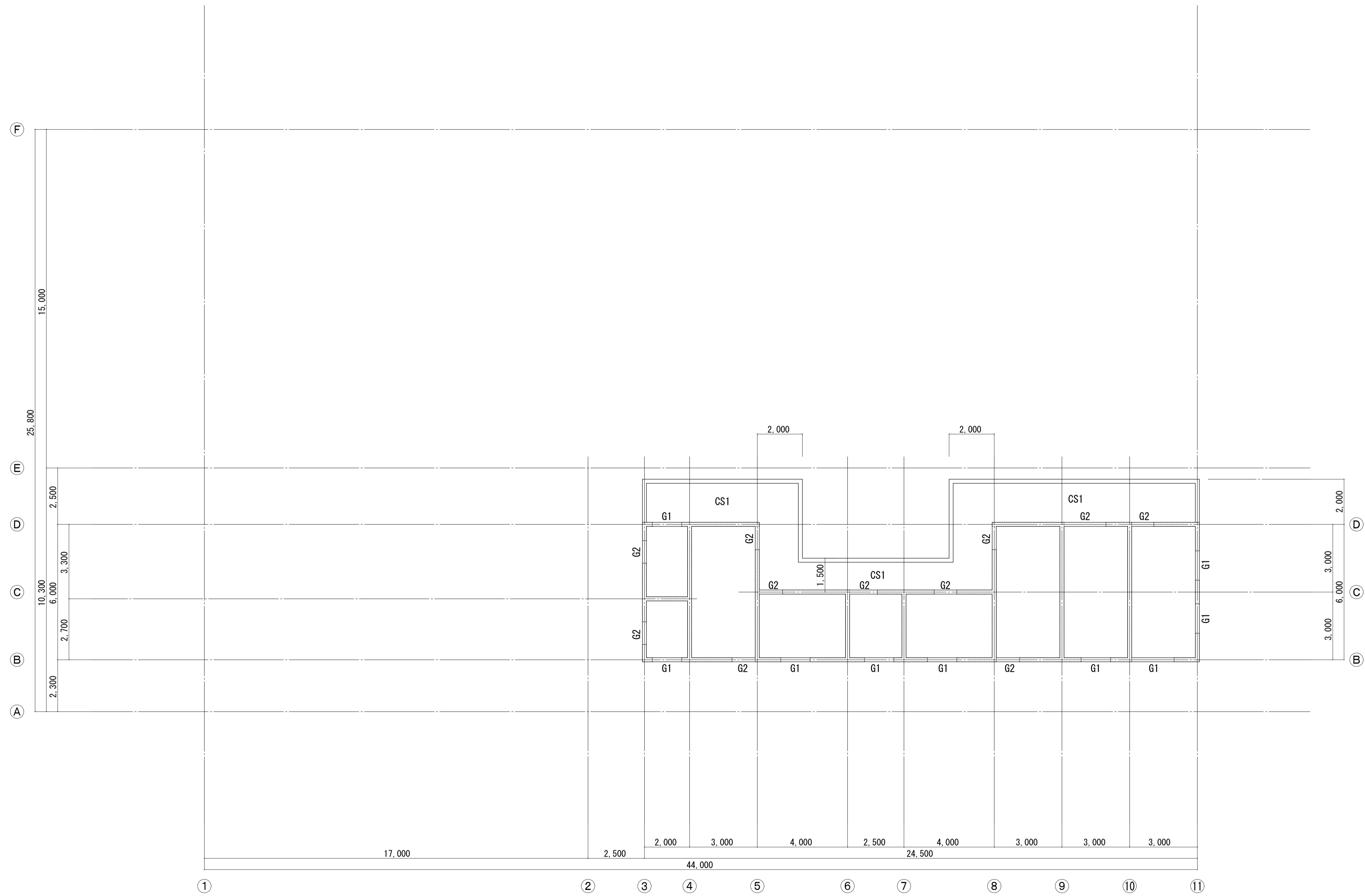
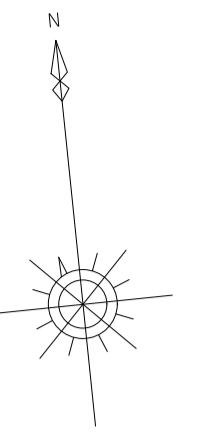


1階土間、壁伏図 S=1/100

- 特記なき限り
- ・壁はW18とする。
 - ・○はF.Lからのスラブ天端を示す。

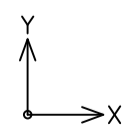
使用材料
 ・コンクリート : Fc21
 ・鉄筋 : D10~D16 : SD295、D19~D25 : SD345

令和6年度		縮尺	S-10 構造
名称工事名	播西東小学校屋外プール改築工事		
図名	1階土間、壁伏図	1/100	



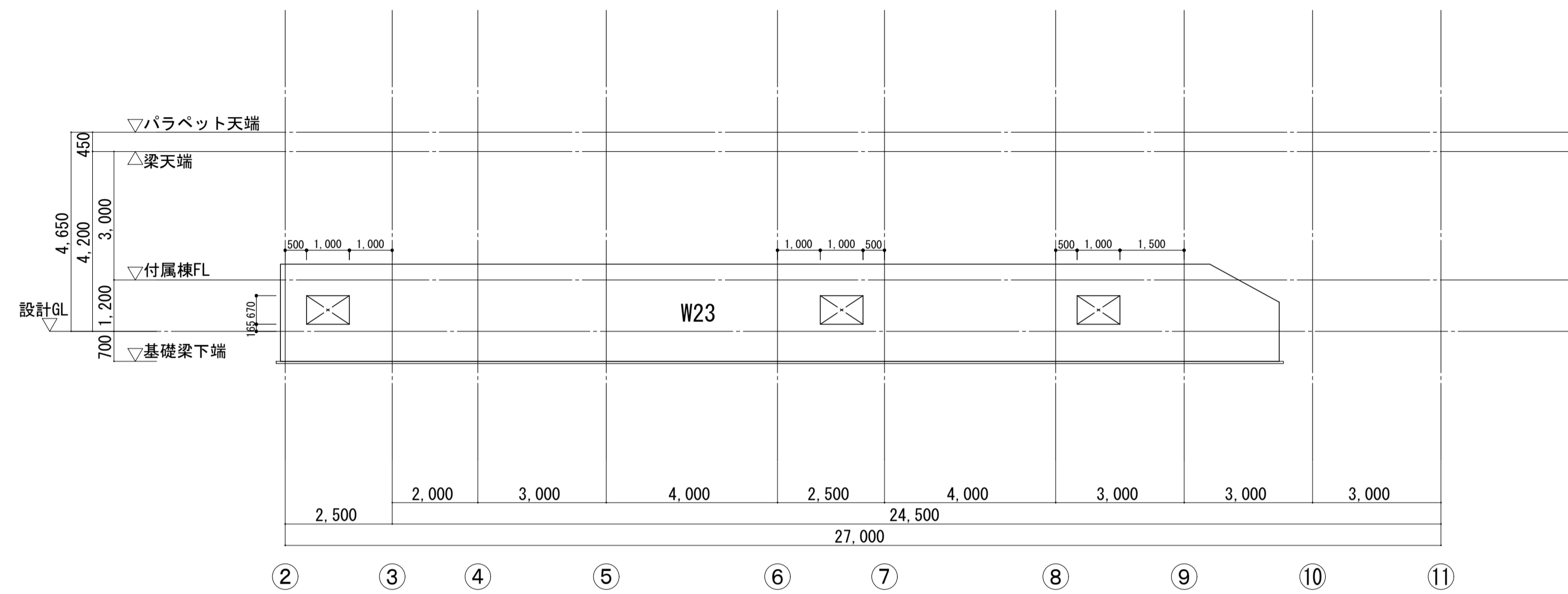
屋根伏図 S=1/100

特記なき限り
・スラブはS 1とする。

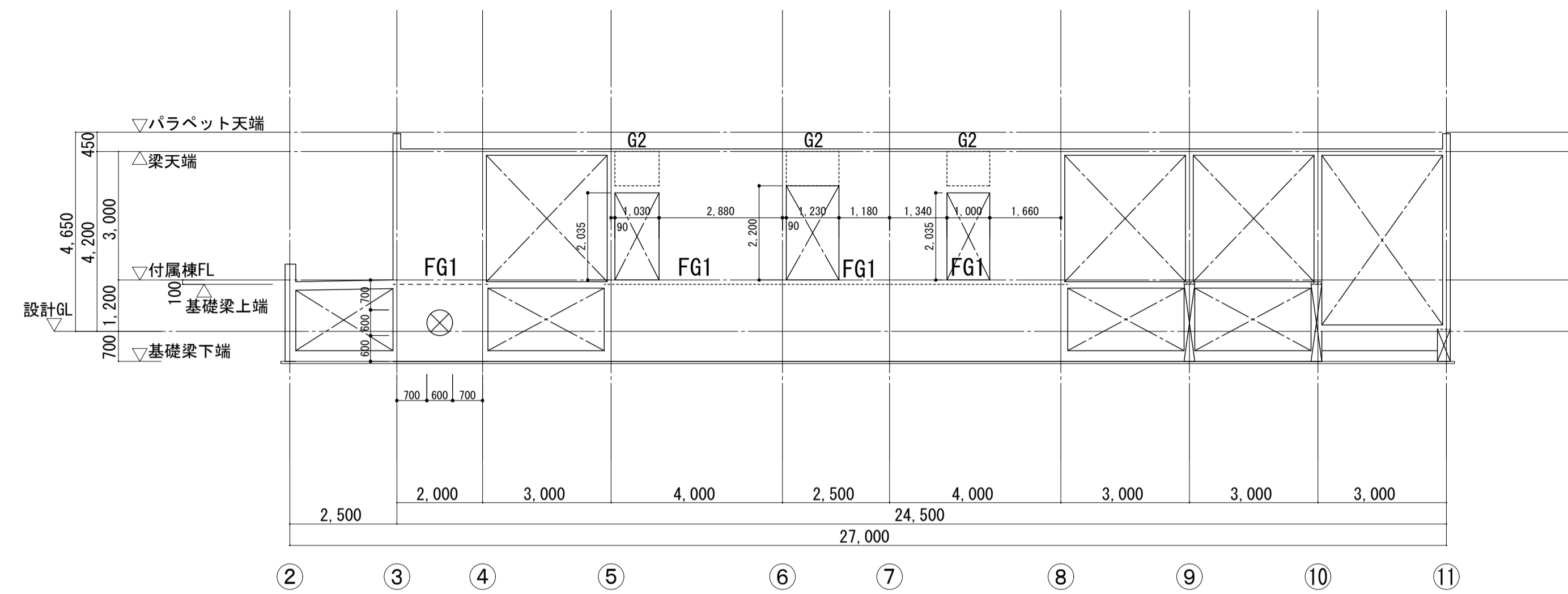


使用材料
・コンクリート : Fc21
・鉄筋 : D10~D16 : SD295、D19~D25 : SD345

令和6年度		縮尺	S-11 構造
名称工事名	播西東小学校屋外プール改築工事		
図名	屋根伏図	1/100	

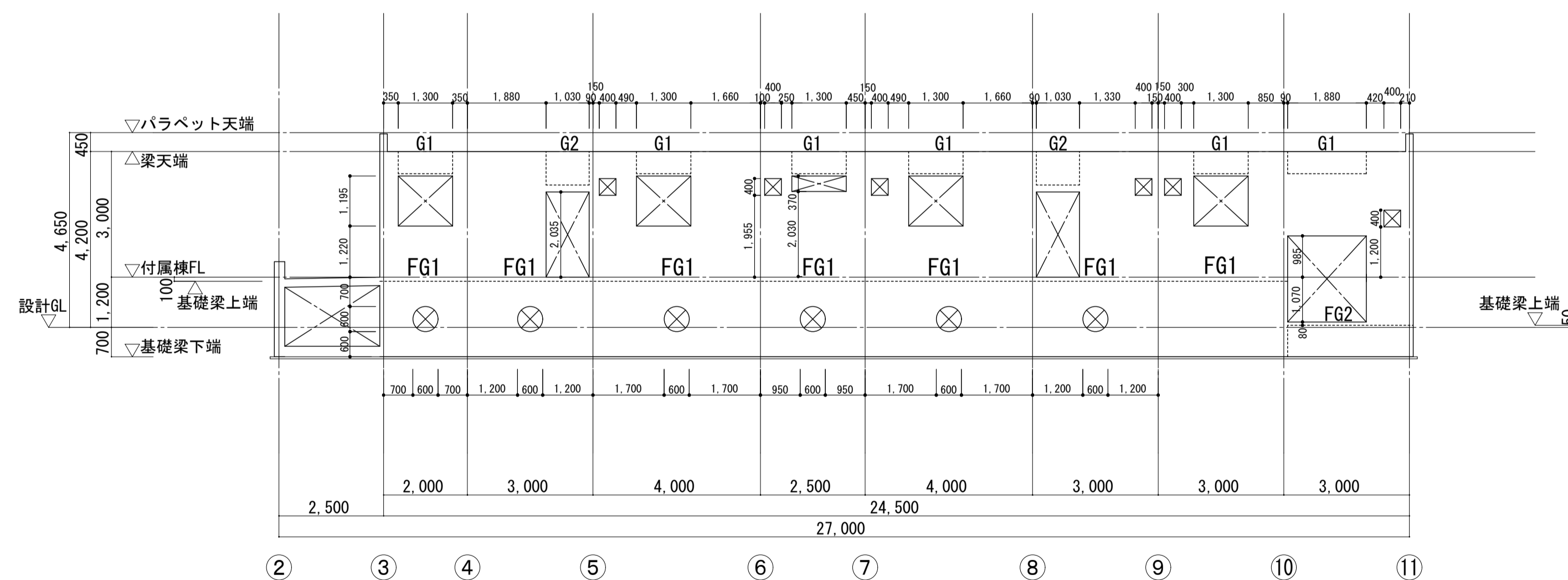


A通り軸組図 S=1/100



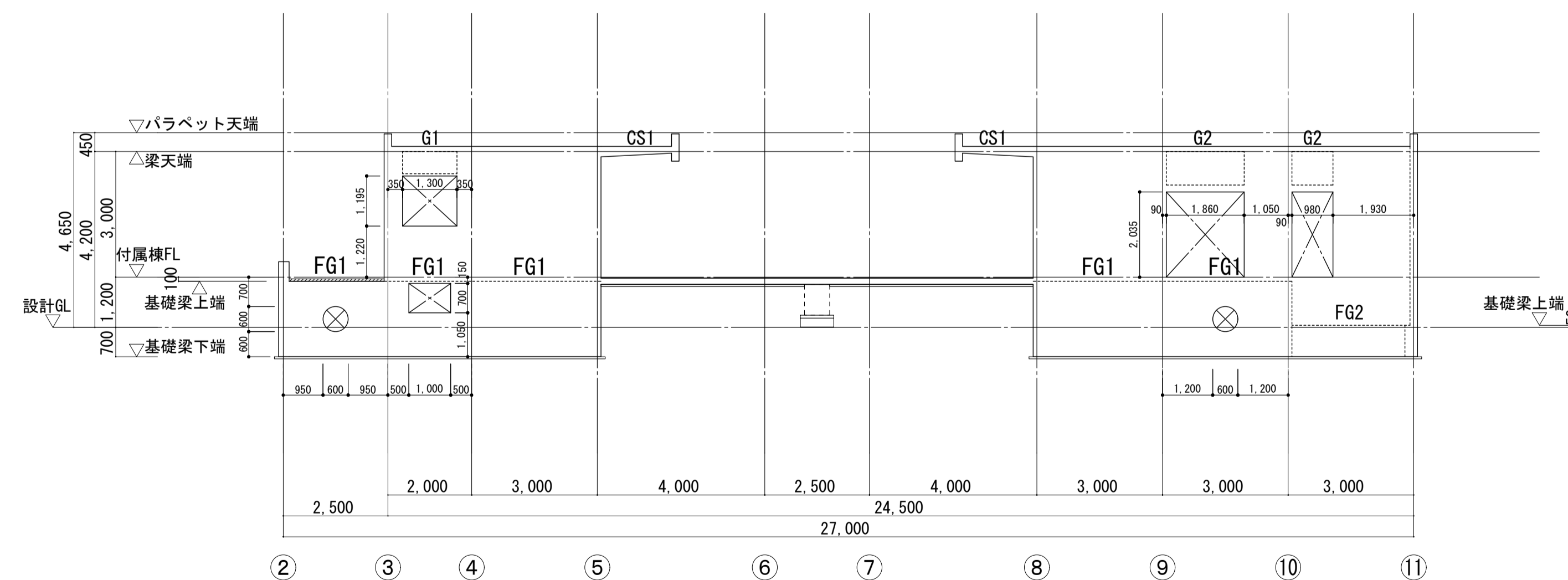
C通り軸組図 S=1/100

特記なき限り
・壁はW18とする。



B通り軸組図 S=1/100

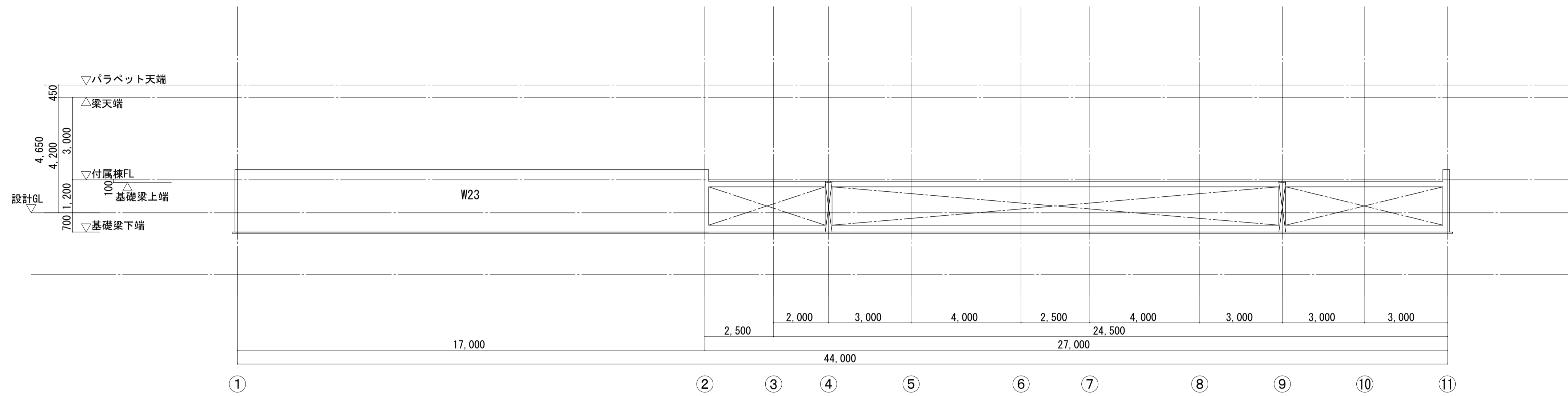
特記なき限り
・壁はW18とする。



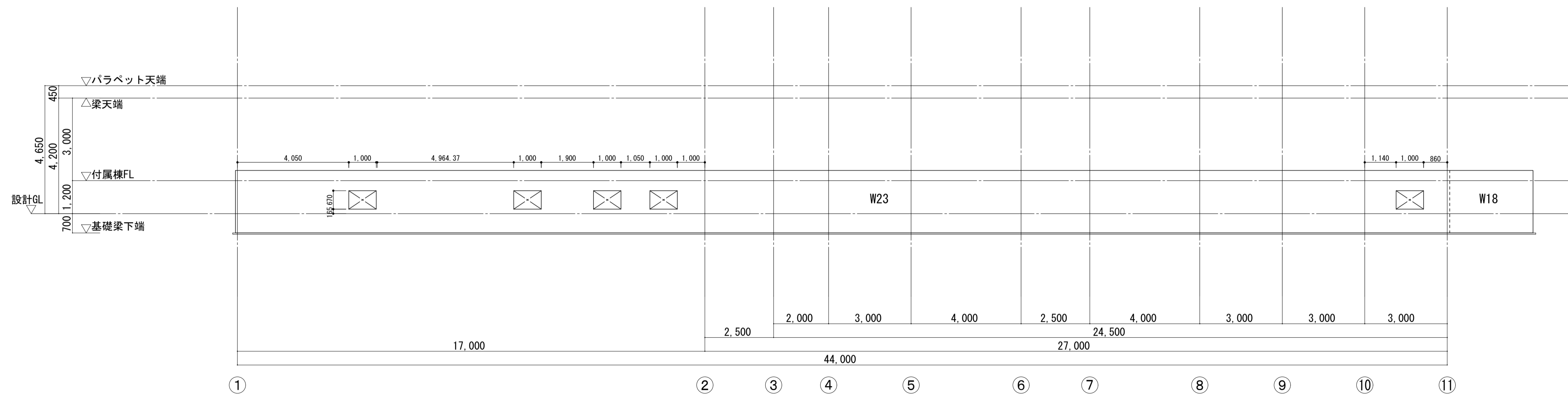
D通り軸組図 S=1/100

特記なき限り
・壁はW18とする。
・は増し打ち範囲を示す。

令和6年度		縮尺	S-12 構造
名称工事名	播西東小学校屋外プール改築工事		
図名	軸組図1	1/100	

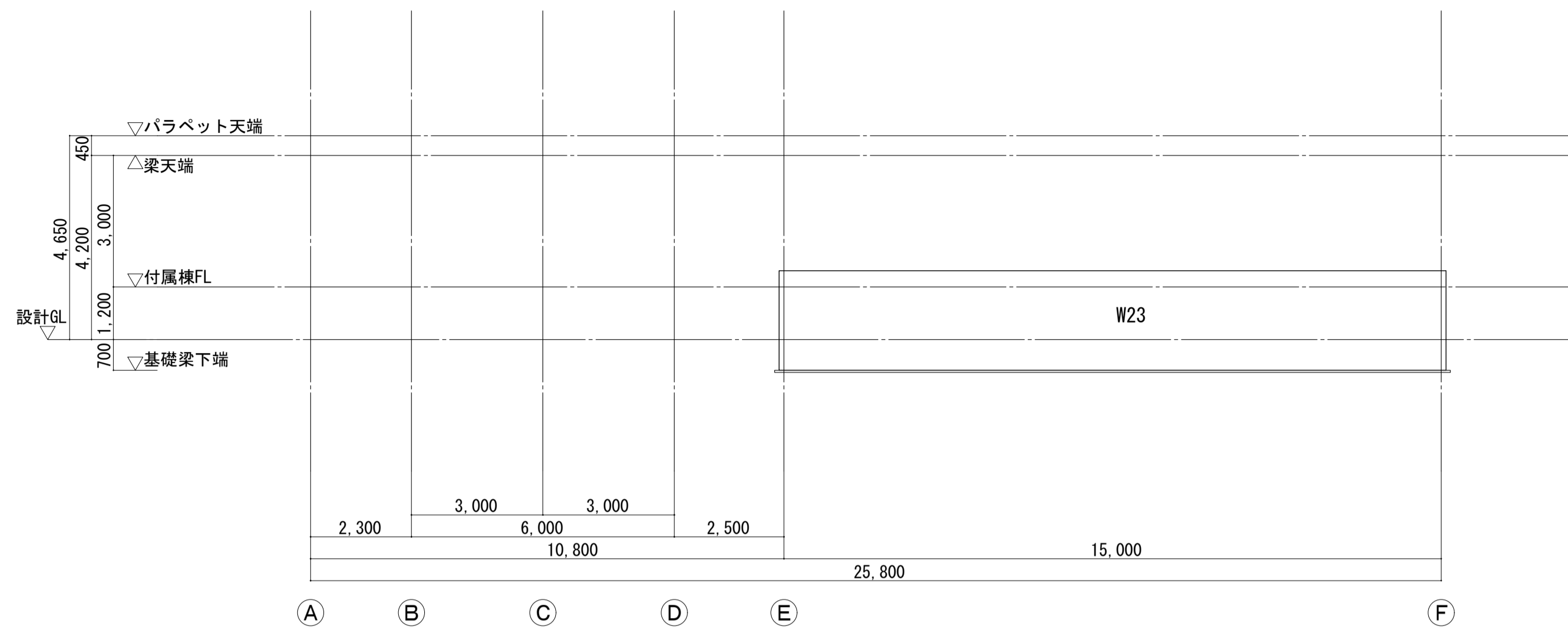


E 通り軸組図 S=1/100

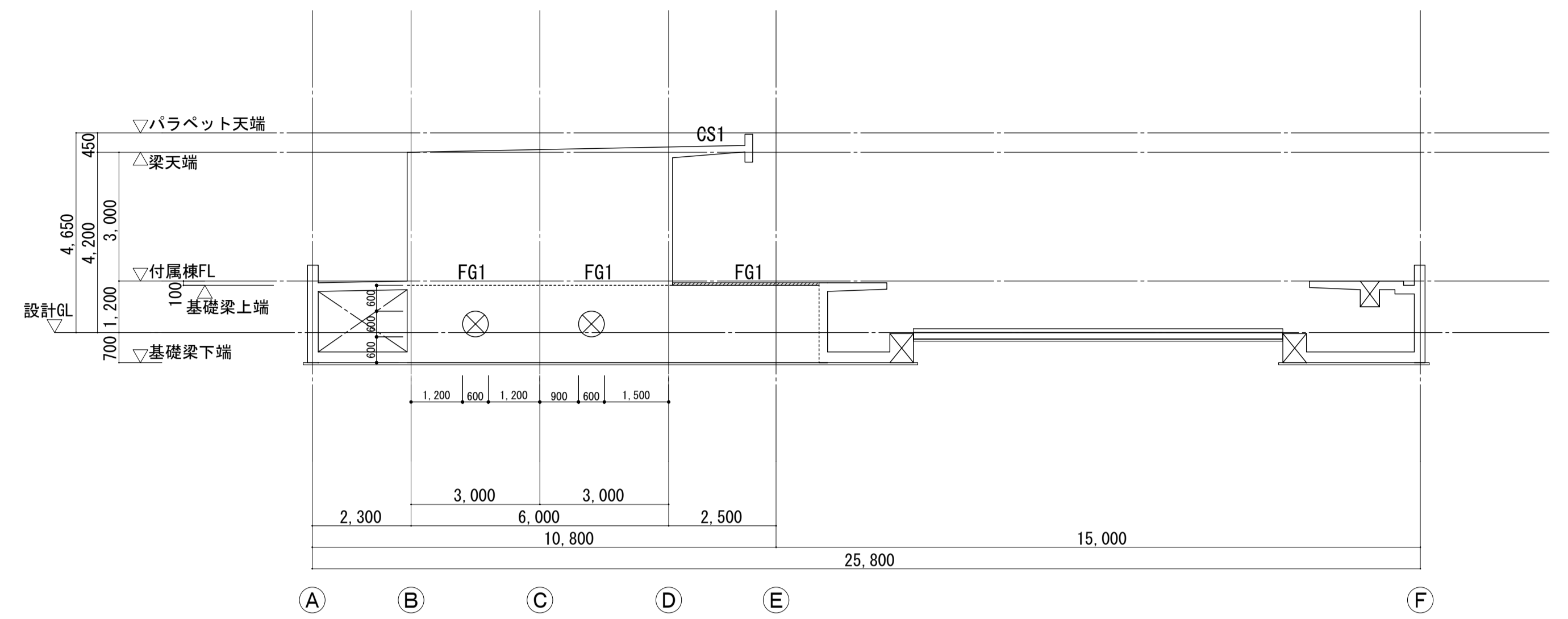


F 通り軸組図 S=1/100

令和6年度		縮尺	S-13 構造
名称工事名	掘西東小学校屋外プール改築工事		
図名	軸組図2	1/100	

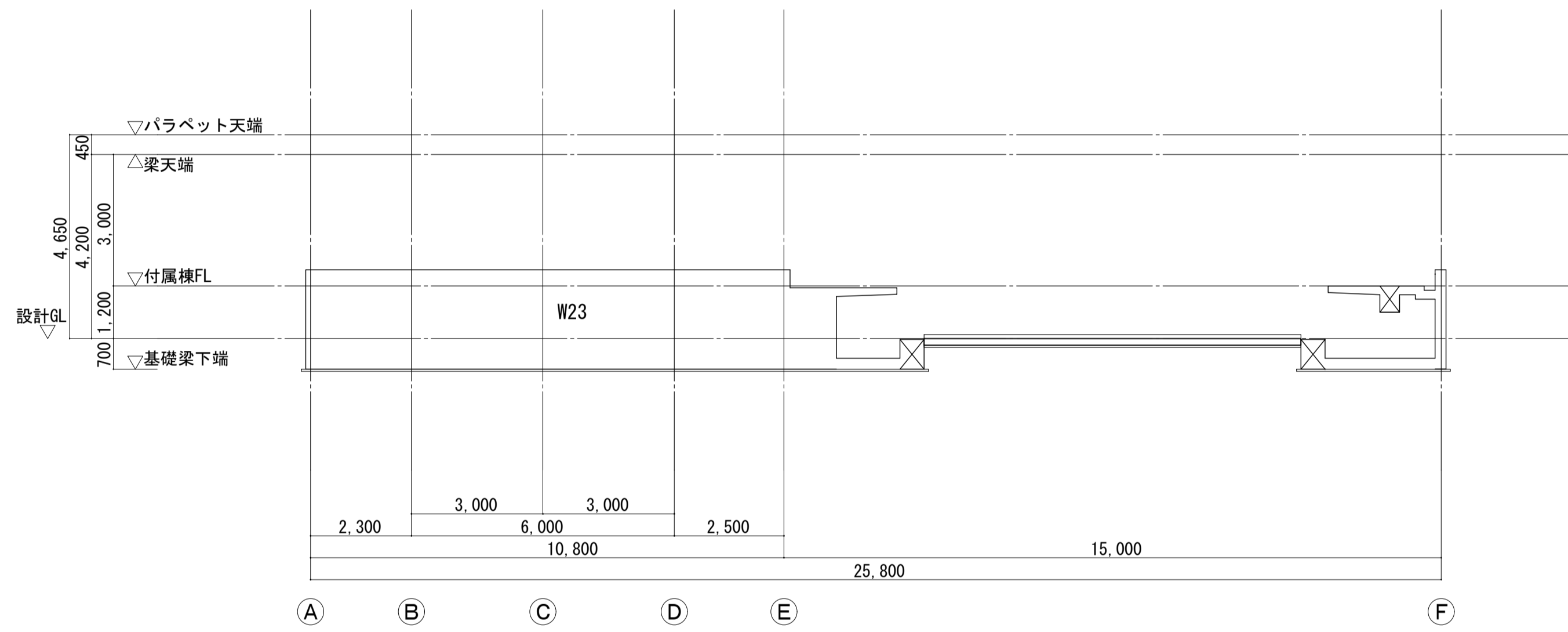


1通り軸組図 S=1/100

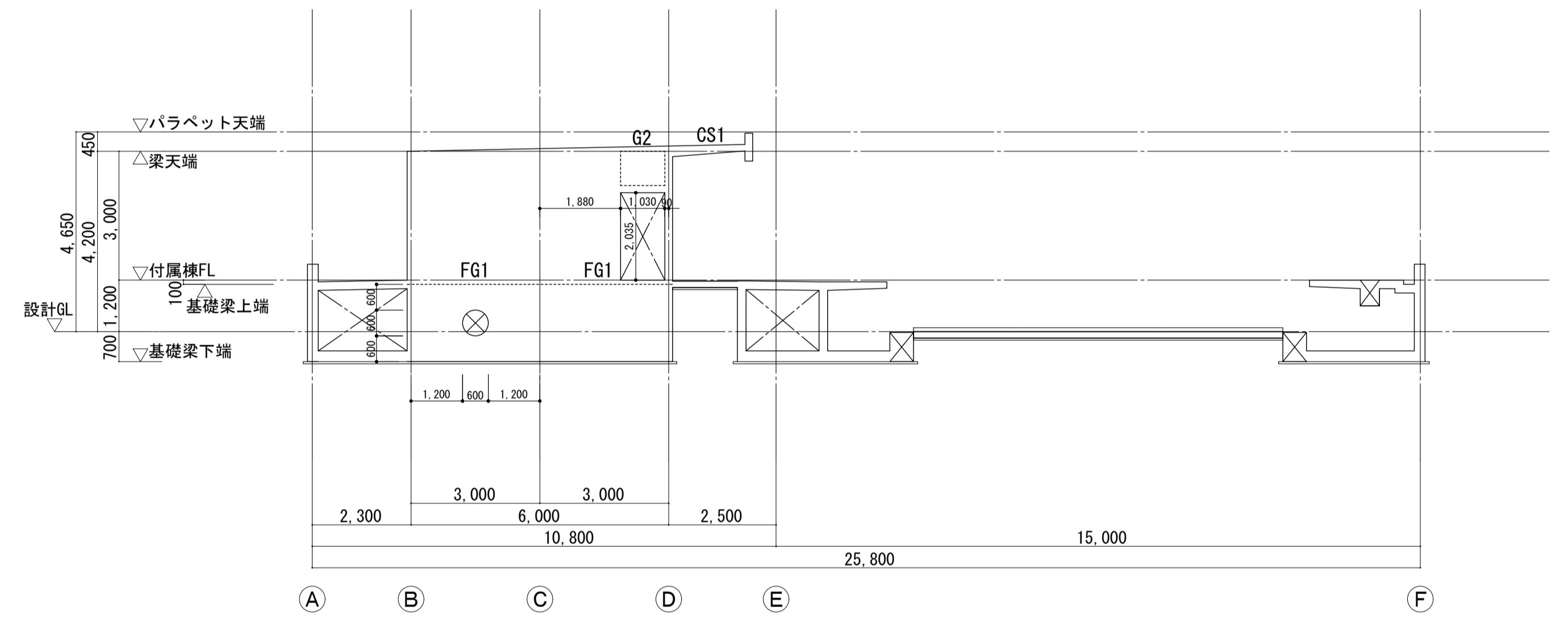


4通り軸組図 S=1/100

特記なき限り
 ・壁はW18とする。
 ・は増し打ち範囲を示す。

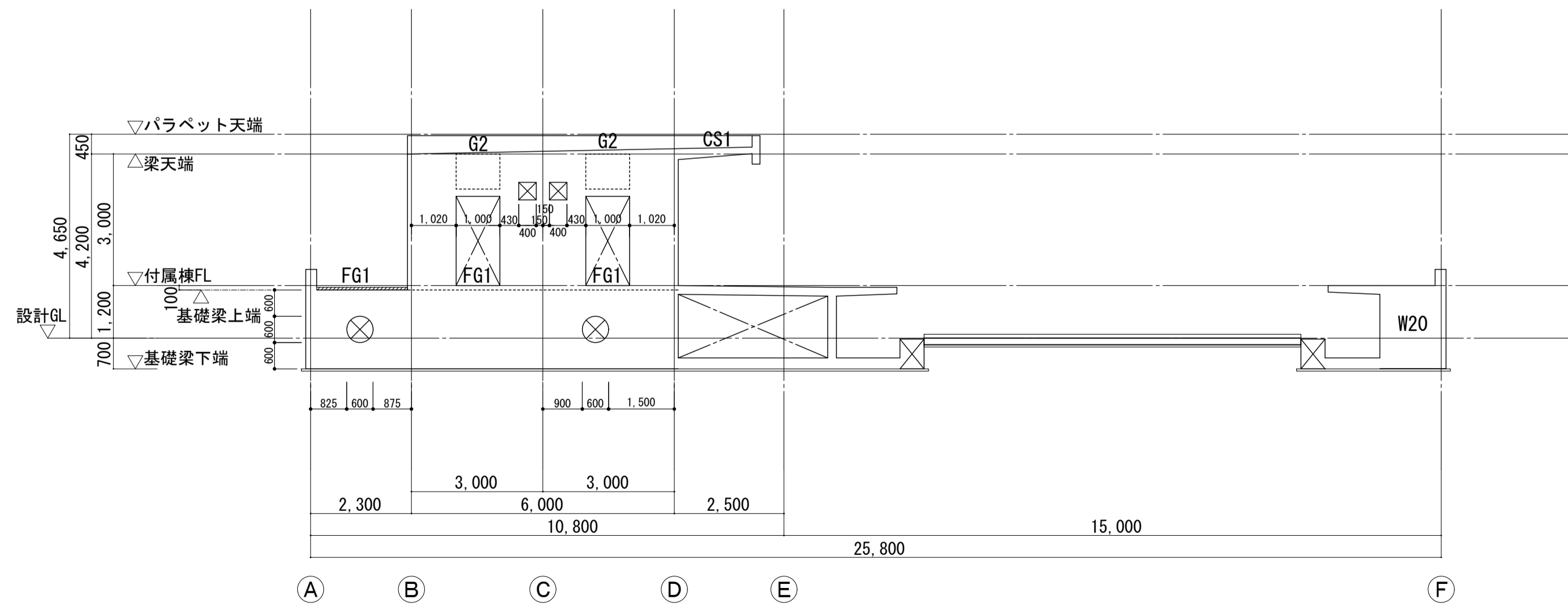


2通り軸組図 S=1/100



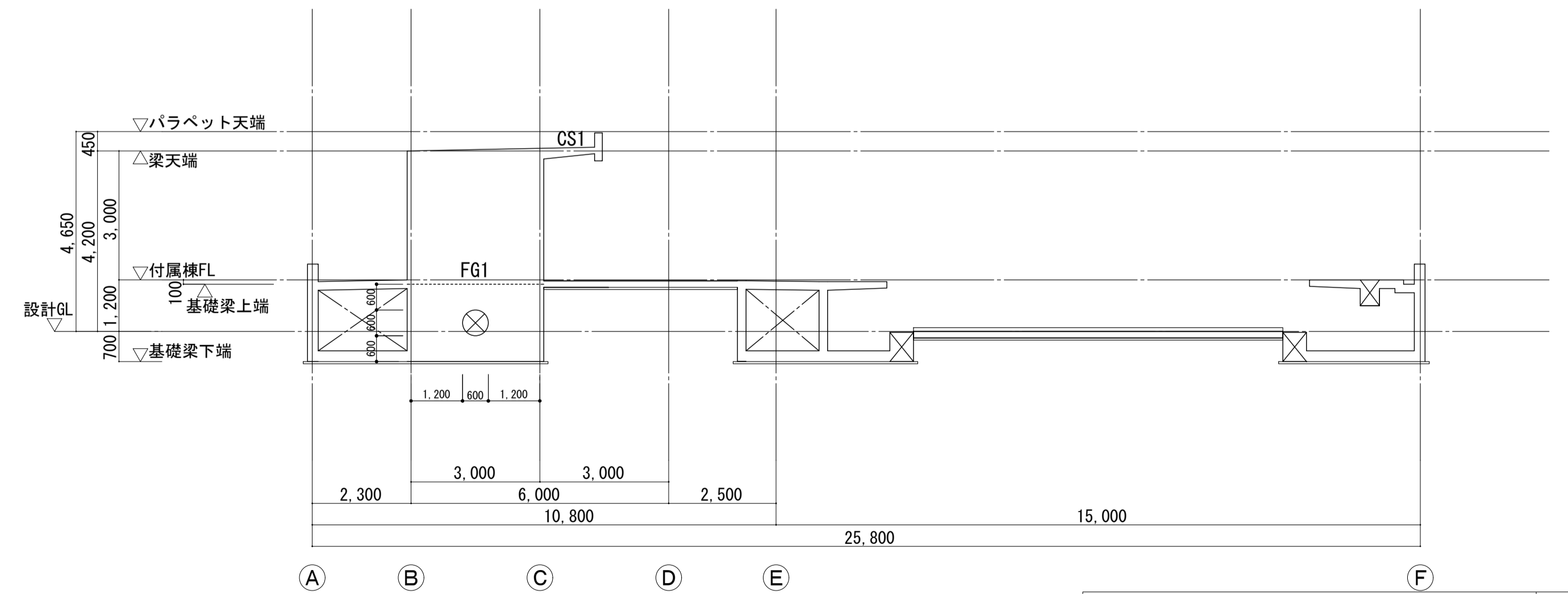
5通り軸組図 S=1/100

特記なき限り
 ・壁はW18とする。



3通り軸組図 S=1/100

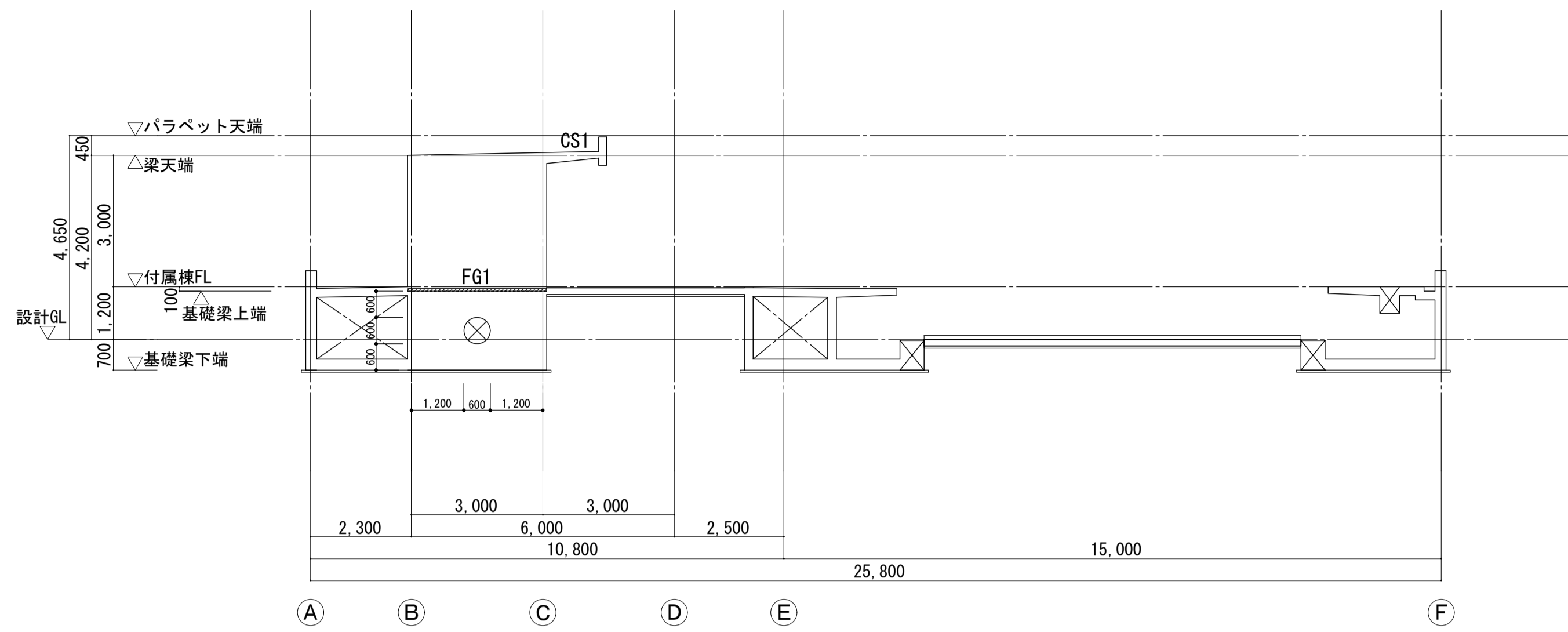
特記なき限り
 ・壁はW18とする。
 ・は増し打ち範囲を示す。



6通り軸組図 S=1/100

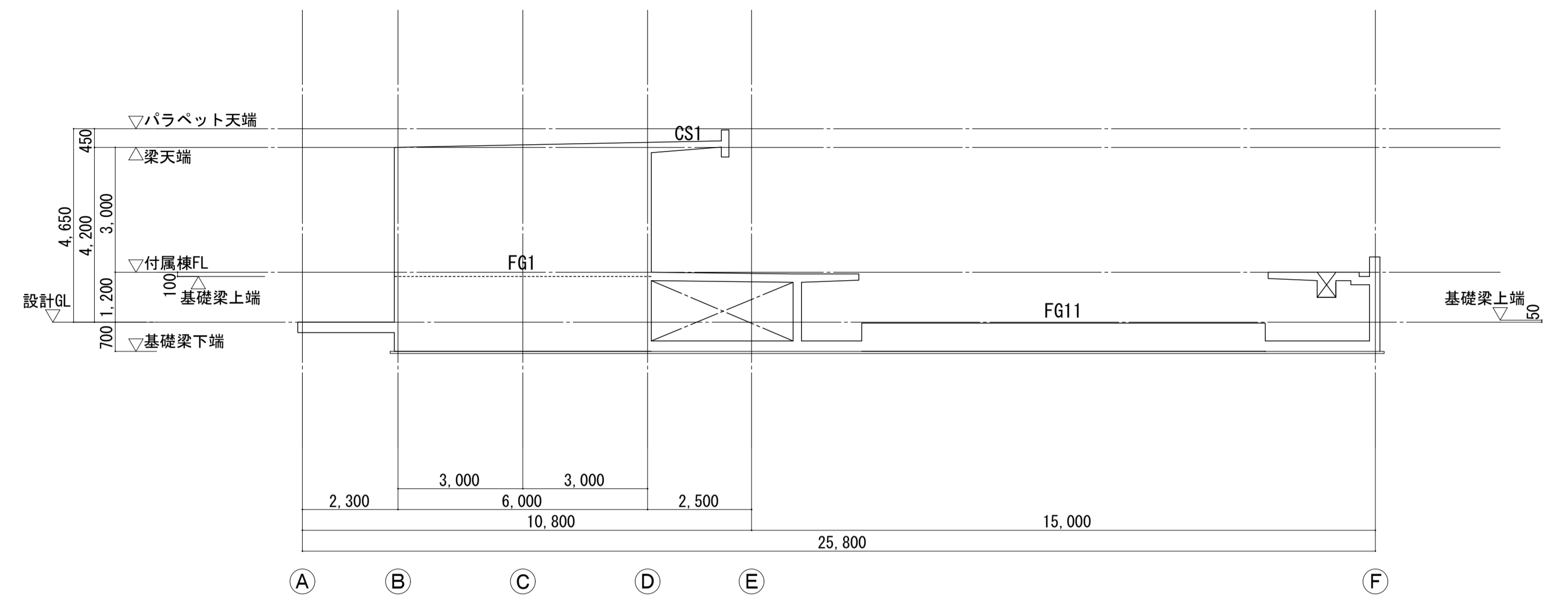
特記なき限り ・壁はW18とする。

令和6年度		縮尺	S-14 構造
名称工事名	播西東小学校屋外プール改築工事		
図名	軸組図3	1/100	



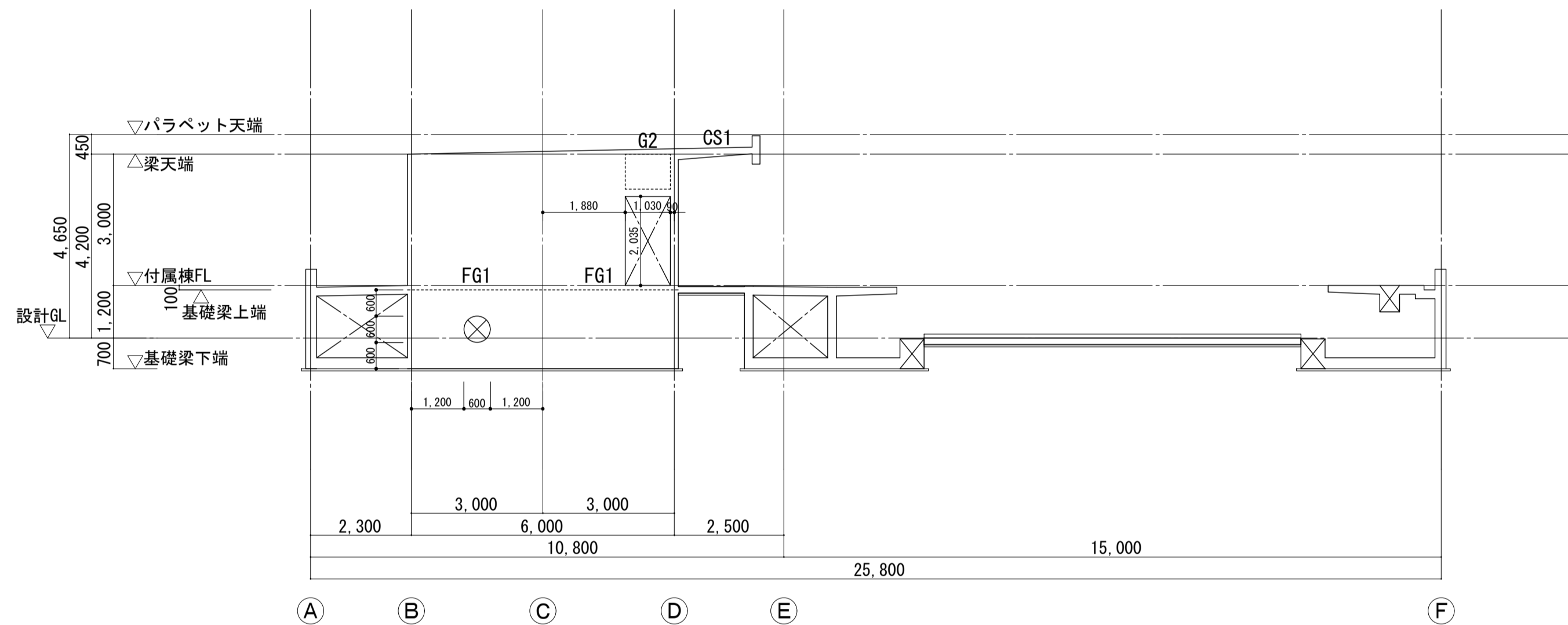
7通り軸組図 S=1/100

特記なき限り
 ・壁はW18とする。
 ・は増し打ち範囲を示す。



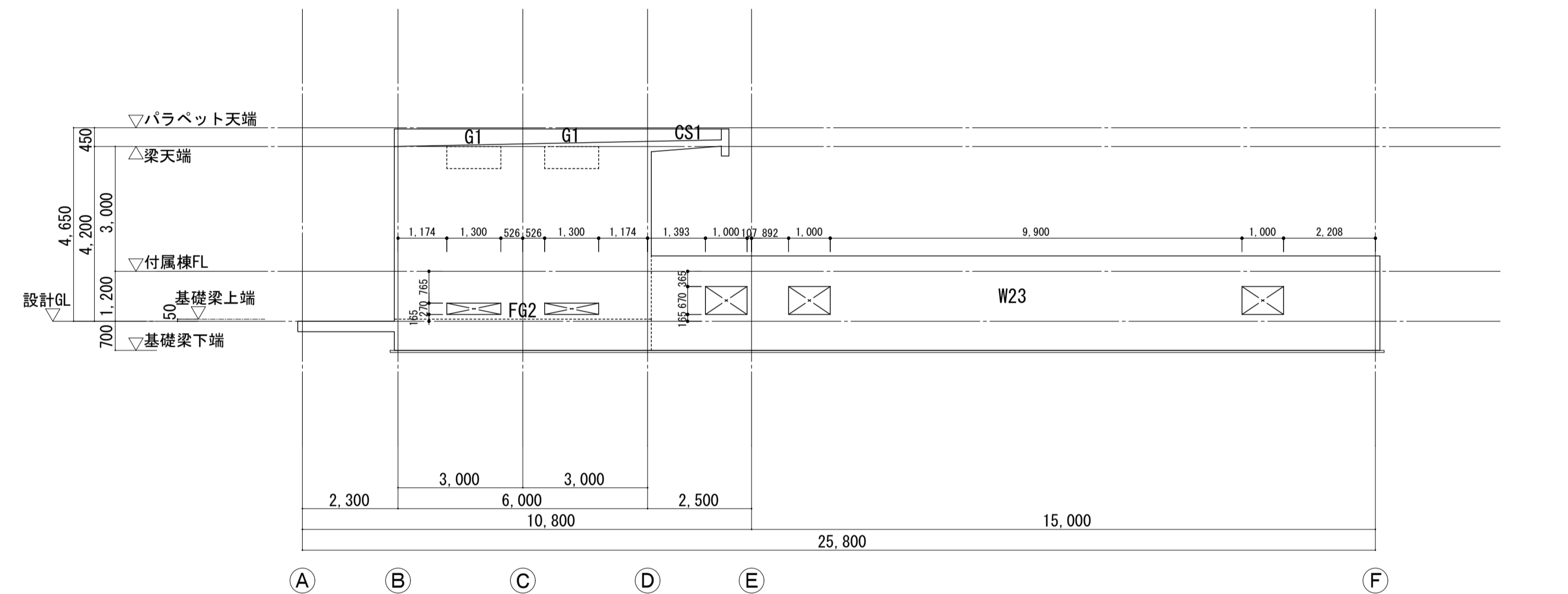
10通り軸組図 S=1/100

特記なき限り
 ・壁はW18とする。



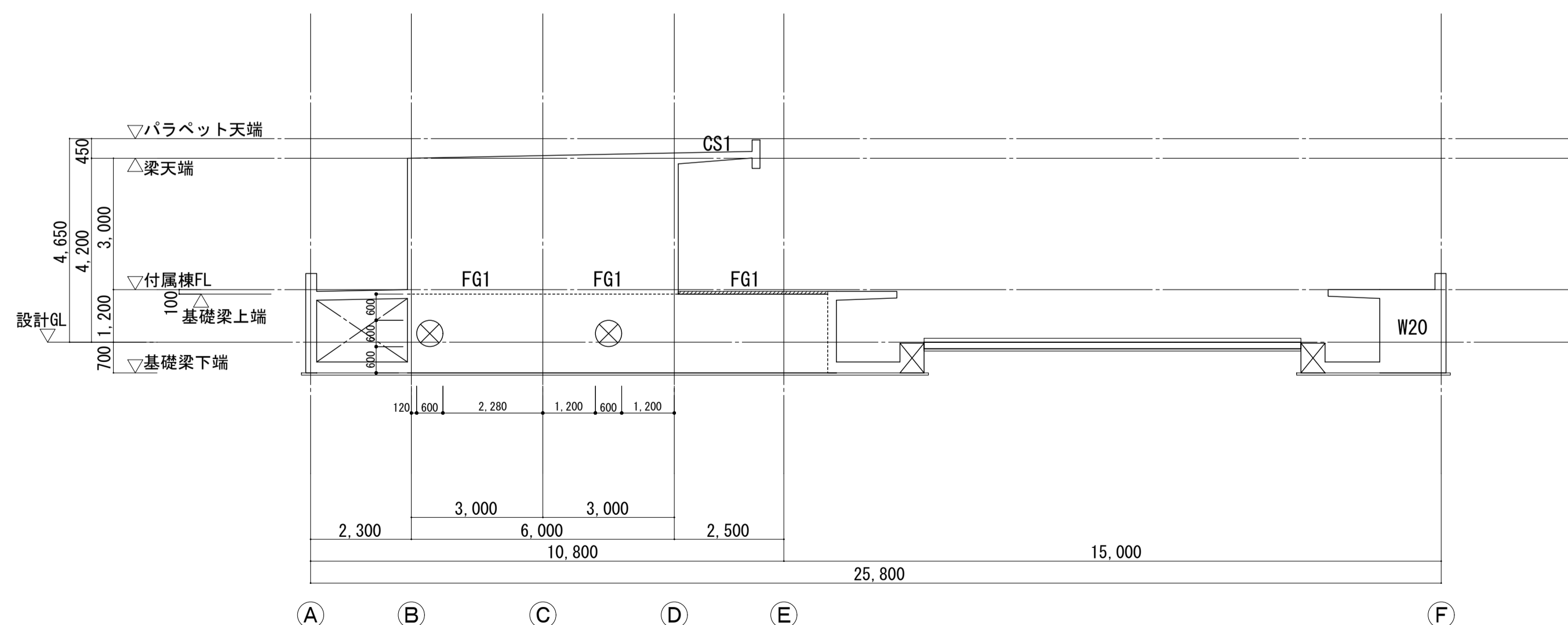
8通り軸組図 S=1/100

特記なき限り
 ・壁はW18とする。



11通り軸組図 S=1/100

特記なき限り
 ・壁はW18とする。



9通り軸組図 S=1/100

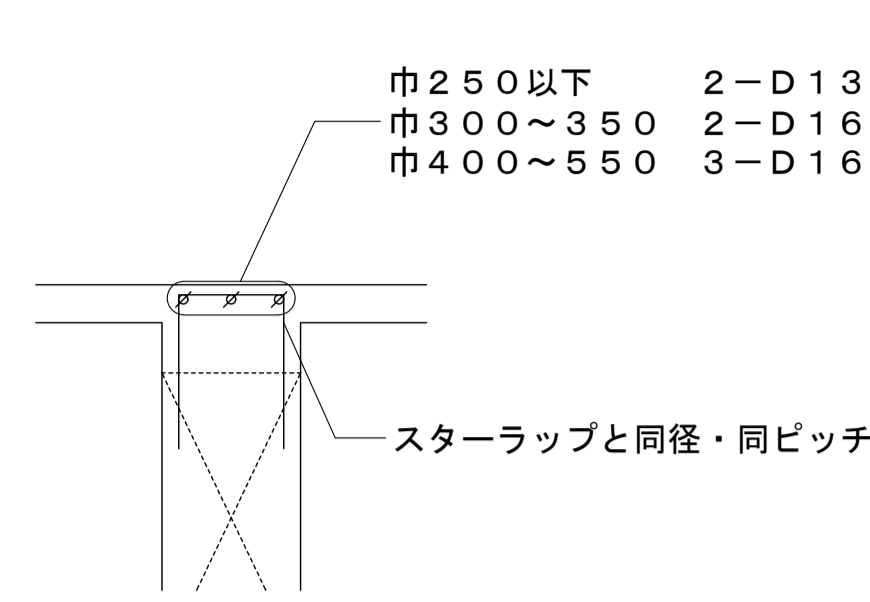
特記なき限り
 ・壁はW18とする。
 ・は増し打ち範囲を示す。

令和6年度		縮尺	S-15 構造
名称工事名	播西東小学校屋外プール改築工事		
図名	軸組図4	1/100	

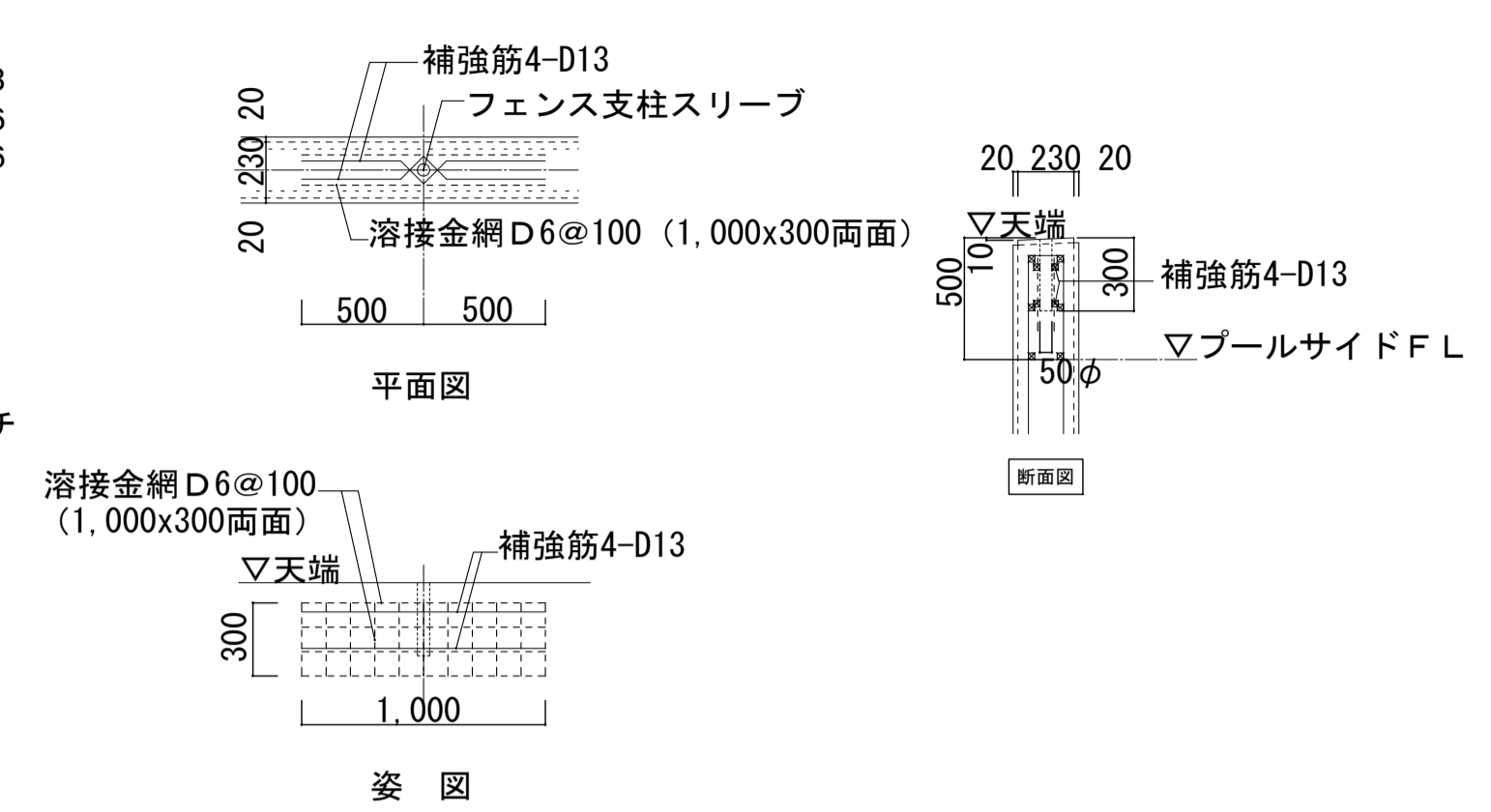
地中梁リスト 1/30

符号	FG1	FG2	FG11	FG12	B1
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面 附属棟FL
断面					
B × D	250 × 1800	300 × 750	520 × 680	400 × 1080	450 × 600
上端筋	2-D16	3-D19	5-D19	3-D19	3-D19
下端筋	2-D16	3-D19	5-D19	3-D19	3-D19
スターラップ	D10@200	D13@200	D13@200	D13@200	D10@200
腹筋	10-D10	2-D10	2-D10	4-D10	2-D10
巾止筋	D10@1000	D10@1000	D10@1000	D10@1000	D10@1000

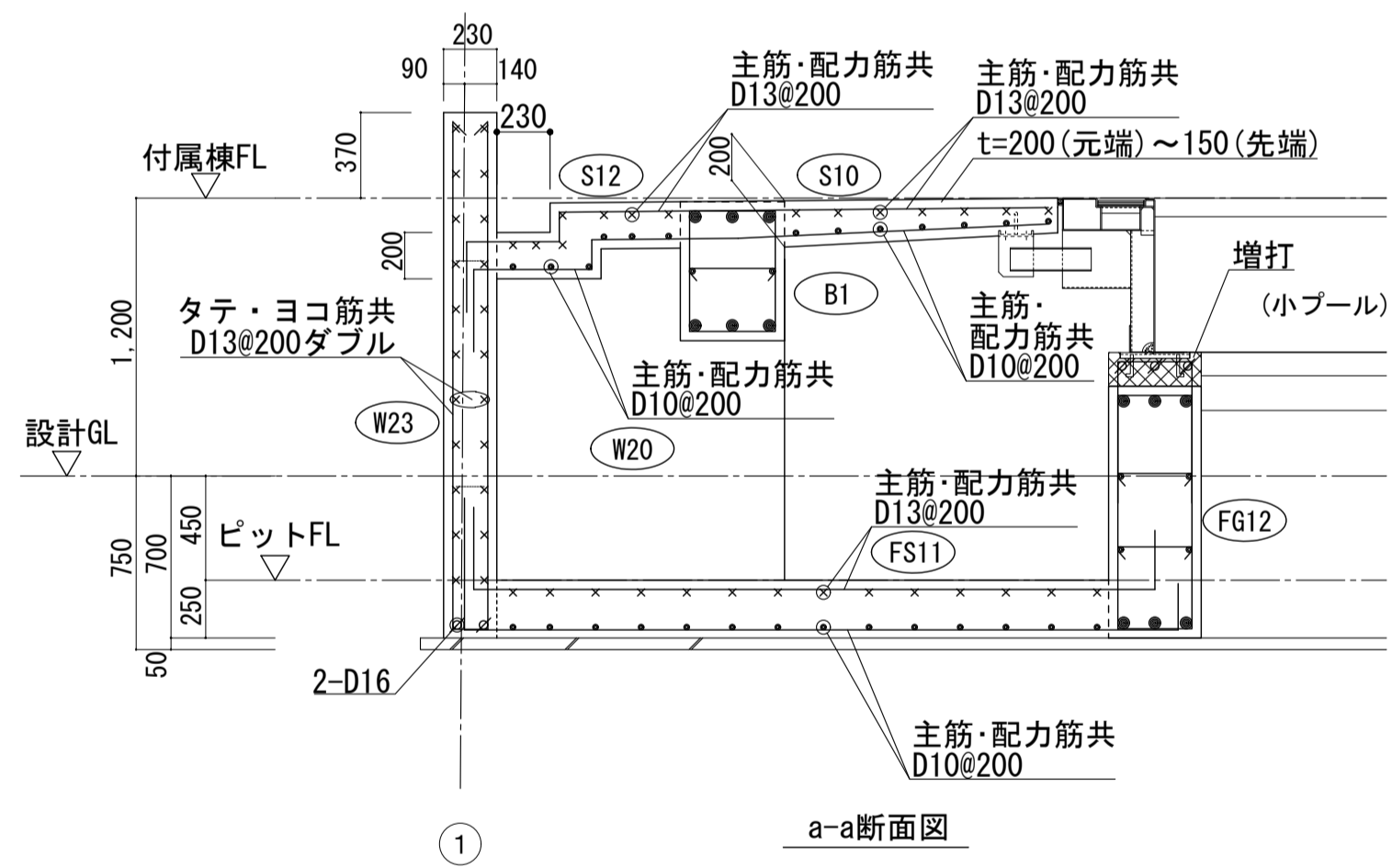
フカシ補強筋



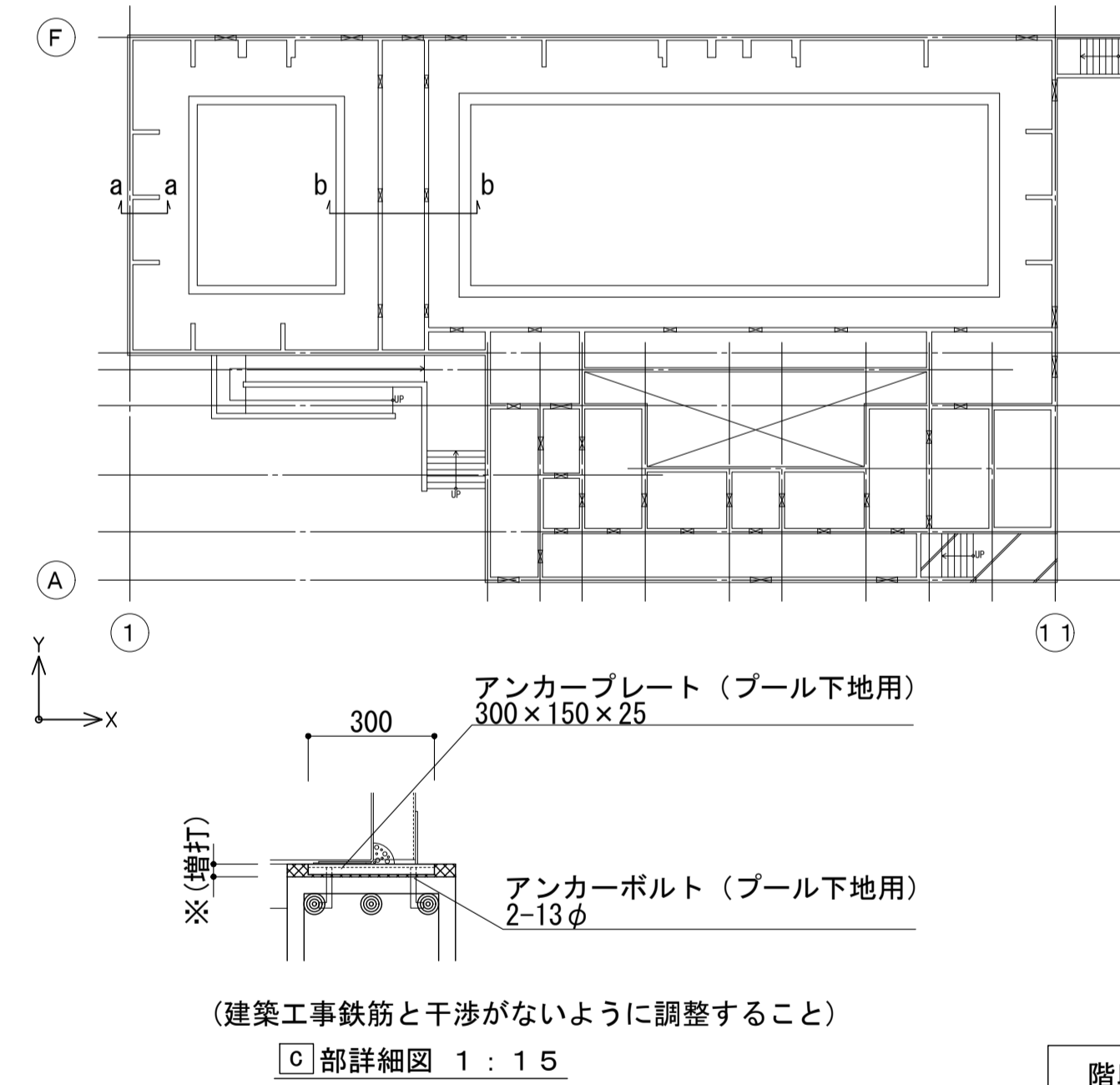
プールサイドフェンス図



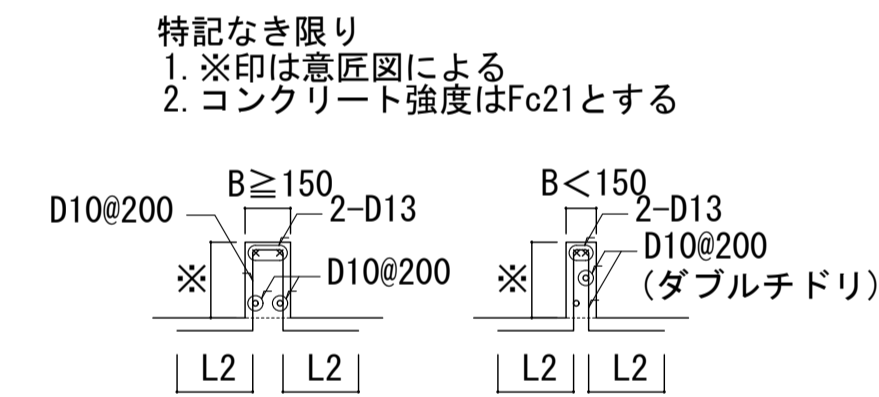
基礎底盤・側壁 配筋図 1:30



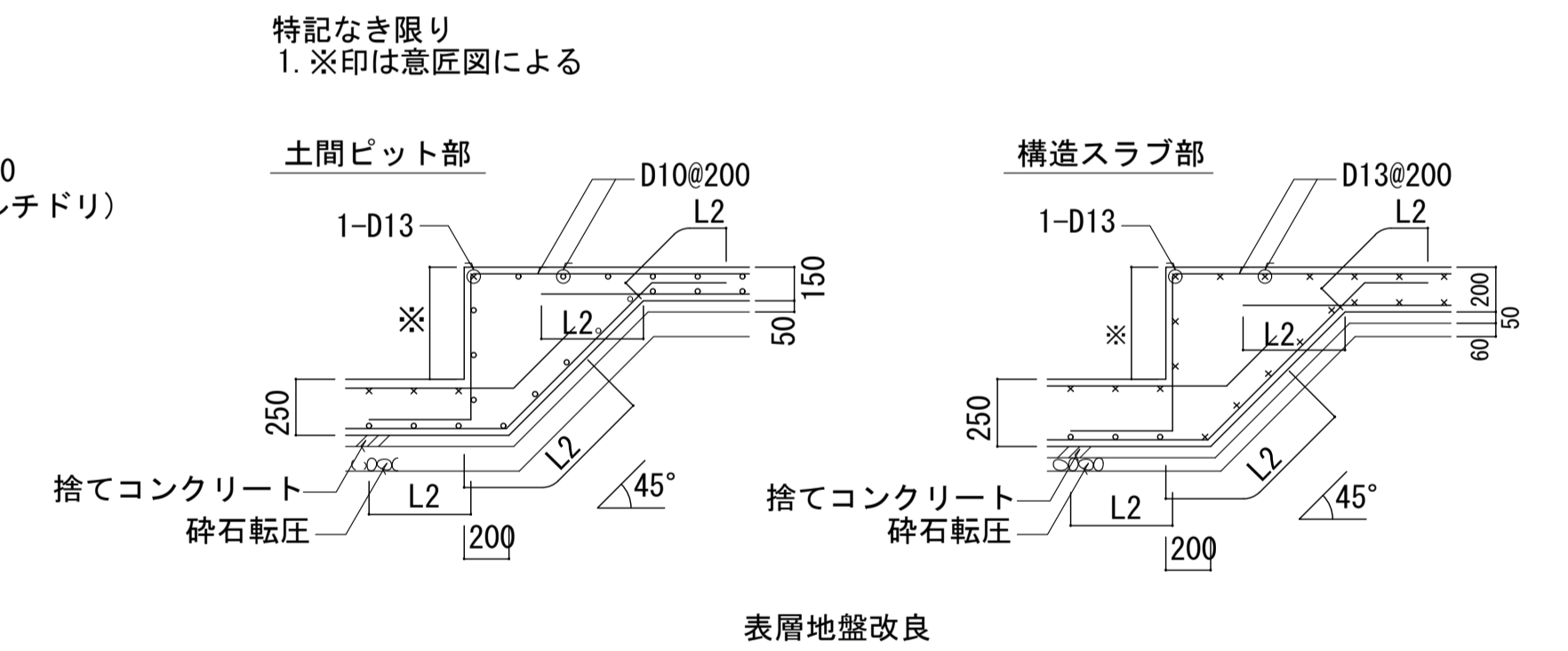
底盤配筋図キープラン図



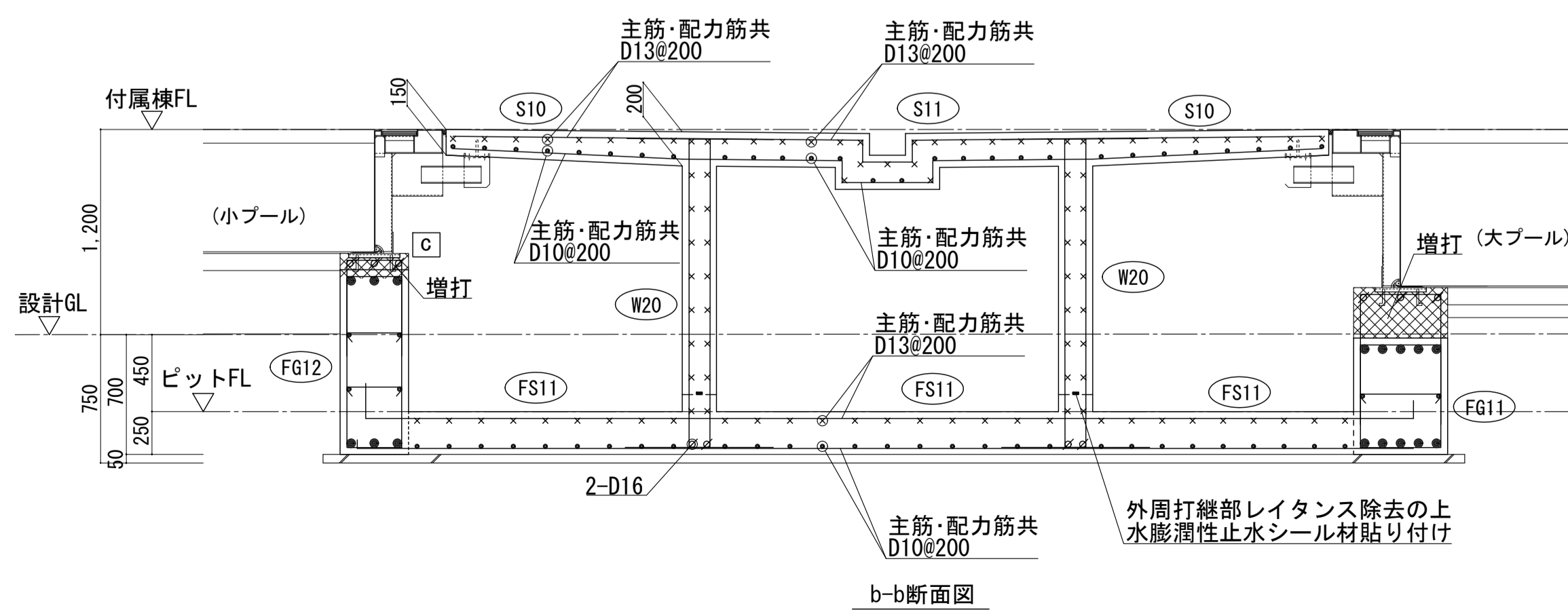
設備基礎配筋要領 1:30



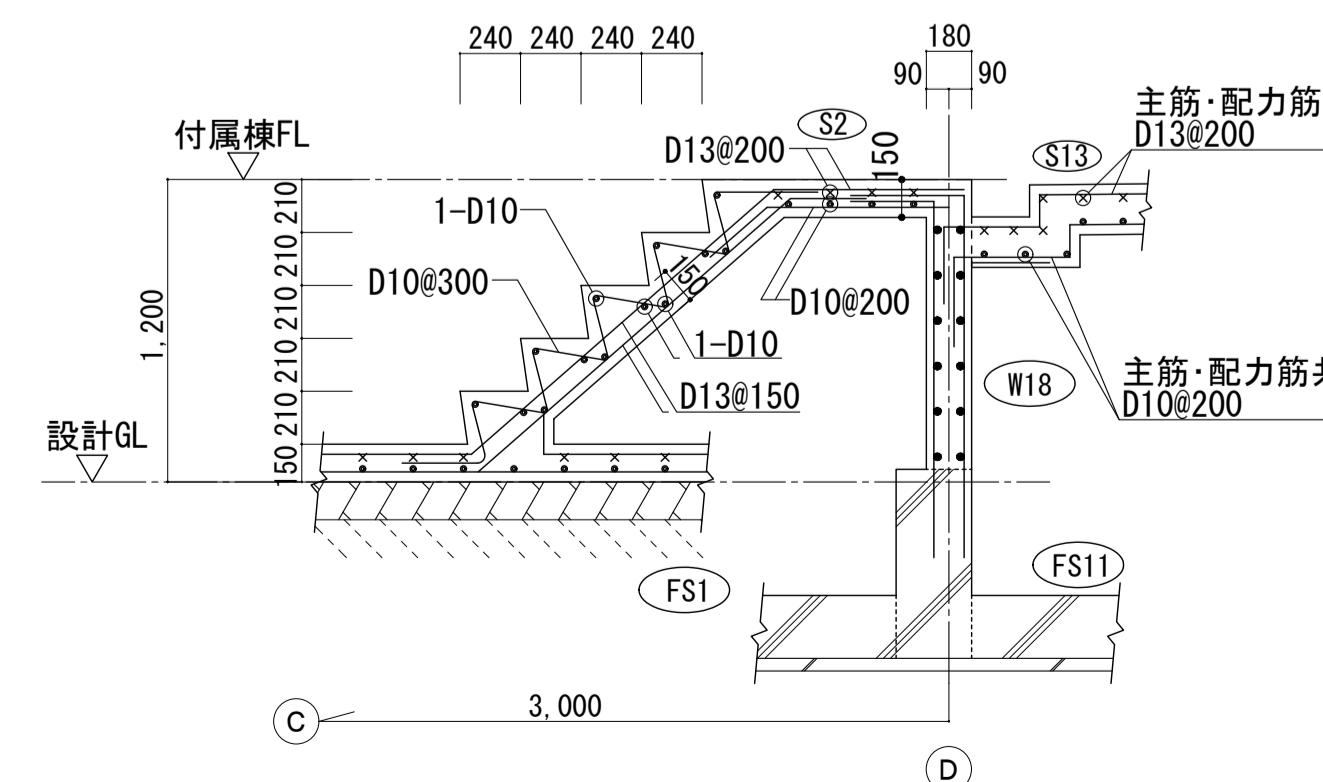
釜場配筋要領 1:30



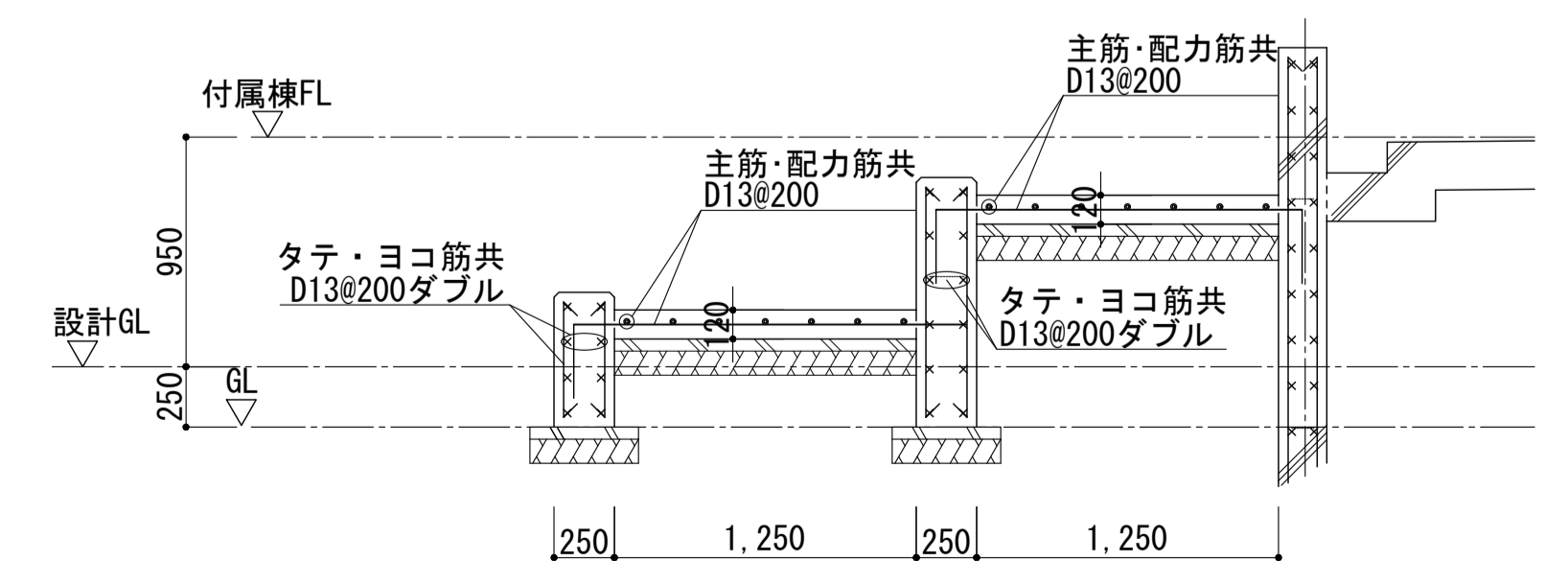
基礎底盤 配筋図 1:30



階段配筋図 1:30



スロープ配筋図 1:30



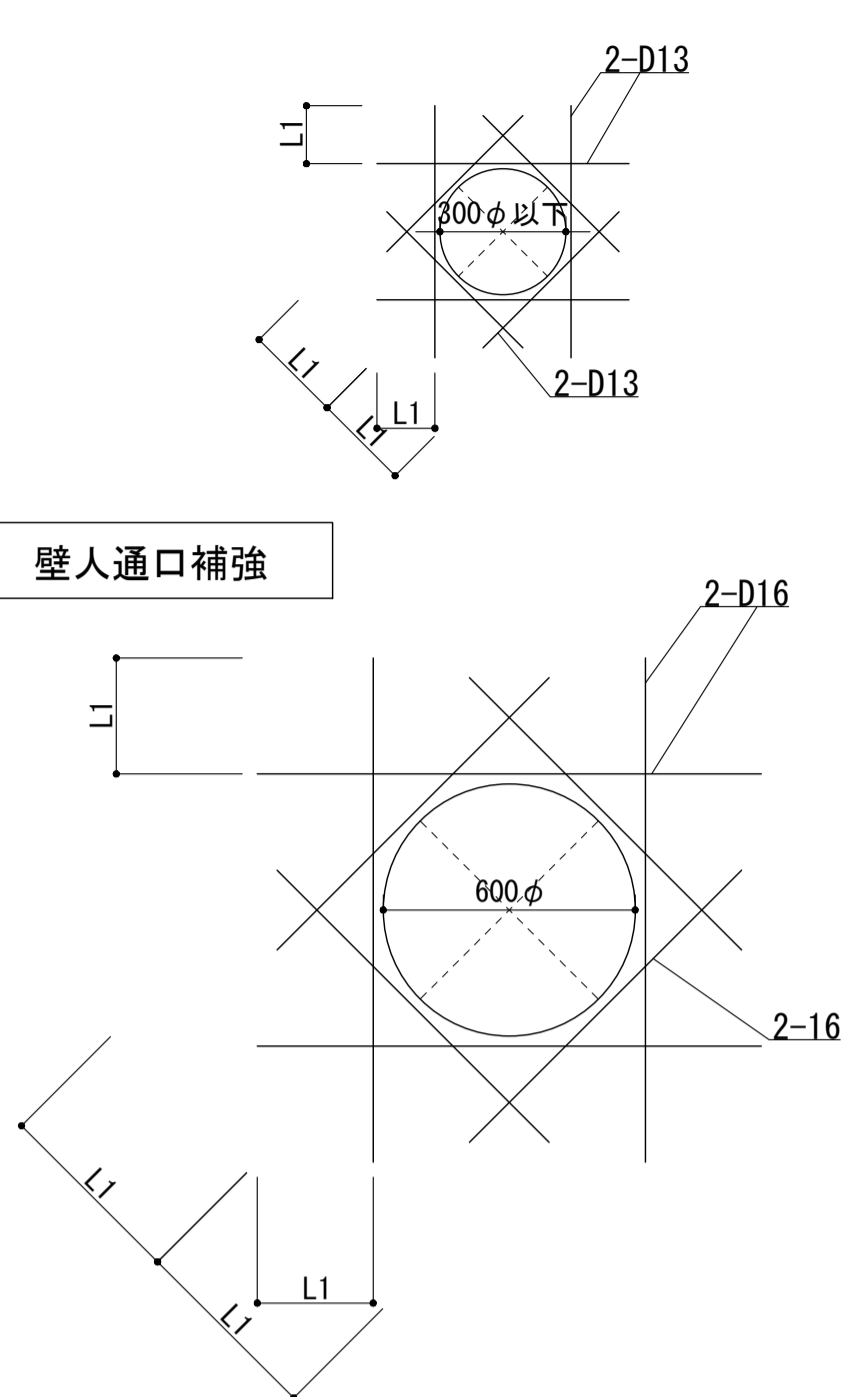
壁リスト 1/30

符号	W18	W20	W23	開口部補強筋
断面				
縦筋	2-D10@200	2-D13@200	2-D13@200	
横筋	2-D10@200	2-D13@200	2-D13@200	
巾止筋	D10@1000	D10@1000	D10@1000	
開口部補強筋	縦筋	2-D16	2-D16	a
	横筋	2-D16	2-D16	b
	斜筋	2-D13	2-D13	c

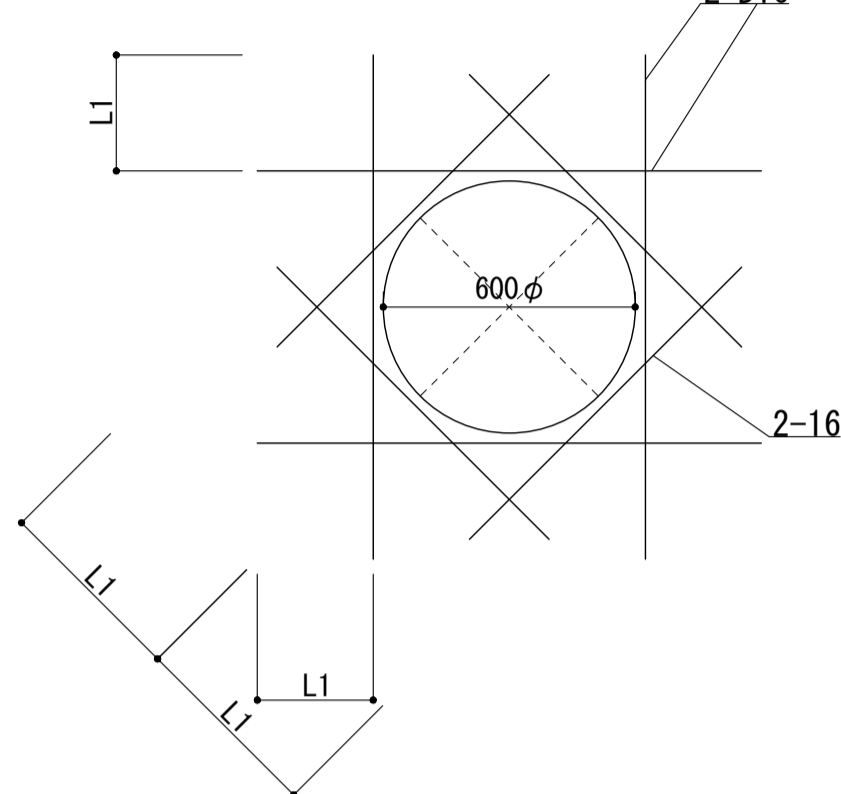
壁梁リスト 1/30

符号	G1	G2
断面		
B×D	180×530	180×800
上端筋	2-D16	2-D16
下端筋	2-D16	2-D16
スターラップ	D10@200	D10@200
腹筋	-	2-D10
巾止筋	D10@1000	D10@1000

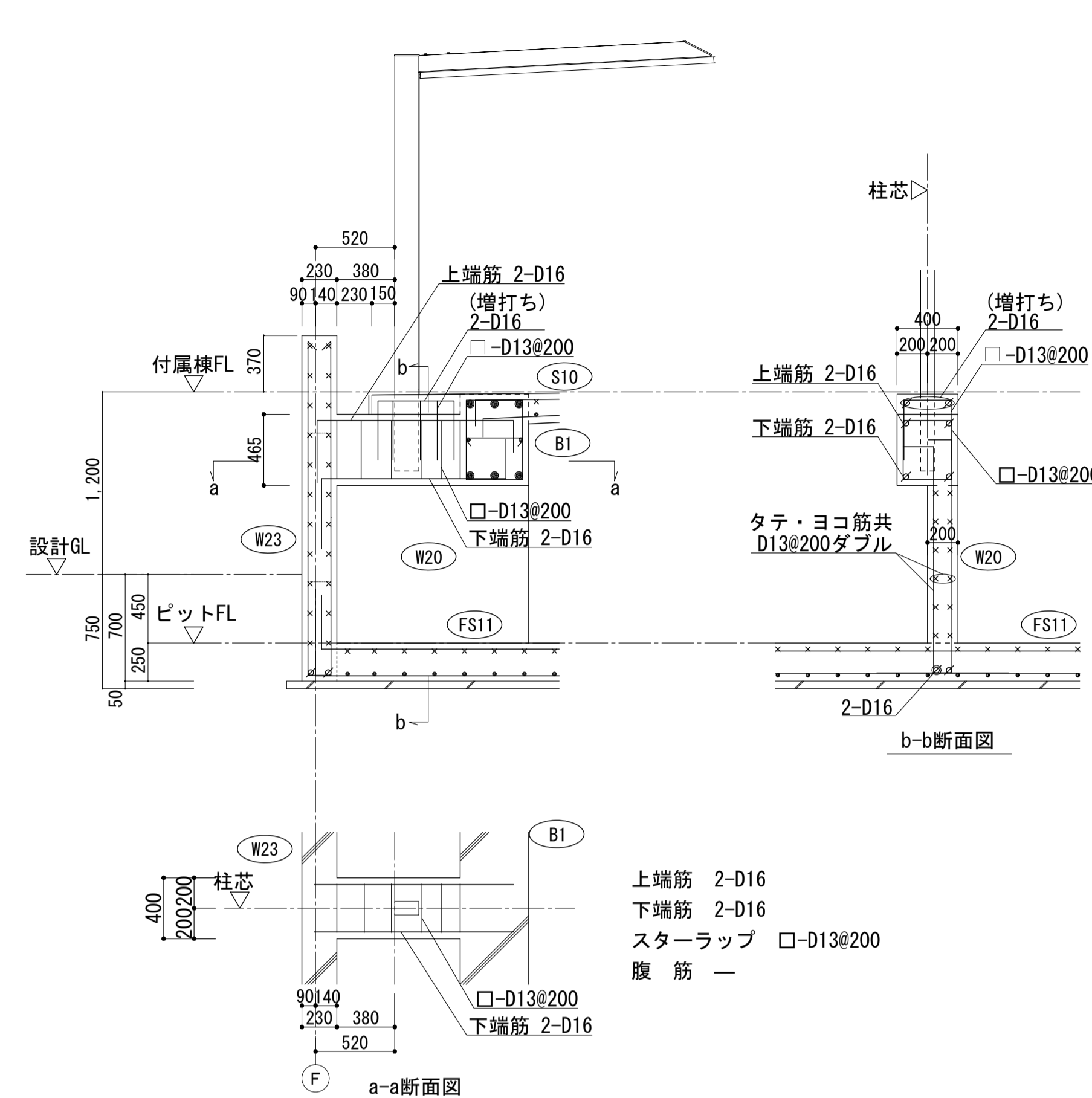
壁スリーブ補強



壁人通口補強



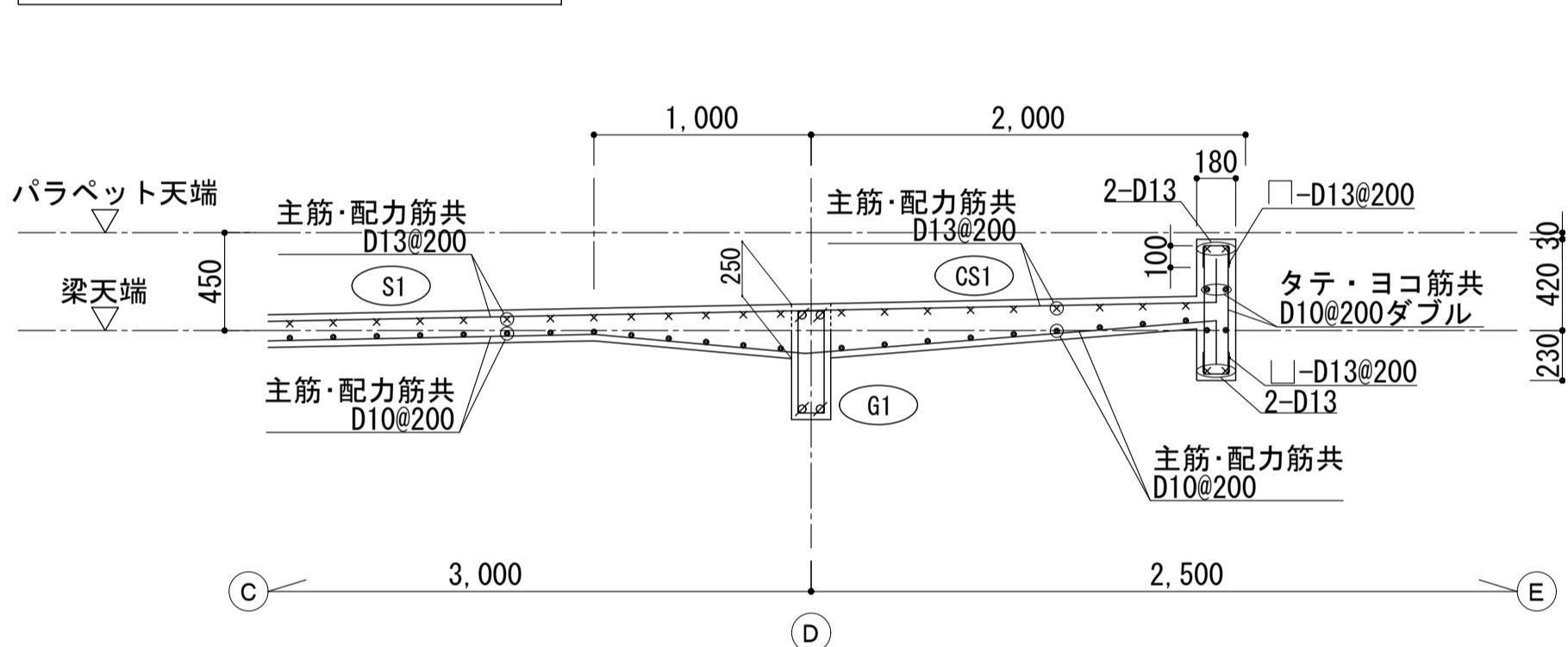
日除け柱脚部配筋図 1:30



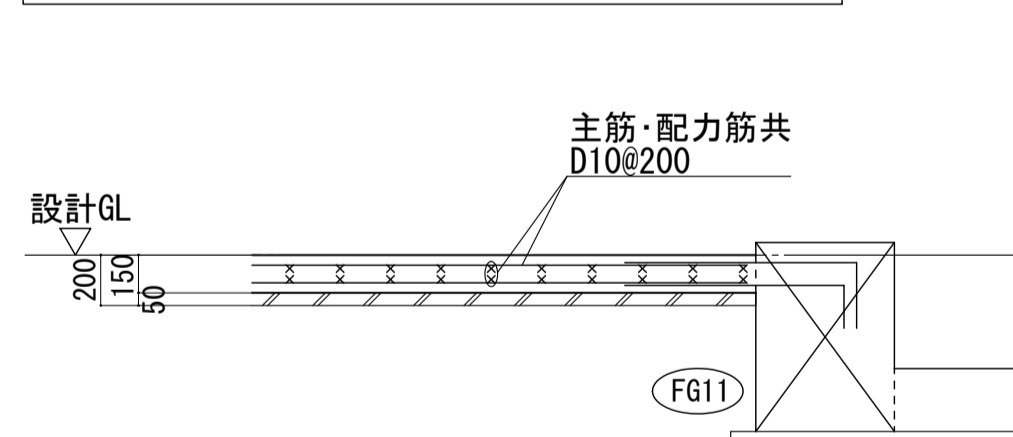
床版リスト 1/30

符号	版厚	位置	短辺(主筋)方向			長辺(配力筋)方向			備考
			端部	中央部	側部	端部	中央部	側部	
S1	150	上端筋	D13@200			D13@200			
		下端筋	D10@200			D10@200			
S2	150	上端筋	D13@200			D13@200			
		下端筋	D10@200			D10@200			
S10	200~150	上端筋	D13@200			D13@200			
		下端筋	D10@200			D10@200			
S11	200	上端筋	D13@200			D13@200			
		下端筋	D10@200			D10@200			
S12	200	上端筋	D13@200			D13@200			
		下端筋	D10@200			D10@200			
S13	200	上端筋	D13@200			D13@200			
		下端筋	D10@200			D10@200			
CS1	250~150	上端筋	D13@200			D13@200			
		下端筋	D10@200			D10@200			
FS1	250	上端筋	D13@150			D13@150			
		下端筋	D13@150			D13@150			
FS11	250	上端筋	D13@200			D13@200			
		下端筋	D10@200			D10@200			

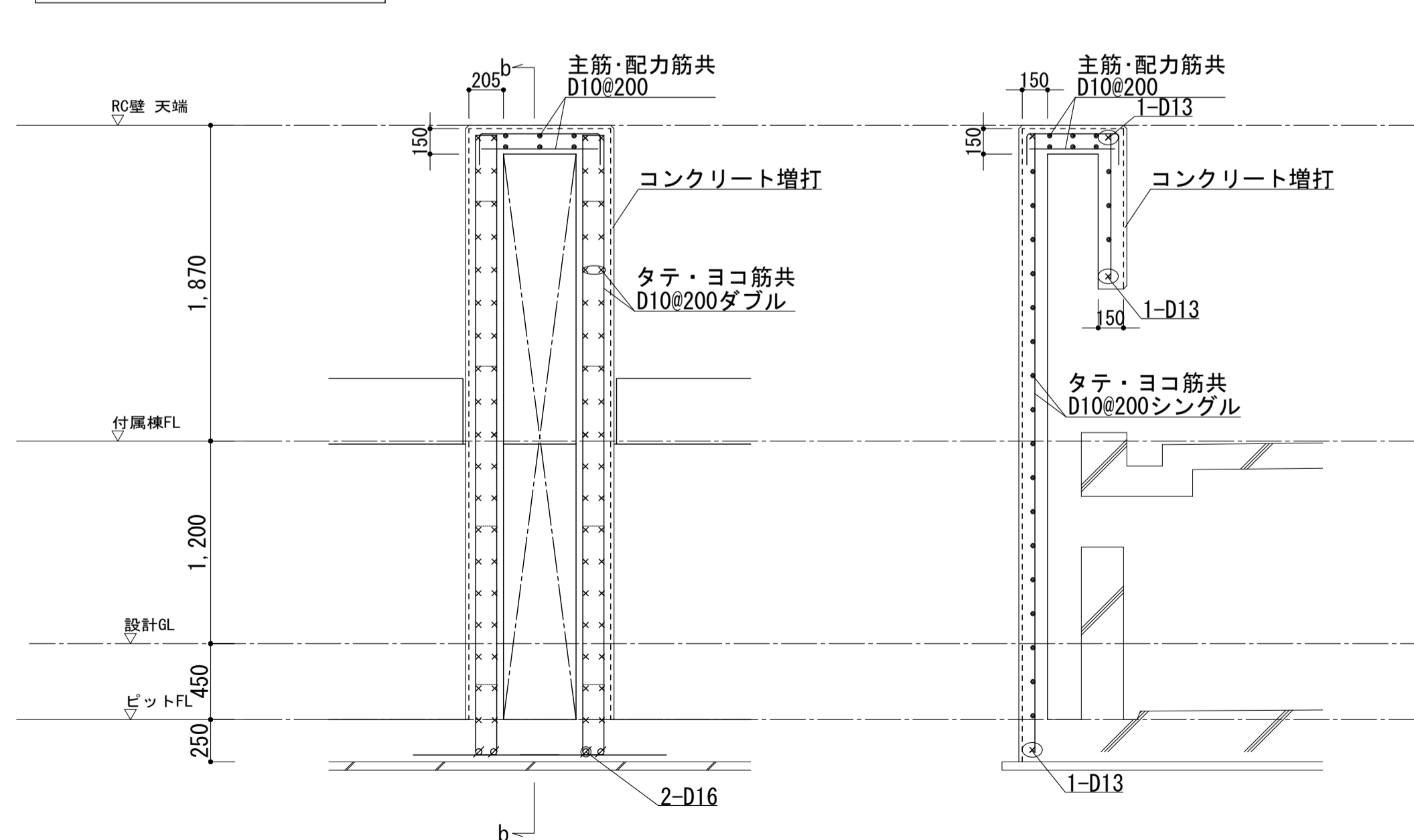
付属棟底部詳細図 1/30



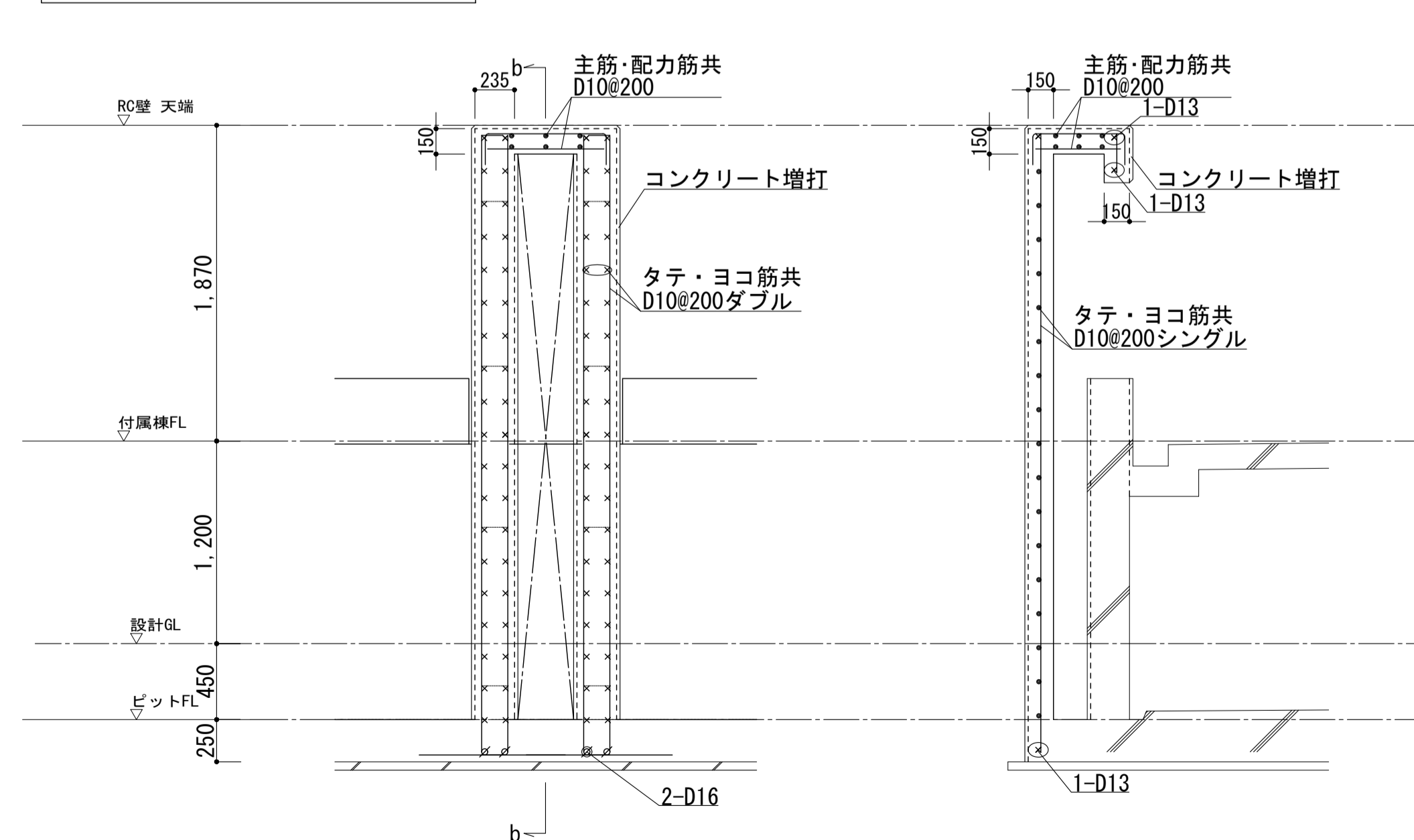
土間コンクリート D1配筋図 1/30



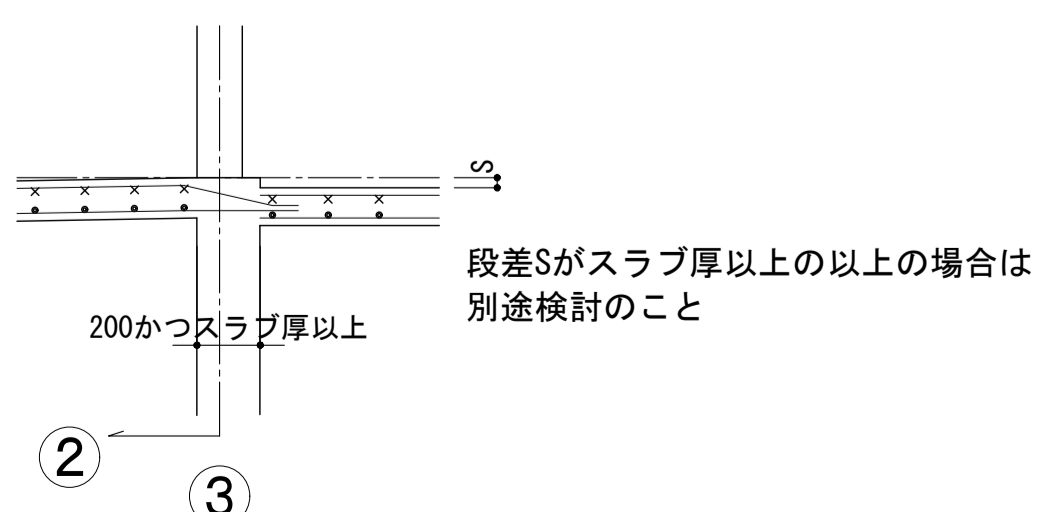
散水栓詳細図 1/30

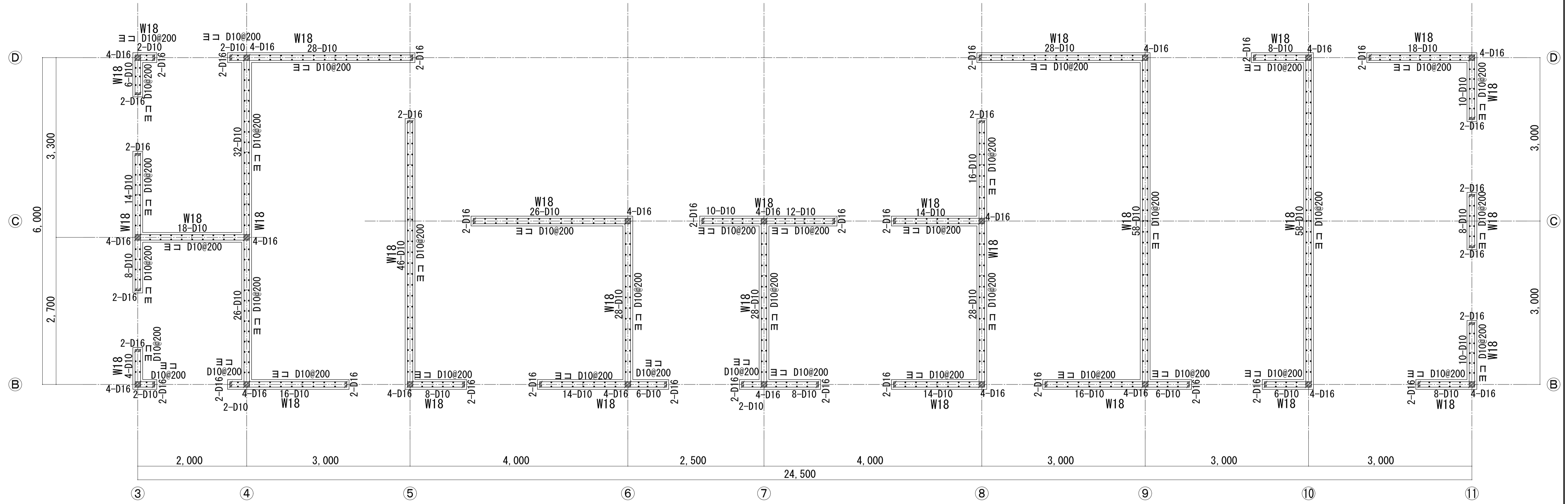


外線電話機RC壁詳細図 1/30



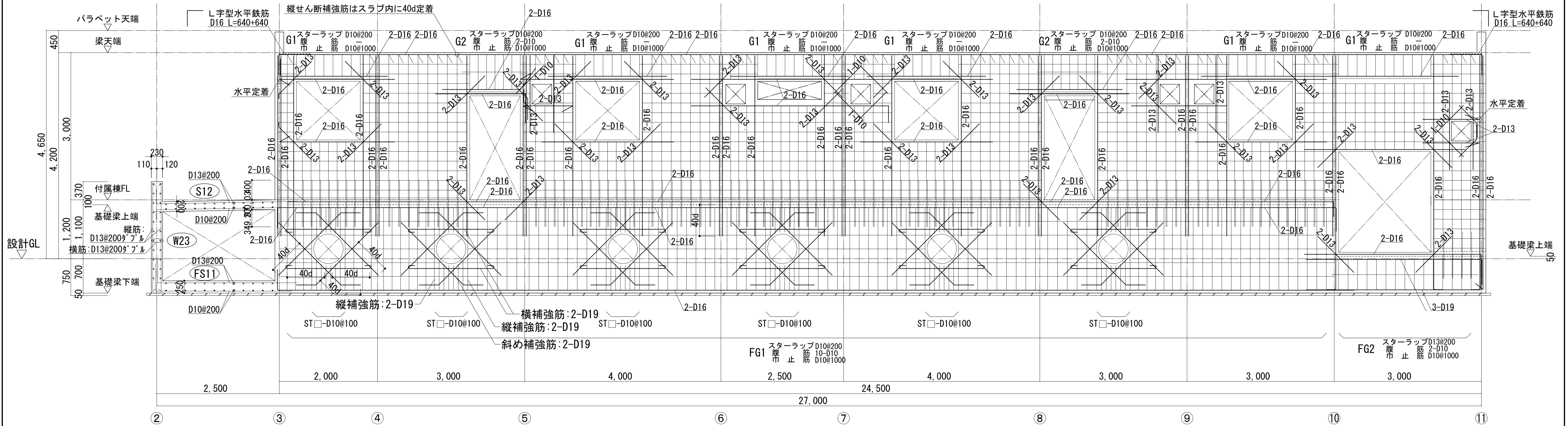
スラブ段差鉄筋定着要領図 1:30





※ 躯体寸法に躯体打ち直しフカシは含まない。(フカシ位置、厚さは意匠図参照)

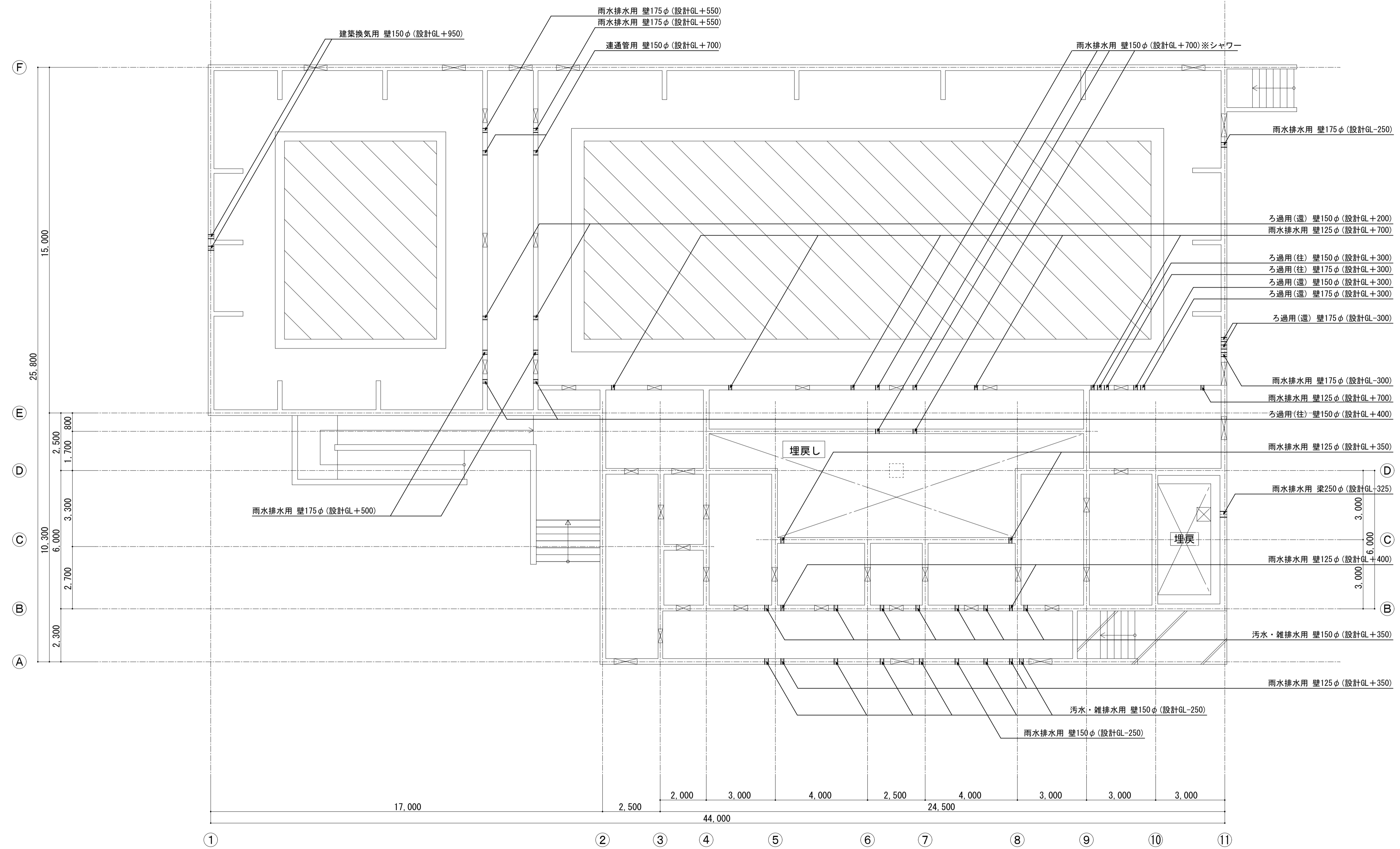
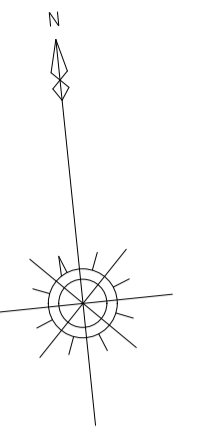
壁平面配筋詳細図 S=1/40



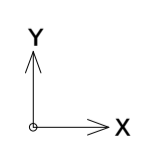
B通り配筋詳細図 S=1/40

特記なき限り
 ・壁はW18とする。
 ・W18は、縦筋、横筋共 D10@200ダブル とする。

令和 6 年度	縮尺	S-18
名称工事名 掘西東小学校屋外プール改築工事		構造
図名 壁平面配筋詳細図・B通り配筋詳細図	1/40	

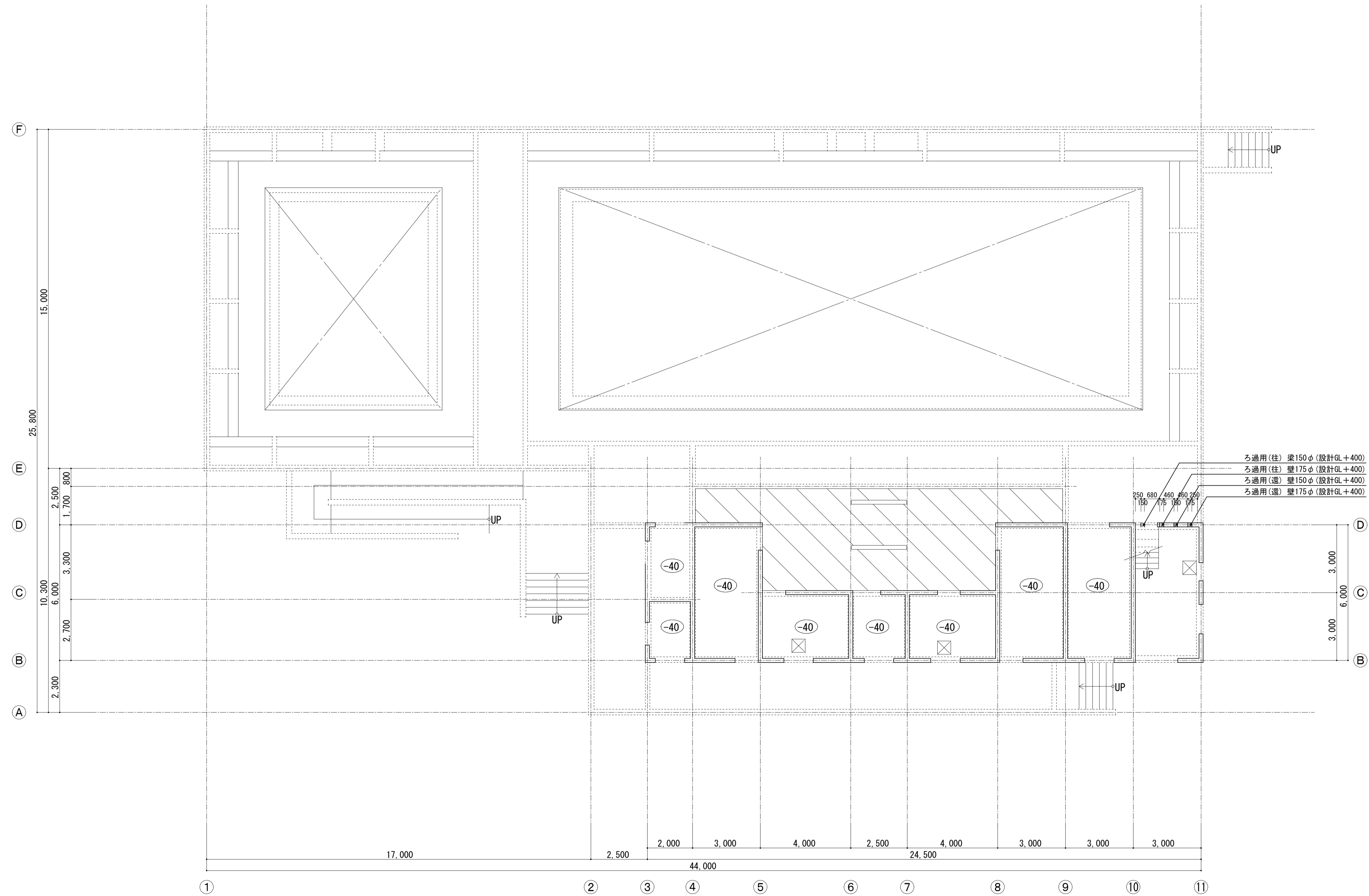
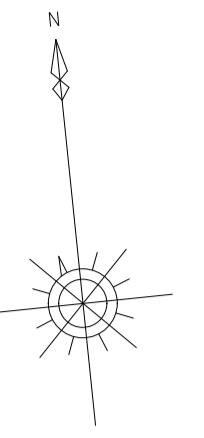


基礎伏スリーブ図 S=1/100



特記事項
 ・梁貫通は施工図作成の上、設備担当と調整すること
 ・壁貫通：在来工法、梁貫通：メーカー品とすること

令和6年度		縮尺	S-19 構造
名称工事名	播西東小学校屋外プール改築工事		
図名	スリーブ図1	1/100	



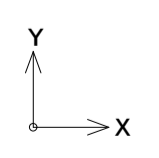
1階土間、壁伏スリーブ図 S=1/100

特記なき限り

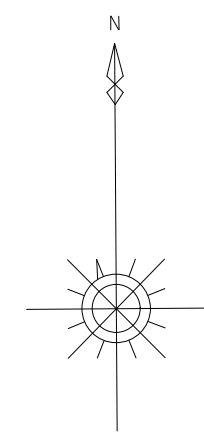
・○はF.Lからのスラブ天端を示す。

特記事項

- ・梁貫通は施工図作成の上、設備担当と調整すること
- ・壁貫通：在来工法、梁貫通：メーカー品とすること

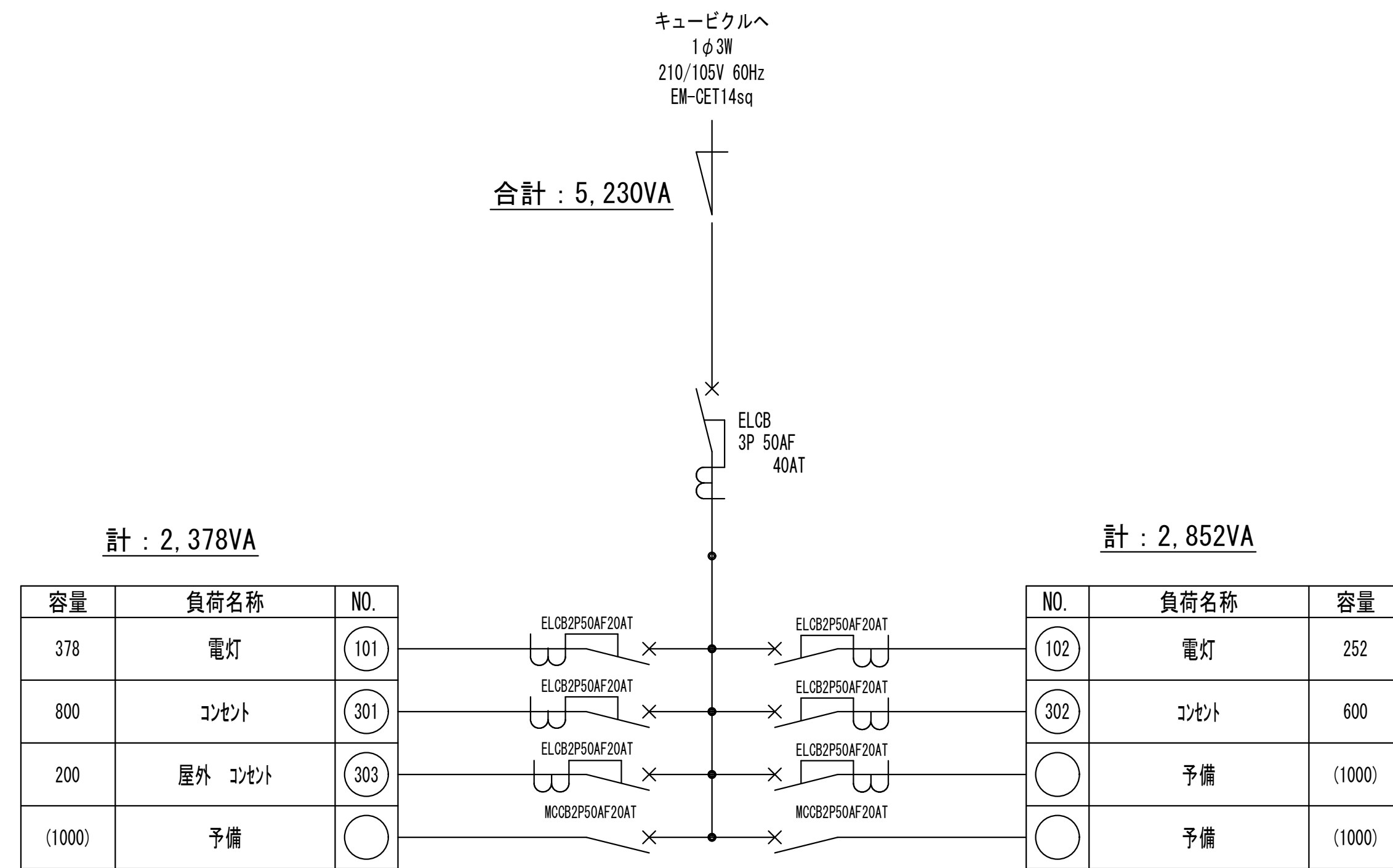


令和6年度		縮尺	S-20 構造
名称工事名	播西東小学校屋外プール改築工事		
図名	スリーブ図2	1/100	



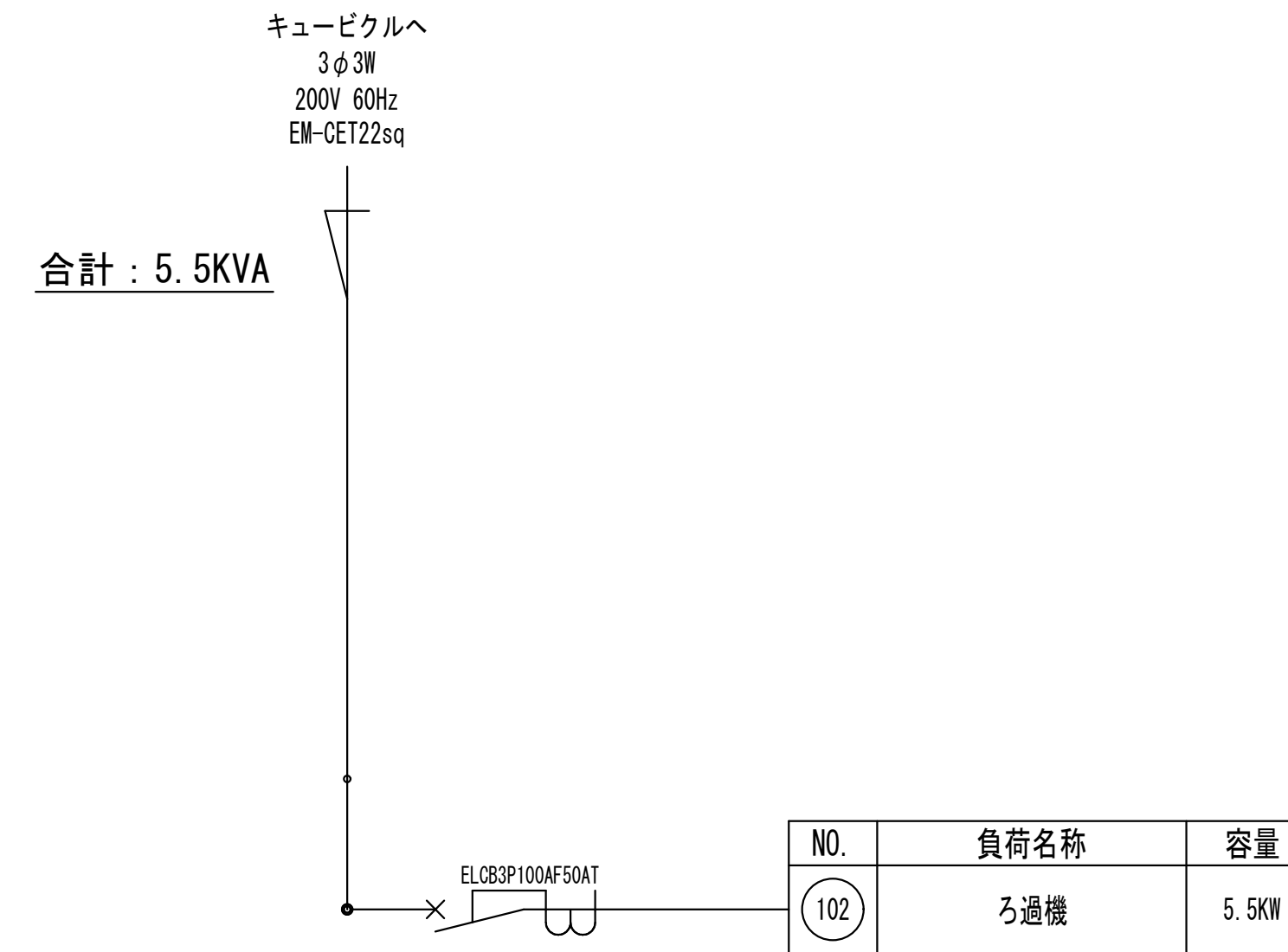
全体配置図 1:500

令和6年度	縮尺	E-02 電気
名称工事名 掘西東小学校屋外プール改築工事		
図名 全体配置図	1/500	



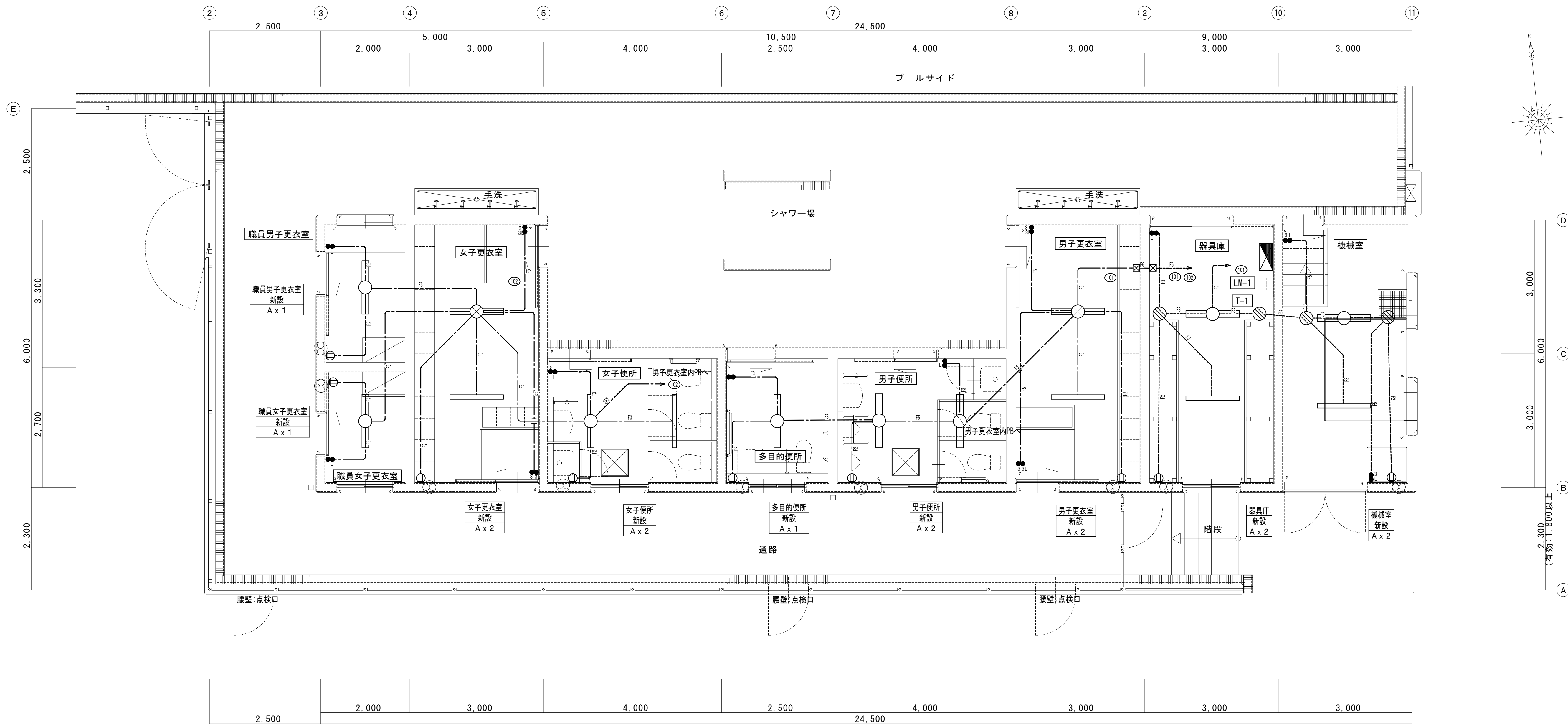
ED ED (ELB)

1. 分岐用配線遮断器は、2P (協約型1Pサイズ) とする。
2. 分岐回路数分の接地端子又は、銅バーを設ける。
3. 分岐回路予備スペースには、ブレーカー取付可能最大分の切込みを行いカバープレートを取り付けること。
4. SUS製、屋内壁掛とし製造者標準品とする。(指定色塗装)

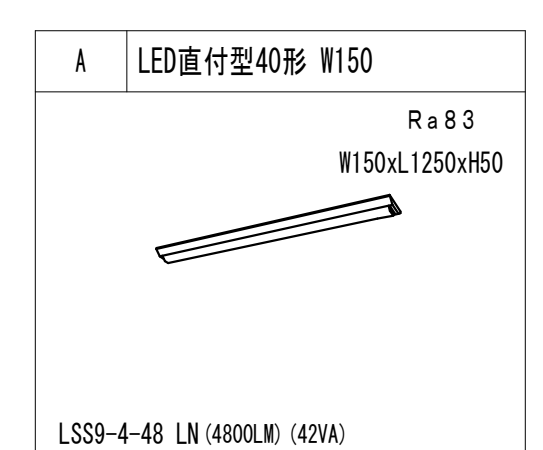


分電盤名称		LM-1	
キャビネット形式		T形	
種別		常用回路	
電気方式	相線	1φ3W	3φ3W
	電圧	105V-210V	210V
負荷容量 KVA		5. 2	5. 5

LM-1 単線結線図



電灯設備 平面図1:50



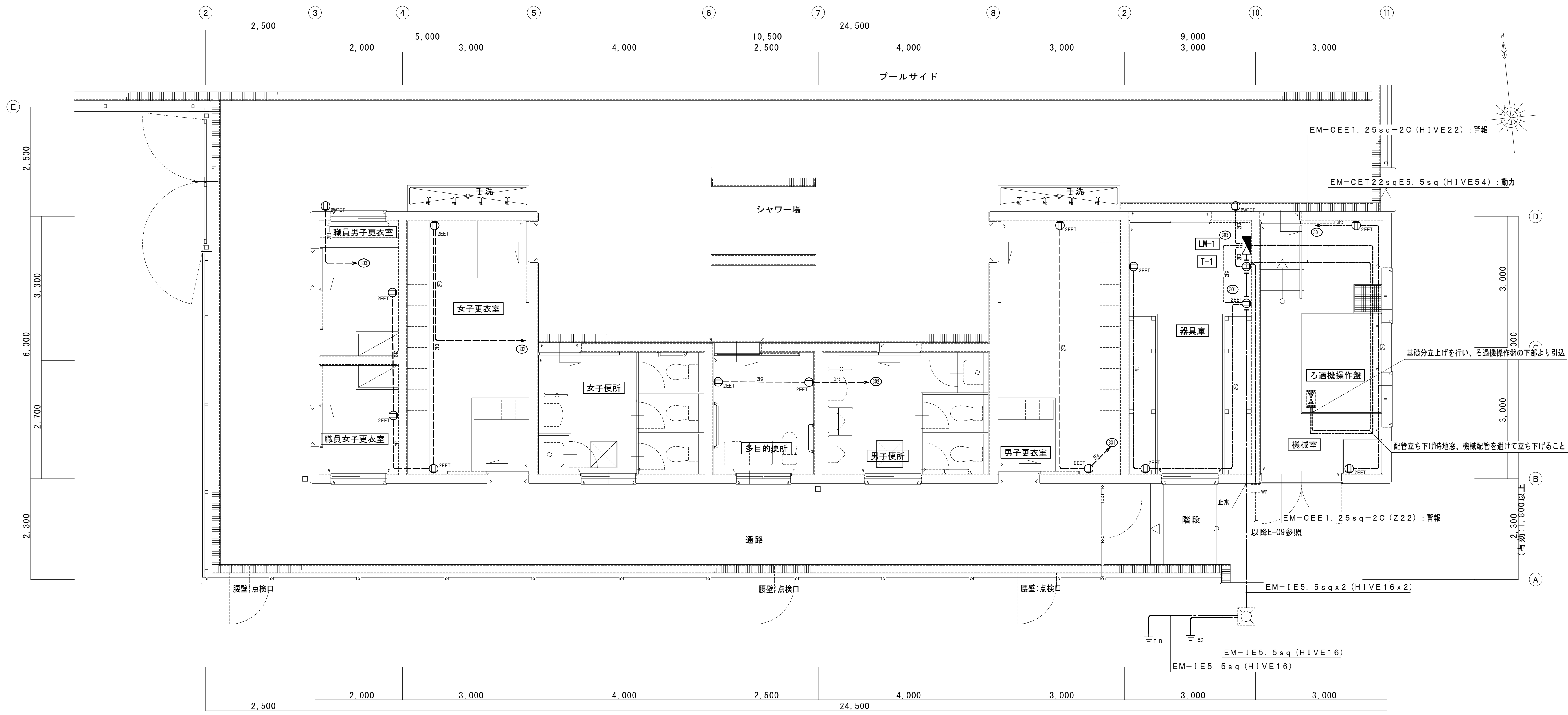
【電灯設備】

保護管		インベ	露出部
F3	EEF1.6-3C	(PF22)	(Z22)
F4	EEF1.6-2C×2	(PF28)	(Z28)

【配管配線凡例】

- 隠蔽配管配線
- 天井内コログシ配線
- 露出配管配線
- 部の引下げは、MM-AIにて保護

記号	名称・適用	備考
■	電灯盤	
□	端子盤	
●	タンブラスイッチ 1P15Ax1 (埋込通用大角形)	新金P付
●	タンブラスイッチ確認表示灯付 1P15Ax1 (埋込通用大角形)	新金P付
●	タンブラスイッチ 3W15Ax1 (埋込通用大角形)	新金P付
○	照明器具 LED40Wx1	
○	照明器具 LED40Wx1 アウトレットボックス付	
○	照明器具 LED40Wx1 PBSS200x200x200Cインベ付	
Ⓜ	埋込コンセント 2P15Ax1	新金P付
⊗	換気扇	機械設備工事
⊗	PBSS200x200x200MP-SUS	



コンセント 動力設備 平面図1:50

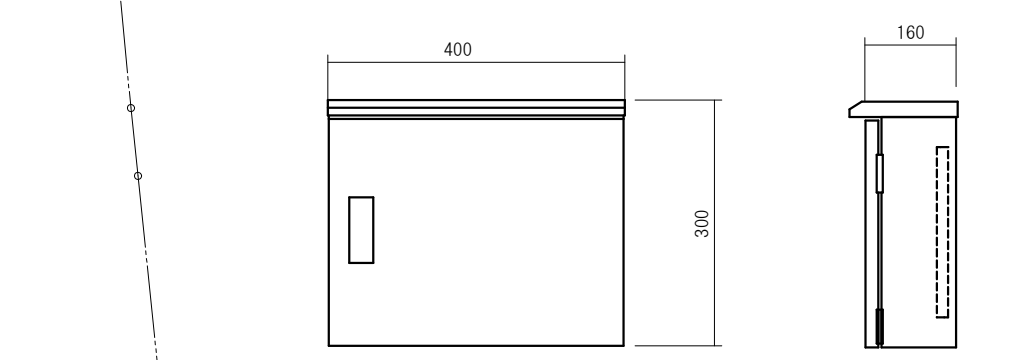
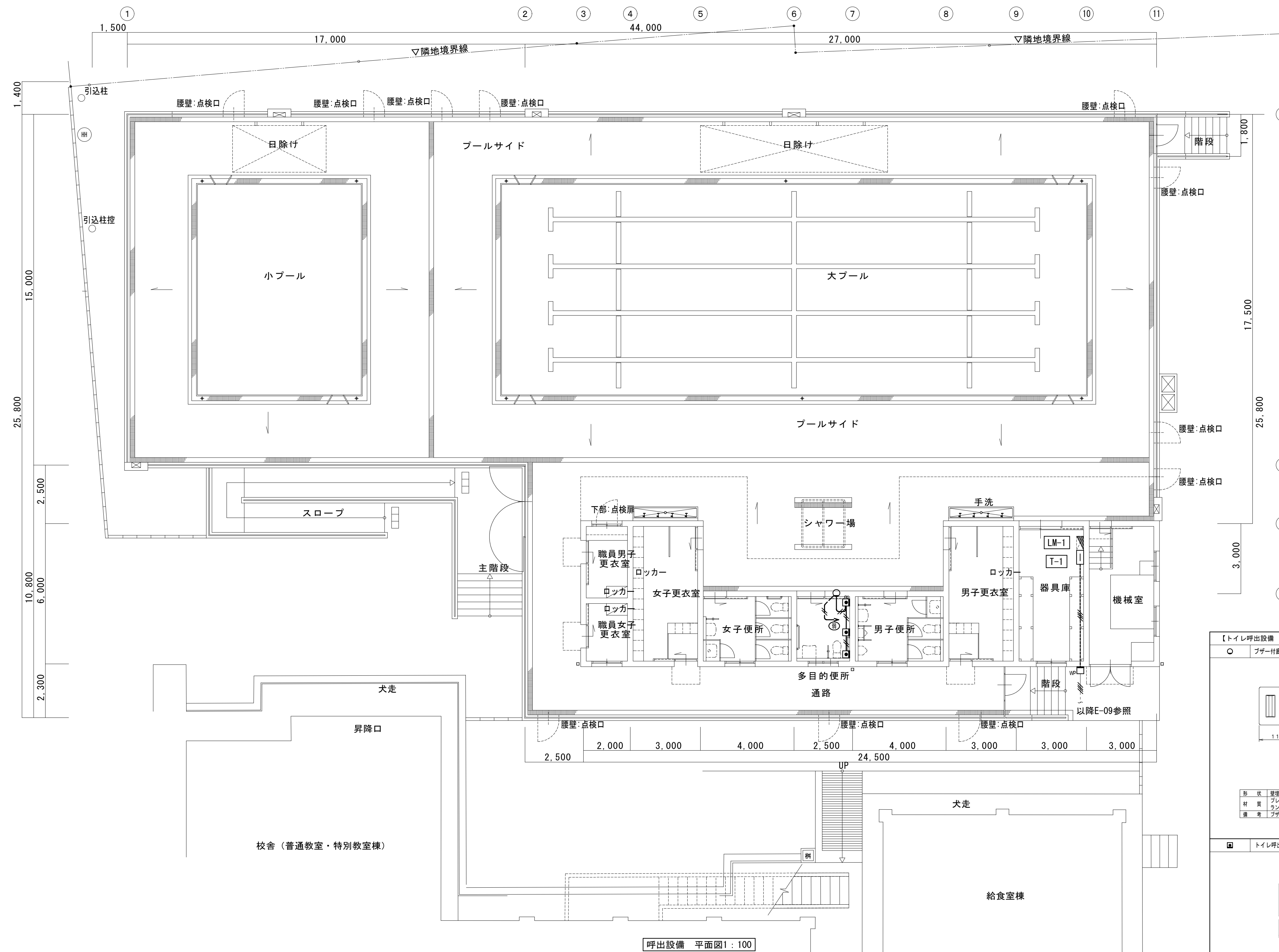
【コンセント設備】

本図で配管、配線サイズ記入なきは、下記による。	保護管	
	インベイ部	露出部
EF2.0-3C	(PF22)	(Z22)

「配管配線凡例」

- 隠蔽配管配線
- 天井内コログシ配線
- 露出配管配線
- 埋込配管配線

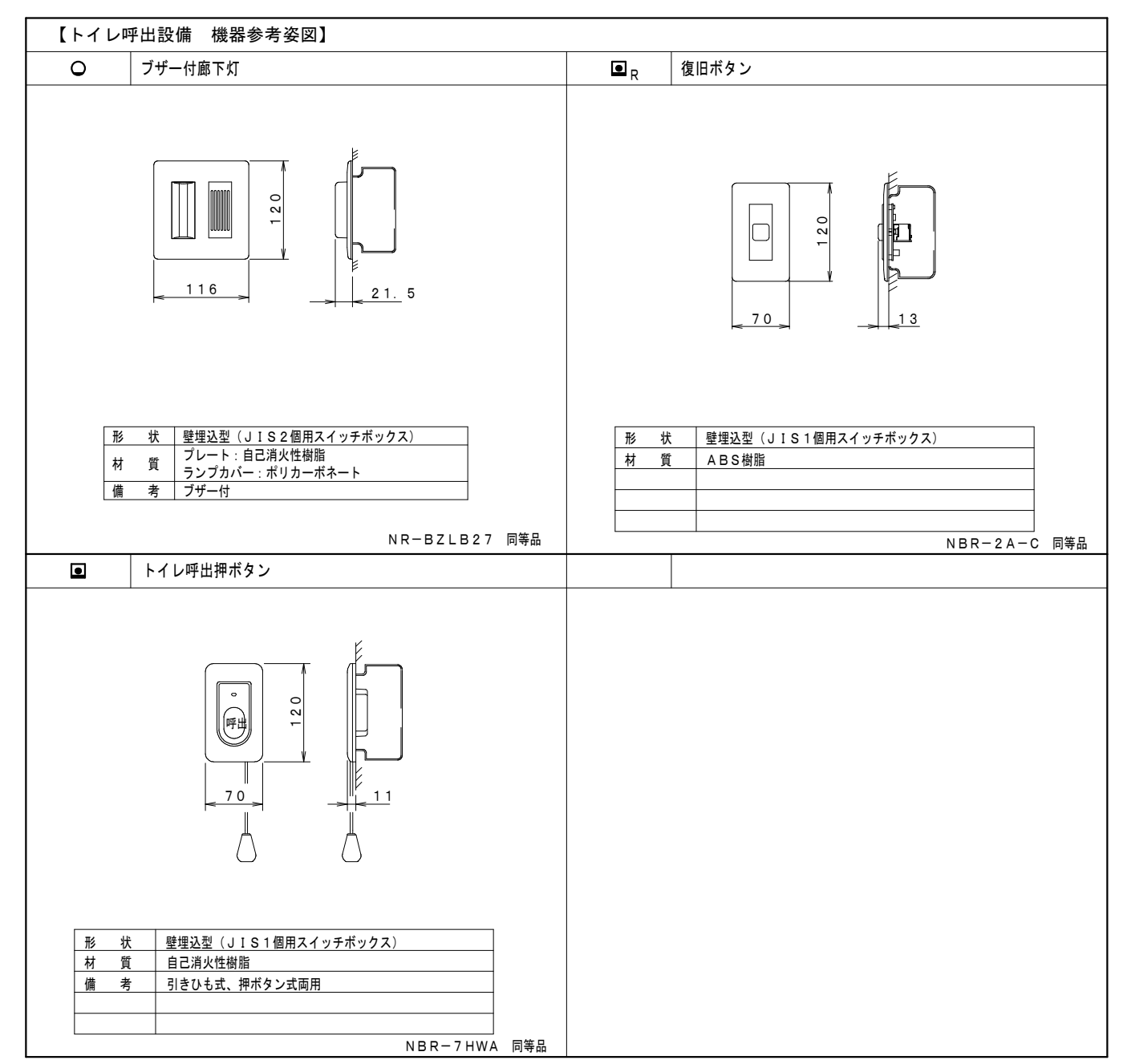
記号	名称・適用	備考
☐	電灯盤	
☐	端子盤	
⊙ _{EET}	埋込コンセント 2P15Ax2 接地極、接地端子付	新金付
⊙ _{WP}	防水コンセント 2P15Ax2	
☑	ろ過機制御盤	機械工事
☑	ハンドホール H1-6, R2X-60	
⊕	接地極	



端子盤 参考図
(屋内露出壁掛型、屋根付、SUS製、市販品)

端子盤リスト

端子盤名称	呼出	予備	合計	備考
T-1	5P	5P	10P	コンセント2P15A x 2E付 鋼板製屋内壁付型 (上部ダクト付) 指定色塗装



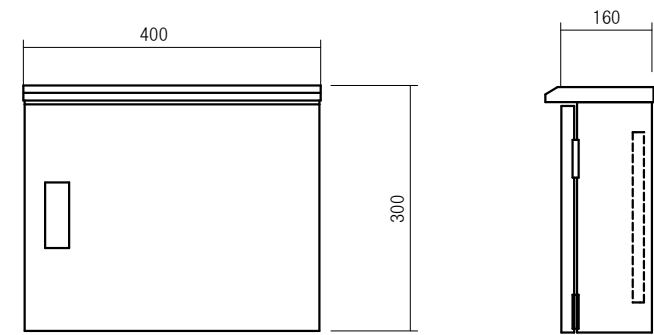
呼出設備 平面図 1:100

呼出	保護管	管径	露出部
EM-AE1.2-2C	インベイ節	(PF16)	(Z16)
EM-AE1.2-4C	露出部	(PF16)	(Z16)

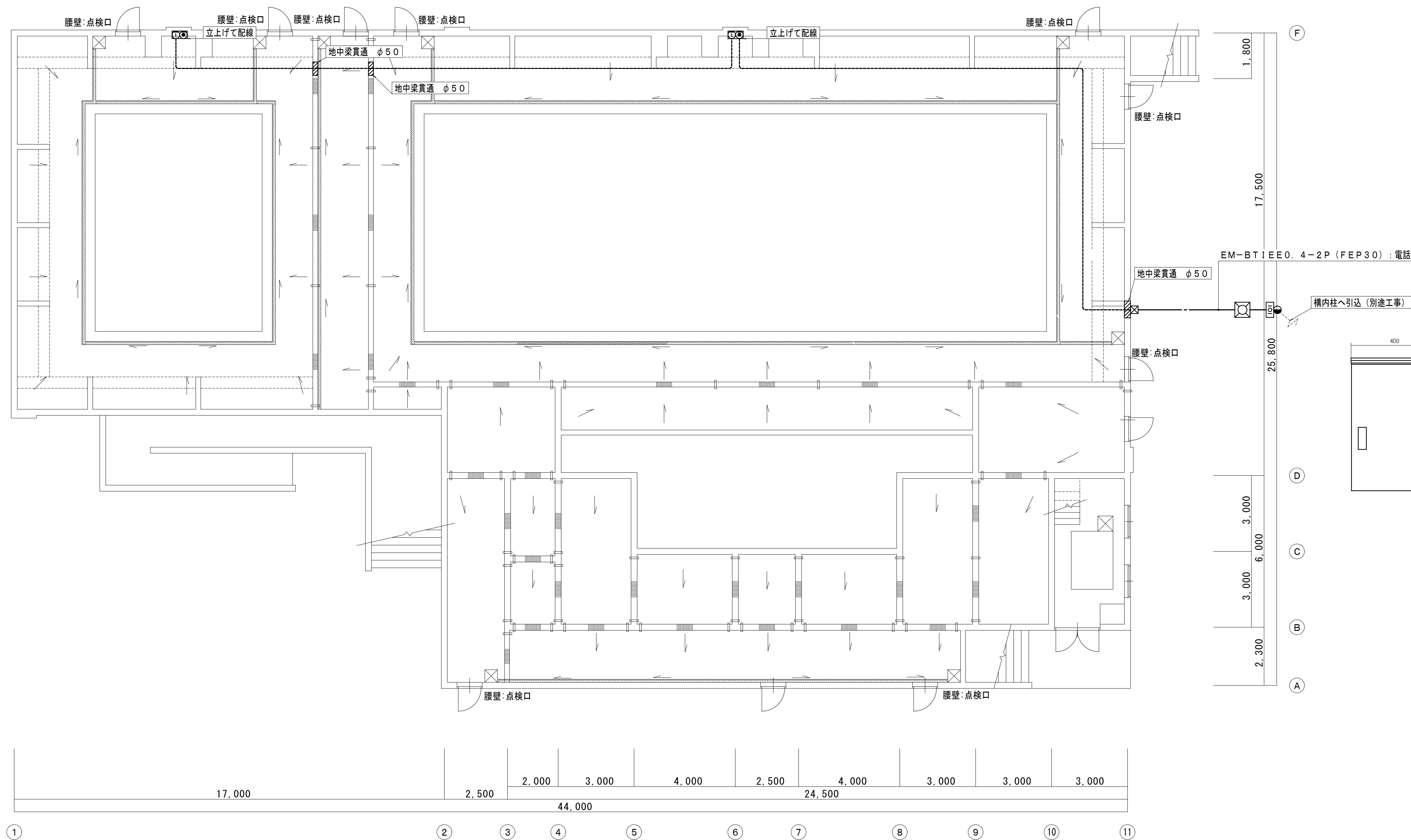
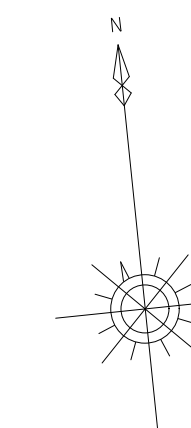
「配管配線凡例」

- 壁隠蔽配管配線
- 天井内コログシ配線
- 露出配管配線
- 部の引下げは、MM-AIにて保護

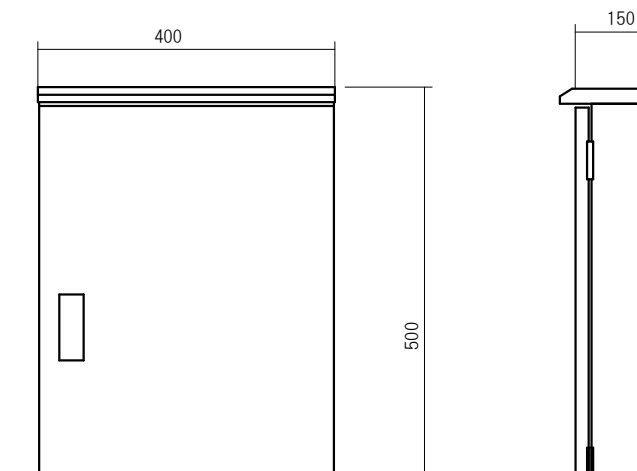
記号	名称・適用	備考
■	電灯盤	
□	端子盤	
○	トイレ呼出表示灯 プグー付	
□	トイレ呼出ボタン 引き紐付き	
□ _R	トイレ呼出復旧ボタン	
□ _{MP}	防雨入線プレート	



電話機ボックス 参考図
(屋外露出壁掛型、屋根付、SUS製、市販品)

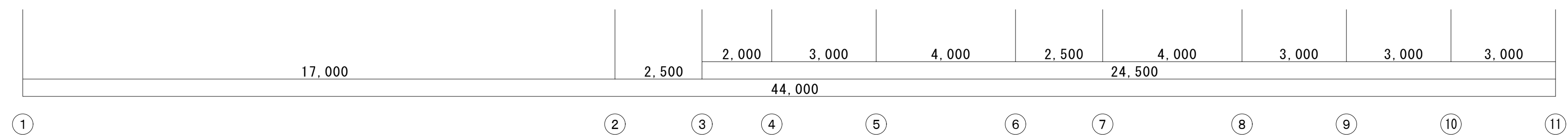


F
1.800
17.500
25.800
D
3.000
C
6.000
B
3.000
A
2.300



保安器盤内部機器	
保安器	10Pスペース
成端箱	スペース

保安器盤 参考図 (参考品番: 8P84515V)
(屋外露出壁掛型、屋根付、SUS製、市販品)



構内交換設備 ビット平面図 1:100

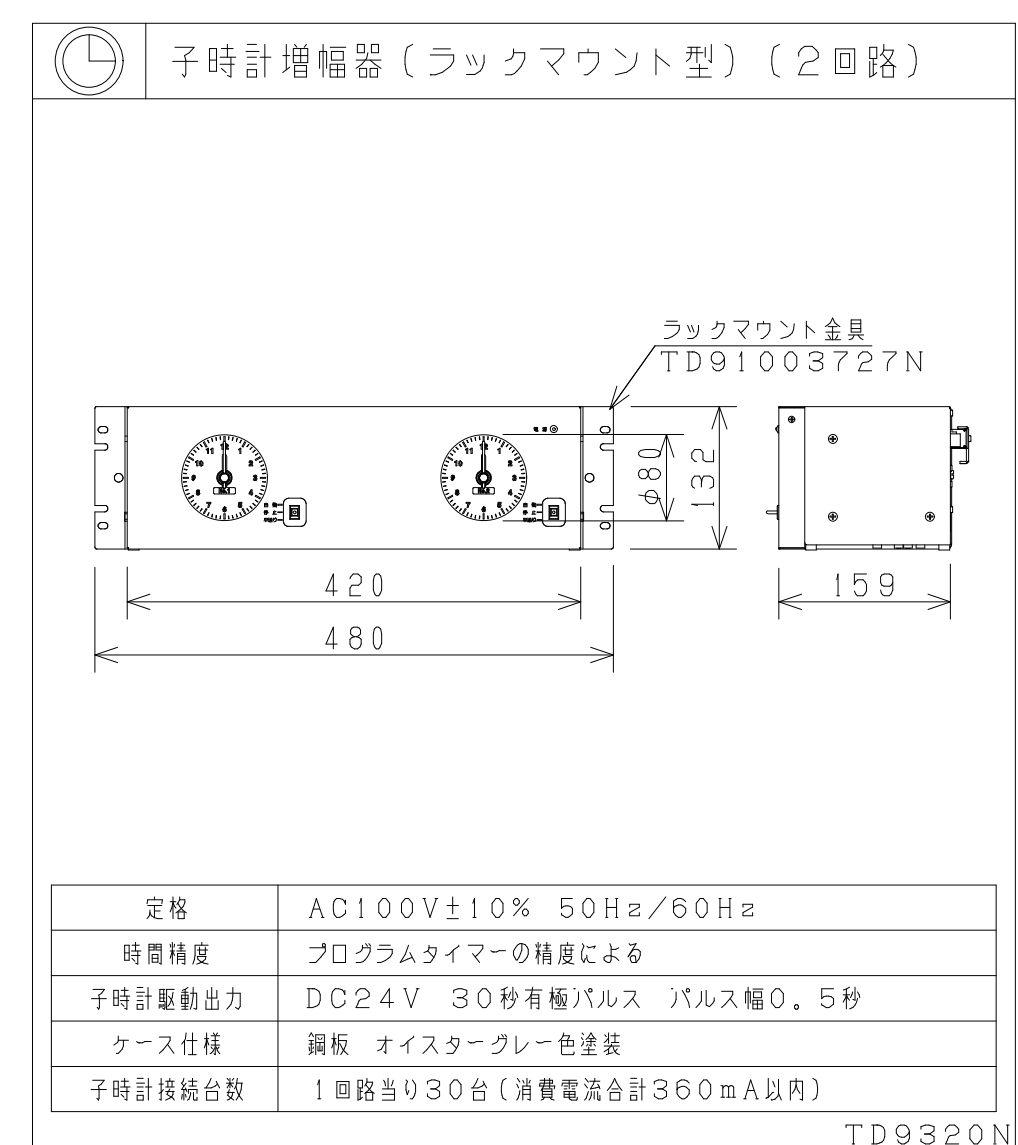
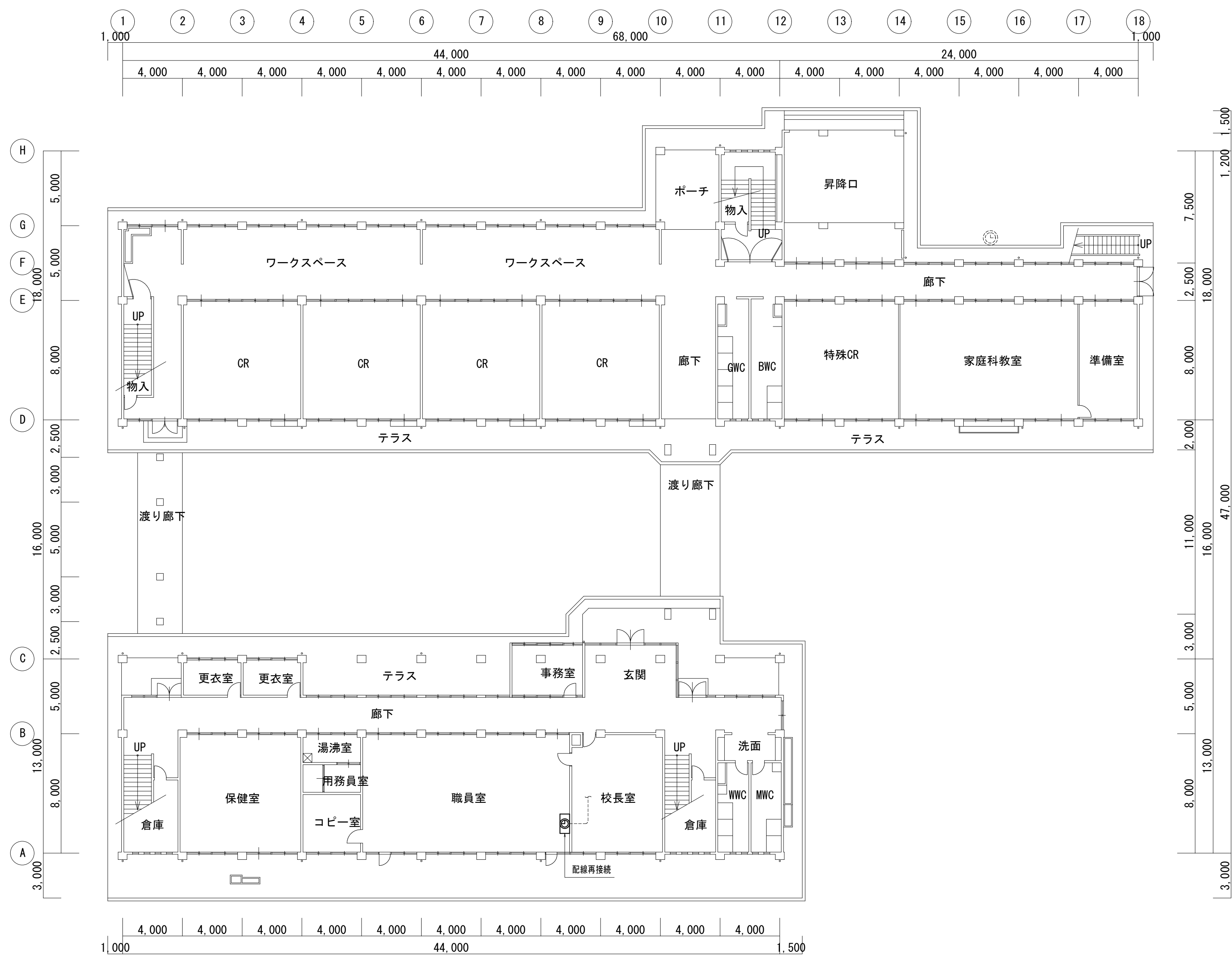
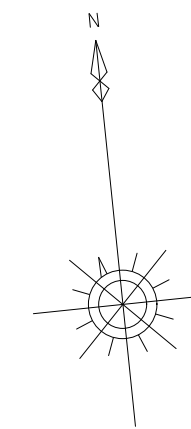
保護管	
本図で配管、配線サイズ記入なきは、下記による。	インペイ部 (Z22) 露出部 (Z22)
「配管配線凡例」	
—— 隠蔽配管配線	
—— 天井内コログラス配線	
----- 露出配管配線	

記号	名称・適用	備考
□	保安器盤	
●	壁付電話用フット	新金P
○	壁付電話機	
☒	PBSS200x200x200WP-SUS	
□	電話用柱ボックス 415x300x160	SUS防水
☒	ハンドホール H1-6, R2K-60	

① 外線電話機

電源	局電源
ダイヤルモード	電話回線により切替え
機能	着信表示ランプ、スピーカ、再ダイヤル、フッキング、保留

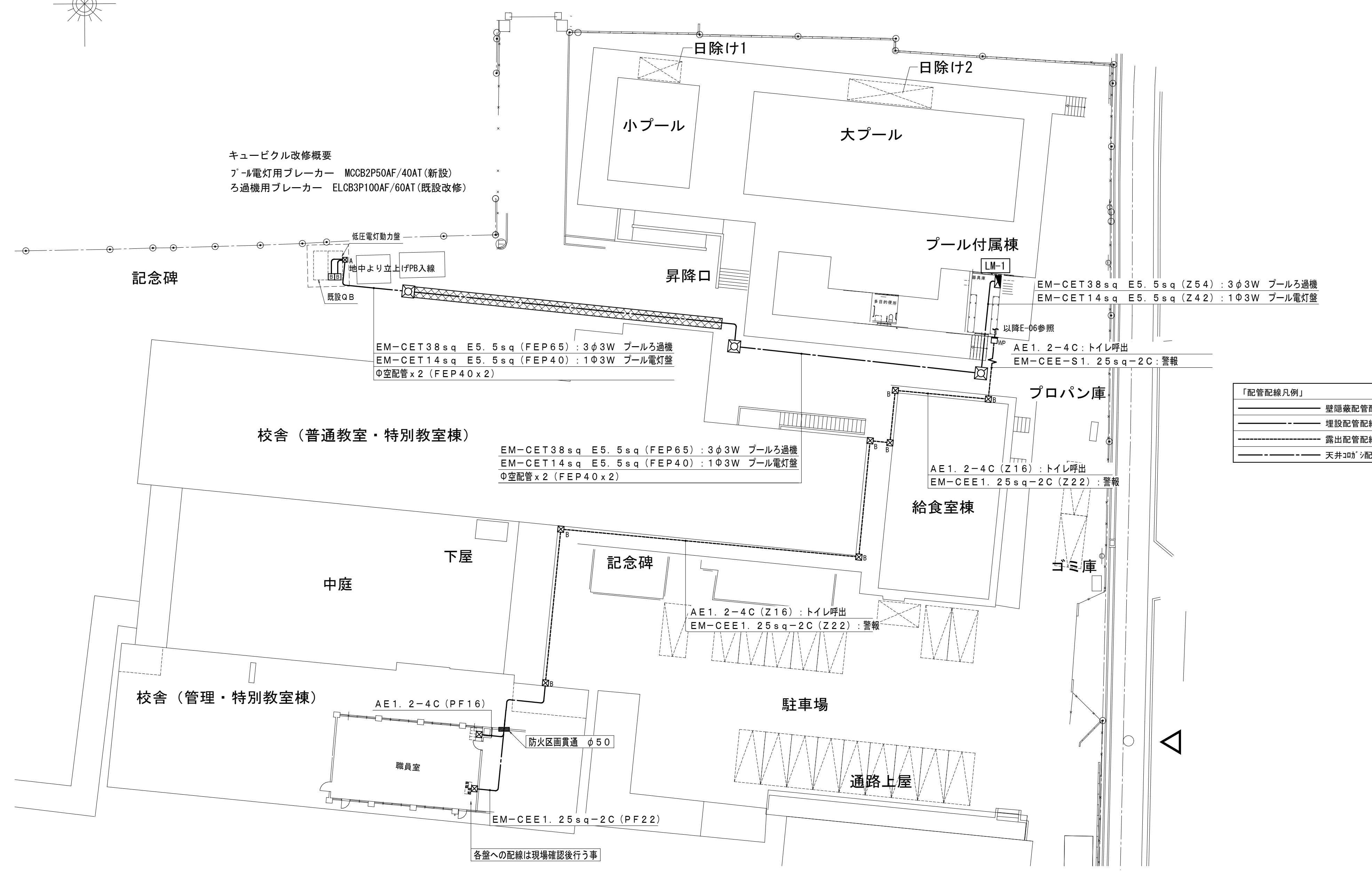
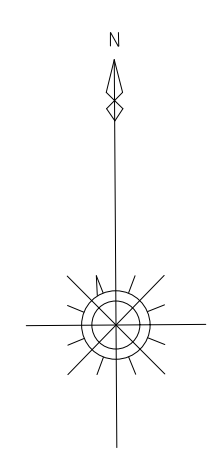
4YA3506-2465G101+壁掛用品 同等品



記号	名称・適用	備考
⊙	子時計増幅器	型番: TD9320N
⊚	既存ア-用時計	

情報表示設備 1階校舎平面図1:200

令和6年度	縮尺	E-08 電気
名称工事名	1/200	
図名		



キュービクル改修概要
 プール電灯用ブレーカー MCCB2P50AF/40AT (新設)
 ろ過機用ブレーカー ELCB3P100AF/60AT (既設改修)

EM-CET38sq E5.5sq (FEP65): 3φ3W プールろ過機
 EM-CET14sq E5.5sq (FEP40): 1φ3W プール電灯盤
 φ空配管x2 (FEP40x2)

EM-CET38sq E5.5sq (FEP65): 3φ3W プールろ過機
 EM-CET14sq E5.5sq (FEP40): 1φ3W プール電灯盤
 φ空配管x2 (FEP40x2)

EM-CET38sq E5.5sq (Z54): 3φ3W プールろ過機
 EM-CET14sq E5.5sq (Z42): 1φ3W プール電灯盤

AE1.2-4C (Z16): トイレ呼出
 EM-CEE1.25sq-2C (Z22): 警報

AE1.2-4C (Z16): トイレ呼出
 EM-CEE1.25sq-2C (Z22): 警報

AE1.2-4C (PF16)

EM-CEE1.25sq-2C (PF22)

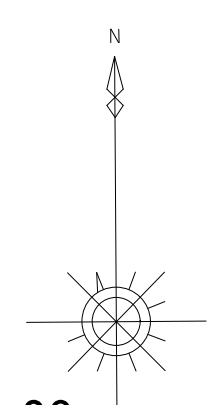
各盤への配線は現場確認後行う事

構内配電線路、構内通信線路図1:250

「配管配線凡例」

	壁隠蔽配管配線
	埋設配管配線
	露出配管配線
	天井コアシ配管配線

記号	名称・適用	備考
	電灯動力盤	
	端子盤	
	ハンドホール H1-6 R2X-60	
	PSSS300x300x300NP-SUS	
	既設トイレ呼出表示器 4窓	
	既設警報盤	
	PSSS200x200x200NP-SUS	
	防雨入線プレート	
	地中埋設配管掘削部分 アスファルト舗装 掘削補修共	A5-15



「配管配線凡例」

	壁隠蔽配管配線
	天井内コログシ配線
	露出配管配線

×・・・撤去

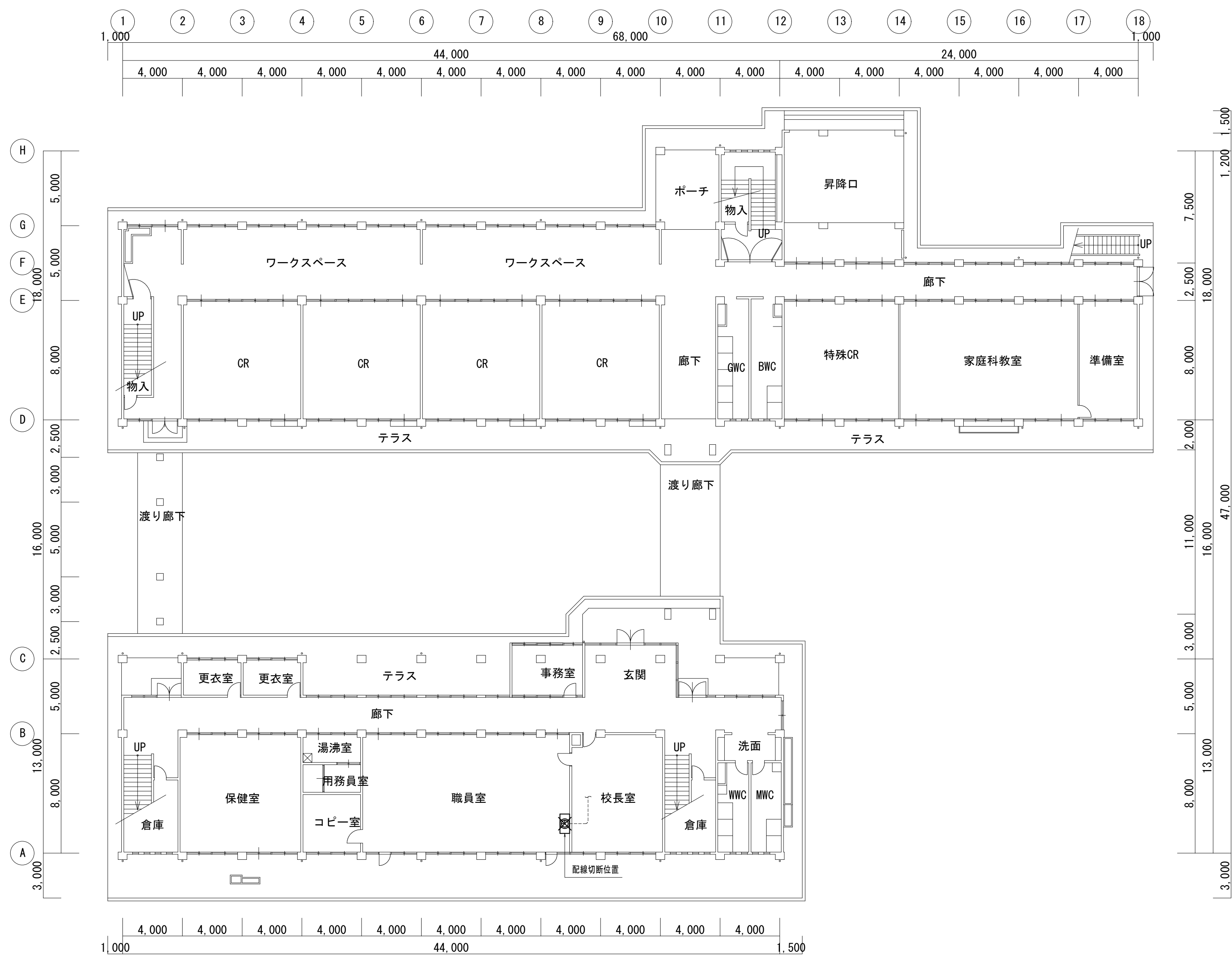
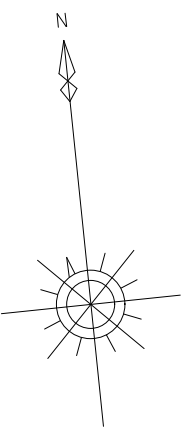
記号	名称・適用	備考
	蛍光灯 FL40Wx1 露出型	
	防水コンセント 接地極付	
	エントランスキャップ	
	PBS100x100x50C	

【注記】

- ・工事に伴い既設を十分調査、把握し監督員との協議の上最大限に注意を払い施工する事
- ・図面に記されていない配管・配線を発見した際には速やかに報告する事

電灯 コンセント設備 撤去図1:200

令和6年度	縮尺	E-10 電気
名称工事名 播西東小学校屋外プール改築工事		
図名 電灯 コンセント設備 撤去図	1/200	



×・・・撤去

記号	名称・適用	備考
⊙	子時計増幅器	型番：TD6320

【注記】

- ・工事に伴い既設を十分調査、把握し監督員との協議の上最大限に注意を払い施工する事
- ・図面に記されていない配管・配線を発見した際には速やかに報告する事

情報表示設備 1階校舍棟 撤去図1：200

令和6年度	縮尺	E-11 電気
名称工事名 掘西東小学校屋外プール改築工事		
図名 情報表示設備 1階校舍棟 撤去図	1/200	



撤去
ポンプ盤
500 x 400 x 200
ELCB3P100AF/60AT x 1

HH内既設ポンプ盤用配線の撤去

「配管配線凡例」	
——	壁隠蔽配管配線
---	天井内コログシ配線
---	露出配管配線
---	埋設配管配線

×・・・撤去

記号	名称・適用	備考
⊠	動力盤	
⊞	PBSS300x300x150	
⊞	ハンドホール	

【注記】

- ・工事に伴い既設を十分調査、把握し監督員との協議の上最大限に注意を払い施工する事
- ・図面に記されていない配管・配線を発見した際には速やかに報告する事

構内配電 動力設備 撤去図1:200

機械設備特記仕様書

- ・ 工事名称 損西東小学校屋外プール改築工事
- ・ 工事場所 建築図による
- ・ 一般共通事項

1. 本工事の施工は本仕様書、設計図書により完全に施工すること。尚、記載無き事項は下記による。
 - 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（公共建築工事標準仕様書 機械設備工事編）及び（標準図）（最新版）
 - ・ 新日本建築家協会建築設備工事共通仕様書（最新版）
2. 本工事に必要な関係官庁への手続き、申請等は請負業者が代行し、これに伴う費用は請負者の負担とする。
3. 設計図書に明記なき場合又は、疑義が生じた場合は監督員と協議の上施工のこと。この場合請負金額の増減はしない。
4. 提出書類は建築工事特記仕様書を基準とし監督員の承諾を得ること。
5. 優先順位
 1. 監督員現場説明事項
 2. 特記事項
 3. 設計図書
 4. 機械設備共通仕様書

- ・ 工事種目
 - 給水設備工事 ○プールろ過機設備工事 ・空調設備工事
 - 排水通気設備工事 ○ガス設備工事 ○換気設備工事
 - 衛生機器設備工事 ・制御設備
 - ・給湯設備工事
 - ・消火設備工事

・ 工事区分

工事項目	本工事	建築	電気	別途
1. 構造体貫通スリーブ 躯体貫通	○			
2. 同上鉄筋補強		○		
3. 雨水設備立樋及びルーフトレン		○		
4. 同上曲部管以降		○		
5. 各種点検口		○		
6. 化粧樋	○			
7. 外部地中埋設管表示テープ及び表示杭	○			
8. 機械基礎工事		○		
9. 機器二次側配線（リモコン配線）（機器電源渡り線）	○			
10. 同上空配管	○			

・ 使用材料

・本工事に使用する材料は、特記なき限り下記の通りとする

給水管			
○ 耐衝撃性塩化ビニール管	HIVP	○ 全般	・ 地中埋設
・ 硬質塩化ビニールライニング鋼管	SGP-VA	・ 全般	・ 地中埋設以外
・ 硬質塩化ビニールライニング鋼管	SGP-VB	・ 便所 屋外架空	
・ 硬質塩化ビニールライニング鋼管	SGP-VD	・ ビット内 RC内	
雑排水・汚水管			
○ 硬質塩化ビニール管	VP	○ ビット内	・ 地中
○ 硬質塩化ビニール管	VU	・ 天井内	○ 屋外地中埋設
・ 耐衝撃性塩化ビニール管	HIVP	・ 中継槽以降	
通気管			
○ 硬質塩化ビニール管	VP	○ 全般	・ 地中埋設
・ 配管用炭素鋼鋼管	SGP（白）	・ 全般	・ 地中埋設
・ 耐火二層管	TMP	・ 地中埋設以外	・ 防火区画貫通部分前後1m
給湯管			
・ 建築用銅管	CUP-M	・ 全般	・ 地中埋設
・ 被覆断熱チューブ（エスロメタックス）	PP	・ 全般	・ 地中埋設
ろ過配管			
○ 耐衝撃性塩化ビニール管	HIVP	○ 全般	・ 地中埋設
・ 硬質塩化ビニールライニング鋼管	SGP-VA	・ 全般	・ 地中埋設以外
・ 硬質塩化ビニールライニング鋼管	SGP-VB	・ 便所 屋外架空	
ガス管			
○ 配管用炭素鋼鋼管	SGP（白）	○ 全般	
・ ポリエチレン管	PE	・ 地中埋設	
○ ポリエチレンヒフク鋼管	PLP	・ RC内	○ 地中埋設
空調用冷媒管			
・ 国土交通仕様保温付被覆冷媒鋼管		・ 全般	・ 地中埋設
空調用ドレン管			
・ 硬質塩化ビニール管	VP	・ 全般	・ 地中埋設
・ 硬質塩化ビニール管	VP（カラー）	・ 屋外露出	
排気ダクト			
・ スパイラルダクト（0.5t）		・ 全般	
・ 亜鉛鉄板		・ ダクト	
・ ステンレス鋼板		・ フード	

・ 保温仕様

・本工事に使用する材料は、特記なき限り下記の通りとする 排水管は国土交通省仕様とする。

給水管・消火管・ドレン管（ドレン管はグラスウール保温筒（C））	
屋内露出	保温筒（A）+ 粘着テープ+ ポリエチレンフィルム+ カラー亜鉛鉄板
機械室、倉庫	保温筒（A）+ 粘着テープ+ アルミガラスクロス
天井内、PS内、空隙壁中	保温筒（A）+ 粘着テープ+ アルミガラスクロス
床下、暗渠内、ビット内	保温筒（A）+ 粘着テープ+ ポリエチレンフィルム+ 着色アルミガラスクロス
屋外露出	保温筒（A）+ 粘着テープ+ ポリエチレンフィルム+ ステンレス鋼板
給湯管	
屋内露出	保温筒（B）+ 鉄線+ ポリエチレンフィルム+ カラー亜鉛鉄板
機械室、倉庫	保温筒（B）+ 鉄線+ 原紙+ アルミガラスクロス
天井内、PS内、空隙壁中	保温筒（B）+ 鉄線+ アルミガラスクロス
床下、暗渠内、ビット内	保温筒（B）+ 鉄線+ ポリエチレンフィルム+ アルミガラスクロス
屋外露出	保温筒（B）+ 鉄線+ ポリエチレンフィルム+ ステンレス鋼板
冷媒管 ダクト	
屋内露出	スリムダクト 及び 合成樹脂カバー
屋外露出	ステンレス鋼板

*保温筒 （A）ポリスチレンフォーム保温筒 （B）ロックウール保温筒 （C）グラスウール保温筒
 屋外ドレン配管は保温無しとし塗装仕上げとする。鋼管の土中、コンクリート内、ビット内はベトロラム防食テープ巻きとする

・ 特記事項

- A. 完成引継ぎの際には各種工事の予備品、鍵類等備品一式を提出する。
- B. 防火区画を貫通する部分の穴埋めは完全に行い定められた保護を行うこと。
- C. 建物内埋設部土間配管はスラブよりSUS製吊り金物にて支持すること。
- D. 管を土中埋設とする場合は、管保護のため砂を周囲に埋め戻すこと。
- E. 給水設備工事施工の際は、当該局、事業所規定の下行うこと。
- F. 排水設備工事施工の際は、公共下水道条例、同施工基準に準じて施工のこと。
- G. 空調設備、室内外連絡配線及びリモコン配線は本工事で施工する。
- H. 屋外設置機器固定ボルト及び配管支持金物、便所ビット内支持金物はSUS製とする。
- I. ライニング管のねじ込み配管に使用する継手は管端防食継手とする
又、弁類の接続においても管防食継手の規格に準じた管端コアを有する弁を使用すること
- J. 給水に關係する弁類はすべて鉛対策品を使用すること。
- K. 埋設する弁きょうには、系統名、口径を記入した名板を設けること。
- L. この工事で排出される建築廃棄物を現場外に搬出して処理（再資源化施設、積替入保管場所経由で最終処分）する場合、産業廃棄物管理票（マニフェスト伝票）を使用すること。なお、産業廃棄物管理票は工事完成書類（工事途中で提出を求めることもある）として提出すること。
- M. 施工図は施工一週間前には提出し、監理職者の承諾印が無いものは無効となり、施工できないものとする。製作者印が無いものも無効となる

・ メーカーリスト

・本工事に使用する機材の製造メーカーは下記と同等級以上とする。

名 称	製 作 所			
管材	JIS規格品	JWWA規格品		
バルブ類	東洋バルブ	キッツ	ヤマトバルブ	
衛生機器類	TOTO	LIXIL		
水栓類	TOTO	LIXIL		
排水金物、蓋	ガイドレ	長谷川精工	福西鋳物	
水槽類	NYK西日本	小堀製作所	巴製缶	
ポンプ	エバラ製作所	テラル	川本ポンプ	
ガス給湯器	ノーリツ	パロマ	リンナイ	
消火栓及び器具類	立売堀製作所	横井製作所	北浦製作所	
伸縮継手（ゴム製）	東洋ゴム	横浜ゴム	ブリジストン	
伸縮継手（SUS）	トーフレ	日本ベロー		
空調機器	ダイキン	三菱重工	三菱電機	パナソニック
換気扇	三菱電機	パナソニック	東芝キャリア	
浄化槽	ブリジストン	ダイキ	INAX	
小口径塩ビ樹	アロン	タキロン	マエザワ	

換気機器一覧表

記号	名称	仕様・型式・付属品	風量 (m3)	静圧 (Pa)	電源		操作	騒音 (dB)	台数	設置場所	備考 (参考型番)
					-V	(W)					
FE-1	パイプ用ファン	角形格子グリルタイプ 150 電気式シャッター 電源直結 150 深形フード(ステンレス製 防虫網付)	100	5	1-100	6.5	手動	31.0	2	職員男子更衣室 職員女子更衣室	V-12PSD8(三菱)
FE-2	標準換気扇	壁取付 格子タイプ 200 電気式シャッター 不燃共	350	7	1-100	13.5	手動	33.5	6	女子更衣室 女子便所 多目的便所 男子便所 男子更衣室 器具庫	EX-20EK9-C(三菱)
FE-3	有圧換気扇	壁取付 200 ステンレス製 ウエザーカバー(ステンレス製 防鳥網 風圧シャッター付)、バックガード、不燃共	450	40	1-100	28.0	手動	36.5	1	機械室	EF-20YSXC2(三菱)
	ウエザーカバー	200標準換気扇用 ステンレス製 防虫網付 200標準換気扇用 ステンレス製 防鳥網付							5 1	更衣室・便所 器具庫	

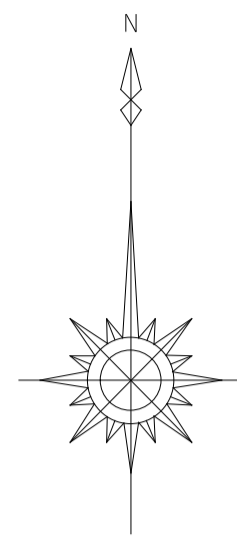
換気量計算書

階	室名	室条件			換気回数 (回/h)	必要 換気量 (m3/h)	機器 換気量 (m3/h)	備考
		面積 (m2)	天井高 (m)	気積 (m3)				
1	職員男子更衣室	6.60	2.44	16.10	5.0	80.5	100	FE-1
1	職員女子更衣室	5.40	2.44	13.18	5.0	65.9	100	FE-1
1	女子更衣室	18.00	2.44	43.92	5.0	219.6	350	FE-2
1	女子便所	12.00	2.44	29.28	10.0	292.8	350	FE-2
1	多目的便所	7.50	2.44	18.30	10.0	183.0	350	FE-2
1	男子便所	12.00	2.44	29.28	10.0	292.8	350	FE-2
1	男子更衣室	18.00	2.44	43.92	5.0	219.6	350	FE-2
1	器具庫	18.00	2.73	49.14	5.0	245.7	350	FE-2
1	機械室	18.00	3.76	67.68	5.0	338.4	450	FE-3

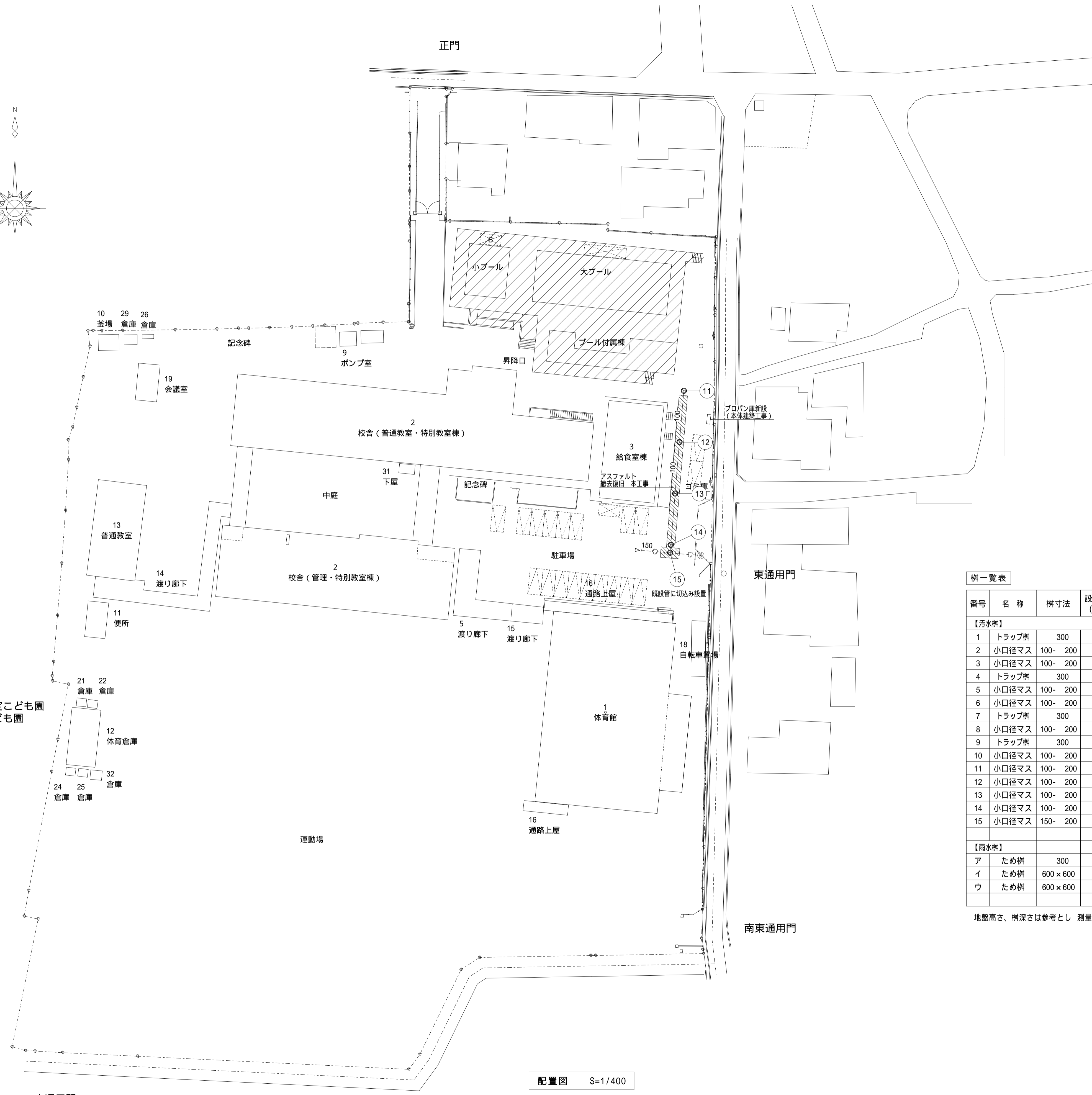
衛生器具一覧表

品名	仕様	参考品番		1階					備考	
		TOTO	LWL	合計	男子 便所	女子 便所	多目的 便所	プール サイド		
大便器	ロータンク式 普通便座(スローダウン)	CS597BCS, SH596BAYR, TC301, YH405	他付属品共	BC-P20SUI, DT-PA250UCHTK, CF-49AT, FKF-AC32C	他付属品共	5	2	3		
大便器	高座面形 普通便座(蓋なし)	CS20AB, SH30BA, TC291J, YH405	他付属品共	BC-220SK, DT-K250, CF-39CK, FKF-AC32C	他付属品共	1			1	
小便器	壁掛け 低リップ フラッシュ弁	UFH500, TG600PN	他付属品共	U-406RU, UF-3JT	他付属品共	2	2			
洗面器	壁掛け 単水栓	L250D, TLC11AR, TL4CFU, TL250D, T6BMP	他付属品共	L-176JAN, LF-E02, LF-3V, LF-105PA, SF-10E	他付属品共	2	1	1		
洗面器	壁掛け 単水栓	L103A, TLC11AR, T7PW9, TL220D	他付属品共	L-365APR, LF-E02, LF-3V252W25, LF-96PA, SF-10E	他付属品共	1			1	
掃除流し	バック付 レバー水栓 アンクル形止水栓 床排水	SK22A, T23AEQ20C, TN114, T37SSEP	他付属品共	S-202A, LF-7KEZ-19, SF-20SAF-P, SF-202	他付属品共	2	1	1		
化粧鏡	350 x 450 耐食鏡	YM3545F		KF-3545A		2	1	1		
化粧鏡	350 x 600 耐食鏡	YM3560F		KF-D3660AG		1			1	
横水栓	万能ホーム水栓	13-F7		LF-7R-13-U		8				8
散水栓	アンクル形消火栓弁40A、壁用弁ボックス(SUS製)共					3				3

令和6年度		縮尺	M-02 機械
名称工事名	播西東小学校屋外プール改築工事		
図名	換気機器、衛生器具一覧表	-	



幼保連携型認定こども園
揖西東こども園



配置図 S=1/400

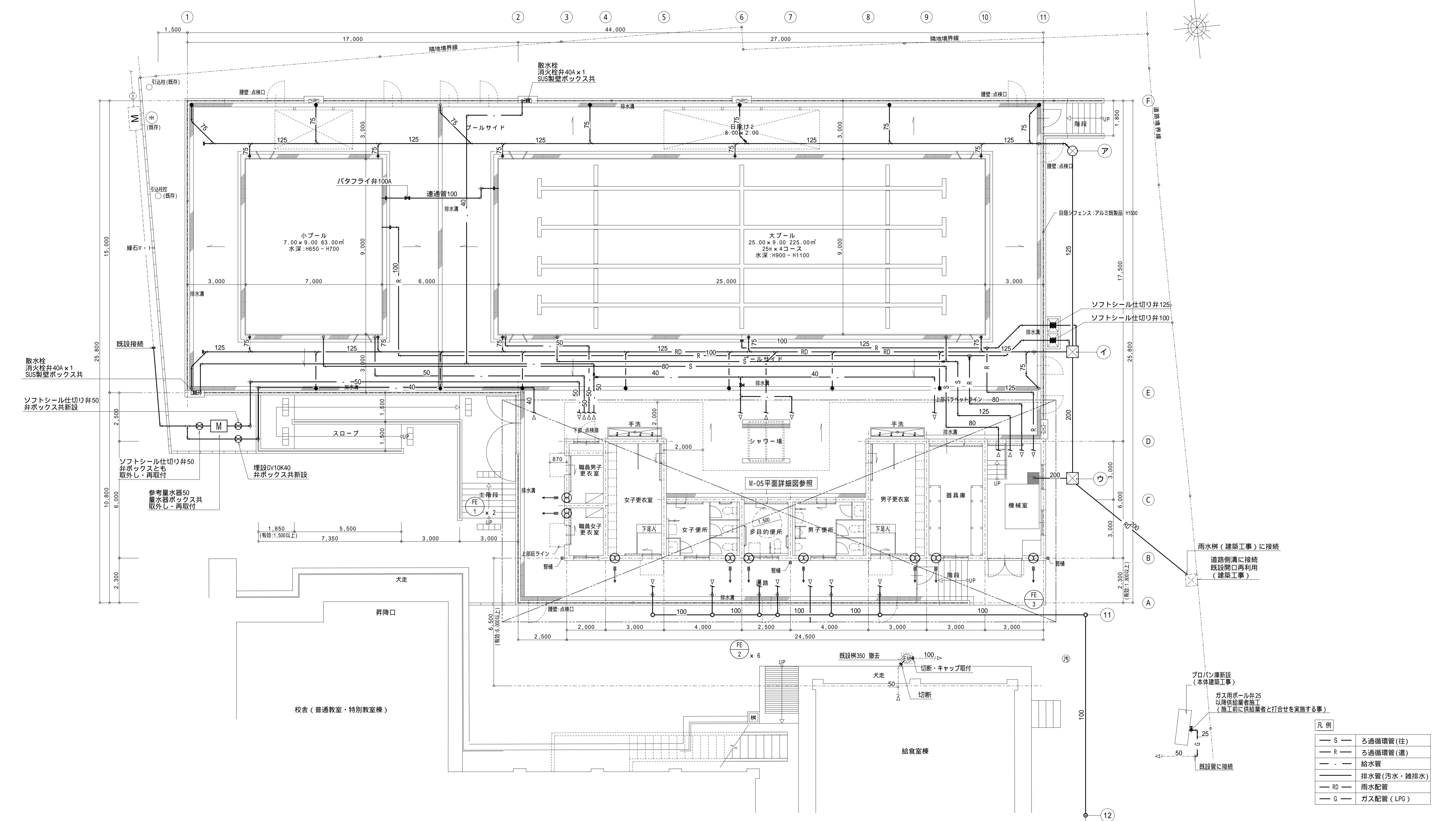
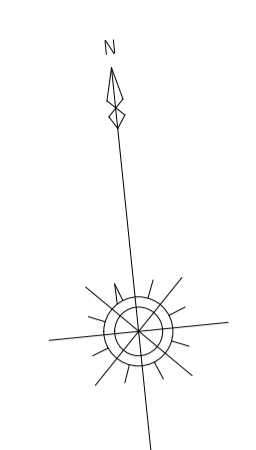
樹一覧表

番号	名称	樹寸法	設計ます高 (GL基準)	地盤高さ	設計ます高 (周囲GL)	樹蓋その他
【汚水樹】						
1	トラップ樹	300	-350	60	-410	レジコン耐圧蓋
2	小口径マス	100- 200	-420	40	-460	90°Y 塩ビ蓋
3	小口径マス	100- 200	-470	30	-500	90°Y 塩ビ蓋
4	トラップ樹	300	-350	30	-380	レジコン耐圧蓋
5	小口径マス	100- 200	-510	30	-540	90°Y 塩ビ蓋
6	小口径マス	100- 200	-580	20	-600	90°Y 塩ビ蓋
7	トラップ樹	300	-350	10	-360	レジコン耐圧蓋
8	小口径マス	100- 200	-650	10	-660	90°Y 塩ビ蓋
9	トラップ樹	300	-300	0	-300	レジコン耐圧蓋
10	小口径マス	100- 200	-690	0	-690	90°Y 塩ビ蓋
11	小口径マス	100- 200	-880	0	-880	90°L 耐圧蓋(T-25)
12	小口径マス	100- 200	-1,100	-200	-900	S 耐圧蓋(T-25)
13	小口径マス	100- 200	-1,320	-350	-970	S 耐圧蓋(T-25)
14	小口径マス	100- 200	-1,520	-500	-1,020	DR 耐圧蓋(T-25)
15	小口径マス	150- 200			-2,050	90°Y 耐圧蓋(T-25)
【雨水樹】						
ア	ため樹	300	-350	0	-350	マンホール(MHA-400)
イ	ため樹	600×600	-450	0	-450	マンホール(MHA-600)
ウ	ため樹	600×600	-550	0	-550	マンホール(MHA-600)

地盤高さ、樹深さは参考とし、測量を実施して施工に当たる事。

令和6年度	縮尺	M-03
名称工事名	揖西東小学校屋外プール改築工事	機械
図名	配置図	1/400

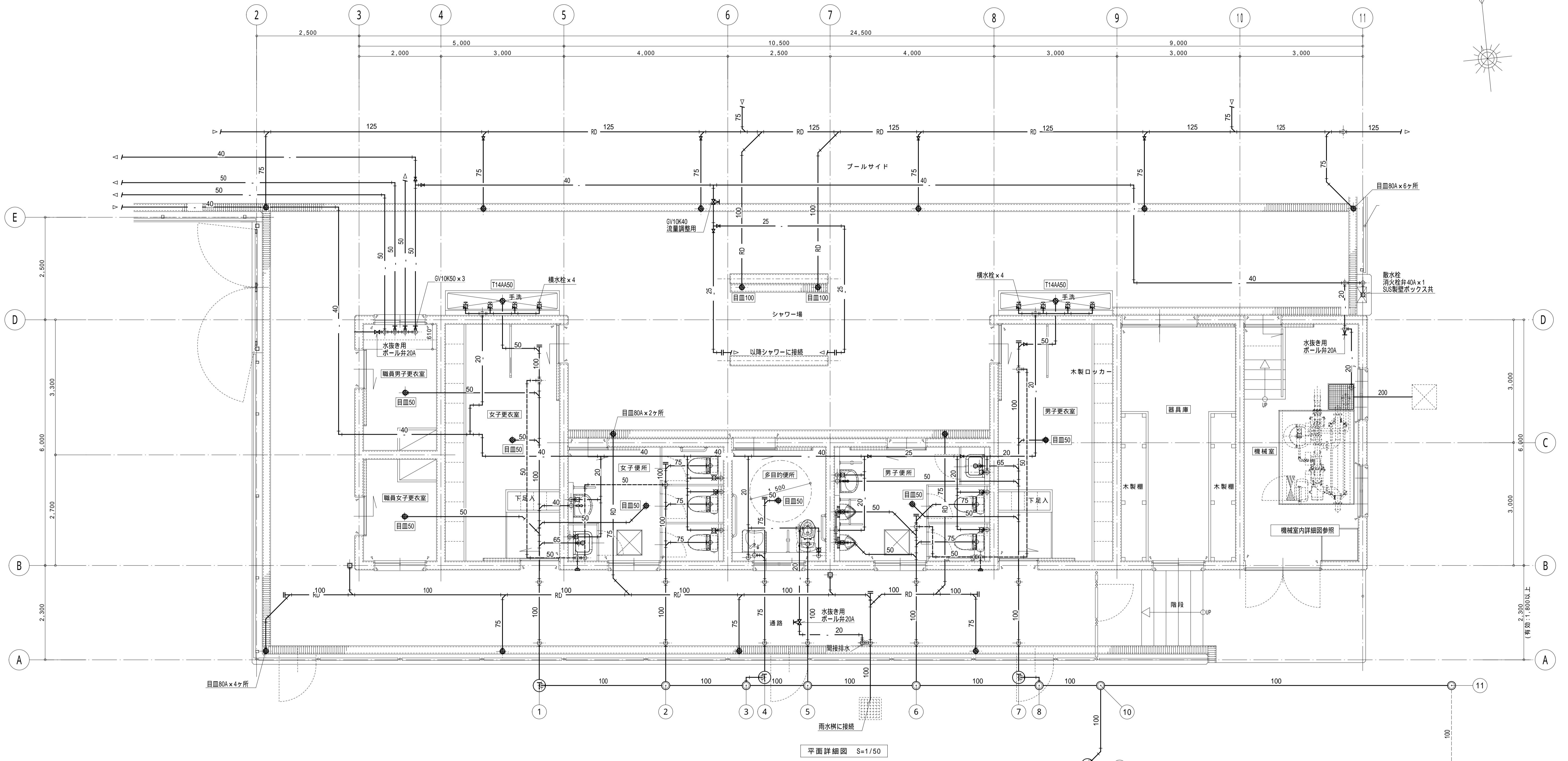
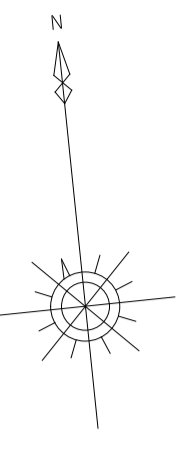
図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする



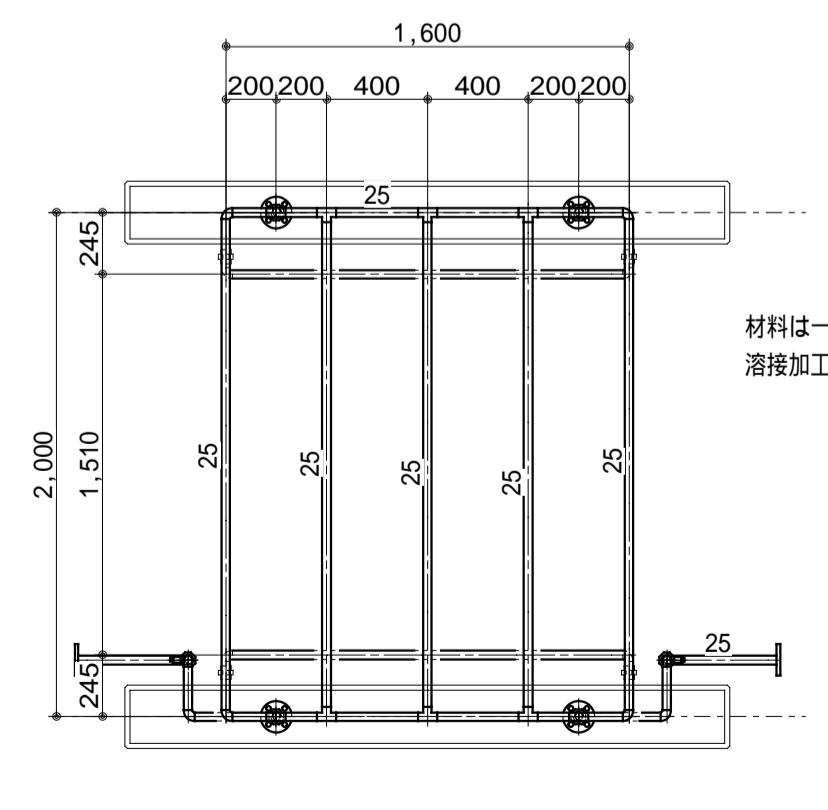
- ・特記補足事項
- ・る過循環配管はHIVPとし保温は不要とする。
 - ・ピット内の配管類支持材はSUS304とする。
 - ・る過循環配管は、形鋼(SUS304)振れ止め支持を施工する。
 - ・ソフトシール弁のキーハンドルは弁用備品として納入する。
 - ・各バルブには開閉状態、行先がわかるように表示を設置する。

平面図 S=1/100

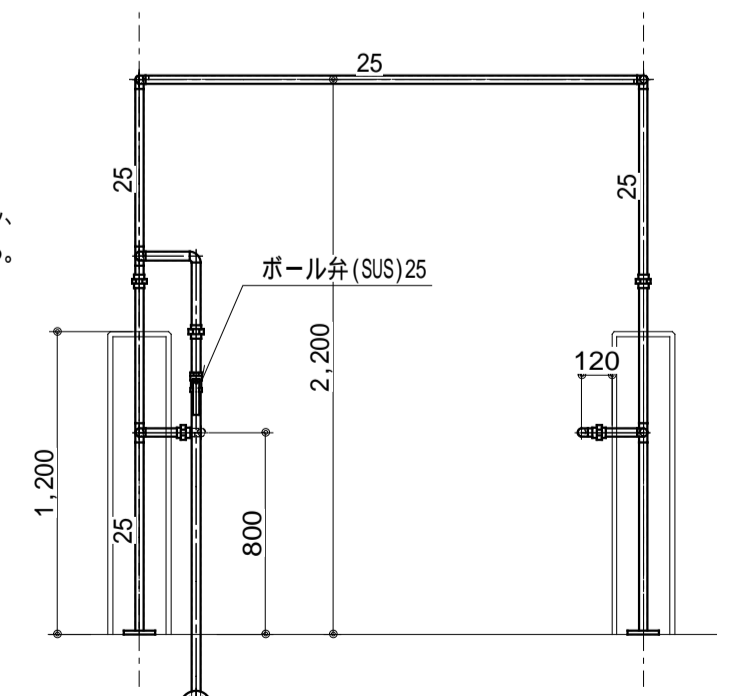
令和6年度	縮尺	M-04
名称工事名	播西東小学校屋外プール改築工事	機械
図名	プール平面図	
	1/100	



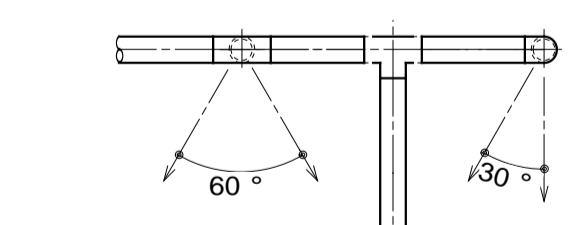
平面詳細図 S=1/50



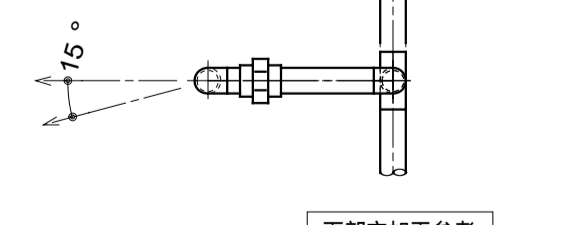
シャワー管平面 (参考) S=1/30



シャワー管断面 (参考) S=1/30



上部穴加工参考



下部穴加工参考

錐穴 2.0860千鳥とする

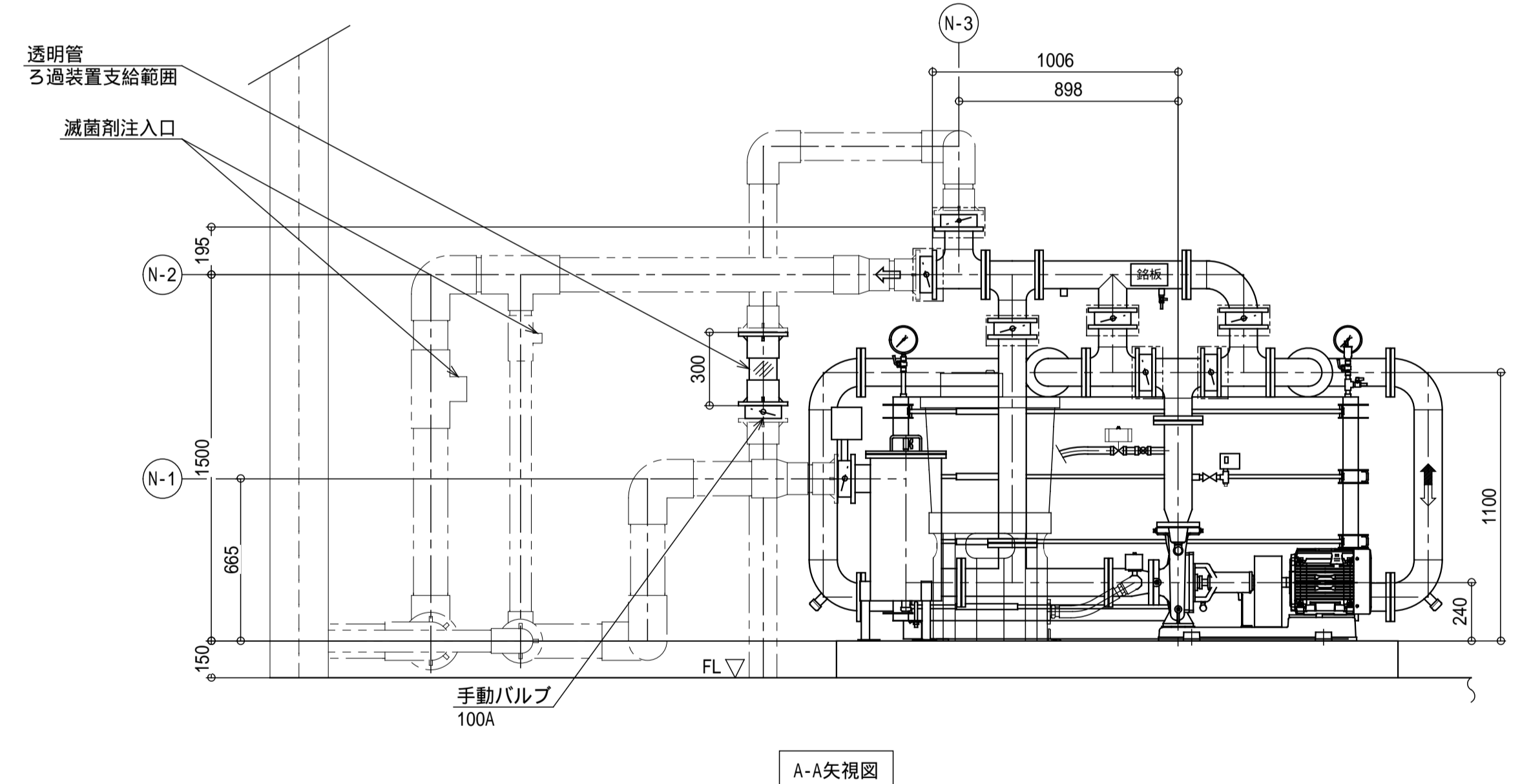
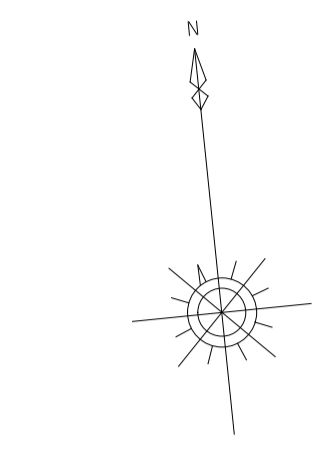
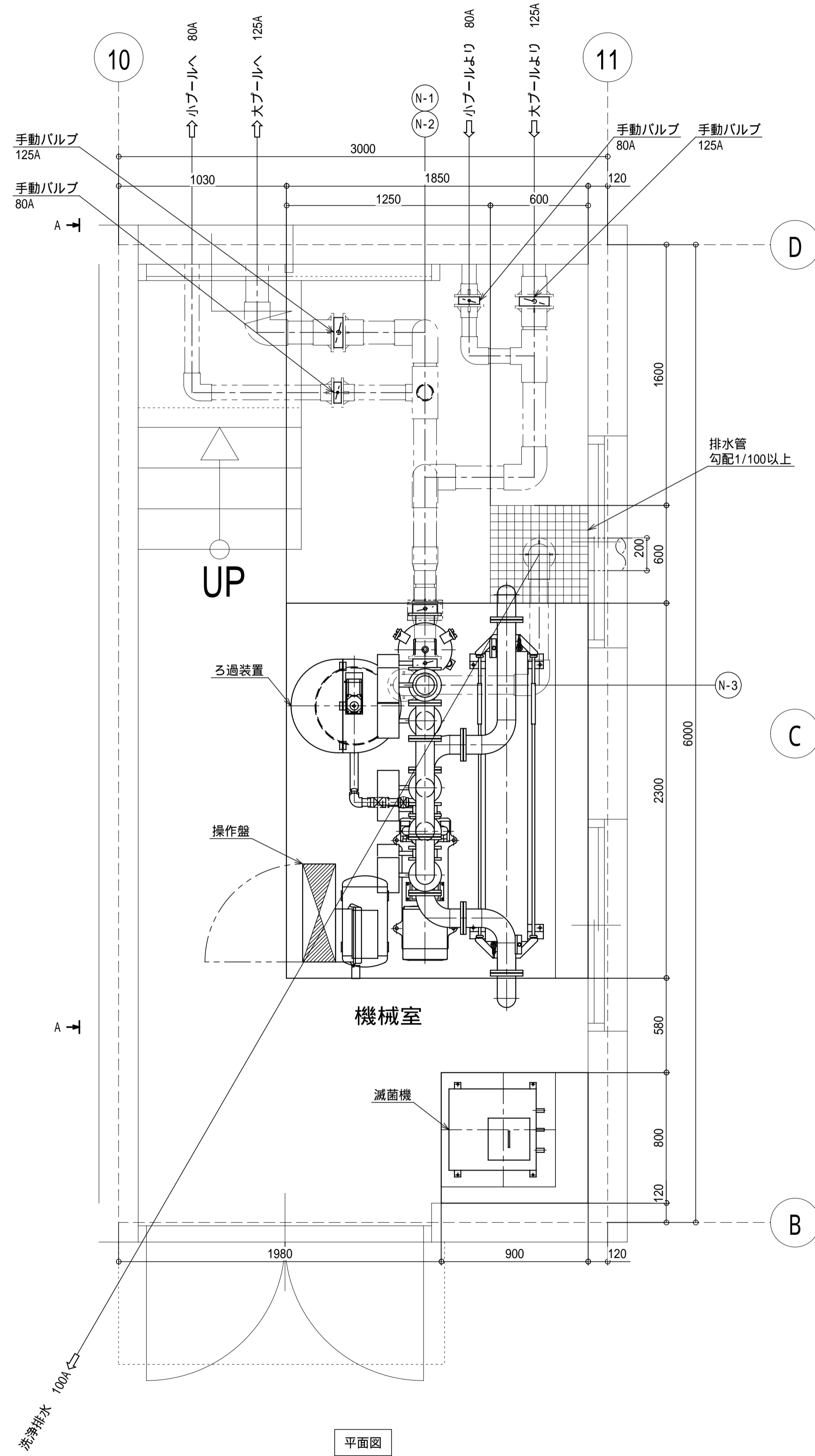
凡例

— S —	ろ過循環管(往)
— R —	ろ過循環管(還)
— 〃 —	給水管
— 〃 —	排水管(汚水・雑排水)
— RD —	雨水配管

令和6年度	縮尺	M-05
名称工事名	播西東小学校屋外プール改築工事	機械
図名	付属棟平面詳細図	
	1/50	

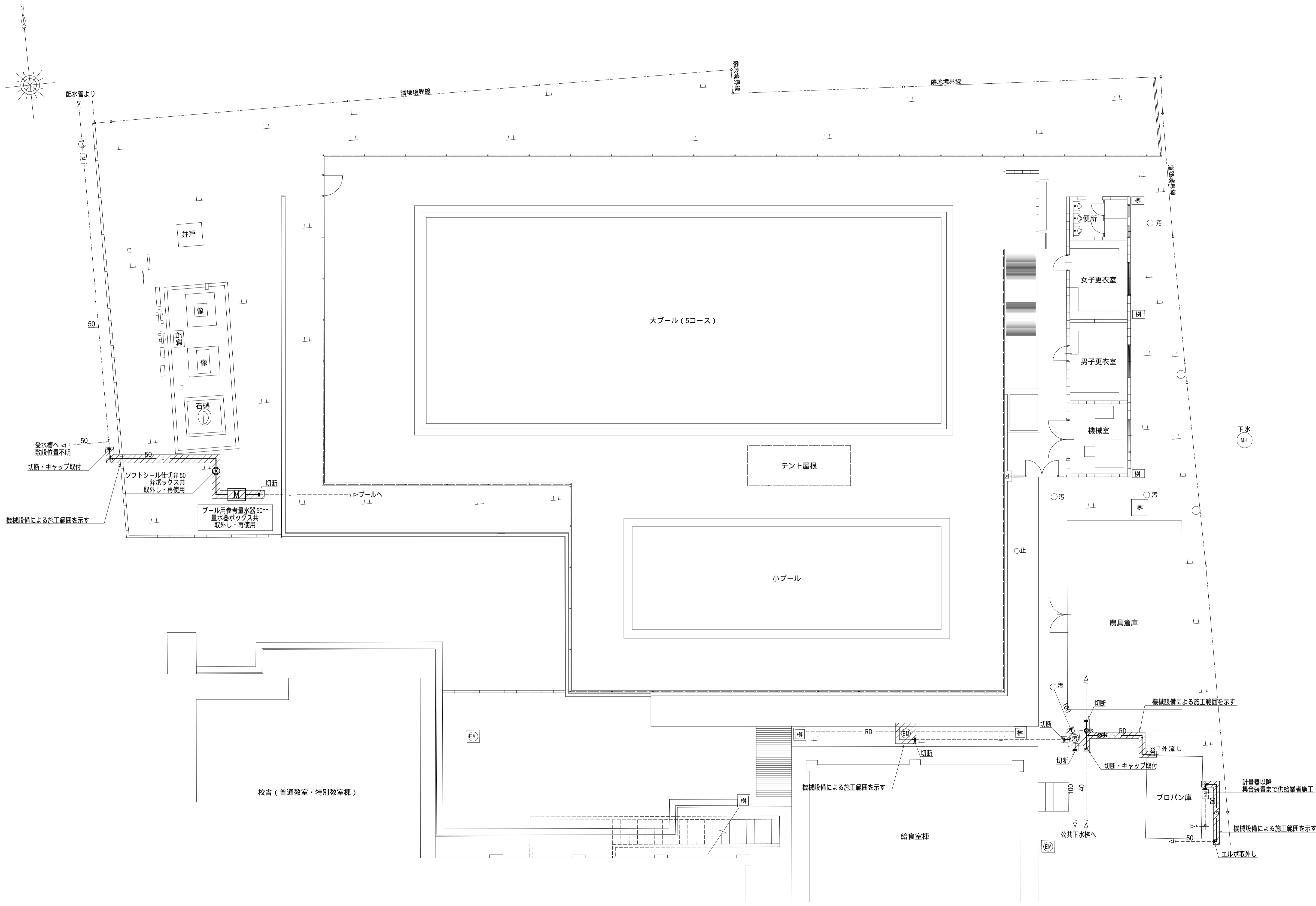
ろ過装置	
型式	PA60-206ATB
ろ過能力	67 m ³ /h
機器質量	740 kg
運転質量	1,330 kg

ノズルリスト			
記号	名称	口径	継手規格
N-1	原水入口	100A	JIS5KF
N-2	ろ水出口	100A	JIS5KF
N-3	洗浄排水	100A	JIS5KF



令和6年度			縮尺	M-06 機械
名称工事名	播西東小学校屋外プール改築工事			
図名	ろ過器廻り配管詳細図(参考)		1/20	

図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする

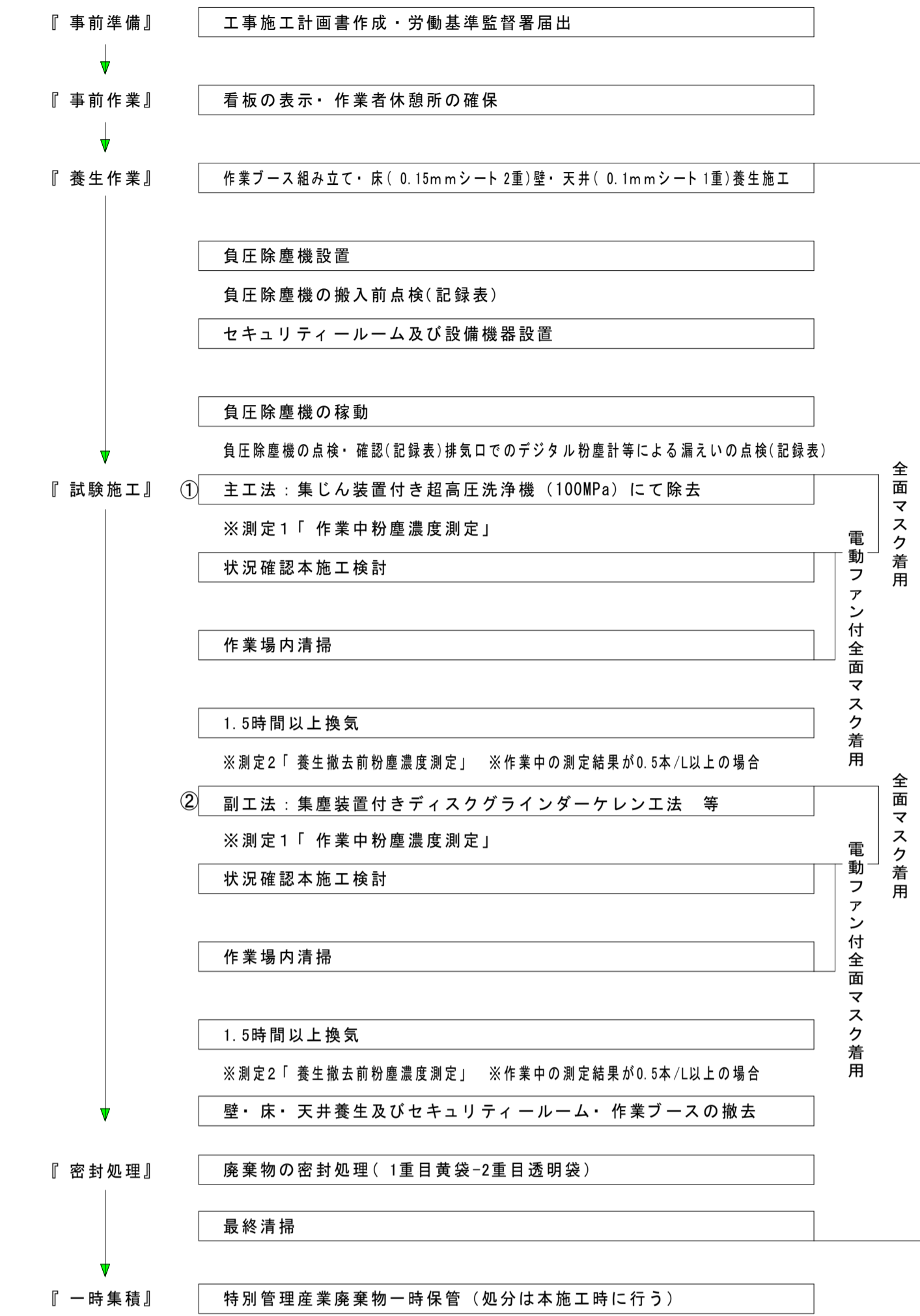


撤去・平面図 S=1/100

令和6年度	縮尺	M-07 機械
名称工事名 掘西東小学校屋外プール改築工事	1/100	
図名 撤去・平面図		

図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする

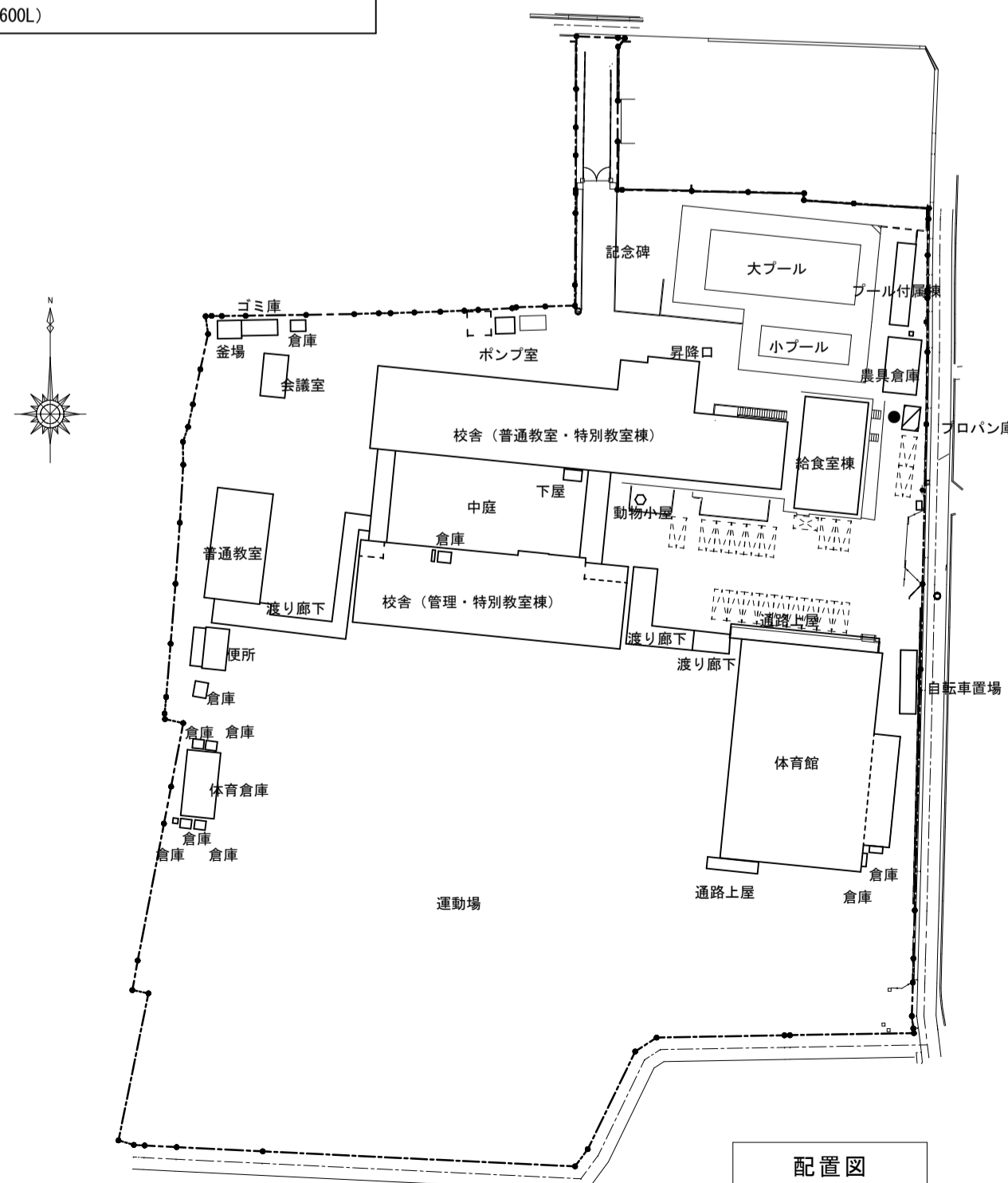
外壁塗材除去試験施工フローチャート（参考）
 主工法を集じん装置付き超高压洗浄機（100MPa）とし、
 副工法（主工法で除去困難な部位を除去する工法）は各社仕様による。
 ※主工法、副工法ともに下地調整材を含めた仕上げ塗材を除去できる工法とする。



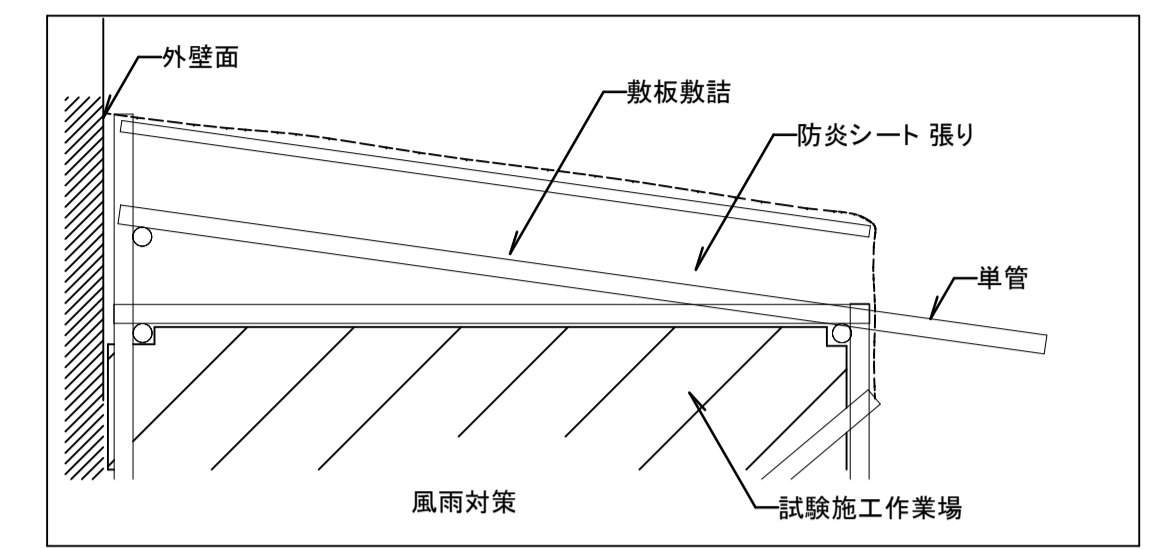
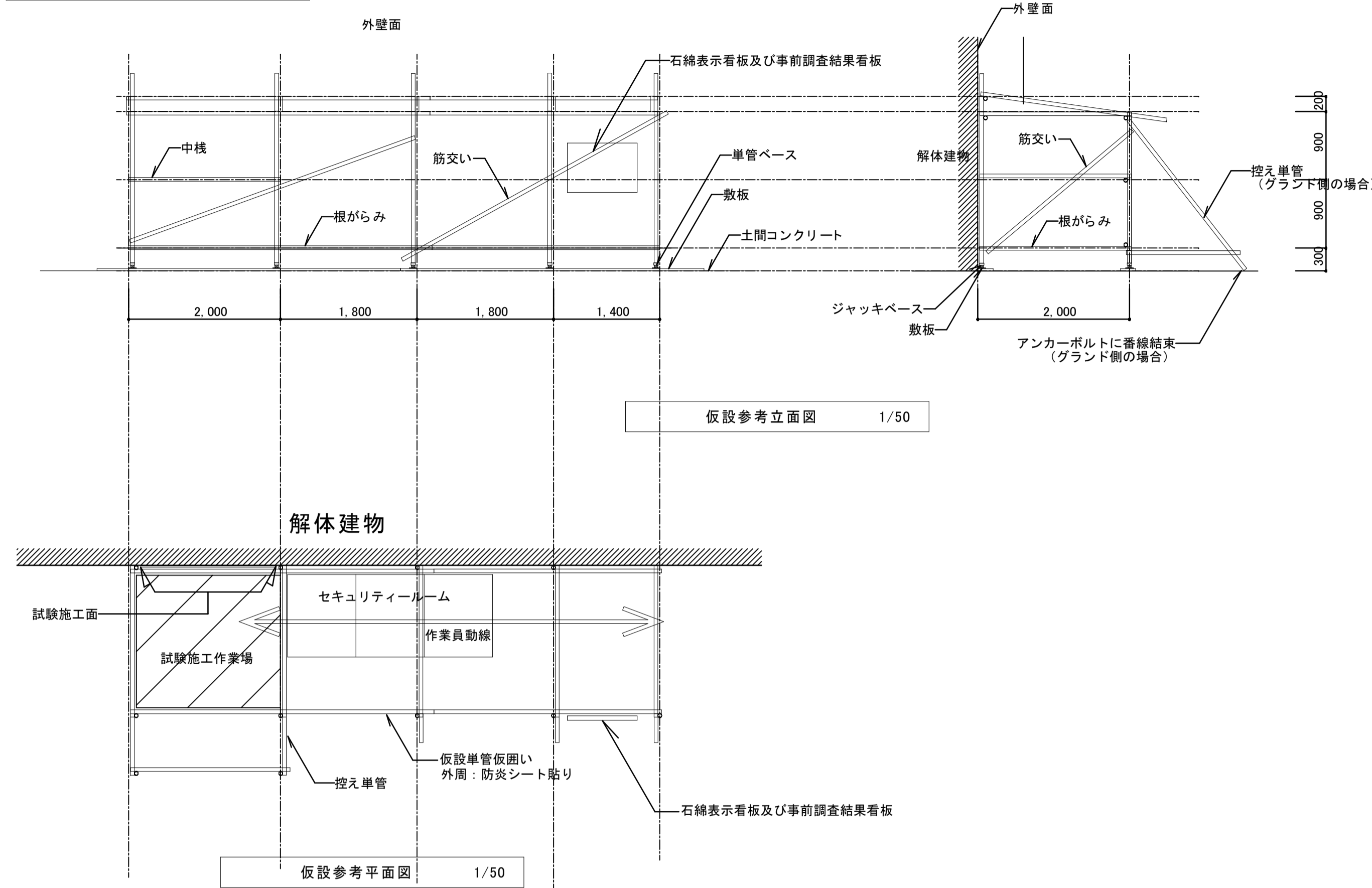
粉塵濃度測定仕様

測定1：作業中粉塵濃度測定
 測定2：養生撤去前粉塵濃度測定
 ※作業中の測定結果が管理値を超える場合のみ
 管理値：0.5本/L以内
 吸引量：5L/m³以内
 吸引時間：120分（採取空気量 600L）

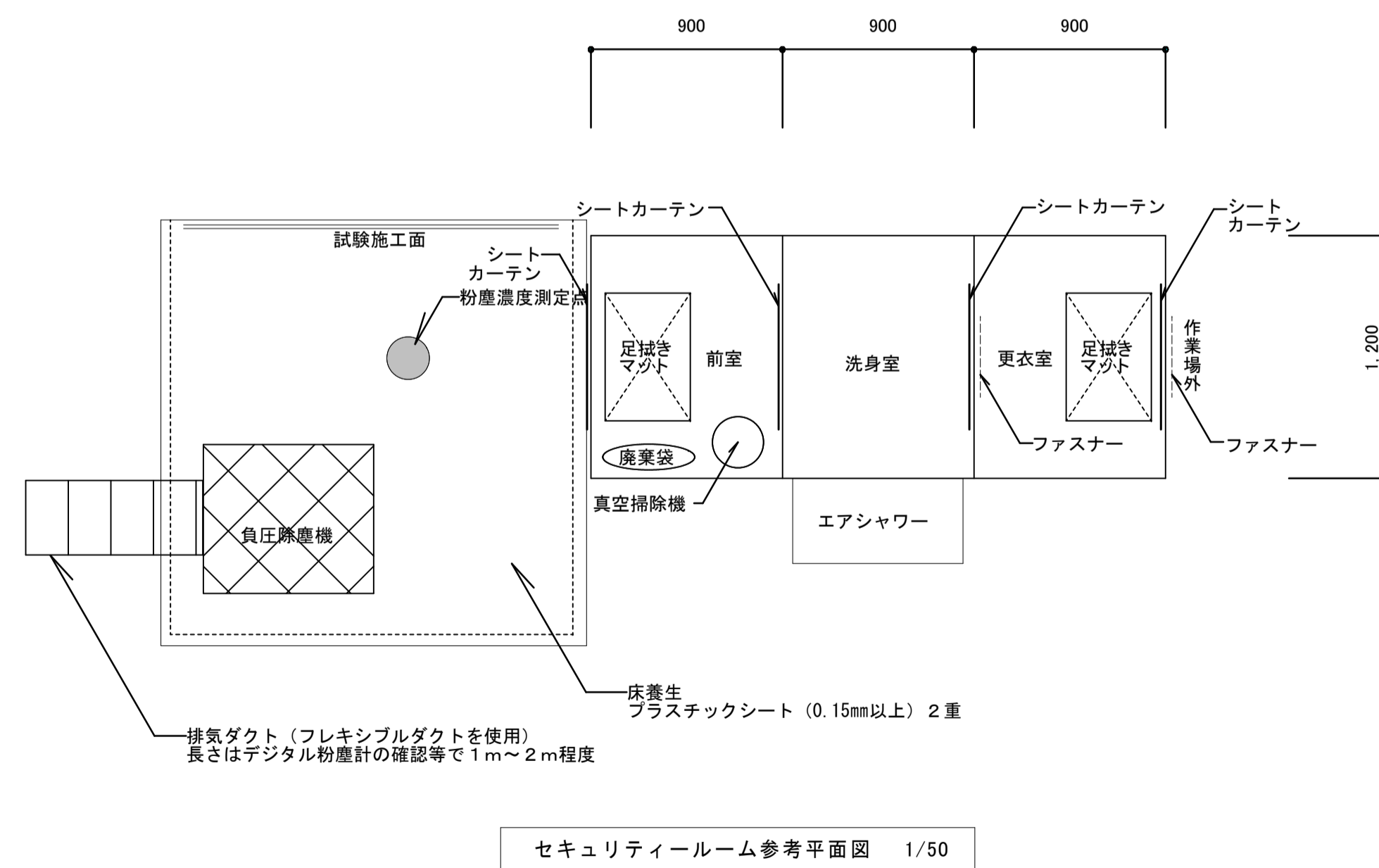
外壁塗材にアスベストを含有（みなし）の標を示す。
 集じん装置付き超高压洗浄機（100MPa）にて除去を行うこと。
 ●：試験施工位置（1か所）
 ※試験施工実施位置については現場協議の上決定すること



試験施工仮設図

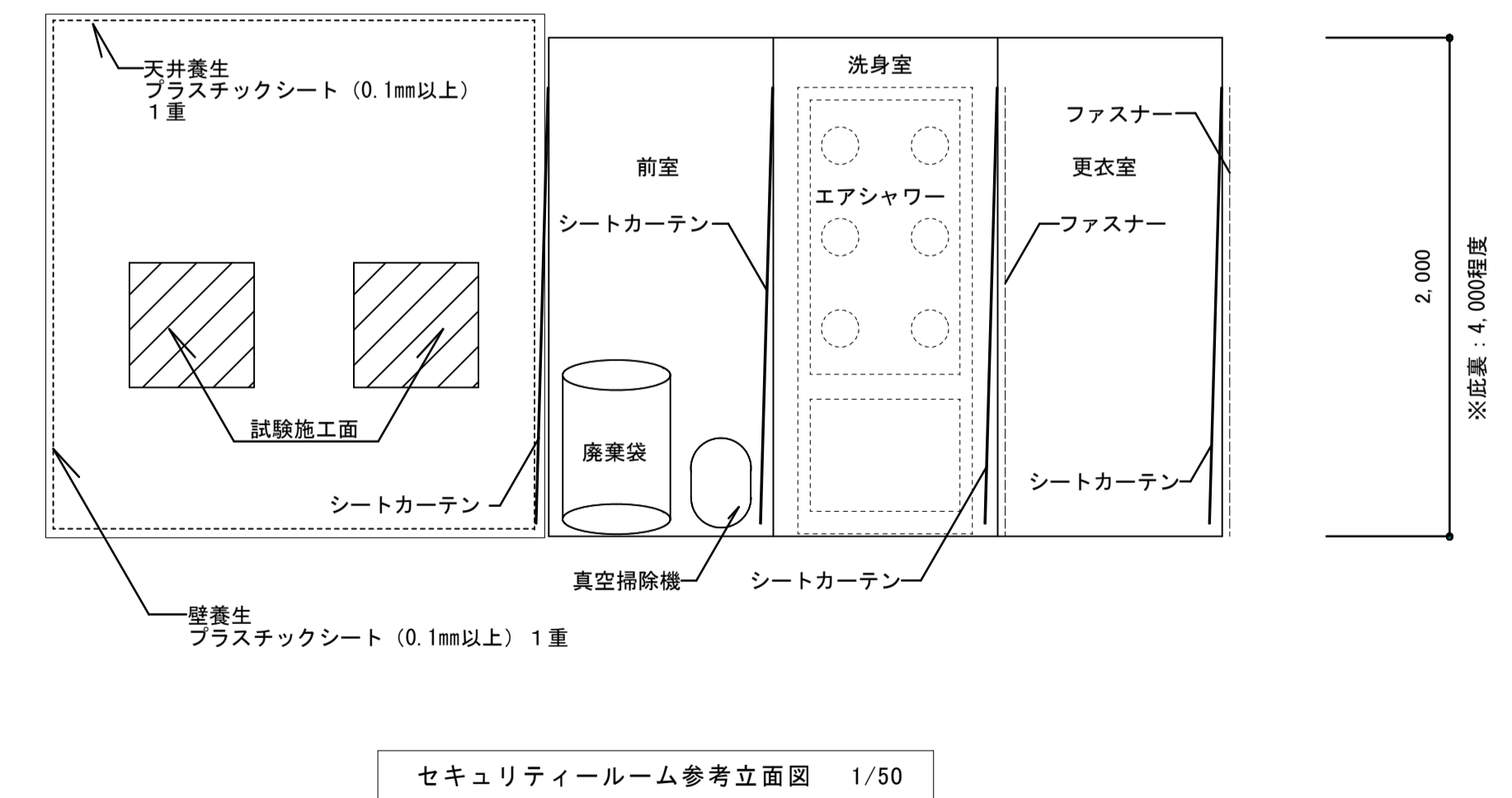


セキュリティールーム 概略図



セキュリティールーム参考平面図 1/50

※プラスチックシートの縫目は、
 布粘着テープにて貼り合わせるものとする

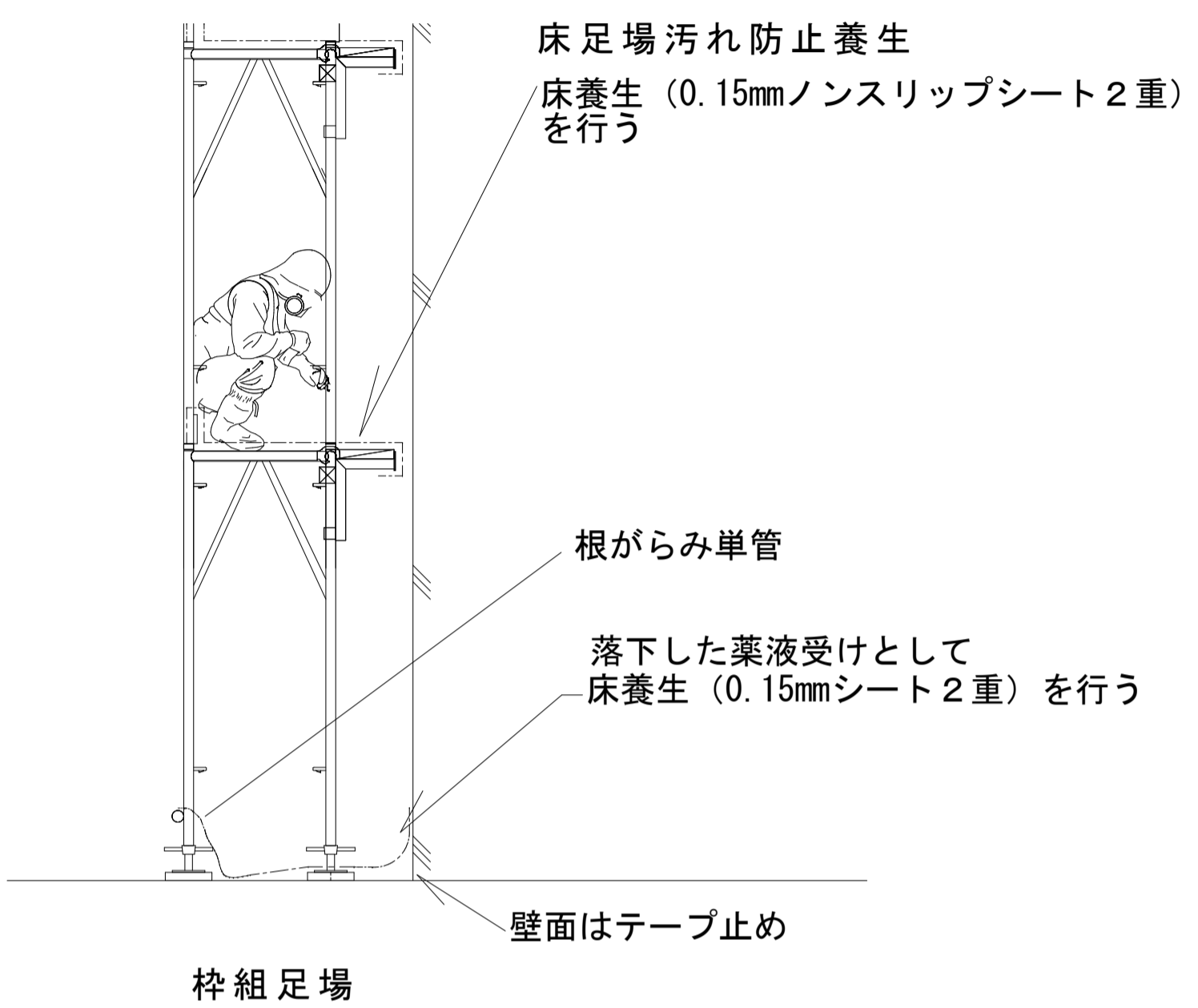
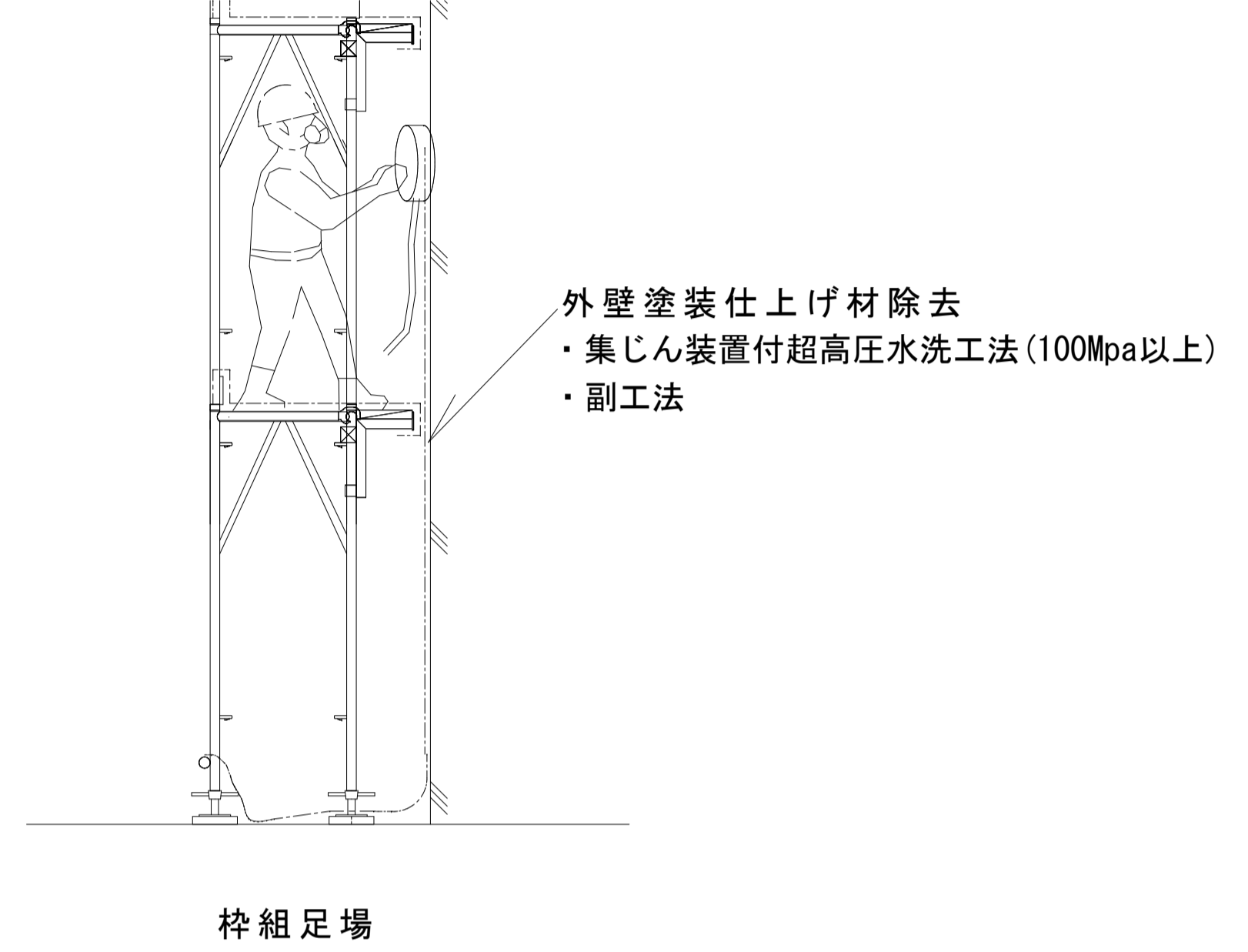
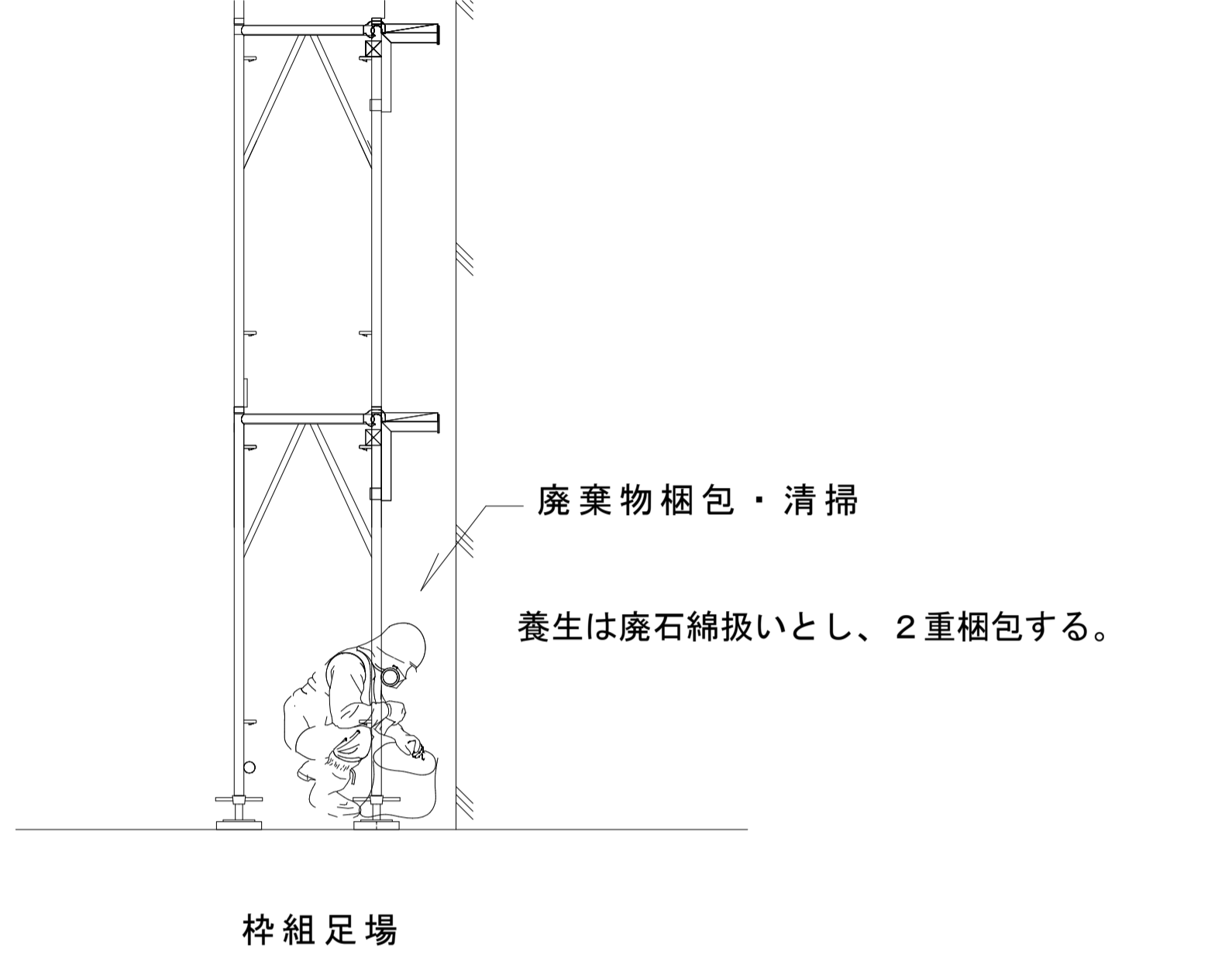


セキュリティールーム参考立面図 1/50

令和6年度	縮尺	K-02 解体
名称工事名	掘西東小学校屋外プール改築工事	
図名	外壁塗材除去試験施工要領図（参考）	

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする

集じん装置付き超高压水洗工法 施工例（詳細は各社仕様による）

<p>施工手順 ステップ1</p> <p>・養生作業（仮設足場の汚れ防止用）</p> <p style="text-align: right;">使用保護具 : 半面マスク着用</p> 	<p>施工手順 ステップ2</p> <p>・外壁塗装仕上げ材除去作業</p> <p style="text-align: right;">使用保護具 : 全面マスク着用</p> 	<p>施工手順 ステップ3</p> <p>・養生撤去及び廃棄物梱包作業</p> <p style="text-align: right;">使用保護具 : 半面マスク着用</p> 
---	--	---

除去作業フローチャート（レベル3相当）

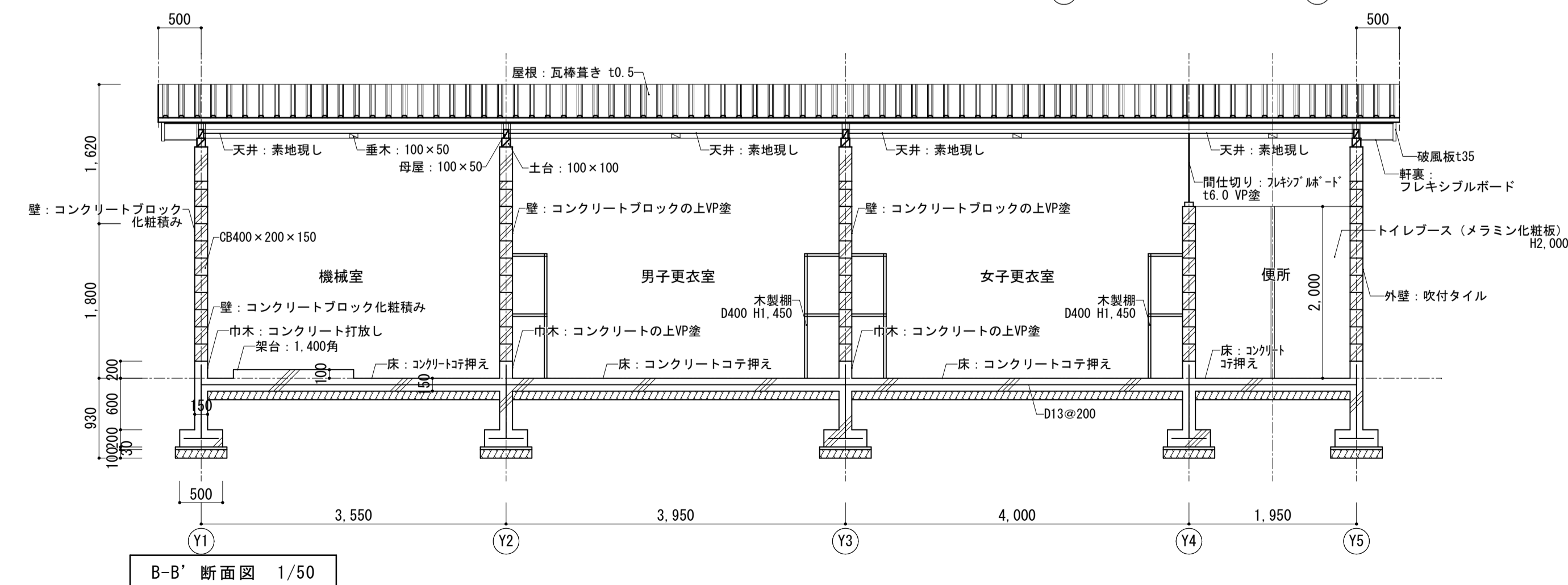
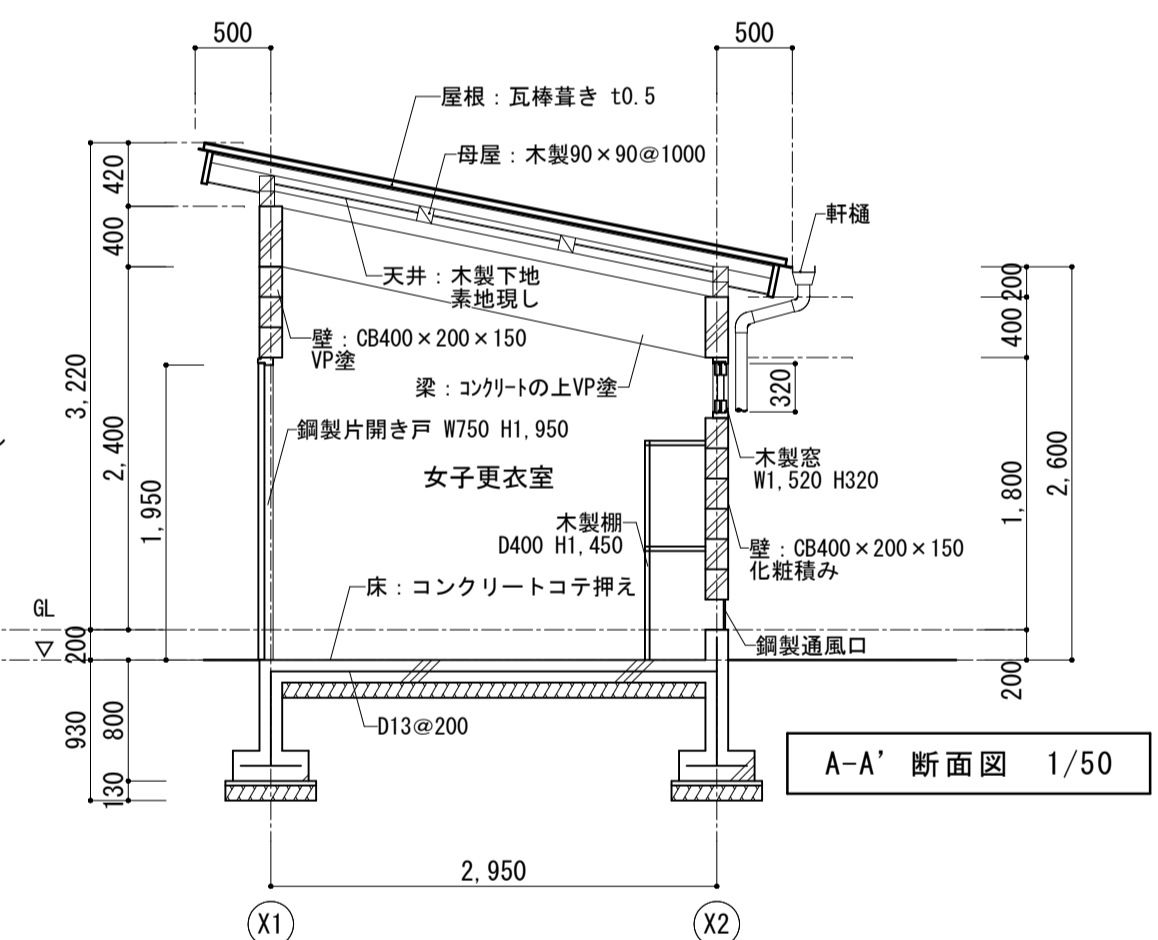
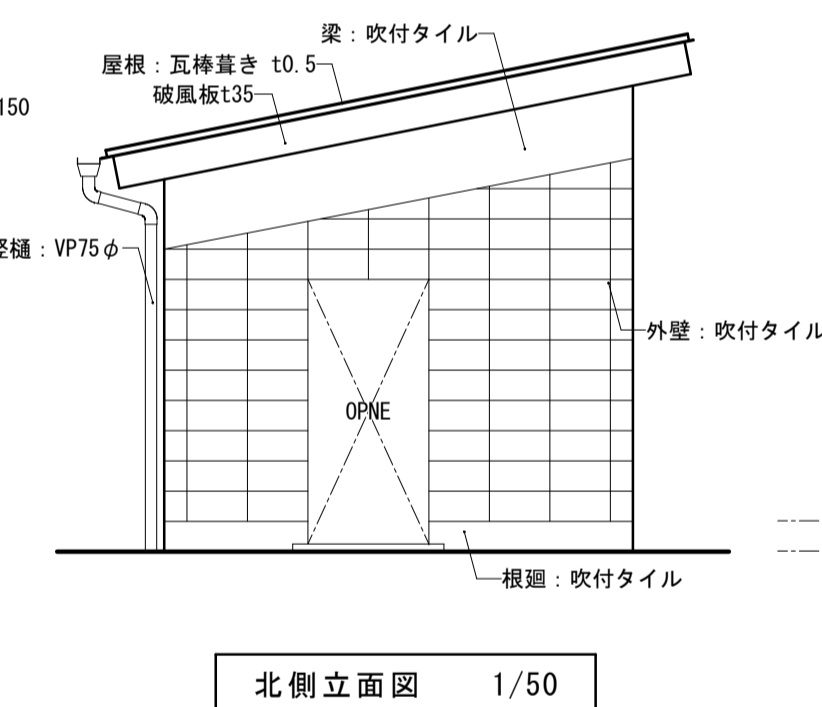
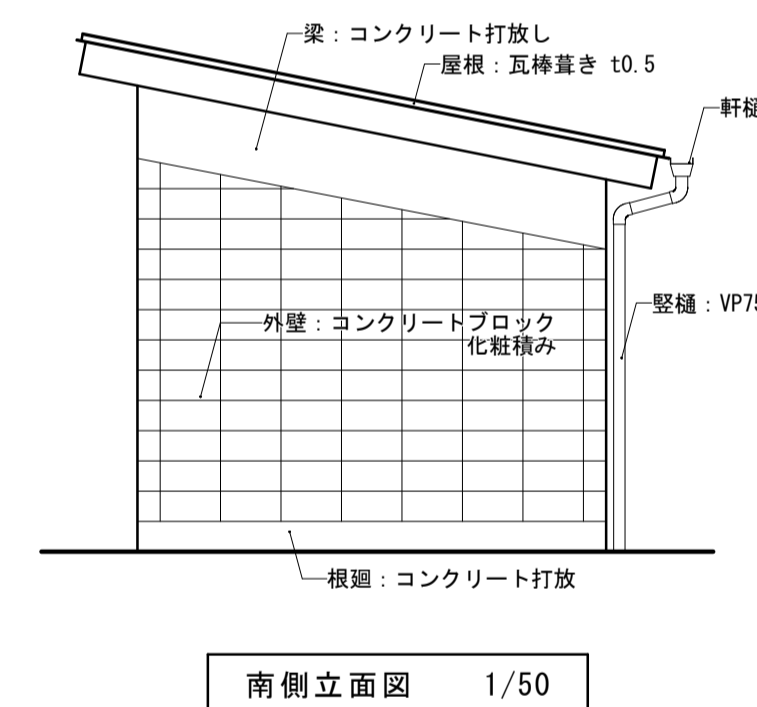
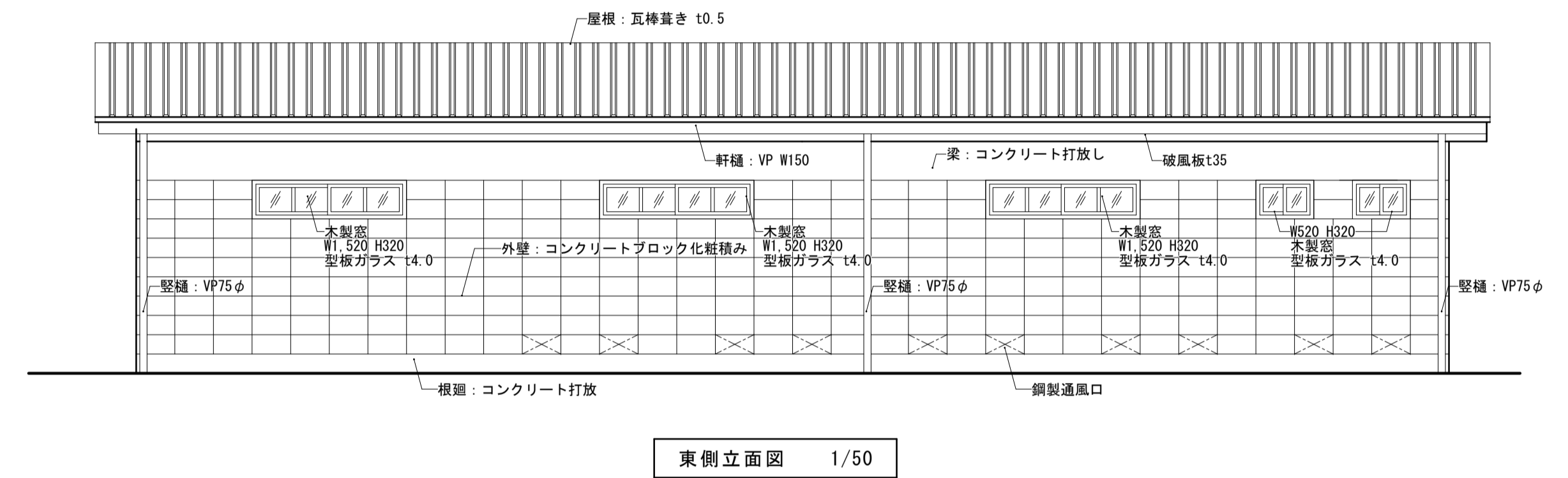
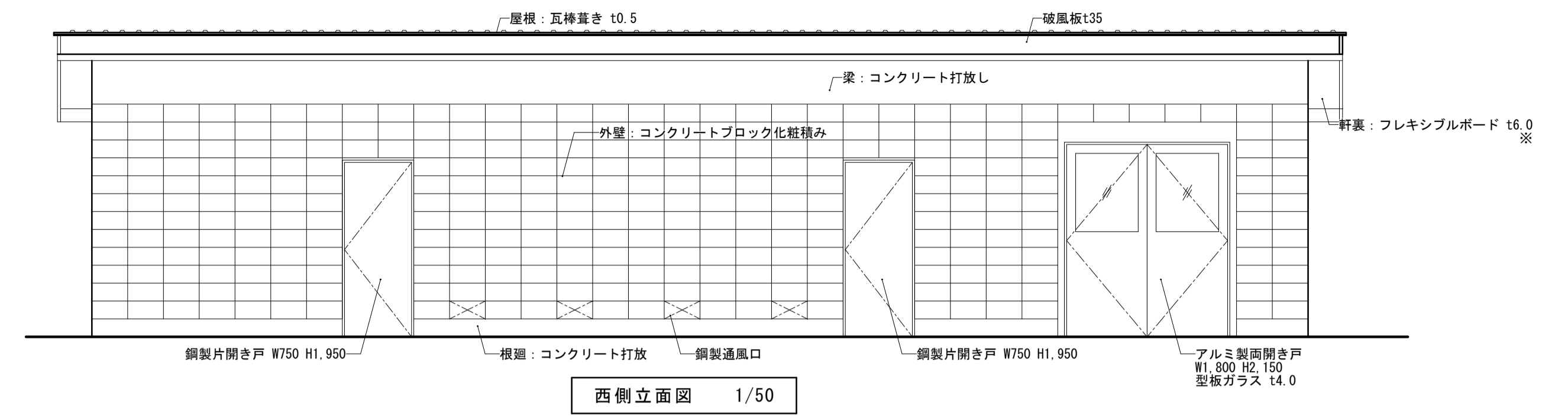
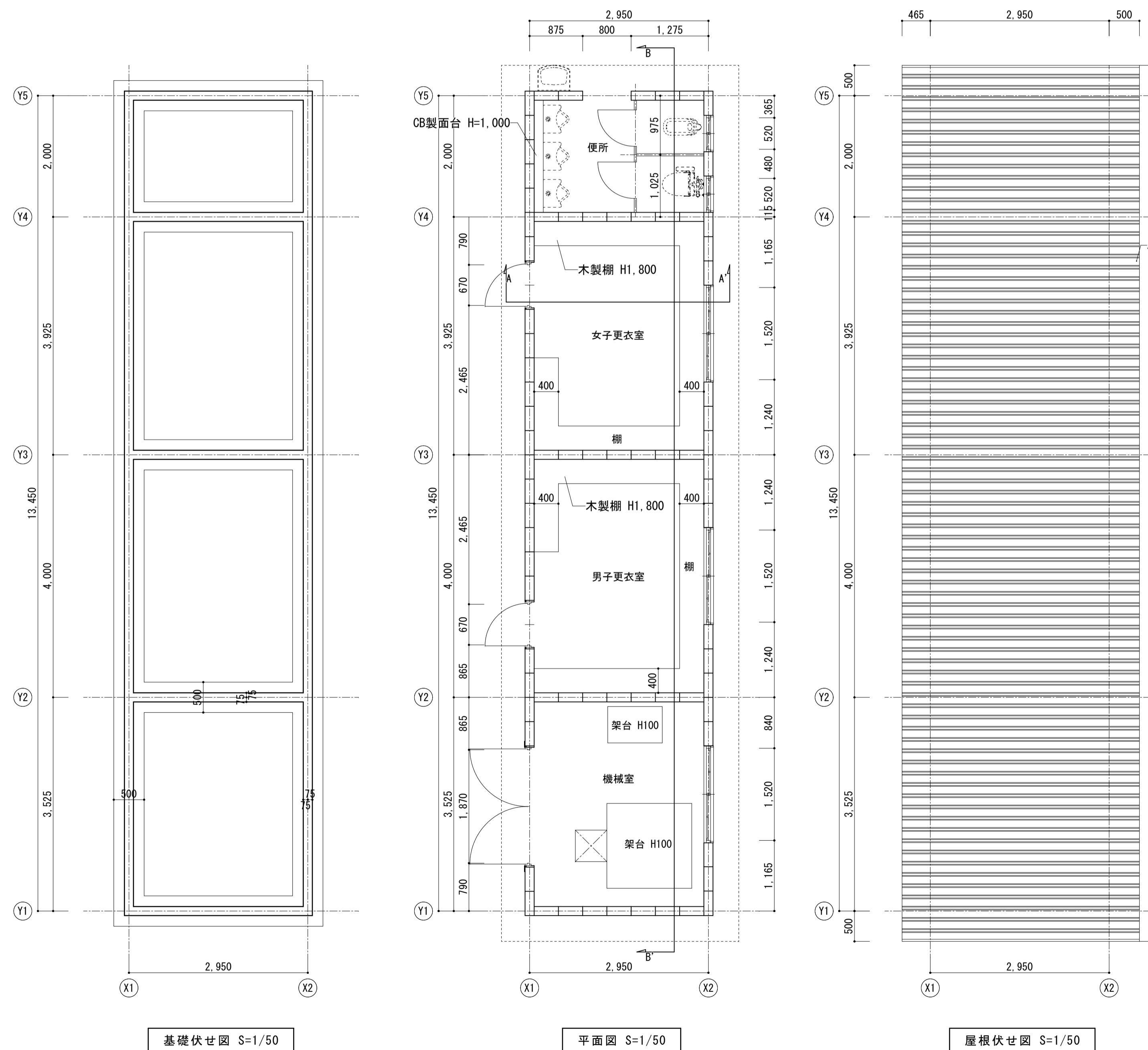
準備	建物周辺施工足場施工（防音シート貼）	除去作業	主工法（集じん装置付き超高压水洗工法（100Mpa以上））による仕上塗材の除去
↓	外部サッシ・床シート養生	↓	副工法：主工法で除去困難な部位を除去する工法による仕上げ塗材の除去 （集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法 等）
	施工前清掃		除去したアスベストの処理・廃水の処理
	養生確認検査 水量確認		最終槽内残存物は吸収樹脂にて固化
	洗浄機、コンプレッサー及び強力吸引装置の設置・試運転 副工法使用機器の試運転		除去したアスベストを回収・袋詰
			廃石綿の搬出・一時保管場所へ移動
			養生シート撤去
			養生シート等一時保管場所へ移動
			仕上清掃
			特別管理産業廃棄物として廃棄処分（二重密封袋詰め）

令和6年度	縮尺	K-03 解体
名称工事名	播西東小学校屋外プール改築工事	
図名	外壁塗材除去施工手順（参考）	

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする

構造概要						
地業	基礎	軸組	屋根	建具	備考	
布基礎 (地盤面下は参考とする)	鉄筋コンクリート造 (地盤面下は参考とする)	コンクリートブロック造	木製下地 瓦葺き t0.5 ポリスチレンフォーム断熱材t25	アルミ製・鋼製戸、木製窓	-	
外部仕上表						
犬走	根廻	外壁	軒裏	縦樋	備考	
モルタルコテ押え	コンクリート打放し	コンクリートブロック化粧積み 北面：コンクリートブロック化粧下地 吹付タイル RC梁：コンクリート打放し上 (400×150)	木製下地 フレキシブルボード t6.0※	VP75φ	-	
内部仕上表						
室名	床	巾木	壁	天井	天井高	備考
便所	コンクリート下地	コンクリート下地	コンクリートブロック下地	木製下地	直天	面台 トイレブース
	長尺塩ビシート	吹付タイル	吹付タイル	素地現し		
女子更衣室	コンクリート下地	コンクリート下地	コンクリートブロック下地	木製下地	直天	木製棚
	モルタルコテ押え	VP塗	VP塗	素地現し		
男子更衣室	コンクリート下地	コンクリート下地	コンクリートブロック下地	木製下地	直天	木製棚
	モルタルコテ押え	VP塗	VP塗	素地現し		
機械室	コンクリート下地	コンクリート下地	コンクリートブロック下地	木製下地	直天	機械用架台
	モルタルコテ押え	コンクリート打放し	コンクリートブロック化粧積み	素地現し		

特記事項
 ※印のついた建材は石綿含有建材とみなして適切に処理を行うこと。



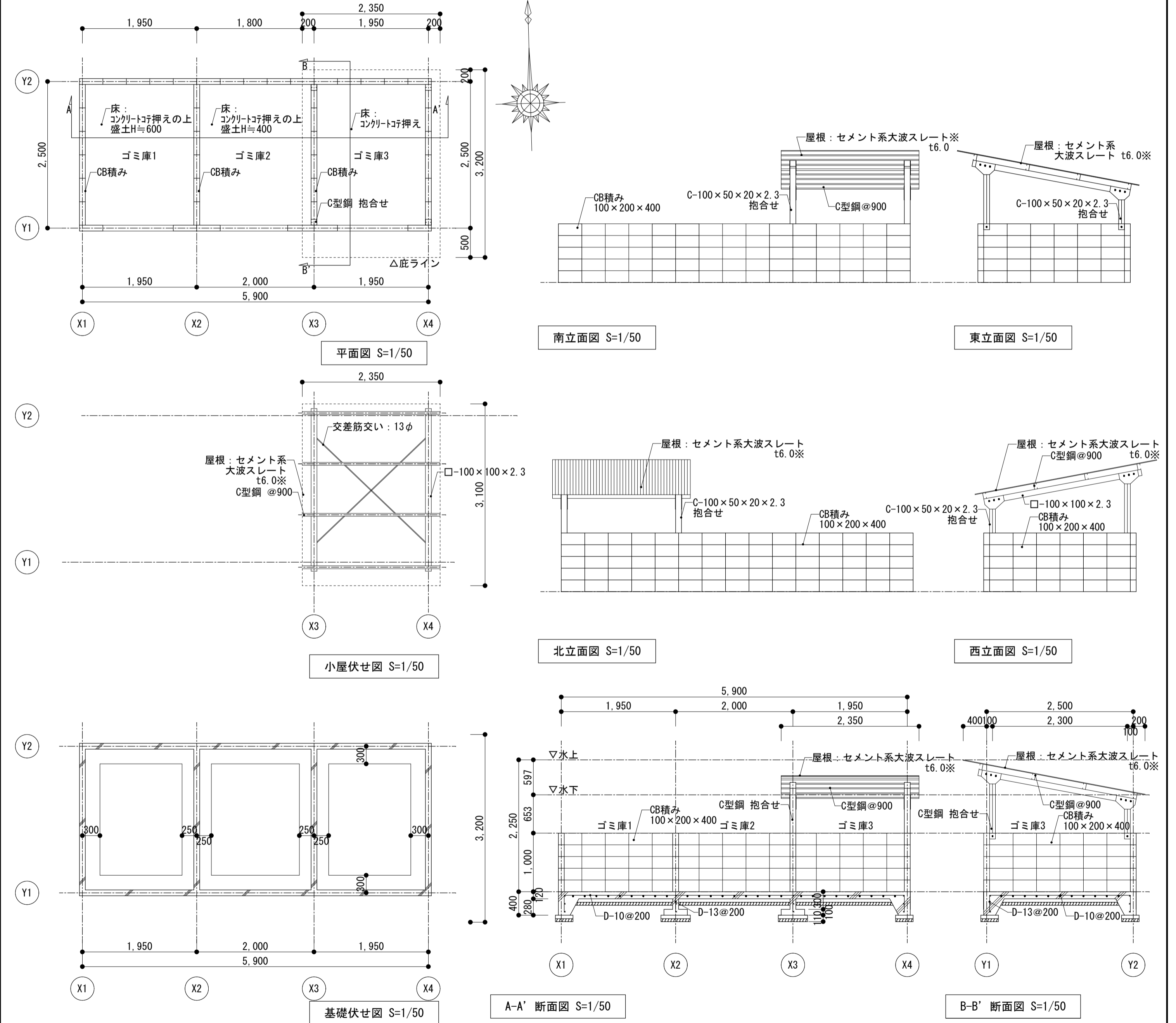
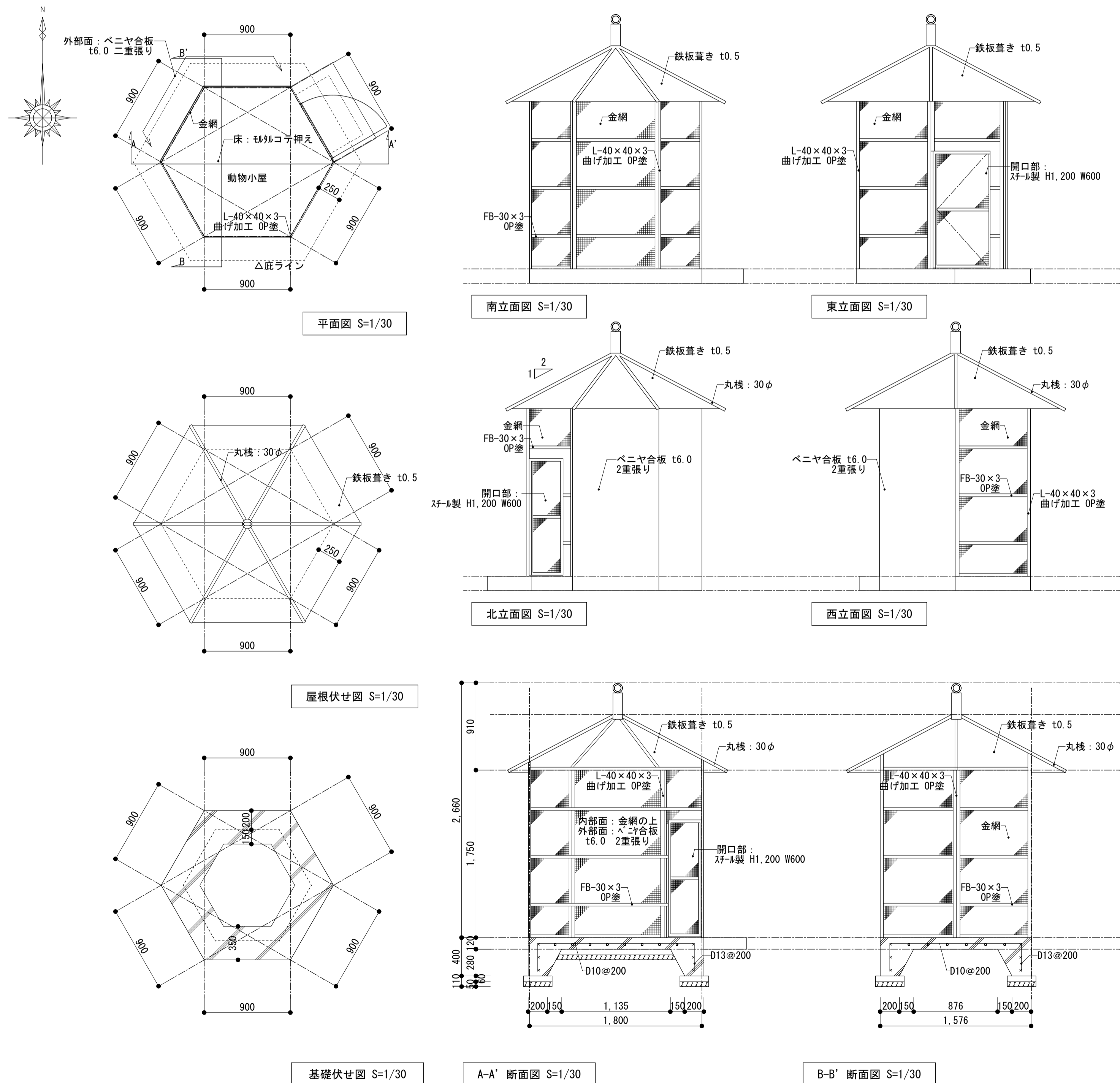
令和6年度	縮尺	K-04 解体
名称工事名 掘西東小学校屋外プール改築工事		
図名 解体建物 プール付棟	1/50	

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする

構造概要					
地業	基礎	軸組	屋根	建具	備考
布基礎 (地盤面下については参考とする)	鉄筋コンクリート造 (地盤面下については参考とする)	軽量鉄骨造	鉄板葺き	-	-
外部仕上表					
犬走	根廻	外壁	軒裏	縦樋	備考
-	-	金網張り 一部ベニヤ合板二重張り (北・北西面)	-	-	-
内部仕上表					
室名	床	巾木	壁	天井	備考
動物小屋	コンクリート下地 モルタルコテ押え	-	金網	軽量鉄骨下地 鉄板現し	-

構造概要					
地業	基礎	軸組	屋根	建具	備考
布基礎 (地盤面下については参考とする)	鉄筋コンクリート造 (地盤面下については参考とする)	コンクリートブロック造一部軽量鉄骨造	セメント系大波スレート t6.0※	-	-
外部仕上表					
犬走	根廻	外壁	軒裏	縦樋	備考
-	-	コンクリートブロック 400×200 t100 現し H1,000	-	-	-
内部仕上表					
室名	床	巾木	壁	天井	備考
ゴミ庫1	コンクリート下地 モルタルコテ押えの上盛土H=600	-	コンクリートブロック 400×200 t100 現し H1,000	-	-
ゴミ庫2	コンクリート下地 モルタルコテ押えの上盛土H=400	-	コンクリートブロック 400×200 t100 現し H1,000	-	-
ゴミ庫3	コンクリート下地 モルタルコテ押え	-	-	軽量鉄骨下地 コンクリートブロック 400×200 t100 現し H1,000	軽量鉄骨現し OP塗

特記事項
 ・※印のついた建材は石綿含有建材としてみなし適切に処理を行うこと。



令和6年度	縮尺	K-05 解体
名称工事名 掘西東小学校屋外プール改築工事	1/50	
図名 解体建物 動物小屋・ゴミ庫	1/30	

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする

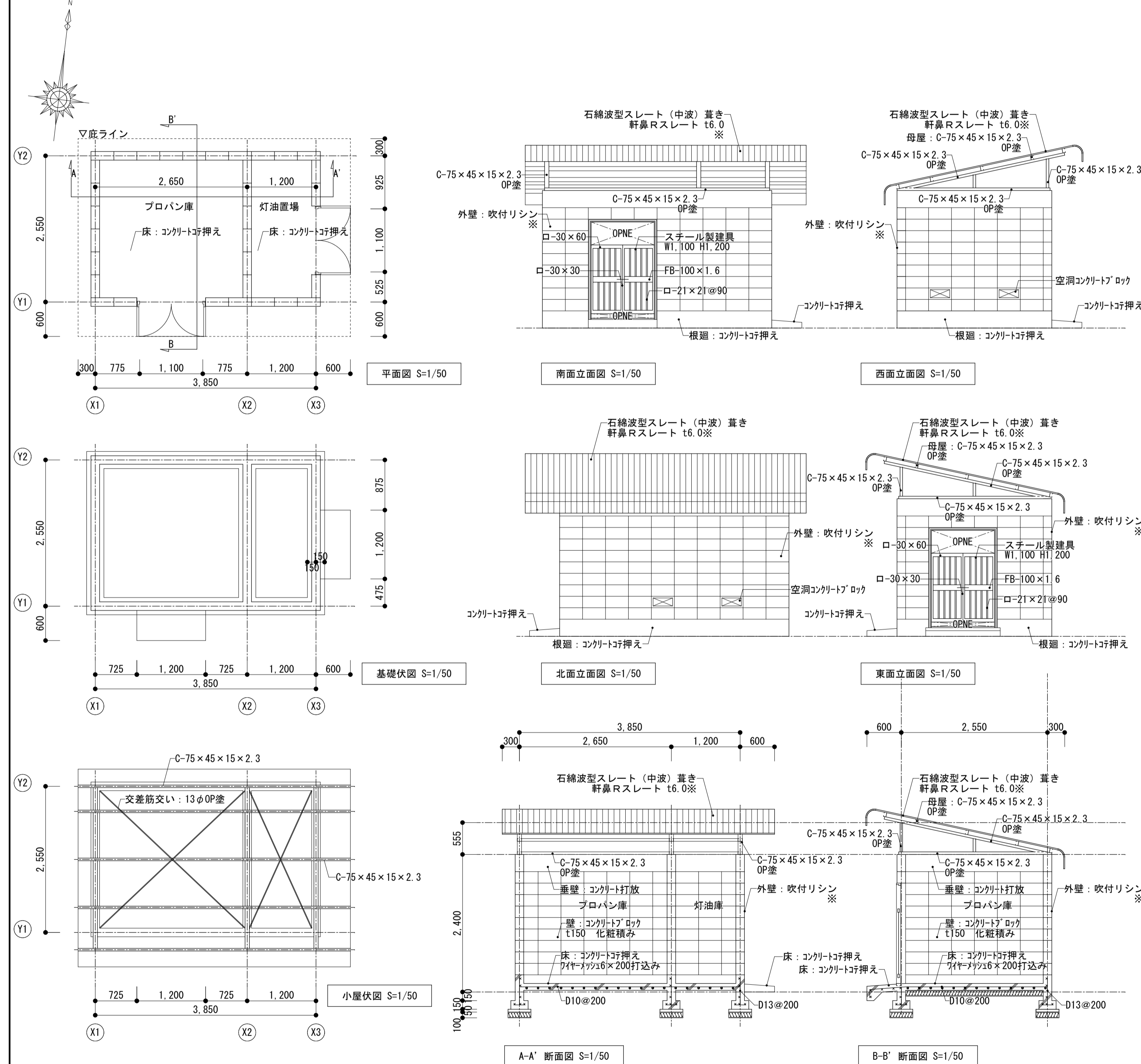
構造概要

地業	基礎	軸組	屋根	建具	備考
布基礎 (地盤面下については参考とする)	鉄筋コンクリート造 (地盤面下については参考とする)	コンクリートブロック造	軒鼻Rスレート t6.0※	-	-

外部仕上表					
ステップ	根廻	外壁	軒裏	屋根	壁樋
コンクリートコテ押え	コンクリートコテ押え	吹付リシン※	軒鼻Rスレート t6.0※	軒鼻Rスレート t6.0※	

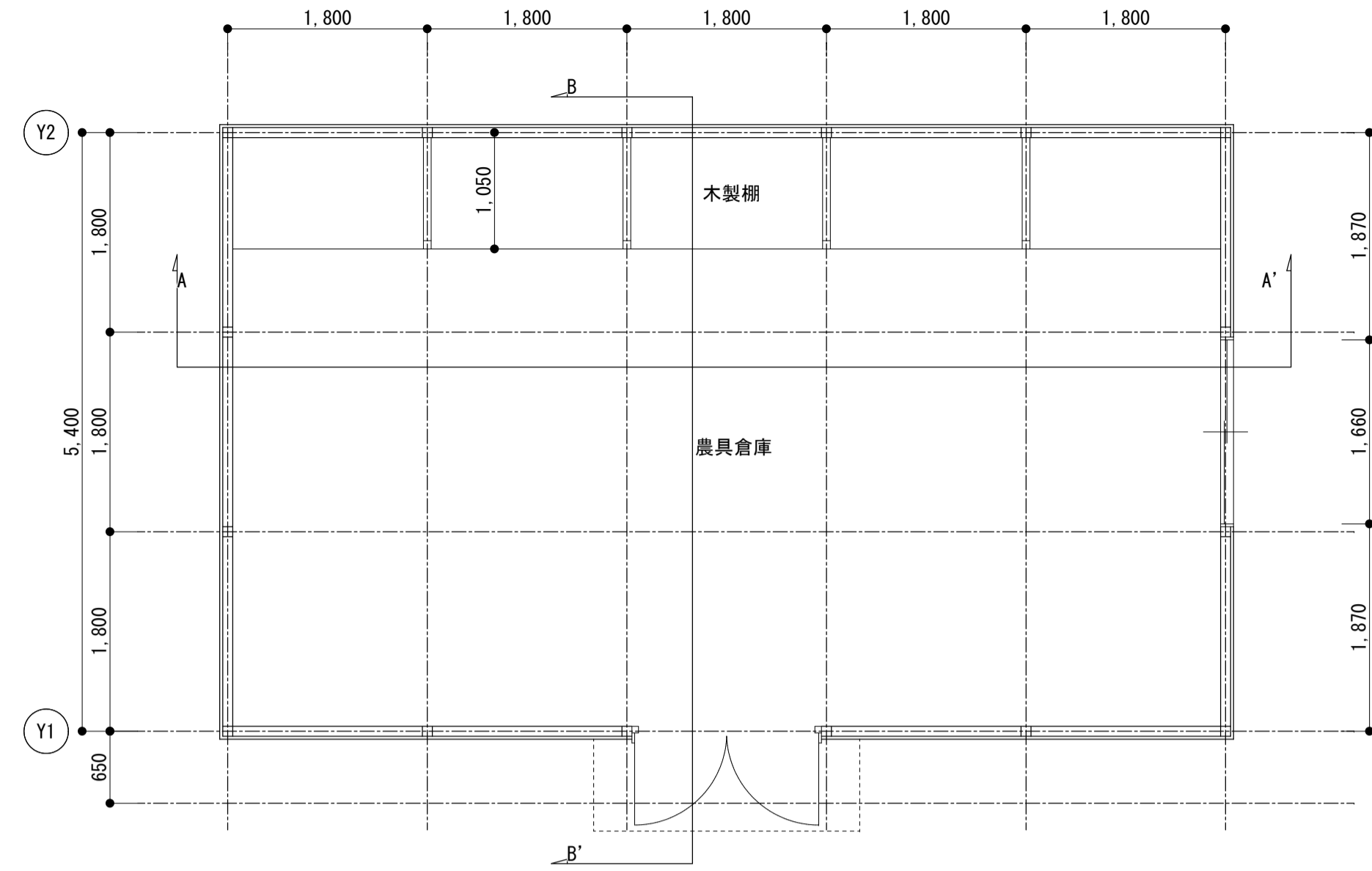
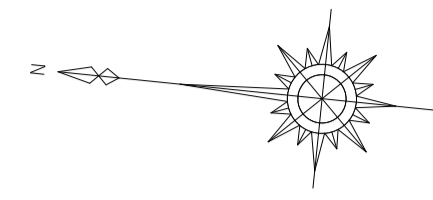
内部仕上表					
室名	床	巾木	壁	天井	
プロパン庫	コンクリート下地	コンクリート下地	コンクリートブロック下地	軽量鉄骨下地	
	コンクリートコテ押え	コンクリート打放し	コンクリートブロック化粧積み	軽量鉄骨現し	
灯油庫	コンクリート下地	コンクリート下地	コンクリートブロック下地	軽量鉄骨下地	
	コンクリートコテ押え	コンクリート打放し	コンクリートブロック化粧積み	軽量鉄骨現し	

特記事項
 ※印のついた建材は石綿含有建材としてみなし適切に処理を行うこと。

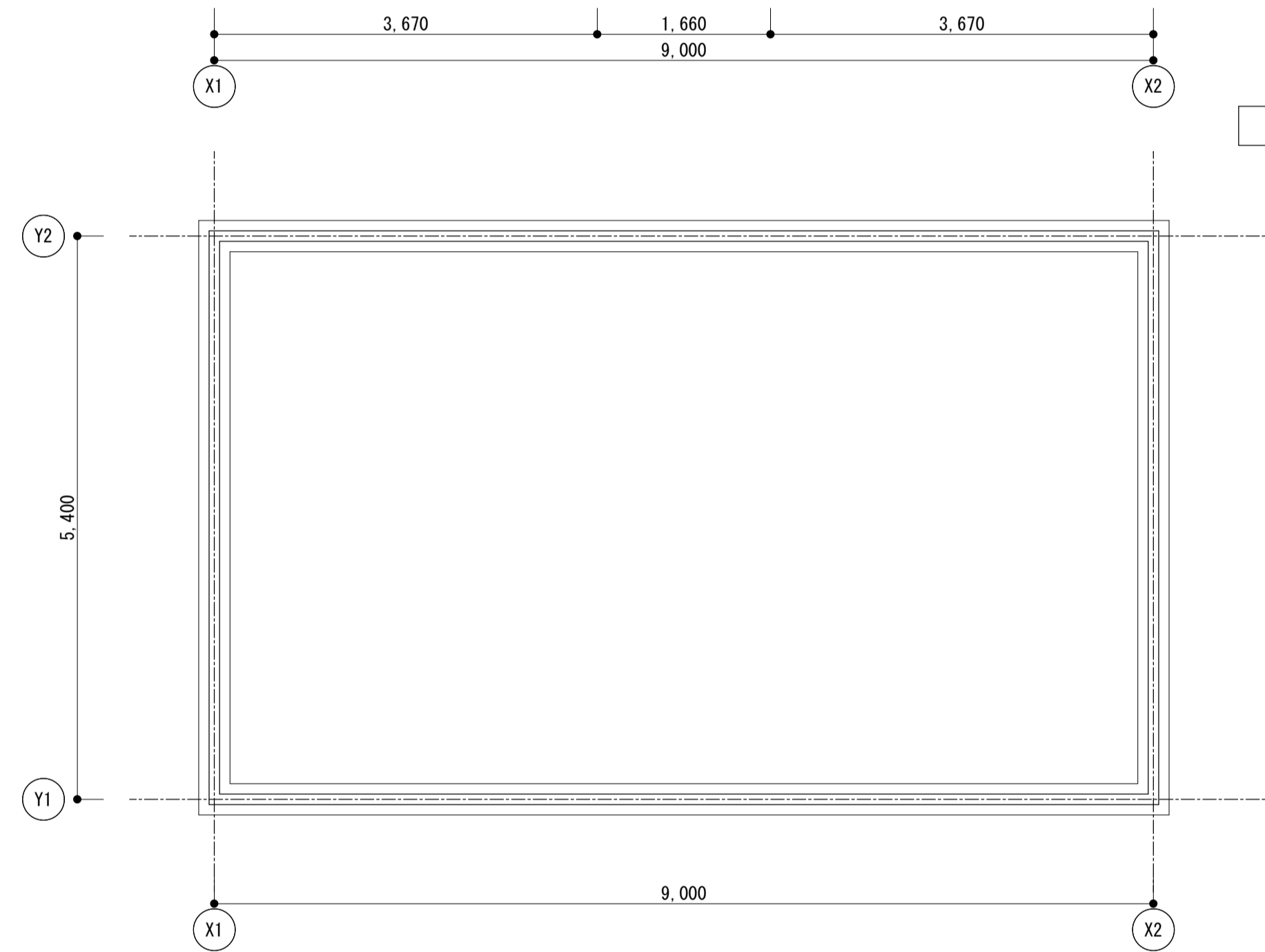


令和6年度	縮尺	K-06 解体
名称工事名 掘西東小学校屋外プール改築工事		
図名 解体建物 プロパン庫	1/50	

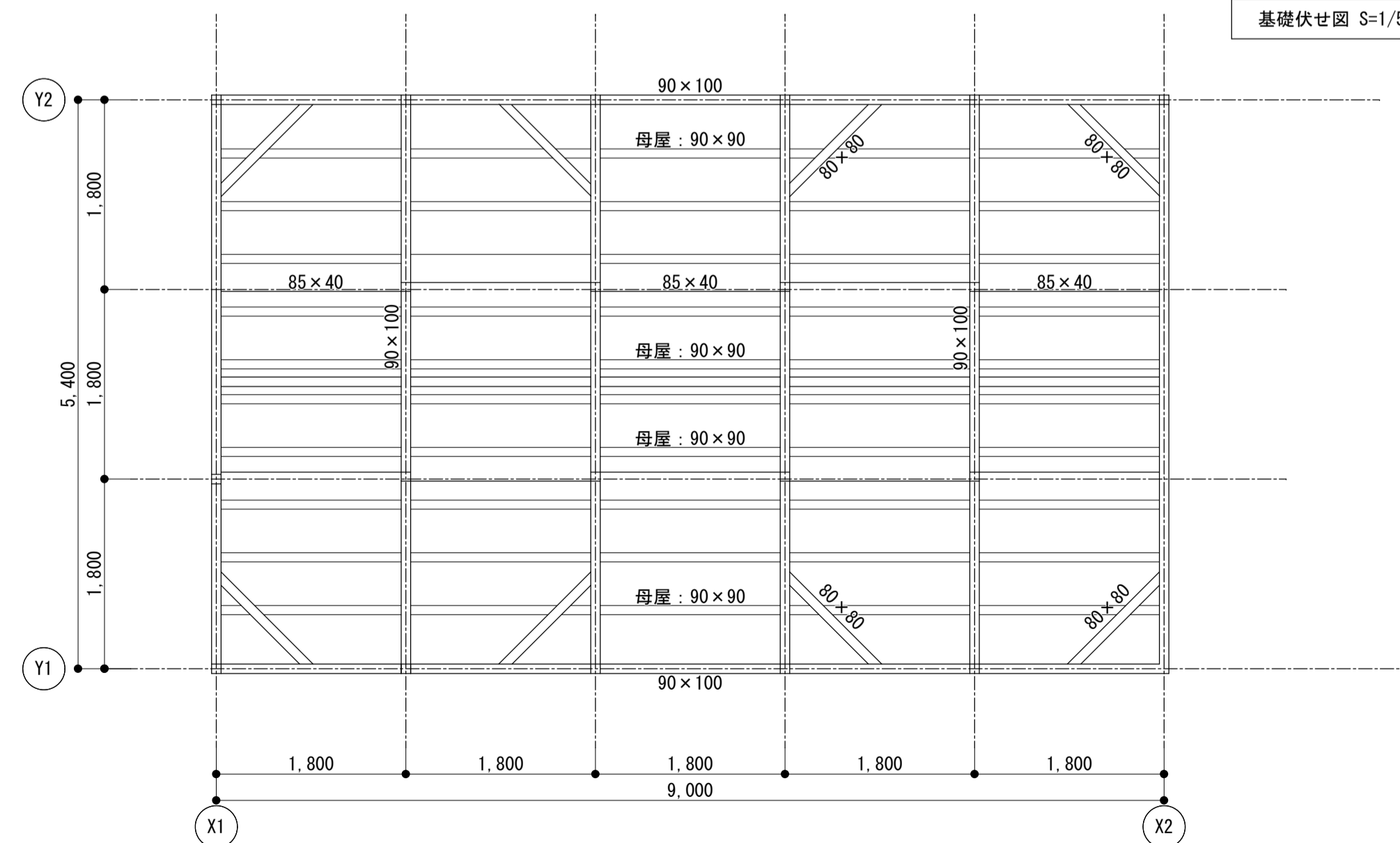
※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする



平面図 S=1/50



基礎伏せ図 S=1/50



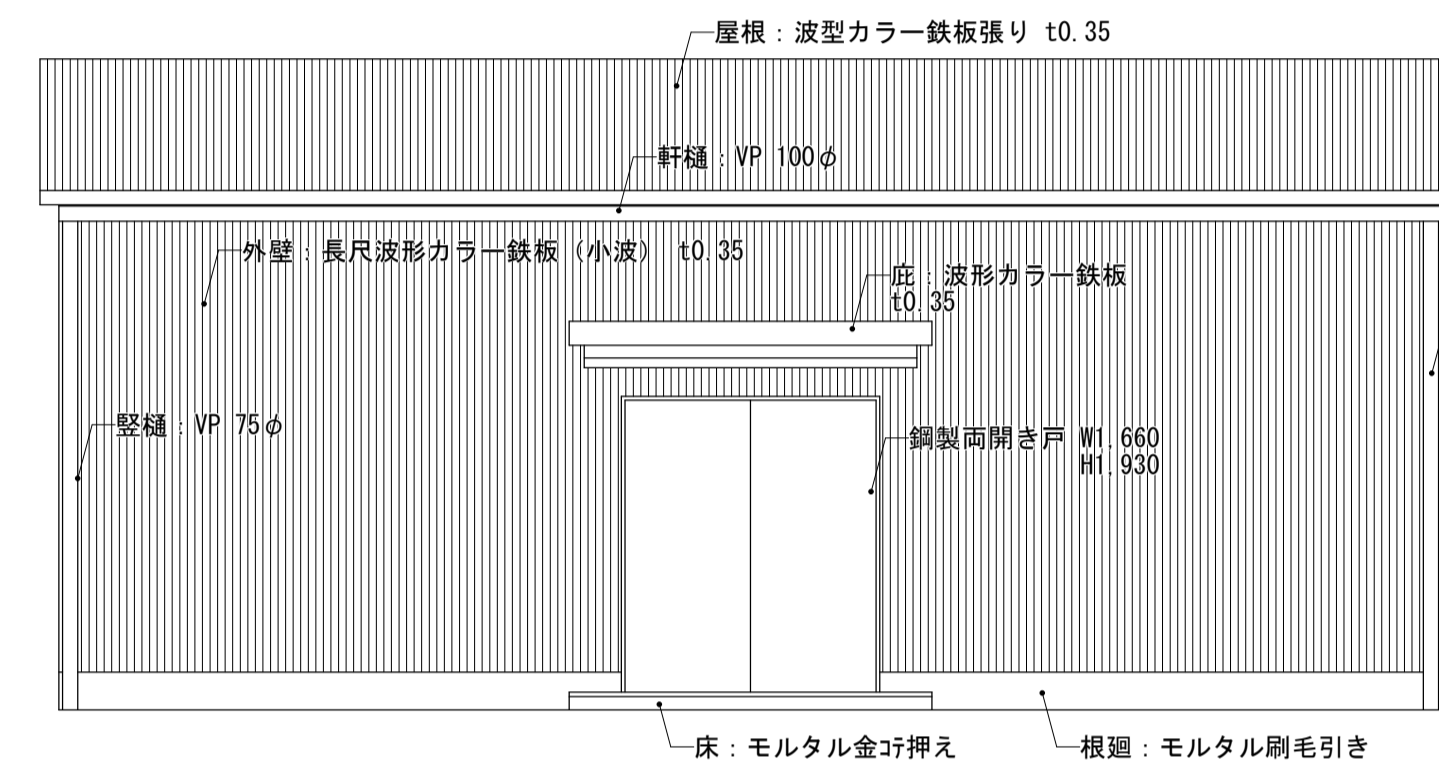
小屋伏せ図 S=1/50

構造概要

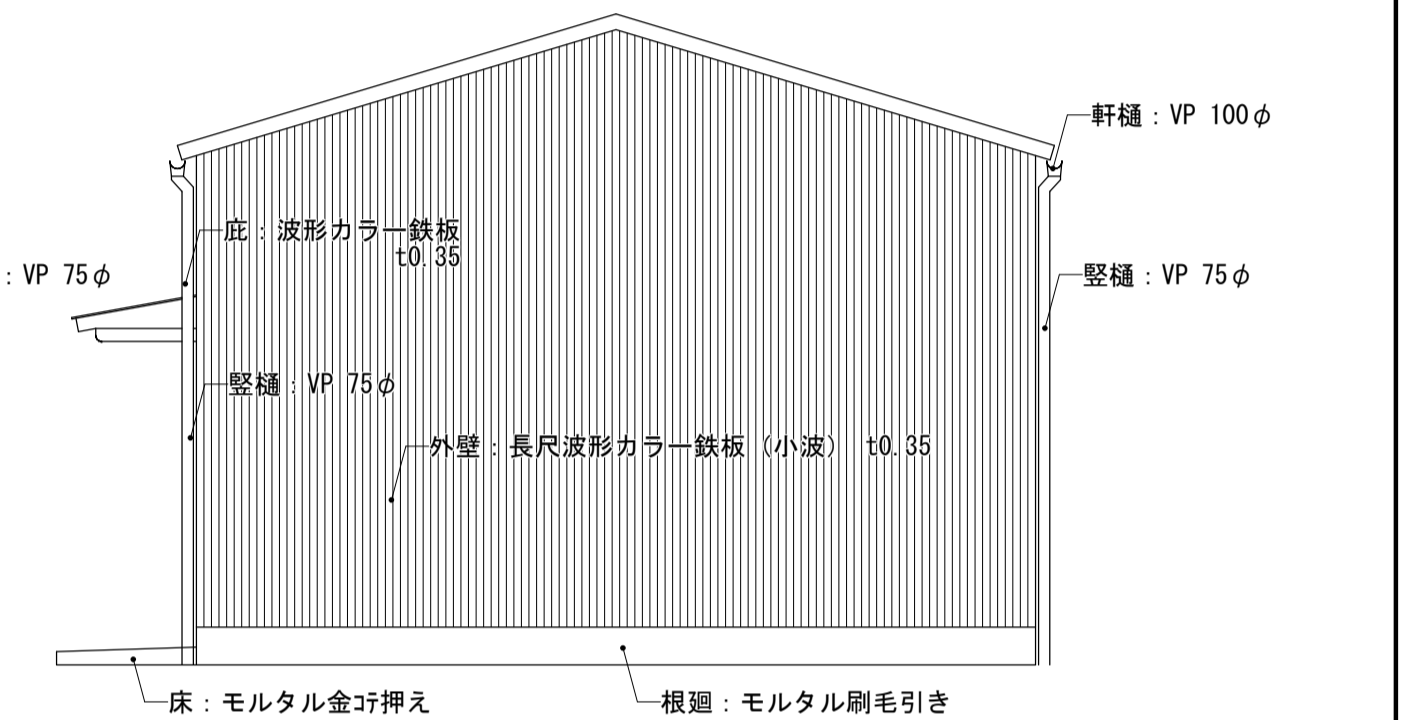
地業	基礎	軸組	屋根	建具	備考
布基礎	鉄筋コンクリート造	木造	波形カラー鉄板	木製窓、鋼製戸	-

外部仕上表					
犬走	根廻	外壁	軒裏	軒樋・縦樋	備考
モルタルコテ押え	モルタル刷毛引き	長尺波形カラー鉄板 (小波) t0.35	波形カラー鉄板現し	軒樋: VP 100φ 縦樋: VP 75φ	-

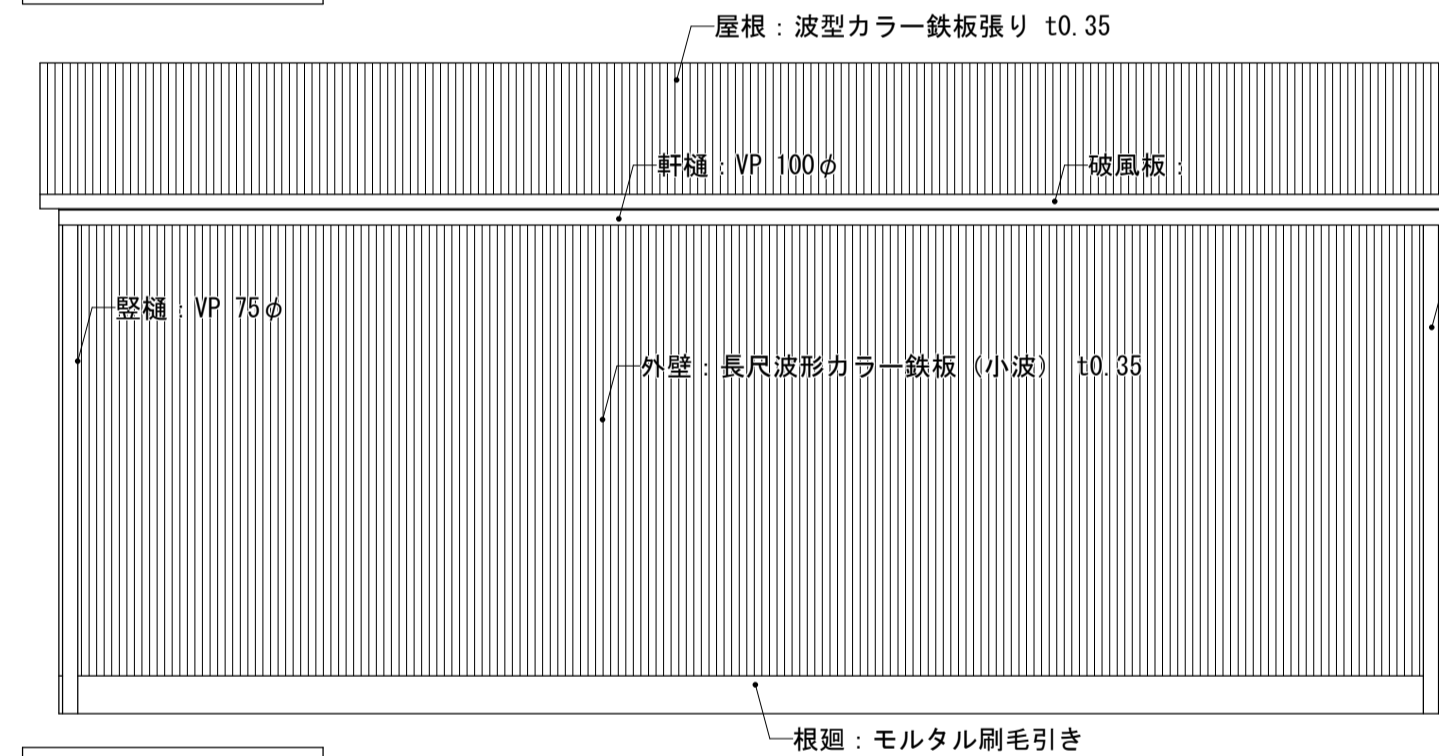
内部仕上表						
室名	床	巾木	壁	天井	天井高	備考
農具倉庫	コンクリート下地	コンクリート下地	木製下地	木製下地	直天	木製棚
	モルタルコテ押え	モルタルコテ押え	木製下地現し	木製下地現し		



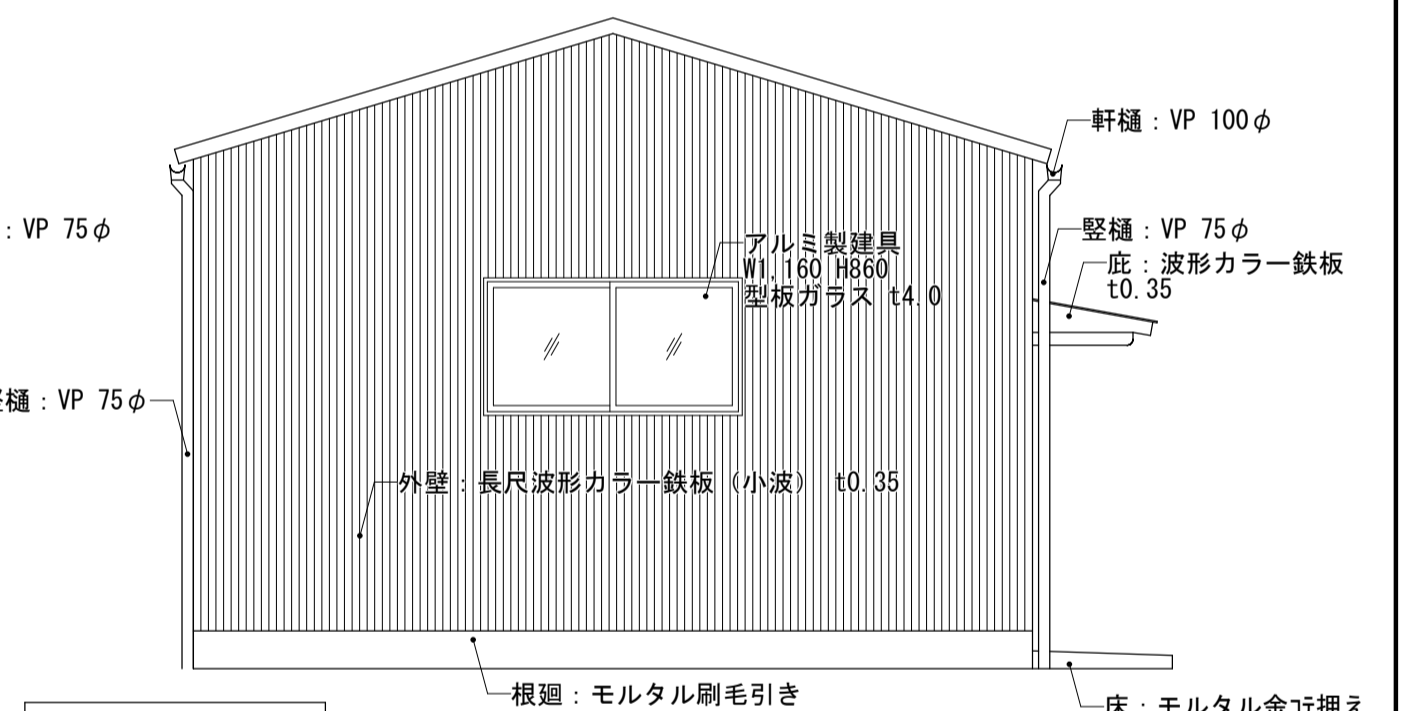
西面立面図 S=1/50



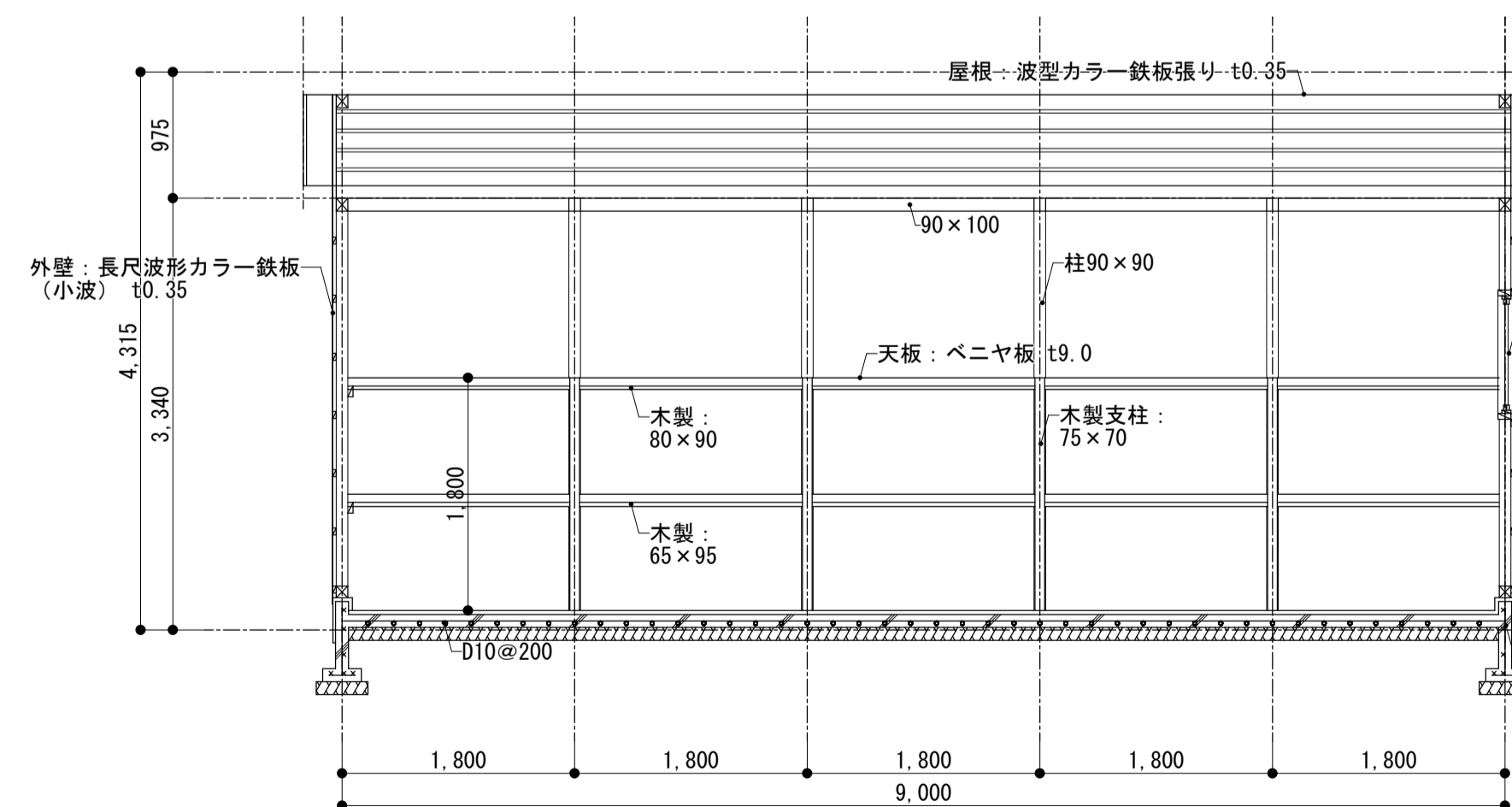
北面立面図 S=1/50



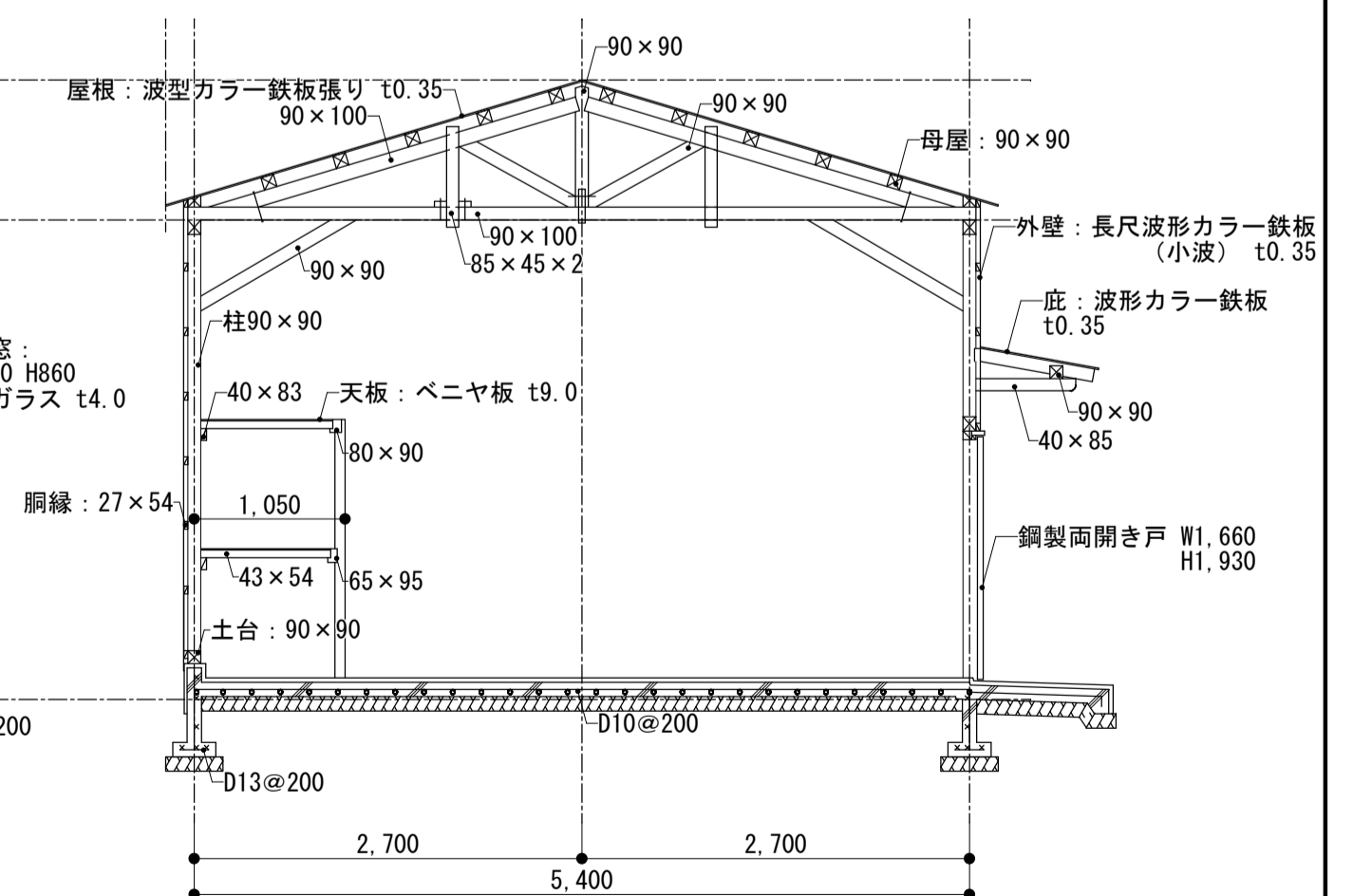
東面立面図 S=1/50



南面立面図 S=1/50



A-A' 断面図 S=1/50



B-B' 断面図 S=1/50

令和6年度			縮尺	K-07 解体
名称工事名	播西東小学校屋外プール改築工事		1/50	
図名	解体建物 農具倉庫			

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする

構造概要

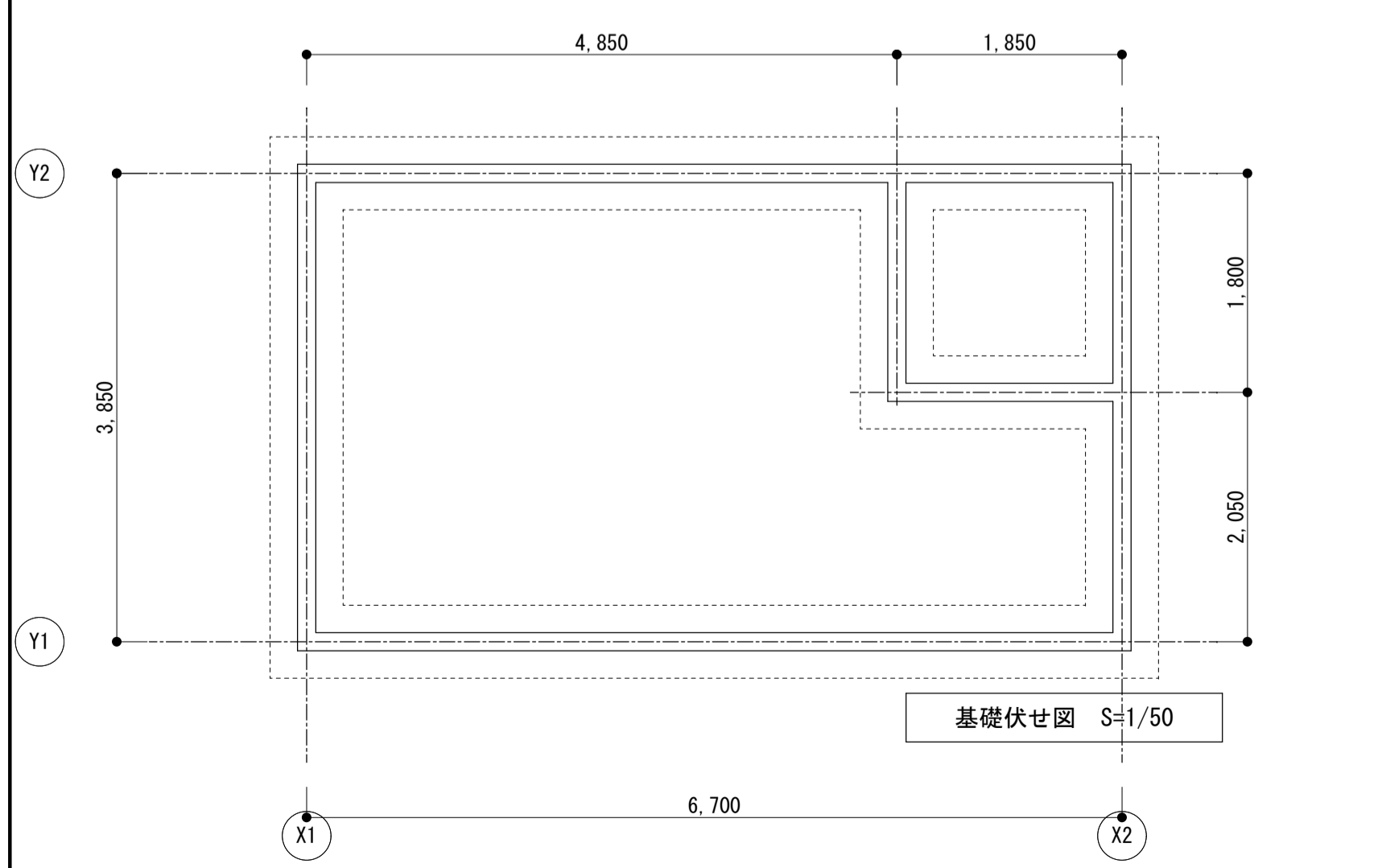
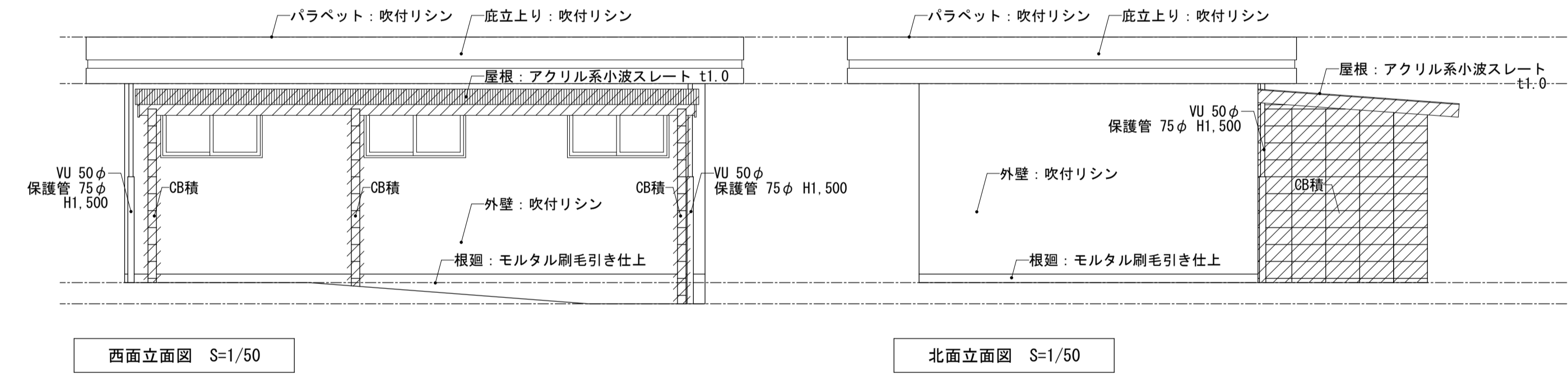
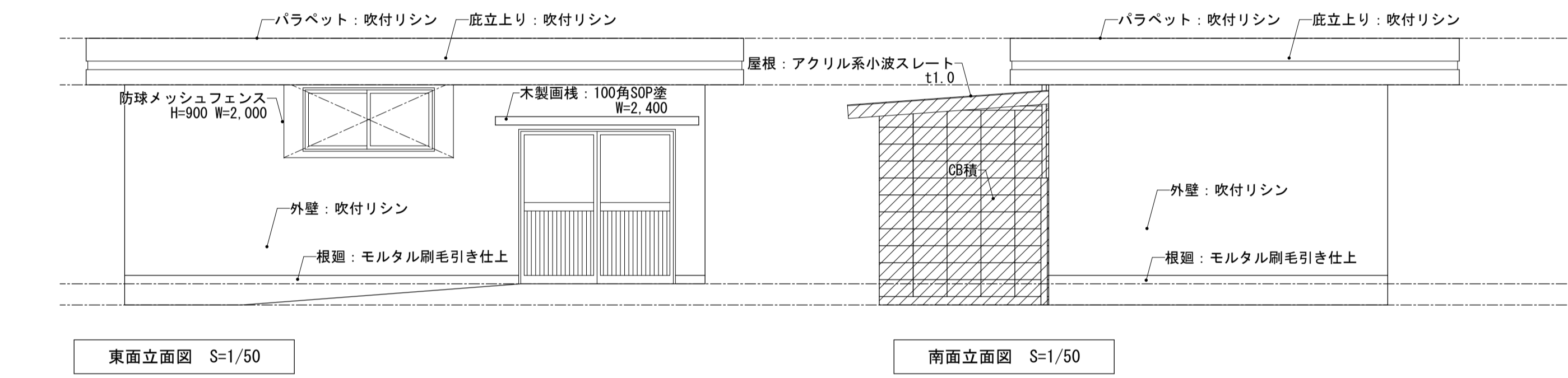
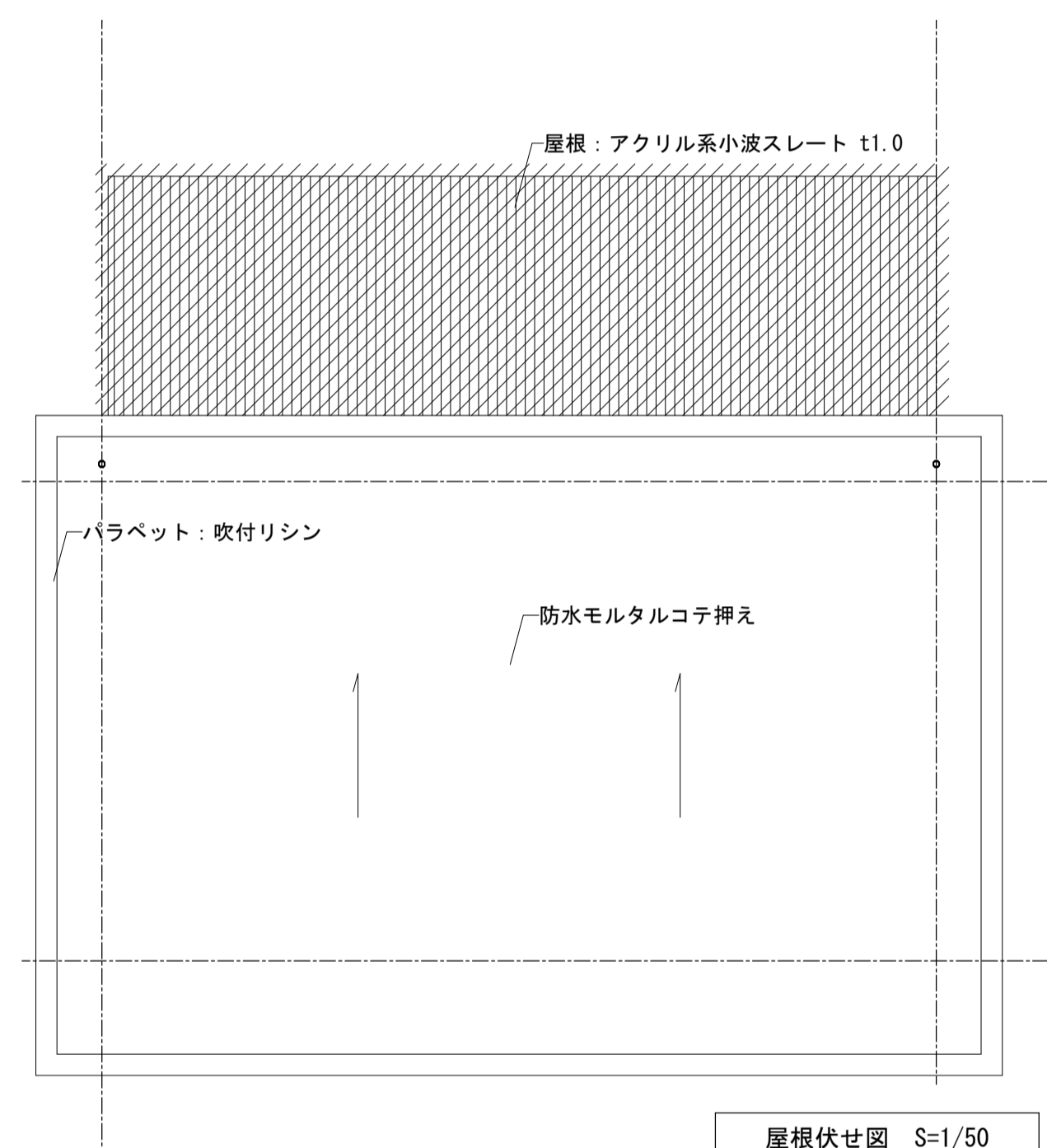
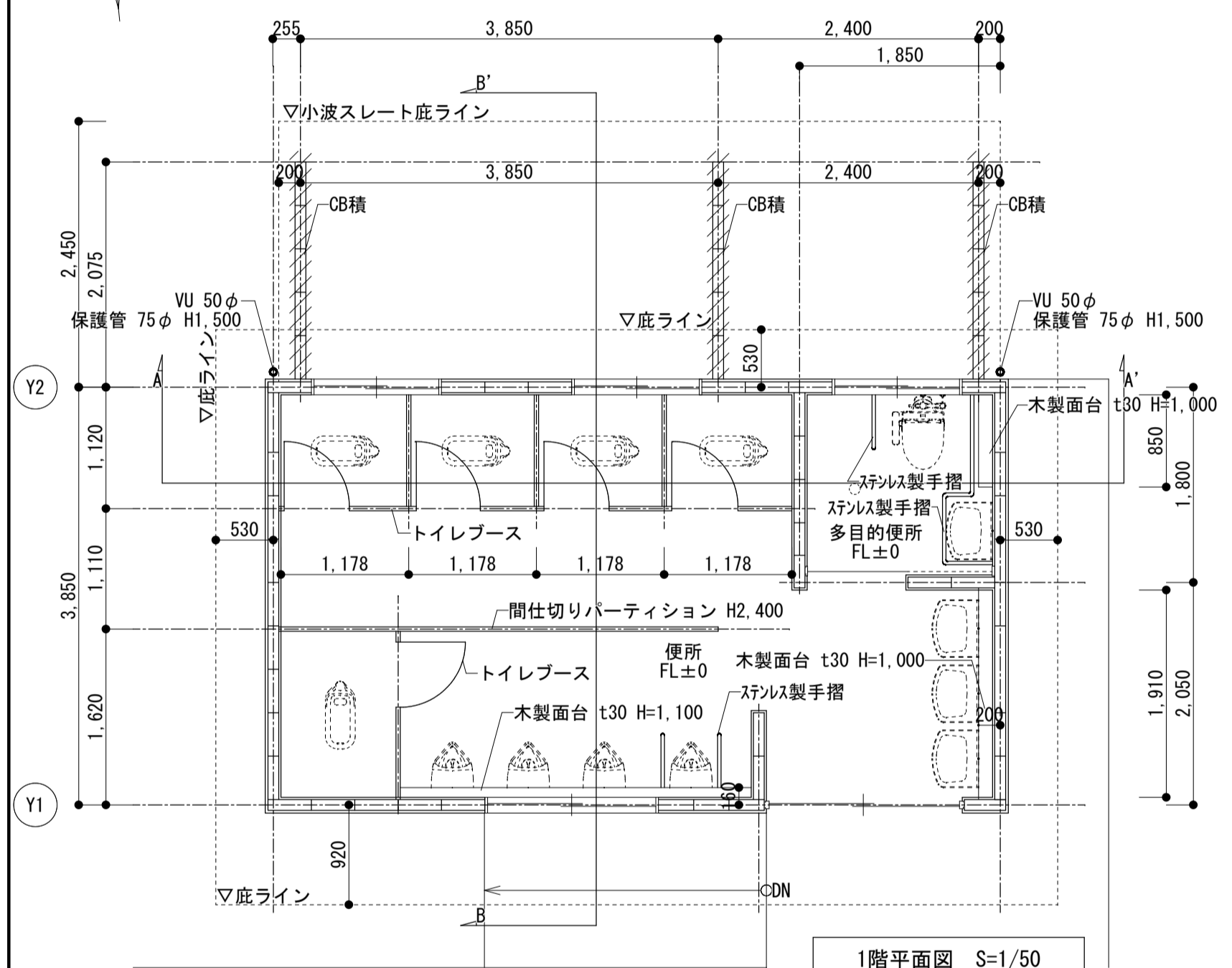
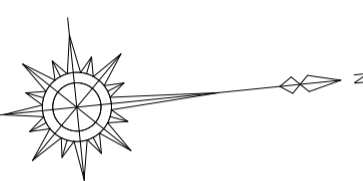
地業	基礎	軸組	屋根	建具	備考
布基礎 (地盤面下は参考とする)	鉄筋コンクリート造 (地盤面下は参考とする)	コンクリートブロック造 t=100	鉄筋コンクリート造	アルミ製 (木製顔縁)	

外部仕上表

名称	犬走	巾木	外壁	軒裏	屋根	庇	縦樋	備考
一般外部	下地	土間コンクリート下地	コンクリートブロック下地	コンクリートブロック下地モルタル塗りt=25	コンクリート打放し下地	コンクリート打放し下地	コンクリート打放し下地	-
	仕上	モルタル金コテ仕上げ	モルタル刷毛引き仕上 t25	吹付リシン	吹付リシン	防水モルタルコテ押え	吹付リシン	VU 50φ 保護管 75φ H1,500

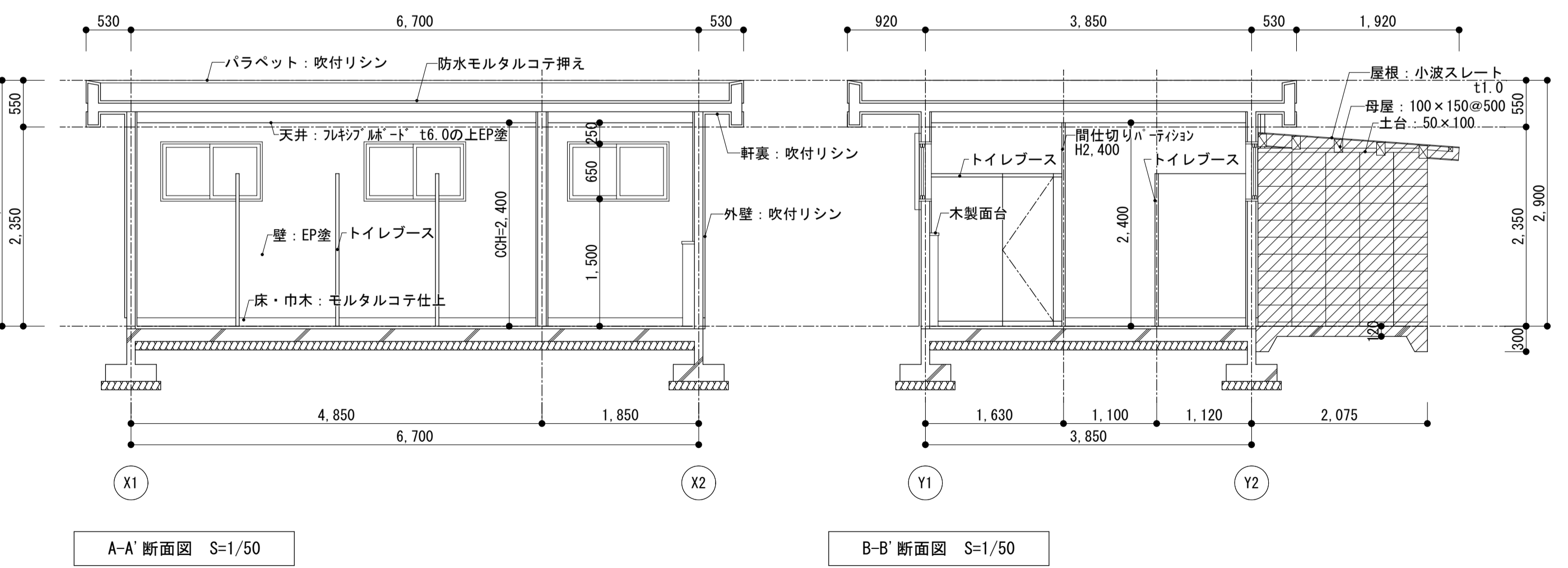
内部仕上表

階	室名	下地 仕上	床	高さ F.L.	幅木	高さ	塗装	壁	塗装	天井	塗装	天井高さ	備考
1	便所	下地	土間コンクリート下地	GL ±0	コンクリートブロック下地	100	-	コンクリートブロック下地 モルタル塗りt=20	-	木製下地	-	CH 2,400	木製面台、鏡 ステンレス製手摺 間仕切りパーティション トイレブース 陶器製手洗い
		仕上	モルタル金コテ仕上げ	GL ±0	モルタル刷毛引き仕上 t=25	100	-	EP塗	-	フレキシブルボード t6.0の上EP塗	-	CH 2,400	
	多目的便所	下地	土間コンクリート下地	GL ±0	コンクリートブロック下地	100	-	コンクリートブロック下地 モルタル塗りt=20	-	木製下地	-	CH 2,400	木製面台、鏡 ステンレス製手摺 陶器製手洗い
		仕上	モルタル金コテ仕上げ	GL ±0	モルタル刷毛引き仕上 t=25	100	-	EP塗	-	フレキシブルボード t6.0の上EP塗	-	CH 2,400	



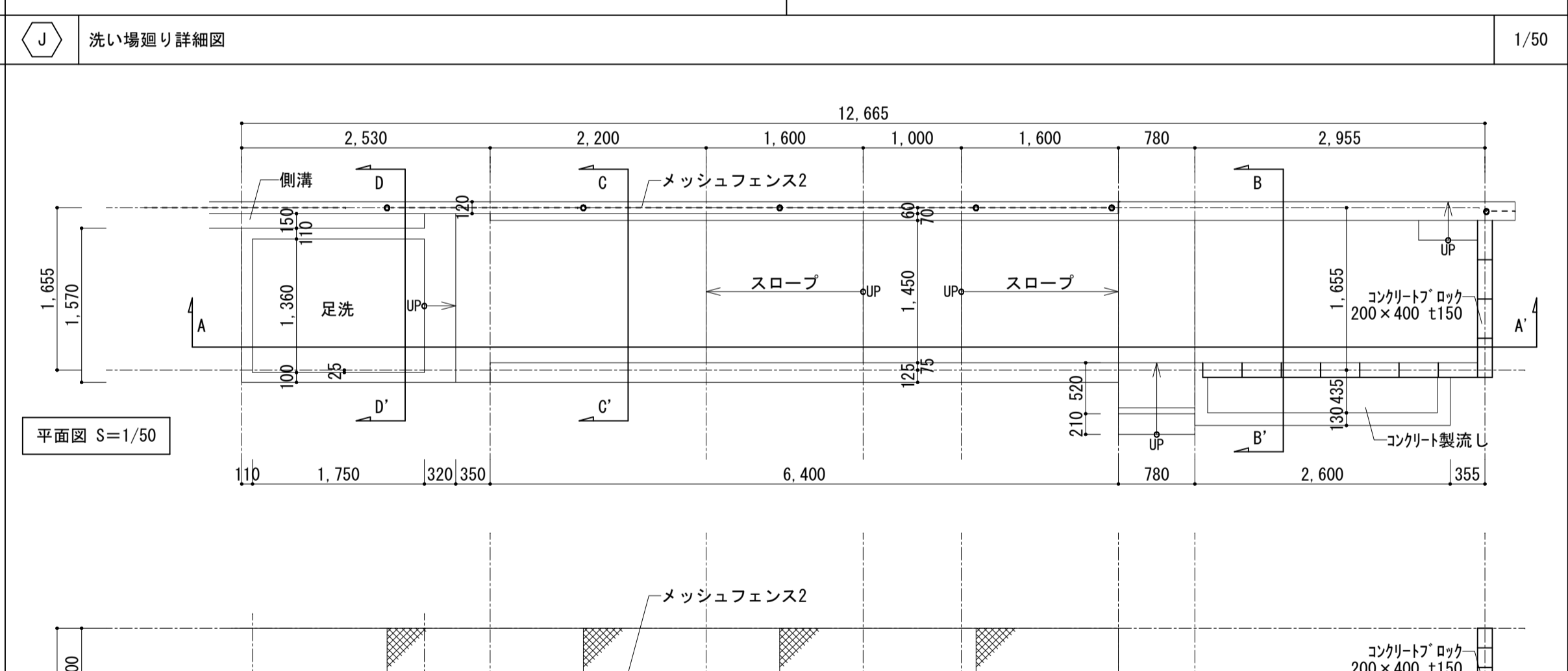
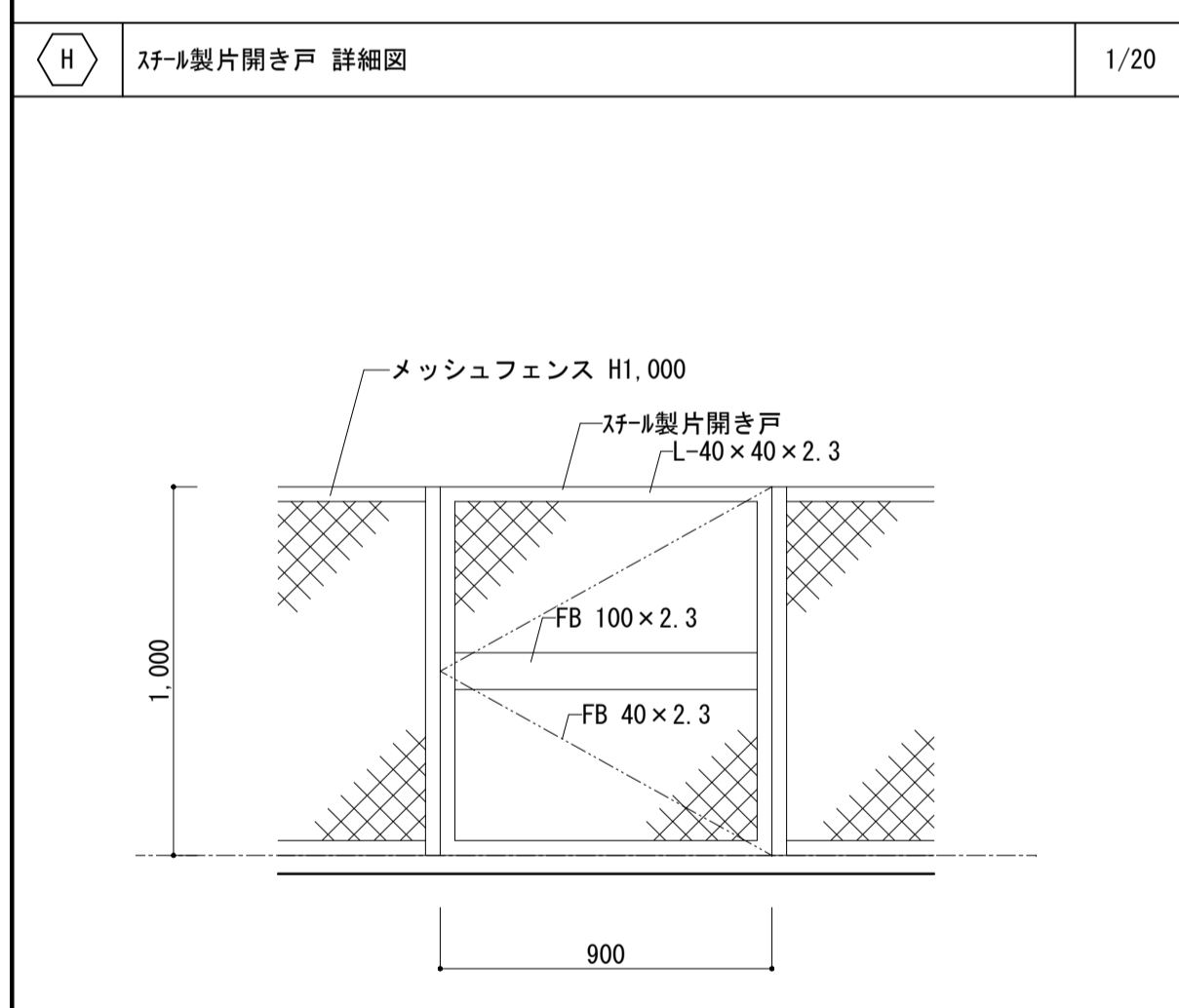
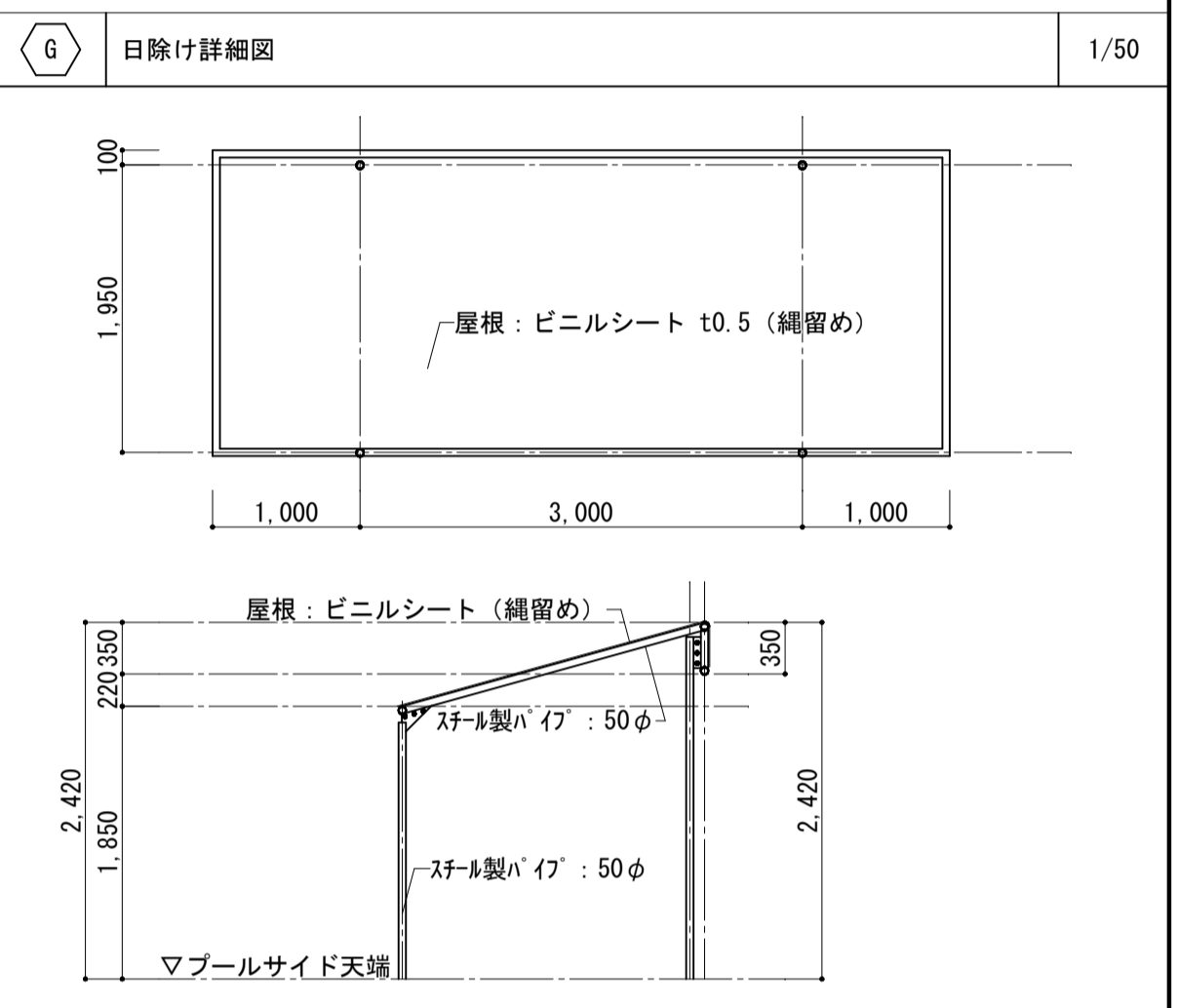
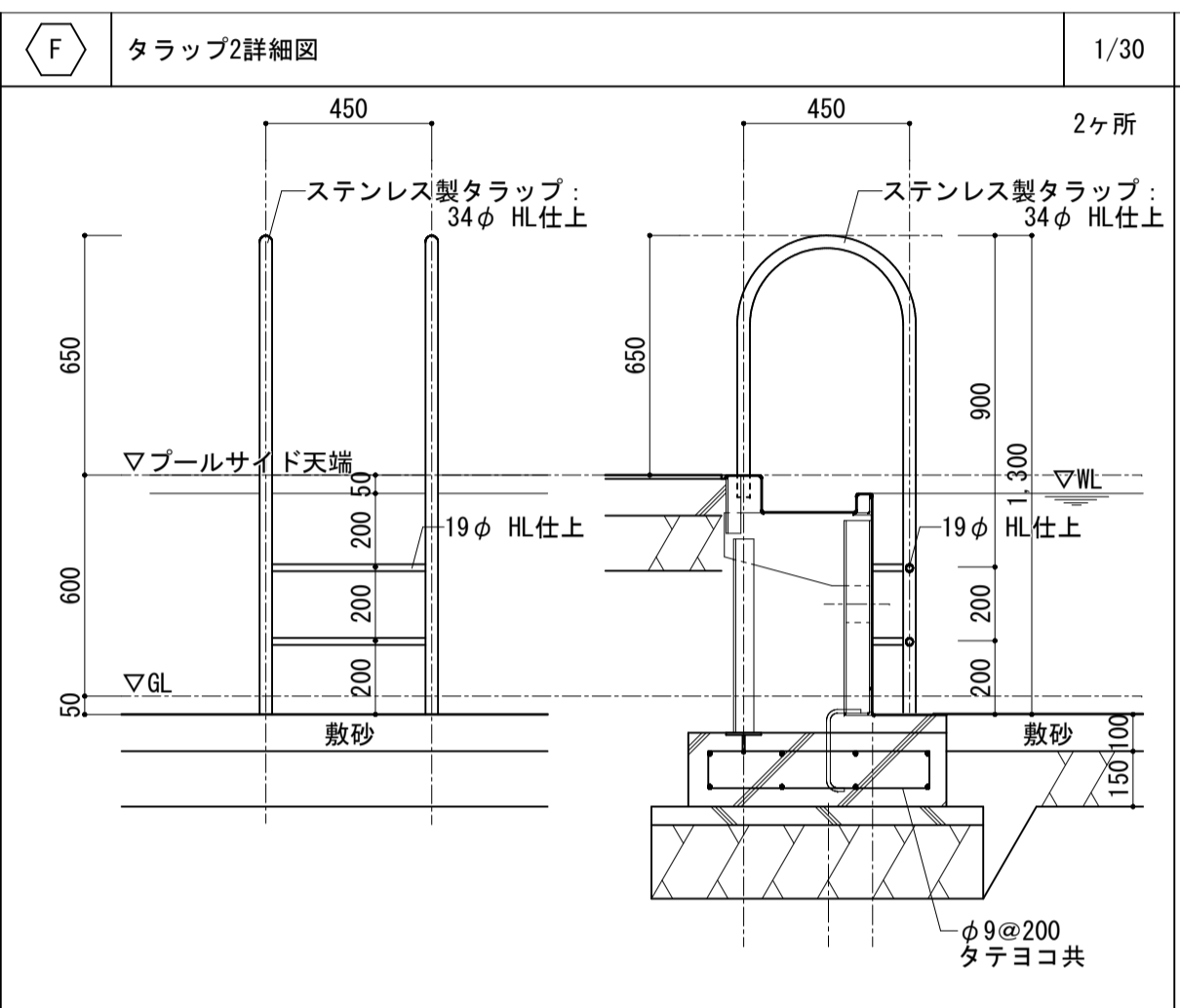
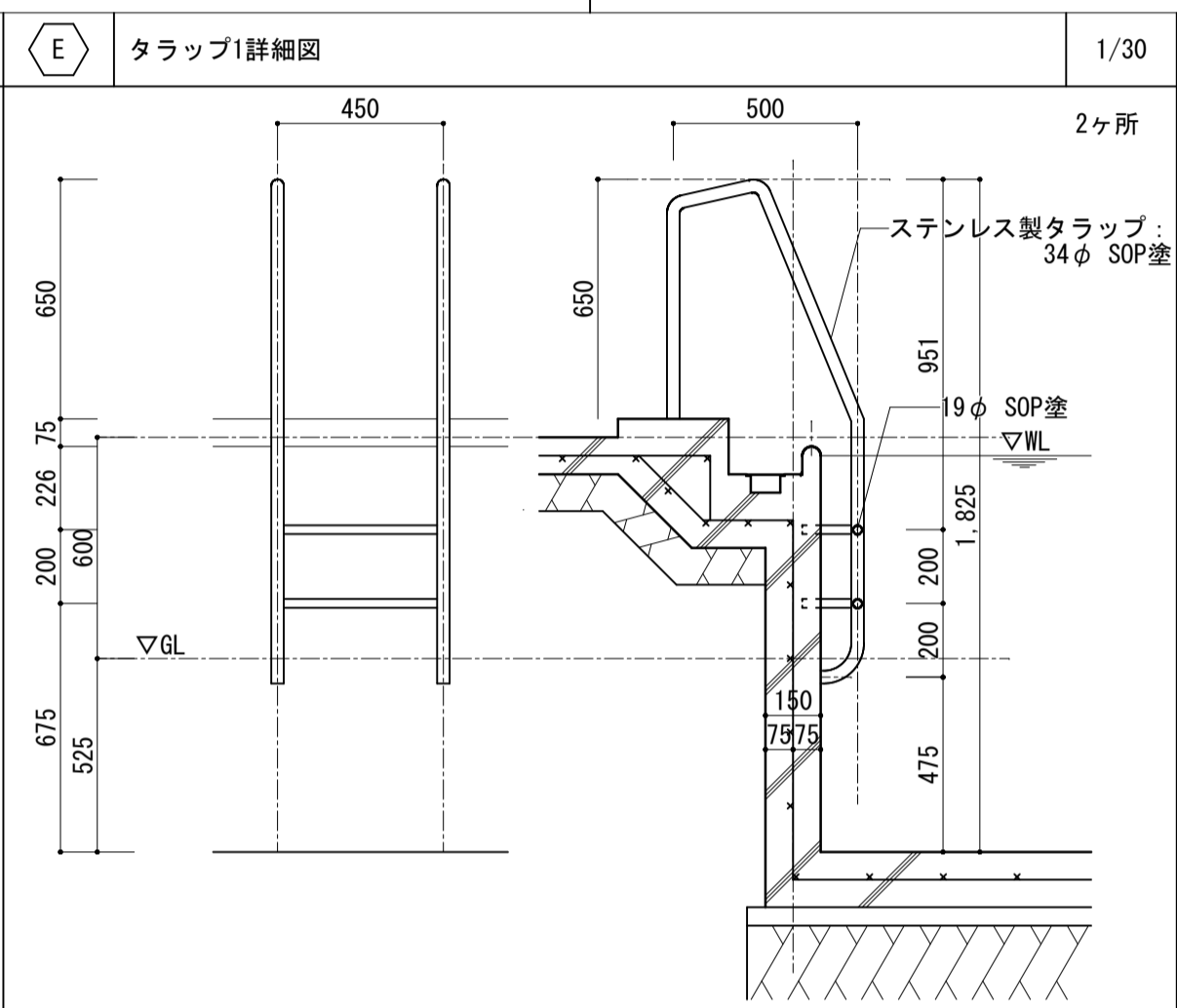
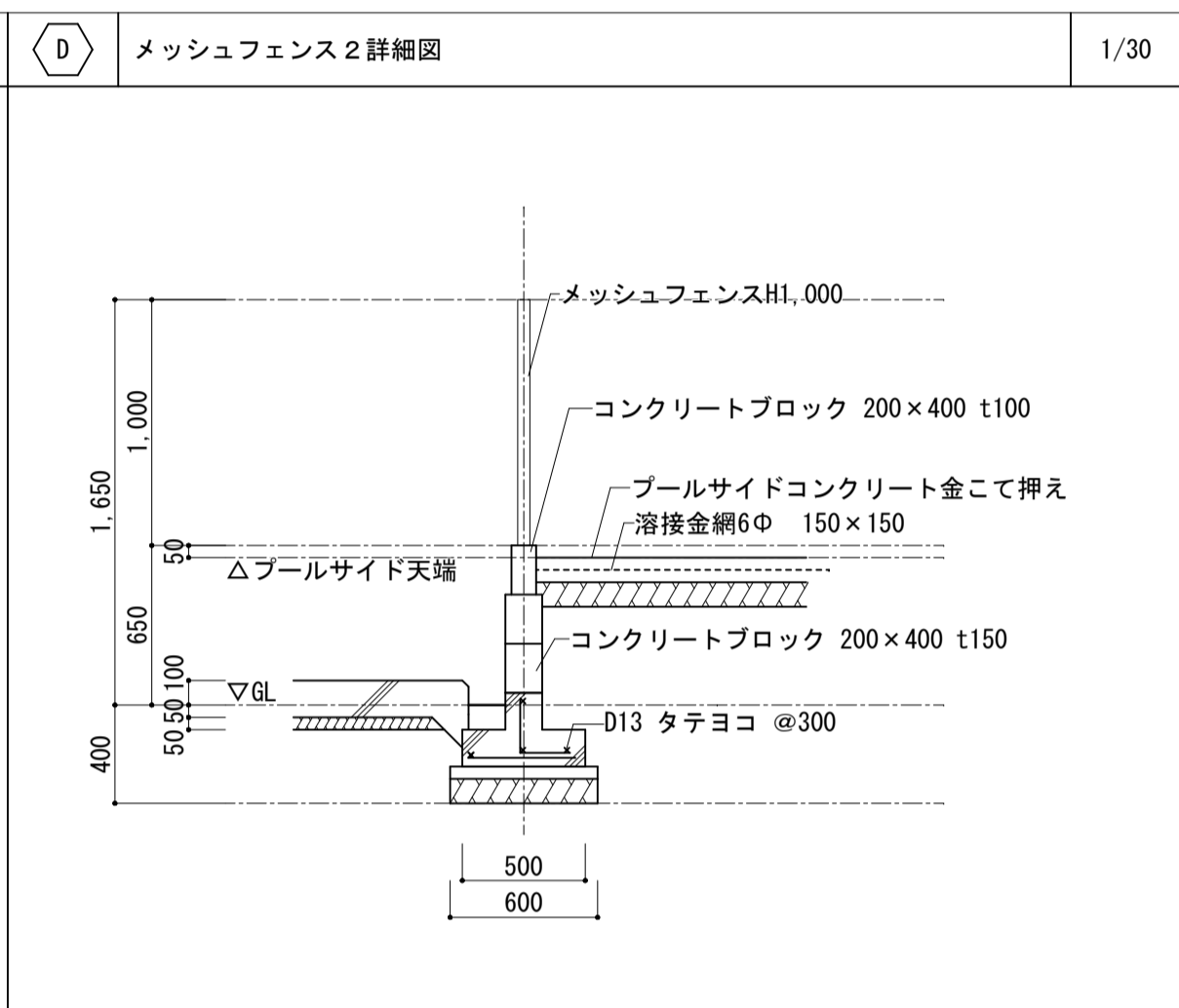
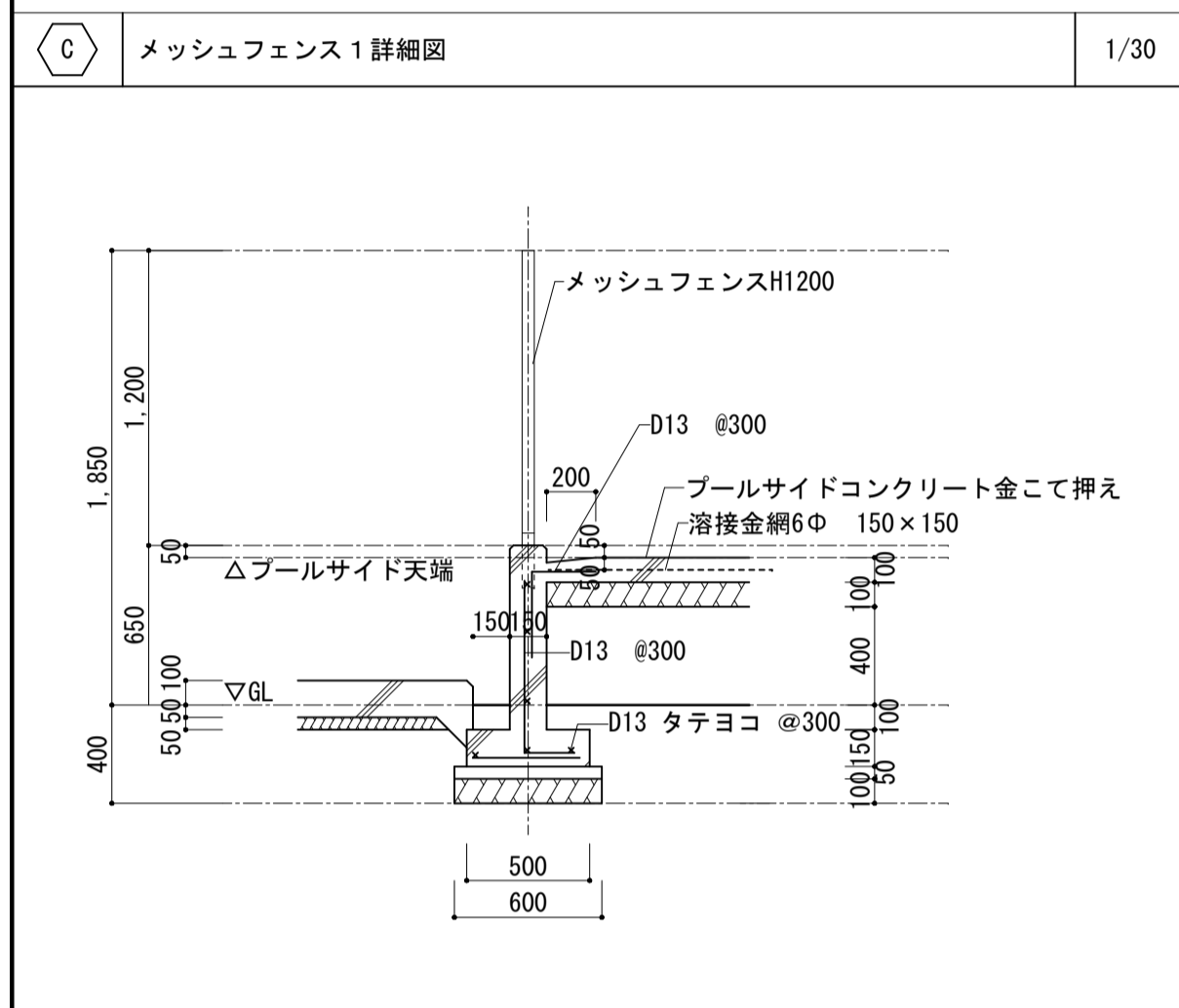
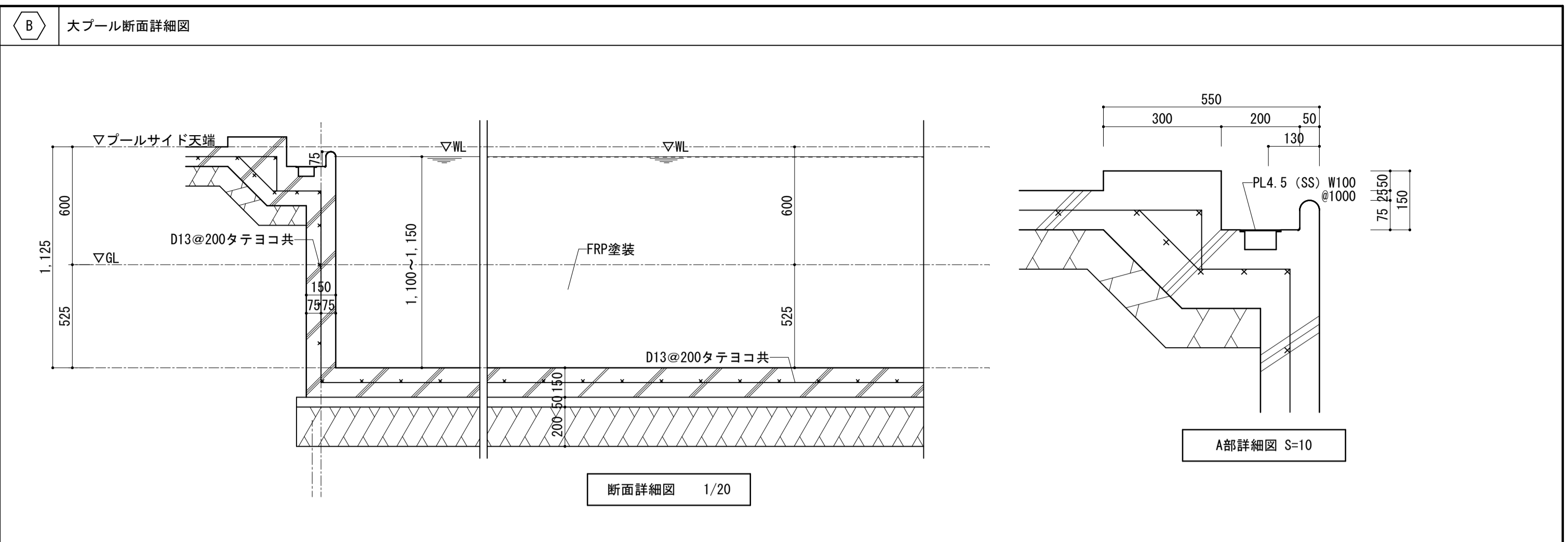
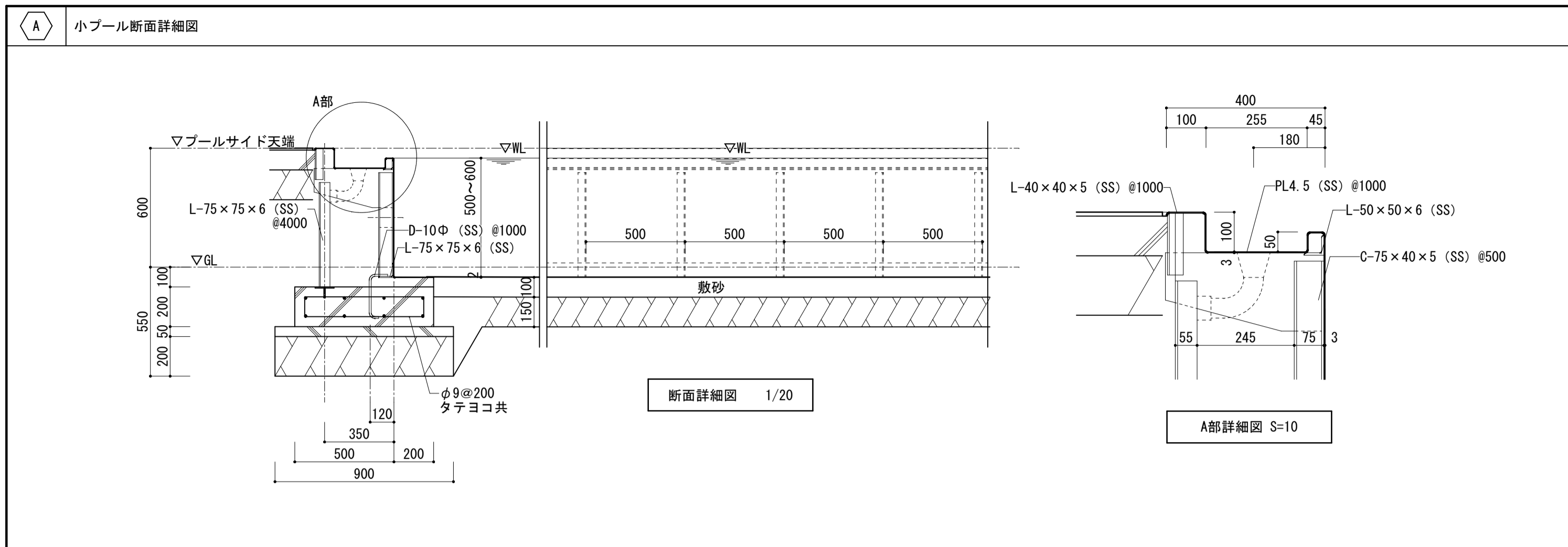
凡例

	撤去範囲を示す
	コンクリートブロック壁を示す



令和6年度	縮尺	K-08 解体
名称工事名 掘西東小学校屋外プール改築工事	1/50	
図名 解体建物 便所付属CB塀		

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする



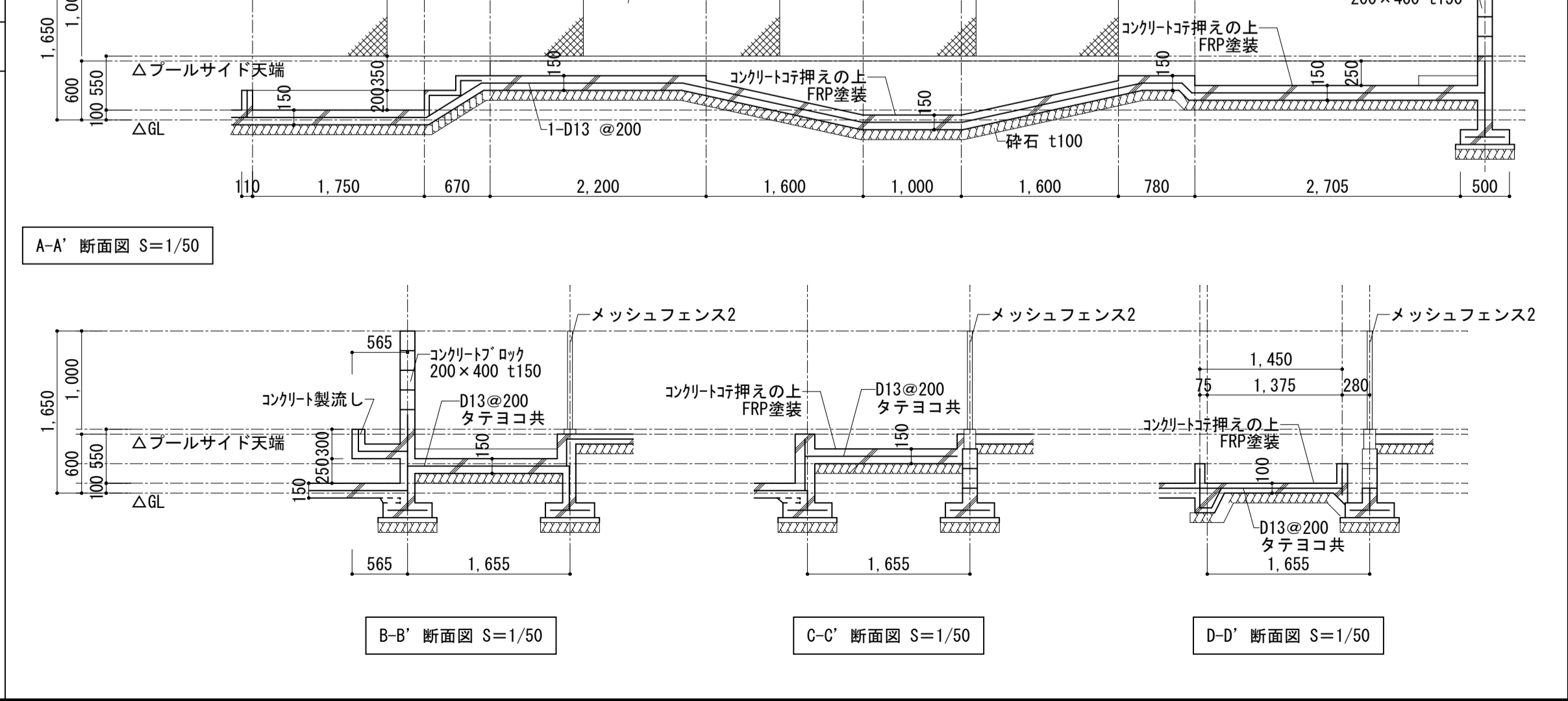
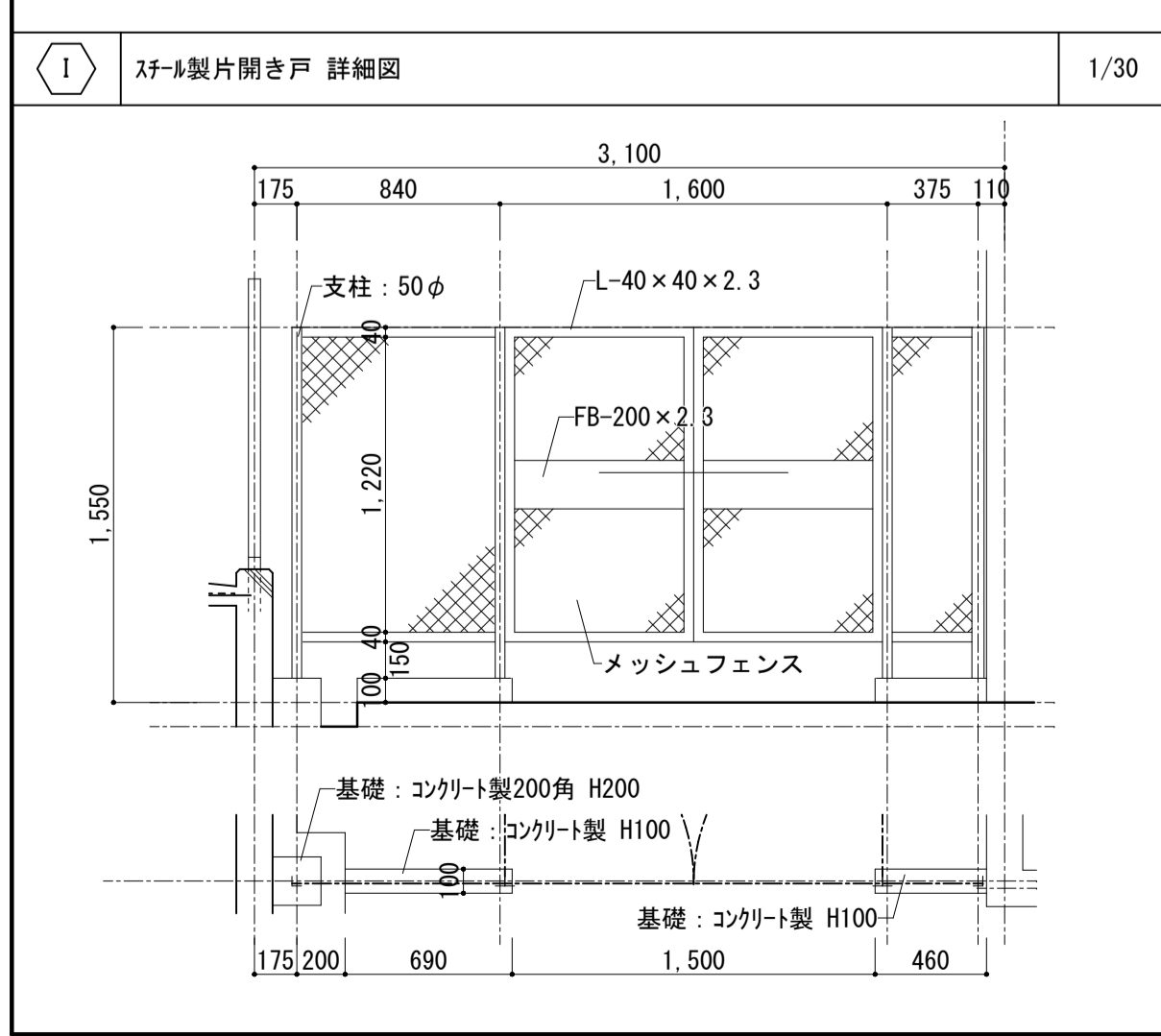
コンクリートブロック壁詳細図

1/30

・特記なき限り解体建物のコンクリートブロック配筋要領については下記リストによる。

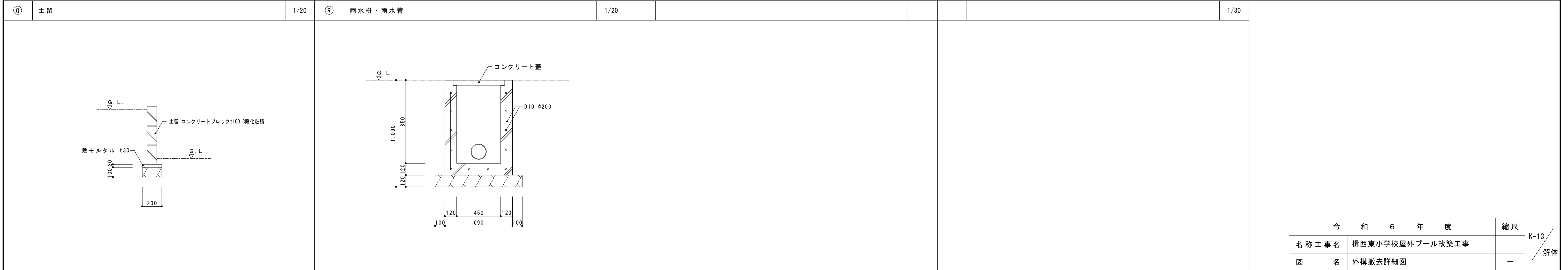
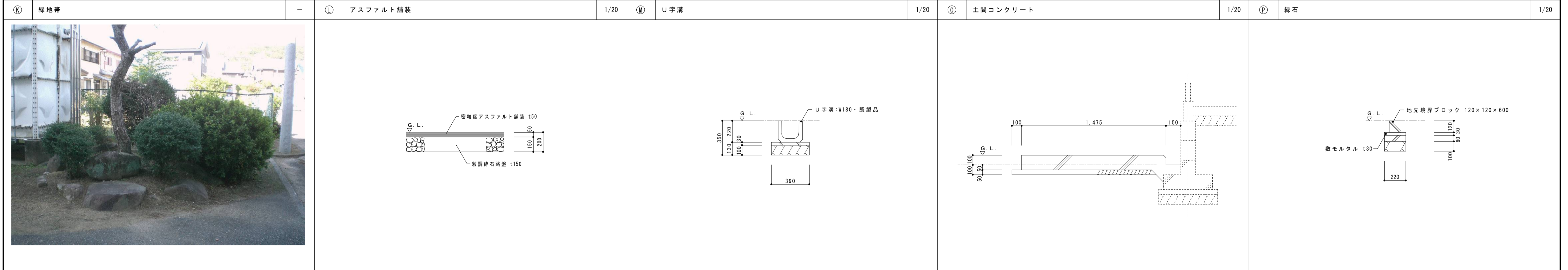
壁リスト

符号	CB 15	CB 10
断面		
A 1 : S = 1/30		
A 3 : S = 1/60		
※隅部補強筋	1-D13	1-D13
タテ筋	D10-#400 (シングル)	D10-#400 (シングル)
ヨコ筋	D10-#400 (シングル)	D10-#400 (シングル)
開口補強	9φ, 3φ 1-D13	9φ, 3φ 1-D13
対象建物	プロパン庫 プール付風機	便所付風機 ゴミ庫



令和6年度	縮尺	K-10 解体
名称工事名 掘西東小学校屋外プール改築工事		
図名 解体詳細図	図示	

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする



令和6年度	縮尺	K-13 解体
名称工事名 掘西東小学校屋外プール改築工事		
図名 外構撤去詳細図		

※図面表記縮尺はA1印刷の場合の縮尺とし、A3縮小印刷の場合は表記縮尺の1/2とする